KAIZO

改造

八月號

1930

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大衆要望の成果・現代社會の一大寶典

社會科學大辭典

暗迷の摸索より光明の科學へ!!

研究への最良の手引

社會科學辭典中で絶對的の價値を有し、その關係事項の範圍の廣汎、解說の詳細は現代の總ての事相を手に取るが如く指示す。本辭典なくして現代を正解するは至難であり、併せて現代に處する唯一無二の羅針盤である。宜なり各學校、會社、銀行、法曹家は云ふに及ばず、現代の社會學、政治、經濟、社會運動、社會思想に通曉せんと欲するものは學つて本辭典を購求す。現代の趨勢に鑑み社會科學の百科辭典を座右に置くことの如何に依つてその成功の如何をトすべし。敢へて本辭典を江湖に推賞する所以也。

定價金拾五圓（送料四十五錢）

特價提供 12圓

特色

本辭典は凡百の社會諸科學の書に匹敵す。▽文章平明誰にも了解し易い。▽各項目には一々英、獨、佛等の原語を添へ必要に應じて希臘、羅典の原語を引用して淵源を剔抉し、底理を剖析す。▽各項目毎に內外の參考書目を擧示し、讀者の便益を備ふ。▽各項目は、それ〳〵專門學者又は實際執掌者之に當り、且つ責任を明らかにして署名す。▽辭典の生命たる『索引』は、親切周到を極め、實際使用上の便益を圖る。

先づ實物で見て下さい

東京芝區愛宕下町　改造社　振替東京八四〇二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新鋭文學叢書

現文壇に清新潑剌の意氣を示す各派新鋭作家の全陣容だ！　果然、此の旋風的賣行!!　澎湃たる大衆のかゝる支持は本叢書の眞價を裏付けるもの。　装幀の新らしき典雅、我社ならでは成し得ぬ此の絶對廉價、正に叢書界空前の窮極廉價版だ！

絶對廉價版

見よ！
堂々出版界を威壓す

各冊平均約二百五十頁
古賀春江氏劃期的装幀

各冊 **三拾錢** 送料各六錢

- 放浪時代　龍膽寺雄著
- ボール紙の皇帝萬歳　久野豐彦著
- 隕石の寢床　中村正常著
- なつかしき現實　井伏鱒二著
- 傷だらけの歌　藤澤桓夫著
- 反逆の呂律　武田麟太郎著
- 情報　立野信之著
- 浮動する地價　黑島傳治著
- 耕地　平林たい子著
- 屍の海　岩藤雪夫著
- 鬪ひ　中本たか子著
- 放浪記　林芙美子著
- 正子とその職業　岡田禎子著
- ブルジョア　芹澤光治良著
- 研究會挿話　窪川いね子著
- 不器用な天使　堀辰雄著

發行所　東京芝區愛宕下町　改造社　振替東京八四〇二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



改造八月號目次

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



改造八月號 目次

◇松本幹雄氏新著◇

—《尖端を行く近代人は是非一讀すべき痛快な讀物なり》—

大好評 三版

若き中等教師と其周圍

四六判最上製美本 全壹冊三百八拾頁

正價金 壹圓八拾錢 送料十八錢

《漱石の坊ちやん三十年前の夢と化す時》

《本書出でて中等教育の聖幕を飜揚す》

坊ちやん二世か非ず!!昭和の坊ちやんか否!!實話か架空談か知らず!!漱石の坊ちやん三十年前の夢と化するの時テンポの高速は時代の尖鋭を旋風化し突瞬の間に中等教育の聖幕を飜揚す、無鐵砲にして純情、粋にして不粋なる主人公の若き一中等教師を圍る悲哀とユーモラスの交響樂的渦紋は内に職員間の黨派軋轢・生徒の信用と輕侮・綽名の今昔・學校騷動の眞相等を初め教師の軟談漫談の種々相と・酒・歌・女・戀の靜脈動脈となりて循環す、本書一讀父兄教育者は此レヴューに微苦笑の滓を殘し知識階級はありし若き日を回顧追憶すべく男女學生は好奇の眼を輝かして長息するであらう。要するに本書を知らずして學校生活を談ずるに足らずとなすの書、潮流の浮標として敢て一本をすゝむ。

大久保龍著 感想 **伸びんとする生命のゆくて** 小學教師としての眞劍な感想告白也 (最新刊) 正價金貳圓 送料十八錢

井上康文著 随筆 **戀愛生活藝術** 著者が時代諸相の鋭い洞察と批判に成れる生活記錄新人必讀書 (最新刊) 金壹圓八拾錢 送料十八錢

山名正太郎 思潮文献 **日本自殺情死紀** 興味津々として珍らしく面白き本と大好評を博せり增訂版 (三版) 正價金貳圓 送料十八錢

宮崎安衞門 随筆 **草に醉ふ者** 文字通り無一物底無盡藏の生活者たる著者が廿年間の生活記錄 (最新刊) 金壹圓八拾錢 送料十八錢

岡田稔著 西鶴 **日本永代藏詳解** 西鶴町人物最初の作で金を描いて深刻を極めた珍書也 (三版) 金貳圓八拾錢 送料十八錢

有ケ谷靜堂 **支那書道史概說** 本書出現して書道愛好家の歡喜のみならず斯學研究の便宜多大なり (增刷) 金五圓八拾錢 送料廿七錢

大關增次郎 **カント研究** 近世哲學史上に巨木の如く聳立つカント哲學の體系を思惟開展の順に詳述せる良書也 (三版) 金七圓八拾錢 送料卅七錢

日高瓊々彦 **國家に及ぼす宗教の害毒** 全宗教を否定せる大論文 一讀快を呼ぶ可き痛快書 (大好評) 金壹圓八拾錢 送料十二錢

東京市神田區一ツ橋通町三 大同館發行 振替貯金口座東京八七貳番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

獨逸 ショーペンハウエル著 増富平藏譯（四版）

人生達觀

最高等の占ひであり、豫言であるのは偉大な哲學者の人生觀である。本書は人間を達觀せる偉大なる哲學者ショ氏の人生觀で、苟も人生の眞相、人生の歸趨を知らんとする讀者の必讀すべき名著。

四六判總布 貳圓七拾錢 郵税十二錢

著者譯者同前 ▼處世哲學（八版） 貳圓八拾錢 郵税十二錢

著者譯者同前 ▼宇宙及人生（上中下三卷） 上卷四・五〇 中卷四・〇〇 下卷四・〇〇 郵税各・一八
「意志及び心識としての世界」全譯

戸川秋骨譯 ▼エマーソン論文集（上下二册） 上卷三・〇〇 下卷二・五〇 郵税各・一二

高橋五郎譯 ▼セネカ論文集（二版） 定價參圓 郵税十二錢

高橋五郎譯 ▼エピクテタス遺訓（二版） 壹圓九拾錢 郵税十錢

白耳義 マーテルリンク著 文學士 栗原古城譯（廿一版）

死後は如何

人間の死後は果して如何、絶滅か、永生か、將た「醒むる無きの睡眠」か、現代第一の文豪にして思想家たる著者は、其神秘的瞑想と聰明なる理智との高潮に乘じて此の大問題を解決した。

四六判總布 壹圓九拾錢 郵税十錢

印度マドラス大學 ナラス教授著 駒澤大學教授 立花俊道譯（七版）

佛教の要諦

これ幽玄なる佛教々理の眞諦を何人にも解し易きやう手に取る如く明快に説破せる稀有の名著で、佛教の知識を得んと欲する人は必ず一讀すべきものである。現に歐米の諸大學でも學生の指定參考書として汎く推薦してゐる。

四六判總布 參圓貳拾錢 郵税十二錢

忽滑谷快天著 ▼禪學思想史（上下二卷） 上卷六・五〇 下卷六・五〇 郵税各・二七

安岡正篤著 ▼東洋倫理概論（三版） 貳圓四拾錢 郵税十二錢

安岡正篤著 ▼王陽明研究（三版） 壹圓八拾錢 郵税十錢

佛蘭西 ブーリエンヌ著 文學士 栗原古城譯（三版）

奈翁實傳 普及版

▼菊判紙表紙美本、九百五十頁、貳圓六拾錢 送料—内地十八錢 其他五十五錢

本書は材料の豐富と記事の徹底とを以て古今第一のナポレオン傳として定評あり、原著者は幼少の頃より奈翁の親友で公私内外の樞機に參劃した人。カーライルやエマーソン等の奈翁に關する評論なども主として材料を之に採つたと云はる。

東京市本郷區西片町
振替東京七九九五
玄黄社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

行詰りの根本を究明せ

佛國だけが景氣がよくて他の列强もろとも我國までが景氣が惡い。失業群が加速度を以つて殖えて行く。我が濱口內閣もおまじなひ的に地方債を許してそれを緩和しようとする。政友會は我黨が天下を取れば大に景氣がよくなると鳴物入りで宣傳している。それに負けていずに與黨の代議士も政策轉換とやらを對抗的に戰つて行く。この二つの現れが果して我民衆の疾苦を救つてくれる力があるか、どうか？この點をよく討議玩味してかからねばならぬ。なるほど井上君も苦しいに違ゐはない。歲入の見つもり外づれが六七千萬圓に達する、それを軍縮からくるいくらかのはみだしもので間に合せようとし、今度は煙草元賣捌制度の變革から浮き出す幾千萬圓かを少時借用ができ、製艦費の支拂延期ができて辛ふじて本年の豫算は編成ができるとしてもその次にどう云ふ手品の持ち合はせがあるか、それが聞きものだ。政友會が天下を取つても同じ行詰りに逢着するのだ。我社は先月「失業問題」の討議會を開き、本月また「勞働組合法」の討論會を開いて當局、學者、資本家、無產黨の指導者と會合して具に現下の病弊のある所を討究し、その根本策を案出するに苦心した。しかしその對症療法として現在の資本主義制度の上に於て名案がなかつた。而して今後民政黨なり、政友會なりの政綱政策が我民衆を引ずつて行くことの可能性について國民は熱心に深刻に考慮するようになつた。井上君が全力的に腦漿を絞つて見たところで、或は濱口君が人格的に民衆を引ずらふとしたところで結局どこまで到達するか。そして一部の與黨代議士によつて試みられんとする刻下の皮下注射たる轉換策がどれほどの奏效性があるのか、考へて見ればたより少なき感じがするのだ。何にせよ減稅も斷行せ、軍縮は思ゐ切つて斷行せ、これなくんば幾年も經たずして農村はしぼり粕とならんのみ。井上財政も駄目、三土財政も駄目、山条の超資本主義政策は尙更のこと。かく論じ來たりて見れば行詰りの我經濟界、財政を救濟するには行詰りの根本を究明し得る新銳によりてのみ解決ができるのだ。資本主義の番頭さんによつては七千萬民衆のためへのいい解決はもう困難となつて來た。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



世界經濟恐慌

——國際消費組合デー記念、生活問題批判演說會に於ける演說、高圓寺、一九三〇年七月四日——

大塚金之助

一

經濟恐慌の暴風は全資本主義世界市場を吹き捲つてゐる。アメリカは一九二九年高景氣の先端を行つたアメリカ合衆國を初め、全資本主義世界——サヴエート同盟を除いた全世界——は、帝國主義列强も植民地半植民地も、ヨーロッパ、アジア、南北アメリカ、濠洲、アフリカ、悉く經濟恐慌のまつたゞなかに落ち込んでゐる。

恐慌は資本主義につきものである。資本主義的生產樣式は產業循環を行ひつゝ自己運動をする。この產業循環は『安靜狀態、活況增大、繁榮、過剩生產、恐慌、停頓、安靜狀態、等々』（マルクス）の諸局面の連續である。この產業循環の頂點

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

である恐慌は、資本主義の根本的矛盾、生産力の發展と消費力の縮小とから來る。『資本主義的生産樣式は、……社會的諸關係——このなかで資本主義的生産が行はれる——を無視して、生産力の絶對的發展への傾向を含んでゐる』（マルクス）。資本家は『競爭の强制法則』に押されて生産費の低下を努めねばならず、その目的を達するために絶えず新生産工程を應用し、生産能力は連續的に擴大される。ところが社會の消費力は、『敵對的分配關係の上に立つ消費力によつて定まるものであり、この敵對的分配關係は、社會大衆の消費を……一の最小限に縮小させるものだ』（マルクス）。景氣亢進局面では、社會の生産力と社會の廣汎な大衆の消費力との矛盾が增大し、この矛盾は益々切迫した形態へと移つて行き、遂にこの矛盾が解決されねばならぬ瞬間が來る。これが恐慌局面である。つまり恐慌は資本主義の持つ『既存諸矛盾の瞬間的×××解決であり、攪亂された均衡をその瞬間のために再び立て直す强力な××』（マルクス）であり、從つて恐慌は、資本主義の存續する限り周期的に起つてこの荒療治をやるのである。

今日の獨占資本主義時代に於ては、獨占は生産を制限して價格を維持しまたは釣上げる。けれどもこれによつて獨占は資本の蓄積を增加し、この資本を自分自身の生産部門に投下しなければならず、生産はやはり增大して國外市場を求めるのである。のみならず、獨占體は、國際獨占に於ては勿論のこと、國内獨占に於ても、内部の對立を完全に消滅し得るものでない。だから『自由競爭』はなくとも、競爭を完全に排除し得るものではない。農業生産に於ては、生産制限は殊に困難である。

世界の商品市場を見ると、一方に於ては滯貨が增加して、世界は一般的過剩生産に陷つてゐる。

『吾々は今日全世界に、五億七千萬ブッシエル卽ち一千五百萬噸の小麥を持つてゐる。これは實に歷史上未曾有の高である。吾々は、人絹が使用され木棉商品の使用が減退してゐるにも拘はらず、二年分の世界消費高を一年内に紡績するに必要であるよりも以上の紡錘を持つてゐる。吾々は、次の二年間にどんなにセンセーショナルに自動車生産が盛んになつても使ひきれないほどのゴム滯貨を持つてゐる。又吾々は、多くの諸國——合衆國をも入れて——の購買力がこの本年内に吸收し盡し得るよりも以上の自動車を賣るばかりの狀態にして持つてゐる。……』（『ドイツ鑛業新聞』一九三〇・三・一五、ヴアルガ一九三〇年第一四半期報告より孫引）。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農業でも、農業技術の變革や合理化によつて過剩生産が生じ農業恐慌が起つてゐた。

國際穀物滯貨（單位百萬ツエントナー）（2）

	一九二五―二六年	一九二六―二七年	一九二七―二八年	一九二八―二九年	一九二九―三〇年（1）
サヴート同盟を除外した收穫……	九〇五	九一五	九六七	一、〇五一	九一五
消費量…………	八六九	八六一	八九四	九三六	八五〇
年末滯貨…………	三六	五四	七三	一一五	六五
平均價格（ブッシエル當りセント）……	一六一	一四一 1/2	一三七 3/8	一二七 3/4	一二七 3/8

（1）ローマ農業問題研究所の統計からマギヤールが作成したものに更に加工した。

（2）一九二九年は不作であつた。

ところが他方に於て、資本主義的合理化は一九二七年末に最高點に達し、合理化と失業との結果勞働者階級の購買力は減少した。また農業恐慌は、小農の大衆的破滅を來し、農民の分化過程は小所有者階級をプロレタリア化した。殊に植民地の農業は、單一耕作（ブラジルの珈琲、キューバの砂糖、等々）である結果、植民地農産物の價格下落によつて痛撃を受けた。支那の大衆は帝國主義者の壓迫と軍閥の戰爭とで疲弊してゐた。かうして社會の大衆の購買力が減少したため、國内市場は縮小する傾きとなり、國外市場も十分に擴大しなかつた。だから生産の増大と新販路の缺如との間の矛盾は尖銳化して來たのである。

一九二九年末、アメリカ資本主義の矛盾は、取引所大動亂となつて現はれ、擬制資本のこの高塔は地響きを立てゝ倒壞した。アメリカ恐慌は世界の一般恐慌へと擴大せざるを得なかつた。第一に生産能力の點から言つて世界の約半分を占めてゐる合衆國の恐慌は、それ一つですでに世界恐慌である。第二にすでに東ヨーロッパは別個の恐慌發現地であつた。更らに商品別（珈琲、銀、等々）に部分恐慌又は潛在部分恐慌があつた。更ちに好景氣の諸國（佛・白・スイス・スカンディナヴィア諸國）には當然恐慌要因が成熟してアメリカからのひと突きを待つばかりだつた。ヨーロッパ――チエコスロヴアキア、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、バルカン諸國（特に、ブルガリア、ギリシヤ）（ユーゴースラヴィアは例外）サヴエート同盟の隣境諸國はアメリカ恐慌以前からすでに恐慌であつた。イギリスは慢性的不景氣であつた。ドイツは資本主義上昇の限度にぶつかつてゐて、景氣は激しく交替してゐた。イタリアも恐慌の徵

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

候を早く現はした。オランダの産業周期は一九二九年のうちにその最高點を通過してしまつた。スペインは慢性的不景氣。アジア——日本は數年來不景氣にあつたが金解禁はこの不景氣を更らに深刻化せざるを得なかつた。支那は内亂で疲弊してゐる。印度の財界は不振だつた。フイリツピンも不景氣。アメリカ大陸——カナダは農業恐慌のなかにあつた上にすぐ様アメリカ恐慌の道連れになつた。メキシコには銀恐慌があり鑛業が後退し始めてゐた。キユーバには砂糖恐慌が作用してゐた。ブラジルにはゴム恐慌と珈琲恐慌、アルゼンテインには農業恐慌。ボリヴイアには錫の恐慌。オーストラリアには深刻な不景氣が二年も續いてゐた。アフリカでは埃及に最近數年間潜在的な恐慌があり、南アフリカは不景氣へと轉回しつゝあつた。かういふ風に資本主義の一般的危機の要因が到るところにあつたところへ昨秋のアメリカ取引所大動亂である。

『帝國主義時代の諸恐慌は益々より一般的となり、これらの諸恐慌は世界恐慌となる』(マギヤール)。經濟恐慌は非常な速度で全世界に波及した。アメリカ取引所大動亂は、直ちに日本の生糸に、南阿のダイヤモンドに、スイスの時計に痛打を與へた。オランダ中央統計局は、すでに昨年中にダイヤモンド工業の『重大な』沈滯はアメリカ取引所大動亂の作用だと報告してゐる。南米産珈琲の需要は急減した。アメリカ恐慌は、資本主義のあらゆる部面を通じて、株式取引所を通じ、物産取引所を通じ、外國貿易を通じて、全世界に波及した。オイゲン・ヴアルガは、一九二九年第四期概觀のなかで、『だが全資本主義世界經濟が同時に同一運動を通過しなければならぬと信じ、また恐慌段階が一切の資本主義國を同一時點に包攝しなければならぬと信ずるのは正しくないだらう。……從つて吾々は、物事を餘り機械的に考へて、もう最近數ケ月内に一切の資本主義諸國を例外なく捲き込んだ經濟恐慌が起るだらうなどゝ豫期してはならない。これも可能だ。だが必ずしもさうなるとは限らぬ』と言つた(『年報』8、一一五—六頁)。だが彼が一九三〇年第一期概觀で言つてゐるやうに、『事實に於ては全世界のあらゆる國は數ケ月のうちに經濟恐慌に引きづり込まれた。……吾々は、一九三〇年度には全世界のあらゆる國が例外なく經濟恐慌に引きずり込まれるといふ珍らしい圖を見るのだ』『全一九三〇年は恐慌年度であるだらう』(同)。その後六月になつて、ロンドンの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ウエストミンスター銀行は、世界景氣の回復を一九三二年に待つと發表した。

二

ここで世界の主要資本主義諸國の經濟情勢を極く簡單に報告しやう。

一　アメリカ合衆國

ヴァルガの本年第一期報告によると、三月末合衆國に於ける恐慌はなほ全速力で進行してをり、不景氣局面にさへもまだ到達してゐない。一般經濟情勢は、聯邦準備局指數も商務省指數も『アナリスト』指數も、一二の生產部門の季節的好轉を示しただけで、前年同期に比して甚だしい後退である。個々の生產部門では、鋼鐵工業は二月に一時的好轉をやつて三月には操業が再び惡化した。自動車生產は、市場手さぐりのために二月に增加したが大部分は賣れなかつた。建築工業の振興は、フーヴアーの恐慌對策の一つだが住宅は年來過剩生產だから振ふ譯がない。外國貿易では恐慌の作用は特に輸入の激減に現はれ、輸出も減少した。物價下落は、聯邦農務局の小麥及び棉花買上のため、一時止つたが、しかし昨年七月（最高）に比して一一%の下落、纖維及び農業生產物で最も甚だしい。小資本家の大衆的破產は『商人のための繁榮』を裏切つて激增した。勞働者階級の狀態は何よりも惡く、何等の好轉も示さず、就業度も賃銀額も減少して失業と賃銀切下げと短時間勞働の增加を示してゐる。これと共に農業恐慌は完成商品の消費の減少へと導いてゐる。失業は增加してゐること勿論だ。

その後吾々が得た報道は次のやうな恐慌の深刻化を傳へてゐる。

金融資本の執行機關たるフーヴアーを初め、勞働局長官デーヴイス、商相ラモント、メロン（ヂエネラル・エレクトリツク）、ヤング、クライから、アメリカ勞働總同盟會長グリーンに至るまでの人々は、相變らずワシントンから樂觀的な聲明を發してゐた。フーヴアーは、この恐慌のまつたゞなかにあつても決して恐慌を認めなかつた。だが彼も、遂に情勢の惡化をごまかしきれなくなつて、そのメーデー宣言のなかで、『吾々は、吾國の人民に困難と苦惱とを周期的に齎らす大きな經濟的暴風の一つを通過しつゝあつた』と恐慌を初めて公認せざるを得な

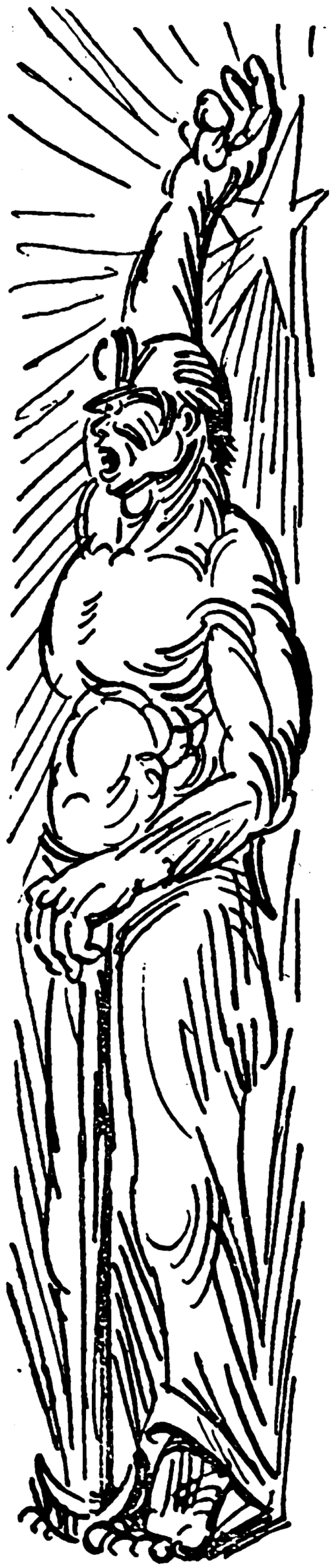
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

聯邦準備局の指數（一九二三—二五年平均＝一〇〇）（1）

	生産 總指數(2)	生産 無煙炭(2)	生産 銑鐵及び鋼鐵(2)	貨物積載(2)	株價指數(3)	使用者數(4)	賃銀支拂(4)
一九二八年一月	一〇六	—	—	一〇〇	—	九四・二	九五・七
一九二九年一月	一一七	一一〇	一一七	一〇四	一九三	九七・四	一〇〇・七
二月	一一七	一一〇	一二六	一〇七	一九二	九九・七	一〇八・〇
三月	一一八	七七	一三二	一〇三	一九六	一〇一・三	一一〇・八
四月	一二二	九五	一三五	一一一	一九三	一〇一・八	一一一・三
五月	一二三	八六	一四五	一一一	一九三	一〇一・六	一一一・二
六月	一二七	七六	一五五	一〇八	一九一	一〇一・二	一〇九・二
七月	一二四	七二	一五一	一〇八	一〇三	一〇〇・七	一〇四・八
八月	一二三	八一	一四三	一〇九	二一〇	一〇二・〇	一〇九・四
九月	一二二	一〇六	一三九	一〇八	二一六	一〇三・四	一一〇・五
十月	一一七	一一六	一二四	一〇四	一九四	一〇二・一	一一〇・〇
十一月	一〇六	九二	一〇〇	九九	一四五	九八・二	一〇二・〇
十二月	九九	一二一	九〇	九七	一四七	九四・八	九八・七
一九三〇年一月	一〇三	一〇六	九九	九七	一四九	九二・九	九四・二
二月	一〇七	一〇二	一一八	九九	一五六	九二・九	九七・四
三月	一〇四	六九	一一二	九五	一六三	九二・七	九八・〇
四月					一七一		

（1）『聯邦準備局月報』一九三〇年五月より作製。
（2）季節變動を除去す。
（3）普通工業株（一九二六年＝一〇〇）。スタンダード統計會社の指數。
（4）勞働局。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



世界經濟恐慌

——國際消費組合デー記念、生活問題批判演說會に於ける演說、高圓寺、一九三〇年七月四日——

大塚金之助

一

經濟恐慌の暴風は全資本主義世界市場を吹き捲つてゐる。アメリカは一九二九年高景氣の先端を行つたアメリカ合衆國を初め、全資本主義世界——サヴェート同盟を除いた全世界——は、帝國主義列强も植民地半植民地も、ヨーロッパ、アジア、南北アメリカ、濠洲、アフリカ、悉く經濟恐慌のまつたゞなかに落ち込んでゐる。

恐慌は資本主義につきものである。資本主義的生産樣式は産業循環を行ひつゝ自己運動をする。この産業循環は『安靜狀態、活況增大、繁榮、過剩生産、恐慌、停頓、安靜狀態、等々』（マルクス）の諸局面の連續である。この産業循環の何點

である恐慌は、資本主義の根本的矛盾、生産力の發展と消費力の縮小とから來る。『資本主義的生産様式は、……社會的諸關係——このなかで資本主義的生産が行はれる——を無視して、生産力の絶對的發展への傾向を含んでゐる』(マルクス)。資本家は『競爭の强制法則』に押されて生産費の低下を努めねばならず、その目的を達するために絶えず新生産工程を應用し、生産能力は連續的に擴大される。ところが社會の消費力は、『敵對的分配關係の上に立つ消費力によつて定まるものであり、この敵對的分配關係は、社會大衆の消費を……一の最小限に縮小させるものだ』(マルクス)。景氣亢進局面では、社會の生産力と社會の廣汎な大衆の消費力との矛盾が增大し、この矛盾は益々切迫した形態へと移つて行き、遂にこの矛盾が解決されねばならぬ瞬間が來る。これが恐慌局面である。つまり恐慌は資本主義の持つ『既存諸矛盾の瞬間的×××解決であり、攪亂された均衡をその瞬間のために再び立て直す强力な××』(マルクス)であり、從つて恐慌は、資本主義の存續する限り周期的に起つてこの荒療治をやるのである。

今日の獨占資本主義時代に於ては、獨占は生産を制限して價格を維持しまたは釣上げる。けれどもこれによつて獨占は資本の蓄積を增加し、この資本を自分自身の生産部門に投下しなければならず、生産はやはり增大して國外市場を求めるのである。のみならず、獨占體は、國際獨占に於ては勿論のこと、國內獨占に於ても、內部の對立を完全に消滅し得るものでない。だから『自由競爭』はなくとも、競爭を完全に排除し得るものではない。農業生産に於ては、生産制限は殊に困難である。

世界の商品市場を見ると、一方に於ては滯貨が增加して、世界は一般的過剩生産に陷つてゐる。

『吾々は今日全世界に、五億七千萬ブッシェル即ち一千五百萬噸の小麥を持つてゐる。これは實に歷史上未曾有の高である。吾々は、人絹が使用され木棉商品の使用が減退してゐるにも拘はらず、二年分の世界消費高を一年內に紡績するに必要であるよりも以上の紡錘を持つてゐる。吾々は、次の二年間にどんなにセンセーショナルに自動車生産が盛んになつても使ひきれないほどのゴム滯貨を持つてゐる。又吾々は、多くの諸國——合衆國をも入れて——の購買力がこの本年內に吸收し盡し得るよりも以上の自動車を賣るばかりの狀態にして持つてゐる。……』(『ドイツ鑛業新聞』一九三〇・三・一五、ヴアルガ一九三〇年第一四半期報告より孫引)。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ウエストミンスター銀行は、世界景氣の回復を一九三二年に待つと發表した。

二

ここで世界の主要資本主義諸國の經濟情勢を極く簡單に報告しやう。

一　アメリカ合衆國

ヴァルガの本年第一期報告によると、三月末合衆國に於ける恐慌はなほ全速力で進行してをり、不景氣局面にさへもまだ到達してゐない。一般經濟情勢は、聯邦準備局指數も商務省指數も『アナリスト』指數も、一二の生產部門の季節的好轉を示しただけで、前年同期に比して甚だしい後退である。個々の生產部門では、鋼鐵工業は二月に一時的好轉をやつて三月には操業が再び惡化した。自動車生產は、市場手さぐりのために二月に增加したが大部分は賣れなかつた。建築工業の振興は、フーヴアーの恐慌對策の一つだが住宅は年來過剩生產だから振ふ譯がない。外國貿易では恐慌の作用は特に輸入の激減に現はれ、輸出も減少した。物價下落は、聯邦農務局の小麥及び棉花買上のため、一時止つたが、しかし昨年七月（最高）に比して一一％の下落、纖維及び農業生產物で最も甚だしい。小資本家の大衆的破產は『萬人のための繁榮』を裏切つて激增した。勞働者階級の狀態は何よりも惡く、何等の好轉も示さず、就業度も賃銀額も減少して失業と賃銀切下げと短時間勞働の增加を示してゐる。これと共に農業恐慌は完成商品の消費の減少へと導いてゐる。失業は增加してゐること勿論だ。

その後吾々が得た報道は次のやうな恐慌の深刻化を傳へてゐる。

金融資本の執行機關たるフーヴアーを初め、勞働局長官デーヴィス、商相ラモント、メロン（ヂェネラル・エレクトリック）、ヤング、クライから、アメリカ勞働總同盟會長グリーンに至るまでの人々は、相變らずワシントンから樂觀的な聲明を發してゐた。フーヴアーは、この恐慌のまつたゞなかにあつても決して恐慌を認めなかつた。だが彼も、遂に情勢の惡化をごまかしきれなくなつて、そのメーデー宣言のなかで、『吾々は、吾國の人民に困難と苦惱とを周期的に齎らす大きな經濟的暴風の一つを通過しつゝあつた』と恐慌を初めて公認せざるを得な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

聯邦準備局の指數（一九二三—二五年平均＝一〇〇）（1）

	生産 總指數(2)	生産 無煙炭(2)	生産 銑鐵及び鋼鐵(2)	貨物積載(2)	株價指數(3)	使用者數(4)	賃銀支拂(4)
一九二八年一月	一〇六	—	—	一〇〇	—	九四・二	九五・七
一九二九年一月	一一七	一一〇	一一七	一〇四	一九三	九七・四	一〇〇・七
二月	一一七	一一〇	一二六	一〇七	一九二	九九・七	一〇八・〇
三月	一一八	七七	一三二	一〇三	一九六	一〇一・三	一一〇・八
四月	一二二	九五	一三五	一一一	一九三	一〇一・八	一一一・三
五月	一二三	八六	一四五	一一一	一九三	一〇一・六	一一一・二
六月	一二七	七六	一五五	一〇八	一九一	一〇一・二	一〇九・二
七月	一二四	七二	一五一	一〇八	二〇三	一〇〇・七	一〇四・八
八月	一二三	八一	一四三	一〇九	二一〇	一〇二・〇	一〇九・四
九月	一二二	一〇六	一三九	一〇八	二一六	一〇三・四	一一〇・五
十月	一一七	一一六	一二四	一〇四	一九四	一〇二・一	一一〇・〇
十一月	一〇六	九二	一〇〇	九九	一四五	九八・二	一〇二・〇
十二月	九九	一二一	九〇	九七	一四七	九四・八	九八・七
一九三〇年一月	一〇三	一〇六	九九	九七	一四九	九二・九	九四・二
二月	一〇七	一〇二	一一八	九九	一五六	九二・九	九七・四
三月	一〇四	六九	一一二	九五	一六三	九二・七	九八・〇
四月					一七一		

（1）『聯邦準備局月報』一九三〇年五月より作製。
（2）季節變動を除去す。
（3）普通工業株（一九二六年＝一〇〇）。スタンダード統計會社の指數。
（4）勞働局。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

くなつた。五月初め、『イヴニングポスト』紙は、『吾々は今年、目に見える上向の徴候を一つも持たずに五月の月に入る』(『日刊勞働者』一九三〇・五・五に引用)と恰かも不景氣局面に入るかのやうなことを述べた。だが上昇がないといふだけではなく、反對に恐慌の一層の深刻化に向つてゐた。

『鋼鐵業には、この春の季節的下向はもうすでに始まつたといふ形へが廣まつてゐる。今までのところ今年は、操業が能力の八一%を越したことは一度もない。ところが昨年の今頃は理論的な能力の一〇一%に達してゐた。或る者は、夏の財界が常になく緩慢になるだらうと豫期してゐる。……形勢を分析して見ると、本年中今まで鋼鐵の業態が比較的貧弱だつたのは、大部分自動車工業のせいである』(『商業新聞』一九三〇・五・二、『日刊勞働者』一九三〇・五・五に引用)。

こゝに二つの重要工業の惡化が現はれてゐる。ヂエネラル・モータースの第一期營業報告は、同社の賣上が昨年同期に比して九千五百萬弗少いことを示してゐる。鋼鐵工場の操業は五月初旬、前週に比して一%低下した。恐慌は深刻化を續けてゐた。

六月初旬の情勢も惡化を續けてゐた。『アナリスト』一九三〇・五・三〇はかう言つてゐる。

『商務省のラモント長官及びクライン博士は今秋までには財界は常態に歸ると約束したが、しかし大多數の觀測者は、さういふ積極的な指標が一つもないことに恐らく賛成するだらう。財界一般は、この二人の役人の聲明が例のワシントンの機械的なそして今日では寧ろ信用されない樂觀主義の一部に過ぎないとしか思つてゐない、と推定しても誤りではない』(『日刊勞働者』一九三〇・六・四に引用)。

『積極的な指標が一つもない』どころではなく、基礎産業は反對に惡化してゐる。フーヴアーは鐵道の工場施設の擴張のために鋼鐵註文を出させて鋼鐵生産を助けようといふのだが、しかし例へばアチソン・トペカ・サンタフエー鐵道は、四月初めにもう一九三〇年度分の新鐵道計畫を實行してしまつた。この方面では、フーヴアーの景氣回復策は失敗である。自動車生産の六〇%は、フォード及びシヴオレとの手にあるのだが、傳送帶の高速度作業はなかなか操短を許さぬ。フォード及びヂエネラル・モーターズは外國市場の關稅障壁に向つてヒステリー的な叫びをあげ始めた。土木建築カムパーニヤも一向效き目がな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

い。物價は　鋼鐵・砂糖・珈琲・人絹・生糸・ゴム・銀・錫・と低落した。農業恐慌は尖鋭化し、農業生產物の輸出（四四主要農業生產物の輸出指數）は、一九二八年七月を除いて、一九一五年以來の最低點に落下した（三月八二、四月六五）。（『農業經濟局月報』六月二日。）ナショナル・シティー銀行六月報告は五月の情勢を左のやうに特色づけてゐる。

『一般財界の狀態は五月中不滿足に續いた。この形勢の決定的轉換の徵候を希望してゐた實業家達は、この上更らに待つて自らを慰めなければならない』（『日刊勞働者』一九三〇・六・七に引用』。）

本年上半期末の樣相は更らに惡い。鐵道收益金は昨年に比して三三％減少した。十以上の大鐵道會社の純益金は四月中前年に比して半減してゐる。フォード工場は七月後半を全休することになつた。アナコンダ銅會社は配當半減を報じた。『恰かも夏枯れに向ひ何等の好轉の徵候なく株式引續き低落、就中鐵道株は昨秋の最低を下廻』つた（六月三十日外電）（『中外』七・二）。

『獨占資本主義時代の恐慌にとつて特徵的なことは　取引所投機の增大と普及とである』（マギヤール）。

ヴァルガは本年第一期概觀のなかで、取引所投機の急速な復活、株式上揭數（一日六百萬株）の增加、株價の上昇、仲買人貸付の增加（十二月末から四月二日までに五億弗以上の增加）、を指摘した。恐慌のまつたゞなかで、株價が上昇してゐるのである。貸付資本が過剩で利子安なので、素人筋は大資本家の景氣回復の宣傳にだまされて行くのである。彼は『かうして新たな取引所大動亂は準備され、それは吾々の觀るところでは多分今年中にも起るだらう』と言つた。果せるかな六月中旬、連日軟調を續けてゐたニウヨーク取引所は、十六日及び十七日、昨年の大動亂以來の大暴落をやつた。或る種の株の價格は昨秋の大動亂時以下に下つた。その損害は四十億弗（『ニウヨーク・ヘラルド』紙）と推算された。株式市場の暴落は直ちに物產市場に作用し、穀物はレコード低位に下り、棉花・砂糖・珈琲・輸出銅・ゴム・銀・生糸は暴落した。またこの株式暴落は國際性を帶びて、直ちにロンドン及びカナダに波及した。ニウヨークは、十八日またまた暴落を演じて株價は次のやうに低下した。

	工業株三十種平均	スチール株
昨年安値（十一月中旬）	一九八・六九	一五一・[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本年初	二四四・二〇	一六七一/八
本年高値（四月中旬）	二九四・〇七	一九七三/四
六月十七日	二二八・五七	一六一｜
八月十八日	二一八・八四	一五六一/四

ドイツ×××中央機關紙『××』はこの日を『暗黑の火曜日』と名づけ、『この新たな株價暴落はアメリカ經濟恐慌の急速な尖鋭化の否むべからざる徴候である』（『××』三〇・六・一八）とした。工業生産は絶えず後退（最初の五ヶ月の一般生産水準は前年同期に比して二〇％低下）、貨物積載量は絶えず減退、建築作業の停頓、失業六百萬の推算、物價低落がこゝに發現したのだ。アメリカ帝國主義者は全く恐慌の大なだれの下に押し倒された。彼等はあらゆる手段を盡して世界市場に於ける輸出攻勢をやるだらう。世界市場爭奪鬪爭は一層尖鋭化する。この暴落は世界經濟恐慌の發展テムポを加速化するだらう。

勞働者の解雇は大衆的に續々と行はれ、賃銀切下げは間斷なく報道されてゐる。失業者は益々增大するばかりである。

イギリス。ヴアルガ第一期概觀によると、イギリスの經濟恐慌は三月末漸く全幅的に展開しやうとしてゐた。生産はまださう激減はしてゐないが、失業激增と物價下落とは、例年の季節的好轉期に一般財界惡化の悲觀氣分を作り出した。炭鑛業では勞働者搾取率は增加し、生産數字はまだ高いが滯貨が增加し始めてゐた。工業は全體として下向傾向を現はした。銑鐵＝及び鋼鐵工業では生産はまだ上昇してゐたが、纖維工業、殊に綿絲工業は惡化し、アジア市場（日本、支那、殊に印度）からの驅逐によつて輸出は激減してゐる。物價は續落する。コークス生産、纖維工業の生産裝置は時代遲れであつて合理化の必要は認められながらも、外國投資を續けねばならぬことが障害となつてゐる。生産能力と販賣可能性との矛盾は、銑鐵工業（一二——七百萬噸）と鋼鐵工業（一二——九千六百萬噸）とに著しい。外國貿易は國際經濟恐慌の作用を現はした。輸出減少一千七百萬磅（九％）、輸入も減少、但し工業完成商品輸入の增加は世界經濟恐慌による世界市場の競爭の尖鋭化を示してゐる。資本市場は緩慢であるにも拘はらず、資本發行は全體として減少し、國內のための發行は前年同期四半期の六千萬から三千八百萬磅に、私企業用資本は半分に減少した。外國投資のうち最も重要なのは、合衆國の進出にも拘はらずラテン・アメリカ（四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

〇%)であり、それに次いでは印度である。勞働者の狀態は惡化した。世界市場に於ける競爭の增加、輸出の減少、農業の苦境、國家財政の不足、地代の負擔增加は、イギリス工業を重壓してゐる失業の洪水は每週增加し、勞働黨幹部は勞働者が勞働條件惡化に反對するのを防ぎ得ない。勞働者大衆は左翼化し、それは羊毛工業の大ストライキに現はれ、勞資協調は役に立たない。これらの事情の下では、イギリス大ブルヂョアジーの一部に政策變更の議が起つたのも當然だ。新聞王ローザーミーア及びビーヴアーブルック卿の合衆帝國黨がそれだ。保守黨は彼等の政策の大部分を採用、四月保護關稅へと鞍替えした。世界の工場としてのまた指導的帝國主義國としてのイギリスの地位は終る。これと共に超過利潤の上に立つてゐたイギリス式自由貿易=及び社會政策の經濟的基礎はなくなる。經濟的下部構造の變化と共に政治的上部構造も變らざるを得ない。××××××××××××××××××××××。ブルヂョアジーは國際的ファシスト戰線へ上り込む。×××××××××××××××××。

その後イギリス經濟情勢の惡化は日々報道されてゐる。最初の四ケ月に於てストライキによつて失はれた勞働日數は百四十八萬三千である。前年同期は四十八萬五千にしか過ぎなかつたから約三倍に上つてゐる。炭鑛業の一層の惡化は石炭輸出の減少が示してゐる。失業は益々激增し、遂に一千七百七十萬に達した。

ドイツ。ヴァルガの第一期概觀によると、ドイツの資本主義は一九二九年第四期に恐慌に入つたが、これは深刻な販路の限度即ち價値增殖の限度にぶつかつた。だから昨年第四期に始まつたドイツの恐慌は、アメリカ恐慌の結果ではなくて、ドイツ自身のなかの生產力と消費力との矛盾の爆發である。この經濟的基礎の上に一般的=國民的危機の諸要素が發展してゐる。重工業は生產制限を始め、國際農業恐慌はドイツにも痛打を與へてゐる。政治的危機は尖銳化し、ブルヂョア陣營內部の對立は增大してゐる。ドイツ景氣硏究所は二月末に『不景氣への移行が始まつてゐる』といふ見透しを立てたが、それは正しくない。積載貨車數は每日減少、個々の工業の生產數字は恐慌の深刻化を示してゐた。石炭生產は前年同期よりも高いが販賣は減少し、且つイギリス炭のドイツ進出が目立つて來た。機械生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

イギリス經濟統計（『經濟學協會メモランダム』二一一號による）

	生産 石炭（百万噸）	生産 銑鐵（千噸）	生産 鋼鐵（千噸）	鐵道輸送（二万噸）（1）	株價指數（一九二三年＝一〇〇）（2）	貿易指數（3） 輸入	貿易指數（3） 輸出	週賃銀の指數（一九二四年＝一〇〇）	失業（4）（千人） 男	失業（4）（千人） 女	失業（4）（千人） 合計
一九二八年一月	二〇・七	五〇六	五七四	五〇〇	二一六	九七・五	五八・五	一〇〇・五	一、〇四三	二一八	一、二六一
一九二九年一月	二一・〇	五〇九	六七三	五二二	二五九	一一〇・五	六五・七	九九・五	一、一八九	二七七	一、四六六
二月	二一・五	五二〇	七七五	四四八	二六二	九七・三	五八・六	九九・五	一、一九七	二五七	一、四五四
三月	二三・二	五三三	八四一	五一五	二四七	九六・五	五七・四	九九・五	九八〇	二二四	一、二〇四
四月	二〇・八（1）	五七一	七七三	五三二	二四二	一〇六・五	六四・八	九九・五	九六〇	二二二	一、一八二
五月	二〇・三	五九一	七七三	五二五	二四〇	一〇六・八	六八・九	九九・五	九五六	二二一	一、一七七
六月	一九・九（1）	六一四	八一二	四八四	二四〇	九六・七	五三・五	九九・五	九四二	二二一	一、一六三
七月	一八・九	六〇七	七〇八	五二四	二三二	九六・六	六三・九	九九・五	九四七	二三一	一、一七八
八月	二〇・三	六一六	七〇五	五一三	二三八	一〇七・三	六〇・七	九九・五	九五一	二四七	一、一九八
九月	二〇・四（1）	六二〇	八一一	五二三	二三八	一〇四・一	五三・九	九九・〇	九六一	二四三	一、二〇四
十月	二〇・六	六二二	七八三	五七九	二二八	一〇四・七	六〇・三	九九・〇	一、〇〇五	二四九	一、二五四
十一月	二一・三	五八九	七六三	五三六	二〇五	一〇一・二	六二・一	九九・〇	一、〇六一	二六五	一、三四四
十二月	二〇・九	五八一	六六一	四七七	二〇七	九九・〇	六〇・〇	九九・〇	一、〇七五	二六九	一、三四〇
一九三〇年一月	二三・一（2）	五八七	六七九	五二七	二一二	九七・四	五七・五	九九・〇	一、一七三	三四八	一、五三一
二月	二三・一	六〇七	七七六		二〇六	九四・四	五四・六	九八・五	一、二〇九	三七四	一、六四三
三月	二一・五	六〇一	七七三		二〇〇	九一・四	五三・〇	九八・五	一、二六七	四二七	一、六九四
四月					二一一			九八・五			

（1）大ブリテン
（2）二十工業株
（3）季節變動を除去す
（4）保險加入者だけ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ドイツ經濟統計（1）

	生産（千米突噸）石炭	銑鐵	鋼鐵	貨車積載(4)	株價指數（一九二四—六年＝一〇〇）(2)	破産數	失業者數(2)（千人）
一九二八年一月	一三、四二〇	一、一八〇	一、四六九		一四八・〇	—	一、一八九
一九二九年一月	一三、四九〇	一、〇九八	一、四七〇	三、三七六	一四六・六	八三二	一、七〇二
二月	一二、一〇四	九八二	一、二七〇	三、〇七二	一四一・七	七七五	二、二二二
三月	一三、五〇二	一、〇六一	一、三一六	三、七三三	一四一・一	九三〇	二、四六〇
四月	一三、四〇七	一、一一二	一、四一六	三、九二九	一四一・二	八八五	一、八八五
五月	一二、七五九	一、一五一	一、四二一	三、九二二	一三五・四	八四六	一、一二六
六月	一三、二二一	一、一六四	一、四三一	三、九三四	一三八・七	八〇三	八〇八
七月	一四、三六二	一、二〇四	一、四六五	四、二一八	一三五・七	八四五	七二三
八月	一四、四六七	一、一六八	一、四〇二	四、一八二	一三四・二	七三九	七一〇
九月	一三、四八〇	一、一〇九	一、二三四	三、九八〇	一三二・四	六五七	七二六
十月	一四、八三五	一、一五七	一、三七七	四、四五四	一二四・七	八四〇	七五〇
十一月	一四、一五七	一、〇九一	一、二八七	四、一三一	一一九・八	八一三	八八九
十二月	一三、六五二	一、一〇〇	一、一五六	三、四三一	一一五・二	八八一	一、二〇〇
一九三〇年一月	一四、三九八	一、〇九二	一、二七五	三、二八一	一二〇・〇	一、一〇六	一、七七五
二月	一二、一六八	九六五	一、一七六	二、九八九	一二〇・六	一、一〇三	
三月		一、〇〇七(3)	一、二〇一(3)				

(1) 經濟學協會メモランダム二〇號、及び『經濟と統計』による。

(2) 失業手當を受けるものだけだから實數ではない。

(3) ヴアルガ第一期概觀。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産は惡化し、造船、=機關車、=車輛、=自動車工業は慢性的恐慌、電氣工業も不振、建築工業も不振。つまり生産手段の生産は後退である。これは失業の結果、消費手段工業の恐慌を深刻化する。殊にあらゆる纖維工業がさうである。外國貿易は、最初の二ケ月に前年同期よりも激減してなほ下降傾向を示し、世界經濟恐慌とドイツ經濟恐慌とをはつきりと反映してゐる、金融市場は緩漫で利子安であるに拘はらず經濟恐慌は深刻化する。

その後の報道によると、景氣研究所は二月末の見透し即ちすでに恐慌の最深點へ到達したといふ見透しを捨てゝ、最深所へ段々に近よつて行くといふ意見を五月末に發表した。官廳的な意見さへも、この冬の失業は五百萬に達するだらうといふ。ドイツ民族黨指導者シヨルツは、『賃銀及び俸給切下げの形で非常時犧牲』を要求してゐる(『××』一九三〇・六・三に引用)。賃銀切下げと大衆解雇とは到るところ行はれて、××は益々激しくなつて來た。しかも他方、中央地方の財政緊縮のため、失業手當金の減額、市吏員の減俸、ベルリン市電の乘車賃の値さげ、等々が續々と計畫されてゐる。ヤング案の重壓の下にあるドイツ・プロレタリアートに向つて、××××××××は開始されてゐるのである。』

イタリア。ヴァルガ第一期報告によると、一九二九年の最後の數ケ月にイタリアの經濟恐慌は著しい度合に達してゐた。生産水準の下降は著しくはないが、一月の鋼鐵生産は前年同期に比して二〇%の低下、銑鐵生産は前年十二月に比して二〇%低下した。年度變りの木棉、=羊毛、=生糸工業は惡化し、完全に恐慌に襲はれた。建築工業も然り。船舶業は世界船舶業恐慌に合流した。自動車の輸出も減少した。ムツソリーニは、世界中が惡いんだからイタリアだけがいゝ譯がないと恐慌を公認した。農業では南イタリアが恐慌の痛打を受けた。破産數は激增してゐる。ファシズムは、その恐慌對策に、金融資本の政府としての性質を露骨に現はしてゐる。大資本企業の國家補助、軍需工業の國家補助、反對派に對する經濟的破滅をもつてする强迫。かうしてファシスト政府は、經濟恐慌を利用し、他のあらゆる人民層を犧牲として金融資本の勢力を助長してゐる。失業、小ブルヂョアの大衆的破滅、農業恐慌は、ファシストの權力支配を搖り動かし、外國の反動的新聞でさへが、イタリア當局の否認にも拘はらず、二月中旬には北イタリアの××を報告した。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

イタリア經濟統計

	生產		鐵道輸送(1)（萬米噸）	株價指數（一九二二年＝一〇〇）	破產數	失業數(2)（千人）
	銑鐵	鋼鐵				
一九二八年一月			四四二	二二三	一、〇五一	四一四
一九二九年一月	六二	一八四	四八〇	二三九	九四八	三六三
二月	四七	—	四三三	二四七	七七三	四六二
三月	六〇	—	五五四	二四二	八六二	四八九
四月	五五	一八三	五四八	二二七	九七四	二九三
五月	六一	一〇〇	五七一	二二一	九四二	二五八
六月	五七	一八四	五五五	二三〇	九五七	二二八
七月	六〇	一八六	六一六	二三五	一、〇八六	一九三
八月	五七	一六二	六一三	二三四	八六四	二〇二
九月	五五	一九〇	六〇三	二三二	九二二	二一七
十月	五九	一九〇	六二五	二二〇	一、〇四一	二二九
十一月	五五	一八〇		二〇八	一、〇二五	二九七
十二月	五〇	一四二		一九四	一、〇八四	三三三(3)
一九三〇年一月	三九	一四三		一九九	一、〇九八(3)	四六六

(1) 經濟學協會ナモンダム二〇號及び『經濟と統計』による。
(2) 官廳數字。
(3) ヴァルガ第一期概觀。

その後の報道は、イタリア統計の發表が非常に遲れる結果、甚だ僅かである。だが個々の産業の不振や、邊境地方に於ける××、軍備問題、等々についての報道が、イタリア資本主義の苦痛とファシスト政權の動搖とを推測せしめる。

、、、フランス。大資本主義諸國のうちで、一番遲く國際經濟恐慌に引きづり込まれるのはフランスである。景氣は本年二月まで持ち堪えた。だが二三の重要工業（冶金、纎維、自動車）ではすでに一月の生産は前年同期よりも低下した。從つて第一期中にはフランス經濟情勢は激しく惡化したものと思はれる。農業生産物價格の下落（一年内に三分の一）の結果、重大な農業恐慌がある。穀物と葡萄酒が最も激しい。穀物賣控えのために軍事大臣が活躍してゐる。葡萄酒は年消費の一倍半も過剩なので、四月初旬議會では葡萄酒からアルコールを作る目的で二億五千萬フランを支出する問題を議した（フランスでは陸軍軍用自動車はベンヂンにアルコールを混ぜて使つてゐる）。世界經濟恐慌の結果遊覽客は減少した。同樣に自動車工業も恐慌の打擊を受けて賣行困難である。纎維工業（殊に木綿と人絹）はずつと前から恐慌にある。要するに、フランスに於ける經濟恐慌は第一期ではやつと始まつたばかりであり、本年内に漸次充分に開展しやうとしてゐる。その後の報道は、僅かではあるが、タ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ルデュー首相の聲明やフランス植民地に於ける示威××は、國内の恐慌進行を推測させる。

これが歐米の主要諸國の狀態である。沒落期資本主義の特色として、景氣循環の好景氣の高さは低くなつて不景氣局面の長さが長くなる（イギリス、××）、國別に見ても好景氣の足並が揃はない。不景氣は益々長くなりそして恐慌は益々强烈に益々長く益々廣くなるのである。

三

昨年十月取引所大動亂に當つて、株價が十數日の間に五〇％も低下した際、株式市場救濟シンヂケートができた。モルガン商會を初め、鑛山王グッゲンハイム、チエース・ナショナル銀行、等々がウオール街と結託したのだ。チエースの經濟學者アンダーソンは、『この銀行家プールの仕事は、市場を押上げたり押下げたりすることにはない。そのたつた一つの機能は市場を秩序的にすることだ』と辯解した（『チエース經濟報告』一九二九・一一・二三）。つまり利益を目的としないといふ辯解なのだ。ところが慘落時代に株を買込んだ彼等は、本年に入つて株式市場が活況を呈して株價が反騰すると、二月末までに『持株の全部を市場で處分し、反つて利益を得たことを聲明』して解散してしまつた（『中外』三〇・三・二七）。しかも近來は株式市場は反落また反落だ。かうして獨占に妨げられて産業的投資を斷念して株式市場に向つた小資本家や、うまうまと甘言に釣られた小商人・俸給生活者・勞働者上層等は、『貨幣財産集積の强力な手段』（『資本論』第三卷の二、六頁）たる株價値下りの犠牲となつて收奪され、獨占資本家は反對に××××をしてゐるのだ。××××××、株價暴落の期を外さず、アメリカ株式プールの例に倣つて株式シンヂケートを作る計畫を立てた。

昨年十月末取引所大動亂が起ると、フーヴアーは産業巨頭會議を召集し、續いて勞働代表會議を召集した。總同盟會長グリーン（同君の年俸は二十萬圓）も招集された。この『資本家側會議は……フオード……を初めとして二十二名、いづれも今後勞働賃銀引下げを行はぬことを聲明し、……後……組合指導者等が參集し、目下係爭中のもの丶外絶對に賃銀値上げを要求せぬと聲明した』（『中外』一九二九・一一・二三）。ところが資本家側は、この約束を無視して大衆解雇をやり、賃銀切り下げを行つてゐるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

經濟恐慌の損害の××××××××××××である。

卸賣物價指數と生計指數 (1)

	合衆國 卸賣（一九二四年＝一〇〇）	合衆國 生計（一九二四年＝一〇〇）	イギリス 卸賣（一九二四年＝一〇〇）	イギリス 生計（一九二四年＝一〇〇）	ドイツ 卸賣（一九一三年＝一〇〇）	ドイツ 生計（一九一三—四年＝一〇〇）	フランス 卸賣（一九一三年＝一〇〇）	フランス 生計（一九一四年第一半期＝一〇〇）	イタリア 卸賣（一九〇一—五年＝一〇〇）	イタリア 生計（一九一四年上半期＝一〇〇）	日本(2) 卸賣（一九一四年＝一〇〇）	日本(2) 小賣（一九一四年＝一〇〇）
一九二九年一月	九九		八四・〇	九四・〇	一三八・七	一五三・一	六二八		七〇三	五二九	一八一	一八七
二月	九八・五		八六・〇	九五・〇	一三九・五	一五四・四	六三六	五四七	七〇六	五二〇	一八〇	一八五
三月	九九・五		八七・〇	九二・五	一三九・九	一五六・五	六三七		七〇三	五三〇	一八〇	一八六
四月	九八・五		八四・〇	九二・〇	一三六・九	一五三・六	六二五		六九四	五三三	一七九	一八七
五月	九七・五		八一・〇	九一・五	一三五・八	一五三・五	六二一	五五六	六八九	五二八	一七七	一八五
六月	九八・五	九九・五	八一・〇	九二・〇	一三四・九	一五三・四	六〇九		六八一	五三〇	一七六	一八三
七月	一〇〇		八三・〇	九三・〇	一三八・二	一五四・四	六一一		六七一	五二八	一七五	一八一
八月	九九・五		八二・〇	九三・五	一三七・九	一五四・〇	五九五	五五五	六六六	五二四	一七四	一七八
九月	九九・五		八一・〇	九四・五	一三八・二	一五三・六	五九六		六六六	五二五	一七三	一七八
十月	九八・〇		八〇・〇	九五・五	一三七・三	一五三・五	五八八		六六四	五二八	一七二	一八〇
十一月	九六・〇		七八・〇	九五・五	一三五・三	一五三・〇	五八二	五六五	六五七		一六八	一七七
十二月	九六・〇	一〇〇	七八・五	九五・〇	一三四・四	一五二・六	五七四		六四七		一六三	一七一
一九三〇年一月	九五・〇		七七・〇	九四・〇	一三二・一	一五一・六					一六〇	一七〇
二月	九四・〇		七五・〇	九二・〇	一二九・三	一五〇・三					一五九	一六八
三月	九三・〇		七四・〇	九〇・〇							一五六	一六三
四月											一五三	一六二

(1) イギリスの經濟學協會メモンダム『經濟と統計』その他で作成。

(2) 日本銀行調査。日本には生計指數がない。

先づ、勞働者階級は物價下落によつてどんな利益を受けてゐるか?

これらの六ケ國について、昨年下半期をとつて見ると、卸賣物價はどこの國でも一般的低落の方である。ところが生計指數が毎月微弱ながらも續落してゐるのはドイツだけである（日本には生計指數なし）。アメリカ、イギリス、フランス、イタリアでは、卸賣物價は續落一方であるにも拘はらず、生計指數は逆に上昇してゐる。所謂物價下落にも拘はらず勞働者階級の生活は苦しくなつて行つたのである。ヴアルガは、一九三〇年第一期概觀のなかで、イギリスと合衆國とを生計指數低落國のなかへ入れてゐるが、これは昨年十二月までを問題とする限り（彼はさうは明言してゐないが暗然のうちにそれまでを問題としてゐる）、誤りだ。合衆國については、彼は勞働局の各月指數に基づいて、彼の意見を立てゝゐるのだが、それによつても十一月までは低落の傾向を示してゐないのが分る。イタリアについては、十一月以後の指數が手元にまだないが、ヴアルガ概觀の指數は、一四九・〇（十一月）、一五〇・〇（十二月）と續騰してゐる。ベルギーも同じ傾向である。その外、カナダ、印度、ポーランド、ルーマニア等、經濟恐慌に強く苦しんでゐる諸國では、生計指數は上つてゐる。ルクセンブルグも然り。オーストリアは八月―一月全く動かずにゐる。日本については、卸賣物價が續落の一方であるのに、小賣物價は十月に二點騰貴してゐる。これは勞働者階級の生活費が決して續落してゐたのではなかつたことを示してゐる。これらの事實は、消費者としての勞働者階級が食料品の物價暴落から利益を得てゐなかつたといふことを意味してゐる。

本年一月以降の計數はまだ完全に手元にはないが、大體に於て生計指數は卸賣物價に追隨するだらう。けれども生計指數の低落時は卸賣物價の低落時に比べて必ずずつと遅れ、且つ生計指數の低落度は卸賣物價のそれに比べて微弱である。

合衆國をとつて見ると、卸賣物價は昨年八月から毎月續落してゐるのに、小賣物價は逆に八月に上昇して數ケ月間同一水準を保ち、やつと十一月になつて卸賣物價低落度の四分の一（〇・五ポイント）低落しただけだ。だから合衆國では恐慌に入つてから反つて生計指數が上半期よりも高くなつたのだ。

次の表はクツクの計算を更らに延長したものだが、生計指數の低落がいかに卸賣物價の低落に比べて弱いかを示してゐる。

合衆國も同じ傾向を示してゐる。卸賣物價と生計指數（もし

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

卸賣物價指數と生計指數との開き

	ドイツ 各月	ドイツ 四半期	イギリス 各月	イギリス 四半期	日本(1) 各月	日本(1) 四半期
一九二五年第三期		〇・五		六・一		
一九二六年第一期		四・六		九・四		
一九二七年第一期		九・五		一一・一		
一九二八年第一期		一二・四		九・八		六・七
第二期		一〇・三		七・九		三・〇
第三期		一二・三		一〇・五		二・七
第四期		一一・八		一二・三		五・三
一九二九年一月	一四・四		一〇・〇		六・〇	
二月	一四・九	一五・三	九・〇	八・二	五・〇	五・〇
三月	一六・六		五・五		六・〇	
四月	一六・七		八・〇		八・〇	
五月	一七・七	一七・六	一〇・五	九・八	八・〇	七・六
六月	一八・五		一一・〇		七・〇	
七月	一六・二		一〇・〇		六・〇	
八月	一六・一	一五・九	一一・五	一五・五	四・〇	五・〇
九月	一五・四		一三・五		五・〇	
十月	一六・二		一五・五		八・〇	
十一月	一七・七	一七・四	一七・五	一六・五	九・〇	八・三
十二月	一八・二		一六・五		八・〇	
一九三〇年一月	一九・五		一七・〇		一〇・〇	
二月	二一・〇		一七・〇	一六・七	九・〇	九・三
三月			一六・〇		七・〇	
四月					九・〇	

(1) 生計指數がないので小賣物價卸。

くは小賣物價)との開きは年一年と大きくなつて行き、殊に恐慌に入つてからはその開きが飛躍的に大きくなつてゐる(ドイツの二月二一點)。このことは、生計費の低落が卸賣物價に追隨して行く度合が益々少くなり、卸賣物價低落から受ける消費者の利益が益々少くなつて行くことを示してゐる。

消費者としての小農は今でも以前の高い價格を拂はねばならず、生產者としての小農は生產物を賣る場合には安い卸値によることになる。

獨占資本主義に於ける恐慌の特性の一つは、『××××が、×××からそつくりそのまゝ×××××××の上にそして人口の最も××××××轉嫁され』『誰よりも先づ××××××に持久的××××の形態で轉嫁される』點にある(ヴアルガ)。全資本主義世界の××は巨大な數に達してゐるがブルヂヨア統計はどこの國でもその實數を現はしてはゐない。

一體ブルヂヨア統計は××と利益擁護とに滿ちたものである。イタリアのファシスト政府はあらゆる公表統計を檢閱してゐる。外國貿易統計でさへ、例へばドイツでは、自國ブルヂヨアジーの利益を擁護するために、賠償會議が切迫すると國情を

惜けなく現はして見せるために手加減が加はつてゐる疑ひがある。勞働者の生活に關した統計となると、ブルヂョア官廳統計は××だらけだ。マルクスは『資本論』でよく統計の××や××を暴露した。イギリスでは、一八六七年までの二十年間に、十三歳以下の工場使用少年が官廳統計面では飛躍的に減少して、外觀いかにも工場法が勵行されてゐたかのやうだ。だがこれは、『大部分は、資本家の搾取欲と兩親のいんがうとに任せて少年の年齢をごまかした檢定醫の仕事』だつたのだ（『資本論』第一卷カウツキー版三四一頁）。もう一つの例。×××イギリス資本主義は、一六八〇年代には、イギリス勞働者階級を極度に貧窮化させてゐたが、その時マルクスはかう言つた。『……資本の蓄積と共に××××從つてまた勞働者の自覺が發展する度合につれて、官廳統計といふものは愈々益々、貧窮の現實の程度を××××ものだ』と（五九〇頁）。パリ・コミユーン以前にすでにさうだつた。それから七十年を經てゐる今日、多くの歷史的鬪爭を經て來てをり、しかも資本主義の全般的××と××の××××とに直面してゐる今日、官廳の勞働者統計があてにならないのは當然である。

『官廳的に』發表された數字を集めてゐる國際聯盟の統計によつて（『統計月報』一九三〇・五）計算して見ると、聯盟諸國の一月の失業總數は五百萬といふことになつてゐて、合衆國も日本も入つてゐない。吾々は所謂『プロレタリア的』××的經濟研究法』による×××××××の推算を現實に近いものと考へる。

資本主義世界の失業者數（一九三〇年一月）

アメリカ——	
合衆國	五、〇〇〇、〇〇〇
カナダ	二〇〇、〇〇〇
メキシコ	五〇〇、〇〇〇
南アメリカ	一、〇〇〇、〇〇〇
ヨーロッパ——	
ドイツ	三、五〇〇、〇〇〇
イギリス	二、〇〇〇、〇〇〇
イタリア	八〇〇、〇〇〇
オーストリア	四〇〇、〇〇〇
ポーランド	四〇〇、〇〇〇
チエコスロヴアキア	四〇〇、〇〇〇
ハンガリー	三〇〇、〇〇〇
ブルガリア	二〇〇、〇〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ユーゴースラヴイア……………………	二〇〇、〇〇〇
ルーマニア…………………………	一五〇、〇〇〇
ギリシヤ…………………………	一〇〇、〇〇〇
スペイン及びポルトガル…………………	一五〇、〇〇〇
スカンデイナヴイア諸國………………	一五〇、〇〇〇
その他（オランダ、サヴエート同盟の隣接諸國）	一〇〇、〇〇〇
オーストラリア…………………………	二〇〇、〇〇〇
アフリカ——	
南アフリカ…………………………	一〇〇・〇〇〇
アジア——	
日本…………………………	一、〇〇〇、〇〇〇
（計）	一六、八五〇、〇〇〇

一月世界失業總數一千七百萬。その後個々の國からの報道は失業の一層の增大を傳へてゐた。例へば二月二十五日にはすでにオーストリアの失業は四十萬から四十五萬に增加したとの報道があつた。世界經界恐慌は一月以後益々深刻化したのだから、今日の世界失業は二千萬以上と推定していゝ。イギリスの失業保險の被保險者中の失業者は、例年の春の減退とは逆に、一月の百四十二萬から六月の百七十七萬に增加してゐる（一二%）から、その割で行くと六月には世界失業二千萬以上となる。この推算には、印度の工場及び農村失業者、何百萬に達するであらう支那の失業者が計算に入つてゐないが、資本主義世界の失業者及びその家族を合算すると一億に近くなる。

失業には有機的失業と季節的失業と恐慌に基づく失業とがあるが、世界經濟恐慌は、今後益々失業を增大させるのである。

フーヴァーは一月二十一日、『雇傭の增加は實際上あらゆる産業で增加してゐる。……諸報告は、この增加が全産業世界に及んでゐることを示してゐる。それは有望な徴候だ』といつもの樂觀的聲明を發した。ところが聯邦準備局の三月報告は、九月最高一〇三・四から每月低落一方であつて一月及び二月は九二・九、三月は九二・七に後退した。然るに三月六日アメリカ××××及びTTULの組織した失業者大示威に脅かされた彼は、三月七日またもや、『すべての證據は、雇傭への打撃の結果が次の六十日のうちに過ぎ去るであらうことを示してゐる』と聲明した。三月初旬勞働長官デーヴイスは、失業者は三百萬人であると發表した（『ヴイルトシヤフツ・デイーンスト』一九三〇・五・一六）四月一日、グリーンは失業問題調査上院委員會で失業者三百七十萬、勞働者の二五%と報告した。

フーヴァーは失業對策でも例の如く樂觀主義で、土木建築の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

振興を失業對策としてゐる。農相ハイドは六月五日インディアナポリスの共和黨州大會で、フーヴァー對策の成功を祝し、失業は季節的のものだけだと聲明した。米國失業救濟聯盟も亦たフーヴァー對策を支持してゐるが、その大々的土木事業をもつてしても現失業者の三分の一乃至五分の一しか救濟できないことを自認してゐる。

商相ラモントは六月二十六日失業者數は豫想より遙かに少くて二百三十萬であると發表した。勞働總同盟のグリーンは三百九十萬（俸給生活者及び農村勞働者を含まず）だと言つた（『東日』一九三〇・六・三〇）。ところが米國失業救濟聯盟の『科學的』調査によると、それが六百六十萬であり且つ刻々增加するといふことになつて、今までの評價が悉く過小であることが分つた。だがこの數字も決して實數を把握し得ない、恐らく實數よりは百萬位少いだらうと言はれてゐる（『日刊勞働者』六・七）

イギリスの失業は每週增大するばかりだ。三月には每年失業が減少するのだが、それが減少しないのは經濟恐慌の影響であり、また數ケ月に亘る炭鑛業の大衆的解雇の結果である。本年一月初めには被保險者中の失業者は百四十八萬であつたのに、六月中旬には百七十七萬となつた。半年の間に約二二%の增加である。失業者實數は勿論これよりも多いのである。失業對策は、計畫ばかりでまだ何の實效もあげてゐない。たとへその土木建築といふ對策が實行されても年十五萬人（現在の十分の一以下）を救濟し得るに過ぎない。勞働黨の選擧スローガンだつた失業救濟は完全に失敗し、失業者は同黨が政權についてからすでに七十六萬增加してゐる。勞働黨政府はこの問題で一つの危機を經驗した。近いうちに政府の更らに重大な危機が來るであらう。

ドイツの經濟恐慌は失業に最も明白に現はれてゐる。二月一日に三百三十九萬の求職者があり、そのうち國家扶助を受ける者は僅か二百五十萬であり、しかも今はそれの扶助が奪はれやうしてゐる。ドイツ勞働總同盟の失業率は三月、總體では二一・八%、短時間勞働者が二一・一%、前年に比しこの失業の增大は恐慌の結果である。鑛山業には短時間勞働の形で失業が現はれてゐる。二月末以來數千の坑夫が大衆的に解雇され、なほルール鑛山は本年内に五乃至六萬の坑夫を解雇するものと想像されてゐる。恐慌の影響による失業の外に有機的失業も大きな

役割を勤めてゐる。長期失業は益々増加してゐる。ドイツ資本主義は上昇の限度にぶつかつたのだから、合理化は更らに激しくなり、ドイツ・プロレタリアートは資本主義の××まで大衆失業に苦しむのである。イギリスと同じである。

イタリア失業の急増は、恐慌の一番いゝ證據である。官廳統計（失業の一部を包括するのみ）でも一月失業數を四十六萬六千と報告してゐる。イタリア勞働組合總同盟の報告によると、ミラーノの十六の大經營の使用勞働者數は、一九二一—二六年平均の五萬から一九二九年第四期までの四年間に三分の一に減じてゐる（アキラ）。この方が實相に近いだらう。

かうして大衆失業の洪水は全世界を覆ひ、資本家の××××は益々强烈となつてゐる。强力な獨占組織は中小資本を犠牲として増大しつゝある（各國破産數の激増）。全世界の農民は、農業恐慌の結果、大衆的に破滅してゐる。國內××は×××し、ストライキは増加しまた××××を遂げる。各國の政府及びブルヂョア政黨には動揺と危機がはらまれてゐる。商品の强行的輸出による市場爭奪戰は尖鋭化する（蘭領印度への日本の新進出、イギリス綿糸と日本綿糸イギリス、勞働黨政府の支那經濟使節派遣案、英國の保護關税論と米國。資本輸出の闘争は激化する（南米に於ける英米）。帝國主義列强の植民地×××、×××××××、××××××××。そして×××××××××××××××××（ヨーロッパ經濟聯盟、追記——フインランドに於ける反ロシア派首領の組閣、ルーマニアのヨーロッパ聯盟加入、等々）。

糖尿病の臓器療法

糖尿病に對しては從來適當の治療劑がなく食餌療法に依つの外なかつたときインシユリンと云ふ注射劑が發見されたことは本病患者に對し一の福音であつた。然しこれは注射に限り有效でその儘內服しても無效に終ることは實際上非常に不便であつたが、先年獨逸のフオルネツト博士が初めてインシユリンと命名して一般に提供したランゲリンが糖尿病の治療に對しインシユリンの如く急效はないが同時の效果があることは既に多くの實地醫家によつて證明せられてをる。注射の如き危險や副作用が絕對になく丸劑であるから何人も容易に用ひ得ることはインシユリン注射の缺點を補ふて餘りあり糖尿病患者の大部分たる輕症及び中等症に對し信頼するに足る治療劑として賞用せられて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



勞働組合法案を繞れる渦卷

河上肇

資本家團の反對運動と之に對する改良主義者たちの抗爭によつて惹き起されてゐる騷音の欺瞞的效果

目次

內務省社會局の立案に成れる勞働組合法案を繞つて、對立的な潮流が今一種の渦卷を起してゐるかに見える。だが此の渦卷を起してゐる潮流は果して本質的に對立してゐるものであるか？　それが先づ嚴密に分析されねばならぬ。

渦卷の源泉の一つは資本家團である。――全資本家階級の參

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

謀總本部たる工業クラブ理事長の團および日本商工會議所會頭郷の二氏は、勞働組合法の制定に反對するため『全國主要の資本ならびに事業團體』の共同戰線を張るの必要を認め、去る五月二十二日各種團體の代表者を工業クラブ本部に召集し『このたびの社會政策審議會の答申にかゝる勞働組合法案の内容は、歐米にも見ざる過激なる階級的勞働組合法案であつて、このまゝ議會を通過して施行せられることになれば、それは我が産業に惡影響を及ぼすものであるのみならず、勞働者そのものの利益を阻害するものである』といふことに意見を纏めた。この烽火を合圖に、全國各地の資本家團が、多かれ少かれ何程かの具體的内容を具へたそれ〲の決議をもつて登場した。かくて謂はゞその知行高に應じてそれ〲の貫祿を具へた諸大名が舞台に出揃つた頃を見計つて、六月二十四日に——それは前記の烽火が擧げられてから約一ケ月後になる——資本の『上使』としての團ならびに郷といふ二人の男爵は、形式的には被支配者であり實質的には支配者であるにふさはしき態度をもつて、濱口首相をその官邸に訪問した。新聞紙の報道するところによれば、會見後資本家代表は『首相は一々首肯されて、よく拜聽して置きますといふお話であつた』と云ひ、首相は『私の正式の御返事は、御意見はよく承つて篤と考慮いたしませう、といふのであつた。同法案に對する反對意見の中には考慮すべきところもある』と云つてゐる。資本家の作戰は既に何程かの効果を收めたやうである。かくて五月末には、『如何に資本家側の頑强な反對があつても、これを押し切つて、最初の方針どほり原案のまゝ來議會劈頭に提案してその實施を期すると、言明してゐる』と傳へられた安達内相も、(五月二十七日『大阪朝日』參照)、それから一ト月あまり經つた後には、『最初の意氣込どこへ』といふ見出しの下に、『社會局案を發表したのは世間の各方面の反響を試したのだから、決して原案通り少しも修正しないと固執してゐるのではない』と言明したと傳へられてゐる。(七月二日『東京日日』參照)

◇

右の如き資本の横暴は、何程か大衆の憤慨を挑發した。そして改良主義者達は、この大衆の憤慨こそ、百パアセントに利用する値あることを直感した。そこで無産黨の幹部は急に色めきたち、資本家の挑戰に向つて抗爭することとなつた。組合法案

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を繞つて描かれてゐる渦卷の源泉の今一つはこれである。——すなはち六月二十五日には、先づ社民黨大衆黨が共同して一の聲明書を發表し、更に二十七日には、大衆黨が『全無產黨共同して勞働組合法獲得のための勞働者大會を開催したい』といふことを他黨に申込み、なほ勞働組合方面においては、同日勞働總同盟が本部に中央委員會を開いて、『我等は玆に資本家團體の挑戰に應じ、我等の全能力を傾けて、完全なる勞働組合法獲得のために徹底的に鬪爭する決意を有する』ことを聲明し、次いで七月二日には、社民黨、大衆黨、全民黨、統一協議會の四黨が(勞農黨は之に加はらず、別に同黨獨自の勞働組合法案を發表して、その左翼的立場を明かにした)『組合法獲得無產黨共同鬪爭委員會』なるものを作り、そのスローガンとして、(一)自主的勞働組合法の獲得、(二)團結の絶對自由、(三)ストライキの絶對自由、(四)勞働組合政治行動の絕對自由、(五)一切の資本家的勞働組合法反對の五つを掲げた、等々。

◇

以上の如くにして描かれ來つた一種の渦卷は、それ自身としては甚だしく反動的な勞働組合取締法であるところの社會局案の本質を覆ひ隱し、その成立および實施はやがて勞働者階級に大なる利益を與ふるものであるかの如き幻想を、廣く且つ強く一般勞働大衆に刻みつけるため、大なる機能を發揮することとなつた。このことは何よりも改良主義者たちにとつて甚だ好都合なことであつた。彼等は今、與へられてゐる斯かる好都合な狀勢を百パアセントに利用するため、彼等自身の言葉によれば、その『全能力を傾けて徹底的に鬪爭する決意』をもつてゐる。

社會局案そのものの反動性と欺瞞性については之を後に述べよう。こゝには先づ、資本家側および無產黨側における以上の如き運動が、何故社會局案の反動性を隱蔽するに役立ちつゝあるかを述べよう。

第一に、資本家團の猛烈なる反對は、社會局案が勞働者階級のため甚だしく有利であり、從つて資本家階級のため甚だしく不利であるかの如き幻想を一般に植ゑ付けるため、大なる效果をもつてゐる。資本家團は、社會局案をもつて、歐米にもその類例を見ざる過激なる階級的法案と言つてゐる。社會局案そのものはどんなものだか、世間には廣く知られてゐない。だから

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之に對する以上の如き非難のみが新聞紙等々で撒き散らされると、それが人々の頭腦を刺戟して、空中に一の極端に進歩的な法案を描き出だす反射作用を起さしめる。その際資本家團は遲滯なく次のことを附け加へる。『この法案がもしこのまゝ議會を通過して施行せられることになれば、それは我が産業に惡影響を及ぼすものであるのみならず、勞働者そのものの利益を阻害するものである』と。我が産業に惡影響を及ぼすとは、おれたちの資本家的産業に惡影響を及ぼし、おれたちの利潤、おれたちの儲けが減る、といふ意味なのだ。しかしそれだけ主張したのでは公平に見えぬから、『それは勞働者そのものの利益をも阻害するものである』といふことを、急いで附け加へることを忘れはしない。正直な勞働者は之に向つて次の如く感謝せねばならぬのでもあらう。——どうも有りがたう、資本家階級の紳士諸君、諸君はいつでも自分たちの利益を圖ると同時に、勞働者の利益をも圖つてゐてくれるのだ。さうだ、紳士諸君の哲學によれば、資本家階級の利益と勞働者階級の利益とは完全に一致する。だから、もしも社會局案が紳士諸君の利益に惡影響を及ぼすものであれば、それは疑ひもなく同時に、結局は勞働者階級の利益を阻害するものであるに相違ない。そんな法案が議會を通過しては俺たちもたまらない。紳士諸君、どうぞ諸君の反對運動を熱心に續けて、政府の監視を緩めないでゐてくれ！

　他方において、社民黨、大衆黨、全民黨、統一協議會乃至勞働總同盟等の勞働組合法獲得運動は、反對の方向からの作用により、社會局案の反動性を隱蔽するため、資本家團の運動と全く同じ效果をもつ。勞働總同盟は『資本家團體の挑戰に應じ、我等の全能力を傾けて、完全なる勞働組合法獲得のために徹底的に闘爭する決意を有す』と聲明してゐるが、一體どこに完全なる勞働組合法案が具體的に存在してゐるのだ？　それが勞農黨案を指すものでないことは明かだ。何故なれば、それは勞農黨案の發表された以前の聲明に屬するのであるから。然らば、完全なる勞働組合法案とは社民黨案を指すのであるか？　社民黨案は、後に明かにするであらう如く、社會局案と大同小異のものだ。諸君には此の如きものが完全なる勞働組合法案として映じるのであるか？　いづれにしても諸君の聲明は、社會局案を理想化する上に與かつて力がある。新聞紙の傳へるところによれば、『西尾末廣、松岡駒吉氏等は、（六月）二十七日安達内相

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を訪問し、……政府はかねての聲明に基づき、資本家側の要求に屈することなく、斷然完全なる組合法制定に向つて努力されたい旨を要望して辭去した。』そしてこの記事の見出しには、『資本家に屈せず所信を通せ』とある。これらの記事は、諸君の希望する『完全なる組合法』なるものが、少くとも社會局案に近きものたることを、人々に印象づけることにおいて、少からざる效果をもつた。そしてまた、諸君が斯かる形式において——すなはち先きに資本家階級の代表者たる團および鄕の二人の男爵が採つたと同じ形式において——行つたところのブルヂョア政府當局者に對する要望は、ブルヂョアジーの×××以外の何物でもない××を、階級超越的なものと見えしめる點において、副次的の效果をもつた。これはブルヂョアジーが常に歡迎するところのものである。

最近に成り立つた四無産黨の組合法獲得共同鬪爭委員會は、以上の效果を擧げる點において、今後一層有力に且つ積極的に作用するであらう。試にそのスローガンを見よ、あるひは團結の絕對自由といひ、あるひはストライキの絕對自由といひ、あるひは勞働組合政治行動の絕對自由といふ。吾々はこれらに對して何等の異存をはさむものではない。たゞ吾々が問題とするところは、諸君が斯かる抽象的なスローガンによつて大衆を動員せんと企てることが、具體的には何を目標としてゐるかである。その看板には僞りがある。何故なれば、社會局案は勿論のこと、社民黨案にしても、大衆黨案にしても、そこには團結やストライキや政治行動やの絕對自由を保障せるが如き規定の一片ですらが斷じて存在してゐないからである。これに反し、勞農黨案はその第一條に團結の絕對自由を規定し、第二條に政治的活動の絕對自由を規定し、更にストライキの絕對自由のためには——或る新聞紙が勞農黨案はストライキ保護法であると批評したまでに——數多くの規定を設けてゐる。これらの自由を明確に規定せるものは他に全くないのであり、そのためにこそ勞農黨は自ら獨自の案を立てたのである。だから、もし諸君のスローガンが果して本氣で揭げられたものであり、それらのものに諸君の運動の根本的精神が僞りなく集中的の表現をされてゐるのなら、諸君は絕對的に社會局案に反對せねばならぬのであり、また既成の社民黨案および大衆黨案は直ちに之を廢棄して、たとひ勞農案を支持することは出來ないにしても、少くと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も諸君のスローガンを眞實に具體化した別個の法案を提供せねばならぬのである。だが諸君はもちろん左樣なことを夢想だもしてゐない。だから、第五のスローガン『一切の資本家的勞働組合法絕對反對』を政府案反對の意味に訂正せんことを勞農黨が提議するや、諸君は直ちに之を否認せざるをえなかつたのである。それは諸君の腹の底には、政府案そのまゝでも結構だといふ考が橫たはつてゐるからだ。團結の絕對自由、ストライキの絕對自由、政治行動の絕對自由、そんな風な抽象的のものなら掛け聲の勇ましいほど結構だ。諸君は譯なくそれに贊成する。だが、正にそれらの自由を散々に拘束した社會局案に對して反對するのか贊成するのかと云ふ具體的な問題になると、諸君は之に反對することの言明を極力避けようとするのである。だから、實際のところは、團結の絕對自由、ストライキの絕對自由、政治行動の絕對自由、等々のスローガンが、これら諸君の手にあつては反動的な社會局案（乃至それと大同小異の社民黨案または大衆黨案）擁護の楯に轉化させられてゐるのである。これは勞働大衆を愚弄せる驚くべき且つ憎むべき欺瞞であるが、しかしこの欺瞞が成效するかぎりにおいては、團結の絕對自由、ストライキの絕對自由、政治行動の絕對自由、等々の諸君のスローガンは、社會局案をもつて『歐米にも見ざる過激なる階級的組合法案』となせる資本家團の鬪爭スローガンと相俟つて、勞働大衆の眼に映じる社會局案をして、その反動的な本質とは逆に、極めて進步的なものであるかの如き現象形態をもたしめることに成效するであらう。

かくて、すでに十分の反動性を有する社會局案は、更に十二分の反動性を具備するものに改修されることにより、やがて議會を通過するに至るでもあらう。そして民政黨內閣は勞働大衆の前に進步的立法をなしたることを誇り、なかんづく改良主義者たちは彼等の謂はゆる大衆的階級戰の展開により勞働組合法をかち取りたることを誇るであらう。だが、團結の自由、ストライキの自由、組合の政治的活動の自由、等々は、資本家團、政府、改良主義者の間に取り結ばれる三角同盟により、今日よりも猶ほ酷しき束縛の下に窒息するに至るであらう。

社會局案は一の取締法案にすぎない、それは現在の勞働組合に何物をも與へてゐないが、しかし多くの束縛を加へようとしてゐる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働組合の法的公認は、もとより吾々の重要なる鬪爭題目の一つである。吾々はそれに對して反對しないのみか、最も强くその必要を認めるものである。だが吾々の要求するところのものは、勞働組合の保護法でなければならず、單なる取締法であつてはならぬ。それゆゑに、社會局案に對する吾々の態度を決定するためには、社會局案そのものは果して如何なるものであるかを、先づハツキリと認識しなければならぬ。以下それについて述べよう。

　元來、社會局案は、勞働組合を公認するといふ名の下に、これが取締法を制定せんことを企てた以外の何物でもない。それは現在すでに吾々のもつてゐる組合に、何物をもプラスするのではない。もしそれが何等かのものをプラスするとせば、それは今日より以上の嚴重にして煩瑣なる束縛と取締とである。

　勞働組合法が成立しなければ、勞働者は勞働組合を組織しえないのではない。吾々は今日既に種々の勞働組合を組織してをり、そしてそれらの勞働組合は――公然××支持をその綱領に掲げてゐるものは別として――事實上みな合法性をもつてゐる。勞働組合を公認するとは、この既存の事實を法律の條文で書き現はすと云ふだけのことである。社會局勞務課長一戸二郎氏の説明（『鐵道軌道經營資料』昭和五年二月號所載）によれば、これは『要するに、現在の事實として存在してゐる勞働組合に對しては何物も與へないのであります、また同時に何物をも奪ひませぬけれども、しかし何物をもこれに加へて居らぬのであります。……勞働組合の現狀に對しては何物も加へず、何物をも奪はず、現在あるがまゝをそのまゝ法の上に移して之を國家が認めたものであると云ふやうに、私は考へて居ります』と云ふのだ。後で明かにするやうに、何物をも奪はぬと云ふのはウソだが、何物をも與へてゐないと云ふのは本當だ。そのことは直接の起案者自身が此の如く明白に説明してゐるのだ。このことが先づハツキリと頭に打ち込まれなければならぬ。『何物も與へない』ものに對して『獲得運動』を起すといふことは、馬鹿の骨頂だ。

『何物も與へない』だけならまだよいが、社會局案は勞働組合に對し何物も與へないと同時に、それから色々の物を奪つてゐる。もし何物かを與へてゐるとすれば、それは組合の活動に對する種々の制限束縛である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

試に社會局案なるものを手に取つて見よ。（社會局案、乃至社民黨案、大衆黨案等は、勞農黨獨自の法案と共に、七月一日發行の『勞働農民新聞』に掲載されてゐる）。その第一條は後で吟味するから、暫くおく。第二條は『勞働組合を設立したるときは、其代表者は組合設立の日より二週間内に、規約、代表者の氏名および住所ならびに主たる事務所所在地の場所を具しこれを行政官廳に屆出づべし』といふのだ。これは屆出の義務を負はされたものだ。株式會社に關する規定などでは權利確保のために登錄が必要となつてゐるが、こゝでは取締が問題なのだから屆出の義務が課せられてゐる。これによつて組合の負擔は先づ一つ殖えた。第三條は、勞働組合の規約に記載すべき事項を規定したものだが、その事項としては、名稱、目的、主たる事務所の所在地、組合の構成に關する規定、組合員の加入脫退に關する規定、會議に關する規定、組合費その他會計に關する規定等が擧げられてゐる。これも組合の新たなる負擔に關する一つの規定だ。第四條から第七條に至るまでは、勞働組合が法人となる場合のことだから略しておく。第八條は『左に揭ぐる事項は組合員の總會の決議を經べし』として『一、基金を設置し又は廢止すること、二、規約を變更すること、三、聯合團體を設立し又は之に加入し若しくは之より脫退すること、四、組合を解散、合併又は分割すること』等を揭げてゐる。これもまた組合のあらたに蒙る制限の一つだ。第十一條は『勞働組合は組合員の脫退に關し不當なる條件を定むることを得ず』と規定してゐる。やはり組合のあらたに蒙る制限の一つだ。第十四條は『行政官廳は勞働組合に對し其の業務もしくは財産の狀況または組合員の員數に關し報告を爲さしむることを得』と規定してゐる。そこでもしこの條文が成り立つたなら、勞働組合は每日々々又は日に何回もにわたつて、例へば會計狀態を報告しろと請求されても、一々それに應ぜねばならぬことになる。ストライキの場合などは、それによつて會計の刻々の狀態が手に取るやうに敵に知られることとなるであらう。次の第十五條は『勞働組合の會議の決議、法令に違反し又は公益を害するときは、行政官廳は之を取消すことを得』といふのだ。ところで資本主義社會における謂はゆる『公益』なるものが何を意味するか、それは行政官廳により如何なる內容のものと理解されるか等のことは、今更言ふまでもあるまい。更に第十六條は『勞働

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

組合の規約、法令に違反し又は公益を害するときは、行政官廳はその變更を命ずることを得』と云ふのだ。かくて組合の決議も規約も行政官廳の思ふがまゝに取消されたり變更を命じられたりすることになるのだ。それから第十七條は『勞働組合の行爲、安寧秩序を紊るときは、主務大臣は勞働組合の解散を命ずることを得』といふのだ。資本主義社會における謂はゆる『安寧秩序』が常に行政長官により何人××××安寧秩序と理解されてゐるかも、すでに周知のことだ。要するに勞働組合は內務大臣の思召し次第で何時でも解散されるのだ。かういつたやうな種々なる義務、制限、束縛、取締、これらが社會局案の各條に規定されてゐるところのものだ。

尤もこれほど多くの取締規定を設けるについては、他方において少しは勞働組合の利益になるやうな色がつけてある。その一は第十二條で、『雇傭者は勞働者が勞働組合の組合員たるの故をもつて之を解雇することを得ず、雇傭者は勞働者が勞働組合に加入せざること又は組合より脫退することを雇傭條件となすことを得ず』といふのが、その內容だ。これは僅に勞働組合保護の規定であるやうに見える。だが、假にかういふ規定が設けられたとしても、資本家は『勞働者が勞働組合の組合員たるの故をもつて之を解雇する』場合に、いくらでも他の理由を之に置き代へることが出來る。なほその上に、假に資本家がこの規定に違反したところで、彼れは何の制裁を蒙る恐れもないのだ。禁止規定には一定の制裁（罰則）が設けられてゐるのが普通だが、この第十二條は明かに禁止規定であるにも拘らず、それには何等の罰則も附加されてゐないのである。しかし、それにも拘らず、それは少くとも外見上、資本家の『神聖なる契約の自由』を制限するかに見えてゐるので、資本家團は、立案者の斯かる遠慮がちな控目の規定に對してすら、囂々たる反對を唱へてゐる。何の制裁もない禁止規定だから、在つても無くても同じことだが、しかしこんな規定があると何彼につけて面倒だといふので、資本家團は猛烈な反對をしてゐるのである。かういふ規定は、彼等の言葉によると『我が產業に惡影響を及ぼす』のだ。

勞働組合の利益になるやうな色のつけてある今一つの規定は、第十三條だ。それには次の如く規定してある。『勞働組合の役員または組合員が勞働條件の維持または改善に關し、勸誘そ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の他の方法により、他人をして勞務を停廢せしめ又は雇傭契約を解除せしめ若くは之を締結せざらしめたるに因り、雇傭者に生ぜしめたる損害については、勞働組合、その役員および組合員は、賠償の責に任ぜず。』この條文の表現の仕方は、階級法律に特有な難解さを具へる點において典型的である。それは支配する者に理解されても支配される者には理解されえない。しかし簡單に言つてしまへば、これはストライキを保護したつもりの規定なのである。すなはち組合の役員または組合員が、他の人々をストライキに引き入れたために、資本家に與へた損害については、組合も組合の役員もまた組合員もその賠償の責に任じない、と云ふのである。勿論のことだが、この規定もまた資本家の攻撃の的の一つとなつてゐる。だが資本家諸君はそんなに心配することはない、何故なら、そこにはチヤンと『勸誘その他の方法により』といふ制限が設けられてをり、そして茲に『勸誘その他の方法』とは、勸誘その他一切の方法を意味するのでなく、勸誘その他これに類似の方法を意味するに過ぎぬのであるから。しばらく一戸課長をして此の條文の意味を説明させよう。『決して之はストライキの場合に總ての賠償責任を之で無きものとしたのでは決してないのであります。こゝに「勸誘その他の方法により」とありますのは、勸誘と同一程度と認められるやうな平穩な方法によると云ふことであります。「その他」といふ言葉の中には、勸誘に準ずべき平穩な行爲を見てゐるのでありまして、暴行脅迫等の行爲は勿論この規定で見て居らぬのであります。』かういふのが立案者の趣意だ。だから例へばストライキが起つた場合に、吾々が就業中の勞働者に向つて『どうぞ、諸君もストライキにお加はり下さい』といつた調子の『平穩な方法』で『勸誘』したのなら、その結果について民事上の責任を負はないでも濟むが、しかしそれ以上に出たら駄目だと云ふのである。ストライキ保護のたつた一つの規定たる第十三條の内容は、こんなものなのだ。しかもそれすらが現在あるがまゝの勞働組合に何等新たなるものを與へたのではない。何故なら、ストライキのために資本家の蒙つた損害を、組合や組合の役員または組合員が賠償したと云ふことは、日本では組合が出來てこのかた嘗て一度もその實例がないのであるから。

◇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

要するに、社會局案は勞働組合に對し『何物をも與へてをらぬ』、もし何等かのものを與へてゐるとすれば、それはその各條に規定されてゐるところの種々なる義務、制限、束縛、取締である。もしこんな法律が出來たならば、勞働組合は今まで嘗て經驗しなかつた煩瑣なる種々の手續を履まねばならず、また法律の明文を楯にして官憲から種々取締を受けねばならぬ。極端にいへば、勞働組合のためには百害あつて殆んど一利もないのである。もし勞働者大衆がこんなものを熱望してゐるとすれば、それは全く勞働組合の公認といふ美名をもつて空中に一の幻想を描くやうに仕向けられてゐるからだ。吾々は今こそ一日も早くその幻想をうち破らねばならぬ。

人あるひは吾々を非難して言ふであらう。社會局案ですら資本家團の猛烈な反對があつて、それが果してそのまゝ議會を通過するか否かが危ぶまれてゐる今日、社會局案以上のものを主張したからとて、それが到底實現されえないことは分かり切つてゐる。ところで吾々は、どうせ十のものが得られなければ、せめて五だけのものを獲ち取らねばならぬ。十のものが得られないからとて、五のものまで投げ棄てるのは愚である。して見れば、社會局案だとて決して滿足なものではないが、せめてそれだけのものをでも獲ち取るために、吾々は力を協せて戰ふべきではないか、と。

こんな説が出るのは、勞働組合法とさへ云へば、どんなものでも、多少に拘らず、勞働組合の利益になるものだと云ふ考が、人々の頭の中で先入主となつてゐるからである。同じ勞働組合法といふ名稱の中へ、プラスのものとマイナスのものと、かかる對立物が含まれ得ると云ふことを、忘れてはならぬ。同じやうに勞働組合法と題されてゐても、その中には勞働組合の發達を阻止することを目的とした吾々にとつて有害な法律もあれば、その反對のものも在りうる。ところで社會局案は有るよりも無い方が増しの法案である。それゆえに吾々は徹底的に之を排撃せんとするのである。しかるに勞働大衆をして斯かるものに對して無いよりは増しのものであるかの如き幻想を抱かしめ、勞働者階級の利益を主張するといふ名のもとに、斯かる反動的立法を成立せしめんがため、勞働大衆そのものを動員せんとするが如きは、實に恐るべき且つ驚くべき改良主義者の陰謀である。吾々は斷乎としてその陰謀を摘發せねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しからば何故に改良主義者は斯かる陰謀を企てつゝあるのか？ 何故に勞働組合の發展を阻止するが如き反動的法律が彼等にとつては却て有益であるのか？ 吾々は進んで更にそれを明かにしよう。

社會局案第一條に含まれた反動的意圖——勞働組合が政治を目的とすることの禁止

吾々は茲で、前項の終りに提供した問題に答へるためには、先きに暫く後廻しにしておいた社會局案の第一條を一應吟味せねばならぬ。それは勞働組合の目的を限定することにより其の活動を一定の埒内に押し込めんとするものであつて、法案全體にわたつて決定的の意義をもつものである。社民黨案および大衆黨案における第一條もまた、この社會局案第一條と大同小異のものであるが、それらについては更に後に至つて言及するであらう。

社會局案第一條は次の如く規定されてゐる『本法において勞働組合と稱するは、勞働條件の維持改善を目的とする勞働者の團體またはその聯合を謂ふ。』これがその第一項である。そして第二項として次の如き補充がある『勞働組合は、前項に掲ぐるものの外、組合員の共濟、修養、その他共同利益の保護增進を目的となすことを得。』このうち第一項は勞働組合の主たる目的を規定したもので、第二項はその從たる目的を規定したものである。

以上の規定は、一見するときは、何でもなきもののやうに見える。だが、この一個條のうちにこそ、勞働組合の目的意識的發展を阻止せんとするブルヂョア政府の根本的企圖が横はつてゐるのである。茲に『勞働條件』といふのは、賃銀、勞働時間、等々のことを指す。すなはち『勞働條件の維持改善』といふのは、あるひは賃銀の値下げ又は勞働時間の延長を喰ひ止め、あるひは賃銀の値上げ又は勞働時間の短縮を要求する、等々のことを指す。そして『組合員の共濟、修養、その他共同利益の保護增進』といふのは、今日『共濟會』等々の名をもつて存在してゐる御用組合の仕事と同じものを指するのである。『共濟』とは、組合員が病氣になつたり死んだりした時に、見舞金を出したり香典を出したりすることだ。『修養』とは、資本家のために一所懸命に働けといふ說教を、資本家の御用を勤めてゐる御雇坊主や牧師などから拜聽することだ。最後に『その他共

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同利益の保護增進』とあるのは、例によつて『その他これに類似した共同利益の保護增進』といふ意味である。『その他』といふ言葉が使つてあるから、苟くも勞働者の共同利益の保護增進と看做しうべきものは、どんな事柄でも、すべて包含されてゐるのだと云ふ風に考へたならば、それは大變な間違になる。

さて社會局案は、勞働組合の目的を以上の如く規定してゐるのであるが、その趣旨は、勞働組合をしてそれ以外の目的をもたせまいとするにある。これは一切の勞働組合を例外なく改良主義の埒内へ押し込め、その總てをアムステルダム型のものに鑄造しようとする意圖以外の何物でもない。吉田社會局長の言葉によれば、それは全く『勞働組合の穩健着實なる發達』を目指したものであり、そして玆に『穩健着實』とは、言ふまでもなくブルヂョアジーまたはブルヂョア××の立場から見ての穩健着實である。そして勞働組合をして斯かる意味においての穩健着實性を維持せしめるとは、勞働組合の活動から資本主義そのもの――資本家的×取制そのもの――に對する××の一切の萌芽を排除することを意味する。賃銀値上げの要求、勞働時間短縮の要求、等々は、資本主義――すなはち資本家による勞働者の×取――を認めた上での、賃勞働者としての要求である。勞働者が斯かる範圍の要求を貫徹するために勞働組合を作ることは、勞働者の勞働力を商品として賣買することを社會存立の物質的基礎としてゐる資本主義社會では、どうしたつて抑え切れないことなのだから、かかる範圍の要求をもつたものとしての勞働組合なら、ブルジョア國家としても之を公認せざるを得ない。かういふのが社會局の意見なのだ。譬へて言へば、奴隸が奴隸としての生活條件を維持改善しようとするのなら、それは禁止するわけに行かない。だが、もし奴隸がちよつとでも奴隸自身の解放に志すやうなことがあつたら、それは不穩過激な沙汰であり、『穩健着實』の埒を越えたことであるから、これを嚴重に取締らねばならぬ。かういふのが社會局の意見であるが、ブルヂョアジーの×××としての×××の一器官たる社會局が斯ういふ意見をもつのは、當然のことでもある。

社會局案は、勞働組合の活動に對し右の如き埒を設けるために、その第一條において勞働組合の目的を限定した。かゝる目的の限定は、言ふまでもなく、勞働組合をして『これ以外の目的は持たぬ』(一戸勞務課長の言葉)ものたらしめんがために意

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

味をもつのである。

◇

以上の如き規定の當然の結果として、社會局案によれば、勞働組合は——勞働者の最も有力な大衆組織の形態は、資本主義社會においては此の勞働組合の外には與へられてゐないのであるが、その勞働組合は——政治を目的とする一切の活動を禁止されることとなるのである。その點について一戸課長は次の如く說明してゐる。

『この點につきまして問題になりますのは、一體勞働組合が政治行動とか營利行爲をした場合にどうなるかと云ふ問題でありますが、これは、勞働組合の有すべき目的は勞働條件の維持改善と共同利益の保護增進といふことだけに限られて居りまして、政治を目的とすることは勿論許されませぬ。たゞ例へば、八時間勞働制の實現を期するため、あるひは議會に請願を致したり、あるひはその他の政治的行爲をすると云ふことは、これは勞働條件の維持改善の手段として見て差支ないから、さういふ個々の政治行爲は必ずしも政治を目的としたものと認めない、といふ風に考へて居ります。』

目的の制限は必然に活動の制限を伴ふ。勞働組合がすでに政治を目的となしえざるものと規定される以上、勞働組合は當然に政治を目的とした活動を禁じられる。たゞ勞働條件の維持改善（例へば勞働時間の短縮の要求）のためにならば、その手段としての限界を越えざる範圍においてのみ、議會への請願といふが如き極めて無力な・ブルヂョアジーから見れば××××な・政治的行爲をなしうるに止まるのである。

問題をこゝまで說明して來ると、右翼組合の改良主義的幹部諸君が內々社會局案乃至それに類似の案を要求しながら、他方において『政治的行動の絕對自由』といふスローガンを掲げてゐることが、全く欺瞞的なものであることを、吾々は始めて明瞭に摑むことが出來る。

社民黨、大衆黨、等々の幹部諸君が、愈々最後の場合には社會局案を支持しようといふ意圖を有しつゝあることは、すでに述べたところであるが、しかし斯かる最惡の場合でなくとも、これらの諸君は、勞働組合が政治を目的としうべきことをたゞ主張することですら、用心深く差し控えてゐる。吾々は茲にそ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の具體的な證據を示さう。

社會局案を改修した社民黨案の第一條は次の如くである。『勞働組合は勞働條件の維持改善その他被傭者の共同利益を增進するを目的とする被傭者の團體またはその聯合を謂ふ。』吾々は先きに、社會局案第一條が、勞働條件の維持改善を勞働組合の主たる目的（本來の目的）となし、共濟、修養、その他共同利益の增進保護を勞働組合の從たる目的（附けたりの目的）となしてゐることを見た。ところで資本家團は、吾々が後に見るであらう如く、社會局案が勞働條件の維持改善を勞働組合の主たる目的となせることに反對し、むしろ社會局案において勞働組合の從たる目的となせるものを其の主たる目的となさしめんとするのである。今かういふ事情を考慮に入れつゝ、社會局案に對する社民黨の前記の『修正』を見よ。それは社會局案が從たる地位においてゐた『共濟、修養、その他共同利益の保護增進』を、新たに主たる地位に高め、これを『勞働條件の維持改善』と同列のものたらしめてゐるのである。その『修正』は、社會局案に比して更に一歩の退却である。これでは『最惡の場合』に社會局案を支持するといふことは、當然の見透しとならねばならぬ。

もちろん社民黨案には『共濟、修養、その他共同利益の保護增進』といふやうに續けられてはゐない。『共濟、修養』の文字はすべて削られてをり、そこにはたゞ『勞働條件の維持改善』の次に『その他被傭者の共同利益の增進』といふ文字があるに止まる。ところで茲に用ひてある『その他』といふ言葉は、前に社會局案中の一句『勸誘その他の方法』について述べたと同じ意味の『その他』である。勸誘その他の方法といへば、それは勸誘その他一切の方法を意味するのでなく、勸誘および之に準ずる平穩な方法を意味するにすぎない。これと同じやうに、『勞働條件の維持改善その他被傭者の共同利益の增進』といふ場合の『その他』は、勞働條件の維持改善に準ずる『穩健着實』の事柄を指すのである。さうでなくて、勞働者の共同利益の增進に關する一切の事柄がそれに含まれるのであれば、法律の規定として先づ『勞働條件の維持改善』を例示しておく必要はないのである。

社民黨案第一條は、注意深く右の如く吟味されねばならぬ。しかしたゞ一見しただけでは、『勞働條件の維持改善』の次に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

『その他被傭者の共同利益の増進』といふ文字があるに止まつてゐるから、ブルヂョア的法律の欺瞞的表現の仕方を心得てゐないものが卒然として之に接するならば、多くの場合、『その他』といふ言葉を『その他あらゆる』といふ意味に解釋するであらう。そしたなら、政治的活動も勞働者階級の『共同利益の増進』を目的とするものに相違ないのだから、社民黨案第一條は勞働組合が政治を目的とすることをも認めてゐるのだ、と解釋するに至るであらう。もし起案者がさういふ誤解を意識に歡迎してゐるのであれば、その欺瞞的技術は遙に社會局案のそれに優ると言はねばならぬ。

以上吾々は專ら社民黨案について論じたが、大衆黨案もさして變りはない。すなはちその第一條は次の如くだ。『本法において勞働組合と稱するは、勞働生活の條件の維持改善を目的とする勞働者の團體または聯合を謂ふ。』この案の特徴は、『勞働條件の維持改善』といふ言葉を特に『勞働生活の條件の維持改善』といふ言葉に置き換へてゐることだ。どういふ意味で斯ういふことが行はれたのであるか、私にはハッキリ判りかねるが、元來『勞働條件』といふ言葉は、例へば『資本論』では、勞働が行はれるための物質的前提條件を指してゐるのであつて、具體的にいへば、それには勞働對象（原料等）と勞働手段（道具、機械、等々）とが含まれてゐるのである。勞働條件といふ言葉は、學術上の術語として右の如き意味に慣用されてゐるのだから、それと區別するためにと云ふ趣意から、大衆黨案では『勞働條件の維持改善』が『勞働生活の條件の維持改善』とされたのであらう。そしてもしさうであるなら、それは社會局案、社民黨案と何等本質的に異なるものではない。從つて私は之について、これ以上特別の論議を費す必要を認めない。

◇

これを要するに、社會局案、社民黨案、大衆黨案の各第一條は、先づ總括的に勞働組合を『勞働條件の維持改善』といふ經濟鬪爭の狹き埒内に押し込めるために、勞働組合の目的を限定したものである。さて勞働組合の目的を右のやうに限定した上での話であるならば、社會局案ですらが勞働組合の政治的活動を認めてゐる。だが、それは勞働條件の維持改善（賃銀の値上げ、勞働時間の短縮、等々）といふ經濟鬪爭の狹き埒内での政治的活動にすぎないのだから、具體的に之を説明すれば、例へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ば、八時間勞働制の實現を期するために議會に請願するとか（一戸氏の說明）、あるひは組合の支持する無產政黨に政治資金を供給するとか（片山哲氏の說明――『社會政策時報』本年四月號、一六四頁參照）いふ類のものに過ぎないのである。勞働組合の目的に對する決定的な制限を甘受した上での謂はゆる政治的活動とは、こんなにつまらぬものなのだ。しかもこれが抽象的にはたゞ『政治的活動の自由』と呼ばれる。そこに恐るべき欺瞞がある。

既に述べたる如く、社民黨、大衆黨、全民黨、統一協議會（すなはち勞農黨を除いて以外の總ての無產黨）が組織したところの組合法獲得共同鬪爭委員會なるものは、そのスローガンの一つに『勞働組合政治行動の絕對自由』といふことを揭げてゐる。もしこのスローガンが眞面目に揭げられてゐるのであれば、これらの諸黨は斷じて社會局案に贊成すべきでなく、むしろ極力これを排擊せねばならぬ。何故なれば、社會局案は決して勞働組合の政治行動の絕對自由を認めてゐるのでないから。もしまたこれらの諸黨が、共同して斯かるスローガンを揭げ、そのスローガンの下に廣く大衆を動員しながら、結局において社會局案乃至それに類似の法案を成立せしめんことを目標としてゐるのであるならば、吾々は斷乎としてその勞働大衆に對する欺瞞と背信を痛擊せざるをえない。勞働組合は資本主義の社會において歷史的に與へられてゐるところの、勞働者の最も有力な・他に代はるべきものなき・大衆組織の形態であり、それが正しき方向を指して發展するか否かは、實に全勞働者階級にとつて決定的の重要さを有する問題である。かゝる重要問題につき、勞働大衆の利益を代表すると云ふ名の下に、勞働大衆に對する甚しき欺瞞が行はれると云ふことは、如何にしても許さるべきことでない。私は極めて微力なものではあるけれども、この際かゝる欺瞞の徹底的暴露のために、絕えず全力を竭すであらう。

反動的組合法は何故に右翼組合幹部たちの熱望に値するか？――資本家に對する彼等の小ぜり合ひの眞相

社會局乃至社民大衆の諸黨によつて主張されつゝある勞働組合法案は、以上述べ來つたところによつて明かな如く、法律をもつて勞働組合の活動の上に重大なる制限束縛を設け、これを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

×××××による嚴重なる取締規則の下に縛りつけ、完全にその×××××發展を阻害することを、その窮極目標となすものである。もし此の如き法律にして施行さるゝに至らんか、完全なる改良主義的組合の外は合法的には殆んど存在しえざることとなるであらう。

試に一例を擧げよう。去る六月一日、日本勞働組合同盟、勞働組合全國同盟等の合同によつて成立した全國勞働組合同盟は、その創立大會において三個の綱領を採用したが、その第一は『我等は團結の威力をもつて勞働條件の向上を圖り、進んで勞働階級の解放を期す』といふのである。私は之に對して少しも異存をもたぬのみか、勞働組合はすべてこの種の綱領をもたねばならぬと信じる者である。だが、もし勞働組合に關する社會局案にして議會を通過しそのまゝ施行せられるやうになつたならば、そしてまた、全國勞働組合同盟が前記の如き綱領を單なる看板として掲げてゐるのでなく、實際の行動において『進んで勞働階級の解放を期す』といふ方向に邁進したならば、同盟は先づ第十五條『勞働組合の會議の決議、法令に違反し又は公益を害するときは、行政官廳は之を取消すことを得』といふ規定により、その決議したる綱領の取消を命じられるであらう。何故なれば、『勞働階級の解放を期す』といふが如きことは、明かに勞働組合法の第一條が規定するところの組合の目的以外の事項を目的とするものであるから。

右の一例によつて想像されうる如く、もし社會局案の如きものが愈々法律となれば、それは勞働大衆の左翼化に基づく右翼的幹部の指導からの離反を、法律すなはち國家の權力により防止しうるの效果をもつであらう。反動的組合法がもし組合を保護するとするならば、それはたゞ反動的組合をのみ保護するのである。しかもそのことは正に右翼的幹部の最も熱望するところである。社會局案または之に類似の法案を成立せしめることが、これら右翼的幹部の全力的鬪爭に値するゆゑんは、かくて理解されるであらう。

◇

しからば何故資本家團が之に反對するのであるか？ それは如何に『穩健着實』な組合でも、かりそめにも勞働條件の維持改善を目的とすると云ふ以上、彼等にとつては無い方がよいに決まつてゐるからである。彼等は賃銀についても勞働時間につ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いても、勞働者たちが組合を作つて一定の强要をなすことに、少からざる不便を感じる。彼等の理想とするところは、勞働者から一切の反抗力を奪ひ、賃銀も勞働時間も自分で勝手に決め、それを承知しないものは直ちに解雇する等々の手段によつて、思ふ存分に勞働者を搾取することである。斯樣な目標からすれば、如何に穩健着實な組合でも、有るよりは無い方がよい。殊にこれから大規模の産業合理化に着手し、思ひ切つた大衆的な馘首や勞働能率の增進やを實現しようとすれば、勞働者の抵抗力を出來うるかぎり弱めておかねと、仕事の進行上種々の面倒がある。だから彼等は、勞働條件の維持改善を目的とする勞働組合を認めることは、階級鬪爭を激發し産業の振興を妨げると云ふのである。それは勞働者側の抵抗力を强め俺たちの利潤增進の妨げになる、といふ意味にすぎない。現に大資本家の代辯人たる藤原銀次郎氏は、今後産業合理化の結果勞働人員の整理されるものは、全國三百萬の勞働者中百八十萬に上るべしと豫想し、この事實をひつさげて相手に喰つて掛かり、しやにむに社會局案をもみつぶさうとしてゐる。産業合理化の强行にあたり、資本家たちは心ひそかにイタリーのファシズムを慕つてゐる。共濟、修養等を目的とする組合、すなはち資本家に對する何等反抗の要素を含んでゐない組合、資本家の思ふがまゝになる御用組合、さういふものだけを殘して、それ以外のものは總てぶつつぶしたいと云ふのが、イタリーを羨んでゐる資本家團の希望である。現に東京商工會議所が發表した意見の中には、『公益事業に關してはイタリーにおける如く罷業を禁止するの規定を設くるを至當と信ず』と述べてゐるが、實はストライキの禁止ばかりではない。今日イタリーでは改良主義的な組合ですら合法性を奪はれてゐるが、資本家團は暗にそこを目標としてゐるのだ。しかもそれは決して望なきことではないかに見えてゐる。何故さう云ふか？　濱口內閣は衆議院に絕對多數を占めてゐる、そして最初のうち此の內閣は、來議會の劈頭に勞働組合法案を提出してその實施を期さうと意氣込んでゐたのである。しかし最近の狀勢からすれば、資本家團の反對の前には、議會における絕對多數も全くその光を失ふかに見えてゐる。無力化された議會は事實上すでに第二次的な地位に墜落せしめられてゐるのだ。資本家團にとつては、そこで如何なる政黨が多數を制しようと、それはもはや問題ではなくなつてゐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。

◇

しからば右翼勞働組合の幹部たちと資本家團とは、如何なる點において利害を一にし、如何なる點において利害を異にしてゐるのか？

右翼勞働組合の幹部たちの資本家に對する態度は、『頑迷保守度すべからざる資本家』に對しては已むを得ず抗爭する、といふ言葉によつて集中的に表現されてゐる。（一九二七年度『總同盟全國大會報告書』、一八頁、等々參照。）彼等は資本主義社會に不可避的な勞働者の或る限度內の反抗を食物とすることによつて生存する。彼等は勞働者を組織することによつて資本家に對し一の威力をもつ。そして彼等は此の威力を利用して、資本家に對し時々一定の要求を持ち出す。その場合もしその資本家がモノの分かつた資本家であれば、若干の交涉の下に彼等の取引に應じる。そしてその取引の內容のうち、彼等自身の利益のみに關する限りのことは、彼等の腹の中に飲み込まれたまゝで終るであらうが、さもなき部分については、彼等は彼等の組織してゐる勞働者に對し、おれの力でこれだけの條件をかち取つたぞと云つて、これをば勞働者に恩をきせるための材料にする。しかる限りにおいて資本家のためにもダラ幹のためにも事態は圓滑に進む。謂はゆる『勞資の協調』によつて、産業に『惡影響』を及ぼすことなくして濟むのである。しかし時には彼等の『取引に應ぜざる『頑迷保守度すべからざる資本家』がゐる。その場合には、遺憾なことではあるが、彼等は已むを得ずストライキをやる。かういふのが彼等の原則的戰術であつて、そのことは小泉保太郎氏の『左翼勞働組合運動』において詳細に記述されてゐるところである。私はそのうちの主なる引用文を借用しよう。

『罷業は勞働者の唯一の合理合法の力である。けれども我我は常に出來うるかぎり、協議によつて問題の解決を計るところの理智と誠意を持たねばならぬのである。』——（松岡駒吉氏『産業上における民主主義の獲得』——『勞働』一九二七年二月號卷頭言。）

『我等は常になるべく鬪爭に訴へることなく、勞資の協議に基づいて問題の解決を計ることが、その一貫せる精神である。』（『社會民衆新聞』一九二七年六月一日。）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

『罷業は勞働者の權利である、けれども、なるべく之を用ひずして濟ませるために努力することは、勞働組合の產業〔すなはち資本家――河上〕に對する誠意である。』（齊藤建一氏『勞働爭議はどうして起るか』――『社會民衆新聞』同上九月二十日。）

小泉氏はこれら右翼幹部の態度を摘要して次の如く言つてゐる。『彼等は片手で勞働者を煽り、片手で抑えつゝ、この間において彼等の謂はゆる誠意を披瀝して「官憲」の了解を求め、「頑迷保守度すべからざる資本家」を說得して、謂はゆる團體協約の取引を遂行するのである。こゝに行くまでが、彼等の鬪爭であり、今日の彼等の爭議である。故に彼等においては、爭議の指導ではなく爭議の利用が問題であり、しかもそれは勞働者階級の徹底的解放の鬪爭を促進するためでなく、彼等の謂はゆる誠意の實現のために、それはまた今日における資本家階級の利益目的に合致するために、である。』（前揭書、二六九頁以下。）

右翼組合の幹部たちは、以上の藝當を演じるに必要な餘地を存するかぎりにおいて、團結の自由、ストライキの自由、等々を要求する。それが彼等の謂はゆる『團結の絕對自由』または『ストライキの絕對自由』なるものの正體である。そして然るかぎりの自由を留保することに彼等が異常の熱心を有することも、何等不思議のことではない。それは彼等の生活資料が生產せられるための沃土である。アメリカにおける右翼組合の幹部の一人グリーンは、現に十萬弗といふ素晴らしい年俸を取つてゐると云ふではないか。

斯樣な幹部は、勞働者の反抗力と自覺とが或る發展段階以上に達した時は、全資本家階級にとつて實に欠くべからざる勞資協調の機關となるのであるが、現在の瞬間における我國資本家團の理想は、かゝる機關をすら必要とせざる程度にまで勞働者階級の反抗を抑えつけてしまはふと云ふことにある。そこに右翼組合の幹部たちと資本家團との間における――共同の地盤に立つての――當面の小ぜり合ひの原因が存する。

そして社會局は、資本主義社會における勞働者階級の反抗の不可避性を看て取り、これを危險なき限度內に――すなはち『穩健着實』の埒內に――抑制することが資本主義社會の防衛のために急務だと考へ、深切にも思慮深く社會局案なるものを作り上げたのであるが、（さういふ意味のことを安達內相は最初

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資本家團に向つて説得しようとしてゐた）、これに對する資本家團の反對が餘り猛烈なために聊か躊躇し始めたところである。これは右翼組合の幹部たちにとつて大變なことだ。そこで彼等は資本家の横暴を強調し、專ら之に對する勞働大衆の反感を煽りその反感を百パアセントに利用することにより、この際、是が非でも反動的組合法をかち取らねばならぬと決意してゐるのである。『資本家に屈せず所信を通せ』といふ總同盟幹部諸君の内相に對する要望、彼等とブルヂョア政府との『所信』の一致は、かくして生じる。

此の如きが現在の瞬間における社會局案を中心としての一種の渦巻を構成せる外見的對立の諸潮流の本質である。

結び

吾々は以上の如き狀勢を前にして、あらゆる種類の欺瞞を暴露し、一切の反動的企圖に抗爭しつゝ、專ら勞働者階級の眞實の利益を主張するための精力的鬪爭を敢行するの必要に迫まられる。

元來、勞働組合の任務は、原則的には早くからマルクスによつて次の如く規定されてゐる。

『勞働組合は、資本の蠶食に對する抗爭の中心として立派な働きをする。尤もそれは、自分の力の無分別な行使のため、部分的に失敗することがある。だが、勞働組合にして、もし現存制度の結果（資本主義制度が齎らすところの結果）に對するゲリラ戰にのみ自らを局限し、それと同時に、××の××を××せんと試みることなく、その組織されたる力をば、勞働者階級の最後の解放——すなはち××××××××廢止——のための一槓杆として使用することなくば、それは全般的に失敗する。』

勞働組合を現存制度の結果に對するゲリラ戰（賃銀、勞働時間等に關する小ゼリ合ひの鬪爭、すなはち社會局案等に謂ふところの『勞働條件の維持改善』のための鬪爭）の埒内に押し込めることは、勞働組合を全般的に失敗せしめるゆゑんである。社會局案も社民黨案も大衆黨案もみな此の全般的失敗を目ざしてゐる。それはあらゆる組合を改善主義の埒内に閉ぢ込め、これをブルジョア的××機關に癒着せしめ、資本主義そのものに對する一切の反抗を殘る隈なく組合から洗ひ去り、逆にこれをブ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ルヂョアジーの勢力安定のための一要素に轉化せんとするものである。吾々は斷乎として、これらの陰謀に抗爭し、勞働組合の目的ならびに其の政治的活動の自由を制限することにより、勞働者の最も有力なる大衆組織たる勞働組合の目的意識的發展を阻止せんとする一切の企圖を粉碎せねばならぬ。そしてそのためには、吾々の要求を具體化せる法案そのものを提供することもまた必要であらう。そのために勞農黨は最近獨自の勞働組合法案を立てた。吾々はそれによつて、勞働力といふ商品の販賣者が、商品生産社會（資本主義社會）の基礎の上に、商品販賣者としての資格において、主張しうる要求の最大限を具體化した。これらの要求は、資本主義社會を前提とするも、勞働者が之を合法的なものとして獲ち取るために絶えず執拗な闘爭をせねばならぬ目標を示す。元來吾々の任務は、勞働者を益々卑屈なる奴隷たらしめることに在るのではなく、絶えず廣汎なる勞働者の諸層を揺り動かし、その眞實の要求に對する自覺を益々高めゆくことに在るがゆゑに、吾々は勞働組合法の問題に對しても、また固く斯かる態度を維持せんとするものである。

しからば、『團結の絶對自由』、『ストライキの絶對自由』、『勞働組合の政治行動の絶對自由』等のスローガンを、單に大衆を欺瞞するための看板としてでなく、これを實際的に具體化するならば、吾々は果して如何なる條項より成る法案を主張せねばならぬか？　私は勞農黨案がすなはち之に答へてゐるものだと信じるが、既に餘りに多くの紙數を費したから、遺憾ながら其等の問題には何等觸れることなくして茲に筆を擱く。

高血壓の療法

血壓が高い、早く下げなければ危險だ……といふ樣に考へて、身體の生理的適應などに構はず血壓だけを下げゝば宜いと考へる人が多い、素人のみでなく醫者もかういふ考へに捉はれた時代があつた、現に最近獨逸の醫學界に於て『強い血壓低下劑を用ふるときはその藥の作用が過ぎ去つた後に反動的に一層血壓を上進せしめるから寧ろ危險である』といふことが論議されてゐる、丁度腸チブスで熱が高いからといつて、これに熱さましを服ませ、一時は解熱するが暫くすれば反つて一層の高熱となつて死期を早める樣なものである。高血壓には矢張りその原因を除き、先づ血管の緊張を除くやうにしなければならない、それには臟器劑アニマザのやうな血管の硬化を防止するホルモン劑を少量づゝ持藥として氣ながに用ふるに如くはない、さすれば求めずとも血壓は下がつて來る、決して急に血壓だけを下げるといふ樣な不自然な療法に信頼してはならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働價値說は支持し得らるるや

高田保馬

一

勞働價値說に種々なる種類のあることは云ふまでもない。こゝにはたゞマルクスの勞働價値說を吟味しようとするのである。

嘗て述べたことのあるやうに、此勞働價値說に對しては二種の吟味が加へられ得る。一は他の立場からの吟味である。二は勞働價値說の立場自體にたちて、それから生ずる當然の理論的歸結を追求し、此の歸結が勞働價値說に認められてゐる種々なる現實の事實と、ならびに勞働價値說の構成分子をなしてゐるある命題と一致し得るか否かを見ると云ふ仕方に於ける吟味である。私は此後の立場に於ける吟味を內在的批判と稱した。而してある程度までこれを展開した。(經濟論叢本年一月號)その論述の仕方は甚だ不十分のものではあつたけれども、その見解が誤つたものであるとは考へてゐない。これを承認することはマルクス價値論、從ひてその經濟理論を根抵から否認することになるはずであるであるが、マルクス主義陣營から何等の批評及駁論を聞くことを得ざるは、甚だ遺憾とするところである。

私は今進みて、かつて殘して置いた仕事を果さうとする。私の立つところの立場からマルクス勞働價値說の論證の仕方を分析し吟味することである。たゞ此種の吟味は我國の學界だけについて見ても、しばしば繰返され、それに對する論駁もまたしばしば現はれてゐる。私はできるだけ自分の立場から、從ひて從來の論點をさけて議論を進めたい、と念願してゐる。けれども、不敏不才の私である。これらの一見論じ盡されたりと見らるるものにも、議論の進行の必要から觸るることが多からうと

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

思ふ。

まづ此労働價値說に於ける論證の組立に於て私の問題とするものは次の諸點である。

(一) 交換せらるゝ二商品には共通なる同量の或物がある。

(二) 此共通なる或物は使用價値であることは出來ぬ。商品は使用價値としては異なれる性質のものであるから。使用價値を抽象しすれば、そこに殘るところは『抽象的なる人間労働即無差別なる人間労働の單なる凝結』だけである。これが即ち價値の實體に外ならぬ。

(三) 商品の價値の大さはこれに含まるる労働量によりて定まり、労働量はまた、労働時間(社會的に必要とせらるる平均の労働時間)により定まる。複雜なる労働は單純労働に換算せられる。此比率は社會的過程によりて確定せられる。

この三の點について私は、マルクスの論證の吟味を試みようと思ふ。勿論、マルクス労働價値說の論證の敍述は既にいくたびか有力なるマルクス學者によりて試みられてゐることであるし、今日、私の如き、その方面の勉強の甚だ至らざるものが、それを繰返す必要もないことであらうと思ふ。

二

まづマルクスに於ける労働價値說が果して眞に論證と云はるべき理論の組立を有するやと云ふ問題を考へる。私はこの問題に對して然りと答ふることは出來ぬ。まづ交換せらるる二種類の商品に於て同量の共通なるものの存することを說き、次に此共通物が抽象的なる人間労働の凝結、體化せられたる労働であることが說かれてゐる。而も、共通物の存在が何故に必然であるか、又それがあるにしても何故にそれがかゝる労働でなければならぬか、と云ふことについては、別にそこに落ちつかねばならぬ論證を與へてゐるわけではなく、たゞ、さうだと云ふ主張をしてゐるに止まる。たゞ私の眼にはさう見えても、マルクス的立場からは、これが十分なる論證であると主張せられる。從って、私は當然その論證の妥當性の吟味に入らなければならぬ。それに從來幾多の人人によりて繰返されてゐようとも私は私自身としてこれを試みる。

一體、マルクスに於ける労働價値說の論證は、交換せらるる二の商品には同量の共通物があると云ふことから、出發してゐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。而して此共通物を抽象的なる人間勞働の凝結（以下これを單に勞働として表現することがあらう、叙述の簡單を期するがためである）であるとする。なほ本論文に於て引用個所を記さざるものは、資本論第一篇第一章からである。論文は時に改造社版、時に岩波版により、時々は多少字句の修正を加へてゐる。

『更にこの商品、例へば小麥と鐵とを例にとらう。これら二商品の交換比例は如何やうにもあれ、それは常に、與へられたる分量の小麥を、或る分量の鐵と等位に置く方程式、例へば、１クオタアの小麥＝ｃハンドレッドウェイトの鐵を以て示すことが出來る。此方程式は何を意味するか。それは同じ大さの一共通物が、この異つた物、即ち一クオタアの小麥とｃハンドレッドウェイトの鐵との内に存在することを示すのである。故にこの兩者は、それ自體に於て小麥でもなく、また鐵でもない或る第三者に等しいものである。從つて此兩者の各は、それが交換價値である限り、かやうな第三者に還元しうるものでなくてはならぬ』（傍點は筆者。以下同じい）。

『されば小麥は單一の交換價値のみを有するものではなく、多數の交換價値を有してゐるのである。然るにｘ量の靴墨も、ｙ量の絹も、ｚ量の金なども、すべて皆、一クオタアの小麥の交換價値であるから、ｘ量の靴墨、ｙ量の絹、ｚ量の金などは交互に置きかへ得るところの、又は互に其の大さを等しうするところの交換價値であらねばならぬ。そこで第一にから云ふ結論が生じて來る。即ち、同じ一商品の有效なる各交換價値は、一の等一物を云ひ表はしてゐる。第二にまた、すべて交換價値と云ふものは、それ自身と區別しうる或る内容の表章樣式、即ち現象形態たりうるのみである。』

玆に私の立場から見ることを許されたい。單位量のＡとＸ量のＢとが交換せられると云ふこと、若しくば單位量のＡの交換價値はＸ量だけのＢである、と云ふことは、たゞ次の事實を意味するに止まる。市場に於けるＡの提供者はその單位量と引きかへに、Ｘを獲得することが出來る（Ｂの提供者の立場から云へば、まさにこれと逆のことが云はるべきである）。Ａの提供者とＢの提供者とのかゝる勢力の關係のみがそこに示されてゐるに過ぎぬ。交換價値と云ふのは何等の價値でもあり得ない、それはＡとＢとの交換の比率、嚴密に云へば、ＡＢの提供者間の勢力的關係に外ならぬのであつて、これが商品たる財そのものの關係と見られるのである。『勞働生產物間の價値關係は實それは人間自體の一定の社會的關係に外ならぬのであり、かゝる關係が此場合、人間に向つて種々なる物と物との關係と云ふ幻影的形態をとるのである。』（マルタス）。而してこのことは勿論、同量の共通物が二の異なれるものの中に存在することの可能を初めから排除するものではない。換言すれば、此存在を全然不

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

可能なりとするのではないが、併しながら、かゝるものの存在を何等保證しうるものではない。之を保證し得ると云ふ論據は何等提示せられてゐない。共通物たる第三者なくしても、なほAＢの提供者間にかゝる勢力關係の存在し得ることは、いくらでも考へ得られる。これはABの特定なる提供者間の偶然的なる交換についてのみ云ふのではない。此交換に參加する人人がAＢの使用價値の評價に於て種々なる差異の存するところ、而してそれの存するが故にのみ、一義的なる交換價値が成立し得るものと說く限界効用說の如き立場すらもある。勿論此立場の當否は問題の外に置く。本來、かの共通なる第三者の存在が必然的のものであるならば、限界効用說の如き理論的なる試みは、はじめから論理的に不可能なるはずであるが、一向にさう認むべき點はない、又ないと考へられてゐる。

交換價値を以て『ある種の使用價値が他の種の使用價値に對して交換せらるる量的關係――比例として、即ち時と所との變更するにつれて絕えず變更する一の偶然的關係』として見る。需要の變動(同一需要價格に於ける需要數量の變化)供給數量の變動(同一供給價格に於ける供給數量の變化)は容易に交換比例を變化せしめる、若し、一定の交換比例の存立するところ、二の財に同量なる共通物が含まれてゐるものならば、此共通物に何等の變化なくして、交換比例のみの變化が如何にして可能なるか。勿論、勞働價値說は價格の動搖を相殺して考へ、全體的平均的に觀察したる上に於て勞働と交換價値との連絡が說かれてゐよう。又交換價値の概念そのものが傳統的に、刻々に成立する交換比例を指すものでないとも云へる。けれども、此點に於けるマルクスの論證は、交換價値を直に交換比例と見ることによりて發してゐる。さうである以上需給の均衡の十分に成立せざる狀態に於ける交換比例をも引き來つて、その雙方に共通物の存し得たることを說くのも、不合理ではないと思ふ。

なほ進みて、交換價値を動搖する交換比例又は價格の平均として、所謂盲目的に作用する平均としてのみ自己を貫徹するものとして考を進める。即ち、商品の價格は不斷に變動する。しかし一定期間に亘りてこれを全體として見れば平均的なる價格、又は交換比例がある。これ交換價値として、それの存立するところ、共通なる第三者の認めらるべき必然性の如何なるも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のであるかも考へる。

X量の靴墨もY量の絹もZ量の金も相等しとせられる。相等しとせらるるのはそれが互に交換せらるること、即X量の靴墨がY量の絹に對して交換能力をもつと云ふことに外ならぬ。彼等の間に求め得らるべき外見上の共通物はAもBもCに對して交換し得らるる能力をもつと云ふことだけである。而してこれはAとCとが、又BとCとが交換せらるると云ふ事に外ならぬ。交換能力以外の何ものの存在をも保證せぬ。而もそこに、異なれる商品には同量の共通物の存在すると云ふ。此論證に役立ち得べき何物があるか。畢竟、そこに外見上ありと見らるる共通物は交換能力乃至交換價値そのものにして、これ以外の何物でもあり得ない、從ひて同量の共通物がAB何れの商品にも存在するところに交換が行はれるのではなくして、交換の行はるることそのことがかゝる共通物として、（若しくば共通物の表現として）見ゆるのである。

『アリストテレスは先づ、商品形態はたゞ簡單なる價値形態の、即ち一商品の價値の任意なる他の一商品に於ける表現の、より發展せる姿であることを、明白に述べてゐる。彼は云ふ「五枚の褥は一軒の家に等しい」は「五枚の褥は若干の貨幣に等しい」と異なるところはないと。彼は更に、かゝる價値表現を含んでゐる價値關係は、そのもの自體において、家は褥に對し質的に平等とされることを、またこれらの感性的に異なれる物はたゞ本質上の平等なくしては、同一單位にて測り得べき大きさとして互に關係し得ないだらうことを條件づけて居ると云ふことを洞察してゐる。彼は云ふ、「交換は平等なくして存在し得ない、しかし平等は通約性なくしては存在し得ない」と。しかし彼はこゝで立ち停つて、價値形態のより以上の分析を拋棄した。「かくも多種多樣なる物が同一單位で測られ得ると云ふことは」即ち質的に等しいと云ふことは、「しかし實際には不可能である。「かゝる平等の取扱は物の眞の性質とは何等か無關係のものでしかあり得ない、從つてたゞ實際的必要の應急手段」たるに過ぎない。」』

マルクスは此アリストテレスの『「交換は平等なくして存在し得ない」』と云ふ見方を引用して、而もアリストテレスが共通なる實體を實際にはあり得ないと云へるのに對し、これを必ず存するものとなし、而もこれを人間勞働なりとした。『褥の價値表現において家が褥に對して表はすところの、ある平等なるもの、即ち共通なる實體』を實際にあり得ないとしたアリストテレスの見方は正しいと思ふ、而も彼は何故に交換は平等なくして存在し得ないと云へるか。それは平等が交換の結果たることに思ひ及ばざりしが故であらう。なるほど、交換のなすところ、平等がある、AがBと交換せらるるところ、二者は平等に

取扱はれる。しかし、それは平等をまちて、交換あることを示すのではない。本來の平等なく、共通なる第三者なくして而も交換さへ行はれるならば、そこに二者が平等に取扱はれる。平等なる取扱はれると云ふことは交換せられる、交換能力をもつと云ふだけのことである。從ひて、交換は平等なくして存し得すといつたものの、共通物を見出し得なかつたのである。

マルクス自身の主張の中には、比共通物の存在に關する論證と云ふものはない。たゞ一の斷定があるだけである。轉じてその解說者にこれが論證の求め得らるるのではないか。河上博士の說明による。『何故同じ大さの或る共通物が存在してゐるべき筈だと云ふか。』『その共通物が何であるか後の問題であるが、ともかく双方の商品の各單位に異なつた分量において一定の共通物が含まれてゐるのでなかつたならば、なぜ小麥と鐵とが一と二との比に置かれ、それが一對五でもなく、一對三でもなく、またその他の如何なる比でもないか、といふことの說明がつかない。すなはち交換される双方のものに『同じ大さの或る共通なものが存在してゐねばならぬ』のである。このことは交換が行はれるための一のアプリオリである。これは好いとか惡いとか云ふ個人の好意にもとづくものではなく、苟くも或る數量の特定の商品と他の數量の特定の商品との間に交換が行はれ、從つてそこに一定の數量上の割合―比―が確立されるためには數學的に一の不可缺の前提であり、かゝる意味に於て、それは吾々が經驗しうる有らゆる場合の商品交換に內在してゐる一のアプリオリであると、經驗に先だちて存在すると云ふ意味においてではなく、あらゆる經驗に即して存在すると云ふ意味においての、一のアプリオリである。』(『マルクス主義經濟學の基礎理論』三九一頁以下。)

ＡＢの二商品が一對二と云ふ一定の比に於て交換せらるることの說明は、かの共通物をもつて來なければ不可能であると云ふのが河上博士の主張である。これはマルクス經濟學以外の經濟學の研鑽に長く沒頭してゐられた同博士の主張とも受取りにくい。多分は、その他の學派の經濟學は此共通物をもつて來ないゆゑに此一定交換比例の說明をつけ得ないと云はれるであらう。さうであるならば、何故に今日、最も完成したる價格理論として許されてゐる數學派ことにはザンタ派の業績をかへりみて然る後に之を主張せられざるかと問いたい。他の立場に於ては

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それぞれ特に數學派に於ては最も明に、此共通物を假定することなくして、否、之を否認すると共に、一對二の比例の如何にして成立するかを明にしてゐる。その說に立入りて吟味することなくして、共通物の存在を一のアプリオリと云ひ得るか。更に進みて考へる、一對二の比例に於て交換せられつゝあるものも些細なる需要の變動により二對三となり、一對五となる。このことはかの共通物を以てして如何にして說明するか。若し、それは需給の調和を得ざる特殊の場合なりと云ふならば、『吾々が經驗し得るあらゆる商品交換に內在してゐる一のアプリオリ』と云ふことが如何にして云ひ得らるるか。獨占價格が供給の不足する場合の稀小價格の如きは、『經驗しうるあらゆる商品交換の場合』ではないのであらうか。あらゆると云ふことは、一部分の、自分の議論に都合のよい一部分の、と云ふことであらうか。この場合のアプリオリと云ひ、數學的に不可缺の前提であると云ふが如きは、あまりに超論理的の斷定として見ゆる、少くも私には全く理解し得ざる議論である。若し夫れ、此場合の交換比例が固有の交換價値を指すのならば、ABの交換比例が一對五で一對三でないと云ふのが何故であるかと云ふに、それはたゞ相互の需要狀況がさう云ふ比例に落ちつかせる風になつて居る故と云へば足りる。共通物をもち込むべき必然性がどこにあるであらうか。

三

二商品の交換が行はるるところに、第三の共通物の存在すると云ふ主張が何等の論證をへてゐないことは前述の如くである。主張を許して次の論點にうつる。

マルクスにありては、商品から其種々なる方面を取去ることにより此共通物を殘す見方が行はれてゐる。此見方が一派の學者のいはゆる蒸溜法である。

それの進行に於てまづ商品體の使用價値が取去られる。これは勿論交換の現實に於てかゝる抽象が行はれてゐると云ふのである。商品體には勞働生產物と云ふ屬性のみが殘る。而も、使用價値を抽象するのは、卽ち勞働の有用性を抽象する所以である。從ひて勞働生產物は此際たゞ、抽象的なる人間勞働の生產物たるにすぎぬ。商品體の中に存在する共通物と云ふのはその中に體化してゐる抽象的なる勞働である。而してかゝる見方に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

於ては、具體的なる勞働の諸形態は皆消滅してゐる、而してすべての勞働は抽象的なる勞働に還元せられてゐる。

これを、しばしば引用せらるる文句ではあるが、それをならべて說明の代りにする。

『この共通なるものは、商品の幾何學的な、物理學的な、乃至その他の自然的な屬性ではあり得ない。商品の物理的屬性が總じて問題となるのは、かかる屬性がその商品を有用ならしめ、それゆえに使用價値たらしむる限においてのみである。しかるに他方、商品の交換價値は、明にその有用性を度外視する。諸商品の交換關係の內部にあつては、一の使用價値は、それが適當なる比例においてさへ存在すれば、他の如何なる使用價値とも同樣に妥當する。或はまた、老バァボンの云ふ如く、「ある一種類の商品はその交換價値が等しい大きさでさへすれば、他の種類の商品と全く同じきものである。同じ大きさの交換價値を有するものの間に、何等の差異もない。」各商品はこれを使用價値として見れば、互に質を異にすると云ふことが先に立つが、交換價値として見れば、ただ量を異にし得るに過ぎず、從ひて使用價値の一原子をも含まない』

『そこで商品體をその使用價値から離れて見るとき、殘るところはたゞ勞働生產物たる性質のみである。併し勞働生產物でさへも、既にわれらの手中で變化してゐる。勞働生產物の使用價値から抽象することは同時にまた、勞働生產物を使用價値たらしめる有形的な諸形態からも抽象することになる。』

『それはもはや指物勞働、建築勞働、紡績勞働、その他如何なる一定の生產的勞働の產物でもない。勞働諸生產物の有用的性質と共に、それらのものに表現せられてゐる諸勞働の有用的性質も亦消滅し、これら諸勞働の種々なる具體的形態も亦消滅する。諸勞働はもはや、互に異はれるものではなく、すべてが一樣なる人間の勞働に、抽象的人間勞働に還元せられてゐる。』

『勞働生產物には、同一の幻のやうな對象性、無差別なる人間勞働の、即ち其支出の形式を顧慮せざるものとしての人間の勞働力の支出の、單なる膠質物のほか、何も殘つてゐない。既これらの物はそれらに共通なる、かゝる社會的實體の結晶としての、價値——商品價値である。』

いはゆる共通物はかくて、無差別なる人間勞働の凝結であり、而して價値である。然らば此價値の大さは如何にして測定せらるるか。それは商品の中に含まれたる勞働の分量、從ひて勞働時間によつて。而も價値の實體をなす勞働は一樣なる人間勞働である。社會の總勞働力が一個同一なる人間の勞働力と見られ、個人的勞働力は社會的平均勞働力の性質をもつ。かくて商品の價値の大さを測定せしむる勞働時間はその生產のために、社會的に、平均的に必要なる勞働時間である。社會的に正常な條件の下に於て、熟練及び強度の社會的に平均的なる勞働を以てして生產するに必要なる勞働時間である。此社會的に必要なる勞働時間と云ふことが、價値實現の爲に必要なる勞働時間と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

云ふ他の意味をも含んでゐることについては、今立入らぬ。

『けれども、價値の實體をなす勞働は一様なる人間の勞働、同一なる人間の勞働の支出である。商品世界の價値の總和のうちに表示せられてゐる社會の總勞働力は、無數の個人的勞働力から成立つてゐるけれども、こゝでは全く一個同一なる人間の勞働力とみなされる。これらの個人的勞働力はどれでも、それが社會的平均勞働力の性質をもち、且つかゝる社會的なる平均勞働力として作用し、從ひてまた一の商品の生産にもたゞ平均的に必要なる、又は社會的に必要なる勞働時間を必要とする限り、他のものと同じく同一なる人間の勞働力である。社會的に必要なる勞働時間とは、現存の社會的に正當的なる、生産諸條件と、勞働の熟練及び强度の社會的平均程度とを以て、何等かの使用價値を生産するに必要なる勞働時間である。』

併しながら價値の量の問題はこれだけで盡きるのではない。複雜なる勞働は單純なる勞働の幾倍かに當るものとせられる、云はゞそこに換算、即ち複雜勞働をいくらかの單純勞働に還元すると云ふことが行はれる。此還元が行はれることが可能であると云ふのではない、現にそれは行はれてゐる。而も、換算の比例は『生産者の背後に於けるある社會的過程によりて確定せられる。』云ひかふれば、此換算を遂行するものは社會であり、その行はるゝ方法は競爭そのものである。（ヒルフアデイング『ベエムのマルクス批評』塚本三吉氏譯五一頁。）

『人間勞働とは特殊なる發達を遂げてゐないあらゆる普通の人間が、平均的にその生きたる有機體の中に有つてゐるところの、單純なる勞働力の支出である。單純勞働の平均勞働そのものは、異なつた國々と異つた文化時代とでは勿論其性質を變ずるが、しかしある特定の社會では與へられてゐる。複雜勞働は自乘せられたる、又はむしろ倍加せられたる單純勞働と見なされ、從ひて複雜勞働のより小なる分量は單純勞働のより大なる分量に等しい。かゝる換算還元がたえず行はれてゐることは、經驗が示す。』『種々なる種類の勞働がその度量單位としての單純勞働に換算せらるゝ種々なる比例は生産者の背後に於ける社會的過程によりて確定せられ、且つそれゆゑに、それは彼等にとり慣習によつて與へられたるものなるかに見える。』

『かくて人間は彼等の勞働生産物が等質なる人間勞働の異なる外皮とみなさるるが故に、それらの物を價値として相互に關係せしむるのではない。逆である。彼等は彼等の異種類の生産物を相互に交換に於て價値として平等視することにより、彼等の種々なる勞働を相互に人間勞働として平等視するのである。彼等はそのことを意識してゐない。しかし彼等はかく行ふ。』

以上の說明を補ふために若干の附言をすることを許されたい。まづ價値の質について。價値は前述の如く一般的抽象的の人間勞働である。然れども、此一般性抽象性と云ふのには二の意味が含まれる。一方に於て、此場合の勞働はすべての勞働の有用性具體性から抽象せられてゐるが故に、それは單に人間の物理的能力の支出としての（人間の腦髓、筋肉等の生産的なる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支出）勞働として一般的である。又他方に於ては、一々の勞働の生産物は他のそれと交換せられる、即ち一を生産したる勞働が他を生産したる勞働と相等しとせられる。かくて各の勞働に總勞働の平均部分を構成するものとして、互に相等しきもの、平等なるものとして見らるる點に於て、一般的である。此一般的と云ふ規定は全然社會的のものである。此一般性は「各種生産物の全面的讓渡と云ふ社會的過程の産物」と見られる。此意味に於て價値としての勞働は交換の原因に非ずして、その結果であると見るべきであらう。次に價値の量について、ある商品の價値の量はその生産に社會的に必要なる平均勞働時間によりて測定せられる。而も社會的に必要なるとは、まづ前述の如く、その時に與へられたる正常的なる、平均的なる生産技術的條件の下に於て、これを生産するために必要なる、と云ふことを意味する。これについては何人も異論あるわけではない。而も、更に進みて此社會的に必要なると云ふことは、次のことを含むとされる。社會の種々なる欲望をみたす爲に、云ひかふれば數多の種類の使用價値の生産のために、社會の總勞働の振分けが行はれる、云はゞ盲目的に自己を貫徹する。此分配の姿を前提として、一商品の生産に必要であるところの、と云ふ意味が含まれてゐると云ふのである。事實に於て、一定の種類の商品を生産する爲に必要なる勞働は、それがどれだけ生産せらるるかによりて異なる。從ひて、生産技術的に必要なる勞働時間の數量も、この社會的使用價値の側からの規定を免るる能はざるわけであらう。たゞかかる使用價値の事情を全然與へられたる前提として、價値の大さは全く、技術的に必要なる勞働時間のみが價値の大さを示す、と云ふ見方は、マルクスの解釋として成り立ち得よう。此點、今斷定的のことを云ふには、私の知識はなほ貧しい。

四

次に私が吟味したいと思ふのは、所謂使用價値の抽象の問題である。私の提起する問題はその形式に於てベエム以來數多の學者によりて述べられたるものと相同じいであらう。併しながら、實質に於ては異なれるものであると信じてゐる。從ひて、ベエムの批評に對する論駁が直には、此點に關する私見への論駁とはなり得ざる性質のものである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

交換せらるる商品に共通なるものを求むるに當り、まづ使用價値が抽象せられ、これに伴ひて勞働の有用性が抽象せられ、抽象的なる人間勞働の凝結のみがそこに共通物として殘留すると見られる。此使用價値が果して抽象せられつゝあるのであるか。私は、商品に共通なるものとして使用價値があると云ふことを主張するのではない。現實的に、かゝる使用價値が共通物として取扱はれてゐないと云ふ論證の不可能であることを主張するのである。此點に關するマルクスの論證をまづ吟味しよう。

此論證は極めて簡單である、次の一句に盡きるとも云ひ得る。『使用價値として、商品は何よりもまづ異なれる質であるが(互に質を異にすると云ふことが先にたつが)交換價値としては商品はたゞ異なれる量たりうるのみであり、それ故に使用價値の一分子をも含んではゐない』。併しながら、使用價値としては何よりも異なれる質であるにせよ、異なれる量であることが否定せられてゐるわけではない、交換價値として商品が量である、使用價値は量たりえずと云ふのならば、共通物として扱はるるものが使用價値でない、使用價値が無視せられてゐると云へる。併し使用價値は量でもあり得る。『しかるに他方商品の交換價値は、明かにその有用性を度外視する、諸商品の交換關係の內部にあつては、一の使用價値はそれが適當な比例においてさへ存在すれば、他の如何なる使用價値とも全く同樣にみなされる。』交換關係の內部にありて、一の使用價値が他の使用價値と同樣にみなされる――使用價値の質差の抽象が行はれると云ふことは、その量の抽象もまた行はれると云ふことの證據にはならぬはずである。適當なる比例に於て存在することそのことが、使用價値の量差を外にして如何にして考へ得らるるか。商品の交換價値は明にその有用性を度外視すると云ふ、有用性なきものの間に交換價値は成立しないはずではないか、交換價値の大きさと有用性とが必然的關係に立たずと云ふならば、交換價値と勞働生產物たる性質も亦然りと云ひうる。交換價値の成立は交換せらるるものが勞働生產物たると、又は勞働生產物たらざる權利又は人間其ものたるとを問はず、それらの間に實現せられる。交換價値は勞働生產物なる性質を度外視する。たゞかく云ふならば次の如き議論が行はれよう。『マルクスの所謂抽象は現實に交換の間に行はれてゐる抽象、社會が現實の生產關係に於て自ら營むところの抽象である、從ひて、使用價

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

値の抽象を云ふのも、此行はれてゐる客觀的事實を述ぶるものであり、單に個人的思惟に於ける抽象を述べるのではない』。私といへども之を知る。玆に述ぶるところは使用價値の全き抽象が現實の交換過程に於て行はれ得ざることを論ずるのである。

此點については、解說者の見解を參照したいと思ふ。河上博士による。『マルクスがこゝに問題としてゐるところは、商品の交換關係——價値關係——において、現實的に交換せらるゝ双方の商品に存在する共通物として取扱はれてゐるものは何であるか、と云ふことである。』『ある物がその所有者により商品として交換に持出されるのは、それがその所有者によつて不用（非使用價値）だからであり、それは商品として交換に持出される際にその所有者によつて使用價値を捨象（無視）されてゐる。もちろんそれは他人のための使用價値でなければ、他人の所有物と交換される筈はなく、その關係からして、「商品を生產するためには、他人のための使用價値、すなはち社會的使用價値を生產せねばならぬ」のであるが、しかしこれは、その所有者により使用價値を捨象（無視）されてゐるがゆゑにこそ、始めて商品となるのである。その所有者がこれに意義を附するのはそれが彼にとつて何等かの使用價値であるが爲ではなく、たゞその生產に勞働を費してゐるからである。この場合、商品の物體的屬性は、現實にその所有者により問題外におかれてゐるのである』『資本論入門』二八四—二八五頁

なほ他の部分の引用を許されたい。『一般的に人間の欲望をみたす力を有すと云ふことも、なるほど諸商品に共通な性質となるであらう。だが吾々は今さやうなことを問題としてゐるのではない。もし之を現實の交換關係について見るならば、すでに述べたやうに、商品所有者は當該商品について全くその使用價値を捨象（無視）してゐる。』『彼にとつては彼の所有する小麥は非使用價値であり、それと反對に、他人の所有する鐵は使用價値であるが故に、彼は彼の小麥を他人の鐵と交換せんとするのである。』

私から見れば、此解說は、まさしくマルクスの主張を覆す爲の解說であるやうに見える。ある物がその所有者によりて商品として持出さるるのは不用なるが故であると云ふことから、使用價値が抽象せられてゐると云ふことが云ひ得らるるならば、此商品の需要者、新なる獲得者によりて勞働生產物たることが抽象せられてゐることから勞働生產物たる性質もまた抽象せられてゐると何故に云はれ得ないか。需要者にとりては、需要する商品が自ら所有せざる使用價値である限り、天上から降つて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來るものであつても、百日の勞働の生產物であつてもそれは問ふところではない。所有者、生產者の立場のみを主として、使用價値が抽象せらるると云ふならば、需要者、獲得者の立場を主として勞働生產物たる性質が抽象せらるる、と云ひ得ざる道理はない。更に進みて考へる。勞働生產物からの勞働の有用性の抽象、複雜勞働の單純勞働への還元、これらと等しく、使用價値の抽象もまた觀察者の主觀的なる思惟に於ける抽象ではなく、現實に行はれてゐるところの、交換のうちに實現せられてゐるところの『社會的生產過程の中に日々成しとげられてゐるところの一の抽象、』『實在的なる抽象』である筈である。交換は供給者賣手のみから成立することではない。更に立入つて考へよう。買手が使用價値を認めなかつたなら、云ひかふれば買手にとりての使用價値でなかつたならば、勞働の生產物であることから交換は生ずることはない、又買手にとりての使用價値でさへあれば、勞働生產物としての性質はどうであらうと、交換は常に行はれる、これらは明白の事理である。さう見れば、交換に於て支配的であるものは買手の地位であり、態度であると云へる。而してその態度はまさしく、商品を使用價値として見る。これを支配的でないとしても、その態度を全然看過し得ると云ふ理由はどこにも見出されぬはずである。

簡單に所信を述べる。使用價値は云ふまでもなく質であるが又ある量でもある。而もかの共通物を求むるための抽象に於て、何故にまづ使用價値そのものが抽象せられてゐるか。交換價値として商品はたゞ異なれる量たるのみ、故に使用價値は含まれず、と云ふ、これは使用價値が量たり得ずと云ふ假定の下に於てのみ成立し得る主張であらう。而も、使用價値は一面に於て明に量である。私共は一着の服衣と一箱の菓子とを比較しその一を選擇する、これらは使用價値として質を異にするにもせよ、異なれる量であるからである。而も或は云ふものがあらう。質を異にするものが如何にしてその量を比較せらるるを得るかと。玆に於て使用價値の內容を吟味しなければならぬ。使用價値は商品を有用ならしむる物體的屬性を意味し、又有用性の特定なる內容を意味し、又有用性そのものをも意味しうる。例へば菓子が舌に一定の刺激を與へうる性質をもつと共に、又それは甘味と云ふ滿足を與へうるものであり、進みては欲望充足を與へうる性質をもつものである。此中、最初のものは使用

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

價値の前提であるがその內容をなさずと云ふならば、それにも反對せぬ。而してすべての使用價値は具體的なる有用性の內容に於てそれぞれ異なるものがあるけれども、欲望充足を與ふる性質、即ち効用に於ては同質のものである、畢竟効用と云ふのは質差を切離して考へたる使用價値に外ならぬ。此効用は前述の如く、量的のものである、精確なる測定を許すか否かは別として、とにかく大小の比較を許すところの量的のものである。而して、交換の現實に於て刻々に大小が比較されつつあるところの量的なるものである。交換價値が量であるが故に、共通物は量をもつもの又は量であるものたるはずだ。と云ふ論據からのみ、使用價値にかの共通物たる資格を拒ふと云ふことは理論の運びに粗漏がある、云ひかふれば現實の抽象の見方に粗漏があると云ふべきではないか。なるほど、商品はその生產者、供給者にとりては原則として使用價値ではない、私の言葉を以て表はせば効用をもたぬ。然れども獲得者需要者にとりては使用價値をもつ。而してかのA=2B、と云ふ交換方程式は次にのぶることを意味してゐる。もとより使用價値といふことを古典派的乃至マルクス的意義に於て、從つて、限界原理の支配をぬきにして考ふるときには、次のやうに云へないであらうが、それは嚴密に解釋せらるるとき、界限効用の大さによりて定まるもの、又は限界効用の大さそのものと見られる。かの意味と云ふのは、AとBとを共に所有する人について云ふ限り、Aの一がBの二とその使用價値に於て相等しい。交換比例A=2Bであるときには、この一を所有するすべての人人にありて、AとBとの使用價値がまた此表現をもち得るやうにせられてゐる。なほ一度云ひ直せば、交換せらるる二商品に於て共通する同量のものがあるとすればそれは使用價値である、勿論此場合の使用價値はABのそれぞれの限界效用の意味に解せらるることを要する。かくて、二商品に共通なる同量のあるものは強いて之を求むるとき、社會的使用價値であると云ふ外はない。此叙述が多少とも難解であると感ぜられるならば、限界効用均等の法則、又は限界效用水準の法則に關する學者の說明を參照せらるることをすゝめる。私は今此點を詳述する遑がない。

五

更に一歩を進める。使用價値が抽象せられてゐると云ふ論證

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

不足の命題を肯定するとする。そこに殘るところはたゞ、勞働生産物であると云ふ屬性のみであるか。これは容易に肯定しがたい。けれども此點は今までの批評家によりて繰返されたることであるから、別にとりたてゝ問題としない。使用價値をすべて抽象し去るとする。さうすれば勞働の有用性と云ふものもまた抽象せられる。而して勞働生産物のうちに殘るところは、抽象的なる人間勞働の凝結のみである。かう云ふ考方については次の二問題が存すると思ふ。まづ第一に、使用價値の抽象に際しては商品の使用價値の種々なる質を抽象するに際し、それぞれの量をもつてゐる使用價値そのものまでが抽象せられてゐる。さうであるならば、何故に勞働生産物について、勞働の有用性、即ちそれぞれの質を抽象することが同時に、勞働そのものの抽象とならざるか。勿論、此抽象は交換のうちに實現せられてゐることであつて、論理的なる抽象でないと答へられよう。けれども、此同一なる交換過程に於ける抽象が有用性をはなし去る場合使用價値にありては使用價値そのものをも抽象し、勞働生産物たる側にありては、勞働の有用性のみを切り離すに止まるのか。此差異の必然的である根據が明にせられてゐない。使用價値の質の抽象が使用價値そのものの抽象であるならば、有用勞働、即ち勞働の質の抽象はやがて勞働そのものの抽象を意味するはずではないか。かくて、使用價値を離れて考ふることは同時に財を勞働生産物たることから切離して考ふることとなるのではないか。

併し此點は私の單なる思ひつきであるに止まる、何も力說するところではない。なほ一歩だけ立入る。勞働からその有用性を抽象することは、これをすべて同一なる質のものと見ることである。同一なる質のものであればこそ、その數量を云々し得る。從つてそこにはもはや、何等還元の問題はないはずである。同一なる性質のものの一方を他方に還元すると云ふことはその意味をなさぬ。一方のものを他方に還元することを要するところには、そこには、そこに質の差異があると見るべきではないか。然るに、『雲泥の差ある諸勞働の平等は、これらのものの現實的なる不平等の抽象によつてのみ、即ちそれらのものが人間の勞働力の支出として、抽象性に於ける人間勞働として有するところの、共通なる性質への還元によりてのみ成立し得る。』かくて有用性の抽象は勞働を抽象的なるたゞの人間勞働に還元

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する。此平等なる質を有するところの抽象的なる人間勞働にもはや還元の必要はないはずであるのに、更に一段の還元が行はれる。（勿論二種の還元が別々に行はるるのではない、交換によりて一擧に行はるるであらうが）それは複雜勞働の單純勞働への還元である。『如何なる價値形成過程に於ても高級の勞働は常に之を社會的の平均勞働に還元しなければならぬ。例へば一日分の高級勞働は、之をX日分の單純勞働に還元することを要する。』（『資本論』第一卷第三篇第五章）此還元を要する複雜勞働又は高級なる勞働と單純なる勞働とは、それは異なれる種類、異なれる性質のものではないか。マルクス自身にありても、これが種類の異なれる勞働として表現せられてゐる。『種々なる種類の勞働がその度量單位としての單純勞働に參加せらるる種々なる比例は』と云ひ、『吾々はあらゆる種類の勞働力を直接に單純なる勞働力とみなすが』と云ふ。これらは有用性を抽象せられたる勞働についてのみ云はるべきであり、從つてこの種類の差別は複雜單純、又は高級單純の區別をさすものとしか思はれない。勿論、複雜なる勞働は單純勞働の倍化せられたるもの自乘せられたもの、又は此量の高いものとは見られてゐる、その表現の意圖は此間の差別をあくまで程度的數量的のものとするにある。然れども、勞働そのものが『人間勞働力のある支出』、『人間の腦髓、筋肉、神經、手等の生産的なる支出』である以上、その分量が勞働時間を以て、又勞働の强度を顧慮して測定せらるると云ふことも理解し得られる。然れども、AとBと全く異なれる勞働であり、Aの勞働は如何なる訓練を加ふるもBの勞働となり得ず、Bの勞働また同樣にAの勞働となり得ざる場合、それは全く異質のものであり、一方を他方の幾倍として考へ得られざるものである。勿論、交換にありては、それぞれの生産物が異なれる交換價値をもつ、云はゞ數量化されてゐる。併しながら此交換價値の決定が勞働の換算以外の仕方によりて行はるるとして說明し得らるる場合に、それが勞働數量の換算に基くものと考へねばならぬ必然性がどこにあるか、而も此換算は人間の知性にとり可能であると見る外なき場合に、換算を營むものは社會であつて個人の主觀的思惟ではない、その道行は交換であると說かれよう、けれども社會の交換による換算は勞働そのものに換算可能が含まれてゐるといふことを前提としないか。併しながら此點も、私の力を入るるところではない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六

なほ使用價値の抽象によりて殘るものが抽象的なる人間勞働であると云ふことに關して、從來しばしば繰返さるることではあるが、なほ一の點を述べる。一體、商品體から使用價値が抽象せらるるにしても、そこに殘るものはたゞ勞働生產物であると云ふ。然れどもこのことは當初から觀察の範圍のうちに勞働生產物のみを取り入れてゐる、そしてそれ以外のものを觀察の範圍から取除いてゐる。而して商品から使用價値を抽象すれば、殘留するものは抽象的なる人間勞働のみであると云ふ。これは勞働生產物にあらずして賣買せらるるものは商品にあらずと云ふ前提を許してのみ可能である。而も今日の資本主義社會を見る、賣買總額の少からざる部分は——權利土地の如き——勞働生產物にあらざるものである、此現實に於ける商品の少からざる部分を商品の範圍以外に推しやることが果して許し得らるべきか。私は此點に關して對立的立場からの主張をきかなければならぬ『吾々の觀察の仕方は無前提ではない。これは現實的なる前提から出發し瞬間といへども之を見失はない。』『さてかゝる

(この點に關する引用を省略す——筆者)前提のもとに、吾々が現に住むところの資本家的社會を觀察するに、なほどこでも吾々の生活を維持してゆくに必要な物資を生產するため、絕えず勞働が費されてゐる。そしてそれら社會の總勞働は、一定の割合で、製鐵、造船、紡績、織物、農業、鑛業、水產業等々の種々なる生產部門に配分されてゐる。しかし現在の社會にありては、これらの生產物はすべて商品として生產されるのであり社會的生產は商品生產の仕方によつてゐるのである。』『社會的勞働の聯絡が個人的な勞働生產物の私的交換として行はれるやうな社會狀態のもとで、勞働のかゝる比例的配分が自らを貫徹するその形態は、正にこれら生產物の交換價値である。』『そして吾々にとつての問題は、これら生產物の交換價値と社會の總勞働との內的聯絡を明にすること、これである。かの自然法則が商品生產の社會に於て自己を貫徹する形態——社會的勞働の特殊なる形態としての交換價値——それを究明することが茲に問題とされてゐる事柄なのである。それゆゑ吾々は先づ勞働生產物の交換を觀察の對象とするものであり、勞働生產物以外のものは暫くこれも問題外に置くのである』。(河上肇氏『資本

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論入門』三一〇―三一一頁）

かゝる問題を問題とすることはもとより自由である。けれども、その見地に立つと云ふことから勞働生産物のみを觀察の對象に取入れると云ふことが、必然の結論として生じ來るか、又進みて、勞働生産物のみを觀察の範圍に取入るゝにしても、それのみを商品と見ることによりて（他に商品の存することを看過して）、商品の價値を求めると云ふ見方が如何にして許さるるか。なるほど社會の總勞働の分配は交換を通じて行はれる。此の分配の仕方を問題とする限り勞働生産物の交換價値を考察することは當然の道行である。けれどもその分配は一切の商品の交換の間に遂行せられる、一切の商品が商品として交渉をもつ所に實現せられる。然らば當然に、すべての商品が商品としてまづ取扱はるべきではないか。與へられたる見方からして何故に勞働生産物のみを商品としての考察範圍に取りこむべしと云ふ結論が生ずるのであるか。種々なる非勞働生産物が價格をもつ商品としてあらはれる。而もこれの價格によりて社會の需要の姿、從ひて勞働の分配の落ちつく姿がいろいろに決定せらるるのは餘りに明白のことである。これを看過して云はゞ商品のすべてを商品として取扱はずして勞働の分配の仕方が明にせられうるか。又勞働生産物以外のものは商品生産がある程度まで發展してはじめて商品形態のもとに現はれるやうになる、これらの諸現象は、生産價格と價値との關係のやうに、『まづ價値法則を明にしたる後』說明さるべきものに屬する、と說かれる。けれども、所謂價値法則が明にせられたる後とても、如何にしてこれらの商品の交換價値が說明し得らるるか。勞働生産物からのみ、而して勞働生産物たることの中に價値の本質を求めたる仕方からして、如何にして、それ以外のものの商品たる性質を說明しうるか、それの交換價値を說明しうるか。なるほど價値法則が明にせられると、そこに均衡に於ける價値と價格との姿が明にせられよう。『所謂諸現象をその合法則的なる、その概念に相應する姿に於て觀察せんが爲め、云ひかふれば、それを需要供給の變動によつてひき起される假象から獨立に觀察する』ことにより、價値と價格との均衡に於ける聯絡が明にせられる。需要供給の關係はこの聯絡から價格を切りはなし、逸脫せしめる。けれども、此價値法則がまづ明にせらるることによりて、次に需要供給の關係がとり入れらるることによりて明となるの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、價値あるものの價格の價値からそれである。價値なきものの賣買は如何にして可能なるか、商品を勞働生産物に限局して、而も價値なきものの如何にして商品たり得るかは、(そのある特殊のものを除いて云へば) 何等說明せらるるところはない。いづこにかゝる說明をさがし求むべきか、寡聞の私はこれを知らぬ。『これらの諸現象は』價値法則を明にしたる後』說明し得られずに殘つてゐると思ふ。

七

最後に私は自ら最も重要なりと信ずる論點にうつる。それは勞働價値說に於ける論證の循環的なる性質に關する。此點は今までの批評によりて云ひ古されたることであらうが、私は自らの考の筋だけを述べる。

今まで私は勞働價値說の論證の道行を吟味して、その如何なる點に論證の不足從ひて理論の飛躍の存するかを考へた。併しこれらの不足を認めず、その飛躍を看過して、一應その論證を承認するものとする。さうしたる場合に、此勞働價値說から價格の說明に於て何が敎へらるるかを考へてみる。此敎へらるるべき問題を複雜勞働の體化せられてゐる商品の價格と云ふことに局限する。

勞働價値說の立場からすれば、商品の交換比例は各商品に體化せられてゐるところの勞働の數量の比率によりて定まるわけである。勿論價格と價値とは、利潤率の平均が行はるる限り、相離れる、所謂生産價格は價値よりも多くはまた少い。併しながら、茲にはそれを問題とするのではない。まづ、交換せらるるこの商品には共通なる第三者即ち勞働がある、双方の商品の一定單位の價値、即ちそれに體化せられてゐる勞働の比率に從ひて交換の割合が定まると云ふ立場に立つ。此立場はまさしく、價格が(交換せらるる商品の中に體化せられてゐる)勞働の數量によつて定まる、と見るのである。然るに、この勞働の數量は如何にして計量せらるるか。作り出さるる使用價値の方面からは如何に異質的である勞働といへども、それが單純勞働である限り、その勞働の繼續時間によりて。けれども問題の存するのは複雜勞働の生産物についてである。複雜勞働bの生産物Bは單純勞働aの生産物Aと交換せられる。ABの交換の比率はそれぞれの生産の爲に社會的に必要なる勞働abの數量に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

よりてことなる。然るにaは單純勞働であり、bは複雜勞働である。bは一定單位のaに還元せられる。而してそこにAとBとの交換比例が定まると云ふことになる。AとBとの交換比例はそれぞれの生産に必要なる勞働AとBとの比例に外ならぬ。

然らば複雜勞働bは單純勞働aにまで、如何にして還元又は換算せらるるか。この問題に關して次のことを知り得る。『複雜勞働は自乘化せられたる、又はむしろ倍化せられたる單純勞働として妥當し、從ひて複雜勞働のより小なる分量は單純勞働の大なる分量に等しい。かゝる換算―還元―がたえず行はれてゐることは經驗が示す。』『ある商品は複雜勞働の生産物であるとしても、その價値はその商品を單純勞働の生産物と等しからしめ、從ひてそれ自身はたゞ單純勞働の一定分量を表示する。』けれども、これは還元又は換算が行はれてゐることを主張するに止まつてゐる。勞働價値説が成立しようとする限り、此換算は必要の條件である、此條件が存立してゐることを主張するに止まる。

此點に關する河上博士の解説を引用しよう。『吾々は複雜勞働が單純勞働に換算されうると云ふのではない。商品社會にあつては、かう換算が經驗的にたえず行はれてゐると云ふのである。あらゆる種類の生産物が、從つて如何に複雜なる勞働の生産物も、商品社會にあつては、全面的に交換されることにより、一定の分量上の比率において互に相等しとされる。かくて如何なる種類の生産物も一定分量上の比率をさへ保つてゐれば、價値として皆な相互に等しきものとされる。このことは、それらの商品を生産するための種々なる勞働が、一定の割合において、共通の平均單位に還元されることを意味する。』(『マルクス主義經濟學の基礎理論』四八八頁。)此解説に於て述べられてゐるところも、複雜勞働が單純勞働に換算せられてゐると云ふこと、それが交換の過程に於て行はれてゐると云ふことの主張だけである。もとより此『一定分量上の比率』が如何にして保ち得らるるか、と云ふこの中にも、勞働價値説の吟味としては重要なる意義を有する論點がふくまれて居る。けれども、今はそれに論及しない。たゞ換算が事實上行はれてゐることのみが、主張せられてゐるのは、注目に値する。而して、此場合、換算の割合(比率又は尺度と云ふも同じい)はどうなつてゐるか。それは生産物ABの交換の比率に於て與へられてゐる。か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

くて、前に述べたる部分とこの部分を一括して考へる。ABの交換比例は（その各の單位の中に）體化せられてゐる勞働abのそれぞれの數量によりて定まる。此數量は何によりて知らるるか、ABの交換比例によりて。これではすべてが一の循環に於て動いてゐる。交換比例（從ひて價格もさうであるはずであるが）は勞働量の比率によりて定まる、勞働量の比率は交換比例に於て定まる。これだけの理論の形式ならば、勞働量と云ふのに何を置きかへても、矛盾なく主張し得らるるであらう。勞働量と云ふ代りに長さといふも容と云ふも一樣にまた。

勞働量の比率（換算の割合）については、後に述ぶるが如く、アプリオリなる尺度があるわけではない、たゞ交換を通してのみ換算が行はれる。社會が此換算の實行者であると云ひ得よう。かう云ふ解釋で許さるべきであると思ふ。『高級勞働と單純勞働と、熟練勞働と不熟練勞働との區別は、一部的には單なる幻想に基くものである。或は少くも、既に久しく現實的であり、僅に因襲的な傳統の中にのみ存續してゐる區別に基くものである。それは又、一部的には勞働階級中の若干部類に屬する人人が賴りなき境遇に置かれてゐる爲、他の類の勞働者がするほどには、自己の勞働力の價値を要求して獲ることが出來ないと云ふ事實にも基くものである。偶然の事情はこれにつき極めて大なる役割を演ずるものであつて、この二種の勞働に相互の位置を變換させると云ふ結果をもたらす。』『資本論』第三編第五章。）一方、この主張は高級なる勞働と熟練なる勞働との區別が勞働力の價値乃至受取る所の勞銀にあるが如くにも解せらるるふしがあるけれどもかう云ふ見方（たとへばベルンシュタインのそれの如き）は避くべきであると思ふ（資本論第一篇第一章註一五、ヒルファディング『ベエムのマルクス批評』そのほか）。他方、この主張は、次の事を示すものと見得る。高級なる勞働と單純なる勞働との區別は一に、その生產物が如何なる比率によりて交換せらるるやによりてめじるしをつけらるるものである。但し此見方は換算の尺度又は比率について何等それ以上のことを述ぶるのとも思はれぬ。

複雜勞働は單純勞働に還元せられてゐる、還元又は換算の割合は交換比例に於て示されて居る。かく云ふのみにては、それは事實に於て何事をも論證してゐない。それが十分なる論證であるためには、換算の尺度が與へらるることを要する、勿論換算を行ふものは社會であり、その方法は競爭的なる交換を通してであらう。『價格の高さを計量しうる唯一の算數家は社會であり、またこの計畫に當りて社會が用ふる方法は競爭である。社會は、市場の自由競爭において、總ての生產者がある財の生產のために支出したる具體的勞働を一單位として取扱ひ、そして此勞働支出が社會的に必要であつた限りに於てのみ、それに對して代償を支拂ふ。』（ヒルファディング、ベエムのマルクス批

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

評、五一頁）此際、換算の如何なる原理に基いて行はるるかを明にするならば、はじめて論證の循環性が取りのぞかれる。複雜なる勞働は一定の原理によりて（云ひかふればある尺度によりて）單純勞働に換算せられる。換算せられてすべての生産物がそれぞれに異なれる數量の勞働の凝結と見らるるに及び、それぞれの此勞働數量に應じて交換比例が決定せられる。

　此原理はヒルファディングの見方からすれば、マルクスの價値法則の中に含まれてゐる。前に引用したる如く、複雜勞働は單純勞働の倍加せられたるもの、自乘せられたるものである、これは前者の中に後者の多くの數量が含まれてゐることを意味する。『社會的平均勞働に比べてより高級なるより複雜なる勞働と見なされるところのものは、即ち單純なる勞働力に比してより大なる費用を以て教育せられ、生産上により多くの勞働時間を要する。從ひてまた、より高き價値を有する勞働力の實現せられたるものである。この勞働力はその價値が高い場合には、高級なる勞働として實現せられ、從ひて同一の期間に比較的に大なる價値として對象化されることになる。』（資本論第三篇第五章）これは高級なる勞働がその生産上、より多くの價値を要したることをも意味してゐる。勿論、前にも述べたるが如く、勞働の複雜なることが勞銀の大なることを意味するものではない、たゞ勞働力の價値（生産上の費用）が大であれば、それが複雜なる勞働として實現せられると云ふのである。然らばそれは何故であるか。ヒルファディングはこれを解して次の如くに云ふ。

『單純なる平均勞働は、單純なる勞働力の支出であるが、質的に高級なる勞働或は複雜勞働は質的に高級なる勞働力の支出である。しかもこの複雜なる勞働力を作り出すためには、一聯の單純勞働が必要であつた。この複雜なる勞働力は質的に高級なる勞働者の身體のうちに蓄へられてゐる。彼が勞働し始める場合に、初めて此熟練勞働は、社會に對して流入して來る。從つて、熟練者の勞働は、價値（これは高い勞銀となつて現はれる）も移植するのみならず、またそれ獨自の價値形成力をも移植する。故に熟練勞働は、社會にとつて潜在的であり、そして複雜勞働力が勞働しはじめる時に、始めて社會に出現する。從つて、複雜勞働の支出は、あらゆる種類の單純勞働——それらは漸次に凝結して複雜勞働力となつて現はれる——の支出を意味する。』

『單純勞働は、高級勞働力の生産のために消費される事によつて、一方においては、この高級勞働力の價値——これは高級勞働力の勞銀として再現する——造り出すが、他方においては、其消費の具體的態樣によつて新たなる使用價値を造り出す。この使用價値が成立するのは單純勞働によつて具有せられ、また複雜勞働の形成に入りこんだ一切の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働力を以て價値を創造しうるところの一の勞働力がこの場合存在するからである。』『社會的立場から考察するならば、單純勞働は、それが複雜勞働力の生產に消費さるゝ限り、潛在的である。單純勞働の社會に對する作用は、高級勞働力——單純勞働はこの勞働力の形成に入り込む——の活動と同時に始まる。從つて、單純勞働の總量は複雜勞働力の支出と云ふ單一の行爲によりて支出せられ、それと共に、價値及び剩餘價値の總量が作り出される。この總量は複雜勞働力とその機能たる複雜勞働を造り出すために必要なる總單純勞働の支出によりて產出されるところの價値總量と、一致する。故に複雜勞働は、社會的立場から見れば、從つて經濟的に考察すれば、單純勞働の倍加として現はれる。』『從つて、社會が高級勞働の生產物に對して支拂はなければならぬところのものは、單純勞働が直接社會によりて消費せらるる場合に、それが作り出すであらうところの價値に對する等價物である。』（『ベエムのマルクス批評』塚本氏譯四七、四八頁）

此解釋は頗る注目すべきものである。この解釋により所謂倍加せられたる、又は自乘せられたる單純勞働の意義も明にせらる。而して、所謂複雜勞働が單純勞働の幾何に換算せらるるかの原理もまた明にせられる。かくて『マルクスの價値理論は、價値の高さをして、理論的に測定し得らるる大さたらしめる』と云はれるわけである。但し、次に述ぶるが如き難點さへ伴はなかつたならば。

ヒルフアデイングに於ける大體の見方はかうであると思ふ。

こゝに一の勞働力がある、それが特別の費用をかけない場合には單純勞働として作用する。しかしそれに澤山の費用をかけるとする、これは前だつところの單純勞働の生產物を費消することを意味する。さうすると、これで形成せられたる複雜勞働力の行使、即複雜勞働は費用をかけないでもはたらきうべきであつたらうところの單純勞働と、費用にかけた單純勞働との和として作用する。費用をかけたる單純勞働は、それまでは社會的には作用せず潛在的なるものであつたわけである。勿論、費用さへかけたものなら如何なる勞働も複雜勞働であるとは云へぬ、高級勞働又は複雜勞働と云ふものは、其生產物が單純勞働のそれよりも幾倍か多く支拂はるるものである、從ひて競爭の十分に行はるるところ、生產物の數量さへ一定の割合にあるならば（需要との關係に於て考へらるべきである。）費用をかけて成立する勞働は複雜勞働として、その生產物にかゝる支拂がなされるわけである。此點から云へば生產物の價値から云へば單純勞働が機械を運用して、その機械の消耗部分だけの價値を生產物の上にうつすのと、複雜勞働化するための費用をかけて、費用だけの價値を生產物の上にかへすのと全く同樣なる趣のも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のである。

これについて私が認むる難點の重なるものは次の如きものである。一體、複雜勞働力の形成に費用を要する、しかしこれだけのことから知り得らるることは、複雜勞働力の價値が單純勞働力のそれよりも此費用だけ多いと云ふこと（これについても問題がひそむと思ふが、それには論及しない）である。それ以上のたしかなることは何ごとも云へるはずがない。しかし勿論これだけから高級なる勞働の生産物の價値の高いこと、又價値の高さを推斷することは出來ぬはずである、それに此勞働に於ける餘剩價値率の明でない以上。この點はヒルフアデイング自身明かに認めてゐながら、而も、他の方面から、更に多くを述べてゐる。第一。ヒルフアデイングの解釋によれば複雜勞働化せられたる勞働力は、費用の形に於て蓄積されてゐる單純勞働（複雜勞働も費用の中に入り込むが、道理に於ては別に變つたこともないから、それを離れて考へる）の支出として作用するほか、固有の價値形成勞働として作用するはずである。而も此後者がやはり一の單純勞働であると云ふ假定を許さなければかゝる主張が成立し得ない。而も何ものあつて此假定の妥當性を論證し得るか。多額の費用をかけて養成せられたる複雜勞働力が生産しうるところは費用に含まるる單純勞働に加ふるに、それ自體としての一の單純勞働だけの價値であると云ふことが如何にして論證し得らるるか。第二。費用をかくることにより複雜勞働力を形成すると云ふことは、何人にも出來ることではない。特殊の能力、ある程度に於て本來の天賦を有するもののみが之をなしとげ得る。從ひて、複雜勞働として支出せらるるものの中には、費用としてかけられたる單純勞働のほかに、此優秀なる能力の作用と云ふものがあるわけである。單純勞働力として形成せられたる能力よりも本來優秀なる能力が複雜勞働力として形成せられたとすれば——而してこれは事實であるが——單純勞働としての價値の生産物への移轉を離れて考ふる限り、何れの勞働力をもこれを一の單純勞働として考ふるを得るか。ヒルフアデイングの見解は明瞭とは云へないが、それが十分に支持し得らるる爲には、やはり此こそ共に單純勞働と見る外はない、さうでなくては、所謂複雜勞働の生産物に關する價額の高さを求むべき原理が得られないから。ところで、この二をともに同量の單純勞働と見る（從ひてともにこれを單純勞働

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

として見る）ことに何の積極的論據があるか。若し二者がともに單純勞働として見なさるるならば（交換に於て共に同量の單純勞働として取扱はるるならば）何を苦んで、優秀なる能力のものが費用をかけても、自體を複雑勞働化せんとするのであるか、此點、全く説明し得られざるところである。第三。『高級なる勞働に内在する屬性（これが高級勞働の價値形成的性質を形づくる）を問題にするならばすでにその問題提出が誤謬である。』『如何なる勞働もそれ自身のうちに價値形式的屬性を内在せしめてゐるのではない。』『具體性のまゝの個別勞働を考察することによつて價値形成的勞働と云ふ概念に到達することは總じて不可能である。』『特に多くの費用を要したる勞働の支出が複雑勞働であり得るためには、交換に於て、その生産物が單純勞働の生産物のより多くに値するものとせられなければならぬ。結局『社會が高級勞働の生産物に對して支拂はねばならぬところのものは、單純勞働が直接社會によつて消費せらるる場合に、それが作り出すであらうところの價値に對する等價物である。』かくて、多くの費用を要したる勞働力の支出が複雑勞働たるが爲には、交換に於ける十分の競爭あることを要する。勞働力が特別の費用を多く又は少くかくることにより、又はかけざる事によりて甲の複雑より乙の複雑勞働へ、又は乙より單純勞働へ、單純勞働より甲へと云ふが如く轉換の自由に行はるゝこと、此轉換が、生産物の交換の事情に從ひて行はるることを要する。かくてはじめて、費用を特に要したる勞働力の支出は、それだけの費用に應ずる價値を生産物にうつすところの複雑勞働となる。複雑勞働が如上の割合に於て換算せらるるのは、かゝる轉換の自由によりてのみ可能である。然るに此轉換の自由は極度まで制限せられてゐる。例へば勞働bの生産物Bの需要増加して、bが高く賣れるとする。さうだとしても、他の勞働からこれに轉じうる可能は著しく小である。勞働bは恐らく高い勞銀を支拂はれるであらう。けれども、單純勞働の中からこれに移るだけの能力（ある種の仕事は特殊の能力なくして全然營まれ得ない）と、特殊の費用を支拂ひ得るものは多くはない、少くも、Bの供給を増加せしめて、複雑勞働の生産物に支拂はるるものかその中に含まるるすべての單純勞働に他の用途に於ける生産物に對して支拂はるるだけであらしめると云ふ保證はない。單純勞働を供給しつゝある勞働階級が習熟の費

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

用を排ひ得ざることの一般的であるだけかゝる可能は減少する、從ひて、複雜勞働が內に單純勞働を含めてゐるだけの割合に於て、單純勞働の倍數であると云ふ可能が愈減少する。

『一般人間的の本性を改造し、それが一定の勞働部門に熟練と敏捷とを得て發達したる特殊の勞働力となるやうにするには、一定の訓練又は敎育を必要とする。而してこれには又、大なり小なりの商品等價量を要するのである。勞働力の複合的性質の如何に應じて、その敎育費の上にも樣々の差異が生じて來る。』『資本論』第二篇第四章。)『高級勞働と單純勞働と、熟練勞働と不熟練勞働との區別は、一部的には單なる幻想に基くものである。』『それは又一部的には勞働階級中の若干部類に屬する人人が賴りなき境遇に置かれてゐる爲、他の部類の勞働者がするほどには自己の勞働力の價値を要求してうることが出來ないと云ふ事實にも基くものである』これらの文句によりて判定すれば、高級勞働と單純勞働との區別が一に勞働力の價値の大小に應ずるが如くにも考へられる。しかし、此勞働力の價値の大小はやがて勞働の高級と單純との區別に應ずる。『この勞働力は、その價値が高い場合には、高級なる勞働として實現せられ、從ひて同一の期間に比較的大きな價値として實現される。』これ丈の文句は私共に二の知識を與へる。其一。複雜勞働、單純勞働の區別は生產物の價値の大小に應ずるものであること、從ひて必ずしも、訓練敎育の費用の如何によらざること。但しこのことが前に引用したる第二篇第四章の文句と如何に調和するかはなほ一考を要する。其二『勞働力の價値大なるときには比較的に大なる價値として實現せらると云ふ。このことに關聯して考へる。これは餘利價値率の一定に近いことを前提とするに非ずに云へぬことである。が甚しく異なつてゐては云へぬことである。即ち勞働力の價値高くても餘剩價値率甚だ小ならばより高級なる勞働として實現せらるとは云ひにくい。更に轉じて考ふるに、餘剩價値率の大さが勞働の高級なるにつれてどう變化するかについては、明白なる記述がないのみならず、種々なる勞働が此點からは著しき差異なきものとして取扱はれる。云ひかふれば、餘剩價値が明白に、勞働の高級なるにつれて低いと云ふことが(少くも私のせまい知見の範圍から云へば)說かれてゐない。若し、ヒルフアデイングの如く、かの添加單純勞働と本來單純勞働とがすべて他の用途に於ける單純勞働の生產物に對すると等しく支拂はるゝと云ふが如きことは、かゝる事情に於て(剩餘價値率にしてあまり變化なき限り)は云はれ得ぬことである。

併しながら、兎に角にヒルフアデイングの解釋によりて、複雜勞働の單純勞働に換算せらるる原理が與へられたものと見得る。然れども此主張の當否は容易に經驗に徵し得らるる事情になつてゐる。即ちヒルフアデイングの解釋によれば、複雜勞働の生產物の價値は、此勞働支出のものである複雜勞働力の形成のため特別の費川だけの價値に單純勞働の生產物だけの價値を加へたるものの和に等しい(これをかりに、費用の價値、本來の價値としてあらはさう)はずである。若しさうでないならば、かの社會的換算の原理と云ふのが見出せない。そこにはた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゞ循環的説明のみが殘るはずである、費用の價値に加へらるる本來の價値がこれよりも更に異なれる大さのものであるならば。さて、如上の換算原理は果して現に社會の行ひつゝあるものと見得るか。かゝる立場から云へば、それぞれの勞働力の價値、云はゞ勞銀は常に、その勞働の生産物よりも、小なるはずであるから、高々かの費用の價値に單純勞働の生産物の價値をこえぬはずである。而も、餘剰價値が常に存する以上、それよりもやゝ小なるはずである。かくて結局、複雑勞働に對して支拂はるる勞銀は、かの費用の價値に加ふるに單純勞働に對する勞銀を加へたるもの（二種の勞働に於ける餘剰價値率の差からなる差はありうるにしても、これが小なることは論證し得られる）と見られ得る。單純勞働の價値は僅にその衣食を支へうる狀態にある、而も此論法からゆけば、如何に高級なる勞働に對しても、教養のための費用を除いて云へば、僅に衣食の費を償ふだけである。如何に高級なる勞働といへどもそれ以上を支拂はるることはあり得ない。如何に高級なる勞働の提供者も、自己の勞働力の形成のための費用以外、從ひて次の世代のこの勞働力の形成のための特別の費用以外、僅に最下層の勞働者の生活をなすべき勞銀のみが與へられる。彼にとりてはそれ以上の生活標準を維持すべき收入が與へられない。要するに、勞銀の實質的差等はあり得ない。ある種の勞働の提供者が平均的にみて他の勞働の提供者よりも高い生活を享受すること、或はいくらか貯蓄をなすことも考へ得られない。勞銀の高さが生活程度に應ずること、ある意味に於て、勞働力の生産費であると云ふことの主張と如何にしてこれが調和しうるか。要するに、ヒルファディングの解説も全然支持し得らるべきものではない。これを支持することはマルクスの勞銀説そのものを破壊することとなる。

八

終りに、マルクス勞働價値説に對する概觀的批評を加へよう。

今までの敍述は重に、マルクス勞働價値説に於ける論證の各段階の吟味に終始してゐる。茲に轉じてその見方の全體を吟味したいと思ふ。その論證の出發點には異なる交換の比例が取扱はれてゐるやうに見えても、立論の大綱は次の如きものであら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

う。マルクス價値法則の內容とするところは經濟的均衡に於て支配するところの法則である。一切の勞働生產物は相交換せられる。社會の欲望に應ずるところの分配が暗然たる必然として盲目的なる平均として自己を貫徹する。『社會的勞働の聯關が個人の勞働生產物の私的交換として行はれてゐる社會狀態の下では、勞働のこの比例的分配が實現される形態はまさにこれらの生產物の交換價値である。』而して、價値法則はまさしく、此自己を貫徹する均衡に於て、交換を、價格を支配するところの法則である。價値ありて交換あるに非ず、交換あるが故に價値ありと云ふ見方は此立場の解釋として肯定せらるべきであると思ふ。勞働すべての生產部門への分配、全面的交換、競爭、そこに自己を貫き價値を支配するものとしての價値が成立する。價値法則がかゝる性質のものである事に關して、この交換される商品に共通なもののあるべきことを論證することを要せず、又此共通物が勞働であることをも論證することを要せず、たゞかゝる共通物が勞働であることを取り出して述ぶれば足るはずであると云ふ見方も考へられよう。然れども、マルクスは明に論證の遂行を辿つてゐる、それは何故か。これを掲げ出すにしても、現實に於て自己を貫徹するものが何故に價値法則であつてその外のものでないかを明にしないならば、その主張自體のうちどこに必然性があるか。

此點を離れてもなほ次の事を云ひ得る。商品の價値の大さはその中に結晶してゐる抽象的勞働の數量に外ならぬと云ふ價値法則自體は所謂均衡に於て支配する法則である以上、即ち需要供給の均衡してゐる姿に於て支配してゐる法則である以上、價格は價値により、價値は社會的必要勞働によりて定まると云ひ得られるとする。然れども正しくこれと同樣なる權利を以て、價格は使用價値によりて定まる、價格は生產費によりて定まると云ひ得るほどである。均衡に於て假に、價格が價値に從ひて勞働數量に一致してゐるとせよ。ある商品の生產に必要なる勞働數量そのものは本來、生產數量のどれだけであるかによりて定まり、生產數量は使用價値によりて定まる各種の商品の生產數量の割合は一にその使用價値――効用の決するところであるから。かくて、勞働數量そのものが使用價値の支配をうける、ただ均衡に於て、價格が勞働從ひて價値を一致すると云ふことにある(與へられたる前提を許してかゝれば)、けれども、これは

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其實、一の平行の關係と云ふ外はない。此意味に於ける平行はたとへば、任意の二商品の價格はこれを共に所有する任意の主體に於て、其限界効用即ち狹義の使用價値と比例すると云ふ關係の中にも存する。云はゞ價格は社會的使用價値に等しい。けれども、此場合とても使用價値が單獨に價格を決定したのではなく、價格の決定には他の複雜なる事情に負うたのであらう。たゞ、使用價値と價格とが平行の姿に於てある。勞働が價値を、價格を決定すと云ひうるならば、同樣なる意味に於て、使用價値が價格を決定すると云ひ得ないはずはない。これは均衡の性質を理解してゐるものの何人も否定し得ざる事がらである。蓋し數多の經濟的數量は互に相決定する、而して所謂自己を實現する均衡法則の支配の下にありては、その一に他のあるものが應ずると云ふ平行關係のみが存する、その一方面を取り出したるものとして所謂價値法則が考へらるべきである。

然れども、所謂盲目的に作用する無規則性の平均法則として、大量的事實の全體に於てのみ自己を貫徹するものとしての價値法則は、これを均衡に於て支配する法則として見るとき、極めて粗雜にして、到底支持しがたきものである。第一。各種勞働間の換算の割合に關する論證を缺く。これを現實の社會について見る。異なれる勞働の生產物が異なれる價格を有するのは勞働の數量の故に非ず、たゞ勞働の供給者の抵抗、即ち社會的勢力の故である。勢力の故に生ずるところの價格から、又は進みて交換價値から、勞働換算の割合を求むると云ふ逆行がとられてゐる。此點については今重ねて批評を加ふる必要もないと思ふ。第二。所謂自然法則が平均として自己を貫くのには、即ち均衡の傾向が支配するのには、常に使用價値又は効用の作用がはたらいてゐる。これの作用を明確ならしめずしては、均衡の何たるかを明にすることは出來ぬ。マルクス勞働價値說は此使用價値をたゞ前提とするのみ、これを暗黑の中に推しこめて、その作用を取り出さない。第三。他の重要なる難點としてあぐべきは平均原理について何等の論證なきことである。盲目的なるものは平均して自己を貫徹すると云ふ。自らを實現してゆく理性的のもの本質的のものは此場合、何故に平均的のものであるのか、何故に平均的のもの以外ではないのであるか。古典派經濟學にありてはなるほど正常的なるもの、偶然的なる市場價格の落ちつく先が平均的なるものとして考へられ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てゐたであらう、マルクスが此傳統の上に立つて、自己を貫徹するところの本質的なるものが平均的なるものと見たのも、學說史的に見來れば無理もない。併しながら、傳統は傳統であり、論證ではない。何故に平均的なるもののみが全體に於て、純粹なる姿に於て自己を實現するか。今日は經濟學は一轉機を劃してゐる、所謂自らを實現してゆくものは絕對的に平均的なるものではなくして、限界的のものである。之に十分に納得すべき論證がある、而してマルクスの平均原理には何等の論證もない。第四。マルクスの價値法則は價格に關する生產費の法則と相容れぬ。競爭の十分なる作用は餘剩價値を消滅せしむるはずである。このことは資本主義的生產に於ける競爭が如何なるものであるかと云ふことから、當然に論結せられ得るはずの事であると思ふ。勞働價値說から云へば、如何に條件の變動なき場合にありても、即ち單純再生產の場合にありても、一定の餘剩價値は既に生產過程そのものの中に於て成立する。而して、全體的平均について云へば、それがやがて流通過程に於て實現し得らるるはずである。けれども、此の如き事實の聯關は、極めて寛大にして仁慈なる資本を前提してのみはじめて論結し得らるることであると思ふ。これらの點については、今深く立入りて評論することを得ぬ。私のいくつかの著書について私見を徵せられむことを求める。

九

最後に、私は、しばしば論ぜらるるところの價値と生產價格の問題に關して一言を述べる。私は一たび價値法則自體が是認せらるるとする、而して次に、資本の利潤率平均の傾向を認めてとする。さうするならば、價値法則と生產價格の學說との間に、直に矛盾ありと云ひ得べきものでもないからう。私には、此調和を打ちたてることが可能であらうかと思はれる。たゞこの調和がすでに必然的に論證せられてゐると云ふのではない。とにかく、私は一應この點のマルクス的立場を、しばらく承認して、たゞそれから來る必然の論結を考へたい。このことはかつて評論したることであるが故に、今その點に關する私見の骨子のみを述べる。

マルクスは資本主義的生產の行はれ得る爲に、各生產部門の間に如何なる釣合の存すべきかを述べてゐる。而してこれは對

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

立の立場にある學者の一部分からすらも、其の不朽の功績の一として認められてゐる。けれども、生產價格の考方が此單純再生產、又は擴張再生產の數式の上に適用せらるるや否や、再生產はすべて不可能となると云ふ結論が生ずる。云ひかへれば、この再生產に關するマルクスの主張そのものはすべて覆らざるを得ぬ。次に、個々の價格はその價値から無限に離れる。而してこのことは、やがて、生產物價格の總體がその價値總體に對しと云ふマルクス的立場の根本そのものを破壞する。この二點に關する論證はすべて、前に述べたる內在的批判に關する小論（經濟論叢第三十卷第一號）について參照せられむことをのぞむ。なほまた、私は同一なる方法の上から、若しマルクス價値法則に於ける平均原理が肯定せらるるならば、その差額地代の說明はすべて成立せざることを述べてゐる。此論照に關する限り、私は孤主的ではなく、我國の學問內に於ても既に二三の同一なる見解の人を有してゐる。これに對する反對の見解も主張せられてゐるが（二木氏に對する猪俣氏の中央公論二月號に於ける論駁）、此點に關する數理的取扱は其誤謬餘りに明白である、玆に詳論をさける。

たゞ私の勞働價値說に對する立場の全體について云ふ。私の批判の根本は內在的部分にある、それ故に私見に對する批評を下さむとせらるる人にまづ此內在的批評の部分を破壞して、超越的批評に及ばれむことを希望する。後者にありては、勞働の異質性、從ひてその換算に關するものが最も主要の部分である。論じて盡さゞることも甚だ多い。けれども今日は歸鄕の爲に旅裝をととのふべきである、加ふるに執筆に疲れてゐる。しばらく、こゝに筆を擱き、批評を得て新に考をねりたいと思ふ。

（一九三〇、六、二九、朝五時）。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働組合法討論會

出席者

武藤山治　赤松克麿
矢野恒太　神道寛次
渡邊銕藏　麻生久
山川均　山本實彦
高橋龜吉

時日　七月六日午後六時半より十一時半まで
場所　東京會館

山本。今晩は、どうも暑い所を出て戴きまして、恐縮の至に堪へません。實は、今夜は初め失業對策のことに就てお話を願ふ積りでありましたが、途中から當面の問題である勞働組合法案に對する御意見を聽くといふことに變りまして、皆さんに御通知いたしたのであります。それで今晩は大體この組合法案に對しまして皆さんの隔意のないお話を伺へれば、非常に幸だと思つてゐる次第であり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



（向つて左より）赤松氏・麻生氏・高橋氏・山川氏・武藤氏・矢野氏・神道氏・山本社長

ます。今度は矢張り社會局案と俗に稱せられて居りますものをば、中心として、お話を進めて戴きたいと實は思つて居ります。社會局案と申しますけれども、既に關係の方が社會政策の審議會でもそれ〴〵審議されたものでありまして、決して單なる社會局案と見ることは出來ないと思つて居ります。本案に對しましては、皆さんの御承知の通り、資本家側の方に於かれましても、亦勞働者の側の方に於かれましても、不滿の點が續出して、それ〴〵政府に對して改案を迫つて居られる狀態であります。本社と致しましては公平に皆さんの御討議を仰いで、さうしてどうしてもこの以外にはないといふ立派な案として政府から議會に出して貰ふ……。現在の社會局案でさへも非常に物議がありまするし、立派な案が生れるといふことは、兩面からいつてむづかしいと思ひますけれども、しかしながら、本案も既に十數年を經過していろ〳〵攻究になつてゐる問題でありますから、攻究の手から離れて、どうしても具體的に今回は實現さして戴きたいと思ひますから……本社の態度もその通りでありますから、暑い所でありますけれども、どうか十分にこの兩面の主張をぼして戴きたいと思ひます。

ところが、本案の討議に入りまする前に、先月本社で催しました所の失業對策の討論會に對して、大分異論があるやうであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

でありますからして、本案の討議に入ります前に、四十分間——八時迄、失業對策に對するお話をば承りたいと思ふのであります。高橋さんから、この不滿の點を一應、具體的に列擧して戴きまして、さうしてそれに對して皆さんの結語をお聽きしたいと思つてゐる次第であります。

高橋。私が先づ第一に問題としたい點は、井上大藏大臣も安達內務大臣も、失業は資本主義社會に於て避けることの出來ないものである。だから、失業問題を今、どうするといつた所が仕方がないのだといふやうな御議論のやうである。これは、非常に、話が違つてゐると思ふ。資本主義社會に於ては失業といふものは、不景氣の時だけであつて、景氣が好くなれば、失業がなくなるのだといふ議論であるならば、今、不景氣は一時的のことであるから、永久的の失業對策を立てるには及ばないと、斯ういふ結論も一應は成立つわけになる。これは我々はなるほどだと一應は肯ける。だが藏相內相の云ふが如く資本主義社會に於て失業といふものは避けることの出來ないものだといふことであるならば、資本主義社會制度がいゝといふ立場に立つてゐるからには、永久的に何とか、失業問題を解決するといふ策がなくてはいけない。然るに、その對策がなく、且つ之を仕方がないといふのであるから、それは我々に向ては、失業者の生活を保證するかどうかと云ふ問題は、結局資本主義制度×××か、××ないかの、×の問題であるといふ××の××をされて居ることになる。何となれば、資本主義社會に於ては避けることの出來ない失業問題すらも、資本主義社會が解決することが出來ないといふならば、明かに資本主義社會といふものは國民の生活を維持する能力を失つたといふことを白狀して居るのである。それで以て政權の位置にあるといふことは、烏滸がましい話である。資本主義社會を肯定して政權の位置に立つて居る以上は、失業問題の恒久的の解決策を有つて居なくちやならない。今一つは應急政策に對しての態度も非常に間違つてゐると思ふ。安達內相の說に依ると、日本は外國とは失業問題の性質が違ふ。なぜならば、家族制度が行はれて居つて、いろ〳〵の方面で失業者を救助して居るから、それでいゝのだ。だから、政府としての對策は、全體として、家族制度や、その他に依て、どこまで失業問題が救濟されるかゞ分り、その見透が付いてその後のことである。斯ういふ風な御議論のやうである。若し、さういふ御議論であるならば、國民の多くが、失業者の當面の生存維持のために何かせねばならないといふので、お互に失業者を救濟して居るといふことは、益々現內閣をして失業問題を抛棄さして置く、斯ういふことになる。さういふ御議論であるならば、斯ういふこと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゝ變らない。お前達失業者が辛抱してゐる内は、失業對策は何にもやらないぞ、失業對策を立てるやうになるのは、お前達が×××してからであるぞ、と斯ういふ御議論としか我々は見ることは出來ない。さういふ風に理解して、そこで我々の政策を立てるより外、仕方がないといふことになるし、失業者もさういふ風に、理解して、問題を解決しなければならんといふことになるのであつて、これは、最も×××な御議論だと感心して拜見するより外、仕方がないと思つてゐる次第である。

山本。實は、先にも斷つてありますやうに、資本主義社會に於て救濟する方法があるとか、ないとかいふやうな大きな議論をするといふことが趣旨でなくして、現在この行詰りを如何にして打開するかといふ、詰り現在の制度を前提としてといふ譯ぢやないですけれども、が兎に角、應急對策を、皆さんに依て、案出して貰ふといふのが大體の趣旨であつたのです。併ながら、制度の問題に迄言及して少々議論をして貰つたのです。併ながら、今晩、さういふ問題に發展するといふことになれは、議論は再び蒸返しになると思ふが、どうですか。

赤松。僕は、斯う思ふですがね。資本主義社會制度の下に失業問題が起つたのであるから、現在、我々の要求するのは、矢張り失業救濟といふものは、今の所、結局、ブルヂョア階級の負擔に於て、これを解決するより外、仕方がない。矢張り資本主義の特權を削つて、それを犧牲にして――それを全部的に犧牲にするかどうかは問題でありますが、兎に角、資本主義の特權といふものを、これを犧牲にした上に於ける緩和策より外に道は斷じてあり得ないと思ふ。しかし、さういふ誠意といふものは――資本家の誠意といふものは認められない。さういふことをしないで置いて、たゞ今日、不景氣だから仕樣がないといふことであれば、勢ひ、僕等は、一つの無產階級の壓力に依て、政府に向て、これを强硬に主張する――迫るといふより外、道はあり得ないと思ふ。だから、やはり、今のやうな政府の態度であれば、勢ひ、高橋君のいつたやうに、資本主義自身の×××××といふ譯になる。

高橋。僕のいふのは、道がないと云ふのぢやなくて、安達、井上兩大臣がさうするより仕方がないのだと、我々に敎へてゐるといふのだ。あゝいふ說明の仕方といふものは、我々としては、それに行くより仕方がないと思つて居るところのものを、それを安達、井上兩大臣が自分の言葉で明かに言つてゐる。それと同じ意味だと思ふのです。あの態度といふものは……。

麻生。僕は、高橋君の意見と同じです。やはり、最近の狀態を見ると內務省の出してゐるあの程度の勞働組合法案さへ、資本家は堪へ切

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れないといふ狀態であり、失業者も救濟出來ないといふ狀態であれば、どうしても、やはり、資本主義それ自體が、自分の缺陷を補ひながら存續して居る能力を失つて來たのだ。存續理由よりも、存續して行けない理由の方が多くなつて來たのだから、これは、やはり××××をすべき時代がやつて來たのだと思ふ。つまり、資本家自身は、俺がなくちや世の中は立つて行かんと考へてゐるか知らんが、それは、武士階級がなければ、日本は滅びるだらうと考へたと同じである。一つ斯うした勞働組合が出來ても資本家は行き詰る、失業者は救ふことが出來ないといふ狀態になつて來るといふことは、それは政權を××すべき絶好の機會が來たと思ふのです。その轉換がうまく出來れば、明治維新のやうに行くし、それが出來ないで、未練がましくどん詰りまでやつて行けば、もう×××××××××××の時代が、もう一遍、來なくちやならんといふことは、單に社會運動者なり、さういふものゝ、理想論でなくして、資本家それ自體が、自分がやつて行けないといふことを自白して來たのだから致し方がない、やつて行けないならば、潔ぎよく投出して貰ふ。そして國民全體の能力の上に於て、日本をやり更へて行くといふやうな時代が來たのだらうと私は思ふ。これが又何時も今日の支配階級が口癖の樣に云ふ××××の精神にもかなつてゐると思ふ。

山本。渡邊さん、どうですか。

渡邊。僕は、質問しませう。今、失業問題の、どういふ問題であつたか分りませんが、今、高橋君の言はれる所、麻生君の言はれる所を聽いて居ると、資本主義の中に大きな缺點があるので、失業問題の救濟が出來んといふことであれば、潔く××××しろといふやうな趣旨のやうに思ふ。その意味は、どういふ意味ですか。資本主義といふのは、私有財産制度が本になつて、それから信用のシステム或は株式會社のシステイムといふやうなものから、大體起つて居ると思ふ。さういふものを廢めるといふ譯ですか。私共は、資本主義とか、資本家といふことは、非常に抽象的で、よく分らないから、はつきり示して貰ひたい。

麻生。それは世界的の通念なんだが……。あなた(渡邊氏)は商工會議所の書記長でありながら、その通念が分らんとあれば、隨分、問題外ですなあ、ハ、、、。

渡邊。それなら、それで宜しい、かりにぼんやりと、分つて居るとして……。その序に、今度は、實際問題として實行する場合に、何かしなければならん。それで政府として、例へば失業救濟といふものがうまくやれん。そこでこれは資本主義の組織の中に缺點があるからだといつて、假に政府が、井上さんでも、安達さんでも、その資

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本主義といふものを一つ廢めよう、そして外のシステイムをやらうとする時に、さて、どういふことをするのですか。

高橋。第一に勞働力といふものを本位にした政治組織にするんですね。

渡邊。さて、諸君に賛成してやらうとするならば、どういふ具體的の方法を執るか。

高橋。第一に勞働力……。今日の政治家、資本家が儲る、儲らないといふことを中心にして、いろ／＼政策を執つてゐるから惡い。それを勞働力を中心にして、勞働力を浪費しない立場に於てやればいい。

渡邊。それも抽象的なんだ。議會政治を否認しないですか、デモクラシイの……。否認しないとして、何等かの法案を議會へ提案するとなると……兎に角、明治になつて出來た法律でも大分多い、數十年來の法律でも……。そこで先づ、さういふものを變へて行かなければならん、或は制度を變へて行かなければならんとする。さうすると、どういふものを——自分が總理大臣になつた積りでやれば、何を實行するか。假に、諸君の說に賛成して、さて實行しようとする時に、その案を諸君に聽かなければならん。なるほど、あなた方の言ふことは尤もだといつて、資本主義の社會を倒して、新なる社會——よく勞働總同盟の綱領の中に「新社會」を作るといふことが書いてあるが——「新社會」を作らうとした場合に、あなた方は何をどうしろといふのか、注文を持つて來て貰ひたい。それを具體的に……小さいことはいはない、大きいことで、これを斯うしろといふやうなことを、はつきり言つて貰ふと、よく分る。諸君が資本家に闘爭される場合に「理想」といふことを言はれるけれども、究極の目的はどこにあるかといふことが、はつきり分らんと、抽象的の議論ぢや役に立たない。その點を一つ考へて貰ひたい。炭坑の國有であるとか、或は土地の國有であるとか、或は私有財產制度そのものはいかんとか、株式會社制度を廢めさせろとか、さういふ風なことでないと、はつきりした議論が出來ない。

山本。武藤さん、一つ……。

武藤。今、渡邊さんのお言葉に大分お困りのやうですが……。

高橋。
麻生。　困つちやゐない。
赤松。

武藤。これは重大問題ですから、私も、ちよつと、お尋ねしたい。若い人は、非常に氣が短いと思ふ。といふのは、あなた方は讀んでゐるかどうか知らんが、私は實は「改造」のあれは讀んで來たが、大體、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この爭ひといふのは、安達君、井上君だけのことで、安達君、井上君と資本主義といふことと何の關係があるか、これを一つ聽きたい。安達君、井上君が失業救濟をやらんからといつて、資本主義打倒だとかいふのは、少し問題で、これは現內閣打倒ぢやないか。

神道。渡邊さんのお說ですが、私も今日、共產黨の裁判で全國を步いて來て居りますが、檢事が、やはり同じやうな論調から論告をされるんですね。議論の立て方が、資本主義××といふと、直ぐ私有財產制度を否認するのか、すると言へば、それでは治安維持法に觸れるのだと、次の言葉を言はせないやうな質問が出るのです。現在の法律の下に於て相手に說明させないやうな論法で、議論を吹つ掛けられるといふことを年中經驗して居る。ところが、さういふ私有財產といふことが出たから、ちよつと言つて見たいですが、この私有財產といふことを、資本主義に限つたものだとお考へになるのは間違だと思ふ。これでは裁判所の議論みたいになつてしまひますが、原始時代にあつても、奴隸制度の時代にあつても、封建時代にあつても、やはり私有財產といふものはあつた。又、更に現在のロシアへ行つても私有財產はある。たゞ資本主義の下に於て私有財產制度が最も爛熟してゐるといふか、滿開の絕頂にあるといふか、さういふ狀態にあるでせうけれども、今、ウラヂオストックに上陸されて見た所で、私有財產が否認されて居るとは考へられない。問題は、そんな所にあるのぢやなくて、所謂、勞働者の解放、無產者の解放といふことで、結局、今日の資本主義といふものは搾取する組織の上に立つてゐる、搾取することが資本主義の機能であり、生命である。人を働かして、その勞働力を搾取する、その搾取の撤廢、これがやはり勞働者の解放といふことになる。搾取の撤廢——人を働かして、××××××、それに依て×××行くといふ、その機能、その總ての構造に對する鬪爭であるといふことにならなければならん。それを私有財產とか、或は何かといつて持つて來て、相手に口を開かせないやうな議論の仕方は、何時も檢事の論告する時に引張つて來るやうな議論の仕方だと思ふ。

渡邊。それぢや、もう一遍、聽きませう。今、言はれるのは、それで宜しうございます。私有財產の問題には觸れないことにする。さういふ問題は、極く二三人で、斯ういふ速記なしの席で議論すれば、どこ迄も議論が出來る自信を有つて居りますけれども、さういふ問題に就ては止しにして置いて、そこで、今、言はれた言葉も、やはり抽象的です。勞働者の解放とか、搾取することのない制度にしたい、斯う言はれる。勞働者の解放とか、或は勞働組合とか、勞働の自由とかいふ言葉は、もう百年も前から政治的に言はれた言葉で、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

その樣、そつくり使はれてゐる。私は、今日、日本の社會の實情を見て、外國と比較して、日本の勞働者が、特に外國以上に束縛され、搾取されてゐると思はない。併し、勞働者の團結が外の國より弱いといふやうな立場にあるといふのは、これは比較の問題で、根本の問題として、內外を問はず、今日の組織で――大多數は、株式會社制度、若くはそれに類似のもので、信用制度とか、金融機關とかで、斯ういふ今日の制度が出來て來たと思ふ――所が、勞働者が不自由である、搾取されて居るといふのは、それに就て、どういふ事實を指して言はれるのか、それをはつきり言はれたい。

高橋。一番いゝ例は地主だと思ふ。地主は何等の働をせず、唯々法律が今日土地所有權と云ふものを保護してゐるだけで小作料を取立てる權利を持つてゐる。武藤さんや何か社長として働いてゐらつしやるが……。

武藤。僕は今社長をやつちやゐない。

高橋。併し何等か働いてゐらつしやるが、地主は何等の働をしてゐない。

渡邊。それは土地所有權の問題で、先程のように私有財產論は避けるとすれば議論がしにくいけれども……、それぢや私有財產制度に關する土地國有問題に入るが、英國では私の留學してゐた千九百十一年頃から土地國有論を盛にやつてゐる。が一向實際問題にならぬ、ここで國有の可否如何と云ふ問題を、徹底的に論じなければならぬと云ふことになるが、その問題はこの僅少の時間では出來ない。

武藤。この座談會は僅に四十分間を座長から與へられてゐるので、この短い時間で若い人が渡邊さんを負かすやうなことは餘程困難です。それよりも元とへ戾つて私の質問に答へて戴きたい。つまり安達、井上兩君が失業救濟が出來ぬと言つたことが、資本主義と何の關係があるとお認めになりますか。

赤松。現在安達さんと井上さんは、日本××××國家の樞要の地位に居られる。換言すれば現在の×××政治の支配者です。さう云ふ人達が、現在の失業問題は仕方がないと云ふことならば、必然的に資本主義××と云ふことになるでせう。

武藤。他の人がやれば出來ると言つたらどうなりますか。

赤松。さう云ふ失業對策をやると云ふひとはまだ聞かない。反對黨の政友會でも聞かない。

武藤。あなたの方はどうですか。何も資本主義政黨だから失業救濟が出來ないと結論するのも早まつてゐると思ふが、それはどうしてですか。

高橋。つまり安達、井上兩大臣が資本主義制度に於て失業は避けるこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とが出來ないのだ、と云ふその理由で失業對策は樹てられないと云ふ風な言ひ方なんですから。……。

武藤。それは安達、井上兩君の議論に過ぎないのですから、安達井上兩君を攻擊なすつたらどうですか。それで××××などと云ふことはちよつとむづかしい。

山本。山川さん如何です。

山川。大體の根本論としては、簡單ではあるが今までに大抵盡きてゐると思ふ。資本家と今の內閣の人達が一緒かどうか、それはどうでもいゝとして、兎に角資本主義が失業問題に就て非常な試驗をされてゐるといふことは爭ふことが出來ない。この失業問題をうまく解決すれば資本主義はまだ生命がある。若しこれの解決が出來なければ、高橋さんの言はれてゐるやうに、資本主義が倒れるといふことが結論されると思ふ。安達さんの如きは、兎に角失業者と云ふものを非常に少なく見たいといふ考のやうで、要するに現在食へない者だけが失業者だ、それは幾らもないと斯ういふやうな議論である。現在食へない者を救濟するといふ立場から謂へばそれでいゝかも知れないが、根本問題の場合にはそれでは濟まされぬ。現に食へて居つても——親戚の厄介になつて生活をしてゐても、兎に角、資本主義の社會にある生產の能力が浪費されてゐる、十分に使はれてゐない。全然浪費されてゐないまでも、十の力が五しか利用されてゐないといふことになれば、これは資本主義の致命的な疾患である。資本主義が十分に生產力を利用して行けなければ、資本主義といふものは自壞作用の方向にあるものといへる。

武藤。一體失業救濟が出來るとか出來ないとかいふが、失業救濟なんといふものは何でもない問題だと思ふ。今の安達、井上兩大臣が失業救濟の必要を感じて居られるか？本當に失業者の狀態を調べたならばそれを救濟するといふやうなことは一番容易いと思ふ。何故かといふと、日本は一人の人に要する生活費が非常に少ない。今の失業者の救濟などといふことは、政府に當つてゐる當局者その人を得れば、初からさういふことは起らないと思ふ。金の解禁をやれば不景氣になつて、失業が起つて來る。金の解禁をやる前に、先づ失業者に對する對策を考へるのが、これが一番重要なんだが、それを忘れたものだから政府は周章狼狽してその對策がないのです。今の政府が唯々無能だといふことになる。この內閣といふものは資本家ばかりが投票して拵へたものでない。今日では二十五歲以上の者は皆選擧權がある。これ等が選擧した內閣だ。民政黨內閣といふものは、どちらかと謂へば私は無產大衆の謳歌した內閣だと思ふ。だからしてこの內閣に失業を彼れ此れ仰つしやると云ふことはどうか、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級の諸君が見損ふた内閣だと思ふ。その見損ふた内閣の内務大藏兩大臣が出て、救濟が出來ないと言つたからとて、それは資本制度、資本主義と何等關係がない。これは要するに主義の問題でなくて政治問題だ。こんな内閣はいかぬ。こんな内閣はぶつ倒して仕舞へと、かういふ結論に行くのが本當だと思ふ。

山本。何か具體案がありませんか。

武藤。具體案はあります。これは容易い。一體日本人は握り飯に梅干があれば喰つて行く。救濟するといふことは一朝一夕の問題で、例へば公債償還に使つて居る金だけでも八千萬圓か八千五百萬圓あるがこれを一時公債償還を中止しても八千五百萬圓の金を、東京、大阪、その他方々へ割つてやれば、今の失業者に梅干と握り飯を喰はせるといふことは最も容易い。場合に依ればそれが爲に、或は臨時の增税をしても敢て厭はない。相續税を增し、所得税を累進して課税してもいゝ。兎に角握り飯と梅干で生きて行けるんだから、それだけ皆に喰はせやうと云ふだけでやれば、失業對策といふものは、さうむづかしく、やかましく言つてゐる程でなしに、まア樂に出來ることを大變むづかしく考へられてゐる。

麻生。その點武藤さんの支持して居られる政友會なら出來るといふのですか。

武藤。いや僕は政友會を支持してゐる譯ぢやない。

麻生。僕は政友會と民政黨の本質は、少しも違つてゐると思はない。何といつたところで、日本で勢力を持つてゐる政黨は政友會と民政黨で、悲しい哉あなたのやうな御議論を持つてゐる政黨は、今日は政黨の勢力を成さぬ。だからして具體的に言へば政治的に資本主義の勢力を代表してゐるものは民政黨と政友會である。

武藤。しかし私は選擧の結果選ばれた民政黨は、資本主義を代表してゐるといふことは言へんと思ふ。

高橋。その邊が議論の岐れになるので、さういふ根本になるとなか〳〵短時間ではやれない。

渡邊。今山川さんの言はれた言ひ方も一理あると思ふ。今資本主義といふ名前をつける今のやうなやり方では、いろ〳〵複雜なことをして生産して行く。さうやつて生産して居れば假りに國民の四分の一とか、五分の一とか、失業しても、喰へればいゝでせう。別のオルガニゼーションで、つまり或生産組織に加入しなくても食へるやうな途があればいゝ。けれども失業と同時に食へないといふ者が、これが國民の四分の一も、五分の一も出て來るやうな失業狀況になつて來れば、どの内閣だつて、理論の問題でなしに社會は大混亂になつて來る。それであなた方に質問して見たいのは、どういふ組織

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

で、さういふ現在の資本主義××××後をお樹てになるかといふことを質問する。必要なしに兎も角××といふことになるかも知れないが、×××後のことを考へる——喰へない人間は過半數でなくても、それは二割か三割出來ればさういふことになるかも知れない。さういふ狀態になればそれは理論の問題でなしに實際の問題になつて來る。現在そこまで日本の失業者が多いかどうか疑問だけれども、兎も角失業者は相當に多いのだから、失業問題としてはかういふ机上の議論をするよりも、寧ろ徹底的に社會局などで失業調査をやつて、屋外勞働者が幾らあるか、熟練勞働者の失業が幾ら、サラリーマンの失業が幾らあるか、學校を卒業して就職し得ざる者が幾らあるか、何時頃から失業になつてゐるかといふやうなことを調べ上げて、目前の態度を定めて、意外にこれが多數であるとすれば、これは根本のシステムをどういふ風に考へなければならぬか、應急設備、應急對策をどうしやうといふやうなことを考へなければならぬ。さういふやうなことを考へる時に、根本的の問題として資本主義云々といふやうなことは、餘りに根本の根本過ぎるから、それは第二段の問題として、失業手當とか、失業保險とかの問題は一般に考へられることで、又他の國でもやつてゐるが、それを直ぐ眞似てやるかどうかと云ふことは、日本の識者の間でもこれを主張する人と躊躇する人がある。躊躇する方の意見は、健康保險を最初にやつたやうに、この保險制度をやると、本當の失業救濟でなくなつて喰はせるだけのことである。而も働かんとして働き得ない人、働く意志を持つてゐる人が仕事が無くして喰はれない人、それ等を相當に喰はせるだけにしてやるといふ程度になる。さうして置いて除々に財政上の計畫を樹てなければならぬが、それを繼續してやつて行ける見込が立てばいゝが、うつかりやると財政上の負擔をかけるだけで、怠け者を養ふといふ大きな缺陷を起しはしないかといふことを躊躇してゐる。相當の案が立てられるものならばさういふことも考へるのが大きな根本問題だらうと思ふ。しかし失業保險の問題、失業手當の問題、それを國でやるか自治體でやるか、勞働組合御自身でおやりになるか——自分で少しもさういふことをどうするといふことを言はない勞働組合に對して、私共その點に不滿があるのですが、それは別として、目前の日本の失業問題といふものは、兎に角或は臨時の土木事業を起すとか、臨時の建築計畫に付て相當考慮するとか、地方〳〵に依つて違ふだらうと思ふが——例へば東京では地下鐵道をやるとか何とか、しなければ、一週間も二月も稼せないでこのまゝでやられて居つては×××××ぞといふやうな心理狀態になつてゐる人が多いと思ふ。かういふことについて吾々は考慮する必

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

要があると思ふ。

赤松。渡邊さんのおつしやる議論は要點に觸れないと思ふ。問題はやはり財源問題である。財源といふと今日やはり資本家負擔にやつて貰ふ。資本利子税とか、相續税とか、さういふことに依つてしなければならぬと思ふ。兎も角それも今日資本家階級の利益を犧牲にするといふことは重要なる問題で、それより以外に、失業保險等の問題については、今日の民政黨なり、政友會なりの内閣が何遍更つたつてようしないと思ふ。そこに僕等は一種の資本主義の何といふか――政治に對する絶望があると思ふ。

渡邊。あなたのは私の言ふ第二段の問題を言つてゐるのだ。財源はどうでも考へられる。吾々でも日本の相續税はどれだけ上つてゐるか。資本利子税はどれだけであるか、兩方で五千萬圓位あるだらうと思ふが、相當にかゝつてゐます。それに依つてつまり一方には失業を起さぬといふ方法がある。歐羅巴では失業した者には、イギリスでも、ドイツでも手當をやつてゐるが、アメリカはその方針でない。失業を起さぬやうに産業を起して失業者を出さぬやうな方法を講じてゐるが、これは日本としても考へなければならぬ。しかし現在起つてゐるものは仕樣がない。しかしさう云ふ方法を行つても尚缺陷が起るといふことになれば對策を考へなければならぬ。さういふことになると財源の問題になるが、あなたの言はれるやうに、今後絶對にさういふシステムではやれまいなどといふことは、さう早計には言はれることではない。

高橋。渡邊さんがこれだけの議論をなさるのだから、商工會議所に於て決議其他の實際運動をした上でおつしやるべきだと思ふ。決議も何もせずに置いて議論されるといふことは空論だ。あなたから言へばあなたはなぜその運動をやられないか。今の失業救濟には事業を起せ、いろ〳〵のことをやつたらいゝのだとおつしやるなら、當然商工會議所に於てそれだけの決議其他の運動がなくちやならない。その運動の方は少しもやらずに置いて、ここで何をやる、かにをやると言はれたところで、吾々は空論だとしか考へられない。

渡邊。それはあなたは決議々々と言はれるが……。

高橋。決議ばかりで實際運動をやらなければ何にもならない。この内閣に出來なければ、内閣を倒すといふまでおやりにならなければならぬと思ふ。

神道。高橋さんの最初に言はれた點ですが、これは井上安達兩氏は、本音を吐きたくはなかつたであらうが、必然的に、吐かざるを得なかつたのであらうと思ふ。失業救濟といふことを、渡邊さんも武藤さんも簡單のものゝ如くおつしやるが、失業者が無かつたらお困

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りになるでせう。實際は資本家の方では、失業者があることに依つて働いて居る人の勞働條件を引下げることに成功する譯なんです。資本家から言へば……。

武藤。あなたの言ひ方は餘り親切でない。

神道。それから今おつしやつた握り飯と梅干といふ言葉ですが、やはりそれも、日本人の生活程度をそこに置かうと言はれるその根本觀念に於て、それが親切なんですか？　それは甚だ、多勢勞働者の集つてゐる前で言つたら勞働者はどういふ具合に憤慨するか知れぬと思ふ。

武藤。さう言ふ意味でない、せめてこれだけでも棄てて置くよりましだ。民政黨内閣の政治の下では、勞働者も、資本を投じて仕事をしてゐるものも、兩方とも難澁してゐて、一方が非常に儲けてゐるのに片方失業に陷れてゐるのでない。兩方共にひどい目に遭つてゐる、或はどちらかといふと資本家の方が先にひどい目に遭つてゐる。

高橋。僕は、その點は問題の根本の一つに觸れてゐると思ふ。安達さんもさう言つてゐますし、その點に就いては、安部さんの意見も曖昧な譯ですが、資本家の方で配當を減せば、勞働者の賃銀も減していゝぢやないかと、かういふことを井上さんは言つてゐる。けれども、僕等から言へば、一體あなた方が儲からなくなつたからと言つて、勞働者の方の生存維持費、卽ち生活費が下らない中に、勞働賃銀を下げるといふことは、これは何處からいつても、さういふことにはならないのです。生活をして行く費用が下らないのに、勞働賃銀を下げていゝといふ理由は、勞働者の方からは、ない譯です。

武藤。それでも、物を拵へて儲からなければ、外に方法がありませぬ。

高橋。そこが問題なんです。それであるなら、何故あなた方、資本家は、さういふ政策を執つた政府に向つて、生活費を下げろといふ運動を起さないか。

武藤。一生懸命になつてやつてゐますよ。

高橋。それが無効果です。又、それをやつても効果が揚らないから、勞働者の方の賃銀を先きにお減しになつたものだと思ふ。さうして、これは僕等が、あなた方だけでなくて、產業資本家全體に對する、さういふ御議論に對する抗議です。それからもう一つ、井上大藏大臣やなんかに對する抗議としては、吾々は井上大藏大臣にハッキリ言つて置きたいのは、かういふ譯でみんなの收入を減らせばいゝぢやないかと言つて置きながら、自分の方はどうであるか。公債で事業を起せと云つても、之をやらずに公債市價の維持に全力を擧げてるぢやないか。銀行は配當を下げないやうに全力を盡してゐる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ぢやないか。それから、勞働賃銀を下げて置きながら、官吏の俸給を何故下げないか。勞働賃銀を下げるといふことをやるのだつたら、總てのものに向つて、その收入を減らさなければならない。それをやらずに置いて、勞銀引下を當然だといふ議論は、吾々は成立たないと思ふ。それから產業資本家も、勞働賃銀を下げる前に、生活費が下がらないから勞働賃銀を下げられないのだと言つて、全力を盡してその生活費を下げるといふ運動を何故やらないか。あなた方でも、それ合理化だ、合理化だと言はれるが、一向生活費の引下運動が出來ないぢやありませんか。

武藤。それは合理化ぢやない。物價が下らないのです。物價は、軍隊で號令を掛けるように一列には下らないのです

高橋。そこへ行くと、要するに抵抗力の問題になる。勞働賃銀がどうして先づ下げられるか。勞働者の團結がないから、抵抗が力弱くて下げられるといふことになる。そこで勞働組合の必要が起つて來る。

山本。時間が來ましたから、この問題の結語を急ぎたいと思ひます。兎に角、この對策に對して、一言づゝ、お有りになりましたら、それを聽かせて戴いた方が面白いと思ひます。たゞ實行の出來ない話をしたところで、結局失望に終らせると思ひますから――。矢野さん。一つ、實際の案として何かお持ちでしたら、一言お願ひします。

矢野。私は今日の會合に出席をお斷りしたのですが、ぜひにといふので、傍聽のつもりで出て來た譯で、皆さんにお目に懸かつたことを光榮としてゐます。實は、私は御承知の如く、勞働者といふものに一つも觸れてゐないから、勞働問題の實際の經驗がないのです。それだから、たゞ僅かに新聞の上で見てゐるくらゐに過ぎないので、それも自分が直接に勞働者と名づけるものを使つてもゐないしするから、深刻にこの問題を考へた事もないし、又、組合法などに就いても、忙しくて、一々深思熟慮して見たこともないから、今日はたゞ默つて皆さんの御說を聽かして戴きたいと思つて、それでよろしければといふことで出て來たのですが、今の問題になつてゐる失業問題の方は組合の問題の方よりも、私に取つては幾らか分り易い常識問題だと思ひます。資本主義の今の日本の政治がいかぬから、これは直ぐに社會主義の政治にしなければいかぬといふ御說を社會主義を主張して居られる方々からは伺ひますけれども、私どものやうに、どつちにもハッキリ贊成してゐない、謂はば鼠色の人間から見れば、今の資本主義にも缺點があることは、誠に私はさうだと思ふ。さうして今まで御說の出た資本主義の御議論の中にも、私どもは反

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

對じたい細かい所のものはありますが、そんなら、これを社會主義の社會にしたらば、全く弊害がなく、失業者が一人も出ないやうに、みんながみんな幸福な天地に生まれ變るかといふことに對しての信用を、今はまだ私は置けない。それで、目前に社會主義の天地として、吾々の日本に提供されてゐるものは、ロシアです。ロシアの現狀が、それほど國民を總て天國に生まれ變らせたといふことを、まだ聞き及んでゐない。この點に就いては、今の資本主義の惡い點は充分に攻擊して戴いて、直るだけ直す、又、資本主義の組織の下に出來てゐる政治を出來るだけ改善させて見て、今の內閣がいけなければ、これを叩き潰して、又ほかの內閣を作つて來る。さうしてこれぢやどうしてもいかぬといふことが國民に理解できた時に、未だ經驗しないものではあるけれども、一つかういふものをやつて見やうと、丁度イギリスが勞働黨內閣を作つた時のやうに、自由黨でもいかぬ、保守黨でもいかぬといふことがハッキリして來て、兎に角これは少數黨であるけれども、マクドナルドならマクドナルドに委してやつて貰はうぢやないかといふやうなことを、みんな言ふ時機が來る。さういふ時機が來るべく、もう少し辛抱強く、社會主義の方も、資本主義を充分に攻擊して行つて戴いたら、どんなものかと私どもは思ふのです。これは私どもが平生から持つてゐる疑問であるのですが、いゝ機會だから伺ひたい。それは、勞働者の失業といふことが盛んに出ますが、日本國といふものを作つてゐるものは、勞働者といふ階級だけのものでもなければ、又資本家といふべき階級のものだけでもない、この何れにも屬さないものが、これがどういふ意味に扱はれるかでありますが、例へば中以下の商人、又は自作農といふやうなものは、勞働者といふ譯にもいかぬだらうと思ひますし、資本家といふ譯にもいかぬだらうと思ひます。さうしてこれは、勞働者が不幸にして職に離れ、職にアブれることがあると同じく、小さな店を開いて居つても、一日一人のお客さんも來ないといふ日も出來て來るのであります。そこで私はゴンパースがシヴィル・フェデレーションの會合の時にも主張したやうに聞いてゐますが、勞働保險、社會保險、ソシヤル・インシュアランスといふものがアメリカの會議に上つた時にゴンパースが非常に反對して、所謂勞働者と名づけられる工場勞働者の範圍のものだけが、何故に斯の如く無能力者扱ひをされなければならないか。中小の工業者、商業者、若くは小さな農民の如き者も、場合に依つては非常な困難に陥つて、失業し、若くは飯が食へないといふ問題にぶつかる。さういふ者は自分勝手にさういふ場合の準備をして置け、それは銘々の智慧でいゝ。工場勞働者だけはさういふ場合には國家が救濟してや

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らなければならぬといふことは、平生から工場勞働者に對しては、病氣の時に手當をする金も殘らない、或は職にアブれた時の金の準備も與へないほど、搾取をするからこそ、さういふ時に手當を與へなければならぬことになるのである。丁度これは赤ん坊みたいなもので、やればやるだけ食つて飲んでしまふから、握り飯と梅干くらゐの食へるだけのものをやつて置けばいゝ。それで困る時にはどうしてやる、失業の時にはかうしてやるといふやうな子供欺しのものでなく、宜しく相當の賃銀を拂ふのが正當である。さうすれば、勞働者は自分達で失業の時の手當もするし、病氣に罹つた時の手當もする。小商人がやつてゐると同じやうに、獨立の經濟に依つてやるといふことを主張して、アメリカは今日ソシャル・インシュアランスといふものは國家的に行はれてゐない。組合の間で行はれてゐるのです。これは所謂個人的の經營です。さういふ風に考へて來ると、日本國民全體を見て、資本家も勞働者もその他の者も一家族であるとして見ると、勞働者だけの利益が餘計になればいゝ、資本家だけの利益を主張すればいゝといふことは、これは小さな考へだと私は思ふ。全體を見て、若し勞働者を餘り不幸な地位に陷らないやうにしなければならぬといふことになると、これに準ずる國民も不幸な地位に陷れないやうにして、又、資本家として、資本家のやらなければならぬ任務として、これが必要なものであるならば、國家の爲めにこれを保障してやらなければならないといふ、高い所から見た意見が政治の上に行はれなければならぬやうに思ふ。どうも先刻からの御議論を伺ふと、偏してゐはしないかといふやうな感じがするのです。

山本。山川さん。これに對する御意見をチョット。

山川。矢野さんの高い所から御覽になつた御意見、結構です。あゝいふ立場から御覽になるも結構ですが、しかし低い所から見て、今の社會でさういふやうになつてゐるか、どうか。例へば、戰爭で景氣が好い、金が儲かる、その場合、勞働者は、どうも金が儲かつて困るから、この際どうしたらいゝだらうかといふ御相談には、預つてゐないのです。ですから、今日は資本家の方でも餘り儲けがない、その爲めに勞働者は馘首になる。さうすると、勞働者としては、資本家の方で儲かつてゐるか、儲かつてゐないかといふことは考へないで、兎に角、職業を與へろ、職業がなければ、生活費を與へろといふことを要求するは當然だと思ふ。あなた方の御都合の好い時に御相談を受けてゐれば、それは亦惡い時にも相談してやるといふことも出來ますが、今の社會の組立てはさういふ風にはなつてゐない。さういふ高い所から御覽になるのは矢野さんであるとか、武藤

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

さんのやうな特殊な個人としては、あるかも知れませんが、全體としてはさういふ組立てにはなつてゐない。武藤さんが先刻おつしやつたのですが、つまり失業の救濟の出來ないのは、今の內閣が惡いのでこれをやらうと思へば、わけはないと言はれる。これがわけがなければ、大變結構なんで――吾々は今の資本主義では救濟が出來ないと思つてゐますが――私は實の所は、出來まいと思つてゐますが、必ずしもそれは言はなくともいゝ。又、もう一つ進んで、それでは、失業の對策として、かういふことをしたら宜からうといふことも、實は勞働者の側からは言ふ責任はない。それは便宜上言ふことが有利ならば、言ひませうが、言はなくともいゝ。ただ、例へば失業保險を拵へろ、若くは失業保險が出來なければ、生活費を出せといふことを要求するだけでも澤山なんぢやないかと思ひます。もう一つお斷りして置きたいのは、梅干と握り飯ぢや、どうも困るのです。

武藤。それに就いては、あとで一言させて戴きます。

山川。この點は今の資本主義を正しいものといふ見地に立脚しておつしやる以上は、やはり勞働者の持つてゐる生產能力を充分に發揮させる。さうしてそれに對して充分に支拂ひ得るといふことでなければ本當の解決ではないと思ふのです。

武藤。私の握り飯と梅干と言つたのは、如何にも冷淡な言葉を使つたやうにお考へになるかも知れませんが、私は諸君の議論が餘りに高尙すぎると思ふ。私ども實業家といふ立場から考へて、現に座長の註文も、困つてゐる失業者をどうして救濟するか、かういふことでありますから、安達君や井上君のやうに、これは出來ない、或はさうは防げるものでないといふは、これをやらないといふことであるが、私はこれをやつた方がいゝ。これをやらうと思へば、現在の狀態は、資本家側も非常な困難をしてゐる。かういふ場合に、失業者に、充分に御馳走するといふ譯には行かぬけれども、兎に角その生活を支へる握り飯と梅干程度の救濟をするといふことは、現在の失業者に向つて決して至難ではない。この程度に失業救濟を止めて置いて、一方に於て、財政經濟策を改めて、そこに資本の働きが起つて來て、さうして失業者が働けるやうになる。働けるやうになれば、只今山川さんのおつしやるやうに、能率を高め、收入を多くして、もう少し幸福な生活を送らせるやうに、充分注意を拂ふやうに出來る。現在の所では、資本家の方も困つてゐるのです。それは戰爭の時分、儲けた時に何故もう少し相談しなかつたかと言へば、これはチョット相談しなかつたことがあるかも知れません。又、相談した事があるかも知れません。相當に會社の中でその準備に積立て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た所がないとも言へませんが、山川さんのおつしやる通りに、その點に注意を缺いたといふことは認めますけれども、しかし現在の問題としては、兎に角みんな困つてゐます。總困りの時だから、失業してゐる勞働階級の人に先づ握り飯と梅干の救濟だけでもやるとすれば、年に幾ら要りますか知りませんが、現在の狀態に於ても、先程申上げたやうに、公債の償還を止めても、八千萬圓や八千五百萬圓の財源が浮いて來る。或はそれで足りなければ、尙ほ場合に依つては增稅可なりと申上げたので、何も私は勞働階級を輕侮したやうな意味で申上げたのではありません。

× × ×　　× × ×

山本。この問題は議論すれば、幾らもありませうけれども、今夜はこの程度にして戴きまして、これから勞働組合法案の話に這入つて戴きたいと思ふ。しかし、これを逐條的にやるとしましても、大分時間がかゝることでありますからして、現在、大問題になつて居りますところの第一條、勞働組合の組織の根本のことに就て、それから第十二條の組合員解雇に關する問題、それから第十三條、勞働爭議の際の解除の問題、それから第十五條、第十六條、第十七條の勞働組合解散に關する問題、これだけにして置きまして、最後に團體協約の話に迄、這入つて戴きたいと思ひます。併ながら、總體的にその前にお話を願つた方が順序上、面白からうと思ひますからして、渡邊さんに初めに、この社會局案に對する批評を、全體でも宜しうございますが、私が今、申上げた五つの問題に就てだけでゝ宜しうございます、簡單に、一つ……。尤も時間は幾らでも差支ありませんからして御ゆつくりお話して戴いても結構でございます。

渡邊。私は、この社會局案の勞働組合法といふものゝ、規定に就て、根本の精神に於て、この法案の立前から見て、どうも非常に遺憾な點があると思ふ。それは、卽ち第一條であります。この組合法案の第一條に「本法ニ於テ勞働組合ト稱スルハ雇傭條件ノ維持改善ヲ目的トスル勞働者ノ團體又ハ其ノ聯合ヲ謂フ」斯樣に定義してある。これは丁度ドイツの新憲法の百五十九條に使つてある文句、殆どその儘の文句でありますが、斯樣に定義してある。但し、第二項には右の外、共濟、修養その他のことをやつてもいゝとは書いてありますが、勞働組合の定義を、明かに第一條に於て、雇傭條件の維持改善を爲すを目的とするものと、明確に定義してしまつて居る。その點に就て、非常に遺憾千萬であります。勞働組合といふものは、勞働者の生活の向上を計り、若くはその地位の上進を計るものである。さうして數十萬、數百萬、多い所は八百何十萬といふ全國の勞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

働者を以て組織されてゐる、さういふ大衆が集る所の總て組合といふものは、組合員同志で以てお互に微妙な組織を以て行つて、さうして組合員の共同動作で以て相互の利益を計るといふことが精神であると思ふ。大體、さういふ精神で以て、沿革からいつても發達して居る。的確に、具體的に申上げますと、それはイギリスのみならず、外の國の勞働組合の起原を顧みましても、凡そ三つの目的がある。つまり、勞働者がお互に自分の技術を練磨する機會を作らう、徒弟を養成しようとか、技術を修養しようといふ目的が一つ。今一つは、お互に勞働者階級の生活の改善を圖らうといふことで、相互扶助その他の運動に轉換するですが、さういふ目的が一つ。今一つは、傭主に對して、自分達は、昔は主從の關係があつた、さういふ關係がなくても、やはり傭はれるのであるから、兎に角、向ふで條件を極められるから、生活を支へる上に苦しいやうな場合も起り得る。そこで、なるべく多數が集つて傭主に對して、餘り不利益な立場に置かれんやうに交渉の出來る力を作らう。斯ういふ三つの目的を有つて勞働組合は發達したものと思ふ。現在、外國、殊にイギリスに於ける勞働組合——私共若くは日本の人が標本にされてゐるイギリスの勞働組合は、全くその三つの目的を有つて現在、働いてゐるものと思ふ。例へばその金の使ひ方の內容を見ましても、一番大きなものは御承知のやうに、失業救濟に一番餘計使つて居ります。但しその金は、三分の二以上は政府から出て居る金であります。三分の一は勞働組合の方から出て居る。それから爭議資金とか、それから冠婚葬祭その他の友愛的のフレンドリイ・ベネフイツトといふものは十分にやつてゐる。勞働組合の支出の三割といふものは、これ等の組合から出す失業基金を入れてフレンドリイ・ベネフイツトに、現在でも使つて居る。勿論、ストライキに對しても出しますけれどもさういふ風な金の使ひ方になつてゐる。さういふ實例は、アメリカその他を御覽になつても、さういふ目的を持つて居るといふことは事實である。さういふ風にして進んで行くことは勞働者自身の爲に必要であらうと思ふ。例へば、失業問題に就ても、先程、お話のあつたやうに、勞働組合を强力にしないと、斯ういふ失業問題が起るんだ、斯樣に申されるのでありますが、ドイツの勞働者といふものは、八百何十萬、全部オルガナイズされてゐる、御承知のやうに經營協議會といふものがあつて……。イギリスも、御承知のやうに、一時は八百六十萬、現在は四百萬になつて居るが、世界の大多數の勞働者の組織されてゐる國に於て、失業者の數も最も多いのでありますが、斯ういふ點から考へると、勞働組合を組織したからといつて、失業者がなくなるとは考へられない。矢張り、失業者に對

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する準備といふことも考へ、これ等の準備があつて、英國の勞働組合自身に元があつたからこそ、國で失業保險も出來た。殊に、それは勞働組合の本質から左樣に考へますが、これを政治的に考へて見ても、政治を今、デモクラシイにして居りますが、デモクラシイにしてやつて居つても、政府は强力な權力を持つて居るから、これでやつて行ける。これがなかつたならば、どんな社會でも成立たないだらう。權力といふものはどんな社會でも必要だと思ふ。然るに產業組織も、工場組織も、株式會社組織も、大規模になつてやつて居るが之は全く權力を持たぬ。三十人、五十人の工場もあるし、女主人の工場もある。さういふ工場で、五十人、三十人の職工を使つて居る場合、これ等の人々は、たゞ組合の目的は、雇傭條件の維持改善のみである、組合といふものは、さういふ目的に依てのみ組織すべきものであると、さういふ考に支配されて、組合を組織されるといふことは、雇主にとつて不安であるばかりで無く、私は必ずしもその人達の利益でないと思ふ。勞働條件の改善といふものは、朝から晩まで起るものでない、半年に一遍、一年に一遍位、物價の騰貴とか、いろいろなことで要求が起る、或はやれば、もつと頻繁に起るかも知れんが、兎に角、雇傭條件の改善といふ問題は、間々起るが、傭人對傭主の關係だけの問題である。然るに、勞働者が團結するといふことは、自己の私生活及び職業上の地位を向上させるといふのです。どうしても、やはりヨーロッパの國々でやつてゐるやうに、勞働組合は、普通、共濟とか修養とか、斯ういふことを合せてやることが本質であるといふことにして置かなければ、今、三十萬しか、日本では勞働者は組織されて居りませんけれども、後、殘りの四百五十萬がこれから組織されるのですが、さういふ人たちが、たゞ雇傭條件の改善といふことだけで集まるといふことになると、これは、事業主として、これと、折衝するとか、交涉するとか、政府でも勞働組合に對して政治を行ふとかいふ場合に、種々の困難を生じて、徒らに爭ひが强くなる。だから、私は、精神的に勞働組合といふものは傭主と鬪爭する機關ではない、自分達の地位の上進を計る機關であると思ふ。併し、間々爭ひがあるかも知れない、兄弟でも喧嘩する、夫婦でも離緣する時がある。だから、勞働者と資本家の間に利益の分配に就て議論があれば、その爭ひがあるかも知れんが、さういふことも勿論やれる。さういふ意味で勞働組合といふものを作り上げて行くといふことが、勞働者自身の爲めに、最も幸福であると思ふ。又、國の政治の爲めにも、事業を遂行する爲めにも、必要であると思ふ。斯ういふ意味から、私は、第一條の一項と二項とを故らに分けて書いたといふことは、全く、その意味を理解

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

するに苦しむ。外國の立法例を御覽になつても、斯樣な區別はして居ない、斯樣に思ふ。

山本。それでは、一條々々、やつて行きませうか。

赤松。私は、今の御意見に反對です。それは、勞働組合の本質を十分御理解になつてゐないと思ふ。今、勞働者の作つてゐる修養組合とか、共濟組合とかいふものは、壓迫されてゐない、却つて保護されてゐる、資本家自身、保護してゐる。さういふやうな勞働組合を殊更に公認する必要はない、それは、してもいゝけれども……。當面の重要な問題は、勞働條件の維持改善といふことであつて、さういふ勞働組合が最も資本家に依て壓迫をされて居る。今日、決して修養組合とか、共濟組合とかいふものは壓迫されてゐない、却つて資本家の手から生れて來てゐる。勞働組合を保護するといふのは、つまり、公然と自主的にやるといふことは、その自主的にやるにしましても、矢張り、今日の資本家階級が自から進んで、勞働條件を改善して呉れゝばいゝですが、しない——資本家の營利主義から決してしない。ですから、どうしても、今日の資本主義の制度の下に於ては、勞働者が自主的の團體を作つて、對抗しまして、勞働條件を維持するといふことが必要です。それに向て資本家の强壓が最も來る。それですから、僕等は、勞働條件の維持以外には、共濟とか修養とかいふことは、するのは當然だと思ひますけれども、しかしながら、現實の日本の勞働組合に於ては、やはり勞働條件の維持改善といふことを本旨とする所の勞働者の團結といふものが非常に、今日に於て壓迫されてゐるといふ事實に立脚すれば、やはり勞働條件の維持改善といふことを勞働組合の本旨とするといふことが正しいと思ふ。しかしながら、今日の社會局案といふものに就て見ると不徹底の點は、政治運動が動もすれば、これに依て、生長するからこれを單なる、純然たる經濟運動としようといふやうな立法者の意思が解釋上に窺はれることである。それは反對です。矢張り、今日は勞働組合といふものは、自然的に政治に延長するといふことに行かなければならん。さういふ風な點に於ても社會局案は重大な缺點がある。

渡邊。聽いてゐると、餘り意見が違はないやうに思ふですが……。やはり、相互救濟とか、さういふ風なことも勿論、やつて居る、一向差支ないと仰しやる、やる方がいゝとは仰しやらんが……。私共はさういふことをやるといふことは、多數者の團體として必要だと思ふ。そこで雇傭條件の改善といふことを入れるなといふことは、勿論言はない。一緒に並べたつて、資本家は、ちつとも壓迫しない。何等、雇傭條件の維持改善といふことに就ては、問題は起らん。例

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

へば、物價が騰貴して儲かる時には賃銀をどん／＼引上げて呉れるから、その代りにどん／＼下つて來て勞働者の工合の良くなつて來た時に値下げしようとする時に、それなら宜しいぞといふ風に、例へば、イギリスの勞働者のやうな工合に、要求に應じて行けば、こんな問題は起らんかも知れんが、しかし、傭主も非常に收益が增加して來ても、一方勞働者の收入の增加を計つて呉れん。勞働者も傭主の當然の要求だと思ふことも容れないといふやうな場合に、勞働爭議といふものは屢々起るかも知れない。そんな場合には、相手が不當だと思へば爭へばいゝ、何も爭ふことを止めてゐはしない。そこで、私が反問したいのは、一條の一項と二項とを一緒に並べて書いて、總てが勞働組合の目的にしたのでは、なぜ惡いかといふことを伺ひたい。

赤松。あなたのは純然たる形式論です。勞働條件の維持改善といふことゝ、修養なんといふやうなことゝ並立的價値を有しない。修養とか共濟とかいふやうなことは、それは今日に於ては、勞働組合としては重大問題になつてゐません。それで、僕等は、今日、今、いひました樣に、勞働組合の最も本質的なものとして、資本家の壓迫に對抗して勞働條件の維持改善をするといふことに勞働組合の本質を持つた勞働者の集團といふものを勞働組合として承認する、その點に重點を置くといふことを說くのです。立法上に於ても、さういふことを……。

渡邊。斯ういふ順序で、それでは聽いた方がいゝと思ふ。諸君の、勞働組合に對して、さういふ風な見方をされるのは、私は疑問に思ふですね。勞働組合といふものは、私は、勞働者の生活の幸福を圖るといふのが目的だらうと思ふ。一言にしていへば、その手段ですな。勞働條件の改善にしろ、共濟にしろ、修養にしろ、それで生活の幸福を計るといふことは、傭主から受取る賃銀の分量が增してもそれが生活の改善にもならうし、賃銀の形で受けなくても、今のオルガナイズされてゐる世の中ですから、イギリスの例でいふと、——私の行つた時には、イギリスの勞働者は傭主から一文も賃銀などは受けんぞといつて威張つて居つたが、——それは今日イギリスでもドイツの眞似をして、工場にドイツや何かと同じやうな社會的の施設が出來て居つて、例へば勞働者が共同の娯樂の設備をする、工場主は喜んで、それに應ずるといふ風なことで、社會施設と言ひませうか、さういふものに對して、金を投ずる。勞働組合自身もさういふものに對して……

麻生。もつと、要點に觸れて……。

渡邊。さういふことが要點です。さういふ風なことも、やはり生活の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

向上といふことになる。たゞ、雇傭條件の改善のみに依て、勞働者の生活の改善を計るといふことに考へなくても、いゝだらうと思ふ。

麻生。つまり、渡邊さんの遺憾とされる點は、この一條を切離すと、如何にも鬪爭的になる。だから、後のやつを入れてお茶を濁さう——お茶を濁さうといへば、惡いかも知れませんが、緩和したやうな氣持ちにしようといふことが根本になるんですね。

渡邊。精神的の修養といふやうなことを主にしたい……

麻生。今、イギリスの勞働組合がどうだとか、斯うだとか、仰しやるが、併しながら、イギリスの勞働組合の發達して來た狀態、イギリスの資本主義と、日本の資本主義の相違といふことを、ちつとも述べないで、イギリスは斯ういふ風にやつたのだから、俺の方も斯ういふ風にしろといつても……

渡邊。イギリスの勞働者と日本の勞働者と、どつちが餘計に保護されて居るか……。

麻生。それは日本の方が保護されて居ません。

高橋。第一、失業保險がないぢやありませんか。

麻生。大正六七年に、僕等が屬して居つた友愛會時代、あの友愛會時代に、少くとも日本の資本主義といふものは幾らか上騰期にあつた。あの時代に於ては、これ程、鬪爭精神はなかつた。あの時代に共濟組合といふものは、かなり作られたのであるから、それなりにうまく發達して、保護されて、組合といふものが出來ればよかつた。所が、資本家側は斷じて作れとは言はんし、政府も言はなかつた。僕が飛込んだのは大正八年ですが、あの大正七八年の好況時代に、どうして、あんな爭議が勃發したかといへば、景氣が好くなつて資本家は儲かるのに、賃銀は上げない……

渡邊。それは遲れたんだ。

麻生。遲れたんぢやない。爭議をやつたから、上げたんです。

渡邊。あれは爭議が惡い。

麻生。爭議が惡いのぢやない。なぜ、日本の組合が鬪爭的になつて來たかといふ現實の徑路を述べれば、貴方の主張された樣な事も政府や資本家が勞働運動の最初の出發點に於て之を認めて順調な發達を遂げしめる樣にし向けて來てゐれば出來てゐたかも知れない。然るにそれは斷じてしなかつた。例へば大正八年の國際勞働會議の際に、組合で行くといふのさへ、遮つて、さういふ者に壓迫を加へた。治安警察法第十七條に依て、僕等のやうな人間でも、三度監獄へ這入つた。僕等のやうな人間でさへも三度も勞働爭議に連座して監獄に這入らなければならん程、組合は壓迫を受けたですよ。あなたは、いゝ加減なことを言つてをられるのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

渡邊。猛烈なことをやつたんだらうと思ふ。

麻生。やつたんぢやない。猛烈な壓迫を受けたんだ。壓迫の狀態を述べなければ、なぜ、斯ういふことを主張するかも分らんからするのだ。大正八年の日立鑛山に組合が出來た時に、三百何人といものは一擧に馘首されて、會社は暴力團を組織して、子供の生れ掛つてゐる××までもおつ放り出してしまつた。僕は、その時に、許されるならば感情の上では、××××××××××てやりたいと思つた。僕等が如何に穩和にやつて行かうとしても、あの當時の、資本主義の景氣の上つて行く時でさへも、決して資本家は、爭議の起らない前に、勞働者の生活を幾らかでも良くしてやらうといふ氣を起したこともない、組合を認めてやらうといふ氣を起したこともない。僕は、勞働爭議で、あの位の短期間に、あんな多數の犧牲者を出したといふことは世界の例にもないだらうと思ふ。僕等のやうな者でさへも三度、監獄へ行かなければならんといふ狀態であつた。さうなつて來ると、共濟どころの騷ぎぢやない。日立のあの高い煙突××××××、×××××××××といふ感じが起つた。さういふ環境の中に今日まで組合といふものは擱かれて來た。それでも今日、社會局法案さへもあなた方は反對して居る。さうして、資本家は自分勝手なことばかり言つて居る。さうして自分が散々、勞働者を虐めに虐め抜いて、景氣の好い時でも賃銀を上げないで、ストライキをやられて、やつと上げて、景氣が惡くなれば、馘つて置いて、さうして今更、共濟組合法案でなければならんとかいつて、社會局法案さへ、血道をあげて反對してゐる、あなた方があゝいふ運動をして居るのは、僕は、實に心外に思つてゐる。兎に角、僕等は決してあなた方のいふやうなことを最初から否定してゐない。出來るならば、順調に發達さして行きたかつたけれども、資本家は‥‥

渡邊。それは過去の感情ぢやないか。

麻生。過去に於ても、現在に於ても然りです。武藤さんの工場に於ても、あゝいふ爭議が起らなければならん所を見てもですね。兎に角さうして發達して來て、今日、三十萬しかないといふけれども、この三十萬といふものは、××と苦鬪の中に築き上げて來た勞働組合ですよ。政府の保護なんぞ、一つも受けてゐない。資本家の保護なども受けてゐない。鬪つて〱鬪ひ抜いて×××犧牲になつて、さうして三十萬が漸く、こゝまで、築き上げて來た。さうしてやつと治安警察法が撤廢された。撤廢される迄いゝ加減、×××苦痛を嘗めた。さうして今日、我々勞働者からいふならば、今の社會局案なるものは取締法——寧ろ資本家を擁護して勞働運動を取締るやうな法規、それにさへもあなた方は、みんなで反對しなくちやならん、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

共濟組合を以て鬪爭精神を緩和しろなど〻いふに至つては、何といふか、氣の好い話といふものではなからうかと思ふ、實際に。

山本。武藤さん、一つ…

武藤。私、ちよつと總體的に御相談して見たいと思ひますが、どうも日本人は急ぐために間違ひが多いと思ふ。例へば、金解禁にしてもあんなに急がずに、イギリスやフランスへ委員でも出して調べて見たら、よかつたらうと思ふ。そこで勞働組合法もこの冬の議會に出して決めないでも、一年も遲くしたらどうでせう。それで吾々が共同して、政府に向て、假に三十人なら三十人の委員を作つて――十人は勞働階級の味方をされる諸君、十人は資本家階級の方に理解を有つてゐる渡邊さんのやうな方々、十人は學者その他、兩者何れにも屬せない所の中立の立場に居る人々で、三十人位の委員を拵へてさうして世界の現在の情勢を一度調べる、冬の議會には間に合はんと思ふが、實に廻り遠いやうだけれども兎に角、もう少し愼重な態度を取つて、立派な法制を拵へたらどうだらうと思ふ。私は、勞働組合法を拵へるといふことは結構なことだと思ひますが、餘りお急ぎになつてはいけないと思ひます。

麻生。急ぐどころか、これは今、始つたことぢやない、實は、隨分長い案ですよ。

武藤。もう一つ、斯ふいふ點に付て伺つて見たいと思ふ。私の關係してゐる鐘紡で勞働爭議を勞働者が初めてやつたので經驗したのですが、勞働組合法と並行して、爭議取締法といふものがなければ非常に公正を缺くと思ひますが、この點を、あなた方、どうお考になりますか。その一例として、例へば勞働爭議は、會社と、勞働に從事してゐる從業員との勞働爭議ですね。ところが、私宅へ來て脅かす――ガラス窓を打ち割つてみたり、何等直接關係しない者でも硫酸をぶつかけようとする、斯ういふことで、これに就て何等の取締がない。又、工場の構内を占領して、さうして勝手にそこで賄所で飯を食つて、何時までも平氣で力んでゐる。斯う云ふ風なものを取締なしで勞働組合法のみが行はれるといふことであつたならば、私は、あなた方の長い歷史を伺ふと、如何にも御同情に堪へんと思ひますけれども、今度はあなた方が受けられたと正反對な立場に資本家階級が置かれることになり、資本家といふものは日本から退却してしまふといふことになると、必ずしも、勞働階級の利益にもならんと思ふ。その點を、よくお考へ下すつて、いや取締なんか、要らん。大いに硫酸をぶつかけるが宜しい、ガラス窓をぶつ壞すのも、どうしても爲さなければならん手段とか、工場の賄所で飯を食つて平氣で力んでゐるのも宜しい、勞働爭議の適當な方法だと、斯うお

考になるか。それ等の點を一つ……

山川。問題が兩方になつてゐますが、今の武藤さんの方から申しますと、一昨日の新聞に社會局の調査が出て居りましたが、それに依ると、十分、取締の法律があるといふことですね。法律上のことは餘り知りませんが、隨分、澤山、擧げてあります。刑法に二十一ヶ條、治安維持法、それから治警法に二十八ヶ條、行政執行法、暴力行爲處罰法がある、警察犯處罰令がある、爭議調停法、出版法、銃砲火藥取締法もある、これだけ適用される法律があるから十分だといふことですが、どうでせうか。

武藤。私は詳しいことは知りませんが、傷害罪は未遂は罪にならんといふことでありますけれども、我々から見ると、どうも硫酸をぶつかけられると、未遂に了つても、そこに非常な危險を感じます。何だか非常に脅威を感じますね。それから重役の家へ行つて上り込んで、ガラス窓をぶつ壞すといふやうなことも脅威を感ずる。さういふ風な爭ひは工場の爭ひだから、私宅までも襲ふとか、暴力を以て戰ふとか、硫酸をぶつかけるなどといふことは、多少の取締法をお設けになつても御異論はないと思ふ。今の法律は知りませんが。あれば宜しうございますが……。

山川。いゝといふのぢやありませんが、しかし、過去の組合の發達の沿革を見ましても、何時でも組合の力が小さくて、組合が不當の壓迫を被つて居るといふ時代には、それはどこにもある。組合が十分に法律的にも承認されて、團體交渉の權利が認められた所では、さういふことはなくなつて居る。その點は、一つ考へて戴きたい。

武藤。各國ではなくなつたが日本ではなくならないかも知れない。

山川。矢張りなくなると思ふ。

武藤。爭議取締法を立法するといふことに御議論があるかどうか、現在の取締法だけでは、吾々は危險を感ずる。

山川。さういふことを保護する法律があるとすれば、もう一つ制定する必要はないと思ふ。今の通り社會局が言ふ通りあるのだから……

神道。吾々は初から、即ち社會局案が出た時から、政府案は勞働組合取締法であり、勞働組合壓殺法であるといつて、昨年議會前に原案を示されたことがありましたが、それに對して政府案を粉碎すべし、反動的勞働組合法案を粉碎すべし、とまで既にいつてゐる。いま渡邊武藤兩氏のお話を承ると、表面は勞働組合保護といふ說明をして居られるが、お話を承つて益々それは保護法でなくて、取締り、壓殺の法案である。その方向に鉾が向けられて行きつゝあるといふことが感ぜられる。それは第一條からいつてもかういふことになるのです。いま相互救濟とか、修養その他云々とか、いふやうなことを間

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

題にされてゐるが、そんなことを書いたら勞働組合を認める——なにか知らん恩に被せて、無かつたものを與へるやうに政府ぢやいつてゐられるが、そんなに認めて貰はなくたつて、現在ありのまゝの事實として、勞働組合もあり、その目的も政治的の活動、經濟的の活動——勞働者自身の長年の闘爭に依つて獲得してゐる。現在政治的、經濟的の活動を爲しつゝあるものを、殊更に恩に被せて、欺瞞して、かういふ塀を造つて、經濟的にのみ限定し、然も其の活動を全然封鎖してしまはうといふところに支配階級の××がある。

渡邊。だから勞働組合法の立法に依つて何を求めるかといふことが私は不思議なんです。

神道。それで結局勞働組合といふものは、經濟的、政治的の勞働者の利益の擁護伸張といふことを目的としてのみ、そこに意義がある。經濟的にのみ限らうといふやうな內容を持つて現に出現して來るといふことは、從來の立法の經驗から見ても吾々はかういふことが言へると思ふ。勞働者はいつも辨證法的に行動しろといふことをお互ひに言つてゐます。資本家の方は——ブルジョアの方は總て觀念的に吾々に物を敎へ、小學校の時から觀念的に物を仕込んでゐるが、自らやる行動といふものは、總て辨證法的に見透しをつけてゐると思ふ。從來の立法を見ると、普通選擧法を制定する時には、右手に普通選擧法を制定し、左の手に直ぐ治安維持法を拵へて居る。而も普通選擧法が實施される時に、傳家の寶刀を拔かないと云つた治安維持法が、非常な力を以て×××振舞はれてゐる。今日の勞働者からいへば普通選擧はどうでもいゝ、治安維持法を撤廢しろといふ要求の方が、勞働者には幾十倍も熾烈です。それから暴力行爲取締法といふものは、制定の時には、勞働爭議には適用しないといふことを政府委員も說明し、議會でも明にされてゐる。それが制定されてから何年も經たないけれども、正確な統計を持つて居らないが、全國の裁判所の統計を見ると、暴力行爲取締法に依つて處罰された事件といふものは、勞働組合に關係するものがその八割九割を占めてゐる。暴力團なんぞで引つかゝつてゐる者は、ないとはいへないが、殆どないといつていゝ位である。それからもう一つは、今度盜犯防止法といふ法律を作つて居る。これを制定するブルジョア側から見れば、失業問題が深刻になり、勞働爭議が深刻になるといふので、かういふやうな見通しをつけてゐるのぢやないかと思ふ。つまり日本は中小工場が多い。最近の新聞紙にもある通り、三十人か五十人使つてゐる中小工場主は、工場と職工そのまゝを置放しにして工場閉鎖をやつてしまふ。賃銀を拂はない。解雇手當も出さない。工場に行くと戶を閉めてしまつて工場主は會はない。或は三百みたい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

な、或は御用團體みたいなものが出て來て、頑張つて居つて出て行けといふ。泥棒に對して盜犯防止法を適用するのぢやなくて、今後の勞働爭議といふものに――つまり工場を閉鎖してしまひ、賃銀を拂はないで、資本家は自分の屋敷に籠城してゐて、入つて來た奴は、御用暴力團を以て×××してしまへといふことの一つの挑戰……（笑）これは笑つてゐられますが、今後數年間を經過したらさうなると思ふ。さういふことを併せて考ふる時、政府の勞働組合法といふものは、これは勞働者を保護する爲に作らうといふ腹でも何でもない。それをおつしやる通り取締をやかましくいつて、勞働組合を取締らうといふ支配階級の××といふか、――吾々にはそれを一番警戒し、それに向つて闘爭しなければならぬ。第一條の目的などといふもの、それにさへも反對して居られるその立場に付ても、何が故に反對されるかといふこと、これも申上げたいと思ふのですが、實際、渡邊さん、武藤さんが今日反對してゐるのは、多くは產業資本家の立場より反對して居られると思ふ。產業資本家にして見れば、それはどんな右翼組合にしてもいやでしせう。一體今の民政黨內閣といふものは、金融資本家をバックに持つてゐると云ふことは説明を俟たぬと思ふ。金融資本が產業資本を順次に統制して行く必然的傾向も明かである。武藤さんどうです、その壓迫を感じて居られるのぢやないですか。產業資本家、と金融資本家との矛盾の中に差異を見出すことも出來ると思ふが、この組合を經濟的活動だけに封じ籠めやうとするところに、敢て政府案だけではなく、他の團體から出して居られる案に付ても、私共は露骨に、而も遠慮なく――社民黨、大衆黨からお出しになつた案に付ても同じ攻擊を加へて居る。もつとこれは戰鬪的に、政治的、經濟的の闘爭、根本的に戰ひ得るものでなければいけない、と言つてゐるのですが、要するにさうした立場から吾々が社會局案に對して駁擊を加へるのは、渡邊さん、武藤さんが加へるのとは全然違つた立場にあると思ふ。これは正反對の立場から加へてゐるのである。現在の立法はさういふ傾向を辿つて行つてゐる。兎に角この政府案の根本といふものは、今の儘に勞働組合をやつて置けば、舊評議會みたやうな×××な組合が出來て來る。それを防がなければならぬ。もつと端的に言へば第三インターナショナル系の、つまり黃色勞働組合を作らせやうそれ以外に。一歩も出たものはいけないのだといふ陰謀が第一條から藏されてゐる。目的をそこに限定して居る。いはゆる左翼に鉾が向けられて居るといふことは、この案の第一條を見ただけでその點を卒直に通感するその點に付ては徹底的に反對しなければならぬといふことを、左翼の立場から大聲叱呼してゐる譯なのです。勞農黨が勞働組

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

合法に對しては冷淡であるやうに一部に傳へられてゐるけれども、これは决して冷淡でも何でもない。昨年の通常議會が解散になる前から政府案に對しては鬪爭の根本方針といふものが定められて居つたのである。それ等も渡邊、武藤兩氏の言葉に依つて、吾々の鉾先を向けて行つた方向が左翼の立場から過りでなかつたと云ふことを、證明されたやうな氣がする。

渡邊。吾々が反對するといふことが無意味でなかつたといふことが、同時に分つて與れたでせう。

高橋。私は唯一つ勞働組合の政治行動に反對される理由について伺つて見たいと思ふ。例へば今度の鐘紡の賃銀引下でも、武藤さんの話では、先づ生活費を下げてから賃銀を引下げよと云ふことは、自分の方では、出來ないのだから、事業が引合はなくなつたから下げたんだ、とかうなる。さうするとあなたの議論から言へば、あなたもその時おつしやつたやうに、さういふ生活費引下と云ふが如き政治的方法については産業資本家はどうすることも出來ない。金融資本家が強くて産業資本家がどうすることも出來ない。そこで賃銀値下になつた。然らば勞働者はどうしたらいゝか。政治行動をやつてはいけないといふあなたの說明から言へば、さういふ場合には勞働階級が政治的の活動をして、政治的の方法に依つて、勞働階級の生活を確保する方法を戰ひ取つてしまふ外ない。しかし、勞働組合はさうした時には産業資本家がそれに代つて戰ひ得ると云ふ確信を持つてゐなくてはならぬが、それを持つてゐらつしやらない。然らば勞働組合の政治行動を認めなくちや嘘だと、かういふことになる。その點に就て御意見を承つて見たい。

武藤。私が考へますのに、今日無産政黨といふものが出來てゐる、盛に勞働階級の方々が政治上の目的を達する爲に活動してゐられる。日本にもあなた方の内閣が軈て出來ませう。私共少し長生きしたら見られやしないかと思ふが、――さういふ譯ですから何も政治運動に結び附けなくても、無産政黨も議員をお殖しになつて政治運動をばなさつた方が宜くはないかと思ふ。それでさう仰つしやると、私等の體驗から言ふと、私は實業家の爲に、實業組合を爲に實業同志會といふものを拵へて見たが、なか〳〵うまく行かない。困難です。私自身の體驗から無産政黨もなか〳〵困難だと認めてゐるが、一體日本では未だ眞の立憲政治が行はれてゐない。然るに勞働組合を無産政黨と結び附けて行くと、一方無産政黨の力は餘りに早く發達して行つてしまつて、一方は到底太刀打ち出來ない立場になる。組合の金を強制までして使ふのは公平でない。

高橋。ちよつと反問したいと思ふですが、あなた方は既成政黨の腐敗

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を腹背に敵を受けてゐる。それ等の原因がどこに在るか。若し組合を攻撃せられ無產政黨は何處から政治行動の資金を持つて來ることが出來ますか。資本家政黨であれば取引して政治資金を出し得るのですが、無產政黨が正しく發達しやうとする限りにおいては、組織した所から會費として金を徴收する以外に方法はない。どうしても組合が組織された勞働階級を基礎にした政治資金を以て、それを中心にして運動して行くより外は仕方がない。又勞農黨の方からは違つた意味で政治行動を要求されて來てゐるが資金の關係から言つただけでもさうなつてゐる。あなた方の表面云はれる立場から言つて、組合に對して、政治行動がいけないといふ理由は吾々には分らない。

武藤。私は結び附けるのが悪いといふのぢやない。結び附けてまでなぜやらなければならぬかといふのです。一方は經濟的組合とし、一方の無產政黨の方は政治的組合として兩々發達されたらどうかと思ふ。勞働組合員の中に篤志家があつて、無產政黨に寄附されれば一向差支ないが、若し勞働組合の方で集めてゐる費用を政治運動に使つてもいゝと、かういふことをあなたは仰しやるのぢやないですか。

赤松。それは違ふのです。武藤さんは現在の社會運動の實情をお知りにならないと思ひますが、實際階級意識ですね。根本的階級意識——政治上の運動としても、無產階級はやはり經濟意識から起る。今日。例へば北海道の鑛山にしても坑夫が數萬人ゐます。その時に組合が存在しない場合において宣傳が一向出來ない。鑛山主は斷じてさういふことは許さない。それだから勞働組合法がなければ永久に鑛山の資本家の奴隷狀態に置かれる。さういふ風な場合に勞働組合なら勞働組合を作つて、その勞働組合といふものが、政治運動にしろ、社會運動にしろ、その基礎的集團です。さういふやうな勞働組合が存在しないで、依然として多くの資本家の專制の下に於て無產階級の政治運動といふものは成立ち得ない。政治運動の內容、無產政黨の內容といふものも可なり勞働者が必要なんですから——その政黨の中心的の勢力であるところの勞働者が勞働組合に入つてゐない、或は極めて少數であるとどうしても……。

武藤。あなたの考はイギリスの勞働黨の考と變つてゐる。イギリスあたりでは勞働者の考に、反對しない者はどんなものでもいゝ。資本家であらうが、貴族であらうが、どう云ふ人でも包擁してゐる。あなたは勞働者以外——例へば私が社會民衆黨へ入會したいと言つたら拒絕しますか。

赤松。あなたは經濟運動と政治運動とを根本的にわけていらつしやる。でせう、それは然し分けることは出來ません。これは一つの社會運動の二つの要素です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

武藤。無産運動、無産政黨といふけれども、必ずしも無産者ばかりではない。その趣旨に共鳴する者は、資本家であらうが、貴族であらうが、包擁するといふことの私の考が違つてゐるのなら私は閉口しますが、私はさう觀てゐるのだから一緒にしてはいかぬといふのです。

赤松。しかし勞働運動をほつたらかして置いて貴族に向つて勸誘出來ない。

武藤。勞働組合をお拵へになつて、その組合員に對して無産政黨に入る事を勸誘なさるのは構はないですが、無産政黨の選擧の資金などに、勞働組合員が納めた金を使はうといふことは、あなた方の御趣旨ぢやなからうと思ひますが……。

赤松。それも重要な要素であると思ふ。

武藤。私はさうしない方がよくはないかと思ひます。

赤松。それは勞働大衆の自主的の金であるといふことは理想的の無産政黨であります。

武藤。あなたの言ふ無産者のみの勞働組合といふのは、イギリスの勞働黨のやうに資本家も貴族も、入つてゐるといふのでなく、無産黨はやはり貴族とか、資本家の入會を拒絶してこれ等を除いて、無産階級に限るといふのですか。

赤松。それは從的のもので、無産階級以外の寄附があつたといふ場合に拒む必要はあるまいと思ふ。しかし主たるものは無産階級で、財政の基本的部分といふものは、やはり無産階級が支出するといふことが、正しい無産政黨と思ふのです。さういふやうな見地において勞働組合を作るといふことがその主義に合ふものだと思ふ。

武藤。私は經驗も足りませんが、勞働組合は經濟的の組合で、勞働組合に加入するものは無産者に限る。無産政黨の會員はその趣旨に一致する者は國民の如何なるものでも包擁するかういふことに於て兩者確然と區別して進んで行きたい。

高橋。第一かういふ點が問題の重點だと思ふ。勞働組合の方で勞働組合と政黨と分けて問題を解決しろとおつしやるけれども、勞働組合があなた方産業資本家に經濟行動で請求し得られる範圍は、極めて限られてゐるのですよ。實際あなた方のおつしやるやうな勞働組合から云ふならば——例へば事業が引合はないところまで行つた場合それを潰してしまつては、勞働者は食へない。それでは仕樣がないから、それ以上の解決は如何なる方法に由るかといふと、それは個々の資本家を相手にしては解決が出來ない問題で、政治全體に對して解決を要求しなければその解決は出來ない。從つて勞働組合法の社會局案があなた方のお考に限られてしまつては、勞働者は單に自

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

分達の生活を維持する限りに於いても、その目的は達せられない。或點以上の要求は個々の資本家に對して出來ない。多くの問題は政治的に、社會全體の資本家階級に當つて行かなければ解決の出來ない問題が澤山あるからである。さういふ問題は政治的な解決より仕方がないぢやないですか。

武藤。あなたの言はれるのを主としないでイギリスの例をとれば、イギリスでは、長い間立憲政治をやつて、どういふ者だつて政黨に入つて居らぬ者はない。貴族であらうが資本家であらうが、皆な政黨に入つてゐる。ところが日本の既成政黨がよくないとおつしやる。のは、その立憲的の精神が國民に理解されて居らない。さういふ風ですから一方も非常に進んで居らない。一方がイギリスのやうに進んで居れば、無産政黨の影に勞働組合を結びつけるのもいゝか知れないが、無産政黨の選擧費に勞働組合の金を使ふといふ事よりか、無産政黨を發達させるがいゝと思ひます。

山本。第一條はこの位の程度に止めて、政黨と組合との關係について山川さんから一言して戴きたい。

山川。私共はかういふやうに考へてゐる。大體勞働者の利益を擁護する行爲には、政治上の手段も、經濟上の手段もある、しかし、勞働者自身が無産政黨と勞働組合を作つてゐる以上は、大體においてこの仕事は別々にやる。政黨としては主として政治運動をやる。組合としては主として經濟上の仕事をやるといふ風に、勞働者自身がその方を便利としてその方法を採つて居る。唯その間に政治行動と、經濟行動の區別の出來ないことが幾らもある。どこまでが果して經濟行動でどこから政治行動であるか。例へば勞働組合が大會を開いて失業救濟の要求を決議する。これは一體政治上の行動になるか、經濟上の行動になるか。ここに議論があります。ですから法律上どうしても政治行動はいかぬといふことになると、組合の行動といふものは非常に窮屈になつて來る。吾々が政治行動云々と言ふのは、必しも組合が政黨と同じことをしやうといふのぢやない。資本家側ではそれを勞働者側に一任されて置いていゝと思ふ。勞働者側は自已の都合のいゝやうにしてやるのですから、――それに反對される理由が分らない。それから先程の渡邊さんの御意見ですが、渡邊さんの御意見に依ると、勞働組合の目的は、雇傭條件の云々といふやうな狹いものに限る必要はない、要するに勞働者の共同の利益、共同の幸福を圖るものであるといふ、非常に廣い定義をおとりになつてゐる、然るに一方に於て政治行動に對して――勞働者が共同の幸福を增さうとする行爲を、組合の目的から排除されるのはどうですか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

渡邊。第一條の雇傭條件の改善といふことに付ては、例へば失業保險のやうなものが出來るといふ風なことを言はれた。成る程政府でも失業保險は問題になつて、是は或は早く實現出來るでせうが、ところがさういふ問題と關係なく、兎に角勞働組合の勢力が強くなればいろ／＼のものが出來易い。それが事實である。さうして吾々が必ずしも勞働組合の强くなることを阻害しようとしない。吾々の考へるやうな勞働組合の形で進んで行けば、大に强大になればいゝと思ふ。

赤松。御用組合ですか。

渡邊。…それは笑ひ話だからさういふのですが、はつきり言ふと、つまり勞資協調の精神で行ける組合ならば大に歡待する。それは他の國にも例がある。それからその次に勞働爭議の取締のことに付て問題が出ましたが、これもお答しなければならぬ立場であるですが、その時に麻生君の體驗として非常に虐められたといふ話です。そこで自分達の爭議のおかげで勞働賃銀を高くしたと言はれるが、私は決してそれはさうでないと思ふ。影響は幾らかあるだらうと思ふが、勞働爭議に依つて勞働條件の維持は出來ます。大正八九年以後の勞働條件の維持は、成る程相當にトレードユニオンの力が强かつたでせうけれども、雇主の反省といふこともあつた。勞働者の生活條件を改善しやうといふそれは、勞働組合だけの力で出來たと思つたら間違つてゐる。社會立法、健康保險にしろ工場法にしろ、勞働組合の力、あなた方の力で決して作つちやゐない。他の社會科學者が眼を閉いて考へた爲に出來てゐる。さういふ根本の問題に付て一應申上げて見たいと思ふ。あなた方は自分達だけが勞働者の幸福を考へてゐると思はれるが間違てゐる。勞働組合中心主義だけがいつてゐられるが、吾々と雖も、全般の勞働者の幸福、お互に社會生活をやつて行く上にいろ／＼な利害をお互に調和して、お互の幸福を圖つて行くといふ精神に於ては一歩も讓らないと思ふ。吾々決して勞働者に對して壓迫するとか、或は不利益なる立場に置かうとか、資本家に盲從せよとか、さういふことは言はない。資本家の諸君でも私が今の地位に居つても悪いことをされゝば正面から攻撃します。さういふ點について誤解のないやうにして貰ひたい。そこで今の勞働賃銀もかう言つた方が面白い。大正七年に米騷動があつた。米騷動があつた位だから物價は下らなければならぬ。然るにあれがあつた後に猛烈に物價は騰つた。あゝいふ騷をやつて、況んやあなた方が勞働爭議をやられてうんと勞働賃銀は騰らなければならぬか知れないが、大して騰らない。絶えずやつて居られてその點は幾らか効果があつたが、大正九年から物價は猛烈に下つたが勞働賃銀は下らな

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

い。ストライキの力で止めたと思つたら大間違で、社會的に企業主が勞働者の立場を考へてゐるからである。イギリスを御覧なさい。大正九年から十年十一年までどれだけ賃銀が下つたか、イギリスの勞働組合員が八百萬位になつて、あの勞働組合員を以て居つて、九年十年にイギリスの勞働者の收入は五十億減つてゐます。勞働組合の力で、勞働爭議だけの力で必ずしも賃銀が騰ると言ふことは出來ない。やはり經濟の原則に支配されてゐます。日本もさういふ譯だらうが、日本ではその後勞働者の賃銀が今日に至るまで高い。去年から五パーセント下つただけで、それまで勞働組合運動だけの力で維持されてゐると思つたら間違だと思ふ。そこで、勞働爭議に依つて吾々が勞働者の地位を作つてやつたんだと云はれるならば、それは自分の力を過信してゐるのである。それは麻生君の體驗談はあとで聞きたいと思ふが、さて今日の實情に於て、先程武藤さんの言はれたやうに、勞働者がどの位彈壓されてゐるか、どういふ事實があるのであるか。爭議を起した場合にどういふ彈壓があつたかといふ事實を知りたい私は朝日講堂に行く前にそれを知りたいと思つて警視廳、社會局、司法省に行つて、どういふ刑罰があるかといふことを調べて見た。その實際の適用を見ると、昭和二年のしか分りませんでしたが、體刑といふものはない。勞働爭議に關する調査資料をあなた方から材料を貰へればもつと私は朝日講堂で言へたのだが、その材料が得られなかつた。兎に角私の得た材料では刑法百六條に依つて罰せられたものが大部分で、百七條もちよつとありました。その他業務妨害、その他は一條も適用がない。それから警察犯處罰例が百何件かあるが、何れも拘留です。交通取締規則でも拘留があるその他はない、皆罰金刑です。體刑は私の調べた昭和二年度にはなかつた。なか／＼穩かにやつてゐるなと、かやうに私は感じた。今山川さんが言はれた日本の刑法云々は社會局の發表だとすれば大に滑稽だと思ふ。それは法律書生や學生にする講義のやうなもので、刑法の條文で關係のあるものは全部引いたといふのは、甚だ滑稽である。それは勞働者に限らず、吾々でも誰でも、刑法の條文、交通取締規則でも何でも、違反すれば勿論罰せられるのだ。さういふものに勞働者はしばられてゐるのだといふことを特に列擧するのは滑稽なことだと思ふ。勞働者だけが特に目的とされてゐる治警の第十七條の誘惑煽動其他無暗に彈壓的の規定があれば氣の毒と思ふが、その撤廢後といふものは、一般規定があつても割に規定が柔かい。そこでかういふ問題になつて來る。麻生君は吾々は非常に壓迫されたと言ふし、武藤さんは不安を感ぜられてゐる。私もその點が問題である。惡いと思ふ。そこにその要點を置いて居る。勞働爭議といふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

武藤。無産運動、無産政黨といふけれども、必ずしも無産者ばかりではない。その趣旨に共鳴する者は、資本家であらうが、貴族であらうが、包擁するといふことの私の考が違つてゐるのなら私は閉口しますが、私はさう觀てゐるのだから一緒にしてはいかぬといふのです。

赤松。しかし勞働運動をほつたらかして置いて貴族に向つて勸誘出來ない。

武藤。勞働組合をお拵へになつて、その組合員に對して無産政黨に入る事を勸誘なさるのは構はないですが、無産政黨の選擧の資金などに、勞働組合員が納めた金を使はうといふことは、あなた方の御趣旨ぢやなからうと思ひますが……。

赤松。それも重要な要素であると思ふ。

武藤。私はさうしない方がよくはないかと思ひます。

赤松。それは勞働大衆の自主的の金であるといふことは理想的の無産政黨であります。

武藤。あなたの言ふ無産者のみの勞働組合といふのは、イギリスの勞働黨のやうに資本家も貴族も、入つてゐるといふのでなく、無産黨はやはり貴族とか、資本家の入會を拒絶してこれ等を除いて、無産階級に限るといふのですか。

赤松。それは從的のもので、無産階級以外の寄附があつたといふ場合に拒む必要はあるまいと思ふ。しかし主たるものは無産階級で、財政の基本的部分といふものは、やはり無産階級が支出するといふことが、正しい無産政黨と思ふのです。さういふやうな見地において勞働組合を作るといふことがその主義に合ふものだと思ふ。

武藤。私は經驗も足りませんが、勞働組合は經濟的の組合で、勞働組合に加入するものは無産者に限る。無産政黨の會員はその趣旨に一致する者は國民の如何なるものでも包擁するかういふことに於て兩者確然と區別して進んで行きたい。

高橋。第一からいふ點が問題の重點だと思ふ。勞働組合の方で勞働組合と政黨と分けて問題を解決しろとおつしやるけれども、勞働組合があなた方産業資本家に經濟行動で請求し得られる範圍は、極めて限られてゐるのですよ。實際あなた方のおつしやるやうな勞働組合から云ふならば――例へば事業が引合はないところまで行つた場合それを潰してしまつては、勞働者は食へない。それでは仕樣がないから、それ以上の解決は如何なる方法に出るかといふと、それは個々の資本家を相手にしては解決が出來ない問題で、政治全體に對して解決を要求しなければその解決は出來ない。從つて勞働組合法の社會局案があなた方のお考に限られてしまつては、勞働者は單に自

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

分達の生活を維持する限りに於いても、その目的は達せられない。或點以上の要求は個々の資本家に對して出來ない。多くの問題は政治的に、社會全體の資本家階級に當つて行かなければ解決の出來ない問題が澤山あるからである。さういふ問題は政治的な解決より仕方がないぢやないですか。

武藤。あなたの言はれるのを主としないでイギリスの例をとれば、イギリスでは、長い間立憲政治をやつて、どういふ者だつて政黨に入つて居らぬ者はない。貴族であらうが資本家であらうが、皆な政黨に入つてゐる。ところが日本の既成政黨がよくないとおつしやる。のは、その立憲的の精神が國民に理解されて居らない。さういふ風ですから一方も非常に進んで居らない。一方がイギリスのやうに進んで居れば、無產政黨の影に勞働組合を結びつけるのもいゝか知れないが、無產政黨の選擧費に勞働組合の金を使ふといふ事よりか、無產政黨を發達させるがいゝと思ひます。

山本。第一條はこの位の程度に止めて、政黨と組合との關係について山川さんから一言して戴きたい。

山川。私共はかういふやうに考へてゐる。大體勞働者の利益を擁護する行爲には、政治上の手段も、經濟上の手段もある、しかし、勞働者自身が無產政黨と勞働組合を作つてゐる以上は、大體においてこの仕事は別々にやる。政黨としては主として政治運動をやる。組合としては主として經濟上の仕事をやるといふ風に、勞働者自身がその方を便利としてその方法を採つて居る。唯その間に政治行動と、經濟行動の區別の出來ないことが幾らもある。どこまでが果して經濟行動でどこから政治行動であるか。例へば勞働組合が大會を開いて失業救濟の要求を決議する。これは一體政治上の行動になるか、經濟上の行動になるか。ここに議論があります。ですから法律上どうしても政治行動はいかぬといふことになると、組合の行動といふものは非常に窮屈になつて來る。吾々が政治行動云々と言ふのは、必しも組合が政黨と同じことをしやうといふのぢやない。資本家側ではそれを勞働者側に一任されて置いていゝと思ふ。勞働者側は自已の都合のいゝやうにしてやるのですから、——それに反對される理由が分らない。それから先程の渡邊さんの御意見ですが、渡邊さんの御意見に依ると、勞働組合の目的は、雇傭條件の云々といふやうな狹いものに限る必要はない、要するに勞働者の共同の利益、共同の幸福を圖るものであるといふ、非常に廣い定義をおとりになつてゐる、然るに一方に於て政治行動に對して——勞働者が共同の幸福を增さうとする行爲を、組合の目的から排除されるのはどうですか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものは必ず大衆の運動になる、イギリスは千八百七十五年に共犯法が出來て今日までイギリスの勞働者が何十倍になつてゐるか非常に殖えてゐる。さうして非常に問題が多いから、精細な勞働爭議に關係した規定を作られてゐるが日本はさういふものがなしに一般の法律規定で、刑法で取締つたり政治的運動に驅け廻るやうな人間に適用する法規を、それを、勞働爭議に適用するからこそ、あなた方に彈壓とか何とかいふ風な不平が起り、資本家側に於ても十分さういふやうに取締る場合に取締つて與れなければ、甚だ不安だといふので不平が起る。私はこれの取締規定を設けてくれといふことを重要視してゐるので、これは必ず設けなければならぬ。專門的に、勞働爭議のこの程度はいゝ、かういふのはいかぬといふ風な、イギリスの千八百十五年の犯法とか、千九百二十七年の勞働組合法かういつた規定がなかつたらどの位勞働爭議について不平不安が起るか知れないと思ふ。あゝいふ風なものを參考にして適當な勞働爭議專門の規定を設ければいゝと思ふ。

麻生。資本家側の義務をどういふ風に規定するのですか。

渡邊。資本家側も、イギリスの規定にあるやうなものは、勿論結構です。そこで、さういふことになれば、餘り酷く縛れたといふこともなし、不安といふことでもなくなる。それは日本の從來の立法技術上からいへば、そんな面倒なことは嫌やがるかも知れないけれども、この問題は双方の爭ひで、社會不安の原因を成すから、正確に決めて置いた方が穩かである。さういふ意味で、私は勞働爭議取締法といふものを勞働組合法の中に入れてゝも宜しいし、單獨法でもいゝから、作る必要があると思ふ。それから政治運動のことに就いてゞすが、これは私は武藤さんと全く同じ考へを持つてゐます。元來勞働組合といふものは、フランスの勞働組合法即ちサンヂカート、プロフエッショナルを見れば、日本の産業組合と全く同じものです。ドイツが新憲法第百五十九條に於ては、雇傭條件の維持改善といふことが書いてある。その精神に基いて作つた法律ベトリーブスラートゲゼッツ即ち經營協議會法の第一條の規定を見ると、事業の經營の目的の遂行を輔佐する爲めに勞働者の委員會を作る即ち工場委員制度、さういふやうな意味で書いてゐる。これはやはり協調の目的から來てゐると思ふ。そこでアメリカの實狀、その他の國の實狀に就ても、政治的に動いてゐない。影響は與へてゐますが、政治的の目的を明かに入れてない。それでイギリスのオスボーンの判決のことを言ふ時間はないが、イギリスの組合は餘り政治的にやりすぎたといふので、オスボーンの判決があつて、次で一九一三年法が出來て一定の制限内に認めた。あゝいふ風に一定の規矩準繩の中にやられる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のがいゝ。それも日本の勞働組合は三十万でこれに四百五十万といふものも入るかも知れないが、さういふものを本當に組織した方がいゝといふ意見が、政府の中から出たかどうか知らぬが それが一つの問題です。兎に角今後四百五十万も組合の中に入つて來る譯ですが、それが政治的に働く方がトレード・ユニオンの目的を達するのか。勞働者の生活の向上の爲めに、政治は最後の手段です。最後の手段と言つたらをかしいが、一つの特別の手段ですから、勞働組合の目的と政治運動の目的とをハッキリした方が勞働組合の爲めにいゝだらうと思ふ。勞働組合の發達といふものは、トレード・ユニオンの精神で行く。即ち、一九二七年法。これは一つの反動法と謂はれるかも知れないが、勞働のストライキは、この規定に依る職業の內部、若くは產業の內部以外のものは違法とするといふことが書いてある。それでイギリスの政治家もゼネラルユニオンを變へた。さうしてこれをトレード・ユニオンの元へ戻さうと思ふが、現實これだけの大きな勢力で出來てゐるものを導き變へるといふことは困難だから、勞働ストライキをやる場合には、その職業、產業の內部でやることのみを認めるといふ風に、これを限つてゐる。だから、さういふ譯でヨーロッパでもこれを職業の方へ戾さうといふ考へは充分にある。だから、日本の政治家の中にも、結局はさうなるんだから、心配しなくてもいゝといふことを言ふ人もあるくらいなんです。

さてこの勞働組合法案が、政治運動をやつて、ゼネラル運動をやつて行かうといふのですが、これは職業別、產業別に行くといふことで、政治運動は無產黨に委せばいゝ。まだ組織されてゐない大衆が四百五十萬殘つてゐるから、これは職業の方に向つて、本當のトレード・ユニオンとしてやつて行つて、生活の安定を圖り、政治も事業主もそれを認めて、幸福を圖つて行くといふ風にし、しかし政治運動としては無產黨の黨員にならうが自由である。これはハッキリ分けて行つたらいゝ。政治運動といふものを法律で明かに認める必要はない。殊に、勞農黨は政治運動を組合に絕對無限にやらせろと言はれたが、さういふ言ひ方は却つて勞働組合運動の邪魔になると思ふ。

（矢野氏退席）

麻生。さつきから、勞働運動なり勞働爭議なり、組合の力が賃銀を上げたんぢやない識者の力に依つて、資本家の反省に依つてさういふ風になつたんだと言はれますが、しかし僕はさうは考へないのです。一體、協調會が出來たり、資本家が金を出したりしたのは、米が五十錢になつて、米騷動をやつたら、みんなあわてて協調會を作り、金を出したりしたんだ。僕等の知れる範圍に於ても、あの當時に於ては、非常に資本家は儲かつた。それでも自分から先になつて賃銀を上げた資本家はない。米が五十錢になつて、やりきれなくなつて騷

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

動が起り、爭議が起つて、さうして其壓力が資本家に××××××、これぢやいかぬぞといふので、それから始めた。だから、資本家が先になつて、勞働者が可哀さうだから上げてやらうといふので、上つたものではない。いつも騷動が起り、ストライキが起つてからです。その當時僕の關係してゐた全國の鑛山に、組合の出來なかつた鑛山はなかつた。ただ、向うが大きい爲に、作つたあとから又毀されてしまつたのです。だから結論としては、あなたの言はれるやうな識者の反省、良心的な反省、さういふものにあらずして、假令少數であつても全國を席卷した勞働者の鬪爭精神、生活の苦しみから燃え上つて來た勞働組合を作らうとする力。それが兎に角資本家社會に向つて、これぢやいけないぞといふ×××××、これなりぢやいかぬから、かうしなければならぬといふ力が加はつて來て初めてさうなつた。それは僕は斷然言ひ切ることが出來ると思ふ。

渡邊。さつき僕の言つたことが、事實をハッキリ言ふ爲めに、あなた方の力を少し弱く言ひすぎた點はあるかも知れない。

麻生。それから、勞資協調といふことを言はれるが、勞資協調は、本當に出來れば結構なんです。しかし僕は、武藤さんの例を取つては失禮ですけれども、あなたの工場で今まで爭議は起らなかつた。それはどういふ原因であるかわからぬが、兎に角相當に温情主義は行はれたに違ひない。しかしながら、この不況に際しては、どうしても株主の配當を先きに減らすのが當然ですが、これは武藤さんの思意であるかどうかといふ問題は別にして、一つの事業を經營して行く上に於て、先づ勞働者を血祭に上げなければ株主資本家といふものはきかぬものです。

武藤。それは少し酷いな。

麻生。それは、あなたは腹の中では氣の毒だと思つてゐて異れるかも知れないけれども、しかし鐘紡といふものを維持して行く上に於ては……

武藤。血祭といふことは、どういふことです。

麻生。血祭といふのは先づ最つ先きに勞働者から賃銀を下げる。又あなたから言はせれば、三百萬圓といふものは小さいけれども、勞働者から見れば大きいものです。勞働者から見ると實に大きいものなんです。それから、政治運動を大變に勞働者の爲めに心配なさるが、あなた方の反對してゐる所は實は、資本家階級の一番苦痛な所に反對してゐるのですから、勞働者の幸福の爲にだとか、社會のためだとかッペコベ言つて、政治運動を止めたらよからうと言ふのぢやなしに、さうなつて來れば勞働者の力が強くなつて、資本家が困るから、この點ははね除けろと言つた方が却つて正直だと思ふ。如何にもさ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

うしたら勞働者は幸福だらうとかなんとか言ふのは滑稽です。

渡邊。資本家も困るには困るが、又國家の爲めにもいけない。さうしてこの社會生活の爲めにも。

麻生。社會も國家も大多數は勞働者であるのですから心配御無用。兎に角、僕はその點はハッキリして貰ひたいと思ふ。如何にも勞働者のお爲めごかしに政治運動を止めたらよからうといふのぢやなしに、それをやられたら、資本家は保てぬといふことをハッキリされてはどうですか。

渡邊。保てるか保てないか知れないが、勞働者の爲めにトレード・ユニオニズムでやれといふのです。イギリスのトレード・ユニオニズムでも、政治運動は制限されてゐる。オスボーン判決が出來てから、一九一三年法ができた、あの程度でよい。

麻生。僕は、そんな枝葉の問題よりも、その中心問題に互つて、資本家が困るからといふことをハッキリした方がいゝと思ふ。

渡邊。勞働者にしろ、サラリーマンにしろ、農民にしろ、政治的には……

麻生。又、商工會議所にしろ、資本家がさうしてやつてゐて、勞働者のことばかりは、いかぬ〳〵といふことは、おせつかいだと思ふ。

渡邊。それぢや、無產黨はどうですか。

麻生、無產黨がやらうとやるまいと、おせつかいです。

渡邊。勞働者と餘り聯絡がありすぎる。

麻生。しかし、今の既成政黨と資本家の聯絡はどうですか。

神道。さつき麻生さんが言ひかけられたが、政友會や民政黨を援けておいでになる、あなたの關係してゐらつしやる商工會議所とか、工業俱樂部とかいふやうないろ〳〵な實業團體がありませう。それがみんな政友會や民政黨を動かすほどの力を以て、政治行動を公々然とやつておいでになる、その方のことを少しもおつしやらない。政治行動の必要はないぢやないかとおつしやるが、たゞ個々の資本家と個々の勞働者のみが生活條件に就いて、又勞働條件に就いても爭つてゐるんぢやないでせう。產業合理化とか、金の解禁とかいふことが、話に出ましたが、金の解禁が起つた結果、產業合理化の結果、非常な不景氣が來たとおつしやるんでせうが、勞働者の生活維持の立場から言つても、この根本に向つて、自分の生活を擁護する爲めの對策を立てなければならぬといつた場合、政治行動は絕對に必要です。それと又話を短かくする爲めに、かういふ例を持つて行けば尙ほハッキリわかると思ふが、金融資本家は政府の手に依つて、金の輸出を禁じて見たり、解禁して見たりしますね。けれども、金は何も資本家だけのものぢやないので、日本銀行が紙幣を發行するに

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

就いては、それに應ずるだけの正金を準備してゐる、何時たりとも兌換すると云つて民衆を安心させて置く。說明はあなた方の方がお詳しいですが、しかし勞働者に敢て限りませんが、一面、勞働者の方から見れば、これを資本家に委して置くといふと、資本家は、自分の都合の惡い時には、金を出すことを止めて置いて、自分の都合の好い時には外國に持ち出す。現に本年一月に解禁してもう四億數千萬圓流出してゐる。それで産業合理化だと言ふけれども、俺たちはこんな××を握らされてゐるが、こんなものはブルヂョアーの×××××だ。今の資本家の金融統制には××滿足できない、×××××××××××、紙幣を持つて行つて、×××××××××××××といふことまで考へないぢやないのです。それは一體經濟行動か政治行動か、資本家の側から見れば經濟問題であると共に、全政治權力を集中すべき重大な政治問題でせう。同様に勞働者の側からは資本家の金融統制に對する政治的闘爭は必然的です。

赤松。英國の例をよく渡邊さんは引かれますが、英國は資本主義が上向期にあつた時に、勞働組合が生れて、自由主義時代に、勞働組合が順調に發達したのです。それだけに政治運動に於てもそれが極めて順調に行つてゐる。日本はさうぢやない。資本主義が下向期に入つて、まだ勞働組合が發達しないのです。イギリスは長い間かゝつて順調にやつて來たので、經濟運動が發達し、更に政治運動が發達した。日本は資本主義が下向期になつた時からだから、それは日本の社會事情として、英國流の正常な發達を遂げてゐない。それですから、日本に於ては政治運動と無産階級の經濟運動と離して行く譯には行かぬ。經濟問題として、政治問題として、それが直ちに、資本主義全體の機構と結びついてゐるから、政治運動と經濟運動とは密接な關聯を持つて行かなければならぬと思ふ。

渡邊。それであなたは勞働組合運動が出來るとお考へになるか知れないが、さういふことではあなた方は却つて勞働組合運動を壞してゐると思ふ。

山本。これは、この位にして貰つて、十二條の解雇に關する問題を簡單に一つ……。

武藤。これは、迚も兩方一致する見込みはありませんし、しますから急がずに三十人ばかりの委員を拵へて、各代表者を選つて、一年位遲れると思つて、調査研究して案を拵へるといふことを政府に建議する、これは、どうでせう、渡邊さん。

渡邊。それがいゝと思ふ。

山本。それは協議するといふことが問題ですから、渡邊さん……。山川さん、十二條に對する所謂工業クラブの意見とか、或は商業會議

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

所の意見とかの資本家の意見に對して、何か話して戴きませうか。

山川。私共の側からは、この條項は當然だといふだけで、これに罰則がないのが不足だと思ひます。例へば、その他の二十八條なんかでは組合の代表者が斯う斯うしない場合には云々といふ、いろ〱罰則があるのですが、それとの權衡を取る上からいつても、この條項を置く以上は、これに對する違反の罰則を加へるといふことが必要だと思ひます。

武藤。どういふ風に加へるのですか。

山川。十二條の「勞働者ガ勞働組合ノ組合員タルノ故ヲ以テ解雇スルコトヲ得ズ」とあるから、之に違反した場合の制裁の條項をほかの罰則の部分に加へるのです。

武藤。解雇したら、罰金に處するとかいふのですか。

赤松。體刑ですよ。

渡邊。それは、第二段の問題です、かゝる規定をすることがいゝか、惡いかといふことを考へねばならぬ。

武藤。勞働組合へ這入つてゐたら、爭議しても解雇は出來んですね。爭議をして、ガラス窓を破つても、亂暴をやつても、勞働組合員といふものは……。

山川。それは勞働組合員たるの故を以てでなくて、ガラス窓を壞した故を以て解雇することが出來るでせう。

武藤。そこで取締法といふことを、我々は強調する。

山川。さういふことは、普通の犯罪になるのぢやありませんか。

武藤。ならないですよ。

山川。なりますよ。現に勞働爭議を目的としないと明言された暴力行爲取締法なんかでさへもやられてゐるのです。

渡邊。それは、やはり勞働組合の信用問題ですよ。資本家の信用問題もあるかと思ひますが、勞働者が多數なんです。資本家が亂暴して毆るとか、ぶつとかいふことはないですから。だから、大阪で工場の女主人を勞働爭議の際に、大衆の人たちが毆つたとかいふことがあるですから、勞働者が多數團結をした時には、たゞさへも怖いとかいふことは事實だらうと思ふ。だから、いろ〱な法律があるだらうと思ふ。所が——少し横道へ這入つたが——勞働組合員たるが故に解雇することを得ずといふ規定がある。勞働組合法を作る以上は、勞働組合員たるの故を以て……これだけの規定がなければ無意味だと言はれるけれども、立法例から申せば、そんな立法例は少ない、外國の例は少ない。外國の例は別として、やれるか知れないが、ロジックから行くならば、斯ういふ順序になる。勞働組合員が亂暴したり、工場の規律を守らなかつたりしたら、解雇すればいゝぢやないか、斯ういふことになる。然るに、日本の實情として、それが偶〻勞働組合員である時には、さういふ缺點があつても、容易

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に解雇出來ない。イギリスの勞働組合のリーダーならば、内部の者を制裁するといふことがあるが、日本では、さういふことを割合にしない。さういふ點が、幾らか缺けて居りはしないかと思ふ。兎に角いきなり直ぐ、俺は勞働の味方であるといふことで、間々理否をよく判斷せずして勞働者を支持するやうな場合もよくあるのぢやないかと思ふ。それは屢々聽く。現在、十二條がなくても、さういふ紀律を守らんといふことで、解雇するといふことは容易に出來ん。勞働組合法の中に、勞働組合員たるの故を以て解雇することを得ずとそんな規定があつても、今、山川さんのいはれるやうに、紀律を守らんとか、怠ける者は、解雇すればいゝぢやないかといつてしまへば、それ切りだが、これは法律がなくてさへ、さうなんだ。法律があると、さういふ紀律さへも守ることが出來ないといふので解雇するといふことは尙更困難になる。だから、資本家として、さういふことを欲しないといふ心持は當然だらうと思ふ。それから尙ほ斯ういふ場合がある。勞働組合員であるが故に、解雇したいといふ場合が必ずあるだらうと思ふ。そこが私のいふ、勞働組合の信用問題です。私は、朝日講堂で露骨に演說してゐますが、例へば、「交通勞働者の戰鬪的分子のみを以て組織し、日常東京市内に於ける交通に關して爭議を激發することを目的とす」斯ういふ勞働組合があれば、私が事業主であれば、そんな者は頭から雇はない、さういふ組合へ這入つたが故に解雇したい。所が、さういふことをしたいと思つても、この十二條があつては出來んといふことになる。又斯ういふのがある。「あらゆる機會を利用して現在ある資本家の缺陷の暴露に努め、之に依り、勞働者の不平不滿を誘發して意識的に爭議を勃發せしめ、以て勞働者の階級意識を昂奮昂揚せしめ、資本家階級に對する反抗を激成せしめんとす」、斯ういふことが書いてある。爭ひの起つた場合に、これは不都合だからといつて強い力で爭ふことは結構ですけれども、これはさうでない。絕えず戰へ戰へといふやうな精神を刺戟して醸成するやうな形で、勞働者が團結しようとする。さういふ組合に這入つてゐる者がある場合に、大いになさんとする者は鳴りをひそめて居つて一生懸命に働いて居るかも知れない、何等、職工として目前に於て缺點はないかも知れないが、左樣な考へを持つて這入つて來られちや堪らん、外に對する影響も計り知られんから、直ちに解雇したいといふやうな考が起る。だから、濫に解雇することを得ずといふことを法律に規定する必要はないと思ふ。なぜならば、反對に申せば、あの規定がなければとて、十二條がなければとて、勞働組合員は皆解雇する譯ぢやない。海員勞働組合とかいふやうに、日常資本家と協調して仕事をやつて行か

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

う、爭ふべき場合には爭ふが、利害の一致する限りに於て協調して働いて行かうといふ場合には、資本家は勞働組合員たるが故に解雇することは斷じてないと思ふ。あゝいふ風に、勞働組合員たるが故に解雇することを得ずと、はつきり書いて、さうでなくてさへ爭ひの多い時代に、尙更刺戟する必要はないと思ふ。あれがなかつたからといつて、今日以上に不利な立場になるかどうかといふことは疑問だと思ふ。

赤松。併し、實際の多くの例は、さうでなくて、その工場とか、職場に於て眞面目に働いてゐる最も能率のいい勞働者が勞働組合を作るといふことが非常に多い。さういふ事實をお示しにならないで、あなたの都合でばかりいはれる。それは極めて稀にはさういふ事實があるが、多くは極めて眞面目な勞働者が勞働組合を作つてゐる場合に、ばつさりやられる場合が非常に多い。それを防禦することが、勞働組合としての根本の任務の一つです。それをなくしては勞働者に取つて勞働組合法は要らないのです。それで資本家に對してやはり一つの制裁規定を設けてそれを防止するといふことが勞働組合の精神の一つです。それがなかつたら勞働組合法は一片の空文です。

渡邊。勞働組合といふものは恐るべきものでないならば、何が故に事業主がそれを恐がるかといふ……。

赤松。それは利益が減るからですね、資本家の……。

神道。山川さんの仰しやつた十二條の罰則は、一番、要求すべきものだと思ひますが、もう一つ斯ういふことが考へられるですね。勞働組合員たるの故を以て解雇するを得ずといふ、その中に當然含まれると言はれるかも知れませんが、組合の役員になつた爲に首を馘るといふことが往々にしてある。組合の執行委員になつたから、或は爭議部長になつたから、いけないといつて、馘つてしまふ場合が多い。この間の市電の爭議の場合などはそれです。だから、組合員たるの故を以て解雇することが出來ないと同時に、組合の役員たるを理由にして解雇することも出來ないといふことも入れなければならん。

渡邊。それは同じ問題です。その點は實際問題として、兩方に文句がある。

赤松。それは勞働組合を作らうといふことに於て一致しつこはない。根本的の立場が相違してゐるのだから……。

山川。我々としても、この條項のみに重きを置かない。この條項さへあれば、大丈夫だといふことはない。しかし、この條項すらもなければ、勞働組合法を拵へる必要はないといふのです。

渡邊。斯ういふものを置けば、千九百二十七年に國際勞働會議に勞働

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者の團結權が問題になつたが、兎に角、國際勞働事務局としては、團結權といふものは、資本家も勞働者も團結することだといふことでしたが、さうすると、委員會で修正して、これは資本家と勞働者とはつきりしただけですが、資本家、勞働者は一樣に團結するといふことを並べて合法的の手段を執るといふことを附加へ、尙ほ、但し團結せざるの自由を保護する、斯ういふ風に國際勞働會議でも修正してをる。但法制の上に現れてをるものは、例へば、御承知のやうに、ドイツとか、一二の國ですが、十二條のやうな規定があるものもあるが是等の國は法規上、全部勞働者がオルガナイズされてゐる。ドイツにしても、經營協議會法に依て規定して勞働の協議會といふものは、事業の遂行を補佐する爲にといふことをはつきりしてゐる。それでさういふものを解雇してはいかん。

赤松。私は、斯う思ふのです。今までは、よく資本家が勞働者を壓迫した、勿論今の勞働組合も彈壓する。勞働組合を作れは資本家と××に依て壓迫される。從て勞働組合は、それに對する對抗として作られたのであるけれども、もつと勞働組合といふものを大つ平に平氣で作られるといふ場合には、平和の間に勞働組合が生れる。それならば、初めからデスパレイトにはならない。今まで何か陰險な惡辣な壓迫を加へられて來たから、幾分勞働組合もそれに對抗して來たやうな形があつたので、從來勞働者が多少亂暴したからといつて、その××は×××にあると思ふ。

渡邊。日本でもローヤルコンミツテイみたいなものを作らなければならんと思ふ。イギリスに於ては千九百二十七年法に依て、勞働者が脅迫をすれば懲役に二年までやられるといふやうなことになつてゐる。日本ではさういふことはやらないが、イギリスでは恐怖の念を抱かしめてもいけないといふことになつてをる。トレイドユニオンアクトの出來た前のローヤルコンミツテイで、勞資兩方がお互に、充分に主張をする。聽衆に聽かして置いてどん／＼主張を言ひつこして法律を拵へた、さういふやうにして作らんと變なものが出來る。

山本。十二條に依て現在の事業家が産業を起さなくなるといふやうなことにお考へですか。

武藤。私は逐條に研究して居りませんけれども、兎に角、一般の事業家といふものは、今度の勞働組合法に對して恐怖を抱いて居るやうです。なぜかと申せば、斯ういふ法律がなくても、現在の勞働組合の諸君の中には、かなり脅威を抱かせるやうな行動を取つて居られる方があるから……そこは一つの進歩の階程だと思つて、私は寛大に見て居りますけれども、一般からいへば、今でさへ隨分恐怖を抱

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かしめるやうな行動を取られる、それがこの組合法が出來たら、日本では仕事が出來ないといふ觀念になつてしまふ。さういふ觀念を起させるといふことは、勞働階級の利益でないから、そこは三十人からの委員を作つて、調べに調べ拔いて、さうして理解の上でやらんと、餘り急激になさると、面白くない。角をためて牛を殺すやうな結果になる。如何に勞働者の權利を伸張しても、産業を起して居る資本の活動を鈍らせると、これから受ける損害も相互の爲に惜むべきことだと思ふ。

山川。實際はさういふ恐怖の必要はないのではありませんか。私は斯ういふことを聽いたのですがね。今、資本家側でも政府の方でも、兎に角、次の議會へ法律を出す。しかし資本家側の要求によつて修正したものを出す。修正の點はいろ／＼あるが、第一條の組合の定義に最も重きを置き、現在の第二項を主とした非常に曖昧なるものを作る。さうして一方には、それに適合した御用組合を作る。そして都合の惡い組合はどん／＼解散を命ずる。組合基金を沒收する。その點は調べてゐませんが、何でもギリシヤあたりでさういふ政策を取つて成功を博したことがある。日本の資本家諸君も今度それに學ぶ——かういふ話がある。所が二三日前の新聞を見ると貴族院の研究會で社會局長の說明した中にも斯ういふ文句がある。「現在の組合及び組合員に社會の秩序安寧上から面白からぬものがあることは認めるが、これも勞働組合法を制定し基準を作つて始めて社會の秩序保持の上から過激分子を整理し得るものである。故にこの基準を作つた上組合及び組合員の整理をする考へである」これは貴族院の研究會での吉田社會局長の說明であるが、現在組合の或るものに對する解散の豫約と見られます。これを併て考へると、思ひ當る點がある。さういふ御計畫ならば、勞働組合法は恐怖すべきものぢやなくて、勞働者の方が大ひに恐怖しなければならぬと思ふ。渡邊さんお心當りはありませんか。

武藤。そんなことは知らない。

渡邊。「社會の秩序安寧上面白からんものがある」さういふのはどういふ意味か知らんが……

麻生。僕は組合法が出來るといふことを資本家が恐怖して居るといふことは、いろ／＼な意味にも取れるが、それは丁度××の時を思ひ出す。あの時、××××××横濱から上つて來たといふことであつたが、よく考へれば、日本は無人島ぢやない。横濱から東京へ來る間には何十萬、何百萬といふ人がゐる。如何に日本人が無力なりと雖も、×千人が一時間位には東京へ來るといふことを信じられない。それを横濱に上つたから一時間後には東京まで×××××る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と信じた。なぜ、さういふ恐怖觀念に襲はれたかといへば、××、××××××××××××××があるからである。さうでなければ、××××横濱へ上つたからといつてあんなに迄、××じみなくてもいゝ。日頃、××××××××××、×××××××××××××××××××××××××。決してさういふ尨大な組織を持つた組合に於ては輕々に爭議は起さない、それは統計を見ても分つてゐることだから……。

渡邊。それは××といふ度を失して居る場合で、秩序が壞れてゐる場合だから……。今はさうでない、冷靜に資本家は考へてゐる。

麻生。決して冷靜に資本家は考へてゐない。

渡邊。この間の朝日講座に於ける片山君の演題に「恐怖し過ぎたる資本家」と書いてある。威かして置いて驚くなといつても間違つてゐる。諸君が威かし過ぎた罪だよ。

麻生。この位の、社會局案のやうな、寧ろ、取締に傾いてゐるものさへも、あなた方、資本家階級は、これが出來たら經濟が成立たん、事業も成立たんといふ位なら、××××ぢやないが、さう無力になつて行詰つたものなら、これは逃出するより、致し方はなからうといふ結論になる。恐らくイギリスだつて、ドイツだつて、世界の多くの國に於て、勞働組合のない國はない。この位の、自分の政府で作つた所の組合法案さへ、出來たら事業を起すことが出來ない程、それ程、無力の資本家だつたら、投げ出す方が宜からうと思ふ。

渡邊。ギリシヤの問題ですが、僕は、イギリスの勞働組合運動に付て大學で講義をして、それを大正十三年に書物に書いたことがある。シドニイ・ウエッブの「インダスリアル・デモクラシイ」「トレイド・ニオニズム」なんかをすつかり讀むだ。丁度書き了つた時に、千九百二十三年の八月二十三日にギリシヤの政府が閣議で決議して「今日を以てギリシヤの勞働組合は消滅したるものと宣言す」、さういふことをして、總ての勞働組合の財産、書類等を皆沒收してしまつてその財産を國立銀行へ預けて、勞働者の救濟基金に使つた。それでそのことを序文の中に書いて、ギリシヤではこんなことをしてゐると、自分の仕事の跡をふり返つて見たことがある。これは勞働組合運動に對する最右翼のやり方で、日本の勞働組合法案はその立前からいつて最左翼のやり方だと思ふ。これは世界中の最左翼の規定だと思ふ。日本では團結權は憲法二十四條で明かに規定されてゐる。イギリスでは千七百九十九年の結社法を撤廢しろといふことで爭つて、千八百二十四年法や千八百七十一年法ができた。ところが、日本は初めから憲法で團結の自由がずつと決まつてゐる。たゞ治安警察法で虐められた程度で——麻生君の話すやうな事實はどの程度か

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

兎に角現に得て來て居るのだから、勞働組合が特に壓迫されたといふことは、事實問題を聽かんと、はつきり述べられないのだが、勞働組合法を獲得するといふことは、法制の形から見れば、どうも現在の憲法で十分なやうに思ふ。これ以上、要求されると、却つて縛られるのぢやないかといふやうな氣もする。併し、社會局案のやうなことで行けば、さういふ風に縛つてゐない。第一條の規定が、抑ゝ根本の點に於て、我々と一致しない。せめて、イギリスやアメリカのやうに、勞働運動に就て、多年議論をしてゐるし、産業も大きな國、斯ういふ國の立法に倣つて行つたらどうか。その程度で行つたらどうか。若し、假にイギリスの法律を眞似て千九百二十七年法みたいなものを作つて御覧なさい。あなた方右翼の連中も大騷ぎをして反對するだらうと思ふ。そこが日本の勞働組合のリーダーの方々と我々と非常な懸隔がある。そこは非常に遺憾である。そこで今日のやうな會合は結構だと思ふから、これは反復議論をしてお互に角を消して行く、さういふことが大事なことだと思ふ。そこで武藤さんの言はれるやうに、結論として、あゝいふやうな話合ひにして、もう一年大いに議論しようといふことで延びれば結構だけれども、どうしても政府が提案されるといふことになると、反對する、斯ういふことになる。

山川。あなたの御見解では、憲法で結社は自由を保證されてゐる、この御講演を見ても勞働者は自由自在に、團結することができると云ふ御意見のようである。さうして憲法がかういふ風に自由を保證してゐることには御異存はないのですか。

渡邊。異存はない。

山川。社會局の法案が左翼的だと云はれるが、社會局案の認める、團結の權利といふものはいろ〱な方面から制限されてゐるものである。あなたは憲法が絕對無條件に認めてゐるのは肯定されて……

渡邊。絕對無條件ぢやない。例へばフランスは結社權を認めない。政府が認める以外には團體を認めないといふ方針で來てゐたが追々職業組合を認めるようになつた。

山川。そんなことは餘計なことで、憲法が自由自在に團結する權利を認めてゐる、あなたは一方ではそれを是認しながら、他方では組合法がそれよりも狹い範圍でには反對される。——

渡邊。一應認める。

山川。社會局案の團結權は非常に制限されたものです。

渡邊。國家の安寧を害する場合、憲法の精神において一般的に結社の自由は認めるが制限は幾らでも出來る。

高橋。しかし勞働組合のリーダーの人は時にひどい目に會つてゐる。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

渡邊。しかしここにちやんとしてゐられるぢやないですか。

赤松。この十二條を承認すれば勞働組合員が亂暴して資本家が恐怖するとおつしやるが、若し勞働組合を承認しないで從來の資本家の態度で行けば、今日の勞働者は××××××講ぜざるを得ない。勞働組合が壓迫下に置かれる以上、勞働大衆の心理狀態は自ら變つて來る。この十二條がいけないとおつしやれば、寧ろ勞働組合法は要らない。歐洲資本主義の發達はリベラリズムの發達時代で、これは資本家も勞働者も自由に發達して來た慣習が歐洲に存在した。それですから我々の必要とするやうなものは要らぬかも知れない。それは國の事情が違ふのである。あなたは外國に必要がないから日本にも要らないとおつしやるが、あなたは日本の事情が違ふと云ふことをお知りならぬ。日本には特異の事情があるのであつて、あなた方はよく外國に模倣しちやいかぬといはれながら外國の勞働組合法に存在して居らぬから日本に要らぬとおつしやるのは、隨分得手勝手な議論だと思ふ。外國に存在しなくても日本の勞働運動に必要なものはやはり必要であると思ふ。

渡邊。それは問題に依る、唯ゝ外國に模倣しちやいかぬと言つたこともないし、外國に斯うあるから斯うだといふことを、唯ゝ一般的に言つたことはない。抽象的に、この問題に付て日本の實情に付て外國の沿革といふものを批判してゐる。私が外國の例を引くのは、あなた方は勞働體驗から來てゐるといつても、多くの若い人達は外國は自由であるが日本は不自由であるかの如く言ふからである。又あなた方は學校を出て直ぐに勞働運動のリーダーになつてゐられることは結構だがそこに私共は不安を持つてゐる。あなた方が勞働運動のリーダーになつてゐられるが、少くとも吾々の年輩以上、四十、五十以上の人がリーダーになつて居れば少しは考が違ふ。と思ふ。

高橋。唯一言言ひたいことは、渡邊さんは勞働組合を法律的に強制するとか、しないとかいふことは、勞働組合に對してのみやらんとしてゐるやうに言はれるけれども、あなたのやつて居られる商工會議所は、外國には自然に發達してゐるけれども、日本では強制的組合にして發達さしたではないですか。自分達資本家の結社の方は、總て結社をする時には自然の發達では出來ないから、強制的にして發達させた、勞働組合の結社だけはさうはいかぬとは何故です。

渡邊。それはさうだ。今それを言はうとして忘れて居つたが經濟往來にもちよつと話したが、他の國ばかりが勞働立法をやつて居つて、日本は勞働者の團結權を認めてないと誤解する人もある。特に彈壓してゐるといふが、それは憲法のことを忘れてゐるから議論するので、日本ではさういふ風の意味で彈壓してゐるのぢやない。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山本。それでは勞働爭議のストライキの賠償問題に移ります。

渡邊。第十三條で問題がはつきりして來る。それに依つてイギリスのトレードユニオンアクトといふものがはつきり分つて來る。イギリスの勞働組合立法の歴史といふものは、千八百七十五年法のコンスピラシ・エンド・プロパーテイ・プロテクションアクトで、あれが立法の根據です。あれでなかく不法爭議を抑へ附けてゐる。千九百六年法が出來てから、十三年法が出來た。それから千九百二十七年法、これはコンスピラシ法をトレードユニオンアクトの中へ入れてしまつた。イギリスの現在の職業組合法といふものは、寧ろ勞働爭議の或程度の取締法であると斯ういつた方が早い。結社法といふものがあつたればこそ撤廢の規定といふものが千八百二十四年に出來た。日本は結社禁止法といふものがないから撤廢といふやうなことがなくて進んで來た。だから詳しい勞働組合法といふものを作るといふことになると、條文の形から取締規定が澤山入つて來ることになる。

赤松。資本家側の意見として、十二條は、勞働爭議の手段に就いて嚴重なる制限をしろといふことだが、それがあなたの最初からの御議論であつた。さうすれば罷業の自由を非常に局限されて來る。

渡邊。あなたは千九百二十七年法を讀んでゐないのか。

赤松。僕は外國の立法例の話ぢやなく、日本の勞働運動状態の實情についての話ですよ。

渡邊。あなたは學校を出た年から勞働組合に飛込んで居られるが、あなたは資本主義に對して私と同程度の觀察は出來ないですよ。(笑)

山川。渡邊さんはイギリスの千九百二十七年法を制定したあの場合のイギリスの政府のやうに、あれ程までに反動的におなりになりたいのですか。

渡邊。それはあの規定でいゝかどうかは別問題ですが、あゝいふ種類の取締法は必要だと思ふ。どの取締規定にするかどうか知らんが、やはり似たものがあればいゝと思ひます。

山川。それだけ立場が違つてゐれば致方がありませんね。

高橋。取締法について一言したいのですが、……

渡邊。取締法はあつた方がお互ひの爲にいゝ。

高橋。それに付てあなた方はかういふ方面をどう考へられるか。勞働組合の方でよく問題になるのは賃銀なんですが、所が資本家の方では勞働者の罷業に取締規定を設けよといふが、しかし、資本家が經營の方でいろいろ惡いことをした尻拭を勞働條件の低下でやるのはどう取締るのですか。經營が引合つてゐる時にはさういふ問題が起らないが……。

渡邊。兩方の規定があります。何處の國でも勞資兩方の團結權が規定

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

してあるのに、日本だけ勞働者の方だけを規定して居るから惡いと云ふのです。

山川。外國の場合は一つの法律で勞働者も傭主も規定してある。それを御希望なのですか、日本でもさうしたいといふのですか。

渡邊。日本でもさうしたらいゝだらうといふのです。

山川、それは結構です。私が申上げなくても御承知の筈ですが、外國でさういふ風な立法の沿革のあるのは、非常に昔の立法の傳統の爲にさうなつてゐる。先程赤松さんのがいはれたやうに、勞働者も團結する自由がある、資本家も團結する自由があるといふ原則の行はれた時代より、もう一つ前の時代なんです。どちらも團結に依つて職業を妨げてはならぬといふ原則の行はれた時代であつて、其時代には雇主も勞働者も同じ法律で取締つた。それが立法に殘つて居る。

渡邊。イギリスは始終更へてゐるぢやないですか。

山川。更へてゐるけれども十四世紀以來の傳統が殘つてゐた。それを日本でもやらうとおつしやるのですか。

渡邊。どこでも組合法の中に習慣的に此の規定を入れるが……。

山川。組合と同じ法律でほんとうに資本家をも取締るといふことならいつでも吾々は贊成するのです。

渡邊。勞働者の利益を資本家が侵害すればどう取締つてもいゝが、今日は法律の規定がないからそれは法律上責任はない。道德上の問題で……。

山川。吾々は勞働組合法と同じ法律を資本家團體に適用するといふことは何時でも贊成です。

高橋。資本家の方には結社の自由を與へてゐる上に、勞働者に對する場合には實際に儲かつてゐるやつを隱して引合はないからと云ふ理由で勞働者の要求を拒絶したりしてゐる點もあるし、重役が私腹を肥してゐる尻拭を、勞働者の責任に轉嫁するといふこともある。さういふ方面はどうするか。

武藤。それは背任罪で……。

高橋。あなたは勞働者の組合の取締が寛大だとおつしやるが、資本家の犯してゐる各種犯罪に對しては、法律はないも同然ではないですか。

武藤。株主が訴へればいゝ。

高橋。株主が訴へればいゝと言はれるが訴へても法律を勵行しないから仕樣がない。

武藤。申告罪です。

渡邊。雇傭條件の改善を目的の中に入れてゐる勞働組合を作ることに付て反對してゐるのぢやないといふことは分りさうなものだ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山川。それは分つてゐます。が、第二項を組合の定義に入れなければならぬといふことは分らない。

渡邊。却て私から聞きたい。なぜ入れてはいけないか。

山川。あなたの御說では勞働組合の起原からいつて、三つの目的がある。

渡邊。現在さうです。

山川。ところが勞働組合の發達した沿革は、その內の第三の項目が段々重要性を占めてきてゐる。他の二つのものは段々背景に落ちてゐる。であるからこそイギリスでは、それが都合が惡いから、先刻のお話の樣にそれを引戾さうとした。これはお認めになるのですか。

渡邊。その通り。

山川。さうすればあなたのイギリスの例は、勞働組合のさういふ機能は、今日ではそれが勞働組合の本質とは言へないといふことの證據になるのです。勞働組合の定義をする場合には、勞働組合はかういふ事もする、あゝいふ事もするといふのが定義ぢやないので、勞働者の團體を勞働組合たらしめる本質的のものを規定しなければならぬ。勞働者が賴母子講を作つたからとて、あなたはそれは勞働組合とは謂はないでせう。反對に勞働條件の維持改善を目的とする勞働者の團體は、その他のことはやらなくても、日本の多くの組合のやうに、あなた方からも勞働組合と認められてゐる。そこでどちらが本質的かと云へば勞働條件の維持改善といふことの方が本質的である。尤も私は勞働條件の維持改善といふ社會局案の定義で、それで滿足だと思つてはゐませんが……。

渡邊。イギリスでもストライキが暴動になり始めたことがある。千九百十一年頃から烈しくなつたのです。あの時代からインダストリアルユニオンが盛になり、ゼネラルユニオンが發達した。ところが現在で見ても、先程勞働組合のファンドの遣ひ方をお話したが友愛給付に一年三千萬圓も出してゐる。

山川。ファンドのことはさうなつてゐるが、それは要するに組合の仕事のうちで、さういふ方面が最も費用がかゝる仕事だといふだけのことで、組合の本質が如何といふ問題ではない。さういふ失業の手當とか……。

渡邊。ストライキを絕對にやつてはいけないといふことをいつてはゐない。有ゆるものに付て、ストライキ禁止規定を設けろとかいふやうなことは言つてゐない。

山川。しかし、勞働組合の本質でないものを定義に加へる必要はないでせう。現に外國でも共濟基金への加入を任意にしてゐる組合もある。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

神道。文字に書かなくても、實質上に動きが取れないやうにして行かうといふのが隨所に表れてゐる。

渡邊。あなたは勞働組合といふものは雇傭條件の改善といふことを主としたものに導いて行かう、導いて行きたいと、かういふ風な考でせう。さうなると吾々益々第一條に反對したいといふことになる。これは意見の相違だから仕方がない。

山本。これはこれでおしまひにしませう。次は勞働組合の解散に關する問題。

神道。この問題は私共の方が一番經驗を持つてゐる譯です。勞働農民黨が解散され、靑年同盟も、評議會も解散され又作つて又解散されるといふことを喰つてゐる。吾々から言はせれば、組合法にどんなものを內務省案でおためごかしに定めたところで、解散規定を設けて氣に入らない奴は片端から解散させる。これは實際解散を喰つた經驗ある者のみが知つてゐると思ふ。先程渡邊さんはいろ〳〵犯罪なんかの統計で、勞働爭議なんかで處罰はないと云はれたけれどもこれは飛でもない話です。解散を喰はせて、其後で三人集つて會合すれば直ぐ檢束です。××××××××　××××　×××××。然し表面は一旦出して歸したことにしてゐるから何等記錄が現れないものが、全國に××××と繰返されてゐる。內務大臣の認定位で解散することを規定したら、どんな勞働組合法を作つても何にもならない。從來吾々の經驗から行けば、勞働組合自らが自主制を規定して、自らの解散を宣言する以外、勞働組合の解散を命ずるといふことは絕對反對です。それでは全く骨拔きになつてしまふ。

山本。（武藤氏に）あなたは事業家の立場から主務大臣の解散といふことに付ての御意見はいかゞです。

武藤。主務大臣が勝手に解散するといふことも、あなた方が言はれることもありませうけれども、あなた方が言はれるやうに解散出來ぬとするともう少しこれは研究する餘地があるかも知れませんが、何とかこれはもう少し仲好く行けやうぢやありませんか。

神道。仲好く行けない。氣に入らない奴は片端から解散させる、何度作つたつて解散させるのだから……。

武藤。それは出來ませうね。

山本。司法處分にするのですか。

武藤。解散を內務大臣が勝手にやられちや困るといふのですから、何とかいゝ妥協の途はないものですかね。

渡邊。解散權は勿論國家が持つてゐなければならぬ。それは絕對的のものです。それを大臣が行使するか裁判所が行使するかは第二段の問題です。研究問題としては公秩——公の秩序を紊したならば——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かういふ方法でやられたら社會の秩序を紊す、害があると認めた場合に解散を命ずる權限を、國家が認めるや否やといふことを定めて行かなければならぬ。あとは裁判所がやらうが何處がやらうが、それは第二の問題です。

神道。解散してしまつてから行政裁判所で二年も三年もかゝつてゐては何にもならない。

山本。麻生さんの立場から、行政處分に依る解散と、裁判所の法廷における解散との關係に付て何か……。

麻生。僕は大體から言ふと、勞働組合といふものに對して解散といふことはいけないと思ふ。それはもう少し僕は一般的に言ふべきことと思ふが何れにせよ勞働組合に關しては、勞働階級の生活といふことを考へてよいし、又一般の社會生活そのものを信頼して宜しいと思ふ。一例を以てすれば演說會も臨監が附いてゐて中止々々をやるから湧き立つのです。選擧なら選擧といふものを目標にしてやる。當選しやうといふことが大多數の政黨の目標である。その時に臨監がゐないからと言つて、非常に過激なことを言つて見たからといつて票數はとれない。だから一方において勞働組合を認めて、一方で解散々々と云つて脅かさなくても、組合そのものが勞働者の生活を離れて矯激なことをやるのは極めて少數に止まる。それを無暗に解散權を振廻してかうしなければいかぬといふことからそこに×××××が出來る。だからさういふ點は資本家がいつも云ふ通り三千年の歷史をいつでも持つてゐる强固なる日本の社會生活を信頼していゝと思ふ。如何にも威嚇的な解散權を絕對的なものであるとなして恐れしめるのは、恰も臨監を置いて注意、中止を連發して激發するのと同じことである。各組合の性質そのものが××になるかならないかといふことは、資本家が滅茶苦茶にやつて來れば全體が××になるし、その間に妥協性があれば生活を離れた行動はないので、極めて穩當な發達をして行くでしよう、それは自然陶汰に任したら宜からうと思ふ。しかしながらどうしても解散權をやるといふ一つの決定を見たとしますか、——それには無論不贊成だが、決定を見たとすればそれは行政官の解散權はいかぬと思ふ。裁判所が組合の實際を見た上で判決を下すが宜しい。

山本。赤松さんもさうですか。

赤松。さうです。

神道。若しさうすれば裁判の問題といふ場合、公平に行はれるであらうかといふやうなことを考へられますか。しかし吾々は曾て無產者新聞といふものゝ發行禁止を喰つて一審二審、上告まで行つた經驗を持つてゐるのですが、その當時は起訴されてから判決される迄一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年位かゝりましたが、結局同じ所に持つて行かれた譯であります。今後若し勞働組合なんかゞ、裁判所で解散するといふことになつたら、告發、起訴されて來週には公判を開いて、直ぐ勞働組合の解散の判決を下す。控訴すると來週直ぐやるといふやうなことは、當然想像されることである。勞働組合だけの解散々々と、これにもでか〳〵と書いてありますが、新聞紙法なんかでも、出版物法なんかでも改正案は、發行禁止を削除しろといふことになつてゐる。ベルギーの憲法なんかを見れば、百年も前に出來てゐるやつが、出版物の發行を自由とし、その發行を禁止せらるることなしとなつてありますが、勞働組合だけに大騷ぎして解散の規定を作らなければならぬといふのは、それは自ら隱すより現はるゝはなしで、一方に×××をはつきり意識して臨んで來てゐるといふことが、語るに落ちてゐると思ふ。

渡邊。あなたの方の派は解散權は絕對に認めないといふのですか。

神道。これが出來たなら片端から解散を喰つてしまふ。

渡邊。さう言はれるから、勞農派の言はれることは、吾々は共鳴が出來ないのです。麻生君の言はれた中には、まだ群集に對する、政治家の一つの參考とするに足るサイコロジーといふものが謳つてある。あなたの言ふのは、勞働組合の行動をも束縛してはならぬといふ意味だらうと思ふが、若し、勞働組合の或る行動といふもの、ストライキのやり方、これが非常に猛烈なものである、これは直ちに解散を命ずべきものであるといふ場合は、當然解散さるべきもので、これに對しては、あなたゞつて異存を言ふ事は出來ないと思ふ。餘り過激な、社會に大危害を加へるやうな實際行動をやつた場合。

神道。社會の安寧秩序といふやうなとを言はれるが、その社會といふものは、資本家の側に立つ人は、要するに資本家の××××××××××××××言はれる。吾々は勞働者の××××××××考へる。勞働者の立場から言へばそれが最も自分達の利益を守つて行かうとする立場であると思ふのです。そこに根本的な見解が分れると思ふ。

渡邊。さうなれば、直ちに全國の鐵道とか、電氣とかいふものを、爭議に依つて、無警告にパッと止めるとか、或は勞働者が××計畫をやるとかいふことを組合の幹部指導の下にやつた、組合員個人の問題ぢやない、幹部で決議をしてやつた、兎に角組合の決議として行動してやつた場合に、この組合の行爲を、勿論一般法に依つて罰するといふことはやりませうが、直ちにこれに解散を命ずるといふことに、あなたは反對をしますか。

神道。××××。解散は死刑と同じですよ。

麻生。それは大正七年の勞働爭議の經驗からいつても、別子の爭議に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

於て××××××××こともあつたし、××××××××もあつた。

渡邊。亂暴なことをやるからいかぬ。

麻生。あの爭議といふものは、組合を潰すといふことから起つたのです。さういふことは決して最初から求めてやつたことぢやない、政治的意味を含んでゐるものでも何でもない。たゞ窮迫に窮迫し、解決の見込みがなくなつて、絶望に陷つた結果がさうなつて來た。しかし、資本家も解決の意思をもつてやつて與れるなら、さういふことは起らない。だから、それは單なる××だとか、社會に一つの××を起してやらうといふものとは、意味が違ふ。

渡邊。しかし、先程言つた綱領に對して解散を命ずるといふ場合、これはどの程度の解散權であるかわからぬと言つても、非常に過激な、例へば、明かに共產主義を標榜して、全部のものを直ちにロシアのやうにやつてしまへといふやうなものに對しては……

麻生。さういふものに對しては取締りがあるのです。

渡邊。だから、綱領なんかに就いても、解散權を與へない。綱領以外の契約とか意思表示といふものに對して、組合に向つて解散權を與へるか、否か。これも與へなくてもいゝ。といはれるのでしようが或る場合に於ては、これは社會の安寧秩序を害する、非常に危害を加へるやうなものを宣傳するやうな綱領を揭げてやるといふことは綱領そのものが秩序に反する、と思ふ。

麻生。僕は、さういふものに對しては治安維持法があり、一般取締法がある。だから、若し日本の社會秩序を根柢から一擧に破壞するといふやうな綱領を揭げるものに對しては、これは組合の解散權でなくして、自然に治安維持法といふものに觸れて來ると思ふ。それで特に勞働組合法の本質から考へて、それに解散權といふものを添へる必要はないと思ふ。

赤松。それでかういふものに對する行政處分は、組合に對し官憲の一方的意思に依つて解散するといふことにしてやつて行けば、かういふ虞れがある。資本家側で、勞働組合を挑發して、非常に××させる。さうして資本家と行政官と××して解散をするといふことは、僕は將來あり得ると思ふ。さういふ××を生じますよ。

武藤。赤松さん、それは惡るく取られ過ぎます。

赤松。武藤さんの所ぢや、勞働爭議は少いやうですが、今まで行政官廳と資本家と××してやつてゐることは隨分ありますよ。

武藤。どうも私には、諸君の勞働爭議に對する考へ方は公平とは思はれない。私はこの間も無產政黨の諸君に言つたのですが、この場合は是とし、この場合は非とするといふ判斷がない。良かつたにしても、惡かつたにしても、さア來たといふ風に飛び込んで來る。さう

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なつたら一體何處にソシヤル・ジヤステイスといふものがあるか。ソシヤル・ジヤステイスといふものは諸君には存在してゐないといふことになる。

麻生。資本家や既成政黨の諸君にソシヤル・ジヤスティスがなければ、その反映として起つて來る勞働運動にもあり得ない譯です。

武藤。どんな爭議でも會社が言ひ出したその日の朝から起るといふのではない。鐘ヶ淵の場合なんかは、いつ、どうなつたか知らないが、何の爲めに飛び出して來たのかわからない。どつと新聞に書き立てると、直ぐ勞働組合から、さア來いといふのでやられて、迷兒になつたやうな狀態になつてしまつた。それが明かなのは、鐘ヶ淵では半分はまだ工場に殘つてゐるから、工場全體は止まらなかつたのです。さういふやうな譯で、私どもが寧しろ無產階級の爲めに望むのは、もう少しあなた方リーダーは考へて、これはいかぬ、かういふ場合は資本家のやるのは已むを得ぬ。これに勞働爭議をやらうとしても、それは間違つてゐる。もう少しよく調べやうといふことの雅量を持たずに、中のものはどうなつても構はぬ、外から行つて火をつけてやれといふのは私はいけないと思ふ。

山川。先程、渡邊さんのおつしやつたのでは、社會的の暴動を起すといふやうな場合に、國家が組合に對する解散權を持つといふことでありましたがそれならば、私は異存はありません。さういふ意味に於ける解散命令ならば、一向差支へはありません。しかし××××××××××××××××××、××××××、出しても出さなくても何らの效果もないでせう。であるから渡邊さんが解散權を行使なさらうとするのは實際に於ては、さういふ場合ではない。さうでない場合には、これが裁判所に依つて行はれやうが、又は行政官廳によつて行はれやうが、多かれ少かれ、濫用されるに違ひない。その點から云ひますと、無論さういふ解散權を政府が持つといふことは好しくない。併し先程も麻生氏の言はれましたやうに、どうしても國家が解散權を何等かの形で持つといふ事を前提として言へば、これは無論裁判所が持つ方が弊害が少いと思ふ。

渡邊。麻生君が言はれたやうに、これはやはりほかに同じやうな問題があるだらうと思ふ。だから、そんなことで吾々が裁判所でやれとか、內務大臣でやれと言はなくても、そんなことは內務省は肯きはしませんよ。それは法制局と相談してやると言ふことになります。そんな程度のものなら、大した問題ぢやないと思ふ。

高橋。武藤さんは勞働組合を無茶だと言ふのですが、その議論に就いて一言伺ひたいのですが、勞働組合があの場合（鐘紡爭議）にさうしたといふことに對し自分の工場の中の職工が動かないのに、勞働

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

組合のリーダーがやつたと云ふ理由で之を煽動の如く言はれるけれども、あの時に、勞働組合の方から見れば、あなたの所であゝいふことをやられた、あれを堰き止めなかつたら、ほかの全部のものにズツト辺つて來るのです。それで根本問題は、つまりあなたは、勞働者と資本家との關係は、自分の工場の勞働者との關係だけで解決できるやうに思つてゐらつしやるけれども、勞働者の方ぢや、一般的の情勢が、あなたの所でトツプを切られたら大變だつたのです。勞働階級の方から言へば、從つて賃銀問題は個々の資本家との關係でなく、すべての資本家との關係です。こゝにも、全國的な勞働組合の必要理由があるのです。

武藤。吾々は、勞働組合の方は、これ以上やるのはいかぬと言ふのですどうも金解禁をされたから、この程度だつたら已むを得ないと言つてゐるので、みんな鐘紡がやつたから、自分もやらうと言つてやつたつて、一向それは差支へない。そのトツプは決して悪いトツプぢやない。

山本。この問題はこれくらゐにして、最後に、團體協約の規定に對して、社會政策審議會でも時期尚早として、これを立法に附さなかつた。しかしながら、これは別法として放任した方が宜しいか。若くはこれに加ふべきかといふことに就いて、たゞ一言話して戴きまして、今夜はこれで散會したいと思ひます。

赤松。僕等はこの團體協約といふことが、勞働組合の完全なる團結の上から言つて、絶對必要です。さうしないと、一定の勞働爭議の解決條件の下に、團體協約をしてやつてゐる。さうした場合に於て資本家は、それを一部の者を切り崩さうといふ手段で、これと又別個の契約をする。さういふ裏切りをするといふ恐れを生ずる。市電の爭議に於て、市電の勞働組合がやつてゐるのに、一部の勞働者が一方で市電の當局と秘かに或る契約を結ぶ。さういふ場合、折角こつちが組合としての運動をやつても、一部の裏切り勞働者が資本家と契約をしてやる。さうして兩方意地を張つてやつても、資本家の方は裏切り勞働者を保護する。だから、勞働組合法を制定する以上は、その組合に依つて出來た所の協約といふものを保護して、裏切つてやるものを無效とするといふことは、やはり組合法の完成上必要なことだと思ふ。

渡邊。それぢや質問しますが、例へば勞働組合が或る工場でコレクテイヴ・バーゲンを認められた場合に、そのコレクテイヴ・バーゲンを組合以外の者にも適用しろといふのですか。勞働組合と雇主とコレクテイヴ・バーゲンを結んだ場合に、例へば東京市電が、一萬人ゐて、千人しかオルガナイズして居らない場合、それと市電の間に於

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けるコレクテイヴ・バーゲンが成立したその場合、他の者にも强制しろといふのですか。

赤松。組合を保護して、團體協約を法認し、組合に入つてゐない者も同様に均霑して行くことがよいと思ふ。

神道。私のは意見が違ふのです、今、赤松さんが言はれたのは、團體協約で組合に入つてゐない者にも均霑させやうといふこと、それから裏切りをして、團體協約よりも、裏切りをした者の方が資本家から良い條件を得たら、それは無效にしなければ、裏切りを防ぐことが出來ないとおつしやる。私は勿論、第一のこの團體協約に依つて得た條件は組合外の者にも均霑させるといふことは、當然主張すべきものであるから、これは異議はない。裏切りを防止するに就いては、ほかに實は吾々の方の案も持つてゐるのですが、これは面白い說明も出來ると思ふのです。さつきの盜犯防止のことを申上げたのですが、その點から言つても、生命、身體、自由、財產、貞操を保護する爲めに、正當防衛をいふことがあるのですが、勞働爭議の場合は、勞働者は資本家と××をしてゐるのだ、その場合、裏切りをするとか或は市電の爭議みたいに、外部から××が出て來るとか、××が出て來るとか、××××が出て來るとか、さういふ場合に、第三者が介在して、局外中立を守るべき者が一方に加擔するといふ場合、勞働者に取つては生死の戰ひですから、その生命、身體、自由、財產、貞操といふことを正當防衛に入れられてゐるブルジョア法律の方から言つても、××××××××××××××××××××、××××××××××××、×××××××××××××××××××、罷業權を認める等と言つても、實際上には認めることはなくなつてしまふ。これは結局さつき申上げた所の取締法になつてしまふ。盜犯等防止法に於ては、×××してもいゝ。×××してもいゝといふ所まで規定してゐる。××××で生活權を裏切らうとする一部の者に對しては、同じ法理論の上に立つて極端に言へば、××××、×××××いゝといふ正當防衛權を、ブルジョアーの法理論に於てすら主張できる。それでなければ勞働者の罷業は完全に守ることは出來ないといふやうな見解まで實は執つてゐる譯なんです。

渡邊。あなたの言はれたのは、コレクテイヴ・バーゲンの問題から離れてゐます。このコレクテイヴ・バーゲンを主張されるやうになると、私は、この第一條が職業別、產業別になつてゐないと、それが實現し難いと思ふ。將來或はこのコレクテイヴ・バーゲンといふものがやはり勞働組合運動の大切な働きになつて來る。だん／＼さういふやうになつて來るでせう。ところが、さういふことになつて來

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ると、勞働者のリーダーといふものは、職業の關係のことに就いて相當に專門的に知つてゐなければならぬといふことが一つと、それから、その產業若くは職業に從事してゐる勞働者の多數がオルガナイズされた程度にならねばならぬと思ふ。このコレクテイヴ・バーゲンの問題は、實際問題としては現在法制に規定する必要はないと思ふ。社會政策審議會で尙早と言はれた。その通りです。もう少しトレード・ユニオンがどういふ風に動いて行くかといふことに依つて、このコレクテイヴ・バーゲンといふ問題が自ら解決される。さういふ譯ですから、尙ほ又繰返して言ふやうですが、先程のやうに資本家と鬪爭するのが目的で、日常爭議を激成するとかいふやうな其處まで過激でなくとも、鬪爭を激成するといふことが日本のトレード・ユニオンの立て前であるとすれば、コレクテイヴ・バーゲンを結ぶといふことは休戰條約を結ぶといふことになる。それで、何時でも休戰條約を結んで生產をやつて行かなければならぬといふことは、大なる矛盾がある。今のやうな鬪爭團體で行くと、コレクテイヴ・バーゲンのやうな問題は、實際問題としては、圓滑に運用して行きかねるだらうと思ふ。

赤松。あなたは合同勞働組合といふものを否認されるのですよ。日本には中小工業が多いですからね。合同勞働組合と言つても、一つの組合の中にいろ〳〵なものが入つてゐます。小さな工場で支部を作つてゐるし、又職場で支部を作つてゐる。それが集まつて合同勞働組合といふものが生れてゐるのです。だから團體協約は可能です。

渡邊。あつちにもこつちにも中小工場が多いから、さういふものが澤山ある。それが多數オルガナイズする。そんな場合にコレクテイヴ・バーゲンが動くと思ふが、たゞ一般組合に反對する理由は、簡單に申しませう。それは東京市電の交通勞働者が爭議をする場合、さうすると例へば麻生君が鑛山から出て來て參加するとか、大阪で紡績の爭議が起る場合、海員組合が出て來るとか、或はガスの勞働者が參加するといふ樣なことは良くない、かういふ意味なんです。それを防止する意味に於て、職業別、產業別にして規定さるべきものだと思ふ。

赤松。日本の合同勞働組合といふものは、重要な位置にあるのです。それを認めないといふのは、勢力の分散を圖られるものです。

渡邊。日本の勞働者四百八十萬の中、勞働組合に入つてゐるものが三十萬。ゼネラル勞働組合員として三萬二千しかない。これは職業別產業別に分類して、適當に配置できるだらうと思ふ。職業別、產業別にした所で、トレードユニオンに對して鐵槌を下すことにはならぬと思ふ。一般組合聯合を認めるといふことを頭からやるといふこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とになると、今は組合員は三十萬であつても、後に四百五十萬の勞働者が控へてゐることを考へると、さういふ人たちが入つて來るやうになると、正直に言ふと、ゼネラル組合ぢやたまらぬと思ふのです。

赤松。あなた方がたまらぬといふのが、こつちが必要なんです。

渡邊。勞働者のためには、さういふものは餘り必要ぢやない。

山本。今度の勞働組合に、全體組合として、これを若し成文として入れゝば、如何なる形式を以て入れた方があなたの御希望ですか、山川さん。

山川。神道氏の言はれましたやうに、或る工場で團體協約が成立する。さうすれば、總ての勞働者がこれに均霑するといふのが目標だと思ふ。しかしこれは勞働組合の現狀ではなか／＼出來ないでせう。然し、赤松氏の言はれるやうな意味での團體協約權の規定でも、入れるがいゝか、入れないがいゝかと言へば、無論入れる方に贊成する。資本家の方では、とかく勞働者の爲めにかうした方がいゝのだと、大變親切に言つて下さいますから、私もお禮の意味で資本家の爲めに申したいのですが…

渡邊。私は資本家ぢやない。

山川。資本家ぢやない――然し組合法案については渡邊さんは資本家の爲めに×××の第一線に立つて最も勇敢に鬪爭してゐられるといふことは、私は立場こそ違へ非常に敬意を表してゐるわけですが――そこで資本家に對する親切から申しますと、資本家の方では、階級鬪爭とか爭議とかいふことを非常に恐れてゐられますが、これを幾らかでも避ける方法があるとすれば、それは團體協約を發達させるよりほかに私は方法はないと思ふ。團體協約が發達しない限りは避け得られる、謂はゞ餘計な爭議が起るのです。それで、資本家の方々の利益から言つても、早くこれは御贊成になつた方が御利益ぢやないかと思ふ。

麻生。最後に一言、この案を出した民政黨のやり方に對して抗議をしておきたいと思ひます。兎に角日本の資本家はこの民政黨案に不贊成だといふのです。そこで安達內相、濱口首相などが、今までは突つ張つて來てゐながら、資本家側の反對、特に渡邊さんのやうな反對があつて、早くもこれを骨拔きにしやうとしてゐるのです。僕は最初から、安達內相が非常に頑强に言つてゐるといふことは、非常な疑ひを持つた。これは僕の邪推かも知れないけれども。この法案がどうかすると通りさうな形勢になつた、しかし安達內相の腹は最初から恐らく渡邊さんと同じやうな意見だつたらうと思ふ。大阪等へ行つてウロ／＼してゐて、怪しいなと思つた所が、やがて資本家

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

側の反對が起つて來た。そこで最初如何にも頑强を裝つてゐたんだけれども、最近はスッカリ折れさうな形勢になつた。若しこの議會に提出されるとすれば、恐らく渡邊さんの意見通りのものが提出されるだらうと思ふ。さうなれば、僕は絕對に不贊成です。由來、民政黨のやり方はずるい。この點は政友會の方がハッキリしてゐる。最初から惡黨面をして歩いてゐるから、こつちも用意して行くが、民政黨は善黨面をしてゐる、金解禁の時だつて伸びんが爲めに縮めといつた。それが政策のモットーだつた。さうして濱口首相の寫眞を神棚まで一應飾らせて置いて、それを閉めつきりにしてしまつてゐる。今度も一應尤もらしいと思はれるやうなものを出して置いて民政黨は大衆の味方であると思はせて置いて、民政黨ならとスッカリ信じさせて置いて、ドタン場になつて、資本家に反對をさせて、これではいかぬからといふので又骨拔きにしようとする所に、民政黨の非常に××××があると思ふのです。まさに組合法案もその通りの運命になりつゝあると思ふ。これに對しては絕對に不贊成で少くとも吾々が十數年間血を以て鬪ひ取つて來た現在の勞働組合、その鬪爭力を現在以下に引き下げやうとする組合法案、これに對しては全力を擧げて、反對運動をしなければならぬ。さうして恐らく今度の議會に於ては、私の觀測は正に的中するでしよう。一應いゝ面を見せて置いて、さうして今度は本當の取締法案に變へて行かうとする民政黨内閣のやり方に對しては、全勞働組合の力を聚せて、之れが抹殺運動を起さねばならぬと思ふ。

山川。私も今の點に就いて、かなり確かた筋から聞いたことがある。それは、今度の組合法案は、最初の豫定では、衆議院を通過させて貴族院で否決させるといふのが政府豫定の計畫だつた。ところが、いくら貴族院にしても、勞働組合法案の犬殺しになるのは餘り有難い役割ぢやない、それで肝腎の某政黨系の貴族院議員の方からそれぢや困るといふことになつた。のみならず貴族院の少壯連中にも贊成が可成多いので通過しさうだといふので政府でもあわて出した。それで渡邊さんを先頭にして全國的の反對運動がといふ一幕になつたとかいふ話です。ところが最近では、さつきから資本家は恐怖されてゐると言ふが、恐怖されてゐるとすれば、それは下つ端で、上の方は恐怖どころぢやないので、チヤンと成算が立つて、もう大丈夫だ、もうこれで反對運動は打ち切るんだといふことを言はれてゐるといふことを聞きましたが、渡邊さんどうですか。

渡邊。さういふことはありません。

山本。これでおしまひにしませう。どうも有難うございました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

財界時評二題

不景氣の全面的擴大とその現段階

山崎靖純

一

舊平價金解禁と世界的不景氣との影響を二重に受けて急速度に發展し來つたわが財界の不景氣現象は今や全面的に擴があつた觀がある。七月の初め東京商工會議所が發表した『不況を示す數字』に據ると、百八十一種の株價指數は大正十年一月を一〇〇とするものに於て、昨年六月の九〇・五に對して本年五月のそれは五九・三を示して居るから、詰り昨年のそれに比して三割四分五厘の下落に當り、また本年五月までの貿易の輸出入總額は昨年同期のそれに比して二割六分二厘の減退に當り、同じ比較に於けるアメリカの二割一分二厘減、英國の一割一分八毛減に比して、わが減退率が特に甚しく、更に大正三年七月を一〇〇とした物價指數（日本銀行調）に於て、本年五月は東京が一五一、ロンドンが一二三、ニューヨークが一二四となつて居るが、昨年六月に比しての下落率では東京が一割四分二厘、ロンドンが一割零分八厘、ニューヨークが一割三分二厘を示し、東京の下落率が矢張り最高となつて居る。その東京の物價指數は更に六月に至つて一四四を示し昨年六月に比しての下落率は一割七分六厘と云ふ驚くべき率となつた。その外、工業會社の利益、滯貨、荷動き、計畫資本、失業者數等に現れた數字は何れも一つとして不景氣の深刻ならざるを語るものはない。然もわが不景氣の深刻さは到底これだけの數字を表面的に眺めるだけでは理解し得ない。例へば貿易の減少にしても、アメリカの場合は昨年までは逐年激增せる後の本年の激減であるに對し、わが國の場合は漸減せる後の激減であるからたまらない。株價にしても同樣である。殊に多くの諸株が大部分額面以下に叩かれ、またわが産業界の金城鐵壁として、それ故に、最も選ばれた花形株として誇つた鐘紡株が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一年前の二百六七十圓に對して、一年後の去る六月には遂に半額以下の百十圓臺に陷沒したことを見たゞけでも、その慘憺たる光景がほゞ察せられよう。物價の一割七分六厘の下落と云へばそれだけでも大變であるが、實は米、洋紙等の如きものは八分にも達せぬ下落なるに反し、綿絲、生絲の如きは五割内外の下落を示し、殊に生絲は七月初旬には明治二十九年以來の安値を示したのである。以てわが財界が如何に痛めつけられたかゞ想像出來よう。

二

然るに一見してこゝに不思議なことは、以上の如く物價の下落、生產並に商取引の萎縮の甚だしい中に於て、わが國民の貯蓄は昭和四年四月から同五年四月に至る一個年間に於て概算四億六千二百萬圓の增加を來して居ることである。この事實を以て、現にこれを發表した東京商工會議所の或る有力者は、日本の富の蓄積はかゝる不景氣の間にも增加したと語つたさうであるが、果してさうであらうか。先づ數字を先に擧げておかう。

	自昭和三年四月末至昭和四年四月末 (百萬圓)	自昭和四年四月末至昭和五年四月末 (百萬圓)
普通銀行	(+)三〇一	(−)二九九
貯蓄銀行	(+)一六六	(+)三九
金錢信託	(+)二七二	(+)六五
郵便貯金	(+)三二〇	(+)三二六
郵便年金	*(+)六	*(+)六
簡易保險	*(+)二	*(+)二
生命保險	*(+)二八二	*(+)三一三
合計	(+)一、二四九	(+)四六二

(註)*印は各々四月から翌年三月まで

これで見ると昭和五年四月に終る一個年間の貯蓄增加は、その前一個年間の增加の三分の一餘りにしか當らず增加率は激減して居るが、それにしてもこの深刻な不景氣に增加して居るのは何うしたものであらう。眞實の富の價格が甚しく値下りし、そしてあらゆる生產部門に於て高率の生產制限を餘儀なくされて居る時に當り、國民の蓄積が增加するなどと云ふことはその儘では受け取れない。

三

然し、よく考へて見るとそれは不思議でも何でもない。理由は左の二點から說明され得る。

(一)こゝに或る一人が他人に百圓貸付けて居ると假定する、その債務者は今や破綻に瀕し債權者に對して返濟能力を失つて居るが、債權者が、債權を取立てやうとしない限りはその債權は百パーセント安全

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の如くに見える。然るに他方に於て債權者は新しく十圓の蓄積を行つたから、結局債權者の蓄積は百十圓に增加したと說明されたら、何となく狐につまゝれたやうな感がするであらう。それと同じことで、今日株價も地價も商品價格も空前の大暴落を來し、その結果、多くの普通銀行、貯蓄銀行、信託會社、生命保險、乃至預金部に至るまでがその貸出額の少からぬ部分が回收難に陷つて居る。否、元金の回收ばかりでなく、利息さへもがやつと手形で支拂はれて居る所が少くない。試みに全國普通銀行の貸出內容に就て、去る四月末現在と昨年四月末現在との比較を見る。(單位千圓)

	本年四月末	昨年四月末	減少額
證書貸付	一、一八二、〇七二	一、二六二、九八一	八〇、九〇九
手形貸付	四、一一一、〇九一	四、一六五、四八九	五四、三九八
當座貸越	九〇三、六八一	九七六、二六七	七二、五八六
割引手形	七五〇、七六一	九二三、四三九	一七二、六七八
合計	六、九四七、六〇五	七、三二八、一七六	三八〇、五七一

これによると不景氣深刻の影響として貸出は一般的に減少著しきものがある中に、就中減少の著しいものは割引手形であつて、是は明白に商取引の衰退を物語るものであるが、他方に於て最も減少の少いものは手形貸付で是はそれ自體の內容が固定し若くは他の貸付の固定せる部分が少からず是に振替へられたからである。試みに過去一個年の減少率を求めると、前者の一割八分七厘の激減に對し、後者は僅に一分三厘の減少を示すに過ぎないのである。このやうに銀行其他の貸出內容に回收難が增加した事は、要するに製品値下りへ直接若くは間接の結果として、債務者卽ち各產業の利潤率激減し、それに牽下されて資本金額に相應しなくなつて來た事を意味する。今日、大部分の銀行にとつては、若しかゝる種類の貸出額を損失として切り落せば全く際限がなく、減配減資も時に及ばぬものも現れる可能性無きに非ずであるので、多くはそつとそのまゝ手がつけられずに帳簿の上のバランスが合されて居る。體裁よく云へば銀行その他の貸出內容が甚しく固定化して來たのであるが、適切に云へば實は甚しく擬制化して來たのである。然もかくの如き狀態の下に表面の平靜が保たれて居るのは、預金者の大部分が多くの銀行に於て、預金の大口引出を行はないからである。そこで實質的には大分擬制化した所の舊來の預金額に新しい蓄積が加つただけが、所謂貯蓄增加の形式になつて現れ得るのである。

(二)今一つの原因は株式公社債乃至は土地等に對する直接投資の離反である。卽ち多くの投資家がそれ等の値下りを恐れて若くは値下りによつて、それ等を手離して現金に換へ是を貯蓄した。而して是を買つた人は銀行其他からの借入金の援助を受ける事によつて目的を達し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。上記の如く銀行の貸出額は減つて居るけれ共、內容的には恐らくこの種の貸出は增加して居るであらう。即ち實質的には何等國民の貯蓄增加を意味するものではなく、たゞ直接投資が間接投資に變り、資金が一度銀行其他の手をくゞることによつて兩建勘定に變る爲に國民の蓄積が增加したやうに見えることも起り得るのである。

四

以上の如くに考察し來れば、過去一ヶ年に我國民の蓄積は實質的には生產並に商取引の大陷沒あるまゝに激減して居るべきことが想像されるのであるが、それが多少とも增加したのであるからして、それ等蓄積の內容が餘程擬制化した、云ひ換へればそれ等貨幣資本と眞實の富との間に大分大きな空隙が出來たことを見るのである。この空隙は銀行會社の整理が遲れて無理な利拂ひやタコ配當が繼續すればする程擴大する可能性を持つて居る。大正九年以來のわが財界にも恰度これと性質を同じくする空隙が發生し、それが時々發生する銀行破綻、預金者の損害によつて多少匡正され乍らも、他方に於ける救濟や彌縫によつて再び擴大されつゝ推移し、遂に昭和二年の春に至つて全面的な金融動亂を捲き起した。それは詰り擬制的な貨幣資本と眞實の富との間の大空隙を匡正する爲の地辷り地震を意味するのである。所が例の十一億圓に達する特別融通、臺灣特融、震災手形補償がこの地震の意味をすつかりブチ壞して終つた爲に、わが爲替相場の下落が愈々以て本質づけられた。然るに今度はまたそれを無理矢理に舊平價にまで吊り上げた結果、遂に世界的不景氣の影響を最大限に受けて、軈てまた上記の如くにわが國民の蓄積の內容に大空隙を作りあげたのである。かくてこの情勢が推移すれば如何。その結果たるや推して知るべきでのみではないか。

五

飜つてわが產業界の地位を一瞥するに、昨今の如き深刻な行詰りを以てして、未だ少しも眞實の底入點に達して居ない。それは二つの觀點から推論し得る。

(一)現在のわが物價を以てしては未だわが國際貸借の逆調が改まらない。即ち本年上半期の本邦入超高は二億二千三百餘萬圓であるが、朝鮮と臺灣の分を併せると二億八千萬圓內外になる見込である。所が下半期の出超高は、想像に屬することではあるが、現に爲替相場の伸力が甚だ不足なる點や、貿易會社の悲觀的豫想などから見て、一億圓を多く出ることは先づ無からうと考へられる。又、貿易以外の受取勘定に於いても、海運界の不況から來る運賃並に海上保險料收入の激減、並に南北アメリカ、南洋、支那等の不況から來る移民送金の激減露領漁業收入の減少、等から見て是れまた巨額の減少が豫想される。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かくして今一段物價が下落しない限り、本年十一月頃から來年四月にかけて、現在並に將來の國際貸借の不均衡を埋めるべく更に巨額の正貨流出が豫想される。この將來の低氣壓は現在にもその壓迫を及ぼして、結局わが物價は猶漸落過程を辿る外はない。

(二)然るに現在の物價でさへ多くの事業は利潤激減し、採算困難の結果は各産業部門を通して高率の生産制限實現に進んで居るのであるから、まして物價が今一段の下落を要求されるとなると、わが事業は益々苦境に陷り、事業その物の破綻を激成し、更に多數の失業者を排出する事になる。

是を要するに國際貸借のバランスがとれる點までわが物價が下落すること丶、その下落點に於て大部分のわが産業が採算可能になることとの二つが不景氣底入の二大條件である。假令國際貸借のバランスがとれる點まで物價が下落しても、その點では最早や小數の産業のみが採算可能であり、從つて貿易總額の大激減の裡にその逆調が匡正されるのでは、少しも不景氣底入と云ふことが出來ない。それは恰も一家族の大部分が絶食することによつて、その家族の收支が適合したと云ふのも同樣で、右の如き場合には大多數の國民にとつては貧困に次で飢ゑが迫つて來ることを意味するからである。所が現在の形勢ではこの種の詛ふべき國際貸借改善以外に、猶わが財界の向ふ光明ある兆候は少しも見えないのである。

政策轉換論から金輸出再禁止論へ

一

以上の如くに息詰るやうに切迫して來たわが財界の惡化に對して、朝野の嗟聲と狼狽は今更の如く激しくなつて來た。株式關係者、蠶絲業者、その他各方面からの政府當局に對する陳情は一段と頻繁になり六月下旬には郷誠之助、團琢磨の兩男爵が勞働組合法反對を兼ねて政策轉換要望の爲に首相を訪問し、井上藏相は六月二十七日に保險業者を招ひて懇談し、其翌二十八日には日本銀行に東西シンヂケート銀行の代表者を集めて井上藏相と日銀總裁とから懇談を遂げ、更に三日には濱口首相が業界の代表者六十名を首相官邸に招いて懇談して居る。この間にあつて現内閣の大御所仙石滿鐵總裁が濱口首相を訪れ『井上ぢや駄目だ、名隆を招いて相談しろ』と說いたことなどの鳴物も入つて居る。而して時局對策として官民が擧げて居る所のものも實に區々である。政府の中心政策は依然緊縮を本とし、産業合理化と國産奬勵とを兩翼として居るやうであるが、然し地方債募集は早くも方針を一變して、本年二月から五月までの四個月に二十七種の發行を認

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

可し、更に新聞の傳へる所によると、失業救濟以外の生產的起債も認可する方針に變つたさうである（七月二日、時事）。又郵便貯金利下を聲明し更に藏相は七月中の貿易の經過を見て日銀利下も考慮すると語つて居る。さうかと思ふと小泉遞相から資本金八億圓、半官半民の電話架設會社が提議された。他方、民間側の對策論としては漫然たる積極政策への轉換の外に、募債政策の復活、保護關稅の設定引上乃至は日本銀行の利下等が最も多く要求されて居る。

二

今、是等の官民の對策乃至は要望の價値を檢討するに、部分々々の立場から眺めれば夫々多少の道理を含んで居るが、是を綜合的に見る時は何れも均衡を失して居るか、でなければ局部的で、一つの中心政策を失つて居る。何故かと云ふに、前に述べたる如く、既に一割七分六厘も物價の下落した現今に於てさへ、猶わが物價は貿易均衡點にまで遙に遠く、今一段の下落が要求されて居るのである。然るに今の世の中で、その內容は余程擬制化したとは云へ、猶最も不相應な收入を持つて居る者は貨幣資本家であつて、政府や地方自治團體も是に次ぐものである。即ち是等の購買力の減退が頗る不完全であるから、その不完全なだけ、より一層多く、他の部分に於て購買力減退を來さしめるより外はないと云ふ破目に陷つて居る。一般勤勞階級の所得減少、失業の激增と云ふことはこの意味を持つて居る。云ひ換へればこの勤勞階級の所得減少や失業の發生あればこそ、貨幣資本家や政府の購買力減退難の中にあつて、多少とも猶わが物價を下落せしめ得たのである。斯くの如き慘酷が舊平價解禁の特色である。然るに今假に土木事業を盛大に起して失業せる自由勞働者を救濟し、彼等に米を購ふ力を與へるとすれば、米を賣つた農民には布を購ふ力が與へられ、而してその布の原料たる棉はアメリカや印度から來ることになる。これはほんの一例に過ぎないが、要するに現在でもわが國際貸借のバランスがとれてないのであるから、右の如き經過によつて當然わが貿易は一層逆轉し、現に八億七千萬圓に激減して居る國內正貨を更に夥しく流出せしめ、それは延いて右の如き失業救濟土木事業を許さない事情を齎す。積極政策が舊平價解禁と兩立しないのはこの爲で、その意味に於ては緊縮政策一貫を主張して改めない井上藏相の見解が正しい。

また產業合理化も產業にとつて製品下落の半面に債務負擔、勞銀負擔、租稅負擔、其他あらゆる負擔が加重された現在に於ては唯一つの殘されたる活路である。それは各產業にとつて決して結構なことではないが止むを得ないことである。恰度、惡質の盲腸炎にかゝれば手術をするのが止むを得ないことであるが如きもので、それは決して結構なことではない。若し出來るなら盲腸炎そのものを回避すべきであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つた。然し今日に於ては最早や止むを得ないことであるとして、さてそれでは手術に堪へ得るものは多いかと云ふに極めて少い。非常に多數の中小工業と大工業中の少くない部分までが落伍せざるを得ない破目にあつて、そこに又失業の激增が豫想される。一方國産奬勵と云ふことは高いお粗末なもので我慢をせよと云ふことと大差はないが、それは姑く別問題としても、現政府のやうに關稅引上を遠慮して、唯宣傳だけで行くのでは大きな效果は期待出來ぬ。總て人々の氣分に依賴する所の經濟政策は大局的には價値がない。そこで宣傳などよりも現實に奬勵せんとするものの關稅を充分に引上げることが最も適確で、この見地からすれば民間の關稅引上要望の方が遙に實際的である。但しこの場合には忽ち海外諸國から報復關稅を蒙つてわが輸出に壓迫を加へ、更に國內物價を騰貴せしめる爲に海外から見てのわが物價高を來して、この點でもわが輸出を萎縮せしめ、大局的には國民經濟の發展に非常な蹉跌を來す恐れがある。

三

かく考へて見ると何れの對策にも悉く非常な難點を持ち、わが財界は今泥沼に陷つたが如き深刻な難況に立つて居ることを知る。こゝに於て、これ程にも深く行詰つて來た原因は現內閣がその組閣の當初に於て、少しも內外財界の實情を見極めることなしに、逸早く政略的に舊平價解禁を聲明し、井上藏相も亦舊來の尙早論を飜して入閣と共に速行論に贊した結果であると見る議論が、財界殊に産業資本家の間に擡頭し、武藤山治氏は早くも『出發點に還れ』と叫んで新平價解禁を目的とする金輸出再禁止を說き、安川雄之助氏の如きも此主張に贊成し、藤原銀次郎氏も是に傾き、その他、各務謙吉、中島久萬吉、矢野恒太等の最初から新平價解禁を主張せる諸氏は固より更に大中小の實業家の間にこの主張を持つ人が次第に殖え、政友會の有力者なども餘程これに傾いて來て居る。かく云ふ私も一昨年以來、新平價解禁の必要を痛感し、高橋龜吉、小汀利得君等と共にこの主張を持して來たが、右に述べた如く全く何れの政策も行詰つて居る際に於て、國民大衆の利益から見て、また産業は無論のこと貨幣資本家の利害から見ても、最も弊害が少くして效果の多い局面打開策は新平價解禁を措いて外はなく、×××、××××××、×××××××、××××××××××金輸出再禁止をする外はなからうと現に觀測して居る。

不幸にして、私は今その理由を說明するだけの餘白を持たないが、要するに私どもの見解は永い間のインフレーション政策で日本財界が立ち得るペースがすつかり變つて終つた。それ故にそのペースに比較的近い爲替相場に於て金解禁を行ふより外はないと見るのである。而して私共の見るペースは可なり低い、何う見ても四十弗以下である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



吉原

—西洋人の見たる—

丸木砂土

「張と意氣地の吉原」

日本の教育家諸君は西條八十君其他の作詞にかゝる俗歌を以て、現代日本の風教を阻害する事甚しきを心配してゐられるが、肝心の文部省直轄の官立音樂學校に於ては、

　どうでも女子は惡性もの
　都育ちは蓮葉なものぢやえ
　戀の分里、武士も道具を伏編笠で
　張と意氣地の吉原

といふ歌詞を、高等官何等の教授によつて教へ込み、これを、、、、、、、、、、、演奏し、更にラヂオによつて日本國中に放送してゐる。「みんな主への心中立て、おゝ嬉しく〱」から「女子には何がなる、殿御〱の氣が知れぬ」に至る長唄「娘道成寺」の歌詞を以て、誰が西條八十君の「一と目見た時好きになつたのよ」よりも日本の風教に益ありと認めるか。僕は現代の此の滑稽なる矛盾に、何等一言云ふ事を知らずして、徒らに今日の生活の流行小唄のみを非難する官憲教育家音樂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

批評家諸君の怯懦を、全く嘲笑したいと思つてゐる。

僕は此處に「張と意氣地の吉原」の一句を引用しよう。音樂學校職員生徒諸君は、明に吉原の意義を解釋してゐられやう。吉原は東京北廓の賣春窟である。「娘道成寺」の文句には、その賣春婦の同衾と戀愛を歌つてゐる。「吉原」の名稱は、ラヂオの放送と長唄の流行と官立學校の教授によつて、極めて善良な家庭の子女も之を耳にせざるを得なくなつてゐる。もし「愛して頂戴な」曲を排斥する家庭の子女が、試みにこの「娘道成寺」の吉原の意味を質問したら、善良なる家庭の父兄と主婦は何と答へられるか。

しかも今日の新聞は、昭和五年末頃迄に、國際聯盟の婦人兒童賣買禁止委員會が三名の委員を日本に派遣して、ロックフエラア財團寄附の十二萬弗を以て日本に於ける遊廓の調査をさせようとする決定を報じてゐる。吉原は日本の代表的遊里として、この國際聯盟委員の手によつて、詳細に調査される事であらう。勿論聯盟側では、この婦人賣買を禁止しようとする立場にあつて、しかも日本政府が直轄する學校に於て、この吉原讃嘆の諸歌詞を教へつゝありと聞けば、果してこの聯盟委員はどんな顏をするか。

「吉原」の名稱は、一つの世界語になつてゐる。日本の遊廓といふ意味から、賣春窟といふ世界語に變つてしまつてゐる。僕は國際聯盟諸君の手によつて、この吉原が調査される以上、恐らく日本の醜態としてゼネバに持ち出され、之の廢止絶滅を決議されるに相違あるまい。唯僕はその前に一寸かういふ事を見ておきたい、吉原は今日迄外國人にどう見られてゐたか、果して吉原は人道に反する醜惡として、あらゆる外國人は目を背けてゐたか、すべての西洋人に吉原は氣に入らないか、といふ事を。

吉原に關する文獻

「吉原」は日本の吉原でなくして、世界の吉原である以上、之に關する外國人の研究は、余程在るかと思つたが、實はさうでもないらしい。もとより外國人の日本紀行類に散見する斷片的のものはいくらもあるが、一册として纏つたものは、案外少いやうだ。止むを得ず僕は獨逸のハイン・ゴオテンドルク編纂「獨逸好色獵奇目錄」によつて、「日本」の部を探してみた。之にはクラウスの「日本人の性欲生活」、シエエデルの「日本に於ける性器崇拜」の外に、ボオデエルといふ人の「日本遊女小說、微笑の巷」が千九百何年かに出てゐる外には、佛人トレスマン・トレモリエルの「日本人の歡樂境、吉原」と、明治三十二年に横濱、倫敦で出版された小林米珂の英文著書「不夜城、又は吉原遊廓史」があるのみである。小林米珂は本名をベッカアといふ英國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人で、日本に歸化した人である。この英文「不夜城」は、殆ど外國語で書いた吉原文獻としては、世界的權威のあるものらしい。殊にこの本に挿入された平岡年秀の吉原風景の水彩畫は、確に僕等をすら驚異させる二三十年前の華麗な天地の描寫であり、寫眞版として挿繪になつてゐる張店、階子や廊下を往復する遊女、化粧をする遊女、新造禿を從へて大盛裝をした花魁、その傍においた鳥籠、菊花等の寫眞は、明治時代の風俗資料としても、今日の青年諸君の眼には、確に珍奇なものに相違あるまい。

僕はこの内クラウス・トレモリエル、小林米珂の書物は集める事が出來た。この内でも吉原そのものの研究は、後の二册に限ると言へる位である。もしハインの「獨逸好色獵奇目錄」に多くの脫落がなければ、まづ世界の吉原文獻は、この邊で十分ではあるまいか。その外の斷片的記述は、手許にある三四の書物から拔萃したものである。

これ等の書物に於て、外國人はこの「世界の吉原」をどう見てゐるか。

獨逸人の見たる吉原

獨逸人の見た吉原に關する一つの特徵は、ヨシワラ、の言葉を以て、日本の遊廓の代名詞に考へてゐる事である。嘗て僕は小說家トオマス・マンの息子のクラウス君を連れて、銀座裏通りに差しかゝつた時、忽ち路傍の家から三味線の音が聞えた。するとクラウス君は「やあ、此處はヨシワラですか」と僕に訊ねたものである。藝者が並んで、三味線が聞える處なら、何處でもヨシワラと呼ぶと思つてゐると解しても好い位だ。古い獨逸人の日本紀行にも「神奈川に於ける吉原」といふ風に、遊廓そのものの代名詞に使ひ、新しい旅行記でもランズベルゲルの「笑へる亞細亞」で、偶々横濱で藝者屋町を步いた時に、「私達は急に吉原に出た」とか、「見給へ、又吉原に來た」とか言つてゐるのも、すべて藝者のゐる町に解してゐる。

「吉原」の言葉を、遊蕩歡樂の領域に解してゐる代表的の例は、映畫「メトロポリス」の原作であるテア・フォン・ハルボウ女史の小說「メトロポリス」である。これは空想の都會機械の都會の怪奇小說だが、地下の勞働者であつた一人の男が、急にこの未來都市の地上へ拋り出されて、燦爛たるメトロポリス市を眺めた時、まづ目に入つて讀んだ字は、ヨシワラ、であつた。「幾百萬、幾千萬の光に輝く夜の世界」メトロポリスで、「眼には見えない源から、高く光の束が打ち上げられると、それが高い絕頂まで達して、ばつと散つて、その虹の七色の中に、メトロポリスの黑天鵞絨の空から滴り落ちてくるのが、」ヨシワラの四字であつた。「何だらう、ヨシワラとは」と思つてゐると、高架鐵

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

道の鐵橋の桁に、黄色い顏の男が頭を下へ向けて、白い紙の吹雪を二重の列になつた自動車の上に散らしてゐる。その紙の上にもヨシワラと書いてある。暫くすると乘つてゐる自動車の中へ、綺麗な刺繡の衣裳を着た顏の黄色い男が、廣告の紙を投げ込んで行つた。「その紙からは、鼻を刺すやうな、甘つたるい、淫な匂ひがぷんと流れて來ました。見れば大な呪文のやうな文字で、ヨシワラと書いてあるではありませんか。」光の爛醉の中に踊つてゐる大都會メトロポリスの夜の空へ、絶え間なしに打ち上げる花火の文字は、ヨシワラである。この焰の大宣傳によつて廣告されるヨシワラは、あらゆる手段によつて惡錢を蓄へてゐる國際的怪人物で、殘忍な程美しい手を持ち、絶えず不思議な微笑を浮べてゐる男の經營で、雪、梅、虹その他の遊女を養つてゐる處だ。勿論「メトロポリス」に描かれたヨシワラは、紙の壁を持ち、輝いた藁の疊を備へてゐるが、淫樂境としての吉原とは、緣の遠い乳色の幻想の部屋である。これとは反對に、實際の日本の吉原は、どういふ風に獨逸には紹介されてゐるか。

僕は先づ維納文化研究會發行の「好色圖解字典」の吉原の部を見てみよう。挿繪としては錦繪地圖の外に、三層樓の櫛比する仲の町、張見世の格子に並ぶ花魁の寫眞が入つてゐるが、その記事の中にはこんな文句がある。

「幅の廣い往來の兩側には、暗い金色の木彫品や花やかな提灯を吊した、明く照された店や茶屋が並び、その光と色の霞へ流れる中に座つてゐるのが、少い可愛いい日本の女である。往來の群集と隔てるものは、細い格子である。女は豪奢な派手なキモノを着て、細心に頭の髮を結つてゐる。その金の檻の中に、絨氈を敷いた床の上に、じつと動かずに座つてゐる數は、十五人から三十人もあらう。これを眺めても、何等猥褻な感を起させない。驚いて見る外國人を、少しも煩はす事もない。唯屢々微笑をして頷いたり、細い手を擧げて親しげに手招きをして、挨拶してくれる丈である。けれども此處では女の名譽といふものは、決して下等に賤劣視されて、汚されてはゐないのである。此處にこそ、今日に於ても尙戀愛と歡樂の古代的解釋に於ける最後の呼吸をしてゐるやうに思はれる。遊女にして吉原に於けるよりも以上に藝術的形式を執る所は困難である。」

この書は千九百二十九年の出版に係るが、その說明は悉く卅年以前の吉原花街全盛時代であらう。けれども今日の歐洲人は之を讀んで、決して醜惡悲慘の感は起さないで、全く美しい幻想に捉はれてしまふに相違ない。この記事は僕等に對してさへ、甚だ誘惑的な光景に滿ちてゐる。吉原の概念を美化して空想する傾向は、例へば日本の歌舞伎劇の獨逸に紹介される場合にも明である。ピイベルの「日本演

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

劇論」の中に籠釣瓶廓醉醒の舞臺を描寫して、爛漫たる櫻花に赤い提灯を配した吉原の春こそ、「花の海であり色彩の陶醉」であるやうに紹介されてゐる。勿論この芝居は、確に春の吉原の悲劇ではあるけれども、吉原を國民演劇として舞臺の上で大衆に見せる以上は、それを今日の國民思想と相反馳した醜悪無比の場所だとは考へない。それ程獨逸人は芝居の中に生活を求めてゐるからである。今日最も新しい著作物として、同じく維納文化研究會の發行する「賣女考」に就て見ても、吉原は依然として、歌舞伎の舞臺の吉原である。仲の町を貫いて、櫻の並木があり、その兩側には「最も美しく、最も華麗なる家々」が並んでゐるのである。唯他の記述よりも今日に近いのは、「格子の後に女が並ぶ事は、此處では稀である」といふ文句であるが、それも最も上等な家では張り店をする代りに、盛に綺麗な廣告を撒いて宣傳し、案内記を出版して、茶店、貸座敷並びにそこにゐる遊女を批評し、その特殊の品質を論じてゐる、と書いてゐるから、張店廢止の意味ではないらしい。おもしろい事には、同書に曰く「今日の吉原は屢々多くの歐洲的のものを取入れてゐる。例へば鋼鐵又は眞鍮の寢臺を備へ、すべての部屋に電燈を點じてゐる」と。これで見ても、吉原をいかに櫻の花と雪洞と裲襠の夢幻境に斷定してゐるかゞ分るやうだ。しかも吉原の登樓を論じて、「昔は甚だ退屈な厄介な儀式によつたものであるけれども、これも西歐文明の影響によつて、全く廢されてはゐるが、然し今日に於ても、登樓者は完全なる禮儀と努力をしなければならない。かの歐洲各所の賣春窟に見る如き、無恥と無禮とは、決して吉原にはない、遊女は悉く着物を着て紹介される、と言つてゐるが、これは恐らく歐洲の遊女が、裸體に近い姿で飛んで出るのを、對照して考へたものであらう。殊に上等の家になると、登樓者は先づ禿の手によつて入浴をし、按摩を受け、然る後に着物を附けて、選んだ女の許に赴く。この女こそ數時間なり一夜なりの、永遠に微笑する、愼しき、從順なる伴侶であり、この家を去る時には、花や蝶の模樣のある祝儀袋に、煙草代と稱するチップを入れて置いてゆく、と細い事を紹介してゐる。尤もかういふ華麗な生活の裏には、云ふべからざる不幸と苦しい奴隷制度の潜んでゐる事は、この著者も認め、昔武士が帶刀して登樓する事の出來なかつたのは、之を以てかの愛すべき微笑の女が屢々自殺を試みるからだと云つてゐる。

之等の著者は、必ずしも日本を訪問して吉原を見た人ではない。何れにしても歐洲の錦絵がその空想の背景である事は疑ひもない。そこで今度は、實際に吉原に遊んだ旅行者の感想を聞いてみよう。僕はそこで、千九百十年に出版された、小説家ベルンハルド・ケッラアマンの「日本の散歩」を開いてみた。著者ケッラアマンは、今日の獨逸文

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

壇でも、元氣な大衆作家として、甚だ著名である。戰前に「トンネル」を書き、戰後に「十一月九日」を書き、自動車で歐洲波斯横斷旅行を試みる等、頗る覇氣に富んだ小說家で、これが日本でも甚だ勇敢な女遊びをやつて、藝者の手踊りの研究書まで出してゐるが、その「日本の散步」の中でも、「吉原」の一項を書いてゐる。ケツラアマンが日本に遊びに來たのは、三十歲の青年で、しかも伯林一流の出版書肆カシレルが金を出したのだから、隨分愉快なものであつたらしい。この小說家を吉原に案內したのは、明治四十二三年頃に、外人を利用して英語の練習をしようとした、よくある型の大學生大島君である。尤も大島君はケツラアマンを案內する每に「僕は金を忘れて來ました」と言ふのを例としてゐた、中々利巧者だが、ケツラアマンの手記によれば、相當の國辱學生らしい。ケツラアマンと大島君は電車に乘り、人力車に乘つて、やがて門をくゞつて、この「女の都」に到着した。

暖かな、靜かな、星の美しい夜であつた。

「何といふ豪壯と華美だ。何といふ浪費だ。東京には二階建の家があるが、みんな灰色で、何の裝飾もない。然るに此處は、宮殿の並列だ。すべて二階建である。三階さへもあつて、高雅で、彫刻した欄間や廊下で裝飾してある。無限に續く、幅の廣い遊步道には、赤い紙の雪洞が二列についてゐて、遙か遠くへ燈火の帶になつて融けてゆく。

この遊步道は、上品なお茶屋の間を通じてゐるもので、そのお茶屋の前には、一メエトル位の幅の布地に、文字を書いたものを、裝飾に懸けてある。遊步道の眞中には、細い植込路があつて、花の咲いた叢、青い芝、小さい蒼白い雪洞が並んでゐる。横町に流れ入る色彩様々の群衆は密集してゐる。この横町にこそ主な見物するものがあつたからである。

此處にこそ、幾千の美しい少女が、化粧して華麗と光彩の中に、黄金の籠の中に座つてゐる。まるで太陽の中の花のやうだ。これを檻といふのは、誤である。宣敎師はさう名付けてゐるが、これは恰も中世紀の城の中にある閨房の、前面の壁を取り除いたものである。これで凡てが盡きてゐるやうだ。格子は四角い木の棒であるが、その間が廣く開いてゐるから、部屋の中はすつかり一目で見渡せるやうになつてゐる。この部屋は多くは全部金ぴかで、大な金色の壁は、立派な大な模樣の彫刻や繪で飾つてある。それは多くは見事な製作で、花、樹木、鶴、ペリカン、龍、櫻の花、松等である。たつた一本の節くれ立つた松の枝が葉をつけて、後の金色の壁全部に張り、或は三四本の大な菊の花、又は蒼い竹の群の中に虎の忍び込んでゐる、これがこの部屋の模樣である。

この豪奢な部屋の後方に、一列に、一定の距離をおいて、遊女達が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

並んでゐる。此の店には二十人、彼處の店には十人、向うには三十人といふ工合である。誰も黑い頭髮の藝術品の中に、花を插し、美しい色の絹の衣裳、輝く帶、磨いた手を持つてゐる。白粉は頸筋にまでつけてゐる。髻は實に巧妙に結つてあつて、眉はひき、顏は白粉を塗り、唇は下唇だけを赤く半圓に紅をつけてゐる。みんな實に技巧的に見える。時とすると人形のやうにも見える。かういふ遊女達がじつと蒲團の上に膝まづき、赤い炭を入れた青銅の火鉢を一人一人前に置き、眞鍮の雁首のついた長い烟管で、烟草をふかしてゐる。又あちこちで、化粧直しをしてゐる美人がゐたが、まるで猫のやうだ。小さい鏡を覗き込み、顏を横に傾けたり、髻を抑へたり、簪を直したり、眉をひいたり、紅をつけたりしてゐる。何といふ美しい女だ。小さい銀の新月のやうな女だ。そこへ浮かれ男が格子の處へやつて來て、聲をかける。ある時には女の方から近くへ寄つて來て、格子のすぐ前に膝をついて、その男の友達と話をしてゐる。中には格子のすぐ傍に座つて、白い美しい襟を往來の方に向け、小さい烟管をはたいてゐる。それはあの立派な帶のだらりを見せやうと思つたのであらうか。

僕は此處に口に云ひ難い優雅と美人の少女を見た。多くの女は、その座り方、外を眺める見方の中に、ある心を索くものを持つてゐる。此處には大きな聲で物をしやべつたり笑つたりする事もしない。女達は默つて動きもしない。女達は僕を窃むやうにそつと見た。ある一人は格子から烟管を渡してくれた。ある者は微笑して、僕について遊女仲間と話をし初めた。僕はその中で、ハナとオキといふ言葉だけが分つた。それは大な花とも大な鼻とも解せられる言葉だ。けれども多くの者は、唯白く塗つた顏を擧げ、ひいた眉を高く吊り上げ、その黒い、光る、眼瞼のない眼で僕を眺め乍ら、ある者は美しい恰好で火鉢に手をかざし、他の者は靜に烟管を口へ持つていつただけである。

どの家でも遊女達は夫々同じ色の衣裳を着てゐる。例へばある家は茶色、ある家は紫、赤、青の類である。從つてみんなが一つの群としての效果を與へるのである。僕の最も失望したのは、その女の列が、大分まばらになつてしまつてゐた事だ。勿論最も美しい女がゐなくなつてゐるのである。ある店では、目に立つ程簪を飾つた若い女の頭の上に、一枚の紙がぶら下つてゐる。何と書いてあるのかと大島大學生に訊いてみたら「新しく來たばかりなんです。あの女は處女です」と云つた。

かうして獨逸の好色小說家と日本の大學生大島君は、約一時間ばかり素見して歩いたものらしい。

「あゝ、吉原、お前こそ美女と黄金と音樂と花の匂ひと月光の童話である。お前は印度だ。土耳其人の樂園だ。いかなる西歐の幻想も、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この夢を見る事は出來ないであらう。お前こそ、何んと云つても天下一品の遊廓だ」

これ程感激したケツラアマン君は、遂に大島大學生を促して客となつた。大島君は相變らずお金を忘れて來たと言つたが、上つたところは妓樓ではなくして、お茶屋であつた。家の前は櫻の滿開だ。遠くからも近くからも三味線の音が聞える。滿月は座敷まで射しこんでくる。冬子、龜子が踊り、まん、よし子が地を彈いた。特に黑い眉と燃える目と細い鼻との吉原藝者まんは、大にケツラアマンの氣に入つたやうである。この踊りの間に大學生大島君は、秘に何か別室でやつてきたらしい。「何か特別の文句をこの契約の内に入れたやうだ」と著者は笑つてゐる。この吉原のお茶屋の藝者遊びと、その巧妙な湧くが如き歡待とは、ケツラアマンの忘るべからざる東京の一夜だ。あらゆる藝者に接吻し、二階から降りる時には、龜子冬子の雛妓を、兩腕に抱いてきた騷ぎである。二人は羽毛の如く輕かつた、この小說家は言つてゐる。我再び此處に遊びて、かのまんを落籍し、相共に紙の家に住まはん、とまで感激してゐる。

ケツラアマンは大衆作家である。張店の美に驚き、藝者の眼に惚れたが、然しその旅行記に、何等吉原遊女の檻の中の生活を慨嘆もしてゐないのは、單にこの小說家が、社會改良家でなく、大衆作家であつた爲ばかりであらうか。確に吉原の美が、この異國の旅行家を陶醉せしめるに十分なものがあつたのではなからうか。吉原は少くともこの獨逸小說家の目には、善惡を超越した世界無比の歡樂境に映つてゐる。

僕は更に獨逸人の吉原觀を、文學者以外に求めてみよう。それにはフリイドリヒ・クラウスの「日本人の性欲生活」がある。これは千九百十一年の出版であるけれども、獨逸人の日本研究としては、劃期的著作であるが、この本の中に紹介されてゐる吉原觀は、文化研究者としてのクラウスの觀察でなければ、これより以前に日本に來遊した獨逸學者銀行家の見たる處である。もとより今から二十年前の日本である。しかも二十年前の獨逸人は、吉原を蔑視してゐたかといふと、中中さうでないやうだ。

獨逸人として最も古い吉原論は、恐らく明治二十四年に出版された、ドレスデンの銀行家エクスネルの日本紀行であらうか。エクスネルが特筆してゐる點は、吉原の遊女が親兄弟の苦難を救ふ爲に苦海に身を沈めたのであるから、吉原を出た後でも、決して社會の蔑視を受けてゐない、寧ろ社會は之を同情してゐる、即ち遊女生活は自分の罪と傾向から發したものではなくして、親の命令であり、それを子供として從順と愛とから承諾したものであると說明し、從つて今日の日本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

で最、、、、、、、、、、に至る道路は、「この全國に名立たる吉原の中を通じてゐる」と書いてゐる。クラウス自身女が身を賣つて、親兄弟を養ふ事實は、決して日本ばかりではない、歐洲に於ても珍しくないと大に吉原遊女の身賣を辯護してゐる。おもしろい事は「日本の花」といふ本を書いたフォン・クドリアフスキイ夫人は、吉原といふ名と花街といふ言葉との關係を論じて、遊女の衣裳に刺繍された花鳥を初め、小松、花園、菊、花山等の源氏名を研究してゐる。

最も極端な位に吉原の美を激賞した人に、キヨルンの人ドクトル・ブルソフウベルがゐる。この人は千九百七年十二月十五日の伯林日報に、驚くべき吉原讃嘆の辭を擧げてゐる。

「道路の眞中は、花咲き匂ふ植込で、その樹の枝には、様々の色彩の提灯が踊つてゐる。そこから驚くべき廣い眼界が開ける。兩側は眩く照された店と茶屋である。その前を美しい着物を着た人が、幾千の列の蛇のやうに、踊り乍ら通つてゆく。（略）此處こそ愛の社に達する前庭である。この吉原以外、世界何れの處に於ても、贅澤な輕快な歡樂の女神は、これ程壯麗な巨大な祠を獲る事は出來ない。

一目見たゞけでも十分である。さうすればこの異國的な美しい世界の光景は、二度と我々の記憶を去る事はない。けれども言葉を以てしては、到底この無限の光彩ある豪奢を記述し、微光を放つ陶醉の生活歡樂を描寫する事は、全く空しき努力に過ぎない。

この頌歌を形造るものは、光と色彩と美である。（略）此等の光景は、壯麗なる額縁の中に嵌め込まれてゐる。美しい暗金色の木彫藝術は、東亞に於ける見事な製作であるが、これが最も多く裝飾的な背景に使用されてゐる。眞中に大な鏡があつて、贅澤な燈火には、兩側の背景が反射鏡に成つてゐる。この光と色彩の顫へる流動の中に座つてゐるのが、可愛いい日本の女である。（略）この浮彫と點景物とは、店店によつて異つてゐる。此の店には大な花模樣の衣裳を着けた、派手な化粧の近代的少女の型が列んでゐるかと思へば、向うには日本の黒檀の器具、暗黒色の家具、絨氈がある。さういふものからキモノの輕いヘリオトロオプの匂ひが媚びるが如く立ち騰つてくる。更に又輝く金の淵の上に、照り交ふ裲襠の眞黒な色が、遊女の蒼ざめた優しい顔を取り圍んで浮立たして見せてゐる。（略）此處にこそ美と人間の禮儀とが一致してゐるものと見る。此處にこそその理想が實現してゐる。

（略）

遙か向うの夜空には、吉原の輝く燈火が弱く反映してゐる。夜の靜さの中に、こちらまで聞えてくるのは、酒神の歡樂の粗野な鈍い叫びと一緒になつた人の聲のざはめきである。これこそ一個の人間の叫びではなくして、全國民が放恣なる歡樂に本能的に陶醉してゐる聲で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。」

かういふ吉原の密娼主義に對しては、獨逸でも贊成者があつて、ロオストックのドクトル・ヒンツエは、よろしく日本の制度に倣つて、獨逸にも吉原を興すべしと主張し、ブレステラウの大學正教授ドクトル・ユリウス・ウオルフなぞは、眞先に贊成したものである。獨逸にも有名な漢堡の密娼街が三四年前までは存在してゐたが、その露骨なる客の誘引法に比べれば、成程吉原の張店の如きは決して猥雑な感どころではない。歐洲中世紀の遊女も到底及ばない禮儀あるものである。

獨逸人の見た張店時代の吉原は、斯くの如くに華麗と贅澤の世界であり、全く世界無比の歡樂境であるが、この吉原美に對する豫感は、一面獨逸に於ける日本浮世繪の研究が寄與する處甚だ多いと思つてゐる。青樓の畫家としての歌麿を研究した詩情については、さすがにゴンクウルに及ばないが、然し獨逸にも科學的に歌麿論をやつた人は、かのユリウス・クルトがある。クルトの「歌麿」は、一方から見れば、吉原に於けるこの時代の遊女生活を甚だ美しく紹介したものとも見られる。吉原の畫家として、扇屋に起伏して孔雀の大襖を描き、青樓十二時の名畫を殘し、遊女粧ひ代々年等の美妓肖像を寫す等、十九世紀の初期時代の吉原生活は、歌麿の浮世繪を措いては想像する事も困難であらう。然るにクルトの「歌麿」は外國に於ける浮世繪研究書として實に有數のものであり、之を愛讀する獨逸人の日本幻想を刺戟し盡さずには措かない名著である。かういふ浮世繪を背景として空想してきた吉原を眼の前に見た時、さすがの獨逸人も、この歌麿の夜の光景には驚嘆せざるを得なかつたのである。

この外僕はアルベルト・モルの「性科學研究」を開いてみたが、モルの吉原研究も特に紹介する程の事はない。一般的な記述はどの本も同じ事である。唯この大規模な賣春制度が、世界に無比である點に就ては、さすがのこの性醫學者も一口もないやうである。

昭和四年八月に、日本に飛來したツエッペリン伯飛行船の下級乘組員が、東京に來て何を見物したがつたかといふと、それは銀座でもなければ三越でもなく、實に吉原であつた。獨逸人は日本人といへば、吉原を聯想しずにはゐられない國民である。

佛蘭西人の見たる吉原

佛人ドクトル・トレスマン・トレモリエルが日本に來たのは、いつ頃であるか、明確な事は分らない。和泉丸といふ船に乘つて、晩香坡から横濱に來たが、その著「吉原」については、一佛人の妻になつてゐた遊女上りの女の智識を基礎とし、驚くべき精細なる研究をしたものである。しかもその記述に殆ど誤謬がなく、正確に詳細を盡してゐる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のを見ると、この人は餘程の熱心と時日とを費したものと思はれる。吉原の沿革風俗から小菊の紙が何に使用されるかに至つて研究されてゐるが、多くの吉原見物記には、登樓の觀想を洩らす者の少いに反して、トレモリエルは歐羅巴人として一夜を明す順序について、手に執る如くに說明してゐる。

「そこでその次には、ごく若い下働きの女の可愛いい手によつて、本部屋へ案內される。これは又新しい新造である。この若い少女達は無數の愛想と丁寧な作法とを以て、この歐羅巴人を完全に着物を脫がしてしまふ。その時にこの女達は狹く寄つた眼の切れ目から、あらゆる眼の力を注いで、この外國人を試して見るのである。若し君達が日本語が分るなら、この客がほんの小さい鬚を生やしてゐる場合でも、こんな事を云つてゐるのが耳に入るであらう。

「何てこの野蠻人は毛むくぢやらの顏をしてゐるんだらう、厭らしい程大きくて、どこもかも毛むくじやらだわ」

この試驗が濟んでしまふと、今度は衞生上の理由ばかりでなく、この濃い體の毛が本物である事を確める爲に、煮え立つ湯を入れた盥を、目の前に持つてくるのである。

けれども裸になる譯にはゆかない。こんなに丁寧な若い娘さん達の眞中で、裸になつて平氣でゐる事は出來ない。さうすると藍色か紺色の雲や浪を描いたキモノをよこしてくれる。これこそ眞の愛の着物だ。輕くて、多少開いて、その大な袖は、一寸動けば外れてしまふ小さい帶によつても、ぢきに肩から脫げてしまひさうである。

この後は唯刺繡をした蒲團の上に横になつてゐればよいのである。

やがて美しい花魁がやつて來た。いかにも優雅にそこへ近付いてきて、床の上に座り、巴旦杏と果物のうまい混合物を拵へて、これを客に勸め、又その唇の間に挾んで火をつけた卷煙草を渡してくれて、遂に甚だ面倒な細心を以て、枕を當てるのである。

一時間ばかりたつと、特別の小さい×をたんと使用してから、共同風呂に急ぐのである。その×は豫め帶又は齒の間に持つてゐたものだ。

この甚だ丁寧な娘は、常に微笑を浮べてゐる。唯怒る場合は、客が殘酷な亂暴を以て、作法を辨へる事なく、頭の髷の誇らかな形に惡戯をする時だけである。この髷こそ午後を費して結ひ上げた多大の苦心の產物だからである。(略)

客が此處にゐる間、この貸座敷の中には、一語も亂暴な言葉を聞かない。卑しむべき態度からくる言葉を耳にしない。又一つの無遠慮な動作も目に入らない。

花魁の話してゐるのを聞くと、殊に著しく感じられるのは、その

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

話し振りが他の人達よりもずつと優しく可愛いい言葉を使ふやうだ。すべてが丁寧で、懇切優雅である。まるで高位高官の宮殿にでも一夜を明かすやうな氣持がする。

やがてうとうとする。庭の向う側から、とぎれとぎれに遠い三味線の音が聞えてくる。夜番が打つ拍子木の音も聞える。

やがて翌朝客が目を醒ますと、部屋の一方は庭に向つて大く開かれる。誠にこれ、詩人が歌つたやうに、「古き時代の幸福の日の花咲ける朝」に在る如き感がするであらう。

起きると、二人の若い新造が來て、すべての形式によつて着物を着せてくれる。この時が丁度日本ではいつも祝儀袋に入れて茶代又は煙草代を與ふべき時期なのである。

それから用事のない女中達の眞中に入つて、花魁は客を導いて送り出す。閾の處でも、まだ花魁は微笑してゐる。

あゝ、この日本の微笑こそ、何といふ無限の纖細な陰影を持つてゐるものだ。

この女を見立てた時、女はかの舞臺で切腹をしようとする前の貴人の武士のやうに、謎の如くに微笑する。(略)

外に出て、朝の光に往來を見ると、靜かに、快い匂ひに滿ちてゐる。通りがかりの人も少い。(略)風は樹の枝に戯れてゐる。君は大門まで人力車に乘る爲めに、その樹の下に立つてゐる。その樹こそ「我々に果敢なさを悲ませる」ものである。古い日本の傳説によれば、「悲みの柳は、すべての日本人に扉を開かせる」といふことである。

トリモリエルの吉原研究は、實に微細に入つてゐて、いかに多大の苦心を費したかが察しられる。

それでは外國人は常に吉原美に眩惑し、常に讃嘆してゐるかといふと、中々さうでもない。

波蘭人の見たる吉原

僕は遺憾ながら波蘭人の教授アントニイ・フエルヂナンド・オツセンドウスキイに就て、經歴その他をはつきり知らないが、露西亞の暗黒面を書いた「暗黒なる東方の陰」を現し、日本の生活を材料にした短篇集「日本の物語」を書いてゐる。東京ステエション・ホテルに滯つて、暑い七月を退屈した、と短篇「武士道」に書いてゐるが、いつ頃日本に來遊したのか一寸分らない。オツセンドウスキイの著書は、戰後の獨逸でも中々愛讀されたものである。

この人が一九二八年五月二十七日の「新維納日報」紙上に、「日本の花街吉原」といふ文章を書いて、今日の吉原の衰頽を紹介してゐる。これは決してオツセンドウスキイがこんな最近に日本に來た譯ではな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いか、張店時代の吉原の紹介としては、比較的新しいものであらう。
「私等はある往來の角へ近付いて行つたが、バラックに近い大な家が、その角に立つてゐて、日本語と英語で「朝日ビーヤホール」と仰仰しく書いてあつた。これが吉原へ入る第一のステエションで、戀愛商賣の貯藏所であり、無數の日常悲劇の出發點である。
私は往來を眺め渡した。往來には日本人、支那人、黒人、歐羅巴人、米國人が押し合ひ、へし合ひ、歩いては止り、止つては又前へ歩き出すのである。この影のやうに前へ押し合つてゆく人の上に、提灯の薄暗い光が射してゐる。私の目に第一に映つた鐵の門の内部の一切のものは、この偉大なる戀愛インダストリイの都吉原に、何等かの點で隷屬してゐるのである。あの向うに座つてゐる娘達こそ、外國人が喜歌劇や小唄や小説や旅行記の中で、手足のしなやかな、妖精のやうな、夢のやうに美しい蝶鳥として描いてきた女達だ。そこに座つてゐる娘達は、赤や青や黄色い着物を着てゐる。着物の上には幻想的な樹の樣に、恐ろしい龍が、綺羅びやかに、人の目を牽く。その女達はあらゆる男の國から流れ込んでくるお客を、待ち構へてゐるのである。けれどもそれは、かの空想的な詩人が、小説や歌劇や喜歌劇の中で私等に見せてくれたやうな、あんな可愛いい、小さい、上品な、溌溂たる娘ではない。それは唯飲んで、食つて、寢るより外には、何の意味を持たない女達である。眼の大く離れた、色艶の悪い、醜い形の、ぼんやりと自分の前を見詰めてゐる、表情のない女達である。私は東京に滯在する間に、歐羅巴人が歐洲に於て憧憬する日本の女、その心臓を波立たせ、その血の脈搏を早めさせるやうな、物語の中の女を求めた。しかも遂に之を獲る事は出來なかつた。」
オッセンドウスキイは更に吉原病院を論じて、この病院を一と目見た歐洲人は、到底その悲慘と嫌厭に堪へ得るものでない、しかもこの悲慘、この殘虐、この野蠻は、何人も許容すべからざるものと思ふであらうに、この悪徳によつて大資本を得つつある全世紀を詛咒すべき營利事業に對して、國家も警察も社會も、何等顧慮してゐない、と痛烈に攻撃してゐる。
佛蘭西人と獨逸人の研究を調べて來て、この波蘭人に至つて初めて吉原を痛罵するものに會つた。そこで今度は世界中に最も上品優雅を裝ひつつある英國人はどう見てゐるか、「ウオレン夫人の職業」の作者の國は何と考へるか、これは僕の甚だ興味のある點であつた。

英國人の見たる吉原

僕は先づ机の上の大な「ニウ、スタンダアド、デイクショナリイ」によつて「吉原」を見た。さすがに上品な英國の字引だけあつて、説

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明は甚だ簡單で「東京の一劃、賣春窟、並に日本大都會に於ける同樣の地域をもいふ」とあるだけだ。或は英國人はこの名譽あるスタンダアド字典にこれ丈載せたのさへ、漸くであつたかも知れない。果して吉原といふ賣春窟に對する日本人の無恥厚顏を諷刺痛罵する英國青年が現れた。これは既に數年前に日本にも飜譯紹介されたジョン・パリスの小説「きもの」である。作者は永年日本に滯在した英國大使館の外交官ださうである。「きもの」は日本生活に對して、諷刺皮肉以上の悪意を以て描寫してゐる事は爭はれない。もし之が英國人でなかつたら、必ず永く外國生活に親む者は、その國の長短表裏を悉く察して、人間はどこの國でも結局同じものだといふ結論に達するのが當り前だが、「きもの」の作者は、餘程この「吉原」が氣に入らなかつたらしい。さもなければピエル・ロチイやプチニイや或は同國人の小泉八雲の日本禮讃に、恐るべき反感を持つた人であらう。

「きもの」の中で、吉原はピカデリイ以下に醜悪視され、女を買ふのは牛を買ふよりも容易であるとされてゐる。滑稽な事には波蘭人オッセンドウスキイの吉原記の中にも、大門の近くに「朝日ビーヤホール」の店のある事が書いてあるが、「きもの」の作者もこの名を擧げてゐる。餘程外國人の目に立つた大看板であつたらしい。しかもあれ程獨佛人には嘆美の的となつた吉原の花魁も、「きもの」に於ては、英國人の目からは「公衆の目前に恬然として恥づる處なき」賣春婦であり、花魁道中を見物しては「此等の賣春婦の後を追うて、この女達の醜業に依つて贅澤に生活してゆく豚のやうな面をした男達」を憎悪し、輕蔑せずにはゐられないのである。

小説の筋から言へば、英國貴族が日本成金の娘と結婚し、その新婚旅行に日本へやつてくると、愛妻の一族は吉原の人間であり、その娼婦からしぼり取つた金で生活してゐた事が分り、又陰謀と詐欺によつて愛妻を奪はれやうとした一族であり、悲嘆に暮れる英國青年の悲みであるが、この小説で最もその主題になつてゐるやうに見えるのが、吉原である。けれども僕の考へでは「きもの」は決して吉原といふ大遊廓を持つてゐる日本人の性慾生活を曝露し又は輕蔑してゐるのではなくして、作者の心底は、寧ろ人種問題に根ざしてゐるものと僕は思つてゐる。それは作者が英國人といふ國民性からすべてが出發してゐる。この高雅を裝ふ英國貴族が、有色人種の日本の女を嫁にするといふ事は、全然有り得べからざる處であるが、この無理から出て、吉原の醜悪を利用して、奸譎なる日本人、憎むべき日本人、非英國紳士的なる日本人、英國でない日本を痛罵したものである。「きもの」を以て單なる吉原遊廓の女奴隷制度の曝露に解釋するならば、誤である。

「きもの」の作者に、吉原裏面内部の詳細なる智識を與へたものは、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

或は同じく英國人であるベッカアの「不夜城」の書物かも知れない。この「不夜城」は、著者の言葉でいへば「日本のメトロポリス」だが、ベッカアは決して吉原の存在を否定するものではない。もし日本人吉原を以て日本の恥辱とするならば、余はこれ無藝の獨占なり、と答へん、もし外人にして日本人の不道徳を難ずるものあらば、先づサンガアの「賣春史」を讀むべし、と答へん、と序文に言つてゐる。この「不夜城」一册は、吉原文獻の上から見て、不世出とでもいふべき著作である。今日以後到底これ丈の吉原研究書は現れまい。吉原の歴史、日本堤、見返り柳から初めて、積夜具、流連、お茶挽き、吉原方言、台屋、すがかき、仁輪賀、名妓列傳、醫學統計、娼妓稼業契約の詳細に至るまで、頗る科學的に研究し盡されてある。しかもその最後の一章は、「ゴルゴタ」と題して、吉原無縁塚を説明し、哀れなる遊女の最後に就て述べてゐるのは、この章こそ誠に日本國民の胸に匕首を擬するの感がある。恐らくこの書は、國際聯盟の委員諸君の極めて重要なる資料となるに相違ない。この本は出版後既に三十年を經てゐるけれども、娼妓の人身賣買としてのこの中に研究されてゐる形式は、果して今日どれ丈改善されてゐるか、それは甚だ疑問であらう。

僕は風俗資料としてのこの書にある愛着を覺えてゐる。それは一葉の「たけくらべ」に描かれてゐる吉原の「春は櫻の賑ひよりかけて」から「天柱くだけ地維かくるかと思はるる笑ひ聲のどよめき」の光景を想像するには、この書に挿繪になつてゐる簡單な水彩畫と寫眞とが、最も好い材料だからである。その中の明治時代の遊里生活の見馴れぬ情景は、柳浪鏡花その他の明治小説家作品に現れた幾多の人物を髣髴させる。僕はこの書中の花魁の寫眞を眺めて、この豪奢と奇怪な生活が、僕等の目の前に、ごく近くまであつた事に、全く驚嘆せざるを得ない。その驚嘆を論ずる前に、僕はこの奇怪なる日本、この不思議なる日本に誘惑を感ぜずにはゐられないのである。例へ歸化人として多くの便宜はあつたらうが、三十年前にこの組織だつた科學書としての「吉原」を著した小林米珂の努力は敬服する。恐らく著者も一人の獵奇耽美の人であつたらうと思はれる。

新吉原復興

以上僕は諸外國人の吉原印象記を讀んでみて、その國々の氣質と趣味の異なるを知つたが、今度日本にくる國際聯盟の婦人兒童賣買禁止委員は、勿論こんな獵奇遊蕩の人達ではない。之に對して日本官憲がいかなる處置を執るか、又果してどんな報告が出來るか、之れも觀物であらう。かくして三百年の歴史を後にした吉原は、當然滅亡しなければならないか。それにしては餘りに世界的に有名になり過ぎた「吉

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

原」の名である。日本當局が現代の賣春制度に對して、密娼によるか散娼によるか、これは僕の關與する處ではない。然し世界の歡樂境としての吉原の名は、決して世界的に消えるものではない。もし吉原が現代に於て滅ぶべきであるならば、その制度内容方法が近代的でない爲で、大歡樂街としての吉原の存在は、決して滅ぼしたくないものだ。吉原は必ずしも密娼的遊廓として存在する必要はない。そこは日本の夜のコニイアイランドとし、大舞踏場を櫛比せしめ、四季の花樹と燈火を絶やさず、花火を上げ、水に小舟を浮べ、三層樓の大料理店は無數の提灯を點じ、大音樂堂は常に賑かな奏樂を續け、プウルに女は泳ぎ、其外無數のアットラクションを備へた大遊戲街として、それを「ヨシワラ」と名付けても、決して外國人は怪む事はない。もしこの間に藝者が散歩し、戀人が手を携へても、これは強ち咎むべきではない。僕はかういふ近代的大規模の夜と晝の遊び場を設けて、これに「ヨシワラ」の名を附けて、この由緒ある、しかも決して多くの廓清會や矯風會の老孃諸君の心配されるやうには日本の恥辱にならぬ、その世界的名稱を保存したいものである。吉原の近代化は婦人賣買禁止を前提とする事は言ふ迄もない。然し婦人の賣買は禁止しても、夜のアミユウズメントとしての新「ヨシワラ」は存在してよい、もつと輕快に、自由に、ナンセンス的に、爆發的に、舞踏的に、そして戀愛的でもある大遊び場として。

(昭和五年七月)

新刊紹介

◆**新銀行法理由** 小川郷太郎著・昭和三年公布された新銀行法の解釋の正確を期するため立法當時の委員會及議會に於ける經過を明にしたもの金融業者の坐右に缺くべからざる必要書。(東京丸ノ内昭和ビル日本評論社・價五圓)

◆**青蘆** 龜山勝詩集・(神戸市西須磨中池下八・海港詩人倶樂部・價一圓)

◆**東京府郡部に於ける集團的不良住宅地區狀況調査** 東京府社會課編社會調査資料第九輯。

◆**街の放射線** 上田穆著歌集。(東京本郷森川町一紅玉堂・價一圓三十錢)

◆**ビラ** 下川儀太郎著・元氣なプロ派詩集。(發行所同前紅玉堂・五十錢)

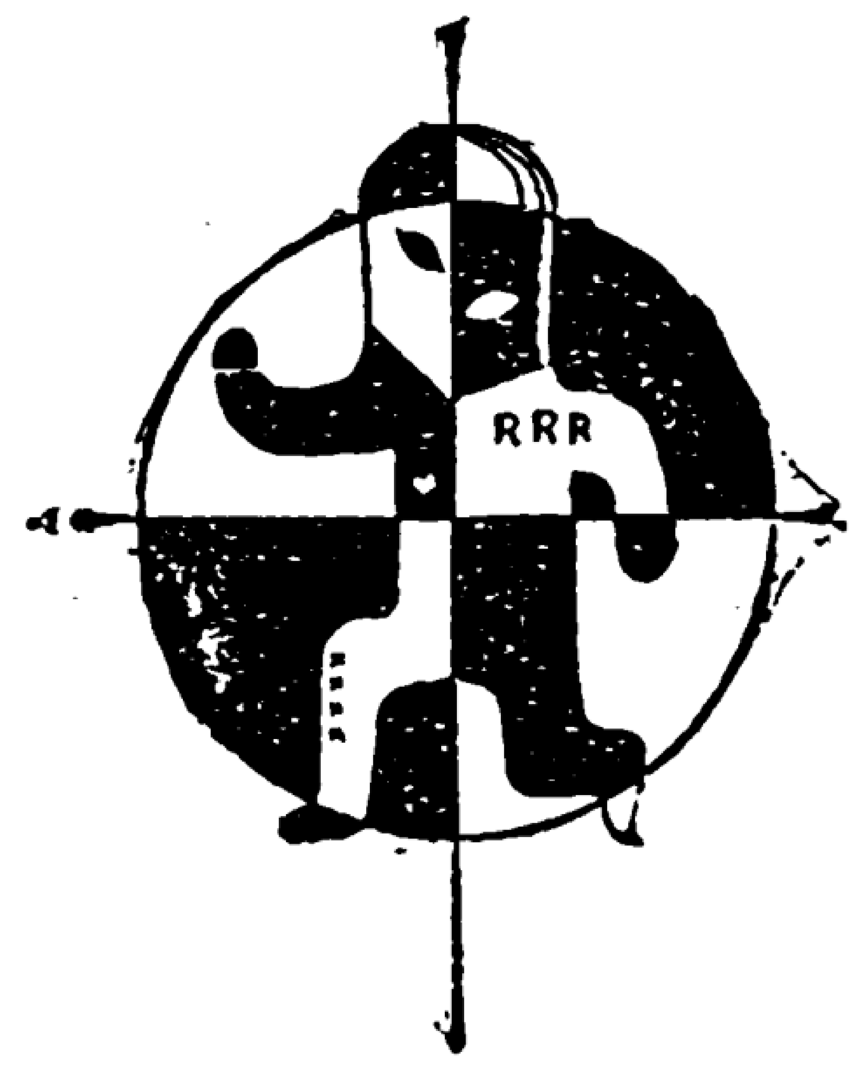
◆**大衆經** 岡田播陽著・新發徳主義者とも名づくべき著者の現代批判的教訓書。(東京麹町下六番町平凡社・一圓三十錢)

◆**誰だ？花園を荒す者は！** 中村武羅夫著・著者最近の文藝評論三十數篇を收錄す。(東京牛込矢來町新潮社・一圓二十錢)

◆**金のない猶太人** マイケル・ゴールド作・寺田鼎譯・米國新進のプロ作家である著者の生ひ立の記と見らるべき小說、ニューヨークの猶太人街イーストサイドは淫賣婦、浮浪人、不良少年はいふ迄もなく凡そ少年マイケルの腦裡に印した一切を生々と描破してゐる。(東京牛込矢來町新潮社・價一圓)

◆**財政學大綱(上卷)** 大内兵衞著・著者が東大に於ける昭和五年度の財政學講義のため學生のテキストとして書かされたもので、序論に次いで第一編財政制度、第二編經費論を含み、特に財政の社會性に重い關心を以て所論されてゐる。各章に註と多數の參考書を掲げて學徒に便してある。下卷を待たれる。(東京神田一ツ橋通三・岩波書店・一圓六十錢)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



梟と眞珠と木賃宿

林芙美子

初々としたバナヽの街を横切つて、街裏の海の見える木賃宿街には、黒い男が梯子をかついで、軒々に燈火をつけて走つてゐる。

この仄かな風景。

こんな古風な思ひ出！

定まつた古郷をもたない私は、きまつた古里の家をもたない私は、木賃宿を一生の古巣としてゐる雜草のやうな群達の中に、私は一本の草に育まれて來た。

青空の下に
大空の下に
蘖んじるがまゝ
伸びるがまゝに
雜草はよけれ

1

逆潮の上に眞赤な浮標が、ほうづきのやうに轉がつてゐた。

快速船が逆潮に乘り上げて、パンパン……エンヂンを空まはりさせながら、眞一文字に後へ流されると、白い泡沫が鷗のやうに飛び散つて行く——さうした重たい黄昏が、此海峽にたれこめると、海添ひの木賃宿の二階から、七歳の私は、大きい聲を張り上げて子供の唄をうたつた。

港いつぱいが月にむせると、波止場稼ぎのマリヤ達は、海の城の上に蛾のやうな卵子を産みつけながら、さて……涙をくゝみくゝみ、マドロス達に七色のローマンスを語り出す。

白い税關、赤煉瓦のホテル。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

空いつぱいの吐熱
怨恨もなく
さくりやくもなく
蕭々縷々として
青空を指させる
雑草はよけれ

天眞に空を指させる姿は愛しや
冬は地にひれ伏せど
春の風吹けば朗々大河の如き
生命燃えて
ひとすじに――
只一筋に伸びあがる
雑草はよけれ

氣まぐれな風のドンチユアン
雨の戀慕
雪の嫉妬

一切を彈ね返へす力
土をはじき
薫んじるがまゝ
伸びるがまゝに
雑草はよけれ

木賃宿を住家とする浮浪者達は、雑草のやうにしゆうねく強く湧き上る力を持つてゐる。

サーカス團や、田舍芝居、富山や奈良の藥賣り、眞珠をひさぐ淫賣婦、行者、てき屋、から云つた風なヴアガアボンドの群が、たつた一晩の夜の宿を何か樂しみ掛けて、次の邑から、次の町へ、呆然のやうな眞理をもとめて歩いてゐる。

そして、一生を木賃宿ばかりの世界で朽ち果てゝ行く人達もあると云ふ。

2

――その、海峽を横切るトロール船の赤い旗をお伽話のやうに眺めて暮らした最初の木賃宿は、門司の美馬屋と云ふ、駐車場を兼ねた宿であつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歪んだ柱の蔭に、古風なガラガラ人力車が四五臺客待ちしてゐて、二階は天井の低い六疊ばかりの煤けた部屋が三ツばかりあつた。古刀を賣買する女や、六神丸や繻子を商ふ支那人、サラサラー飴を賣る朝鮮人、ごんぞうの夫婦者、から云つた雜人種の地帶に、私達親子三人は、下關を食ひ詰めると、始めて此浮浪者達の世界に飛び込んで行つたのである。

港と云ふものは非常に獵奇的な情熱を持つてゐるものだ。軒に灯がつき、階下の駐車場の俥もみな出拂ひ、朝鮮人も支那人もごんぞう達も、夜の街に流れて行くと、古刀賣買の女は、街のイカモノ師を集めて商品を擴げる。

彼女は口に手拭を食はへると、赤鰯のやうな刀のサヤを拔いてもつともらしく皆の前に出す。

「ほうら、あんたの首を切つて見せうかなア……。」

白粉で固くなつた顏へ、一抹の殺氣がみなぎると、私は首を縮めて隣りの部屋へ逃げ込んでゐた。

彼女は又、風呂敷の中にザクザク古錢も持つてゐた。一文錢が五つあれば、薄皮饅頭も買へた頃だつたので、私はその古錢がほしくつてたまらなかつた。

また――

桃色ホーゼの街のマドモアゼルも意氣な船乘りを連れ込んで、煤け汚れた雜人種の地帶に、さんぜんとウラル・ダイヤを光らせて、何か酢つぱい憂愁を振り捲いて行く――。

眞珠をひさぐ女！

眞珠を賣る女！

汚れたシユミーズ、こはれた眞珠、けつして、そこいら邊のブルジヨワ夫人の如く、楚々とした純白のホーゼをひけらかしてゐるのではない。冽々とした空を飛翔する鷲のやうに、野性な、屈しない美しい魂を、双手にかゝげて彼女達は、汚れたシユミーズに平然と人生を包んでゐる、眞珠を包んでゐる。

此街のマドモアゼルは？　人造眞珠を賣る術は夢にも心得てゐない。素直な日本女、銀灰色にくもりがかゝつても、素地の上に大きい龜裂がはいつても彼女達は、良い眞珠を安すく賣る事しか知らない天眞さを持つてゐる。

汚れたシユミーズなんて問題ではない、眞珠を賣つて、一日の食にありつけばいゝ、たつた一夜の宿代にめぐりあはせばいゝのだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ウラル・ダイヤの首飾りだつて、どうせマドロス達が、一握りいくらで上海あたりの盗人市で買つて來たもの、二三日の食慾を保證する事さへむづかしいに違ひない。

だから、彼女達の天國は木賃宿の垢もぶれな寢床であり、地獄は波止場の荷物置場。

3

窓から見える朝霧の港は、變質者デイフイの描いた底なしの青さで、白い波止場の上は、ごんぞうの群達が、汚點を散らして蟻のやうに這つてゐる。

朝風に颯々と旗をなびかせた港の船は、食料や石炭を滿喫すると、此小さな海峽へ、そしてみすぼらしい昨夜の眞珠賣りの女達へ、白い煙をテープにかへてアデユをする。

木賃宿の粗壁は流離の銀幕、歴史の苔がついてゐる、あの男の影も、此女の姿も――。

四國の小豆島に、土の庄と云ふ小さな小港がある。

もう拾年も前の話だ――。

こゝは又、望外な樂土、白い夾竹桃が雨に濡れて海も空もまるで湯の煙、醬油工場へ商賣に行つて、職工さんに日向屋と云ふ宿へ案内された。宿は勿論木賃だが、此邊では遍路宿と云つた方が、早く判りさうだつた。

宿は荒物兼業で、百姓もすれば宿もすると云つた風な、粗朴なかまへ、壁一重へだてゝ牛がバカバカ床を蹴つてゐる音が、なぜか遠い所へ來た、あのキユツとした味氣なさを感じさせる。

向日葵のやうに大きいぼたん色のポンポンダリヤが、牛小屋の裏の荒地にギクギク咲いてゐた。

八疊ばかりの潮たれた部屋には、按摩の女や、玩具の風車賣りの老人、蠟管のレコードで、村祭を廻つて歩るく蓄音機屋、草壁から來た四國めぐりの遍路者の夫婦者、こんな人達の間に混じつて、牛のひづめの音が枕にパンパンするのを聞きながら、みんながみんな、昔の華やかであつた生活の話をしあつた。

「明日は八栗さんの祭にでも行つてみようと思ひます……。」

熊本から來た風車賣りの老人は、寢轉ろんで、ふやけた大豆を針金にさしながら、拾年間果てしもなく、木賃宿を流浪した話をした。

此老人は、廢兵上りでもう七十五にもなると云ふ、一人の娘は、日

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

獨戰爭で赤十字軍の看護婦として、青島へ出征したが、歸へつて來ると、一ヶ月もたゝない内に、脊髓と肺で亡くなつたので、一人になつた彼は、玩具の風車を賣り賣り餘生をおくつてゐると云ふ事だつた。遍路の夫婦者は、經營してゐる自轉車店が、沒落しかけたので、たのもし講に當らしてもらへるやうに……等々みんな因果めいた話を持つてゐた。

遍路相手の木賃宿と云ふものは、長く滯在する者程、自炊生活者が多くて、こゝでは按摩の女が、自炊して居ると云ふ事だつた。だから、部屋の隅の新聞紙の上には、ゆきひらの小さいのや、米袋が置いてあつた。

自炊でないものは、宿の人に何合程、米を焚いてくれと言つておきさへすれば、ちやんと焚いてもくれるし、おかずもみつくろつてくれる。

田舍の木賃宿と云ふものは、ブルジヨワ旅行と違つて、單位がはつきりきまつてゐるものではない、拾錢だつて泊られるし、五錢だつて泊めてくれる。木賃宿は行商人にも流浪者にも肩の張らない天國だ。

だが、天國といふ奴には食はせものが多いが、此天國も安いだけに、蒲團にはあらゆる人の垢が苔をなして、蚤と南京虫と虱とが巣をくつてゐる。だから木賃宿を古里としてゐる人達は、夏でも冬でも、眞裸で蒲團へもぐりこむ。紳士シュク女には計り知られない雲の下の世界である。

4

アスファルトの鋪道の上に、撒水車が虹を飛ばして通ると、黃昏の灯が泡のやうに涼々と街を染める。空を燃やすネオンサイン、新宿の鋪道はインターナショナルの街。

寶石店の飾り窓を覗けば、田舍から出て來る糸操り女の手をかざる、尨大な輪をしたルビーの指輪、街裏のカフエーの女がまるで星のやうに愛してゐるアレキサンダー、硝子製オパールの帶止め、グレートラブを包むところの人絹の洋裝店……

デパートの屋上からは螢を飛ばして、桃色のスパークに百貨店の白色イデオロギイを廣告代用に振り撒いてゐる、夜の新宿のアタマ、ころころ血を吸つた蚤のやうな新宿の街、その街の片隅に、ルンペン浮浪者が貴夫人の尻を見送つてゐたり、街頭畫伯のカリカチアのモデルになつたり、新宿は汚水の街、革命家の街、ルンペンの街だ。

あらゆる思想が亂踊して、曰くマルクス、曰くレーニン、バクーニン、デイツゲン。だが空の上はアメリカの潮、アメリカの風だ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

街裏の木賃宿街から湧いて出る、花賣りも踊り子も、素足に白い粉を塗つてうどんがマカロニにてんかんする。

時代の急テンポな潮が、運河のやうに、新宿の舗道を流れてゐる。

金ボタンのマルクス信徒は、——まだまだ此世の中は、ルンペン層と、ブルジョワ層が大部分ですからね——さう云つて、彼等信徒は、ルンペンを石塊のやうに轉がして、中村屋のアルヘンテイナコーヒと肉饅頭を三度もお變りして、アメリカ・ナンセンス孃を待ちあはしてゐる、眞に樂しい新宿の街！

風船玉はものを云はない。

ものを云ひたけれやパチンと彈ける。

ルンペン浮浪者達も、風船玉と同じことだ。時が來ればパチンと彈じけやう、彼達は雜草の力を信じてゐる、古郷がなくとも、住家がなくとも、朗らかにパチンとはじける心を持つてゐる。

午前二時！

午前三時！

銀灰色の白層建築をそれて、夜更けの新宿裏の木賃宿街は、すばらしい假裝行列の群で氾濫する。

辻占賣り、街頭畫伯のモデル男、土工、浮浪者、殘飯あさりのジオゲネス、家出して來たカチウシヤ、革命家のおこぼれ、グロテスクな街の天使、聲色屋、藐々たる彼等のレイメイである、一時！　二時！は——。

新宿裏の木賃宿街に登場する人物は、子供に至るまで、偏狹な自分の人生觀を持つてゐる。

5

ところで——

經濟幕の裏が、こんなに消極的になると、此頃の新宿裏は、小さな看板に手拭つきと云ふ張り紙を出した木賃宿があつた。

手拭つきだからと云つて、壹圓も二圓も取るのではない。

最低參拾錢も出せば、呑氣なドンキホーテである。

これも七八年前の話——。

十二月も押し迫つて、私は浮浪者の街を、宿をさがして猫のやうに心では、可憐な涙をためてゐた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

その頃の新宿街の、中村屋の前あたりは、ヨモギのはえた空地なんかもあつた事を覺えてゐる。

雪どけで、こねつかへした道を、私は風呂敷包一ッさげて、トンネルのやうに暗い、高架線の下をうらぶれた思ひで歩いた。

木賃宿ぐらゐなつかしい古巣はない。

一寸みすぼらしい姿をして、普通の旅館にでも行かうものなら、木で鼻をくゝつたやうな冷い肌ざわり、それがどんづまりの木賃宿になると、人情はさう薄いものではない。

參拾錢の宿泊料で、自由に手足が伸ばせる。寒い街頭の風に吹かれた私は、その夜の蒲團が、どんなに嬉しいものであつたか——。

蠟燭をつけてくれた、三疊の古ぼけた部屋には、まるでもひとりの私が居るやうに、動くたび、壁の折れた私のもひとりも動く。

夜が更けて來ると、街と反對に、木賃宿は活氣がついて來る。

諸君は梟と云ふ鳥を知つてゐますか！

夜だけの世界しか知らない鳥、その安住するところは、宇宙にかゝはりもないやうな、森の中の暗がりに、神秘めいた鳴きかたをする、あの梟。

ホロツクホ！　ボロキテホウコウ！　こんな風に鳴くのだ、と、小さい時、木賃宿の眞珠を賣る女が、お伽話にしてくれた事があつたが、晝は眠つて、夜になると月を食ふ鳥、あの梟が、私の部屋へとまどひした話——。

參拾錢で伸び伸びと眠りを淸算してゐる私の部屋の障子をあけて、古風な女が蒲團にもぐり込んで來た。

「御めんなさいな！　助けて下さいな！」

彼女は針金のやうにピンピンした心臟を持つてゐた。

そして彼女が蒲團の衿を首までプリ上げない間に、彼女は鳥打の男に引づり出されて、ピシヤピシヤ、水がめでも叩くやうに毆られてゐた。

毆られる眞珠！

6

こゝでは、夜更け連れ込んで泊る女の事を梟と呼んでゐた。

「あゝあれは梟だよ。」

そんな女達が、夜になると、どこからか湧いて來て、都の即興詩人を食はへて來る。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

そして、木賃宿の洞穴のやうな部屋の中は梟とルンペンと革命家とデモクラシイ、ところで、乳酸は朝になれば風船玉のやうに彈けて、落書きだらけの壁の下に、梟が天國を夢みてゐる。

木賃宿風景の中には、チヤツプリンの描くあんなハイカラな世界觀はない。をかし味なんて不死身にしてしまつた放浪者達が、呆然と殘飯だけの眞理をもとめて、折裂する日を待つてゐる。

登錄ずみの自由勞働者が、一杯の牛飯と、一夜の雨露をしのぐ爲に、あらゆるブルジヨワジイの奴隷となつて、銀色の舖道にツルハシをさし込みながら、美しいブルジヨワの町をこしらへて行く。

彼達には新用語は必要ではない。

まして食へもしない思想なんて、生きてゐる間のパンがほしいのだ。

木賃宿に巢食ふ者達には、未來の約束とか、規律とか政治とか、一切彼岸にあるものは彼等には必要ではないのだ。

まして眞珠をひさぐ女達！

賢者を知らない梟の群達！

陽陰に伸びるだけ伸びた雜草の彼女達は、隙間だけ、腹がふくれてをればいゝ、雨露しのげればいいのだ。

說明を嫌ふ彼女達は、氣やすめを信じない。魂を資本に、肉體を資本に、木賃宿の部屋隅には、親や、子供や、不具な伴侶者を養つてゐる、濁流は濁流のまゝに――

北九州の炭坑街での木賃宿、大阪天保山の船宿、兵庫、神戶、裏日本の市振、こんなところを、或は一人で、或は親子で私は雲のやうに轉々した。

色々な土地土地の旅情は、豪華に、粗朴に、天眞に、私の心をかすれて行つたが、果てしもなく擴ろく、なごやかなものは、人間の心であつた。

それも、木賃宿のみの人情であつた。

人間は裸形になるとおそろしい。一切の都會心は裸形の人間の前に出ると、粉々とくだかれてしまう。

彼達は、彼女達は、雜草のやうに空をめがけて伸びあがる。

木賃宿は私のなつかしい古巢です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政黨の親分・乾兒

永川俊美

政友會の巻

政友會、民政黨の親分、乾兒を書けと言はれても、此の節の政治家には、膽ッ玉の大きい俠客肌の親分がだん〳〵少くなり、乾兒を利用して大臣を狙つたり幹部の地位を擁護しようといふケチなのが多い。親親たらずんば、子子たらずで、親分が既にそんな了見である以上、乾兒もまた勢力のありさうなのや選擧に金の出さうなのを漁つてカバン持ちをやつたり使ひ走りをするに過ぎぬ。ヒドい奴になると甲と乙と二口も三口も口をかけて『轉んでもたゞは起きぬ』といふ功利的打算的なのが揃つて居る。

まづ親分・乾兒と言ふ感じは自由黨の流れを汲んだ政友會の方がシックリ來るやうだ。政友會で親分らしい親分はイの一番が鈴木喜三郎君であらう。彼は司法畑の男だけにガッチリして居つて、法律第何條で固めたやうな顔をして居るが善いと思ひ込んだところはどこまでも善い、悪いと言ひ出したら誰が何と言つても悪い。否好きと言つたら好き嫌ひと言つたら嫌ひの度が激しい方だ。一藝の士であればどんな男でも可愛がる方で、死んだ女房の弟鳩山一郎君が筆頭乾兒であることはあまりに有名として、選擧怪文書の山岡萬之助君でも、喧嘩惣といはれる原惣兵衞君でも、カバン持ちの篠原和市君でも、柔道の大家宮川一貫君でも、同縣の川口義久君でも、皆んな彼が幕下だ。警視總監をやつた宮田光雄君も幹事長の森恪君も鈴木親分に悪い方ではなく、森君は近頃久原房之助君の御機嫌も取り結んで鈴木・久原の接近を圖つてゐる。森君位になると坂本



鈴木喜三郎氏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一角、青木精一、志賀和多利、土倉宗明なんどの諸君が取り巻いて居る。森君に取まきが出來るやうに鳩山君にも中島守利君や星島二郎君や田子一民君や大野伴睦君等がチョイ〳〵顔を見せ、東京市選出の關係で安藤正純君なども鳩山君に近づいて居る。其外にも彼はあんな風のお坊ちゃんでボーッとして居るところから隱れた乾兒があるやうだ。鈴木喜三郎君の一統は黨内に三十名と言はれ總裁問題が起ると鈴木君は有力な候補の一人になる。



森恪氏

○



床次竹二郎氏

鈴木君と對立するものに床次竹二郎君がある。『政界行脚』の足がくたびれて近頃は政友會の大幹部で納つて居るが、その實一番番頭の榊田清兵衞君は逝き、大内暢三、長島隆二君等が揃ひも揃つて落選したばかりか、貴族院の金杉英五郎君も近頃は横を向いて居るので、昨今乾兒らしい乾兒は先づ瀧正雄君位が親玉であらう。併し風采はよし、貫祿もありそれに金ばなれもよいところ、下自ら蹊を爲し黨内にはうつ然たる勢力がある。殊に九州國體は彼の政治的財産で鹿兒島のお國元では藏園ぢいさんを初め中村、寺田、東郷、崎山、津崎、永田の諸君何れも君の馬前に打死を誓ふ組である。その他金光庸夫（大分）向井倭雄（長崎）中山貞雄（熊本）佐藤重遠（宮崎）の諸君はいふまでもなく東北の鎌田秀雄君を初め所在に床次黨の散在を見られ得る。

○

鈴木、床次兩君の間にあつて野心滿々たるは狸庵ととぼける中橋德五郎君で、彼は老來健康を害し盲腸炎で大磯の別莊に引込んで居るものの、選擧費用も奮發すれば黨本部の面倒も見る。たゞふところ刀の吉植庄一郎君が議席を失つて働き手がなくなつては居るが、田邊熊一君を出店とし、牧野良三君等が飛びまはつて居る。めぼしい乾兒といふものは少いけれどもお次の犬養内閣では鈴木、床次抗爭の際に乘じて內相の椅子を拾ひはせぬかといふ評判もある。



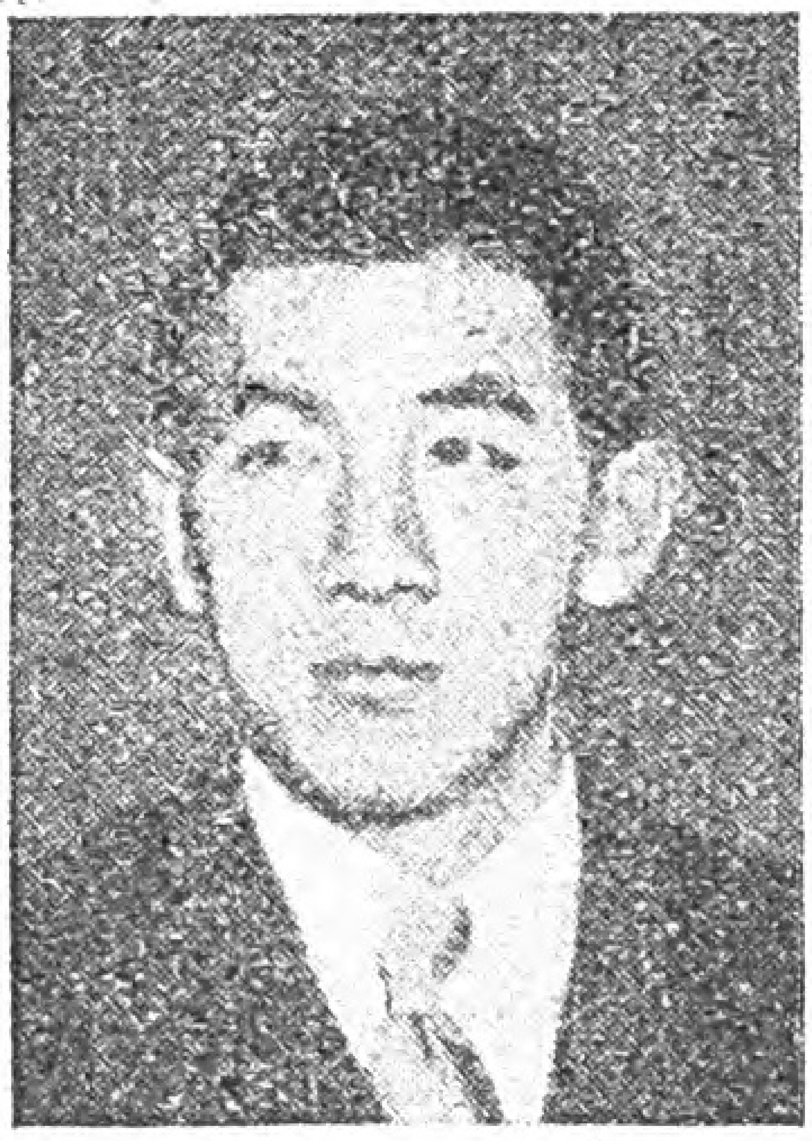
中橋德五郎氏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○肝腎な御大犬養毅君はどうかといふに選擧演説には適役であつたが、家付きの群雄が割據して特別議會後の幹部改選にも思ふやうな手腕が揮へなかつた。秋田淸、大口喜六、砂田重政、土井權太、若宮貞夫、難波淸人、岡田忠彥、久山知之、高草美代藏、星島二郎、鈴木梅四郎、楢原悅二郎、淸水銀藏といつた、革新系や舊國民黨系さてはお國ものが左右を堅め、隱居役の古島古一念老が何かと言へば帷幄の裡に參畫し、御曹子と言はれることを好かぬが矢ッ張り御曹子たるを免れぬ健君が何れも其の直系であることはいふまでもない。しかし秋田君も犬養君の瘦せ腕にばかりすがつて居られず近頃では望月系と謂はれて居り、砂田君なども農林參與官をやつた關係から山本(悌)系と目せられて居る。彼が總裁になる時には鈴木、山本(悌)、久原、岡崎君等が力を添へ純理派の山崎達之輔、東武、山口義一君等も盛んに推戴論を唱へたものだが、それが必ずしも生死を共にするといふのではない。たゞ政權一度び彼の頭上に降れば、忠義顏をした有象無象が彼の身邊に雲集するであらうことは今から眼に見える。



犬養毅氏



犬養健氏

○久原房之助君は田中義一大將に依つて政界に進出し、あられもなく次の政友會總裁をさへ狙つてゐたが、ソロバンだけでは政界のことははぢき出されるものでない。田中大將病歿の直後にはいかにして自分の地位を固めんかに腐心して居つたが、金魚も踊り疲るれば水の底に沈むものである。昨今彼の一ぴん一笑を氣にする黨人もなささうだ。一頃は便所の中にまで電話を備へつけて活躍したものだが、近頃では門前極めて閑散のやうである。それでも彼の財布をねらつて之を親分にかつぎあげやうとして居るものもないではない。島田俊雄君や森恪君がさういふ人々といふ譯ではないが、兩君とも黨内では久原系を以つて見られてゐる。その外にも松岡洋右君を初め鄕里關係のものがある。もつとも松岡君は『長州で田中



久原房之助氏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の後とりは俺だ』とばかり、次の外務省政務次官位には役不足を訴へモウ一度は外務大臣をやつたやうな面構へである。この松岡君を始め、保良淺之助、庄晋太郎、西村茂生、兒玉右二君がいくらか久原君の息がかゝり、また津雲國利、藤井達也諸君も久原黨と謂はれ田子一民君など久原君に啗からず思はれてゐる。

○

山本条太郎君はいま政友會の政務調査會長に君臨して威勢を張つて居るが、根が實業家で頭もよい代りに採算に長けて居る。『この男は』



山本条太郎氏

と見込めばどこまでも可愛がるが、一方使へなくなれば弊履を捨てるやうなものだ。それは玄關番から書生に至るまでさうで時節柄『浪費節約』『無駄排除』といふヤツを實行して居るのであらう。この前の總選擧にも政界引退を聲明し、やつと推薦候補で當選を承諾したといふ形を取つたが、之は自分の選擧費用がかゝるばかりでなく、黨員が大勢寄つて來れば滿鐵總裁位何べんやつてもかなはんと思つたからであらう。それでも解散の夜には金貰ひの前代議士連が十何人夜中の二時までも三時までも彼のうちに座り込んで動かなかつたさうだ。山本（条）君は、野田大塊翁の後を受けついだ形で、山崎達之輔君や野田俊作君は彼によい。また熊谷直太、松岡洋右、岡田忠彦、島田俊雄、山口義一、山崎猛、今井健彦、青木精一君等も所謂山条系の人々たるものであらう。前田米藏君等も彼と惡くない方だ。

○

同じ山本でも悌二郎君の方は生一本で前農林大臣が落選した時には



山本悌二郎氏

世間を驚かした。人間は正直だが金使ひなど下手で『いくら貰ふか、何に費ふか』まで聞くので乾兒どもが同じ金を貰つても氣まづがる。それでも今は筆頭總務で幹事長の專斷ぶりを抑へ次の内閣には是非一椅子をと虎視眈々たるものがある。東武、砂田重政君等は前内閣の政務官であつた關係からまた武田徳三郎君や加藤知正君等は所謂乾兒であらうが、大物では汽車顚覆の際『金はいくらでも出す』と言つた内田信也君が幾らか近いやうである。殘る親分は望月圭介君位のものであるが、彼は中々の人情家である。奥さんがないから女に對する人情話は山ほどあり、それもあちら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

こちらに向ふ様で一生懸命になるものが多く御大典當時など望月家の

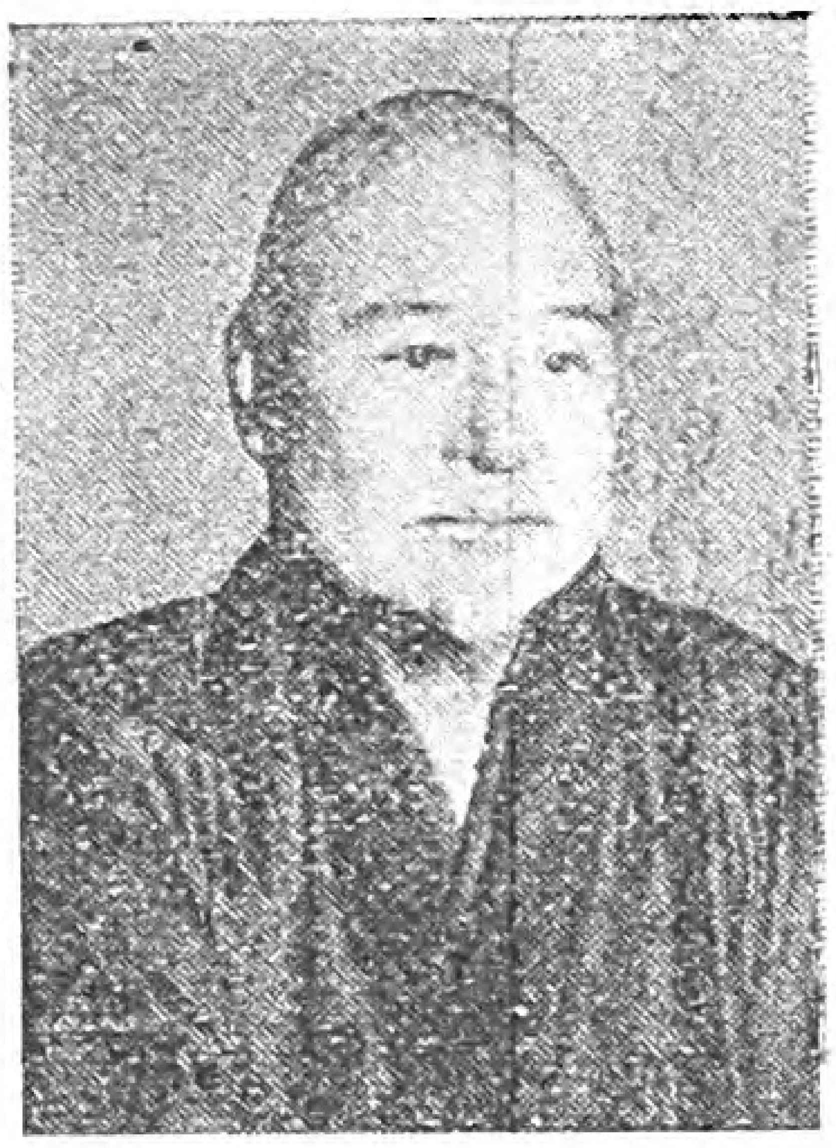


望月圭介氏

紋付を着込んだのが鉢合はせをやつて一口話に殘つて居る。乾兒といつては秋田清君等がしつかりしたところで、外には前田米藏君や臨中彌右衞門君がよいといふものもあるがホンとうの乾兒としては宮澤裕君を擧げ得る位のものであらう。

○

以上の外高橋是清翁を親分と言ひ得べくんば三土忠造、堀切善兵衞



高橋是清氏

君等は乾兒で、三土君も堀切君もその一半は高橋翁によつて今日を爲して居る。また政友會内には甲州財閥の若尾系があり、親分の小泉策太郎君は家出したまゝ復籍を許されぬが乾兒の倉元要一は政友會に殘つて居り、水野錬太郎君は貴族院に納まつて居るが、加藤久米四郎君は黨に控えて居るといふやうなのもある。

民政黨の巻

政友會の親分、乾兒について一瞥を終つたから今度は民政黨の方をのぞいて見るとしよう。民政黨は流石に血統は爭はれぬもので、改進黨の昔から議論が好きであつたが今日でもキチンと取すました吏僚肌、吏黨肌のものが多く、從つて政友會に比べると親分・乾兒の色彩が薄い。一體官僚や吏黨には『他人のことはどうでもよい、自分さへ出世すればまた何をか言はんや』といつた風の人物が多いもので、情實關係を排し個人個人が獨立の政治生活を爲し得れば、これに越したことはないが自己本位の我利々々盲者が揃つて居れば踏み台になつたものが可愛さうだ。それでも民政黨もまた政黨だ。何々系何某派といふものがないでもない。眞つ先きに眼にうつるのは内務大臣の安達謙藏君だ。犬養君に言はせると『安達には學問がない』さうだがどの位の學問があるかは別として兎に角彼は努力家だ。ことに黨務にかけては非役の時でも在野時代でも平押しに勉強する。それが今日の勢力を築き今日の地位を獲たとも言ひ得



安達謙藏氏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。彼の乾兒といふものを閣内に求むれば遞信大臣の小泉又次郎君などその一人であらう。尤も、小泉君も山王台時代とちがつて此の頃は同縣の戸井嘉作君や平川松太郎君、また秘書の眞鍋儀十君や安田正雄君などに羽ぶりを利かせて居る折柄であり、安達君の乾兒といふと不滿があるかも知れぬが少くとも閣僚中では安達君と親善關係である。



小泉又次郎氏

若しそれ政務官級になると所謂安達系なるものは非常に多く、遞信政務次官の中野正剛君、文部政務次官の野村嘉六君、さては商工參與官の野田文一郎君、陸軍參與官の吉川吉郎兵衞君、遞信參與官の福田五郎君等はさうである。內閣書記官長の鈴木富士彌君も外務政務次官の永井柳太郎君も彼の機嫌を取ることを忘れない。



中野正剛氏

○

中野正剛君は犬養門下であつたが途中から憲政會に移り民政黨に入つた。侃々諤々の割に處世術も心得て居るので安達君は例のニタリニタリで『中野君九州には僕の後つぎがなかタイ。一つ勉强して貰はにや……』と血の氣の多い中野君を自分のものとして仕舞ひ、自分の目付役に古巣の遞信省に廻して居るが、中野君も同志には加藤鯛一君や杉浦武雄君、簡牛凡夫君や、岡野龍一君を控えて居る。鐵道政務次官をやつて居た山道襄一君も安達系の一人であるが、彼は鐵道大臣の江木君が官僚風を吹かせて彼を袖にするので、とう〳〵辭めてしまつて氣晴しに洋行したが『後身に道を讓る』といつて辭職した口の下から自分よりはウント年かさの黑金泰義君を控えられたにはウンザリしたらしい。

○

安達君は黨の方へも懇意なのが多い。特別議會に病を押して出席して居たのを政友會の暴力議員になぐられた賴母木桂吉君はその一人だ。また組閣當時に入閣洩れで鄕里のものに示威運動にやらせた原修次郎君、不戰條約のイン・ザ・ネームスで鬧えた中村啓次郎君九州の本田恒之君北海道の小池仁郎君を初めとして、武內作平、古屋慶隆、河西豐太郎、井上剛一、小山谷藏、西英太郎、野中徹也、三好榮次郎、一重松重治、由谷義治、平山岩彥、小山令之、深水淸、宮崎高四、三浦

虎雄、春島東四郎、漢那憲和の諸君は何れも彼と惡くない。斯樣に多數の人々と懇親を結んで居るのは、安達君が金を出して呉れるからではなくて『選擧』に對する采配を握つてゐるのも大きな原因だ。兎角いま時はあゝいふ人に睨まれると損だと思ふのが人情の常であらう。

○

安達君の向うを張るといふ譯でもないが內閣において副總理爭ひをやつてゐるといはれるものに鐵道大臣の江木翼君がある。江木君は濱口君と共に加藤高明伯の直參であつたが、加藤伯逝きて若槻君の後に濱口君が民政黨總裁になると、安達君の勢力が伸び、ことに一選擧に二百七十といふベラ棒な手柄を樹てゝ以來は安達君に竝ぶものがなくなつた。これは江木君のあまり感服し兼ねるところで、何か政治上の重要問題が起ると濱口總理に帷幄上奏をやる。宇垣陸相の辭意が傳はると之を慰留して無任所大臣の陸相代理を置いたり、財部海相に入智惠して加藤軍令部長を辭めさせロンドン條約の諮詢に骨折つたり中々やり居る。こんな風だから乾兒が出來れば喜んで迎へるのだが、どうした譯か一向眼ぼしい乾兒が出來ない。



江木翼氏

まづ鐵道省關係で黑金泰義君は別としてその外には誰があらうか。司法政務次官の川崎克君は安達君のところへも出入するが內々江木系を以つて任じてゐるといふことだ。川崎君はまた宇垣陸相のところにも出かけることが好きで江木君一本槍とも決めて居ないが、江木君の直參は長州の村岡吾一、澤本與一、道源權治君位のものであらう。たゞこゝに面白いのは安達內相と仲の惡い三木武吉君が『反安達』の感情から自然江木君に接近して居る。三木武吉君は疑獄事件で足を踏み外して居るものゝ、其の左右には井本常作、斯波貞吉、手代木隆吉、桝谷寅吉、藤田若水、高島兵吉、戶澤民十郎、村松恒一郎の諸君と息が通ふて居るので、この三木君の向背は江木君の勢力に影響を及ぼすものと言はれ、江木君も心にくからず思つて居るとのことだ。

○

大藏大臣の井上準之助君は黨人としては一年生だ。併しこれからは黨人生活をするといふので大臣となると間もなく入黨したが、井上君に善いのが中野正剛君だ。中野君は左に安達君と善く右に井上君を捕へんとして居るのだから『渡世がう



井上準之助氏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

まい」といはれるのだらう。井上君は大分の出身でこの郷里關係から內務參與官の一宮房次郎君が頻りに出入りをして居る。それは彼の大親分山本達雄君が井上君と親密であるところから來て居る點もある。其他の閣僚では親分といふ程のものもないが農林大臣の町田忠治君は


町田忠治氏

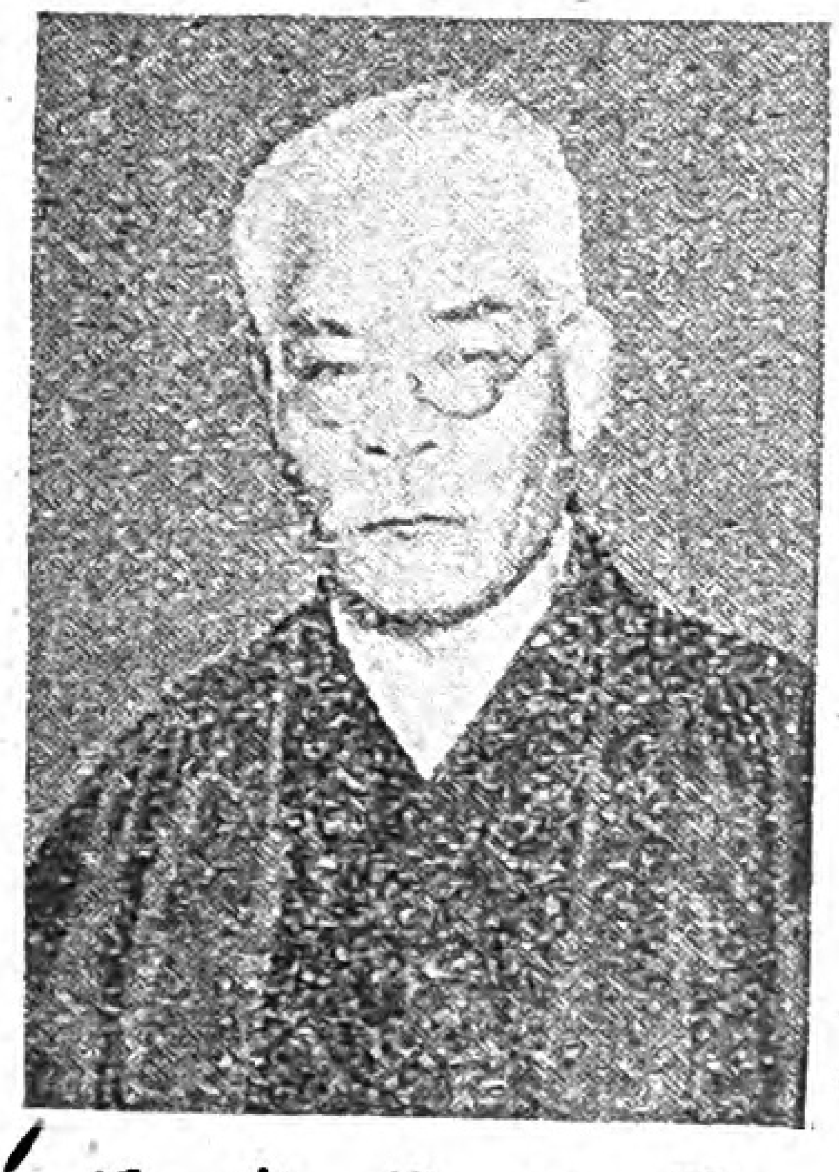
お役所關係で高田耘平、山田道兒の兩君とつながりまた大藏政務次官の小川郷太郎君とも善い。其の外には川崎安之助君、村上國吉君、信太儀右衞門、松村謙三君などが擧げられて居る。文部大臣の田中隆三君や拓務大臣の松田源治君、商工大臣の俵孫一君等には之といふ乾兒もないが、病氣でふるはぬ宇垣一成大


田中隆三氏

將はあれでも相當乾兒があるやうだ。もつとも宇垣君は民政黨員ではなく政友會にも乾兒があるが民政黨からは前にも述べた川崎克君が前內閣で陸軍省の參與官をやつた關係から出入し、その外にも永井柳太郎君や鈴木富士彌君が時折御機嫌を


松田源治氏


永井柳太郎氏


濱口雄幸氏

伺ひに行く。山道襄一、牧山耕藏、田中武男君等も果して乾兒と言へるかどうかは分らぬがよく面會する。永井柳太郎君は早稻田關係や郷里關係で堤康次郎、武谷甚太郎、竹田儀一、宮澤胤勇君等と親しい。

それでは御大の濱口雄幸君はどうかといふに、中島彌團次君が自ら乾兒を名乘る以外に特別に之といふ乾兒がない。一時は郷里關係で三木君が濱口君を自分の親分扱ひにして居たが近頃では遠慮して居るやうだし、濱口君も一切黨員に甲乙をつけて居ない。だから民政黨といふ集團の親分であつて個々については好惡はあつて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も成るべく色に出さぬことにして居るやうだ。また大臣や政務官以外幹事長の富田幸次郎君、原修次郎君、降旗元太郎君も或る意味で一部のものから親分扱ひにされて居るが眼ぼしい乾兒といふものは見當らない。小橋一太君が親分肌のところはあるがあの通りの始末で強ひて言へば滿鐵總裁の仙石君が親分肌で


仙石貢氏


山本達雄氏

あり、その乾兒には濱口雄幸君まで加へねばなるまい。併し濱口君を乾兒扱ひにするにはあまりに色消しになる。また御隱居役山本達雄君は松田拓相田中文相以下舊政友本黨系の大親分であり、選擧の時には人によつて多少小使錢位は出して居るやうだがあまり表面には立たずに網うちばかりやつてゐる。そこへ行くと同じ民政黨顧問の若槻禮次郎君は一ぺん總理大臣はやつたし、ロンドン條約は締結したし、いまさら親分、乾兒でもあるまいと男爵の夢位を見て居るやうだ。

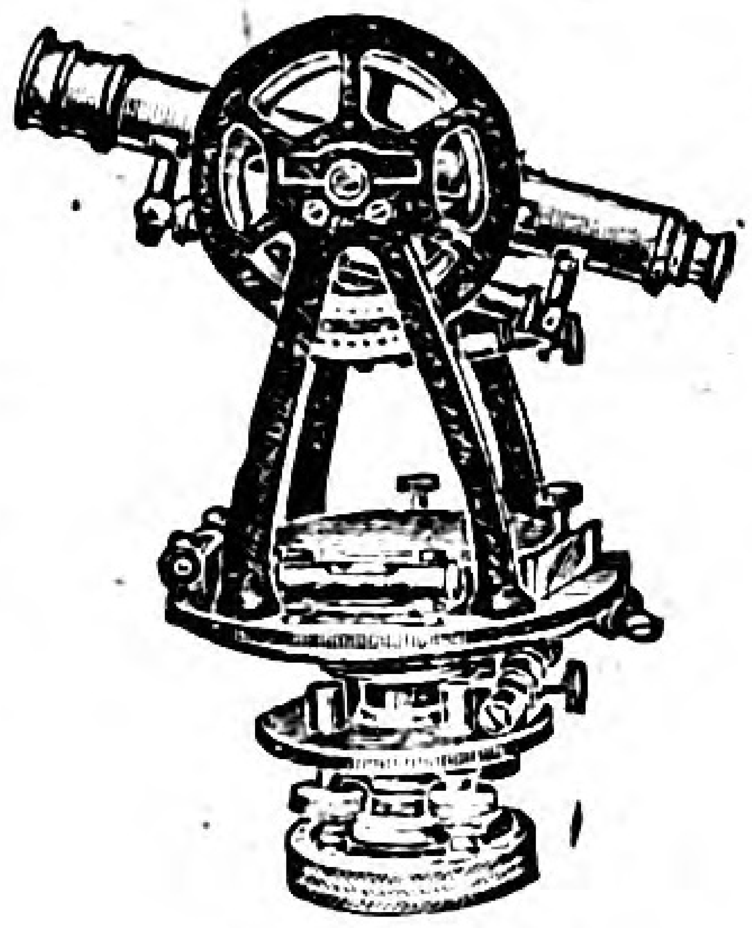
（五・七・二）



時計、貴金屬、寶石銀製品を求めるなら創業三百年の歴史を持つ銀座唯一の老舗!! 當店を御信頼御用命下さい

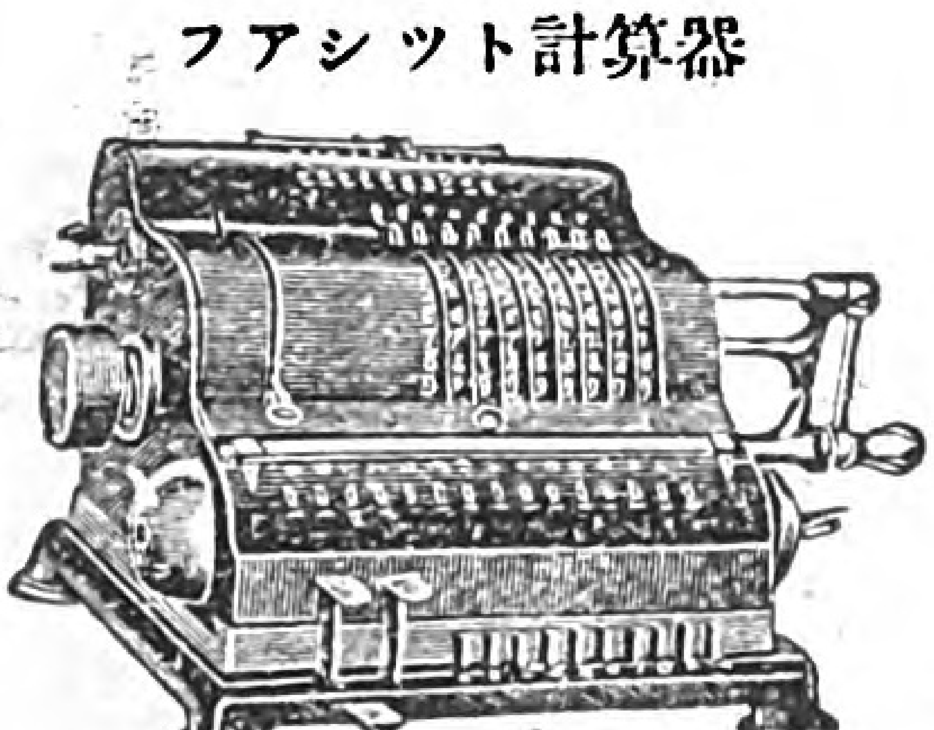
ガーレ
ウイルド
玉屋製

トランスヒツト

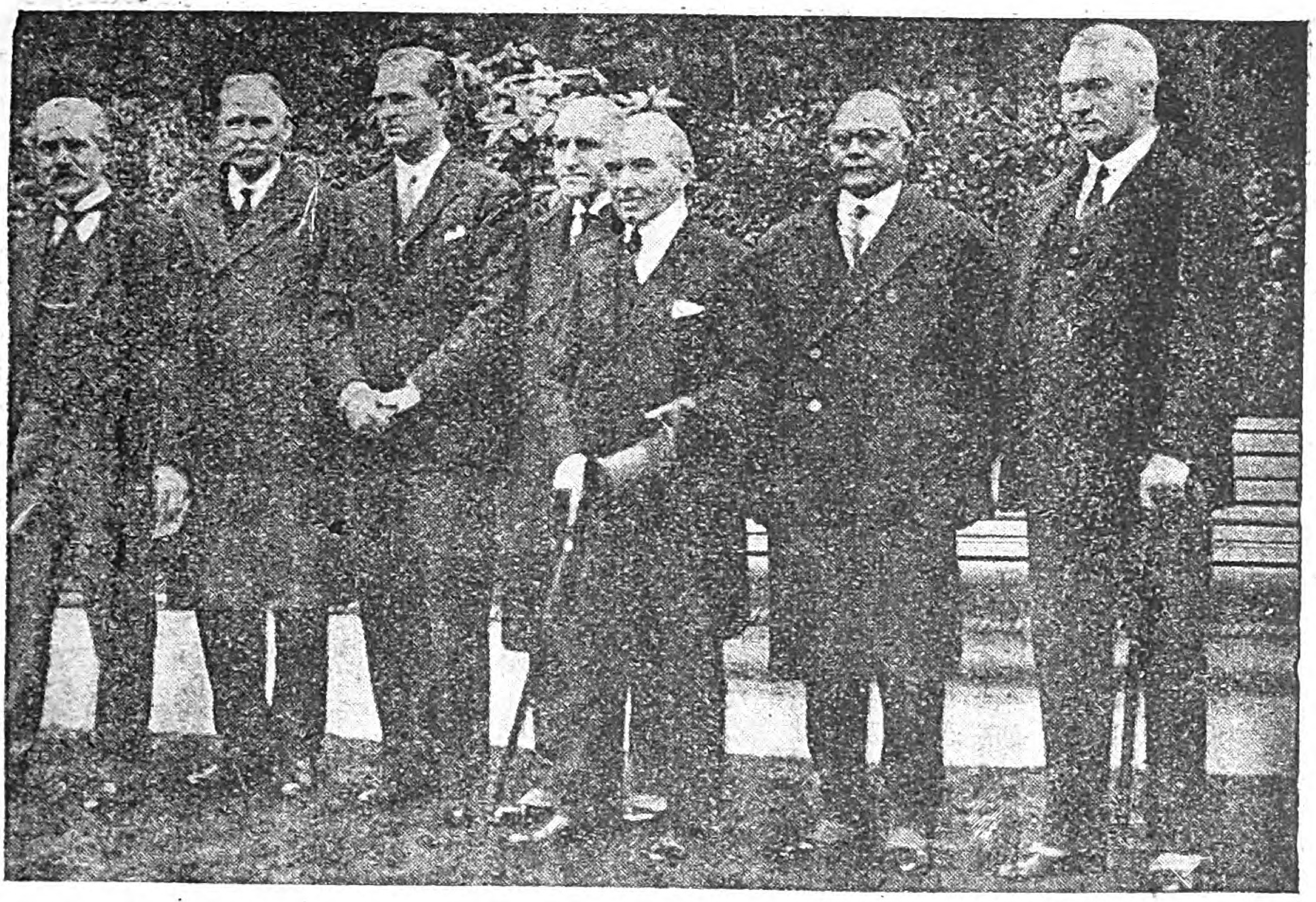


トランスヒット・レベルを初め測量器　計算器
精密器械等精確なる器機は最も確實なる私共へ!!
（カタログ進呈）

フアシット計算器



銀座
玉屋
東京銀座三の五
電話京橋7—305



右より七人目マクドナルド、八人目ブリアン、十人目タルヂユ、十一人目スチムソン、

倫敦會議に於ける各國全權の印象

齋藤博

一、心優しい理想家

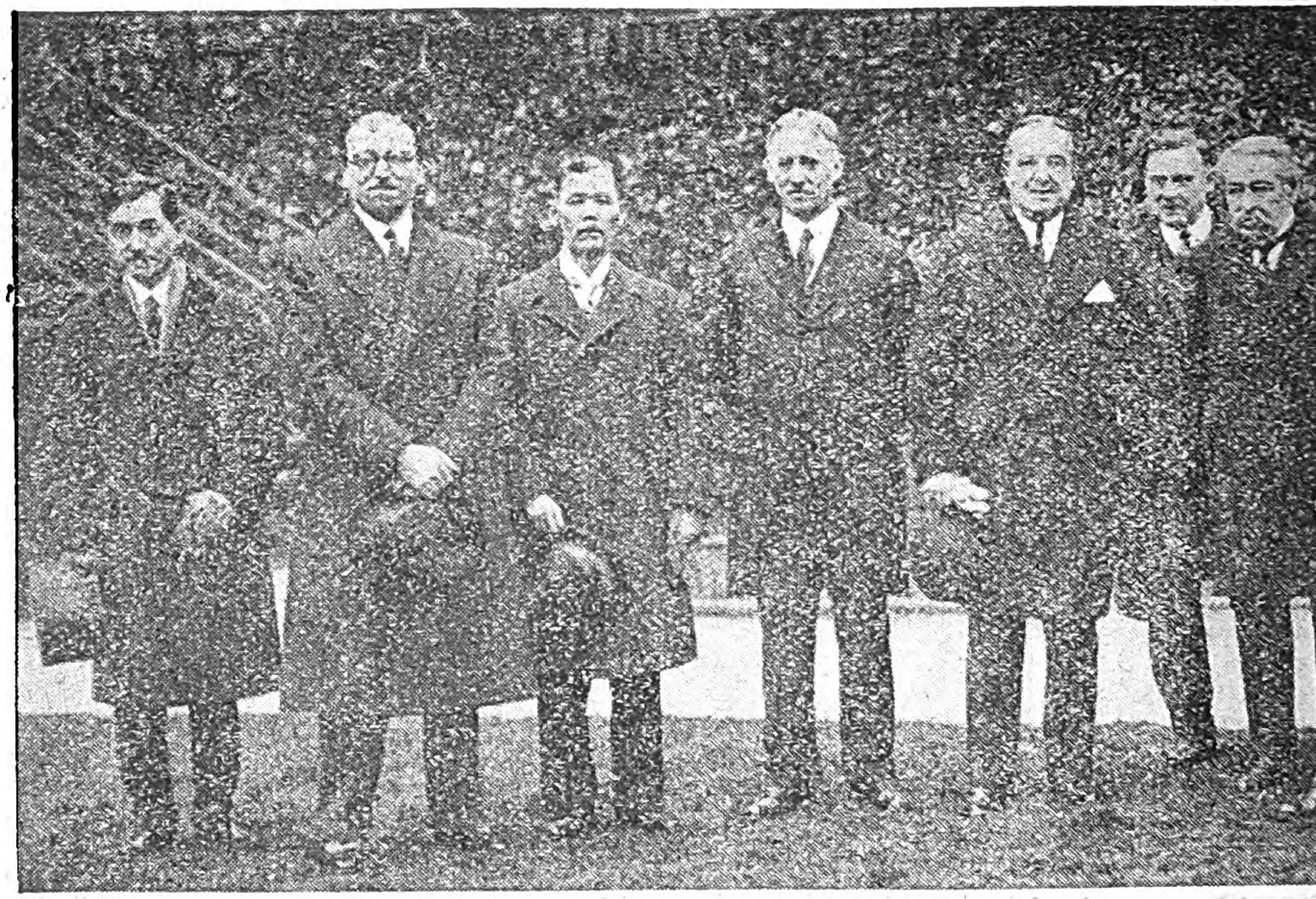
倫敦海軍會議の中心人物、英國首相マクドーナルド氏は、實に思ひもかけぬ人柄であつた。

新らしい勞働黨を作り上げ、既成政黨を排して、英本國の政權を握るに至つた彼、一九一四年歐洲大戰の始まつた時には、『國賊』、『賣國奴』、『獨探』の罵聲にひるまず、四面楚歌の裡に敢然孤立して、非戰論を唱へて止まなかつた彼は、必ずや烈しい、突進的な、高壓的な性格の持主であるに違ひないと思つて居た。

處が、此豫想は餘りにも無殘に裏切られたのである。

溫容怡然として、謙讓其もの丶如き彼を、見出した時に、其指導力の泉源は、果して、何處から來るのであらうと、全く好奇心の橫溢を感ぜずには居られなかつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



十二人目若槻、十三人目グランヂ、左端筆者齋藤の諸氏（英首相官邸庭前にて）

會議の當初、議事は遲々として進まなかつた。ワシントン會議でも、ジュネーヴ會議でも、作り得なかつた補助艦の協定を作り上げて、各主要海軍國の海軍力全部を、一定の制限の下に置かうと云ふのであるから、問題の至難なることは云ふ迄もない。併しマクドーナルドの態度は、ロイド・ジョージが滿場を壓するの慨を示して議事を促進させた態度とは、餘りの相違であつた。ヒューズが議論の枝葉に亙らうとするのを引戻して、本筋の軌道を直行するに勗めた態度とも、亦餘りの相違であつた。こんなことでは、會議が一體纒まるのか知らんとは、多くの人々の頭に浮んだ、尤もな疑ひであつた。

それ程に彼は穩かであつた。氣兼ねをして居た。議場の討論は時々横道に外れた。而も彼は苦がい顏をし乍ら、無爲の內に日を送るものゝ如く見えた。會議は不成功に瀕して居ると云ふ噂は、開會後程なく寄り〳〵聞えたのであつた。

併し、彼の特長は、斯う云ふ卑近な方面に在るのでは無かつた。彼は常に云ふ、

『力によつて得たものは永續きがしない、道理に依つて得たものゝみが本物である。』

彼は理想に依つて動く。そして彼は自ら何物をも求めない。名譽をも、力をも財產をも。そこから彼の大勇が生れる。そこから彼の非凡

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の力が湧く。

彼は朔風嘯ふく北國の小漁村に生れ落ちたときから（一八六六年生れだから今は日本式の六十五歳である）貧困の辛酸を嘗めた。笈を負うて倫敦に出掛けたときには、職を求めて得られず、將に饑ゑむとしたことすらあつた。彼は熟々考へた、今日の社會組織には缺陷があるのではないか、不合理な點があるのではないか。人間の眞價値とは無關係に、富者は益々富み、貧者は益々貧しくなる。それでは社會が立ち行くまい。文明の健全な發達は望み得まい。自ら貧者の群に加はつて、其極端なみじめさを味はつた彼は、此問題の解決に其の天職を見出したのであつた。

當然の歸結として、彼は研究の歩を社會主義に進めた。薄給の身の、晝飯を喰ふ金の無い彼は、ギルドホールの圖書館に行つて、水を飲み乍ら、サン・シモン、ルイ・ブラン、プルードン、ロバート・オウエン、ウイリアム・トムスン、等の書物を貪り讀んだのであつた。カール・マークスの著書も勿論彼の熱心な研究の對照となつた。併し、犀利な批評眼を持つた彼は、書を讀んで悉く之を信ずるの愚を學ばなかつた。彼はオウエンが、

『社會主義は、實に物質の力の上に、人の力を置くことである。之に反して、資本主義は、人の力の上に物質の力を置くことである。』

と云つて居るのを、最も簡潔に眞理を道破したものと推賞して居る。

マークスの價値に關しては、彼は

『マークスが、社會組織に關する混沌、模糊たる人々の感じを、力ある的確な實際運動化するに至つた視力及了解は誠に敬服せざるを得ない。……併し、彼の經濟論の實際的價値は餘程疑はしいものである。彼の歴史哲學も亦同じく其儘には受取り難い。』と批評し、更に、

『マークス自身はマークス主義より大きく、且其生命が長い。有象無象の弟子達が八釜敷く議論をまくし立てゝ居る時に、其騒々しさに腹立たしくなつたマークスは「憚り乍ら、俺はマークス主義者ではないぞ。」と呶鳴つたと云ふ逸話が殘つて居る。亡びざるものはマークス主義ではなくしてマークス其人である。』

と述べて居る。

マクドーナルドは人道主義者であり、理想家であるが、其の心の奥底には蘇格蘭人の常識が横はつて居る。出來ることゝ出來ないことゝのけじめが明かに眼底に映つて居る。今日の社會は不合理である、改造を要する。併しそこには inevitability of gradualness（漸進の不可避性）がある。徒らに空想に羽根を生やして、一朝にして理想境を招來しやうと云ふやうな夢は、彼の最も侮蔑する所である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

從て彼は露西亞の過激派の革命を極端に非難して居る。

『我々の旗幟は倫理に基く民本、自由、進歩である。そして暴力に依る專制の罪惡視である。…英國の勞働黨は露西亞の社會主義とは、何の共通點をも有するものでない。』

それならば彼は何故にソヴイエット政府を承認するの態度に出でたか。これは當然起る疑問である。

彼は一方に自由を尊ぶ。各國民は其國民性、其歷史に顧みて、自己の最善と信ずる途を選ぶの自由を有する。彼は又他方に於て、平和の確立を、信條として居る。ソヴイエット聯邦との國交恢復は、歐洲の平和、繁榮の見地から是非必要であるとの確乎たる意見を有する。

彼の對露政策は理想と、事實を直視する政治家的常識の、渾然たる調和と云ふことが出來る。

マクドーナルドは、斯やうにソヴイエットの政策に反對であるばかりでなく、英國内の極左派に對しても正面から反對してゐる。彼の常識は常に『あせるな。いゝあせるな。』と叫ぶ。從て彼はなま溫るいと云ふ批難を度々受ける。併し彼の實際政治的勢力の泉源は、熱烈な理想を鹽梅するに此の彼の着實穩健なスコットランド式常識を以てする所に、見出されるのである。

彼が一方に於て理想家であり、他方に於て常識的であることは、今度のロンドン會議でも、明かに看取された。

彼は明言したことがある。

『吾人は決して一國の安全が、海に泛ぶドレッドノートの數に依て決すると云ふやうな、小供らしい想像に耽つたことはない。……唯正義が、國家を向上せしめ、其永遠の安全と名譽とを確保するものと思ふ。』

彼は戰前の獨逸と英國との間に海軍協定を成立せしめて、製艦競爭を止めることが出來なかつたのが歐洲大戰の近因だと主張して居る。自國の申分ばかりを固持して、相手方の立場に充分の考量を拂はなかつたエドワード・グレーの外交は、失敗であつたと批難してゐる。

此一貫した主張から割り出して、彼は、世界各地に散在する大英帝國の領土を防護する爲めには最少七十隻の巡洋艦を必要とすると云ふ英國海軍の傳統的主張を押へて、五十隻に滿足させることゝした。そして此土臺の上に英米豫備交渉を進めたのであつた。

彼の態度が斯樣であつたからこそ、彼の平和を確立しやうとする誠意が明かに了得せられたればこそ、英米間のパリテイーの原則を定めた所謂ラピダン假協定が成立したのであつた。

愈々本會議が開かれてからも、彼の人類愛から派生した平和確立の大主義に對する精進誠意は參加列國代表の疑ひ難い所であつた。小さな意味に於ける會議の指導は必ずしも上手で無かつたことは前にも述

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

べた通りである。併し、彼の理想に精進する勇猛心と、無理に一時に多きを望まぬ常識と、全く己れを空しうする犧牲心とは、人を動かさずには措かなかつた。此等の特長は、それに彼の天稟のユーモアを交へて、今度の會議の空氣を溫和ならしめるのにどの位效果があつたか知れぬ。至難な問題を兎も角も解決して條約を成立させ、而かも之を日英米佛伊五ヶ國間の條約とすることに成功したのは、彼の人格に負ふ所少なからぬのである。

彼が己れを空しうする犧牲心は至る處に發揮されて居る。彼は勞働黨の搖籃時代にも、羸弱の身に拘らず、一人で二人分の働きをして居つたと云はれる程其身體を虐使したものであつた。會議の最中にも、國內問題としては炭鑛問題、失業問題、涉外問題としては埃及問題、パレステイナ問題、印度紛擾問題等大問題が相次で彼の考量を要求して居たのであつた。

或る會議の席上で串戲半分に佛のブリアン外相が

『今朝イングリッシ、チャンネルを渡る時に、パリから電信を受取つたが、それに依ると下院で外務大臣が居ないのは不都合だと或議員が呶鳴つて居ると云ふことである。どうもパリとロンドンは僅か七時間の距離なので、こんな苦情が出て困り切つて居る。』

と述べると、マクドーナルドは

『あなたは未だ幸福だ。私の如きはひどい目に會つて居る。パリとロンドンは七時間の距離だが、ウエストミンスターの議事堂と此セント・ジエームズ宮殿は五分間の距離に過ぎない。從つて自分は每日同時に議會と會議と双方に出席することを要求されるのだ。』

と云つて一同を笑はせた。

彼は實に良く務めた。身體の續く限りは務めやうと云ふ決心は明かに見えた。

會見を求めると、彼の手帳は每日のやうに朝の八時頃から夜に至る迄、殆んど寸暇無しに前約が書き込まれて居る。其間に漸く三十分許を都合して若槻全權と會はれると、話半ばにもう次の會見者がつめかけて止むを得ず次回を期して別れたこともあつた。

善くもあれだけ大問題を幾つも控へて、身體が續くものだと、感心しないものはない有狀であつた。

本來羸弱な身體であるに拘らず、今日あの絕倫なエナーヂイーを現はして居るのは、全く理想に精進し、己を棄てゝ掛かる、精神力の致す處と觀ずる外はないと思ふ。

序に、彼の勤めることゝ、優しい心と、ユーモアとを同時に示した、插話の一つを語ることを許して貰はう。

彼の二男マルユーム・マクドーナルドは、勞働黨議員として下院に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

席を持つて居る。そして今度の會議では親父の祕書を務めて居た。其マルユーム君は、昨年京都の汎太平洋會議に英國委員の一人として出席した。其縁故で今度日本全權部の顧問であつた樺山愛輔伯と、新聞聯合を代表して渡英した岩永祐吉氏とは親しい間柄になつて居たのであつた。

そこでマルユーム君は一つ夫等の人を中心として日本全權部の幾名かを御馳走しやうと思ひ立つた。そして、私に、『妹（イシュベル嬢）も引張り出すし、印度事務大臣夫婦にも來て貰ふ積だが、財部全權夫妻にも來て戴けるだらうか。』

と尋ねた。印度事務大臣ウエヂウッド・ベレ氏は英國側全權の一人であつた。早速財部全權に御相談すると、『喜んで行かう』と云はれたので、其旨を先方に通じて置いた。そこで財部全權夫妻を筆頭に日本全權部の數名が、下院内の特別食堂で晩餐の御馳走になることになつた。

すると、御馳走の當日になつて、マルユーム君は、私に、

『今夜は、いゝおやぢも出席すると云つて居るよ。』

と耳打ちした。

マクドーナルド首相が、子煩惱なことは豫ねて聞いて居た。理想を同くした最愛の夫人が亡くなつてからは、一人子供等に全愛を濺いで居るのであつた。其子供等が日本全權部を御馳走しやうと云ふのを聽いて、自分も出席してやらうと云ふ處に、優しい父性愛の心床しい發露が感ぜられた。

首相が自ら出馬しやうと云ふのにはも一つ動機があつたらうと思ふ。それは斯うである。財部全權夫妻も來られる。若い者許りで失禮があつては困る。自分も一つ出て助けてやらう、そして序でに親しみを深くして、少しでも會議を成立に向はせるやうに努めやう。──こゝにも彼が我身の逸安を思はず、仕事の爲めに精進しやう、とする、奮闘の氣魄が見えるではないか。

當夜は恰も下院で炭鑛法案が討議されて居た。勞働黨内閣の運命の懸つた重要法案である。

處が食事半ばにけたゝましくベルが鳴つた。デイヴイジョンの合圖である。デイヴイジョンは英國議會の投票の一形式で、ベルは議員の招集會である。

首相も、マルユーム君も、ベン全權も、ナイフとフオークを棄てた。そして『十分許り失禮します』と云つて席を立つた。

ベン全權も仲々ユーモアに富む。づか〳〵と夫人の傍に行つて、

『此デイヴイジョンで負けるかも知れない。さうすると討死だ。』

と云ひ乍ら、夫人の頰に輕いキスをして、一同をドッと笑はせた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すると、マクドーナルド首相は、

『全くこれで勞働黨内閣が倒れるかも知れない。そうすると財部大將、あなたはウイレストン・チャーチル氏と談判をしなければならなくなりますよ』

と云つたので、一座の者は再び笑ひこけたのであつた。

デイヴイジョンの結果は八票の差で勞働黨の勝ちに了つた。そして丁度其直前に前内閣の藏相であり、大海軍論者として聞えたチャーチル氏は軍縮問題に就て非常な强硬論を公にしたからであつた。宴會は賑々しく續けられたのであつた。

斯樣な爲人を持つてマクドーナルドを中心として出來上つたロンドン海軍條約には、自ら彼の性格が反映されて居る。平和確立の大理想を將來に望見して、實際的に出來得る丈の處を纏めてある。彼は最終總會の席上で云つて居る。

『(今回の軍縮の事業は)ワシントン會議やジュネーヴ會議に比較すれば長足の進歩を遂げたのであるが、我々の希望に比すれば及ばざること遠いものがある。現在は單に一階梯に過ぎぬ。事業は永く將來に繼續されなければならぬ。』

彼は常に、事業は大きく永い。そして我々の成し得るところは小さく短い。出來る丈けを盡くして少しづゝでも事業を進展せしめ得れば吾々は滿足しなければならぬと云つて居る。

哲學、理想、常識を持ち、溫厚、謙讓、懇切の德と、學識、經驗、熱情、活力とを、一身に兼ね備へたジェームス、ラムジー、マクドーナルドは、今世政界の生んだ一つの偉觀、新らしい型の一大政治家である。

二、挺でも動かぬ人

『スチムスンさんは結論に達する迄に相當時間が掛かる樣ですね。』

と、會議の席上で英國全權部の一人が私に囁いたことがある。

それ程に彼は遲い。彼は深思熟慮する。併し一度考へをきめたが最後、挺でも動かない。そこで人は彼を賴りに思ふ。

其性質は彼が小供の時から多分に持つてゐたところらしい。イエール大學時代の同窓生は今も彼の遲い事と、頑固なことゝ、賴りになつたことを語り草にして居る。

彼の頑固なことはロンドン會議の末期にも例證されて居た。事件の内容は預つて置くが、條約の起草の終らむとする時になつて、英國側では、或る字句が意味不明確だからも少し明確に書き直したいと申込んだ。趣旨に於ては米國側も勿論異議の無い事柄であつた。併しスチムスンは、一旦極めたことを此期になつて換へ出しては切りがない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

解釋は英國側の希望通りにして少しも差支ないが文句を變へることは承認が出來ないと云つて、英國側を手古摺らせたのであつた。

條約の調印が四月二十二日になつたのも、彼の頑張が原因を成して居る。條約の實體が大體極つたので愈々四月十一日から起草と云ふ段取りになつた。處が丁度都合の惡いことに四月十八日から二十一日迄はイースターの休日に當つた。英國の風習として神聖なイースターはどうしても之を守らなければならない。ブリアンは

『いざとなつたらイースターに働けば好いではないか』

と云つた。するとマクドーナルドは

『それはいけない。貴方みたいな異端者にはそんな考へも出やうが、信心深い英國人にイースターに働くなどゝ云つて聞かせたら、それこそ大變だ。全國の教會がロンドン會議を呪ふに極まつて居る』

と大に反對した。

するとイタリーのグランデイは

『十七日迄に條約調印の用意が出來ないとすれば二十四、五日頃にして貰ひたい。自分はどうしてもイースター休暇中に一旦國へ歸らなければならない。さうするとどうしても二十三、四日にならなければロンドンに戻る譯に行かぬ。』と申出た。

之を聞いたスチムソンは氣色ばんで、

『さう云ふことで調印の日取りを延ばされてはとてもかなはない。伊國全權は會議が始まつて以來度々御歸國になつた。然るに日本の全權や我々は一月開會以來一度だつて歸つたことはない。從つて種々國務に澁滯を來して居る。會議の關係で調印が延びるのは止むを得ない。併し會議と直接關係のない事由で之を延ばすなどゝ云ふことは以ての外である。米國全權は二十二日の船を保留して居る。是非十七日調印と云ふことにして戴きたい。』

あの複雜な事柄を條約文に仕上げて、之を印刷して調印の用意をするのに十一日から十七日迄の一週間で間に合はないことは判り過ぎる程判り切つた事であつた。夫に拘らず、

『それでは十七日調印と云ふことに致します。』と物穩かなマクドーナルドは其場を納めた。

案の定、十七日にはとても間に合はず、神聖なイースターの間も、條約起草關係の委員丈は引續き開催して、やつとこさで二十二日調印に迄漕ぎつけたのであつた。

スチムソンの頑張りで、聖ジエームズの宮殿の扉は歷史あつて以來始めてイースターの最中にも開かれて居たのであつた。

レヴアイアサン號は其出帆を一日延ばして、調印の翌日豫定の通米國全權一行を其故國に運んだ。そしてグランヂ全權の名は調印者の中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に見出されないのであつた。

スチムスンは、一八六七年紐育に生れた。(即ち日本の年で今年六十四歳である)。辯護士を職として居るのであるが、一九一一年から一三年迄タフト内閣の陸軍大臣であつた。一九二七年春には革命に次ぐに革命を以てした、中米のニカラガ國の紛擾解決の爲めに、クーリツヂ大統領の命を受けて、特派使節として出張した。そして、大地震の時に米國救護班長として東京横濱間に一方ならぬ斡旋をしたモツコイ陸軍少將と協力して、首尾好く解決案を見出して歸つた。

それから彼の外交的手腕が認めらるゝに至つて、一九二七年秋ウツド比律賓總督の歿後、其後任となつた。そして昨年フーヴァー大統領が就任するに至るや、擧げられて國務長官の要職に就いたのである。

彼は比律賓の往復とも日本に立寄つた。東洋に於ける日本の地位と云ふ問題に就ては充分研究もし考慮も繞らしたものと見える。彼は度度、日本は東洋に於ける安定力、文化力を代表するものである。日本と好く相了解し協調して行く事が、太平洋の平和、進歩の爲め最も緊要な事である。と語つて居る。ロンドン會議に際しキヤツスル特派大使を日本に送つて其趣旨を繰返さしめた彼は、固い信念の下に動いたのである。

遲いけれども一旦思ひ込んだ上は梃でも動かぬ彼、眞正直な、一本筋な彼が、斯かる信念の下に日米關係を處理しやうとして居るのは、兩國々交の上から見て、誠に頼もしく、喜ばしいことであると思ふ。

三、其他の全權

今度の會議で日本と關係の直接であつたのは何と云つても英米兩國である。從つて最も接近の機會も多く、最も深い感銘を受けたのは前に擧げた英米の兩主席全權であつた。併し此等勇將の下には仲々剛の者が揃つて居た。其内でも日本側から見て、英國海軍大臣アレクサンダー氏と米國上院議員リード氏には種々の點で感心させられたのであつた。

○

アレクサンダーは一八八七年生れ、當年取つて僅かに四十六歳である。併し其敏腕と奮闘力とは已に業に認められて、彼の政界に於ける將來には多大の期待が掛けられて居る。

威張るとか、勿體振るとか云ふことは、彼の性格に毫の無いことである。海軍大臣として始めて登省する時に、巡査である兄貴と連れ立つて、ホワイトホールの大通りをテクつて行つたと云ふことは、今でも人々の語り草になつて居る。

彼は議員として、又勞働黨消費組合の會長として、其令名は既に永

く響いて居た。軍縮會議に就ても彼が其明敏さを以てマクドーナルドを助けたことは一通ではない。『海軍は即ち吾等なり。』と傳統的の誇りを感じて居た英國國民を後盾として、執拗に強硬論を稱へた英國海軍を納得せしめて、巡洋艦の所要隻數を七十隻から五十隻迄下げさせたのも、彼の手腕に負ふ所が多い。英國の此讓歩があつたればこそ、英米パリテイーの原則も確立し、今度の條約も成立可能となつたのである。彼は與へられた役割を首尾好く勤めたものと云はねばならぬ。

勞働黨の將來に其人ありと唄はれるのも、無理からぬことゝ思ふ。

○

米國全權部で日本側の事務を擔任したのはリード上院議員であつた。日英米の協調をどうしても成立させやうと云ふ根幹の決意はスチムスンの胸中に結ばれたのであらう。併し之を實現するに方つては、泉のやうに策の湧くリード全權の智嚢に待たざるを得なかつたのであつた。

リードはペンシルヴエーニア州選出議員として、米國上院の重鎭である。移民問題、海軍問題等に就ては押しも押されもせぬオーソリテイーである。

夫人が又誠に善い人で、松平リード會談と二人の名前が世界的に結び付けられたのを喜んで、松平全權の家に夫婦で晩餐に招かれた時に、松平リード兩全權を並べて記念品の授與式を行つた。記念品は夫人がボンド・ストリートあたりで見付けて來た純銀製の帆前船であつた。

『松平リードの二つの名前が此會議で結ばれたのは實にリード家に取つて名譽のことゝ思ひます。記念に松平全權と私の夫とに一艘づゝ此船を差上げます。どちらも同じ大きさですから完全なパリテイーに爲つて居ます。どうか何時までもスクラップなさらないやうに願ひます。』

松平リード兩全權はリード夫人の此心盡を此上もなく喜んだのであつた。

ロンドン會議は決して机上の海戰では無く、新しい時代の平和的氣運を促進しやうとして、誠意誠心列國全權の協力相助めた會合であつたこと、又全權相互の間に友人としての親しみのあつたことは、此さゝやかな插話にも觀取されるではないか。

彼は一八八〇年ピッツバーグ生れである。今年五十一歳の壯年、尚ほ春秋に富んで居る。閣僚になつて貰ひたいと云ふフーヴアー大統領の懇請を受けたが、自分は未だ上院に仕事があると云つて之を斷はつたと云ふ噂である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼の才氣と活力と誠實とは、これから先きの米國政界に、彼をして常にライムライトに立たしめることであらう。

○

獨逸賠償案で世界的名聲を博し、米國副大統領の榮位を迄贏ち得たチャールズ・ジー・ドーズ（一八六五年生れ）が、七面倒な全權大使の役を受けて英國に使するに至つたのには、何か特別な理由が無ければならぬ。吾人は之を軍縮問題に見出すのである。

一九二七年ジュネーヴ軍縮會議の決裂は英米意見の扞格が其原因であつた。夫れ以來兩國間の感情は何となく面白く行かなくなつた。之を何とかせねばならぬ、本筋に戻さねばならぬと云ふのは、フーヴアーが大統領就任後第一に頭に浮べたところであつた。

マクドーナルド内閣が英國に成立するや、軍縮問題解決の機運が益益濃厚になつて來た。そこでフーヴアーはドーズを煩はして其機運を利用しやうと試みた。

ドーズは野人である。儀禮の八釜敷い外交官などは最も其性に合はぬ。けれども英米關係の改善は刻下の急務である。一肌拔がうと云ふので大使の任務を引受けたのであつた。

さればこそ着英早々ロッシーマウスの故鄕に避暑中であつたマクドーナルドを訪ねて、軍縮問題の打合せをやつた。それから矢繼早やに話を持ち出して、マクドーナルドとの間に豫備交渉を重ねて、所謂ラピダン假協定の御膳立をしたのであつた。

所が彼は淡白な男である。愈々本會議が始まつて、スチムスンが首席全權として出馬する段取になると、凡てを彼に讓つて自分は蔭に引込んでしまつた。そして必要があれば何時でも顏を出すが先づチスムスンに任せて置いて充分だと、悠々自適して居た。

彼が野人で無頓着であることは度々ロンドンの社交界に波紋を起した。あの有名なドーズ・パイプをどんな四角張つた席上でも平氣で吸ふ。皆ながかしこまつて頭を下げて居る妃殿下の前でも平氣で之を吹かす。それ丈ならまだしもだが、其パイプで妃殿下の肱を突つついて、

『如何です、妃殿下』

など〻無雜作にやつてのける。あたりの貴紳淑女は驚いて目を瞠つて居る。併しそんな目に未だ嘗て出遇つたことのない妃殿下は、非常に興がつて居られたと云ふ話すらある。

併し彼は心の篤い人である。莫大な私財を匿名で慈善事業に擲つて、知らん顏をして居る。あんな氣持の好い、男らしい人は無いと知る人は皆云つてゐる。

軍縮問題も兎に角一段落が着いた。淡白な彼は、もう俺れの用は濟んだと、ロンドンを引上げるのではないかと噂されてゐる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼は實に米國丈けに見られる快男子である。

○

佛伊は今度の會議では、日本との關係は間接に過ぎなかつた。從つて親しく折衝の機會も少なく、自ら英米全權程に思出は無い。

理路整然は佛國人の特長であるが、端然として音吐朗々議論を進めるタルディユー首相の態度は壯美そのものであつた。服裝の整つて居る點に於て、彼は我松平全權と共に、會議の双璧と稱せられて居た。

六十八歳の高齡を以てブリアン外相は未だ老いない。首相たること六回、外相たること五回、其他文相、法相の職に居たことも兩三回あつた。歐洲國際政界の元老、耆宿として、此度の會議では彼は特に首席全權同樣の待遇を與へられて居た。そして機會あるごとに平和主義者、協調政治家の本領を發揮して、あの圓熟した熱辯を振つたものだ。佛國側が今度の條約を五國條約として調印することを承諾することになつたのも、彼の意見に負ふところが多かつたのであらう。

ファシズムが歐洲政界の變り種であると等しく、グランディ氏はロンドン會議の變り種であつた。

齡三十一にして、外務次官、ムッソリニが八面六臂を發揮して、內閣諸省の大臣を兼任してゐた時代に事實上の外相として敏腕を振つて居た。一九二九年秋愈ムッソリニが首相專任となつた時に、三十五歳の彼は擢んでられて外相の要職に就いた。

彼は偉大な體軀の所有者である。其の黑々とした頭髮及顎髯にも彼のエナージィの横溢が讀まれる。其のエナージーを攜へてロカルノ、アンゴラ、ブタペスト、アゼンス等所々の會議に伊國代表として縱橫の手腕を現はしたのであつた。國際聯盟でもヘーグ賠償會議でも各國の古つはものを相手にして大にファシストの爲めに氣を吐いたのである。

彼は今度の會議で度々英語で議論を戰はせた。アクセントは少し可笑しいが達意の辯をどし／＼と進める。

『あなたは永らく英語を御勉强になつたのですか』

と、或る宴席で私が尋ねた。すると、彼は、

『いや、英語を勉强し始めてから丁度五ヶ月目です。だから仲々思ふやうに口が廻りません。』

と答へた。彼のエナージーと才幹と勇氣とには全く驚かざるを得ないのであつた。

彼はムッソリニの寵兒と云ふことだ。今度の會議では全然ムッソリニの訓令通り佛國とのパリティーを認められる迄は何事も協定しないと云ふ一本槍で押し通した。樂でもあり、厭でもある役廻りだ。彼はそれを滯りなく演じた。さうして列國の惡感をも招かずに濟ました手際は仲々に見上げたものである。

彼は一見むくつけき樣子をして居るが、非常に愛嬌がある。伊太利なまりの英語と佛語で頻りに御世辭を振撒いて居る。そして婦人方の間などに非常な好評を博して居た。

未成品ではあるが、彼も確かに優れた政治家的素質を多分に持つて居る。（昭和五年七月八日稿）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

若槻の發展

馬場恒吾



若槻禮次郎氏

若槻禮次郎氏が倫敦軍縮會議に居る際、彼れの作る漢詩の一つが倫敦の新聞記者の手に入つて、彼れは日本の詩人にせられて了つた。そして新聞で書く事には、詩人と云ふものは何處の國でも貧乏なものだ。若槻も日本ではボロ／＼の貸自動車を乘り廻してゐるさうだと。（尤も倫敦では全權として立派な自動車に乘つてゐた）。若槻の駒込の邸宅は地所が二百坪に足らぬ。片瀬に別莊があるが、それは飯を食ふ道具があるのみで、泥棒が入つても取るものがないので失望して歸ると云ふ有樣だ。家では高等官五等位の生活をしてゐる。彼れが政黨總裁を永く勤めなかつた眞實の理由は、第一は自分に財産がないこと、第二は人に頭を下げて金を拵へるのが厭だと云ふこと。此二つの理由が徹底してゐるが故に、彼れは民政黨が出來る時に、總裁になる事を固辭した。黨の幹部は大體に於て、若槻が總裁になるだらうと期待した。そして又若槻に總裁になれと勸めた。併し若槻は固く執つて動かなかつた。そして濱口を總裁に推した。濱口を說得する爲めに、若槻は幾度となく濱口を訪問した。それで漸く濱口をして總裁になる事を承諾せしめたのである。尤も其當時、憲政會內に政友本黨との合流に反對する一派があつた。其反對は寧ろ敵本主義で、濱口を總裁にするならば、贊成しようと云ふのであつた。尤も此運動は親の心、子は知らずの連中のやつた仕事であつた。少くとも若槻は自分は排斥されるのではなく、大なる努力を拂つて浪人の地位を贏ち得たと思つた。かうして得た處の閑

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寂な境遇を此上なきものとして味ふ心境に居る。そして其心境を破られまいと努力する。

軍縮會議に在つて、彼れは日本の政治家から、世界の政治家たる地位に進出した。軍縮會議に關しては、彼れは歸朝後機會ある毎に、充分の結果を得られなかつた事は、慚愧に堪へないと繰返して云ふ。併し軍縮會議の成績が、一般國民に滿足を與へてゐる事は、彼れが歸朝の際、神戸に於て、東海道沿線に於て、東京に於て、大阪に於て、民衆の自發的な、湧くが如き歡迎振りに依つて證明されてゐる。さうして恰も日本一の人氣役者になつた彼れは、今再び閑寂の浪人となつてゐる。軍縮全權の役目は會議の復命をすると共に解かれた。尤も此間の軍縮會議は閉會したのでなく、只休會で、佛伊の相談が纏ると又何日でも開く。其場合には日米から英國駐在の大使だけが全權となつて列席する事になつてゐる。此度の所が妙な工合だが、兎も角も若槻は全權の職務から解放されてゐる。樞密院の御諮詢はまだ濟まない。併し若槻と樞密院とは職責上の關係は少しもない。若し樞密院の方から首席全權であつた若槻の説明を聞かうと希望し、政府も亦若槻に説明さすと必要があると認めるならば、若槻も敢て説明を拒む理由はない。だが、さうした必要は豫期されないと云ふのが現在の狀態である。だから若槻は此雜誌が世に出る頃は悠々として片瀨で海水浴でもしてゐるであらう。

此境地は彼れの最も好む所の如く見える。だから初め軍縮全權に推された時も、容易に此重任を引受けなかつた。過去の日本が參加した國際會議を見ても、日本から行つた全權が國民の批難を受けずに歸つて來る例は稀れであつた。ポーツマス條約を結んだ小村壽太郎、巴里講和會議の西園寺公望、華盛頓會議の加藤友三郎の例を顧みると、日本を代表して條約を結ぶと云ふ事は並大抵の役目でない。尤も無責任な強硬な主張をして、談判を決裂せしめて還れば、國民は大抵喝采する。併し眞實に國の利害を考へて、條約を成立せしめて歸るとすると、必ず其所に非難の聲が上る。若槻は列國の製艦競爭は恐な事だ。それは戰爭の機會を多くするのみならず、經濟的に國民を苦しめるものだと考へた。だから、願くは條約を成立せしめ度い。だがそれには一部の非難を覺悟する必要があると考へた。

併し、誰れぞ一人は此批難を負ふ人間がなくてはならぬ。とすれば、自分がそれに當るべきだとして、軍縮全權を引受けた。彼れは捨て身の積りで其任に就いた。だから彼れと一緒に倫敦に行くべき專門委員、隨員などの人選に關しては少しも指摘をせず、只政府から當てがはれる儘の人員をつれて、自分は其上に乘かつてゐると云ふ心持ちで行つた。元より彼れは倫敦會議を日本に有利に導く爲めに最善の努力

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

をした。だが、彼れが歸朝するとき、かうした全權には前例のない熱狂的な歡迎を受けたのは、其調印した條約が成功であつたと云ふよりは、寧ろ彼れの捨て身の心持ちが、何處となく國民に感じられて、知らず〳〵かうした感謝の爆發になつたのであらう。

尤も倫敦會議では隨分苦勞したらしい。若槻は酒を飲むが、會議中は健康を保つ爲めに節酒する積りで出掛けた。然るにムシヤクシヤする事が多いので、朝も晝も晩も酒を飲んでは氣を晴らした。前に日本に居るときは晩酌のみの習慣であつたのが、倫敦から歸つて三度ながら飲む癖が付いたとこぼしてゐる。

倫敦會議の講演をする時、彼れは云つた。會議の席上では英のマクドナルド、米のスチムソンも隨分我儘勝手な主張をした。彼等から見たら、吾々の主張を亦得手勝手に思はれたかも知れぬ。併しそれは少しも全權同志の感情を惡化しなかつた。何となれば彼等も吾々も自分の云ひ度い事を云つてゐるのではない。皆んな背後に國論を扣へてゐる。國論を代表すべく會議に出てゐる。だが國論に反するやうな事は云へない。其間の事情はお互によく解つてゐるのだから、會議で如何に激論を戰はしても、全權同志の感情が疎隔するやうな事はなかつたと、若槻は相手國の全權の頭を越して、其背後にある國民を見てゐる。若槻自身も亦、自分の云はんと欲する事を云ふのでなくして、背後に居る日本の國民の希望が何處にあるかを忘れなかつた。其態度の根柢には立憲政治家としての彼れの素養があつたと云へる。

出身から云へば、若槻は官僚政治家であつた。彼れが世に出る初めは、桂太郎公に用ひられたからである。第二次桂内閣の時、桂兼任藏相の下に次官であり、第三次桂内閣の大藏大臣であつた。併し桂が政黨を組織するにあたつて、若槻はそれに參加し、それ以後は純然たる政黨政治家になつた。元より今の民政黨には政黨政治家と稱せられるものは多數にあるが、若槻のやうに立憲政治を自分の本能の如く、自分の人生觀の一部として體得してゐるものは外に其類が少ない。

尤もそれには相當の修業があつたらしい。彼れは大藏次官になる前に、日本の財務官として二年許り英國に駐在してゐた事がある。其時彼れは英國の議會政治の動き方を注意して研究してゐた。元より只の財務官であつたが故に、當時の議會政治家と交際する機會が少なかつた。後に明治天皇崩御の前に桂と歐洲漫遊の旅行に出たときは、桂の意中には已に政黨組織の計畫があり、此旅行は外國の政黨政治の動き方を見る目的も含まれてゐた。それ故に若槻は英國に行つて、當時の大政治家とも會談する機會があると樂しみにしてゐた。不幸にして途中で明治天皇御不例の報に接して、一行は急遽歸朝するの破目になつて、若槻の英國行きの希望はフイになつた。それでも尚其時分から若

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

槻ほど英國の政治の動きに精いものは、日本の政治家に少ないと[illegible]られてゐた。

今度の軍縮會議に行つても、彼れは芝居や音樂への招待は悉く斷つて出なかつたが、各政黨政治家に遇へる機會のある招待に勉めて出席した。自由黨のランシマンが招待したときにはロイド・ジョージに會ひ、保守黨の女代議士アスター夫人の茶の會では、ボルドウイン其他保守黨の錚々たる人物に會つた。若槻が議會を傍聽したときには、彼れ自身が財政家出身である丈けに、勞働黨の大藏大臣スノーデンの論難攻撃振りに非常の興味を有つた。保守黨が今の勞働黨內閣になつて政府收入の減少したのを攻撃すると、スノーデンは直ちに立つて、それは保守黨內閣の時、これ〳〵の政策を行つた當然の結果だと、遠慮會釋もなくツケ〳〵と云つて了ふ。日本の議會であつたならば、直ちに一騒動起りさうな所であつても、騒動は起らなかつた。若槻がかうした機會を見逃がさずに、英國の政治の動きに注意するのを見る、彼れの興味の中心か立憲政治の發達と云ふ事にあるだらうと思はれる。

尤も彼れにはさうすべき責任もあると云へる。日本に普選が布かれた事に對しては、若槻は最大の努力をしてゐる。大正十四年護憲三派の加藤高明內閣が普選を法律にしたのであるが、若槻はそれを議會に提出する責任者たる內務大臣であつた。貴族院は之を阻止せんとする。政友會の中には之に依つて內閣を潰さんと策動するものもあつた。若槻は何物に代へても普選丈けは成立せしめんと努力した。若し普選が成立せぬ位ならば、此上內閣を維持する必要なしと考へ、そして其頃は始終辭表をポケットに入れて閣議に出席したのである。だから普選を通過せしめる上に於て、彼れにはかなりの功績がある。同時に亦、普選に依る議會政治を圓滿に行はしめる責任も負はねばならぬ。

併し茲で、若槻か立憲的な政治家であると云ふのは、彼れの主張する主義政策が立憲的であると云ふよりは、寧ろ彼れの世事萬般の事柄に對する心の態度が立憲的であると云ふ方に重きを置く。立憲政治家の要は我執を去つて、民意に從ふと云ふ所にある。若槻の態度を見ると、支那人の詩の、河の水が淸ければ冠の纓を洗ふ。濁つて居れば足の泥を洗ふと云ふ心持ちで居るやうだ。別に世相の是非善惡に屈托せず、他人は勿論、他國の立場をも諒解して、融通無碍、其場合に適應するやうに最善の努力をする。窮すれば自から通ずる道もあると大いして悲觀もしない。

例へば倫敦軍縮會議に對する彼れの觀點は其講演を聞いても端的に明瞭である。日米妥協案が出來てそれを認容するか否かのどたん場に來たとき、彼れはこれは充分滿足とは行かぬが、問題は簡單だ。不充分ながら協定を成立せしめるか、或は會議を決裂さして歸るか。二つに一つしかない。どちらが日本の國民に忠實なるものか、それ丈けを考へた。そして、會議を成立さす方がよいと結論を下して、政府に訓令を仰いだといふ順序になつてゐる。政府の方から又色々の修正希望を云つて來ると、其希望をも出來る限りは相手國に容れさして、協定

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

立を成立せしめた。如何に自分のする事が國家に忠であると信じても、一人の意志を何處迄も突張つて、一人の意志を國民全體に押し付ける態度は、彼れの取らない所である。他人のする事であつても、さうした暴君的の行動を見ると彼れは顏を顰める。

現代の不景氣な世相に對してもさうである。彼は政治家は一度かう云つたからと云つて、何時迄も其説に拘泥して、無理を推し通す必要はない。現在の經濟界の不景氣を打破すべき妙案があるならば、敢てそれを行つて惡いと云ふ事はない。併し妙案は容易に見出せるものでないと云ふ。

彼れの思想の根柢には政府の力を頼み過ぎてはいけないと云ふ態度がある。過去の歴史に於て、經濟界不況の時に、民間から政府に向つて何を救濟して與れとか、何處をどうして與れと云つて泣き付く。そして政府が手を出して救濟しても其結果は必ずよくない。政府の爲めにも、民間事業家の爲めにも、社會全體の爲めにも結局何の利益にもならずに終る。畢竟するに政府の力に頼つて、此景氣を恢復しようと思ふ事が間違つてゐる。それは民間事業家又は國民自身の努力に依るにあらざれば大した効果は得られない。さうして持ちこたへてゐれば、此世界的不景氣は何日迄も續くものでもあるまいから、其内に景氣が恢復すると、彼れは日本又は世界の將來を悲觀してゐない。

立憲政治家と云へば型にはまつた感じを與へるが、彼れは流動性のある立憲政治家である。一應は民衆の水準に自分を置いて考へ、そして民衆と共に流動すると云ふのが、彼れの政治に對する態度の基調をなしてゐる。

だから政治家の彼れを、巍峨たる山嶽に例へるのも當らない。彼れはそれほど近づき惡くはない。又彼れを原野に咆哮するライオンに例へるのも當らない。彼れはそれほどの大豪傑と云ふ柄ではない。寧ろ強いて例へれば、彼れは濶江に釣りをしてゐる太公望の格恰である。倫敦會議當時のバンカース・マガジン（四月號）は彼れを批評して、最も豐富な智惠の財源を有つてゐる政治家だと云つて居る。政治が行き詰つたときに、それを切り拔ける分別に困らない。安々と局面打開の道を開いて行く。金の財源に涸れてゐても、智惠の財源には涸れない。英國人でも若槻の要點を見誤つてはゐない。

彼れの將來の政治的地位がどうなるか。それは誰れにも判らない。若槻自身にも判つてゐるまい。只政黨總裁になることは、現在の如く選擧に莫大な政治資金を要する時代には、彼れは其任に當る事を好まないであらう。河の水が濁つて居れば足を洗ふ。淸くなつたら冠の紐を洗ふと云ふのが彼れ自身の心持であるからだ。

だが、國步艱難の時は、誰れでも此艱難を突破する智惠を借り度く思ふ。そして、人生の事は豫想外の發展をなし易い。例へば犬養毅氏が政友會總裁になるなどは誰れも豫想しなかつた事である。若槻の將來にしても、それがどう發展するか、なか／＼人間の智惠で豫測し得られるものではない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山を憶ふ

田部重治

今迄、登つた好きな山と云へば、すぐに藥師岳、乘鞍岳と云ふ風に、個々的に見た是等の山々の威容が浮んで來ると共に、是等の山々が中心となつて形作る地方の大きな形像が、殆んど藝術的と云はれ得るほどの壯麗な姿を以て、想像の内にありありと現はれる。さうしたものが、詩に於ても繪畫に於ても表現することが出來ないほどに獨特であり、また藝術の題材として不適當であるとすれば、斯くの如き藝術は不完全なものとしか考ふることが出來ない。

私の經驗から云へば、越中の藥師岳から太郎兵衞平、上岳、黒部五郎、蓮華岳、鷲羽乘越、鷲羽ヶ岳、黒岳、赤牛岳、雲ノ平、黒部川等を包容せる一帶の山岳は、自然のこしらへた偉大なる藝術として私の心に雄大なる形像をうかべ、想像的に私の周圍に不思議な環境を形作つて呉れる。

立山、劒岳、後立山山脈及び黒部川を包容せる一角は、一層鋭い切實な力をもつて見る人に迫るところがある。慥かに或人には其が一層の異國的な美はしい情調をもつてゐると見る人があるかも知れない。しかし私には前者の方面が幽林のかなたに溪谷をひそめて容易に雪溪の露出を許さぬ趣き、高原狀の山々の豐かな情趣、藥師岳の壯大、黒岳の豪壯、黒部五郎の秀麗、鷲羽ヶ岳の怪偉、雲の平の雄渾、そして凡てを貫ぬく悠々たる感じと現實から引上げられて夢幻の世界にはいり込んでゐるやうな感じは、私が初めて有峯からはいつた時の最初の印象が今も働らいてゐる所爲にもよるだらうが、立山方面の印象と比較して見ると、慥かに詩的で情操的方面に於て優れてゐるやうに感ぜられる。立山方面の形像が現實的な鋭さをもつてゐるとすれば、此の方面は浪漫的な情調を加味せるものをもつてゐると云へよう。

立山方面は活動的な現實生活を象徴してゐるとすれば、此の方面は靜かなるものの内に自由を體驗する觀照的な生活、而も其内に自分と山とのしつくりした融一を象徴してゐるやうな氣がする。蓮華の峰頭に立つ時、藥師岳や黒岳の頂上に立つてゐるとき、さうした感じがひ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しく〳〵と胸にせまつて來る。是等の峰頭に立つて靜まりかへる周圍を觀望し、黑部川の溪谷を遙かに俯瞰して、其の遠雷のやうな響きをきく心持は、大地の靜肅と、其の底深いところから湧き出づる怒號の響きとを合せてきく其である。そこには闘ひと凡て雜然たるものを大きく包容せんとするシンフォニとを象徴するものがある。

私はまた秩父を憶ふ。初めて木暮君と二人で十文字峠の紅葉を見なから栃本から梓山に越え、甲武信岳、三寶山、金峰山等に登つた記憶は、いつまでも新らしいものである。其後、秩父にはいること十數回、いつ這入つても秩父はなつかしい感じを與ふる。あの暗い幽林の間を、いくつかの峠が、武藏から信州へ、甲州へ、また甲州から信州へ通つてゐて、其等が必らずしも地圖に現はれてゐないところに、人間と人間との何とも云へない幽かなつながりがあることを思はせる。秩父の大山脈を雁坂から金峰まで、また雁坂から雲取までを縱走して見ると、此の森々とした幽林の間を晝も暗い谷に向つて、時々、人の踏みつけたあとを見出すであらう。之は其のなつかしい足跡である。甲州鹽山から金峰鑛泉を過ぎ、國境山脈を越えて信州に出る道の如き、地圖に現はれてはゐないが、此の地方では殆んど峠道となつて、八千尺に近いところを越えて行つてゐる。峰頭や明るさをのみ欲する人には、斯う云ふ道を行くことは意味がないやうに思はれるかも知れない。けれども處女的な深林、溪流、幽闇にさ迷ふ白雲のただ中を行くことに、大自然のふところに入る喜びを感ずる人には、秩父の幽林にさ迷ふことは、抒情詩的境地を味ふことであり、藝術的な直觀の世界に彷徨すると同じ法悦を與ふる。

しかし秩父を憶うて特になつかしさの忘れられないのは十文字峠である。そして十文字峠を憶ふ時、栃本、十文字峠、荒川、梓山、八ヶ岳の裾野などが、丁度、藥師岳一帶を憶ふ時と同じやうに、雄大なる形像となつて、音樂的な大自然の面影を彷彿させる。

秩父の峠は地圖にあらはれた雁坂峠、將監峠、いづれもよからぬものはない。雁坂峠の秩父側の大きな濶葉樹林、將監峠の井戸澤附近ののびのびした高原狀の地形、大洞谷の森然とした針葉樹林、時々、見える瀧川谷の物凄い空洞狀の幽谷、また惣小舍谷の濶葉樹林いづれも美しいものである。けれども雁坂峠も將監峠も甲州側は案外に空燥で、其先の希望がなくなるやうな氣がする。之に反して十文字峠には、栃本から信州まで渾然たる秩父的なゆとりある奥深い感じが漲つてゐる。これを登つて行くと、どの峠もあるやうに、初めの内は濶葉樹林で、やがて針葉樹が出はじめてから、幽林の趣があらはれ、荒川の紛糾せる多くの谷々が峠の下の黑々とした深林の間から白い峽谷

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を現はし、遠雷のやうな響きが峠の左右に聞える。「のぞき岩」から見た荒川の溪谷の雄大さ、遥かにあはく空を限る信越飛國境の殘雪の山々、近くに見ゆる八ヶ岳、兩神山、淺間山の姿は、行く人の脚をとどろかせる。荒川の溪谷の人を引き入れなければ止まない魅力は、此處から其の一端を見ることが出來る。

幽林はどこまでも引續いてゐるが、それが少しも私達を飽かせない。幾多の伐木組合が峠にはいり込んでゐると云はれてゐるが、さう云ふ形跡が峠道からは殆んど認められないほど、あたりが渾然たる面影をもつてゐる。私達をして本當に自分をひしと摑むやうにせしめ、靜かに自然と融合させる情趣は、痛切に胸にせまつて來る。

それから先は、和らかい梓山の戰場ヶ原と千曲川の流れとが、白樺の多いなかに展開され、やうやく山里の奥のゆかしい面影があらはれ始める。この美はしい色彩に彩どられた白樺と落葉松との高原は、特に秩父山中から見下す時に、一層、和らかく夢幻的にひろがつてゐる。それを見たいと思ふ人は、秩父と信州との國境に沿うて進み、荒川の支流股ノ澤の高峰に立つて見下すがよい。

南信の音樂！ 私は幾度も斯う叫びたい。梓山から千曲川に沿うて行き、八ヶ岳の裾野にかかつて、茫々たる高原を長坂の方へ歩く時の氣持、右には八ヶ岳の峻峰、左には秩父の山々を眺めつつ進む感じは、全くたぐひなき音樂の世界に彷徨するそれである。十文字峠から梓山へかけ、八ヶ岳の裾野を思ふ時、何と美はしい形像が浮ばないだらうか。それを歩くことは何と韻律の世界にさ迷ふに等しい緊張せる氣持を與へないであらうか。

峠と高原とを思ふ時、妙高山の裏の笹ヶ峰牧場の美はしさがありありと目前に展開されるやうな氣がする。嘗て信州の小谷温泉から田口驛まで歩いた時、ここを通つて全く思ひがけないところに思ひがけない寶を見出したやうな氣がした。小谷温泉は既に氣に入つた。白馬一帶の山々を温泉から仰ぐ光景、豐富な温泉が瀑布となつてすき透ほるやうになみ〳〵と湛へた湯殿、何れも氣に入らぬものとてはなかつた。温泉から山毛欅林の深々とした間を分けて行く内に出會はす松尾川の物靜かな溪流、やがて山毛欅林が益々深くなつて、峠道につづく山の茂々とした奥深いさまは、德本峠を想ひ起させる。

乙見山峠を下つて、やがてニグロ川の濕地に見出される水芭蕉の雄大さは、濕地に入つて異様なものに出會はすやうな處女地的な感じを與ふる。眞川の急流を渡ると、もう高原の趣致があらはれて來る。

高原の夏の美はしさ。天狗原山、燒山、火打山、妙高山等を左に、戸隠一帶の山々を右に、其間にわだかまる此の高原の悠々とした氣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

持、新しい趣致は、上高地に優るとも劣らない。また信越線の汽車から見た是等の山々の表の風貌とは異なり、裏から見た其の姿態は何と云ふ殘雪美はしい高邁なものであらう。大きな山脈はゆるく灣曲を描いて、大きく高原を取り圍む中を輕く歩く氣持、青々として麓から高原に迫る山毛欅の林が、やがて白樺となり落葉松となつて、芝生の原に散在する間に、異樣な顏付を以て立ちどまりながら、私達を見送る牛の群は詩のやうに美はしい。見かへりつつ別れ行く高原には、牧歌的な趣致があふれ、流れる冷たい水にも牧歌的な味はひがある。

幽谷の村をあるく時、そして其を取り卷く重なり合ふ山々を見上げる時、如何なる思ひがけない美はしいものが、其間に見出されるだらうか。飛騨のやうに人跡の稀れな方面を歩いてゐる際には、いつもさう云ふ心持が起つて來る。初めて飛騨から有峰にはいつた時、大多和峠で夕立がはれて、見あげる山又山の、晴れ行く霧のなかに重なり合つてゐる深林に夕映がした時、私は此の未だ人里遠からぬところも、斯くの如き幽境のあるのを見て、そこから飛騨にかけての奧深い村々、牧場などを想像して見た。そして二度目に越中の東笠山、西笠山の間の峠を越えて有峰にはいつた時、此峠から見た立山、藥師、白山等の雄大な眺望とあたりの深い趣致とを見て、斯くも到る處に、思ひがけない美はしい自然が展開されてゐるのに驚いた。御嶽の裾にある鳥居峠を過る際に、御嶽と乘鞍との崇高神の如き姿を前面に思ひがけなく見て、頭を垂れた。野麥峠の頂上に立つて乘鞍の雄姿に驚異の眼を見張つた。斯う云ふものが、東北地方、奧上州地方に無數に見出されるであらう。いや東京府下にすらも見出されるかも知れない。

晴れ行く雲間に光る殘雪の山々が、黑々と茂る山を壓して聳ゆる姿、深林の彼方に其が屹立つ憧憬的な氣高さ、また、綠りの色や花の色が、岩や流れと共に作る美、綠りの色うるはしく敷きつめた間に散在する白樺や落葉松の作る牧歌的な情調、そして太陽の光が是等の自然に働らく或る刹那の作用、是等は何れも山と高原と溪谷との美を形作るものであつて、私達を引きつけずには置かないものである。さうしたものの何れをも除外して山を考へることは、山を味ふ全一性の缺陷を意味する。

私は溪谷が好きである。黑部川は部分的にしか知らないが、私が今迄に感激した溪谷は、姿のみが優れてゐるのでなくして、色彩に於ても優れてゐるものであつた。乘鞍岳の麓を流れる益田川、笛吹川の上流、栃本から上流の荒川、丹波山村の奧の多摩川など何れもさうである。益田川の最もよいところは上ヶ洞の上流二三里の間である。今はどうなつてゐるか知らないが、私の通つた十年前頃には、兩岸の濶葉

樹林には斧を入れた跡がなく、栃、朴、楢の大木が直徑數尺もあらうと云ふ風に見え、豪壯なる流れは、すさまじい響きをなして脚底にとどろき、濶葉樹林を動かしてゐる。野麥街道は昔は河の畔りを通らなかつたので、人里は河に沿うて餘り見出されない。そして野麥峠から見た乘鞍岳の雄姿は何とも形容することが出來ないほど男性的なものである。ここの溪谷をのぼり、此の峠を登る時ほどの雄大な感じは、滅多に味はれないものである。

笛吹川を遡行してホラノ貝の瀧を初めて見た感じ、そして信州へ突破した時のそれほど渾然とした自然の彫琢の美を感じたことはない。其後に幾度も此谷を遡ぼつたが、毎も河を離れて歩くので、最初に見た威容を再現することが出來なかつた。しかしいつ通つても鷄冠山の岩壁を仰ぎながら河をのぼる氣持は何とも云へないものである。それから先は、釜澤を遡ぼつて甲武信岳に登るのもよいが、信州澤の神斧を以て刻んだ河床の天工も美はしく、また釜澤と信州澤との間の深林に突入して、河から遠く離れつつ甲信國境の幽地にはいり込むのも緊張せる氣持を與ふる。また、荒川の奧の雄大なる深林、瀧の變化に富む光景、人里に近くありながら、珍らしい溪谷をもつ丹波山村より奧の多摩川の宏壯たる風貌も、何れも珍らしいものである。然かし河を遡ぼることは山に登ることを頭に置く時に、眞に溪谷遡行の喜びがある。溪谷は山によつて完成される。私には毎も溪谷は峠若くは山と共に一つの美はしい形像となつて浮ぶ。

個々的に私に深い印象を與へた山々の姿、それも、亦、忘れることの出來ないものである。初めて早月川の雪溪を登つた時、ふり返つて見た時の越中毛勝山の堂々たる風姿、越後と越中との國境の朝日岳から見た白馬岳が、夕べの空に聖者の如く嚴かな姿を聳立せしめてゐた形姿、朝與岳から見た北ケ岳が覇者の如き風貌をもつてあたりを支配してゐた姿、後立山山脈から見た立山の姿、金峰山から仰いだ八ケ岳の雄大なる體軀、東笠、西笠の間から仰いだ藥師岳の男性的な膚色、是等は何れも私の腦裡を永久に去ることの出來ないものであり、私の心の歩みに足跡を印したものである。

山に入る心は先づ廣く自然を愛する心から出立したいと思ふ。自然を愛する心、そして山と云ふ特殊なものによつて條件づけられた自然を愛することは、ひろく藝術的精神を愛する心と、特殊の藝術を愛好する其とに異ならない。さう云ふ意味に於て、私達は廣く自然と云ふ偉大なる藝術に對して心を開くと共に、また、山によつて條件づけられた自然の藝術に對して心を開き、それに融合を求めたい。

私達は山を遙望する時、アミエルが瑞西のジエニーヴアからアルプスを見た心持と同じものを山に對して體驗し、コールリッヂがシヤモニーの谷からモンブランを頌したと同じやうな緊張と憧憬と心のとどろきとを感ずることが出來る。

しかし私達が山を觀ずる態度は、浪漫的な詩人或は象徴的な詩人が自然に對してするやうに、自己を歌はんが爲めに自然を主觀的な材料として用ゐるやうなものでなくして、山を山として客觀的に觀じつつ、自己との一致を見出すことでなければならない。さうすることで最も自由な最も自然的な氣持を感ずると共に、山を山としての個性をも容認することが出來る。此の態度は英國の詩人ワーヅワースが凡ゆる自然に對して取つた態度である。彼は如何なる自然に對しても客觀的な態度をもつやうに見えて、而も他の如何なる詩人も爲し得ないほどに自然と全人的に融合することが出來た。此の態度は最も力強い沈靜であつて、其に於てのみ、私達は全人的に山と同化することが出來る。而も亦、そこには凡てが融け合ひ、萬人がほゝゑむ。願はくは斯くの如き境地を自然に於て私達は永久につかんでゐたい。さもなければ、私達の生は何と生き甲斐のないものであらう。

新刊紹介

◆(歌集)**春のことぶれ** 釋迢空著・限りない洞察の深さ廣さ鋭さ！國學の深い素養と近代人の鋭い感覺との渾融した獨自の表現、歌人としての氏の立場は既に定まつてゐる。本集は最近五年の作歌を收む。(東京神田北甲賀町四・梓書房・定價二圓八十錢)

◆**孫六錢話** 谷孫六著・例の孫六式の金儲讀本、金持になる秘訣を親切に傳授しようといふ書。(東京本鄕區駒込講談社・一圓五十錢)

◆**ふらんす大革命時代** 高須芳次郎著・革命時代のエピソードを綴る。(東京小石川表町一〇九日本學術普及會・定價一圓)

◆**經濟國難打開の道** 中外商業新報經濟部編で井上藏相三土前藏相を初め政界財界實業界の諸名士數十氏の論策集。(東京京橋第一相互館千倉書房・一圓五十錢)

◆**赤い廣場を横ぎる** 田口運藏著・本年一月より本誌に連載されて大好評だつた革命間近の入露記で「或時代の片山潜老人」を附す。(東京芝櫻田鍛冶町三友ビル大衆公論社・一圓三十錢)

◆**文士の側面裏面** 武野藤介著・文士のゴシップ百數十項を集めて夏の微苦笑讀物。(東京京橋第一相互館千倉書房・一圓半)

◆**現代の構成** 岸田日出刀著・現代の建築工藝品機械等の構成美を鑑賞研究する寫眞畫集。(東京麴町飯田町二ノ三構成社・二圓八十錢)

◆**詩・現實** 詩と評論の年四回發行誌第一册。(東京小石川目白臺武藏野書院・一圓三十錢)

◆**健康保險法提要** 淸水玄著・社會保險の一種として期待されまた問題視されてゐる健康保險の法律的解說で實務家の必携書。(東京丸ノ内昭和ビル日本評論社・定價二圓)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最近ストライキ闘爭の現實相

加藤勘十

喧騷、混亂、流血、檢束、牢獄等々、これぞ、一つの爭議を廻つて展開される現實相である。而して、この現實相を一貫して陰躍せるものは、資本家の直接雇傭せる暴力團であり、更に資本家地位の政府の尖端に國家權力の名によつて働く××である。

如何なる時代に於ても、一つの爭議——大きくつても、小さくつても——を計劃的に進行せしめやうとする場合には、如上の犧牲を覺悟せなくては遂行出來ないが、殊に現時の如く、沒落に瀕せる帝國主義ブルジョアジーが、自己の再建のために、强烈なる攻勢を展開し、全負擔を勞働階級の勞働强化に轉嫁せんとする時代に於ては、彼等の親衛兵たる暴力團及び××は意識的に暴力を跳躍せしめる。今年にはいつてから、いかに多くの爭議が激發され、いかに多くの犧牲者を出してゐることか。犧牲者の數については統計の見るべきものないが、爭議件數は實に五七四件（五月まで）に達し、參加人員は六九〇九一人に及んでゐる。これ等の爭議が殆んど資本家側の積極的攻勢に促進されたるものであることは爭はれないが、同時に、これ等の爭議のどの一つの小さな爭議に至るまで、戰ひを挑んだ資本家側も、戰を挑まれた勞働者側も、共に等しく明確なる階級意識の露出の上に鬪ひ續けられたことであらうか。このことは、明かに帝國主義第三期形態に條件づけられたる特徵を有するものでなければならぬ。

私は、さきの市電、鐘紡の爭議に次いで問題化された星製藥の爭議について、爭議の實相を觀ると共に、これを批判し、且つ爭議傾向についての將來への展望を語るであらう。

星製藥の爭議は(a)馘首者と殘留從業員との間に連絡が遮斷されてゐたこと、(b)解雇勞働者と解雇社員との連絡をもち得なかつたこと、(c)爭議を政治的鬪爭へ發展せしめ得なかつたこと、(d)Cとの關聯において折角組織された工場代表者會議を效果的に働かしめ得なかつたこと、等々を戰術上の不備とせる點に特質をもつてゐる。

二

星製藥の爭議は、現下の深刻なる不景氣の產物である。即ち星の放漫なる營業方針は彌縫に彌縫を重ねて來たが、遂に全く進路を失つて動きが取れず、大工場としては、未曾有の醜態である賃銀給料の不拂ひを惹起し、はては、この不始末を從業員に轉嫁せんと、五月二十九日に至り突如として三五七名と云ふ大量馘首——勞働者二六八名（内男七九女一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八九）社員七三名（内男五六女一七）傭員一六名──を發表したに始まる。爭議を指導した組合は關東勞働者組合と稱する勞農黨支持の勞働組合である。

爭議は大山、河上氏等の鳴物入りで極めて賑々しく進行した。が、これにもまして、資本家側の××××は烈しく横行した。而して遂に彼等の筋書通り、爭議進行上の參謀本部であり城砦であるべき爭議團本部──寄宿舍内に設けてあつて實に地の利を得てゐた──は、彼等の泥靴に蹂躙され、これを放棄せざるを得なかつたことは、爭議團の第一の痛手であつた。

爭議團は當然に爭議の性質から觀て、爭議自體を全勞働階級戰野に展開し、政治鬪爭即ち最小限度に於ても、荏原地方のゼネストへの發展の方向を取らねばならなかつた。吾等が荏原郡地方支部協議會──全國同盟──の名をもつて應援を申込んだのは九日──七日夜發會式をあげた──であつた。然るに、爭議統制者は當に吾等の應援の申込みに應じやうとせなかつたばかりか、工場内に不安の思ひを懷いて殘留せる就業勞働者に對しても、最初に連絡を遮斷されたる儘で、これをどうすることも出來ず──或は充分に働きかけたのではあらうが──結果においては、空しく成行きに放任したるが如き觀のあることは、戰術上の失態たるを免かれない。

が、一方に於ては階級的統制者の活躍もあつて、吾等が期待し、吾等が應援鬪士を充分に働かしめ得る舞臺としての工場代表者會議がもたれるに至つた。工代會議は吾等が應援の申込みと同時に開催されるべきであつたが、何かの手違ひで一兩日遲れたことは遺憾であつたが計劃されないに優ること萬々である。

工代會議は十二日夜爭議團第一事務所で開催された。出席工場數は約二十工場を數へ、代表者は四十二名を算した。出席工場の大多數は大衆黨支持組合に組織されてゐる分子であるが、未組織工場からの出席者もあつて、工代會議としては、成功であつた。工代會議は（一）名稱──荏原地區爭議應援工場代表者會議、（二）實行委員──各工場から一名乃至二名を選出して之を正式代表とす、（三）鬪爭方針──單に星爭議に限らず、全荏原地區の爭議に應援する、（四）事務所、等々の一般方略を決定した。この工代會議も××××下に三名の檢束者を出し、細密に討論するを得なかつたが、ともかくも組織を確立したことは確かに成功であつた。具體的な方策、工代會議の任務、職能等々に就いては實行委員に於て案を調べ、適宜な方法によつて行動に移さるべきであつた。

然るに、折角組織された工代會議は何處に組織上の缺陷があつたのか充分に利用活躍されないで了つた。このことは敢へて爭議統制者の責任と云ふのではなく、お互ひが充分に調査研究批判して、將來への工代會議の任務に支障を生ぜしめるが如きことがあつてはならない。

三

工代會議が充分に働き得なかつた原因の一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つとして、十五日の亂闘事件をも擧げざるを得ない。十五日の亂闘事件は、實に不用意の間に醸された出來事であつて、これが工代會議を首め、爭議進行過程に一大支障を生ぜしめたることは、闘爭効果の上から、お互ひが充分に戒愼せねばならぬ點である。即ちこの事件は、勞農黨荏原支部の提唱に應じて、共同闘爭委員會の構成を賛成したる大衆黨の城南荏原支部が、大井に支部大會を催したるを好機とし、改めて星爭議の應援を決議して、大擧して爭議團を訪問したるとき、星工場の門前からデモに移り、爭議團本部に爭議團員と合して益々氣勢を高かめ、双互に激勵の挨拶を交はしたるに、××が言論を抑壓せんとしたことから、遂に一大亂闘に陷り、爭議團と應援團と合して三十餘名の檢束者を出すに至つたのである。

爭議團幹部と工代會議の實行委員連が檢束者中に交つてゐたことは、工代會議の活動に支障を生ぜしめるものであつた。が、其の後の活動が充分なされなかつたことは組織上の缺陷でなければならぬ。

この爭議が主として勞農黨——關東勞働者組合の名は紛失した觀があつた——の名によつて指導されたにも拘らず、依然として、經濟主義的闘爭の限界を一歩も出ることなく闘爭されたことは、この爭議の社會的重要性を自ら局限するものといはざるを得ない。斯の種の爭議こそは、たとへ工代會議の結果を見ないとしても、政治闘爭へ轉向せしめなければならなかつた性質のものである。況んや、工代會議は組織せられ、僚友團體は爭議統制者の指令一下、それぞれの任務につくべく準備してゐたのであつたが、これとて、遂に利用することなくして終つて了つた。

更に、この爭議の現實相の一つとして嫌ふべき事は、馘首社員團との全くの沒交渉の點にある。このことは吾等の知る限りにおいても、決して爭議指導部の怠慢でも過失でもなく、恐らくは、全部的に社員團の認識不足に基く怯懦に原因してゐるとは思ふが、尙、爭議指導部に一片の責任なしとせない。撓みなき執拗なる共同闘爭をもちかけて倦むことがなかつたならば、必ずある程度の共同闘爭は可能であつたらうと思はれる。現に社民黨系の俸給生活者組合はある程度の働きかけを試みて、社員團を獲得せんとしたが、勞農黨との共同闘爭に發展することを恐れて、手を引いたとのことである。

今、社員團は慘澹たる窮狀に爭議を續けつゝある。社員團が勞働者團と共同闘爭を回避した理由は次の二つにあるらしい。(一)過激分子として睨まれる、(二)後の就職に妨害になる、と。吾等は此處に代表的インテリの日和見主義者を見る。諸君は過激分子——過激分子とは一體何を意味する？——として睨まれることゝ後の就職に影響することを恐れて共同闘爭を回避したが、今現に諸君が闘爭しつゝあることは、決して一般の資本家の喜ぶ處ではない。資本家は諸君が星製藥から一文の退職手當も貰はずに唯々諾々として退くならば、或は諸君を善良なる奴隷として雇傭してくれるかも知れない。が、それでは諸君の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今日の生活に支障があるばかりでなく、諸君の人間性はそれを肯んじないであらう。

なるほど、諸君の發生は資本主義の寵兒としての發生であつた。が、も早、今日に於いては、資本主義の寵兒どころの騒ぎではなく、勞働者と同樣に資本主義の對立的存在でしかあり得ない。見よ、年毎に校門から送り出される諸君の同僚が、資本主義社會から如何なる待遇を受けつゝあるか。また見よ、諸君の母體である所謂中產階級は、日に日に大資本の侵略に、其の傳統の社會的地位を放棄して無產階級への轉落を强制されつゝあるではないか。それでも尙且つ、諸君は同じ工場から同じやうに馘首された勞働者と共同して、自らの鬪爭の背景を强大化して要求を効果的ならしめやうとすることに反對であらうか。吾等は獨り星製薬の諸君即ち勞働者との共同を自ら斷つて、自らの力を微弱ならしめて、自ら困り苦しみつゝある諸君に對してのみ云ふのでなく、全俸給生活者の諸君に呼びかけるのである。帝國主義第三期形態下においての自己の存在、自己の行衞について熟視再考されよと。

四

吾等は星製薬の勞働爭議の實相を見て、合法政黨が如何に爭議指導能力において無能であるかをシミジミと味ふことが出來た。合法政黨は結局議會を中心としての鬪爭體でしかあり得ない。合法政黨が議會鬪爭――議會を曝露戰野の一舞臺としての鬪爭――の限りにおいては、其の存在は價値づけられやうも、合法的言論鬪爭以外の領域、殊に勞働爭議の指導者としては殆んど無能に等しい。

星の爭議は名實共に勞農黨の指導統制によるものであるが、勞農黨の指導統制は、却つて爭議それ自體を經濟主義的鬪爭に限局し、戰術上にも何等の新味なく、自然發生的な當爲的な戰術が採用され、交渉戰に主力が注がれた。

吾等は爭議戰術として敗北主義を採る必要はないが、極力、問題を發展擴大化し、政治鬪爭への轉向を意識的に計劃すると共に、階級鬪爭の意識を一般に浸透せしめることに努力せなければならぬ。星爭議の場合、若し、爭議統制者がこの意識の上に立ち、工代會議を餘す所なく利用し得たならば、この爭議のために前衞鬪士を犧牲にすることなくして已んだであらうことを牢記せなければならぬ。この點においても、合法政黨――勞農黨――の爭議統制は、實に無能を表白したばかりでなく、結果から觀て階級的に道義的に罪惡をさへ犯したことになる。爭議の指導統制はやはり勞働組合を主體として行ふべきものである。勞働組合の戰術には限局性がない、有彈力性である。情勢の變化は直ちに戰法の變化となつて現はれる。然るに、勞農黨の爭議戰術には何等の變化を見るを得なかつた。もし、關東勞働者組合が確立してゐて、指導能力を有つてゐたならば、恐らくは勞農黨が現實に示した無能――それは指導者其の人の無能であると云ふのでなくして合法政黨の鬪爭の限定性の然らしむる處である――とは反對に、工代會議をも充分に利用し得たであらう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、政治闘爭への轉向も意識的に進行せしめられたであらうし、また、あんなに焦慮せることなくして、結末をつけ得たであらうと考へられる。

勞農黨の統制者は交渉の進行過程を獨りのみこみして、工代會議の代表者にも、勞農、大衆兩黨支部の共同闘爭委員會の代表部にも報告することなくして警視廳調停課の仲介の下に調印を了した。吾等の應援は爭議統制の中樞に觸れないで、所謂應援の範圍を出でないものであるが故に、交渉の進行過程を報告するの義務なしと云へば云へないこともなからうが、解決した後において、解決の顚末を報告する義務はある筈である。殊に大衆黨支部員は十名まで拘留十五日の處分を科せられ、ブタ箱生活を負擔して來てゐるではないか。斯く、應援僚友團體に何等の連絡も報告もなかつたことは、爭議が指導能力の缺如した勞農黨によつて指導された當然の結果であると云ふべきである。

五

不景氣の深刻化と産業合理化の強制は、勢ひ勞働者の大量的失業、勞働生活に對する脅威としての暴威を逞うするであらう。從つて、この暴戻壓制と戰ふべく勞働者の闘爭は××せしめられる。爭議は前半期にも増して量的に質的に深刻に展開するであらう。現に、右翼總同盟の指導下にある大小幾多の爭議は、殆んどの爭議も絶望的形態において、多くの××××を見つゝある狀態である。只、總同盟の一般方針が爭議を經濟主義的闘爭に限局し、政治闘爭への發展を阻止するがために、折角の實力闘爭としての××××も、勞働者自體が望む効果を收獲し得ないのである。

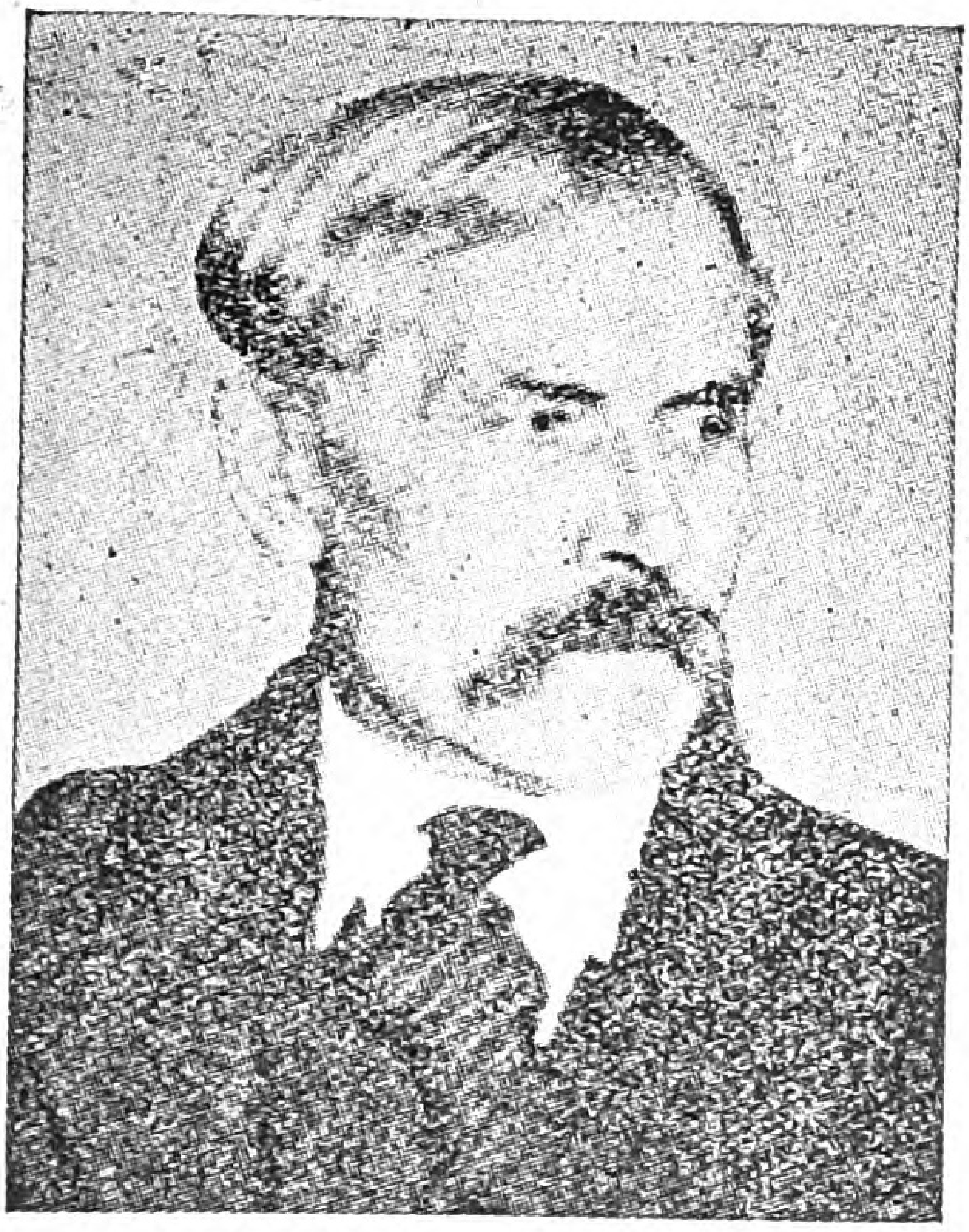
この現實的示唆から吾等は充分に學ばねばならぬ。而して、吾等は現下の爭議の現實相を通して次の結論に到達し得る。即ち吾等は第一に資本の攻勢に反撃して勞働攻勢の進取的態度をもつて、爭議激發の方針を確立せねばならぬ。第二に自然發生的な爭議は急速に意識的形態へ轉換せしめねばならぬ。第三に敵の×××に相對するために意識的青年分子による×××を編成せねばならぬ。第四に爭議の大小を論せず、凡てこれを政治闘爭への轉向を計らねばならぬ。第五に勞働強化、搾取の合理化と×××××との關聯を充分に究明して、總ての闘爭を×××××絶對反對の闘爭に結びつけ、これへの發展を企圖せねばならぬ。

しかして、これ等の爭議の發展過程は、改良主義幹部の統制下にある組合のよくする處ではない。同時に、合法政黨の斷じてよくする處ではない。これをよくする處のものは、勞働者の意識の成長のために媒介的機關を有つ發展性的な勞働組合であらねばならぬ。勞働組合を母體として生れ、而して勞働組合から獨立せる工代會議こそは、現段階の下に於ける最も代表的な効果的な闘爭主體であらねばならぬ。（七、三）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英國勞働黨政府の一年間

浦松佐美太郎



マクドナルド氏

昨年五月總選擧の結果、第一黨の地位を占めた勞働黨は、千九百二十四年の第一次勞働黨政府の場合に比べて、遙に好條件の下にその第二回目の内閣を組織し得たのである。併し勞働黨は第一黨ではあるといふもの丶、未だ絶對多數を得る事の出來なかつたが爲に、第三黨である自由黨に、云ひ換ればロイド・ジョージに、尚彼をして策を弄し得る餘地を殘したのである。爾來一ヶ年、勞働黨政府は此の間に處して、如何にその政策を實行し來たつたか。

先づ外交關係に於ては、勞働黨政府は幸運だつたと云はねばなるまい。殊にマクドナルド自身が、此の方面に關しては特殊の興味を有し、然もその補佐として、永く國際勞働運動に關係してゐたヘンダーソンを得たといふ事も、一の强味であつた。ヘーグに於ける獨乙賠償金及びラインランドの撤兵問題の決定に就ては從來保守黨政府が取り來たりし、餘りにも親佛なりと見らる丶態度を改めて、飽く迄英國の利益を主張したのであつた。後の軍縮會議に關聯しての、マクドナルドの米國訪問を考へ合せる時、對佛・對米關係に就ての勞働黨政府の意向を察する事が出來る。對露國交恢復、國際聯盟規約に依る選擇條項の調印、倫敦海軍條約の調印等、勞働黨の公約せる諸政策は凡て好都合に進捗してゐる。

唯エヂプトとの條約に關しては、スーダンの問題の爲に兩國間の會議が決裂したま丶、將來の問題として取殘されてゐる。之と同じく來るべき問題として重要なものに、インドの問題がある。勞働黨政府がインドに對して採り來つた政策は、黨の主張を離れて、國家的立場に基いてゐた。恐らくは今後も此の態度を以て臨むものと見られるが、之は最も困難なる問題の一たるを免れない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目を轉じて國內問題を見る時、勞働黨政府の經來つた道は決して單純なものではなく、然もその結果は、未だその所期の地點に到達せざる事遥に遠いのである。

　昨年の總選擧は失業問題を中心として戰はれた。千九百二十四年以來五ヶ年に亙つて政權を維持した保守黨は、此の問題に關しては無爲無策と思はるゝ迄に、その「安全第一」主義に愚圖付いて來たのである。從て勞働黨の勝利は、その積極的なる失業對策の勝利であつたとも云ひ得られよう。過去一年間、勞働黨政府は之に關して、何れだけの事を爲し遂げ得たか。

　歐洲戰後その數常に百萬を下らなかつた失業者群は、英國の癌であつた。然も昨年八月偶々起つたハットリー事件は、英國の金融市場を震駭せしめ、其の餘波は大陸を襲ひ更に海を越えて米國の株式市場に大恐慌を惹起せしめたのである。そして所謂世界的不景氣が、その姿を判然と現して來たのであつた。英國の失業者數に就て見るも、勞働黨の組閣以來、その數は殆ど減少する事なく、最近は增加の勢をさへ示してゐる。此の結果から判斷する時、保守黨が政府の根本方針に誤謬ありとなし、又勞働黨左翼が政府の態度を餘りにも自由主義的なりと批評するのも、理由あるが如く思はるゝも、果して然らば確信を以て失業對策を實行し得る者ありやと云へば、恐らくは否と答へざるを得ないのが、英國の現狀である。

　勞働黨政府は、その公約せる失業對策の一部分として、植民地開發法案、事業開發法案寡婦年金法案、道路運輸法案、住宅法案、教育法案、貧民窟撤廢等の新しき法案及法律改正を通過せしめてゐる。此の他に尚二の重要なるものがある。一は失業保險法の改正であり、他は炭坑法案である。失業保險法に就ては三回の改正を行つてゐる。第一回と第三回の改正は、共に增加せる失業者を救濟する爲に、保險基金に對する政府支出高を增額するものであつた。最も問題となつたのは第二回の改正であつて、之は失業手當請求の資格條項の改正及び失業手當率の增加に關するものであつた。此の法案は上院の反對を招き、遂には下院の權限が侵されると思はるゝ點に迄干涉されたのである。そして政府は此の反對に屈服し妥協案を作らなければならなかつたのである。然も失業手當率は、扶養者に對しての割當が僅に增加せられたのみであつたが爲に、勞働黨左翼は此處に明にその不滿を表明し始めたのである。

　更に炭坑法案に就ては、勞働黨政府は幾度か窮地に陷れられたのである。英國產業中最惡の狀態にある炭坑業の恢復を目的とした此の法案は三の部分より成つてゐる。一は販賣制度に關し、二は炭坑夫の勞働時間を七時間半に減少し、三は賃銀協定機關を設立する事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に關するものである。そして問題となつたのは、此の第一の販賣制度に關してゞあつた。遲くとも總選擧は、此の五月頃には行はるべしとの憶測が傳へられたのも、此の問題が危機を胎んでゐたからであつた。併し此の場合各政黨とも、議會を解散せしめた責を負ふ事が、自個に不利なる事を十分に知つてゐた。かくして勞働黨と自由黨との提携が行はれ、此の法案には自由黨の要求する炭坑の强制的併合に關する條項が加へられ、ロイド・ジョーヂが議會に於て、軍縮會議を控へた今我々は政府をして十分に働かしむる必要があると白々しくも述べ立てる事に依つて、政府は此の危機を脱し得たのである。

失業問題の實際的處置に關しては、勞働黨はトーマスをして之に專心せしめてゐたのである。トーマスの望んだ所は何であつたか。それは應急の施設に依つて失業者群を減少せしめんとするよりは、産業を振興せしめ之に依つて失業者を吸收せんとするのであつた。藏相スノーデンの財政的見解も亦、此の應急施設に對する巨額の政府支出を拒否してゐる。

トーマスに依つて行はれた失業對策中、著しいものが三つある。一は選擧當時經濟參謀本部なる名の下に云々された、經濟政策に關する最高機關である。之は經濟評議會の名を以て今年早々設立せられたが、之から何等かの結果を得らるゝのは、恐らく今後の事であらう。二は開發資金の保障及貸與法である。併し之の結果が現在の失業者群に直接及ぼす所は、極く小さなものである。三はトーマスが得意とした所の、銀行家による産業振興會社の設立である。之は英國の重要産業を銀行家の助力に依つて、合理化せんとするものである。産業を銀行家の手に依て合理化する事に依て、失業を救濟せんとする此の政策は、勞働黨本來の精神に反するものなりとして黨内に於て、殊にI・L・Pの一派より非難せられたのである。

「社會主義を我々の時代に」を根本方針とするI・L・Pにとつては、重要産業の國有こそ彼等の眼目なのである。又現在の不況の原因を過少消費にありとする彼等の立場からすれば、政府のとれる政策は全く不滿である。故に彼等は、勞働黨政府は失業對策に就て公約を實行せざるものなりとなし、バーミンガムのI・L・P大會に於ては、政府と行動を共にせざる事あるべしと宣言するに至つた。そして之に屬するモズレーが、遂に意見合はず内閣を去つたのも當然であらう。

事實勞働黨政府の此の一年間採り來たつた方針は、自由黨の發表せる産業政策との間に相違を認めるに困難な程である。スノーデンの豫算案も殆ど此の範圍を出てゐない。所得税率の增加、土地價格增加税の新設等が含まれてゐるが、左翼の立場からすれば未だ物足

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りないと思はれるのである。

斯の如く勞働黨政府は今の所、自黨左翼より隔離して寧ろ自由黨と提携してゐるのである。自由黨が當に議會解散にならんとした時、政府と合流したその裏には、自由黨の持つ悲哀が視はれるのである。現在の選擧制度の下に今一度總選擧を行へば、自由黨は殆ど滅亡するであらうとは、一般に推測されてゐる所である。此の狀態より再起せんとする唯一の希望は、比例代表制に改正する事である。自由黨が現政府の下に選擧法改正を行はんとしてゐる事は、彼等の痛切な願望である。之が勞働黨を支持する事に代へて、彼等に望む所の代償なのである。併し絕對多數を望んでゐる勞働黨が、最も都合よき現行の選擧制度を變革するや否や、此處に自由黨との提携の危機が潜んでゐるわけである。

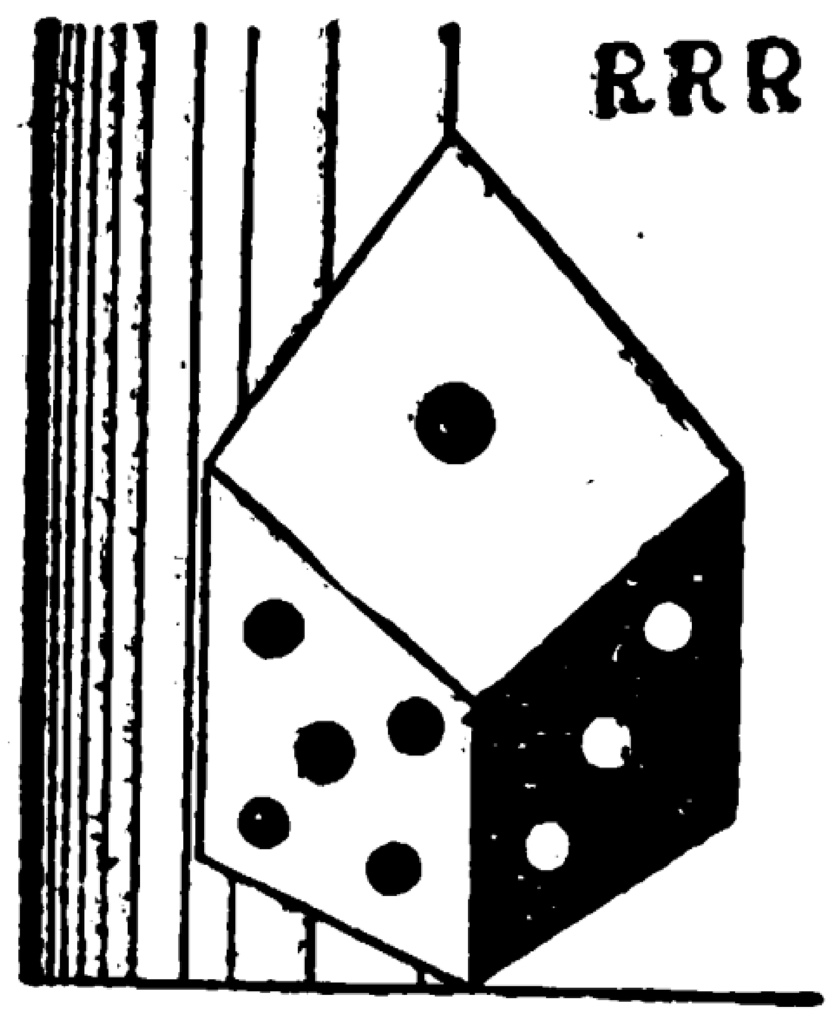
更に勞働黨政府はその豫算案に於て、保護關稅の即時撤廢並にその自然消滅を表明してゐる。之に對して保守黨は、英帝國を一單位としての保護政策卽ち英帝國內自由貿易を以て、產業恢復の唯一手段なりと稱してゐるのである。その保守黨內に於ても、從來のボルドウインの態度に飽足らざる一派は、「英帝國十字軍」なる名の下に、極端なる保護政策を主唱してゐる。最近にボルドウインは黨首の地位をチェンバーレインに讓つたといふ。保守黨自身、亦現時の大問題に對して確たる態度を取り得ない惱がある。

果して勞働黨政府の自由貿易主義を以て、自治領並に植民地の市場を十分に、英本國產業の爲に獲得し得るか。之は此の秋に開かるべき帝國會議に懸けらる、最も興味ある中心である。トーマスが自治領大臣の職に轉じたといふ事も、彼の失業對策が期待せられた程の効果を齎さゞりし不評に依る事もあるが、一面此の來るべき帝國會議に勞働黨政府が期待する所あるを語るものとも見られる。

來るべき大問題には、此の他にインドの問題、エヂプトとの問題、そして常に困難を加へつゝある失業問題がある。勞働黨政府一年間の結果を以て判斷するには、當面しつゝある問題は餘りにも大き過ぎたのである。然らば將來は如何。其處には幾多の困難なる問題と、自由黨との提携がある。勞働黨政府は如何にして此の第二年目に處してゆくか、興味ある問題でなければならない。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



RRR

新劇女優の行衛

金子洋文

一

松井須磨子から水谷八重子までの新劇女優をたゞ漫然と考へるだけで、二十余名をあげることができる。山川浦路、衣川孔雀、酒井米子、木下八百子、林千歳、三好榮子、山路千枝子、澤みや子、山上珊瑚、花柳はるみ、伊澤蘭奢、久松喜世子、森律子、村田嘉久子、初瀬浪子、河村菊枝、藤間房子、佐藤千枝子、鈴木德子、渡瀬淳子、加藤光子、岡村文子、等々で、更らに八重子と同年輩及びその前後の女優をすぐつてくると、山本安英、岡田嘉子、田村秋子、岸輝子、東山千榮子、岡田靜江、高橋豐子、細川ちか子、二葉早苗、永島優子、草間錦糸、原光代、村田竹子、村田美禰子、鈴木ふく子、橘薫等で、この外に私の知らない、思出させない、忘れてしまつた、新劇女優も可なりゐるにちがひない、それらの名女優について演技の好惡や、身上話を語ることは、私の任ではないし、また退屈な仕事だ。

私が、冒頭特に（須磨子から八重子まで）とある含みをもつた言ひまはしをした所以は、通俗女優論をさけて、今まで考へられなかつたことに對して一つの答を引出さうとしたからだ。

この意圖は、大衆的な、そしてありふれた疑問と豫想とにも聯關してゐるが、その出發點はプロレタリア劇團が生み出すであらう、輝かしい新らしい女優に對する希望から來てゐる。

ありふれた疑問と豫想とは、

「須磨子のやうな女優はもう出なからう、」から始まつて「須磨子が若し現在生きてゐたら」

と、言ふ一筋の茶話だ。

しかし、この豫想は死兒の年齢を數へるに等しいことで、いくら豫想をでつちあげたところでくだらんことだ。が、問題をすりかへて、現在新劇女優として人氣の頂點にあるらしい水谷八重子の依存する社會的、經濟的根據をつくことによつて、また前記の女優から數人の女

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

優をピック・アップして、同じ檢討を試みることによつてこの豫想に對しての有力な暗示（或はたゞ一つの答と言へるかも知れない）を與へることができるのではないかと考へられる。而して初めの疑問に對しては、新らしい須磨子は、プロレタリア劇團以外からでなければ絶對に生れて來ないことを、私は示唆したいのだ。

二

松井須磨子は、川中島を一里ばかりはなれた淸野村といふ寒村の生れだ。彼女が農村の野性的な娘で怜悧で、情熱的で、勝氣で、男勝りであつたこと、また靑春時代、養父、實父を失ひ、つゞいて結婚に失敗して多くの涙を流さねばならなかつたこと、それ等のことごとくが、彼女をおいた時代——自由主義運動を反映して勃然とし起つてきた新劇運動に身を投ずるにふさはしい、そしてまた、彼女を悲劇にみちびくに、適合した條件であつたと言ふことができる。

而し、彼女をして一代の名女優にした點については、彼女の個性なり、經てきた生活環境は副次的なもので、その藝術的天禀を培かひ發表さす動力はその時代であり、また時代を反映した運動の集團である。この點、須磨子が生ひたつた文藝協會はその運動の性質決意も餘程ちがつてゐるが、今日のプレタリア劇團に似た熱意と覇氣をもつて打つて出てゐる。したかつて新らしい須磨子はプロレタリア劇團以外から生れないと斷じる所以も、この點にある。

當時文藝協會は、どんな野心と決意をもつて打つて出たかは、坪内博士の草した三章の憲法に十分窺ふことができる。

一、本研究所生は劇壇に新藝術を興すと共に、舊來の演劇及び俳優に纏綿せる陋弊を一洗し、その社會的位置を高むるをもつて理想とすべし。

一、本研究所生は、藝術に對して常に眞摯嚴肅の態度を持し、輕佻を戒めて大成の道を畢生の研究に求むべし。

一、本研究所生は本所がその組織精神及び地位に於て、我國演劇研究機關の率先者たるの責任を自覺し、深かく自ら重ずべし。

一方各講師によつて示された演劇に關する講義の内容もマルクス、レーニン主義が今日の靑年男女に與へるやうな魅力に富み、その稽古も猛烈だつた。

かうした困難な創始時代に勝氣な熱情的な、彼女の性格がうまく適合してゐることは言ふまでもない。彼女は女工に等しいみすぼらしい服裝をして研究所に通つた。そして鯛燒を噛りながら、他の研究生が休憩する時も執拗に努力したのだ。

彼女は第二の夫をなげすてゝまで芝居に沒頭した。そして明治四十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四年五月「ハムレット」のオフイリヤに扮して帝劇の舞台をふんだのだ。島村抱月氏が彼女の熱心さをかう書きのこしてゐる。

「松井須磨子は花を撒きながら歌を唄ふところを、東儀君と一緒になつて、一生懸命に、公演中の今も尚ほ稽古してゐる……」

文藝協會のこの鬱勃たる野心は、その精神を體して分離獨立した藝術座に於てもかはりはなかつた。彼女は一方演劇に熱中すると同時に抱月氏との戀愛に甘美と苦澁を味ひながら經濟の重荷を共にして前進しなければならなかつた。藝術座の新演は大正二年の九月だつた、劇場は震災でなくなつた有樂座で出し物はメーテルリンクの「内部」と「モンナ・ヴンナ」の二つ、興行はすばらしい人氣で十日間大入滿員だつたが、素人の算盤で冗費が重なり千圓近い損をしたのだ。

「サロメ」續いて「復活」に及んで松井須磨子の名はカチユウシヤの唄と一緒に全國に及んだ。前後四百四十四回(ゴシツプ——この三つの四の重なりが彼女の自殺を暗示してゐる)彼女は全國に「カチユウシヤ可愛いゝや」を唄ひ歩いた。當時代用教員だつた私はこの唄を生徒へ教へたため正に馘首されやうとした。

私が彼女の演技に接したのは十六七年前の夏で郷里の秋田劇場だつた。脚本は中村吉藏氏の「飯」「サロメ」私は今でも彼女の科から私自身の感動、周圍の窒息に似た感きはまつた感動まではつきりと覺えてゐる。彼女の演技は熱情的で肉體的であつた。その感覺は眞赤な薔薇の花にふさはしかつた、東北人である彼女は、繊細なものは不向きで激情的なもの、率直なもの、強い肉迫力のものにふさはしかつた。したがつてその演技は知識階級的な要素より大衆的要素に富んでゐた。

「モンナ・ヴンナ」「復活」「闇の力」「人形の家」「思出」「サロメ」「海の夫人」「カルメン」「剃刀」等の彼女の成功したそれ〴〵の脚本を取りあげてみてもそれは十分肯くことができる。

彼女の性情と生活經驗は創生から迸熱にみちびくにふさはしかつた。それが時代の傾向と創生の新劇運動に適合した。そして事實上、藝術座を迸熱にみちびき、そのまゝに散つたのである。

三

須磨子と反對な藝風で未だにこの途の專門家からなつかしく思ひ出される女優に衣川孔雀がある。彼女は藝術座と對立的にあつた上山草人の近代劇協會の所謂名星で、後に藝術座がアンナ・カレニナを上演するに際して特別出演し、つゞいて巡業にもまはつた。

私は彼女の淸楚な姿に接したことがあるが一度も舞臺姿を見たこと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はない。而し、ある人の語る所によると、八重子の藝風は須磨子の流れをくんでゐるやうに一部に思はれてゐるのは間違ひで、孔雀の系統をひいたそれに近いものだと言ふ點から考へても、孔雀の藝風を想像することができる。チエホフに見る細かい味のもの、至純なもの、清雅なもの、フランス流の戯曲、日本で言ふと岸田國士君の戯曲などには最も適した人らしい。

而し、こゝで見てゐない女優の藝風をいろ／＼と形容したところで仕方がない、むしろ、彼女がすぐれた素質を持ちながら、十分社會的に發展することなしに、舞臺を去つた點に私の興味が惹かれるのだ。なぜならば、私的生活なことはのぞくとしてさうした藝風をもつた人が、はたして荊棘の路に等しい、創生時代の新劇運動によく耐え得るかどうかと言ふことだ。彼女が荒らい風を小さな硝子窓にさけて、前栽の草花を愛する人にふさはしいと見るのは自理にみちびかうとする牽強附會の辯であらうか、――と、言ふ點に須磨子の例とは逆に「八重子がその當時の女優であつたなら」といふ假定に對する、暗示的な答へでもある。

その女優が據るところの集團がその女優の生涯を左右するい、例として帝劇の女優をあげることができる。

我々が帝劇女優を新劇運動の直系をひく女優として扱ふことを躊躇する所以は、その集團が運動のもつ歴史的な意義をもたなかつた點から來てゐる。事實、帝劇の女優は新劇運動に何を加へたか、それは華かな根據の薄弱な空しい虚名である。むしろ彼女等の出現は新劇運動の文化史的意義の喪失を反映した、資本主義への低頭と敗北を物語るある段階を示すに止まると言つてよい。そのことは今日帝劇の沒落によつて白日の下に晒されたではないか。

勿論このことは帝國女優の個々の天稟についてまで泥を投げつけることを意味しない、たとへば、村田嘉久子のごときはその秀抜な演技に於て、兎に角新劇女優の第一級に屬する人だ。しかるに新劇運動史にのこした彼女の足跡が甚だ小さいことは、彼女の依據してゐる集團が運動からきりはなたれたものであつたこと、帝劇女優全體に課せられた努力が七分通り無駄なものであつたからだ、一例をとると幹部補等の歌舞伎の眞似がそれである。

四

新劇運動を回顧するにあたつて悲壯な觀を抱かせしめられるのは、歴史的に必然な沒落を身一つに背負つて、轉換もならず打倒れた畑中蓼坡の新劇協會である。そして、畑中を初めとして伊澤蘭奢、花柳はるみ、のすぐれた二人の女優は、それと運命を同じくした一種の殉教

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者であると言ふことができる。(花柳君は嚴密にさういふことができないが)

伊澤蘭奢は山口縣との境にある島根縣の津和野の産だ。製紙家の娘だつたが少女時代に家が沒落して艱難な生活の第一歩が始められた。兄をたよつての廣島の生活、兄が朝鮮に去つた後、叔母夫婦に縋つて日本女學校を卒業した。

某藥劑師との八ヶ年の結婚生活は一人の愛兒を涙と一緒にのこすことによつて破れた、そして彼女もまた創生時代の新劇運動の荒波に身を投げたのだ。

その境遇の變化は須磨子に、ヤヽ共通したものをもつてゐる。また、眞劍で、熱情的でその演技が肉體的でエネルギッシユな點でも共通的なものをもつてゐた。が、須磨子が横暴に近く自主的で奔放の中にいろ／＼な要素をもつてゐたに反して、蘭奢は自制的でより近代的な柔軟性とニユアンスに富んでゐた。彼女の最初の出發は上山草人の近代劇協會だつた。協會は芝口の平民食堂と對峙してゐる小汚ない家だつた。

今アメリカから歸朝して穏かな顔を方々へ見せてゐる上山草人は當時芝居の稽古になると鬼に等しい暴君だつた、たてつゞけにビールを呻つては鞭をふりまはして、毆る、蹴るといふ度を越した緊張ぶりである。妻君の山川浦路などはしば／＼髪の毛をもつて引きづりまはされたと言ふほどだからその程度が察しられる。かくして彼女は山上珊瑚と共に、(二人の新女優の新舞臺と)都下の新聞に書きたてられて出發をきつた。「ヴエニスの商人」のネリッサである。

新劇女優では平民食堂の十錢の丼飯でさへ、食べ續けて行くことは出來なかつた。彼女は雜誌社に勤めた。戀もした。誘惑もされた。愛の巣もつくつた。そしてまたのこした愛兒に對する思ひに惱みもした。

彼女はかう言つてゐる。

(わたしから「生み落されたもの」が「生み惱んだ」わたしを、果して認識してくれるかどうか、といふ疑惧の情こそ、考へるさへせつない、惱ましいことでした)

更らに大きな惱みは新劇の凋落だつた。知識階級的なこの演劇運動は大衆に愛される前にその歴史的意義を失ひつゝあつた。資本主義が急速に發展して、ブルジョア對プロレタリアの階級關係が、はつきり姿を示してきた結果、小ブルジョア層に十分根を張ることが出來ないままに沒落の途にはいつた。新劇運動は、とくに新劇協會は舵を失つた船に等しかつた。經濟的重壓にあえぎよろめきながら、時々の公演によつて希望少ない旅をつゞけた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この苦悶は彼女が斷髮することによつて解決されなかつた。彼女の眼は新劇協會よりもより早くこの新たな階級社會に開かれてゐたが、そこへ轉換し飛躍する前により多く虚無的なものに蝕ばまれて居た。

彼女は、畑中よりも早く新劇協會がプロレタリア演劇運動へ更生することを望んでゐた。しかし、その努力は意識的になされたと僕は思はない、それに私的生活な、また種々雜多な障害が介在してゐたことだらう、が、すでに虚無的なものに立上る勇氣を抑へつけられてゐたことは爭はれない。

醉つた時だつたが、彼女が言つたことがある。

「どうせ短かい生命だもの。」

その陰影は平常にも見られた、しかも、彼女は優しい、美しいものを最後まで失つてゐなかつた。

五

花柳はるみは最も特殊な藝風を持つた卓れた新劇女優だ。彼女の初舞臺は藝術座の八回公演から初まつてゐる。

が、彼女の戀愛は間もなく藝術座を去るべく余儀なくした。そして彼女がその美貌と獨特な演技を示したのは、「踏路社」でやつた「ウオレン夫人の職業」だつた。

彼女の演技は何より知識階級的であることに貫かれてゐる。同時に飜譯物に適し、日本物に不向であることに貫れてゐる。その飜譯物もストリントベルヒの諸作に見る強い性格劇で「債鬼」のテクラ「仲間同志」オスカアワイルドの「ヴエラ」ピランデルロの「作者を探す六人の登場人物」の娘、かうしたものをやらせると、彼女に追從できる新劇女優はかつて一人もなかつたと言つていゝ位だ。

彼女には優しいお母さんの役などは絶對不向きだ。強い性格的なもの、妖婦型のもの、毒婦的なもの、鋭角的で、火花を散らすやうな役々、しかも、それが飜譯物に限られてゐる。彼女には日本人のもつ空氣や陰影は微塵も持合せてゐないと言つていゝ。

二三年前の彼女は蘭奢と並んで新劇協會の女優らしく一般に思はれてゐたが、その實は自由契約俳優と言ふにふさわしかつた。彼女を一つの劇團にとまらせなかつた理由は、彼女の性格にもよるだらうが、長い結婚生活を蹂躙して飛び出した者の、奔放なものに對する憧憬と安定性のない浮はついた心だ。

彼女の演技は新劇協會で村山知義君の「勇しき主婦」をやつた前後が絶頂だつた。その後協會が大衆的に進出せうと試みるにしたがつて、知識階級的な日本物に向かない彼女の演技が不調和を暴露し、また生活的にも藝術的にも生氣を失ひかけた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今の所、彼女は新劇運動と沒落を共にして鳴りを鎭めてゐる。おそらく勝氣な負ん氣の強い彼女は、かつて菜葉服を着て銀座を濶歩したやうに飛び出してくるにちがひない。しかし、アメリカニズムを反映したレヴュ式のものの不似合な彼女は、そのありあまる熱情を、奔放さを入れるにふさはしい劇團を何處に見出すであらう。若しそれが轉向したプロレタリア劇團であるとするなら、彼女のもつプチ・ブル的挾雜物を如何に處理するかは、可なり困難な自己革命だ。

新劇運動はその歴史的意義を喪失して分離解體した。一はプロレタリア劇團へ、他はモダニズムを反映する面白い劇團へ、そしてその最もいちぢるしい慘落の姿を、岡田嘉子の一座にみる。

轉向した二つの劇團、新築地、築地、また最近旗あげした新東京の擁する女優に對しては、私はこゝで言ふことをとめる、前者は試練の途にある劇團であり、後者は「新劇運動の沒落」の答へに對して僅かに拮抗してその事實をくつがへさうとしてゐる劇團であるからだ。双者は一つに見て興味ある新たな課題だ。

六

新劇運動の中に育つて今日人氣の頂點にあるのは水谷八重子と夏川靜江だ。この二人は、新劇協會が有樂座で「青い鳥」を上演した時、チルチル、ミチルに扮して何れもおどろきをもつて將來を期待された二人だ、そして今日一方は舞臺に、一方は活動にその清楚な演技を讃へられてゐる。

こゝまで到る八重子の經路が須磨子や蘭奢と違ふ點は、周圍から、いたはられ、愛されて、激しい苦難をせずにすく〳〵と育つてきてゐる點だ、勿論八重子も負けん氣の強い女だ、男らしい勝氣な一面もあるし、強い熱情ももつてゐる、がそれ等のものが對經濟的な對異性的な方面に向けられないで教養と藝術の中に集中されたことだ、そして彼女の天稟と美貌は周圍の指導鞭撻よろしきを得て今日に到つたのだ。

彼女の演技は快活で明朗だ、そしてある時は高雅で可憐である。これは今日のプチ・ブルヂュアの不安定と意識的、無意識的な逃避を滿足さすに最もふさはしい演技的條件である。

彼女はしば〳〵フヰルムにその姿をあらはすことによつて、一般に愛されてゐる、それからウテナ、これは彼女の演技を大衆に親しませる見えない秘密だ。彼女はフヰルムにまきちらした喜びを舞台で消すやうな、下手な俳優ではない、反對にその歡びを倍加しておくりかへすうまさをもつてゐる。

が、反對に彼女の演技には熱情的なもの、エネルギッシュなものを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

缺いてゐる、生活的なもの、探求的なもの、一言で言ふと今日と明日を約束する眞實を缺いてゐる、これを八重子自らの口に言はせりや（このまゝでゐていゝかしら）といふ疑念だ。

この唯一の原因は彼女が松竹合名會社の一座員であつて生活的には現實から遊離し勝であり、藝術的には精進する芝居を與へられないところからきてゐる。言つてみりや興業資本家一松竹に雇はれた勞働者に過ぎないのだ。

私はかう理解する。新劇運動はその歴史的意義を失つて沒落した、そしてその文化的意義からきり離れた演技が今日弗に換算されてゐるのであり、それが八重子の現在の位置であり、また、プロレタリア劇團以外の凡ての新劇女優のたどる途であると。

而らば現在もつ八重子の人氣なるものは果して十分に實質的であると言ひ得るか。私は疑ひをもつ、その不充分さは大衆の生活的な結びつきの缺除から來てゐると私は考へる。八重子の次の發展と否とは實にこの一點にかゝつてゐるのだつた。

反ブルジョア的鬪爭へ！

それがたとへば同伴者的であるにしても、彼女自らを救ふものであり、大衆の愛を實質的に揚める鍵でもある。



蘭陵美酒鬱金香
玉碗盛來琥珀光
但使主人能醉客
不知何處是他鄉
（李白）

東京日比谷
支那料理
山水樓
電話銀座（五五五五／一七一一）番

新蒙古の創造者ドムバドルチ

淡徳三郎

蒙古、それは私達にとつて神祕不可思議の存在となつてゐる。尤も同じ蒙古でも内蒙古の方は、所謂滿蒙の中に包含され、日本帝國主義の利益の見地から、樣々な調査報告が爲されてゐるが、外蒙古は全然祕密の帷の中に包まれてゐる。たま〳〵報告の爲されるものがあるかと思へば、同地を逃れて來た洗濯屋や坊主等の斷片的見聞記の新聞紙上に散見するものあるに過ぎない。彼等の多くはスパイの嫌疑（果して嫌疑だけであつたか否かは保證の限りではない）で數年間監禁の憂目を見てゐた者で、その報告する所は常に外蒙古の野蠻、ロシヤの『帝國主義的侵略』『陰慘な牢獄生活』等々の身の毛の竦つ樣な描寫ばかりである。何處の國に陰慘でない牢獄生活があらうか？

人は便所の不快から推して、その家の全體を表象する事は出來ない。牢獄生活の陰慘から推して直ちにその社會の全體を想像する事は出來ない。況んや、その牢獄生活の記述それ自身が不確實にして信賴すべからざるものたるに於てをや。何故ならばこれらの記述者の大多數はスパイといふ卑しい嫌疑で投獄された人達だからである。

で私は次に、我國に於ける解放運動と甚だ密接なる關係にありながら、著しく歪み曲げられてゐる新蒙古の消息を傳へたいと思ふ。先づ新蒙古共和國建設の由來より始める。

新蒙古の建設

嘗ては成吉思汗の覇業の下に全アジアを統一する大帝國を建設し、歐洲に迄侵略した蒙古も、最近數百年間は清朝の支配下に氣息えんえんとしてゐた。彼等蒙古の民衆は三重の軛に繫られてゐた。清朝の支配、蒙古人自身の神政的君主喇嘛敎王——（活佛）、及び支那商人の經濟的搾取これである。普通の牧人には何らの權利もなかつた。要するに今日地球上に於けるあらゆる隷屬民族が嘗めてゐると同じ抑壓と搾取との苦惱の下に彼等も亦呻吟してゐたのである。

此の結果蒙古人民のあらゆる土地と家畜の半ばとは、借金の抵當と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して支那商人の手に占有されてしまつた。

蒙古に於ける傳統の二つの要素が、此の搾取を一層苛酷なものとしてゐた。第一は蒙古王の專制的勢力である。此の種族の古い慣習によつて彼等は遊牧民の土地に對する監督權を握つてゐた。次第に彼等は、此の權力は事實上の所有權をも伴ふものであり、從つて自分の個人的負債の爲に國土を賣却する權利があると考へる樣になつた。毎年彼等は北京に赴いて皇帝に忠誠を示す習慣であつたが、北京では彼等は、狡猾な支那商人の非常な歡待を受ける事を常とした。即ち贅澤な饗應を受けたり、立派な贈物を受けたりするのである。そして蒙古に歸つて來た時には、その國土は華美な贅澤品の代價として、支那資本家の抵當に入つてしまふのであつた。

支那商人の搾取に好都合であつた蒙古に於ける第二の傳統は、遊牧民各員の負債に對する連帶責任といふ古い主義である。支那人がある一蒙古人をすつかり吸ひ盡してしまふと、その負債はその仲間全體にかかつてくるのであつた。此の方法で支那人は、蒙古の國土を奪ひ取り、それを支那移民達に賣りつける——か樣にしてその領土の大半は彼等によつて併呑されてしまつた。植民よりも寧ろ牧畜に適した外蒙古に於てさへも、支那商人は借財證書によつて、その家畜の半分に對する權利を掌握した。

千九百五年のロシヤ革命、殊に千九百十一年の支那革命と共に、蒙古にも新しい獨立思想が入つて來た。千九百十三年蒙古は、勢力を失墜した支那共和國より、支・露・蒙三國協定によつて保證された自治制を獲得した。だが、此の自治制は、一般大衆にとつては何らの利益を齎すものではなかつた。蓋し權力は完全に、國家と教育とを同時に支配してゐる教主共の手に移つたからである。最高權力は六十人の活佛の首長たるボブドカンが握つてゐた。彼は全く反動的で、滿洲に於てさへ既に實行されてゐるごく初歩的な近代的教育施設の運動をも彈壓する程であつた。彼は唯宗教學校だけを許してゐた。然し今や大衆は、此の封建的宗教的君主には、蒙古民衆の經濟生活を統制する能力のない事を知り始めた。

世界大戰と革命の勃發の爲、蒙古自治制に對するロシヤの保障力が弱められた時、支那の一將軍は安福派、恐らくは又××の後押しで、外蒙古に侵入し、庫倫を占領し、政府の首腦に立つ王族達に對し、自治制廢止の宣告書に署名せん事を迫つた。此の事件は、ボブドカン並びに全國にゐるその護衞兵が、支那の侵入に對して全く無力である事を曝露したので、彼等の威信は全く地に墜ちた。

支那兵の侵略の蒙古人に對する打擊は甚大であつた。彼等は毎週千頭の羊を平げた。然し之と共に眞の大衆運動、即ち支那の侵略者ばか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りではなく、蒙古の王族達とも戰ふ牧畜民の運動が起つた。それにはかの十月革命の思想の影響する所大であつた。忽ちにして大ゲリラ軍が武裝した。そして彼等は共産主義インタナショナルに助力を求めん事を決心した。インタナショナルは最初から之を支持した。かくて蒙古の自治制廢止宣言の後一年、蒙古の革命的大衆は支那に對して戰を宣したのである。

當時ロシヤの革命の波は擴大して、蒙古に迄及んでゐた。ロシヤの赤衞軍は極東に於てセミヨノフを擊退した。此の戰ひで敗北した帝政派ウンゲルン伯は庫倫に到り、こゝで蒙古の獨立の爲に戰ふと稱する或る黨の黨首となつた。既に支那に對して鬪爭を始めてゐた蒙古國民革命黨は、今やウンゲルン伯に對しても鬪爭を開始すべく餘儀なくされた。彼等は赤衞軍數箇部隊の援護を求めた。此のロシヤの軍隊は、蒙古が支那並びにロシヤの白衞軍の種々なる暴壓から脱する迄駐屯してゐた。そしてその撤兵に際しては、新蒙古軍隊の爲に多くの指導者を殘し、又新しい革命政府の爲に、政治上經濟上の多數の顧問を殘して行つた。

然し革命黨は、佛教僧侶の權力を考慮し、且つ國内的統一戰線の爲に、先づボグドガンを立憲君主に變へようと考へた。そしてボグドガンが陰謀に陰謀を重ねて、新政府のすべての計畫を齟齬させ、覆さうと試みた三年間の後初めて彼等は、彼の官職を廢止する事の可能に想到するに到つたのである。老いたボグドガンが死んだ時、直ちにその後繼者の選擧を中止され、共和制が宣言された（一九二四年）。

滿蒙の彼方に謎の國として樣々なるデマゴギーに包まれてゐる新蒙古共和國はかくして成立した。然らばその現狀は如何なるものであらうか？　果して蒙古の民衆は、サヴエート聯邦の『赤色帝國主義』の爲に、嘗て淸朝の下に、或はツワール政府の下にありしと同じ樣な、抑壓と搾取の苦惱に呻吟してゐるであらうか？

私は之を蒙古人自身に語らしめよう。

此の目的を以て左に紹介せるものは、アメリカの一婦人記者アンナ・ルイズ・ストロングが、支那を退去せるボローヂンと行を共にして、外蒙古を通過した折、新興の意氣みなぎれる蒙古共和國の最高首腦部の重要人物との會見記である。アンナ・ルイズ・ストロングはアメリカの記者ではあるが、所謂アメリカ型の、絶えずセンセーションを追ひ求めて走り歩いてゐる無良心的な人物ではない。彼女は始め熱心なるクリスチヤンとして、ロシヤ革命直後のロシヤの大飢饉に際し、數百萬の飢民に對する人道主義的同情から、多額の義捐金を募集し、之を携へて單身ロシヤに渡航した。然るにロシヤに於ける革命的建設を眼のあたりに見た彼女は、偏狹なキリスト教的人道主義より一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

羅ロシヤ革命の眞摯なる友として、その盡す所大なるものがあつた。されば其の旅行記や會見記の如きも、凡庸なるアメリカの記者には到底求むべからざる誠實さと深刻さとに滿ちてゐる。

吾々は、スパイ共の意識的なデマゴギーでなしに、牢獄生活者の偏狹な心理の眼鏡からのぞいた蒙古でなしに、赤裸々になる蒙古の實相を此の會見記から知ると共に、所謂蒙古に於けるロシヤの『赤色帝國主義』が、(削除)英國の印度埃及等に於ける帝國主義と、如何に本質的に異るものであるかを如實に學ぶのである。

* * *

此の二週間内に、多數の政治、經濟生活に於け蒙古人指導者に會つた。國民革命黨首であり、堪能な、注意深い組織者であるドムバドルチは、黨大會の朝私を引見した。地味ではあるが、有能な事務家ジヤツンバは經濟省の指導者である。ナムサライは風彩の立派な男で、ひらひろした靑色の衣服を着、オレンジ色の肩帶をつけてゐたが、彼は産業組合を指導してゐた。バッカンは親切な哲學者風の文部大臣であり、近代自然科學を導入して、喇嘛僧院の宗教哲學と抗爭してゐた。之等新蒙古の建設者達と並んで猶ロシヤ人が重要な活動をなしてゐた。則ちドイッチユマンは蒙古國立銀行の總裁であり、オニシユチエンコは、ウラン・バール・ホト(前の庫倫で、外蒙古の首府である)で各種のロシヤ販賣組織を總括してゐる『ストルムング』の會長である。



ドムバドルチ氏

彼等の言葉を通じて、僅か數百年間の革命的建設の間に驚くべく多くの事業を成就した國民の姿を思ひ浮べる事が出來た。

國民革命黨首ドムバドルチ氏と語る

ドムバドルチは先づ蒙古の勞働者に就いて語らうとした。彼は革命黨の黨首たるのみならず、勞働組合の組合長である、半年前彼は組合組織に着手し、それは今五千人以上の組合員を算するに到つた。その中支那人千五百、官房雇員と市吏員千五百、婦人裁縫師組合員六百で

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。此の數字は明らかに蒙古にはすべての工業が全く缺如してゐる事を示してゐる。總數の中猶二百の床屋兼外科醫と四百の自動車運轉手とがさし引かれるならば、一般工業に組織されてゐる蒙古人は千人に滿たない。彼等は國有工場の建設やその經營に從事してゐる。此れらの工場は未だ全く處女期を脫し得てゐないが、新しい傾向を有する蒙古人の景仰の的になつてゐる。それは畜產業の上に施設さるべき初步的小工業を蒙古に輸入する試みをなし、之と同時に、支那人其の他の商人輩の數世紀に亘る搾取から大衆を解放する事を促進した。

初めから之らの工場では、國境外の支那工場より非常に高い賃銀を支拂つてゐる。これはロシヤの賃銀に殆ど近い。工場勞働者は一ケ月二三百ルーブル迄支拂はれる、諸工場は賃銀の十二パーセントを社會保險として支拂ふ。八時間勞働制が實施され、土曜日と祭日の前日とは僅か六時間勞働である。一年間勤續者には四週間の、半年間勤續者には二週間の公休が與へられる。工場は地方委員會の統制下にある勞働者文化促進基金として、支拂賃銀の二%を寄附した。凡ての國有工場は共同的な協定を結んでゐる。

然し何といつても蒙古では、工業勞働者は微々たる一團に過ぎないので、會話は間もなく多數を占むる遊牧民に向けられた。その數に就いては或る者は六十萬以上と概算してゐるが、ドムバドルチはたつぷり百萬はあると評價した。彼は、一般に評價が過少に失すると考へてゐる。『彼等は人口調査を避けます。課稅と兵役とを恐れてゐるのです。數世紀以來彼等は隱れる事には慣れてゐます、』と彼は語つた。

彼は、國內の最貧困階級を形成してゐる被傭牧人を組織する計畫を語つた。『然し、』と彼は微笑し乍ら言つた、『それは堅固な胡桃みたいに困難な仕事です。蒙古人は、四乃至五ユルテ（遊牧小舍）が一團をなして遊牧生活を送つてゐます。恐らく一番近いユルテ群からさへ五十露里（約一　粁　に當る）も離れてゐる狀態です。此等の人が集合に出席する事がどうして出來ませう。』

被傭牧人の賃銀はいくらかとの問に對し、ドムバドルチは笑ひ乍ら答へた、『原則としては通常無賃銀です。吾々はなほ工業時代以前にあります。彼等は決算期に辛うじて年十ルーブル支拂はれるに過ぎません。然しその被傭人の全家族が主人と共に暮し、主人の爲に働くのです、妻は主人の爲に料理し、子供は水を運び、そして六つの年から羊の番をする。その代りに雇主は彼等の凡てに衣食を與へます。』

『彼等は主人の家族と同樣の食事を攝つてゐるのですか？』と尋ねた。ドムバドルチは再び笑つて、『全蒙古人は同じ樣なものを食べてゐます。夏はミルク、冬は肉が我々の食料品です。主人と使用人達の間に何等の差別もない。然し一つ大きな差別があります、』と答へ、暫く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して『それは權力と自由の點に於てです……』と附け加へた。彼の言葉は私にちらと原始的家長制の事を思ひ出させた。かゝる原始的家長制にあつては、奴隷桎梏は家庭情愛と殆ど區別せられず、そして『勞働』の如き近代的言葉は殆ど無意味である。

『我々の行政の組織化に際しても亦、我が組合組織の際と同樣の困難に遭遇しました』とドムバドルチは續けた。『廣く散存する遊放群を如何にして投票に歸寄すべきであるか？』蒙古の革命憲法によれば、最低選擧單位は一世帶の一群から成り、それに次いで高き選擧單位は五十世帶の二群から形成されてゐる。此の五十世帶の一群は地方行政の一定の權限を持ち、スモン會議（地方會議）に代表者を選出する。斯くの如く理論上では確立してゐるが、實際上では蒙古人は、大會への旅行の爲に時間と金を浪費する事を欲しない。そして最近の選擧には、僅かに三萬人が參加したに過ぎなかつた。右の如く述べたドムバドルチの態度には、事業の成功がはかぐ\しくゆかない場合、之を述べる事を躊躇する政治家の常套的な恐怖などは全く見當らなかつた。

ドムバドルチの報告によれば、革命黨は一三、八九六人の黨員を有し、その大多數は貧困者並びに中間階級に屬し、約千人が王族並びに酋長の家族である。婦人は凡そ千人所屬してゐる。

『五十「ボト」以下所有してゐる樣な家族は貧困の部類に入れられます』と彼は說明した。

『ボトとは何ですか？』と私は尋ねた。

『ボトといふのは我々の財産單位です。それは一頭の馬、又は一頭の牝牛、又は七頭の羊、又は半頭の駱駝に當ります。金にすれば三十五ルーブルの平均價値に換算されます。』

飢に苦しむ放浪蒙古人の家計の此の標準に驚いて私は尋ねた。『それでは貴下は、五十頭の馬或は牝牛を持つた男は貧困であると仰言るのですか？』

彼は繰返した『確かにそんな男は貧困です。彼はその外に全く何ものも持つてゐません、パンも農產物も持つてゐません。幼畜の增加だけでは、丸一年分の彼の食料には足りないのです。然し仔を產む前に家畜を殺してしまつては、その數が減つてしまひます』それは、一般の價値は、その價値對象が使用されてゐる全社會網に依存するものであるといふ事を說明する最も適切な事例であつた。沙漠で飢に苦しむ者にとつて一塊の金が無價値であると同じ樣に、五十頭の馬や牝牛は、これを耕作や播種と結びつけて考へるロシヤの農民には大きな富に見えるが、直接これを食料品に用ひる遊牧民にとつては僅少の財產に過ぎないのである。ドムバドルチが私に說明して吳れた所によると、中等產家の蒙古人は五十ボト乃至三百ボトを所有し、他方富める

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

王族は數千ボトを所有してゐるといふ事である。

私共の話は活佛や喇嘛僧に移つた。ドオムバドルナの説によれば、革命黨は決して宗教には手を觸れない。『我々はそれを敢てする必要はない。』と彼は快活な笑ひを浮べて告白した。『蒙古の男子の半數は喇嘛僧です。その中の又半數は僧院で暮し、殘りは乞食をしながらユルテからユルテを放浪してゐます。政治的經濟的見地から喇嘛僧は三階級に分たれます。少數の地位高く、富み、且つ教養ある資格者は、信者から贈り物を澤山貰ひ、贅澤な生活をしてゐます。それから無數に澤山の喇嘛僧は富んではゐませんが、兎に角僧院で糊口を凌いでゐます。最後に最も貧しい喇嘛僧は、乞食や勞働によつて生きてゐます。彼等は俗世界に居住し、もはや彼等の誓約を重要視しません。』

『我が黨のスローガンは言つてゐます、「純粹の佛教の佛教の爲に！」と。佛陀は一切の私有を拒否しました。嘗て個々の僧侶が贈り物で富む事を許した事はない。佛陀は儀式や寺院や一切の見榮を蔑視しました。黨はこれらの原始教義を宣傳し、僧院の特權を奪取する事によつて、喇嘛教の勢力を弱める事に努めてゐます……』

『我々の重大なる仕事は、青年を我々の學校に入學させる事です。我國には、八才から十六才迄の學齡兒童が一三五、二四五人ある。その中三千人が官立學校に學んでゐるに過ぎません。爾餘の中の半數は家にとどまり、他の半數は僧院學校に入つて哲學と西藏語を學んでゐます。然し青年の生活は、我々の青年組織によつて變化して來てゐます。以前は凡ての兒童が僧院に收容される爲に努力したものですが、今日では既に多くの者が、官立學校で近代的教育を受ける事を願つてゐます。多くの者が僧院を脱して我々の學校に這入り、中には革命軍に入る者もあります。』

ドムバドルチは、結婚が法の効力を得るには、その前に、二人の配偶者の同意を必要とする革命政府の新婚姻法に就いて説明した。『以前は親が婚姻を決定し、若き者は自分で選擇する權利を有しませんでした。革命政府は未だ兩親の干渉に逆つて迄結婚に同意するには到つてゐませんが、同時に若者達の同意を要求してゐるのです。……自稱獨身生活者喇嘛僧の「時間結婚」は、既に久しい間何者の反抗をも呼び起さない程一般的ですが、此の法律ではこれを認めてゐません、それは此の結婚が登錄されてゐないからです、然し此の法律は子女養育の義務を要求してゐます。喇嘛僧がより高尚な義務のある事に氣がついて僧院に逃げ歸るやうなことがあつても、馬や家畜は、子女を養ふ爲に、その妻に殘るのです。』

新蒙古の經濟發展

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

革命的蒙古の經濟的發展に就いて、左の樣な人々と語つた、即ち國家産業の一部門の指導者ジヤツマ、蒙古産業組合長のナムサライ、蒙古國立銀行總裁のドイツチユマン、ロシヤ商業協同組合『ステルモング』の會長オニシユトシエンコ等。同志ドイツチユマンの語る所によると、世界大戰前には、銀行事業は主として支那銀行の手にあり、その主要目的は主として蒙古支那間の爲替取引で、その爲に三十六パーセントの手數料をとつてゐた。ツアールのロシヤ銀行は一九一一年『蒙古國立銀行』設立の許可を得た。これは一九一五年開設され、革命の爲に閉鎖された。

一九二四年蒙古が共和制を宣言した時、唯一つの銀行さへなかつた。新革命政府は投資々本の半分を寄附したサヴエート聯邦の援助で、一つの銀行を創設した。二十五萬ルーブルの投下資本は、今日では百五十萬ルーブルに上つた。此の銀行の目的は、先づ第一に貨幣制度の改正にあり、更にあらゆる種類の國民的産業に對して信用の道を開くにある。管理委員は三人のロシヤ人と三人の蒙古人とで構成されてゐる。その議長には一人のロシヤ人が選出され、他方銀行の『サヴエート』や檢査委員會は主に蒙古人から構成されてゐる。

蒙古國立銀行は、十五年前迄如何なる貨幣制度も知らなかつた國に、安定した貨幣制度を創設した。極く最近迄蒙古人間の取引は、物物交換の方法によつて行はれてゐた、その際羊一匹が價値單位になつてゐた。

三年の間に、蒙古國立銀行は、國家貨幣即ちツグリーグを作つた。これはルーブル又は支那ドルに相當するが、尤も大いさの點では此の兩者に劣つてゐる。八百萬ツグリーク以上が流通し、その準備資金は、一部は金から、一部は銀や現在商品から成つてゐる。ツグリーク紙幣でさへ、既に全國に於て喜んで用ひられ、遠い荒野の蒙古人も、羊單位よりは、紙幣單位で賣買する方が、ずつと便利である事を知るに致つた。蒙古國立銀行は諸所の中心地に七つの支店を設立した。銀行の最も重大なる任務、即ち國家貨幣制の建設は、殆ど完成された。

猶二つの仕事が殘つてゐる、即ち國民的商業竝びに産業の金融化である。輸出入奬勵の爲に、又なほ初期にある國内産業の爲に、銀行は六百萬ツグリークの貸出を行つた。遊牧民に土地の耕作を指南する國立試驗農場は、六分の利子で九ケ月乃至四ケ年を滿期として三十萬ツグリークの信用を得た。此の銀行は又『モンゴルストロイ』即ち家屋や工場を建設する國立會社を支持してゐる。銀行はウランバトール附近の石炭坑の竣功を促進し、羊毛紡績、煉瓦製造、皮革製造を奬勵してゐる。又銀行は年利得中より蒙古人教化の爲に、三萬五千ツグリー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

クを支出した。此の金は國民議事堂の建設、學校の資金融通、優良種改良に貢獻すべき競馬場の設立等を促進した。此らの仕事を、蒙古國立銀行は、僅か三年間で成就した。

オニシエチエンコは蒙古の輸出入貿易に就いて話して呉れた。年貿易額は四千二百萬ツグーリに上り、その內『ストルモング』即ちロシヤ會社組合は千五百萬、蒙古消費組合は一千萬、その餘は支那人私營商店が占めてゐる。最近の四年間に於て支那貿易は以前の半分に降つた。その原因は支那の內亂にだけ求めらるべきではなく、協同組合的國內商業の建設の爲に協力して活動してゐる『ストルモング』や蒙古消費組合の競爭に求めらるべきである。

サヴエート貿易は一九二三年に『ツエントロソーユス』に依つて始まつた。其の後間もなくシベリヤ及び極東の『ゴストルグ』、それに續いて『シエルスト』が參加した。先年之等はすべて『ストルモング』組織下に聯合するに到つた。それは蒙古に於て主として羊毛や家畜を購入する。羊毛は制服や手毯に使用される粗質のものである。良質の羊毛は此處では採れない、それは、こゝの羊は年中雨や寒氣の中に野ざらしになつてゐるからである。駱駝の毛も亦スウエターや頭巾製造の爲ロシヤに輸出される。

蒙古の牝牛や羊はイルクツクやレナ河畔の金產地に對して、シベリヤ家畜より美味な肉を供給してゐる。毛皮も亦蒙古から輸出される。最も普及されてゐる毛皮の種類は、タルバガンといふ穴居動物である。二十年前では一匹のタルバガンの皮を一個のマッチ箱で買ひ得たが、此の皮が模造毛皮に好適する事が知られて以來は、單價三ルーブルで年百萬枚輸出されてゐる。

オニシユチエンコの說明によれば、商業は戰前に於て一九一一年―一九一三年に最高額に達した。然し今では國內は、商品倉庫の外に一層稠密な網の目で被はれてゐる。それは、新經濟組織が、商品を直接大衆に販賣し、支那個人商人の仲介を取り除く事に努力してゐるからである。蒙古に於ては『ストルモング』が百個の常設倉庫と五十個の移動天幕を有してゐる。蒙古消費組合も亦それ位持つてゐる。

國家經濟省の指導者チヤツンバ氏は、私に新興產業の概要を話した。彼の報ずる所によれば、二百萬チユグリークの金額が國營工業に投資されてゐる、革命前にはそんな事は微塵もなかつたのである。其の內五十萬チユグリークを用ひて二つの製革工場が組織されてゐる。六十臺の自働車及び多數の馬と駱駝で行はれてゐる蒙古運送業は三十萬チユグリークの投資によつて成る。ジヤツンバ氏の下に所屬してゐる二つの國營農場には四十萬チユグリークの投資を必要とした。其の他の國營工業、即ち煉瓦工場、製材所、酒精工場、羊毛紡織工場、鐵

加工工場、羊毛精製所の如きは尚初期時代にある。ウランバートルの電氣事業は革命前からも存在してゐたが、その後著しく擴張され、今日では全都市に燈光及び電力を供給してゐる。

文部大臣バッカン氏と語る

經濟的方面に於ては西洋の立場から見て、新政府はその存在資格を完全に立證した、その成功は非常に廣い範圍に亘つてゐる。然し猶依然としてその教義が蒙古人を支配してゐる喇嘛僧達の立場から見れば、此の成果は何の意味ももつてゐないのである。何の意味ももつてゐないばかりではなく、夫等は根本に於て惡であり、生活の車輪に於ける新なる桎梏であり、全く惡魔の仕事である。偉大なる決定的鬪爭は獨り經濟的方面だけでは遂行され得ない、それは執拗なる文化的運動を必要とする。此の問題に關する理解を得る爲に私は、文部大臣バッカン氏を訪れた。

彼は綠の肩章のついたいかめしい褐色絹服を着てゐて、商業及び農業に盡力してゐる四人の精力に溢るゝばかりの人々とは全く別個の世界の人の樣に思はれた。才氣煥發の革命家ドン、バドルチや熱狂的人物アマガイエフとも亦世界を異にしてゐる樣であつた。彼は歐米の大きな大學のどんな總長連にも尊敬の念を喚起せしめずにはおかない樣な愛すべき哲學的氣質をもつてゐた。彼の話は柔か味のあるユーモアに富んでゐて、激越な鬪士として考へる事が不可能な位であつた。

彼は微笑を浮べつゝ語る、「我が蒙古民族は文盲であるとお考へになつてはいけません。全男子の三分の一は讀み書きが出來るのです。唯自國語で出來ないだけです！ 彼等は西藏語を讀み、又宗教哲學を勉強します。實際その點に於ては彼等は隨分やつてゐます。外蒙古には佛教大學が十校あり、その他無數の僧院學校があつて、其處で我國兒童の四分の一が勉學してゐます。

之に對して我政府は西洋の科學を傳達する、歐洲風の近代的な科學を設立しようと目論んでゐます。然し喇嘛僧は何れも子供達が蒙古語の讀み書きを習はなければならぬと云ふ事に對して反對の聲を擧げるでせう。彼等の中唯若干の優秀の教師が此の必要を認めてゐるだけで、大部分の者は彼等の權威の基礎となつてゐる西藏語に固執してゐます。確かに根本に於ては我國の僧院は一つの文化を荷つてゐます。印度及び支那の文獻の無數の書物がそこで飜譯されました。」

「唯、」と彼は不機嫌に附加へた、「此の學問は何等の地上的價値ももつてゐません……何らの地上的價値も、」と彼は繰返した。彼はそれが決して現世に於ける價値の爲に作られたものでない事をよく知つてゐた、蓋し其學問をした者は皆此の世を嘲つてゐるからである。「それは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あなた方の中世紀のスコラ哲學と大してよそ事ではありません、』と彼はなほ微笑しながら附加へた。

『我が新政府は歐洲式教育方法に關心を持つてゐます。然し我々には手段が缺乏してゐます。又教師がない事です。蒙古語と同時に西洋の教育方法に通曉してゐる者は殆どゐません。又教授がないので今日猶大學を開く事が出來ません。最初の二年間は教科書の準備と教師の養成に過ぎてしまひました。今や我々は百五十校の小學校を開設し、其處では少年蒙古人が自國語の讀み書きを學んでゐます。又地理學、あなた方の歐洲式地理學も學んでゐます。其の結果歐洲的な考へ方に於て自分達が世界の何れの部分に住んでゐるかを理解する事が出來る樣になりました。』

『然し他に何どんな地理學があるのですか?』と私は尋ねた。

バッカン氏は笑ひながら答へた。『あの彼方のガンドンでは、』と言つて彼は山の上の大きな佛教大學を指しました、『全く他の地理學を教へてゐます。私は蒙古語の最初の球形世界地圖を作る爲にライプチッヒへ行つた時のことを想ひ出します。私は同じ樣な仕事をしてゐる土耳古とパレスチナの代表者に逢ひました。私は考へたものです、「とはいへ我々蒙古人はまだすべての民族の殿りではない、」と。』

バッカン氏はなほ教科書準備、殊に術語作成の困難、又遊牧民の移動性の爲蒙古兒童を一つの場所で勉強させる事の困難に就いて語り、最後に、何故彼が蒙古人に對して、歐洲教育を施さうと努めてゐるのか、何故僧院學校で滿足しないのかといふ私の問ひに對し、次の如く答へた、『つまり……孤島のロビンソン・クルーソーの樣な生活をすまい爲です。他の世界と共通の言葉を話す事が出來る樣にする爲です。』

『我が蒙古人は未だ土地耕作を知らないといふので怠惰であると非難された事がありますが、然し冬の嵐に對して畜群を保護する事は決して怠惰なものゝなし得る仕事ではありません。一旦蒙古人の興味が喚起されるならば、彼は目的を達する爲に飽く迄働くのです。』

『我々は學ばなければなりません——でなければ滅亡するだけです。』

* * *

以上はA・L・ストロングの會見記の大要である。將に死滅の道程に向つて進みつゝあるかの如く信じられてゐた蒙古民衆の革命的代表者は、嬉々として建設と創造の道を歩んでゐる、(削除)印度埃及民衆の革命的代表者が、死刑臺と牢獄との陰慘なる威嚇の下に、血みどろの抵抗運動を試みてゐる時に。

こゝに於て我々は知るのである。サヴエート聯邦の民族政策の基調が、後進民族の獨立の尊重と、その啓發と、さうして大衆の福祉の增進の上に建てられ、帝國主義列强の民族政策の基調が常に、後進民族

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

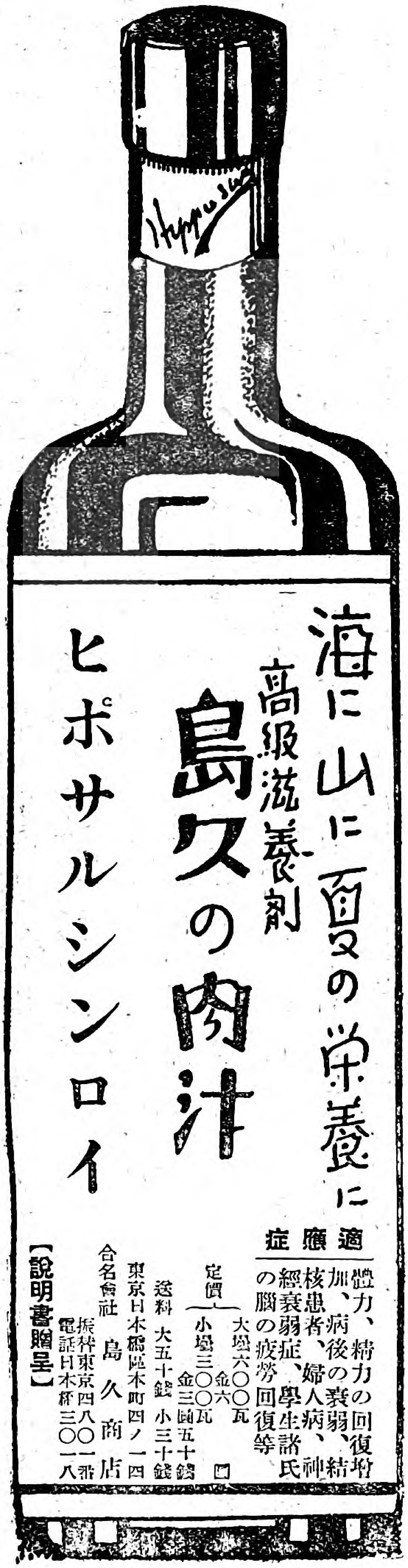
の抑壓と搾取と、自國資本家の利潤増大の見地の上に建てられてゐる事を。

かくて前者には建設があり、後者には破壞のみがある。然し我々は此の破壞を恐れる必要はない、蓋し建設に對する障害を破壞する事なくしては、偉大なる創造は考へ得られないらかである。

さもあらばあれ、我國の約二倍半の地域にひろがる隣邦蒙古は、その地理的環境とその經濟的後進性の故に、未だ社會主義建設の道程には歩み入つてゐないかも知れない。とはいへ勞働者農民の祖國大サヴエート社會主義共和國聯邦の力強き援護の下に、民衆自身の政府を確立したる蒙古は、急速にその經濟的後進性を克服し、全世界に於ける勞働者と農民の×××有力なる一環となるであらう。國際的階級戰の重要なる一部隊となる意味から言つても、先進社會主義國の經濟的建設を援助する意味から言つても。

就中朝鮮滿洲の勞働者農民の××××に對し、外蒙古共和國の厳然たる存在は、支配階級にとつての一大威嚇であり、被壓迫階級にとつての無限の鼓舞である。

少なからぬ×××がスパイの『嫌疑』で投獄監禁さるゝも亦宜なる哉。



國產品愛用問答

下田將美

●「エライ世の中になつたね。一體どうなるんだい。何だか怖ろしいやうな氣がする。僕の方の重役なんか火の中も水の中もくゞつて來た猛者だけれども、今度ばかりは何もかも見込違ひで見當がつかないつて白狀してゐるぜ。株だつて滅茶苦茶だし、本當に冗談ぢやあなくなつて來た。會社だつて利益なんかあがりやしない。上半期の決算だけは中途半端な減配でお茶をにごしたけれども、下期はどうなるんだか考へると僕等は心細くなつてくる。製品は賣れないし、値はどんどん下るし、作れば作る程損さ。本當のことをいふとね、僕の方の會社なんか、職工に勞銀だけ拂つて家で寢てゐて貰ふのが一番採算に合ふやうなものさ、職工が働らいて作れば作る程損になるんだ、作つてくれなければまだ損は少いつてわけさ。こんな調子ぢやあ僕等の首だつていつ飛ぶかわかりやしない。本當にもう冗談ぢやあなくなつたぜ。何でもいいから消費節約なんて止めちまつて、物が動かなきや駄目だ。政府も考へたんだね。國產品愛用の大宣傳をやり出したぢやあないか、これが本當だよ、うんと徹底してやつて貰ひたいな。何しろ此危險な經濟國難の時代に外國に出來るだけ金を出さないやうにして、同時に國內の產業を盛んにするのは國產品の愛用を擧國一致でやる他はないよ。徹底した國民的大運動が起らなけりやうそだよ」

○『大分どうも御熱心だね。會社へつとめるやうになるとそんな氣になるのかな。僕なんか丸で違ふね。國產品愛用なんてちやんちやらをかしいや』

●「オイ〳〵、そんな事を云ふと毆られるぞ。此重大な時局に際して國產品の愛用に反對してはくらい讃美なんかやるやつは、愛國心の無い見下げ果てた奴だ」

○『それだよ、その愛國運動だといふのが第一僕は嫌なんだ。僕は此頃しみ〴〵日本の大衆はまだ無智だなと思ふんだ。大衆の目が醒てゐるのは何と云つてもまだ都會だけだ。一歩地方へ行つて見ろ、國民の一般的レベルを考へて見ろ。まだ〳〵經濟の理解なんかありやしな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

い。吾等笛吹けども汝等おどらずつて昔の豫言者は嘆いたか知らないが、日本の一般人はチト政治家の笛次第に踊りすぎるよ。こいつが危險なんだ。金解禁だつてさうぢやないか。消費節約を宣傳すると田舍へ行けば鹽をなめて暮せといふやうな運動になつて、それが實行されてゐる、これは實際の話だ。藥が利きすぎるんだ。此頃になつて東京や大阪の實業家は政府は緊縮と節約を云ひすぎるからこんなことになるんだと叱言を云つてゐるが、實は政府ぢやあない、大衆が馬鹿正直すぎるんだ。大藏大臣だつて何だつて實は腹の中ぢやあ節約の笛で踊りすぎる國民の愚直さに驚いてるに違ひないよ。かう云ふ國民に今度は大臣總出で旗を立てゝ、ラッパを吹いて、國産愛用ドンガラガンのガンとやるんだ。たゞのドンガラガンとドンガラガンが違はふぢやないか。怖ろしいよ全く、』

●『結構ぢやないか、それが何で怖ろしいんだ。君の云ふやうに所謂愚直な位正直な國民が徹底して國産品の愛用をやり出しさへしたら、不景氣は直つて來るよ。怖ろしい所かさうなりや萬歳だと思つてるがな』

○『どうも少し君は頭が惡いな。僕の云ふことがわからないらしい。もう一ぺん云つてやらうか。此間まで政府が緊縮節約を宣傳したのは早く云へば無駄をやめろといふつもりだつたんだらう。所が實際は無駄どころか、地方の小學校では、いたいけな小供に、おやつさへ食ふなつて命令した所もある位なんだよ。だからさ。國産愛用も餘りブカ〳〵ドン〳〵はやし立てると藥の利きすぎた節約宣傳と同じになるよ。愛國運動かなんかと間違はれて、損をするのは無智な國民だけといふことになるよ。僕の云ふのはそこだよ。わかつたかい』

●『わからないね。消費節約たあわけがちがふよ。節約節約が餘りひどくなれば生産が不振になつて行つまるから困るんだ。國産品を愛用しろと云ふのが、いくら徹底したつて誰れが困るものか、徹底すればする程國産品の需要がふえて生産が榮える。結構ぢやあないか』

○『あきれたね此人は、結局何を云つても分らないんだな。ぢやあはつきり云はふ。消費者といふ立場から云へばね、國産愛用も絲瓜もあつたものぢやあない。何でもいゝから良くつて安けりやそれを買ふにきまつてゐるよ。いゝかね、今はすばらしい不景氣だ、云はれなくつたつて誰れだつて安い國産品は皆つかつてゐるよ。今どき贅澤なはい、いくらい品の夢なんか見てるやつは、余つぽどのおつちよこちよいか、金持か、馬鹿に限るんだ。食ふや食はずに苦しんでゐる大衆に國産愛用もないもんだ。云はれなくつたつて皆つかつてゐらあね。國産愛用の太鼓を叩いて、初めて國民が安い國産品を使ひ出すと思つてるのなら、餘り時勢を知らなすぎる。外國品より優秀な、そして安いも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のを作つてゐながら改めて政府が太鼓を叩かなければ販路が開けないと思ふのなら、今日まで努力して來た製造工業者を餘りに侮辱しすぎた話だ。だから僕は云ふんだ、生産費が安く、外國品と同樣なり、同樣以上なりの品質で、安く賣られる限り、國産愛用も何もありやしない、誰れだつて日本人だ皆國産をつかつてゐるよ、安心するがいゝ。こゝまでは當り前の話だ。僕の云ふのはね、國産愛用が愛國運動になれば、高くつて品が惡るくつても國産をつかへと云ふことになつて來るぞと云ふんだ。これが怖ろしくなくつてどうする』

●『國産愛用つて云ふのは何も高くて惡るいものを使へつていふんぢやないさ。外國品と對抗してちつとも恥しくない立派なものがあるのに世間では存外氣がつかないから、これを徹底的に國産品にかへたいといふだけのことさ。政府が調べたらこんなのが六億圓も輸入されてるんだから驚く。僕等は國産品の方が値も安いし、品もいゝのに六億圓も外國から同じやうなものを買ふのは愚だと思ふのだ。誰れが高くつても、惡るくつても國産品を買へなんていふもんか。見當違ひも甚しいや。君こそ頭がどうかしてゐる。』

○『一寸待つてくれ。安くつて良いものを買へつていふのなら國産愛用も絲瓜もないぢやあないか。默つてゐたつて此不景氣に誰れが一錢でも高いものを買ふもんかい。餘計なお世話だ。六億圓も高價な外國品をわざ〱買つてゐたなんて冗談もいゝ加減にするがいゝ。僕は信じないよ。まあ見てゐたまへ。此運動は政府が太鼓を叩く、尻馬に乘つた連中がいきり立つ。さうして經濟運動ぢあなくつて立派な愛國運動になつてしまふから。つまり高からうが、惡るからうが國産品をつかはない奴は非國民だつて云ふやうな空氣を造り出してしまふから。かうして儲けるのは行詰つてゐる事業家だ。損をするのは善良な國民だ。君の勤めてゐる會社なんか國産愛用運動のおかげで製品が高くつても賣れるやうになるかも知れないが、それを愛國の名で買はされる消費者こそ、お氣の毒千萬ぢやあないかね。君は近頃の百姓の經濟の苦しさを知つてるかい。繭は惡るいし、税は高いし、實際慘憺たるものだよ。高野山の下の方に長野といふ所がある。キヤベツが豐作でうんととれた。大きなトラックに積んで大阪の天滿の市場まで運んで賣つたら十四圓にしかならなかつた。トラック賃に十一圓かゝつて結局キヤベツはトラックに一ぱい三圓だつたつて話がある。西瓜が又豐作で今年は一貫目たつた十五錢位にまでなるだらうつて云はれてゐる。百姓の立つ瀬はありやしない。もし息をつくとすれば肥料が安いこと位のものだ。所がどうだ獨逸や英國の硫安が安く輸入されると思へば、すぐに國産肥料の保護だと云つて關税を上げやうとする、萬事此調子だ。肥料の國産愛用が愛國運動になつて百姓は一體どうなるん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だ。國產愛用だ、產業の合理化だ、何だかんだと云つて、いつだつて馬鹿を見たり損をしたりするのは國民の大衆で、事業救濟のでく人形の役をつとめるだけぢやないか。君、さう思はないかね』

●『さう君のやうに極端にばかり考へては話にならない。國產愛用が徹底したつてそんな弊害は出やしないさ。君の云ふやうに高くつて惡るいものを買ひやすまいから。行すぎる程行つて丁度いゝ位だらう』

○『君もプチ・ブルらしい勝手なことを云ふやうになつたな。さつきは政府の節約宣傳がきゝすぎて生產が衰へるつて憤慨したばかりぢやないか。節約はすぎると事業が振はないから反對だ、國產愛用はいくらゆきすぎても、消費者が損するだけで生產者は儲かるから贊成だつて云ふのかい。勝手だなあ』

●『君は正義派だよ。さういふ見方をすれば今の世の中はどうにでも非難出來るさ。君はすぐ大衆だの、消費者だのつて云ふ、人聞きはいゝよ。しかし今の日本で事業が不振を續けて行つたらどんなことになるかわかりやしない。實際大變な時だよ。見たまへ世界中どこへ行つたつて國產愛用運動ばかりぢやないか。日本ばかり外國から物を買つて國產獎勵をしないでゐたらどうなるんだ。正貨の流出はふえるばかりだ。それこそ前途は亡國の恨みだ。一體君、國產愛用の世界的大勢を少し見た方がいゝ、獨逸、フランス、イタリー皆徹底的にやつてゐる。英國なんかすてきな熱心で、大きな國民運動になつてゐる。五月にやつた綿製品週間などは實に愉快だよ。皇后陛下は綿布の生地をお買上げになつて此夏は綿布の服をお着になるさうだ。婦人代議士は矢張り木綿の服をきて議會に出るし、ランカシヤーもほつと息をついたつて話だ。宣傳と運動の力さ。實際かうした國民運動をやるまでは、木綿服のもちのいゝことも、着心地のいゝことも一般には氣がつかなかつたつて云ふんだからね。國產愛用が消費者の利益と一致しないなんていふのは餘り偏りすぎた議論だよ』

○『君に云はれなくつたつて世界的の國產愛用運動の盛んなこと位、百も承知だよ、近頃はまた支那がしきりにやり出したぢやあないか。國民黨員に民國製の煙草を吸ふべしさ。さすが支那だけに國民黨の命令なんか徹底してゐるね、政府の官吏は外國煙草をのむことを禁ずだの、煙草屋には外國煙草をおくな、新聞に外國煙草の廣告をのせるなと、一々命令だから痛快だね。下手をやれば犯禁者に刑罰位加へかねないんだから、日本なんか眞似の出來ない徹底ぶりさ。しかし君、外國で流行するから日本も眞似をしなければならないつて理由がどこにあるんだい。外國のものを買ふなつて運動を、外國の眞似をしてやる。しやれにもならない妙な話さ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一體君、世界中がてんでんに國産愛用になつて外國品排斥をやつてそれで國際經濟がどう發展するんだい。不景氣は國際的だつて云ふ。さう云ひながら、對策にどこでも國産保護をやる。ます〳〵行つまるばかりぢやないか。僕はまるで考へは逆だ。今日の不景氣が世界的なのは、國際的に關稅の引上競爭をやつたり、國産愛用ばかりやつて、世界的の通商をてんでんに阻害してゐるからこそ、起つたことだと思つてゐる。世界の景氣恢復は、もつと經濟が自由にならなけりや駄目だよ。アメリカなんか何が自由の國だい。あのすばらしい大きな自由の女神の像なんか豚に食はれちまへ。世界の黄金を一手にかゝへ込んで、それで保護關稅を高くして、國産愛用を徹底させて、おかげで世界中が貧乏なんだ。世界が貧乏だから、アメリカも結局ゆきつまるんだ。知れきつたことぢやあないか。僕は保護關稅と國産愛用は、世界的に見れば、皆して精出して墓穴を掘つてゐるものとしか考へられないね。』

●『机の上の理想論から云へば成程そんなものかも知れない。しかしな君、世の中は理屈ぢやあない。理想より現實だぜ。此行づまつた不景氣に産業に活氣をつけるのが第一の急務なんだ。外國は皆國産愛用をやつて自分を固く守つてゐるのに、日本だけ大局の理想論かなんかで安閑としてゐれば負けるばかりだ、さきの出やうで鬼にも蛇にもさ。關稅だつて何だつて同じ理屈だ。對手がやるものをこつちだけやらずに善人づらをしてゐてはきりがないさ。何と云つたつて僕は、今日の日本ぢやあ、外國からなるべく買はないで國産品を使ふ自衞策に出るより他はないと思つてるね。見解の相違で仕方がない』

○『君、早合點しちやあ困る。僕は決して理想論者なんかぢやあない。現實論も此上なくはつきりしてゐるんだぜ。僕の議論を理想論だなんて云はれちやあ立つ瀬がないね。僕に云はせりや君達こそ盲目みたいな夢想論者だよ。君達は國産愛用を盛んにすればまるで輸入が防止されて、輸出が盛んにでもなるやうなことを云つてゐる。どう間違へればそんな考へになれるんだい。一體日本は何を輸入してゐるんだい。原料と食糧品ぢやあないか。そいつに加工して輸出してゐるんぢやないか。今更こんなことを君に云はなくたつて百も承知の筈だ。國産の原料もない國で國産愛用を下手に宣傳してどうなるか位わかりさうなもんだがな』

●『わかつたよ。その議論は云はなくたつてわかつてるよ。僕等だつて何も原料品の輸入まで防止しろなんて云ふ筈はないさ。どうも君少し極端なことばかり云ふ。參るよその調子で押して來られちやあ。一つざつくばらんに行かうぢやあないか。君だつて何も頭から尻尾まで國産愛用反對なわけぢやあないんだらう。何でもはくらいならいいつて云ふやうな迷信から買はなくつてもいゝ外國品だとつかつてゐるものなんか國産品にかへるのが當り前だとは思はないかね』

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○『賛成だ。さう云ふ意味なら僕は國産愛用の先頭に立つてもいい。贅澤な香水だ、化粧品だ、何だかんだと此貧乏な國でありもしない金を外國に支拂つてゐる奴等こそ君の云ふ非國民に相違ないだらう。かう云つた種類のものに國産愛用運動を徹底させるのは僕はもとより當然だと思つてゐる。所が誠にお生憎さまだが、そんなものを使ふ奴等は貴族か金持か、不當所得で生きてゐるやうな連中ばかりだ。そんな連中は國産愛用なんか鼻のさきであしらつてゐるさ。見てゐたまへ本當に贅澤な、いりもしないはくらい品の需要は、いくら政府が太鼓を叩いたつて實際にはへりつこないから。よしんば禁止關稅を課したつて僕は無効だとさへ思つてゐる。だから國産愛用が愛國運動かなんかになつて來た時に一般的になれば結局は大衆が損をするんだよ。高くつてわるいものを國産品だからと云つて買はざるを得なくなる善良で正直な大衆だけが損をするんだよ。儲けるものは愛國の名を利用した事業家で、その奥さんや娘さんがはくらいの香水や化粧品で贅澤でもしてゐれば世話はないさ。僕はあらゆる美くしい名の運動が、結局いつでも判を押したやうに本末顚倒の結果になつて、大多數のものが犧牲になつて、少數のものがうまくやるにすぎない例を餘り多く見せつけられて來てゐる、それを憤慨するんだ。いやにもなるんだ。名ばかり美くしい運動に本氣になれないのも、そのせいだ。君、國家の利益とか、國民の幸福とか云ふやうな立派なかんばんをかゝげて、實質はそれと反對の結果ばかり生み出すやうな政策を警戒しなければいけないよ。君は僕のことを理想家だと云つたね。しかし僕は美くしい理想家らしい顏をして實は利己だけに生きてゐるものが多いのにあきれてゐるんだ。國産愛用運動も結構だよ。何しろ誰れだつて自分の國を愛しないものはないのだから、僕のやうにずば〳〵と反對を言ふものは割がわるいさ。下手をすれば、いかにも國を思はない者のやうに云はれるからね。けれどもね、僕は本當に思ふのだ今日一番大切なことは國民に國産品の愛用をすゝめるよりも、政府としては、國民の負擔を少しでも輕くしてやることだね。さうして事業家には安くて良いものを作らせるやうにすることだね。その方が先きだよ。それさへ眞劍に實行されゝば愛用運動なんかしなくつたつてすべて解決するんだ。殘念だけれどもこの本筋には行つてゐないで寧ろ逆ぢやあないか。國産愛用で大童に宣傳して廻つてゐる政府は、外國から煙草の原料をどん〳〵輸入して、高い値で賣つてゐるぢやあないか。いつになつたら安い煙草がすえるんだい。事業家は事業家で何でも國産と銘うつて賣らうとする。少し國産熱が高くなつてくれば、今度はきつと關稅を上げてくれて來るに違ひないよ。おかげで安い外國品はどん〳〵不當に驅逐されて、國民はいやでも高いものを買はされることになるんだよ。見てゐたまへ。きつとそんなことになるからね。どうだらう、僕の云ふことはよくわかつてくれるだらうか、眞劍に事業界を立直して生産費引下の大運動を起すのでなければ、―たゞ國産愛用ばかり云つたつて無意味だよ。どうだ君、わかつてくれたかしら』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

プロレタリア運動の左翼か、チヤアナリズムの左翼か？

小堀甚二

一

『文藝戰線』にも『戰旗』にも共通する、今日のプロレタリア文學運動の特殊樣相の根源を、もつとも興味深く我々に示すところのものに、貴司山治君の次のやうな言葉がある。まづ、煩をいとはずそれを左に引抄しよう。

『我々は明日のために書くやうな時代おくれの「藝術家」ではないはずである。又「永遠の藝術」などに奉仕するヒマな「藝術家」ではない筈である——中略——で、我々の作品行動が勞働者農民を正しいマルクス主義的現實？ へ誘動する？？ ために役立つやう書かれなければならないとすれば、凡そ今日の（明日になれば我々の主人公は更に成長して違つた要求を持つやうになるので）日本の（ドイツの、あるひはロシアのとはまるで成長の事情と程度が違ふので）勞働者農民（進んだあるひはおくれた層を含めての）に役立つやうに書かれなければならない。必然的に明日は役に立たない作品でなければならない。——昭和四年四月十九日東京朝日新聞掲載「文學大衆化の明日」より——』

この短い引用文には、無雜作にではあるが色々た問題が含まれてゐる。が、こゝでは我々は、この小論に不必要な問題は一切除外する。こゝで必要な、そして貴司君によつて我々の前に置かれた問題は、次の點である。即ち、我々の文學が『今日の日本の』勞働者農民に役立つやう書かれなければならないといふ、あまりに自明過ぎて寧ろ無用の感さへある規定から、從つてプロレタリア文學の『有効期限』は火災保險の掛け金よりも短期であるし、又さうでなければならないと主

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

張されてゐる點である。尚貴司君は、プロレタリア作家が、この深遠な眞理を體得することを、作家の『戰術家的自覺』又は『レーニン主義への歸屬』であると稱してゐる。

が、こゝで一寸我々は、我々だけの簡單な事實の認識に這入らう。今日の帝國主義段階にある資本主義社會の中にさへ、百年前の農奴經濟社會の痕跡が持ち越されてゐることは誰にも異論がなからう。況んや工業資本主義時代、商業資本主義時代の殘滓に於いておや。そこで此の事實の姿の反映である我々の意識も、又當然に先行社會と先行意識の多くの殘滓を含んでゐる。それがいやであらうと、好きであらうとさうなのだ。その證據には、數百年前の藝術に對してすら、共感を持たせられることがあるではないか？ そしてこの事——形成された人間の意識が長い社會の歷史に跨つてゐるといふことは、今後の社會の進展が如何に急速であらうとも、やはり將來に於いてもさうなのだ。たゞ程度の差こそ生ずれ。然るに貴司君によれば、プロレタリア文學が今日のプロレタリア文學であればあるだけ、その生命は短くなければならないと言ふ。今日の人間の意識の高い產物、（今日の日本の勞働者農民に役立つためのプロレタリア文學は、當然にさうでなければならない）が、明日は瞬く間に無用物とならなければならないと言ふ。一體、さういふことがあり得るのか？

も一言例で言はう。レニンがシエークスピアを愛讀したのは有名な話だ。しかし彼は專門家的に、シエークスピヤ劇の形式の硏究や、その記錄的價値の穿鑿のために讀んだのではない。彼はこの英國の（ロシアのではない！）ヴイクトリア王朝時代の作家の作品から、何らかの精神的糧を得ることが出來たから讀んだのだ。かやうにシエークスピヤ劇は數百年後のレニンに取つてさへ無用物となつてゐなかつた。然るにシエークスピヤと同時代の無數の作家の作品は、歷史の反古籠の中に埋もれてしまつてゐる。私は當時どういふ作家がゐたか知らないが、きつと澤山ゐたことは事實だらうと思ふ。シエークスピヤの作品が生き殘つて其の他が生き殘らなかつたのは、シエークスピヤが當時の英國の彼の觀客に役立つために書かうとせず、その他の作家が其の反對のことをしたゝめだらうか？ そんな事はあり得ないし、事實又さうでないのだ。

貴司君の主張は明らかに間違つてゐる。が、こゝで我々は貴司君の主張の誤りを訂正することを目的としてゐるのではない。こゝで必要なことは、も一つ先にある。即ち貴司君が同じ議論の過誤を犯しても、なぜにプロレタリア作家は百萬年後にも『有効』な作品を書かねばならないといふやうな方向に於いて誤りを犯さずに、『明日の役に立たない作品』を書かなければならないといふやうな方向に於いて誤りを犯

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

したかだ。そしてこれは重要な問題なのだ。

一體、今日『役に立つて』、明日は廢物になるやうな精神文化の、最も典型的なものは、チヤアナリズムだ。特に末期資本主義時代の代表的『上層建築』たるチヤアナリズムだ。チヤアナリズムは二つの目的を持つ。一企業の製造物としては、なんでもかんでも兎に角『受けて』賣れさへすればよいといふこと。全資本家階級の一部の製造物としては、社會現象の本質に觸れ度くないといふこと。このチヤアナリズムの基本的な二つの傾向は、なるたけ非本質的な批判や主張を持つてゐて、そして『今日』には非常に『役に立つ』ところの學術や文學の發表を要求する。即ち、明日は廢物になつても（なつた方がよい）今日社會心理の波動の表面に觸れるものを、文筆業者に要求する。これがチヤアナリズムのチヤアナリズムたる所以なのだ。おゝ！そしていかにそれが、貴司君の『プロレタリア文學論』と一致してゐることか！　キリストもこれほどには人間に似まい。

今や我々は貴司君の『戰術家自覺』や『レニン主義への歸陥』が何を意味するかを知つた。この『レニン主義』は、たかゞチヤアナリスト左翼の立場にしか過ぎない。だが先へ進まう。我々は貴司君の文章の切れつ端そのものを對象にしてゐるのではなかつた。それによつて示されてゐる、プロレタリア文學のヂヤアナリズムへの降服が我々の問題なのだ。

二

プロレタリアートの意志の文學運動に於ける現はれは、所謂プロレタリア・リアリズム——辨證法的リアリズムの主張だ。我々はこの主張を、まだ此の言葉が作られないずつと以前から主張して來た。勿論多少の不明確と曖昧さはあつたし、それが作品の中に實踐的に實を結ぶまでには至らなかつたが、しかし希求としては一歩もこの道を踏みはづさなかつた。

然るに約一ヶ年位前から、『プロレタリア文學の大衆化』といふことが、『戰旗』の作家批評家達によつて公然と稱へられて來た。が、我々に取つては、この四離滅裂な理論の當否などといふことは、さほど問題でなかつた。我々に取つて問題となつたのは、この四離滅裂な理論が、なぜに斯くも根強い力を持つてゐるかといふことであつた。その社會的意義はどこにあるか？——我々は最も重要な問題を其の中に見た。

中央公論六月號の『藝術大衆化の問題』の中で藏原惟人君は言ふ。

『わがナップとそれに所屬するプロレタリア作家同盟とは、その出發の當初から「藝術の大衆化」といふことをその運動の中心任務の一つとして掲げて來た。これはその實質に於いて小ブルジョア的インテリ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゲンチヤの運動に過ぎなかつたわが國の藝術運動を本當にプロレタリア的な大衆的な基礎の上に建て直すために、非常な重要な意義をもつてゐる正しい提案であつた。』

生命のない、灰色の言葉の操縦なら、敢へてマルキスト藏原惟人君の勞を必要としない。チヤアナリズムのプロレタリア藝術團體包圍の時期と期を同うして起つた「大衆化」の問題は、これをチヤアナリズムの意志のプロレタリア文學への浸透としてみるとき、始めてその社會的内容を持つのだ。「大衆化論者」及びその追隨者の、作品行動及びそれに附隨する一切の實踐がそれを證明してゐるではないか? そしてプロレタリア・リアリズムの主張と大衆化論との間の衝突、その各各の作品的傾向の間の相尅は、これをプロレタリアートの文學的希求とチヤアナリズムの文學的希求との間の對立としてみるとき始めて、少くとも此の問題の中核を摑むことが出來るのである。では、この二つのもの丶對立の發展は、その後いかなる形を取つてプロレタリア文學運動の中に現はれて來たであらうか?

三

既にみいらになり切つてしまつた『みいら取り』は、この小論に取つても、今後のプロレタリア文學運動に取つても必要でない。問題になることは、今後のプロレタリア文學運動の發展の基石たるべき、精力的な、若い作家達の現在當面してゐる『危機』である。從つて、チヤアナリズムの弊害を見やうとするこの小論も、その批判の對象をそれらの作家の作品に取る。

チヤアナリズムの意志がプロレタリアートの文學的希求の方向を壓迫して行く過程を、最もはつきりした形で現はしてゐるものは、小林多喜二君の近作『工場細胞』である。この作品の意圖は、これを要約して言へば、非合法下のプロレタリア前衞がいかなる活動をしてゐるかといふことを、或る製罐工場の勞資對立を持つて來て示さうとしたものである、といふのが一番妥當であらう。作者はこの意圖をいかに追求し、又しなかつたか?

この作品が與へる印象の半面を、簡明に摘記してゐるものに、東京朝日新聞に掲載された宮島新三郎氏の『現代社會における文藝の傾向』の中の一句である。で、それを引用する。ついでに言つて置くが、最近一部の作家、批評家によつて、プロレタリア文學團體の外からの批評を、「外來者の批評」と稱して一も二もなく輕蔑してかゝることが慣行となつてゐる。思ひ上つた優越感でなければ、職業組合心理の偏狭さと言ふべきだらう。プロレタリア文學の發達の可能性とその批判への原素は、全國の津々浦々、階級闘爭のあるすべての所に全國的

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に存在してゐる。そしてそれは迂餘曲折を經て、思ひがけぬ人の表現を借りて現はれて來ることがあり得る。從つて我々は、いかなる『外來者』の意見に對しても、それが眞理であるかどうかといふ點からのみ對すべきである。あらゆる良きものが、すべて既存の組織からのみ表はれて來るなどゝいふ考へ方は、愚かであると同時に卑劣である。ことに、すべての組織が未だ發達の初歩的な過程にある我が國に於いて——。

『小林氏は——と宮島新三郎氏は言ふ——その得た目的を氏の得た材料によつて具象化するに當り、在來のリアリズムの手法を殆んどそのまゝ踏襲した。然もそのリアリズムは、トリヴイアリズムの弊に明らかに墜ちてゐる。——中略——非常に煩雜な描寫、小うるさい説明、誇視的な展開で一杯だ。從つて鮮明な印象を得るに可なりの努力を拂はなければならなかつた。だから在來の藝術的評價から言つても、決して優れた作品ではない。それは力強い勃興期リアリズムの作品ではなく、末期的リアリズムの作品でしかあり得ない。』

『工場細胞』の作者は、豫め設定した意圖の追求を決して現實の姿の中で行はない。彼がリアリストとして我々の前に現はれて來る場合は、大抵の場合に於いて、主題の中心とあまり關係のない『部分』の描寫に於いてだけである。從つて彼のリアリズムは、殆んど作品の『裝飾的役目』だけしか果してゐない。あらずもがなの感じを與へる場合が多いのはそのためであり、『末期的、さ末的リアリズム』とされる所以である。そしてこれはリアリズムの成生の過程を現はすものでは決してなく、反對に、それの崩壞の過程をこそ如實に示すところのものである。作者自身だけについて言つても、『一九二八、三、一五』から『蟹工船』『不在地主』を經て『工場細胞』に至る歩みは、他の點に於いては、何らかの意味に於いて『前進』してゐようとも、リアリストとしては徐々に退却の過程を示してゐる。しかもこの作者を壓迫して退却の道をたどらしめたところのものは、他の何ものでなく、實に作者自身の『他の點に於ける前進』なのである。ではその『他の點に於ける前進』は何であらうか？

宮島氏が、『鮮明な印象を得るにかなりな努力を拂はなければならなかつた』と言つたのは眞である。私自身も、作者の意圖がどこにあるかといふことを明確に知るために、この長い小説を二回半讀み直しみねばならなかつた。そして自分自身の頭で整理してみて、始めてそれを掴むことが出來た。が、かう言ふと、讀者を引き付けて行く作品の中軸は主題だ。それがそんなに不明確であつては恐らく讀み通すことが出來ないだらう、と思ふ人があるかも知れない。が、必ずしもさうではない。なぜなら、『工場細胞』はその主題の一貫性の缺除を補ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものを持つてゐる。比喩的に言へば、その『レヴュー性』である。半面に於いてリアリストたらうとする作者は、他の半面に於いては又『大衆作家』たらうとする。そしてその努力を、作品の『レヴュー化』に於いて實現してゐるのである。

何を我々は『レヴュー化』と言ふか？　全體を構成する部分々々が、緊密に結び付いて統一的な感銘を讀者に與へる代りに、部分々々が獨立的に讀者の『興味』を釣つて行く作品のことである。もとより本もの丶レヴューに於いても、形式的には一つのテーマが置かれてゐることがある。しかしそれは形式的なもので、觀衆ないしは讀者を釣つて行くものはばら〳〵の部分々々である。かういふのが『レヴュー小説』である。『工場細胞』の中には、いかに無數の挿話や場面が、主題と統一なく取り入れられてゐることであらう。『田中絹代』ことお君と、森本、鈴木の三角戀愛、河田とお芳との戀愛、うるさいほど度々出て來るエロ・シーン、鈴木のスパイ化と最後の縊死、お芳の賣淫、女學生の工場參觀、その他等々は殆んど主題との有機的な關聯なく、部分部分の『興味』を添へるためにのみ取り入れられてゐる。作中の人物の口を通して言はせる衝擊的な『理論』すら、これらのものと一しよになつて、單なる『興味』のために取り入れられた結果になつてゐる。そして作品の前面に出てゐるものはこれらのばら〳〵な興味的要素であつて、主題は後方遠く押しのけられてしまつてゐる。

『工場細胞』の作者は、プロレタリア・リアリズムの實踐者たらうとすると同時に、『プロレタリア大衆作家』たらうとした。しかしこの二つものは、兩方が純粹な形を取つて同居し得るところのものではない。リアリズムへの希求は、僅かに『末期的、いさ末的リアリズム』としてその形骸を殘したに過ぎず、誤まれる方向における大衆化の努力は、『レヴュー小説』となつて前者を壓倒した。ヂヤアナリズムの意慾が、プロレタリアートの意慾に勝つた！　そして『工場細胞』は、プロレタリア文學としてよりは、より多く末期ブルジョア文學としての樣相を呈するに至つた。

が、誤まれる大衆化への逸脫は、それを稱へる團體ないし個人のみが行ふのではない。『レヴュー小説』への偏向は、理論的には頑強にこれと戰つて來た『文戰』の作家の中にも現はれて來た。『大衆化論』が、何らかの偶然的な理由で叫ばれたものであつたら、『戰旗』の主張に『文戰』の作家が追隨するやうなことはあり得なかつたらう。しかし『大衆化論』はヂヤアナリズムの意志なのだ。ヂヤアナリズムの意志に對しては必ずしも『文戰』の作家が免疫性になつてゐるとは限らない。その最もよい現はれは、岩藤雪夫君の『賃銀奴隷宣言』から『屍の海』への歩みである。特に『屍の海』は典型的な『レヴュ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ー小說』である。共產主義者がアメリカ觀光客の前で××をやつて金を貰ふといふパラドックス。何のために起したか分らぬ暴動（これは共產黨の指導ではなくて、狂人黨の指導だつたのだらう）スエーデンやノルウエーやの出來事なのに、英語で以て歌ふヴォルガの歌聲。その他等々これら一切のものは、必然性の有無など問題でなしに、只娛樂的役目を果させるためにのみ取り入れられる。こゝにも我々は誤まれる『大衆化』と、貴司山治君の所謂『戰術家的自覺』を見ざるを得ないのである。

四

歪曲されるものは作品のみではない。今やヂヤアナリズムは間接に我々の組織をも腐蝕させ始めてゐる。幾度か分裂の危機を傳へられてゐた『戰旗』に於ける二派の對立は、意識的『大衆化論者』とその他の者との對立であつて、それは今尙持續して殘つてゐる。『文藝戰線』に於いても、最近『代作問題』が機緣となつて小分裂が勃發した。これもその根源は、明らかにヂヤアナリズムのコンマーシヤリズムが我々の團體を侵した結果である。斯くてプロレタリア文學運動は、全體的に今一つの危機に立つてゐるといふことが出來るであらう。

わが國の讀書階級を構成する中間層は、その甚だしい生活苦と反抗心理の故に、ヂヤアナリズムの上でプロレタリア文學を支持してゐる。これがプロレタリア文學の『隆盛』の根據である。しかし若し我々が限度を越えてこれに迎合するならば、少くともプロレタリアートだけは我々の頭上を乘り越えてしまふであらう。そしてプロレタリア文學は、プロレタリア運動の眞正の左翼――マルクス主義の立場から轉落して、たかぐ\ヂヤアナリズムの左翼たるに留まるであらう。否、今日既にそれが始まつてゐるのである。（一九三〇、七、四）

米國ウオルサム時計會社編
時計讀本（重版）
秒に鬪つ時代に處する士は須らく時及び時計に關する常識を備へざる可からず。本書は時の起原及び時計の測定等を始め古今の時計史を興味深く述べ又最近の時計の構造を說く。
四六版二百頁　挿圖寫眞百餘　裝幀總クロース　美本函入
定價　金六十五錢
發行所　東京中央郵便局私書函八十三番　米國ウオルサム時計會社出版部　振替　東京五四八〇二番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

熱帶アフリカの素描

八木長人

大阪商船の東アフリカ航路船は、セイロン島のコロンボをアジア大陸最後の寄港地として、印度洋をアフリカ大陸の東岸へと橫斷する。神戸を出てから三十五日、アフリカでの最初の寄港地が英領ケニヤ植民地のモンバサだ。船はこの港から、ザンチバル島、英國の委任統治領タンガンイカのダレサラム港、ポルトガル領東アフリカのロレンソマルケス港と、印度洋岸を南へ下つて南阿聯邦のダーバン港を終點に日本へ引き返へすが、私は最初の寄港地モンバサから、熱帶アフリカの奧地を探つて、ダレサラムまで南下するといふ、アフリカ大陸に足跡を印して、最初の自動車旅行を計畫した。海岸に近いケニヤの高原地帶を南下して、タンガンイカの國境を越え中央鐵道のモロゴロ附近まで、三角形に奧地を迂廻し、再びダレサラムで、日本から乘つて來たメキシコ丸をつかまへて南へ下らうといふのだ。ケープタウンからカイロへの大陸縱走計畫には、東アフリカのこの地方で特に相當長い時日の調査が出來るやうに豫定はしてある。だが、十二月にはいつてからやつて來たのでは、季節はづれで、タンガンイカの棉花を見ることが出來ないのと、一つには赤道帶の未開地六百哩を走破するこのドライブで、炎熱と惡路とに、どれだけからだが續くものか、縱走旅行の小手調べといつたやうな氣持も手傳つての試みだつた。

九月の廿五日、一夜をモンバサに明かして、まだ明けきらぬ午前五時、簡單な朝の茶をすゝつて出發した。モンバサは、大陸と狹い一筋の水をへだてた島にある。マンゴーの並木の暗を拔けて坦々たるアスファルト道をムバラキの渡場に急いだ。ムバラキは大陸への唯一のフエリーが通ふ渡船場で、始發の船をのがしては、今夜の宿泊地タンガ港までの走破が危ぶまれるのだ。

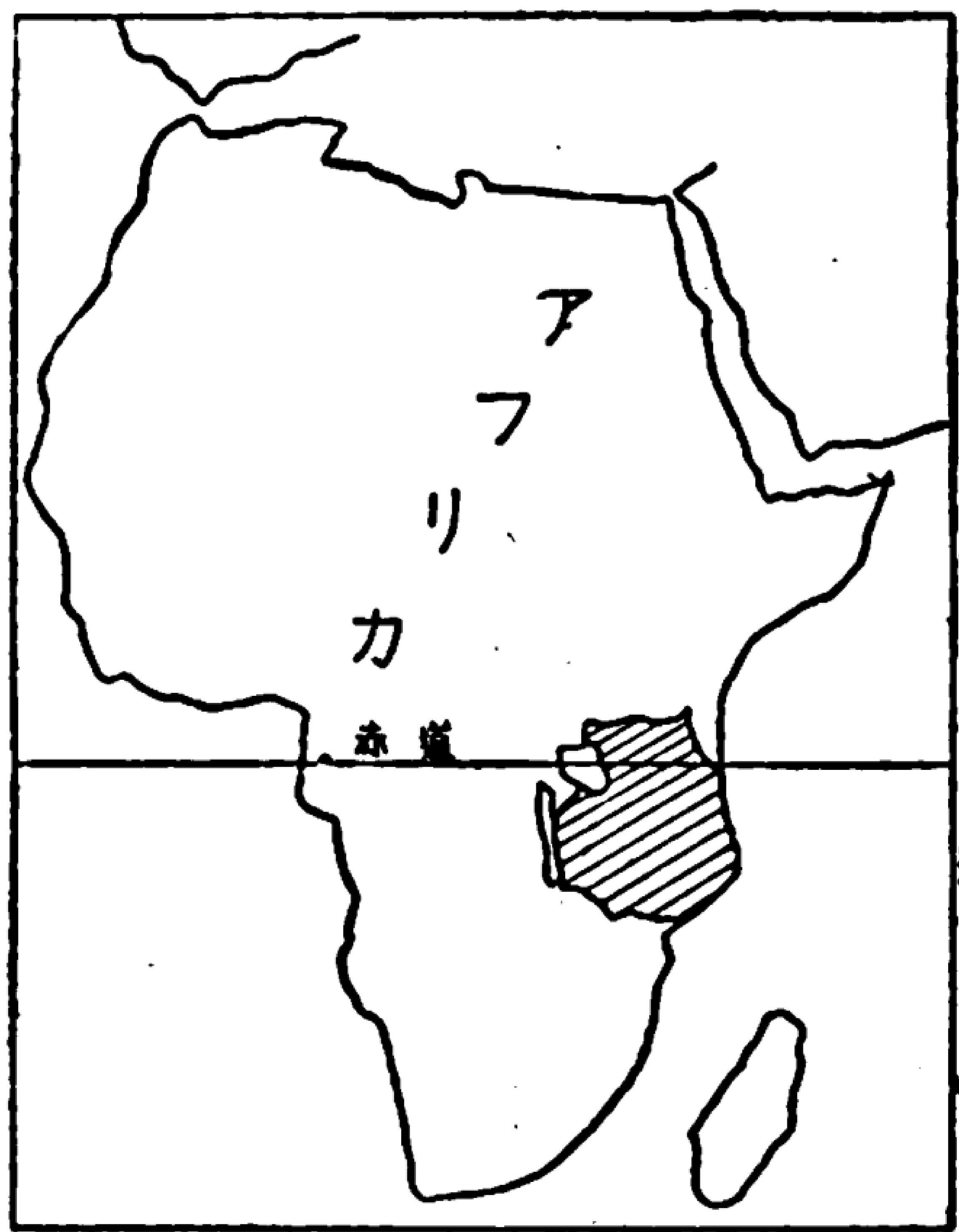
渡船場に立つて、船を待つ間に夜がほのぼのと明けはじめる。土堤にならぶバオバブの巨木が、水色の空をバックに、黑繪の如く浮き出した。バオバブはアフリカでも、赤道に近い印度洋岸にのみ見る珍木だ。枝を拂へば、圓錐形にも見えるであらう、恐ろしく太くて、その

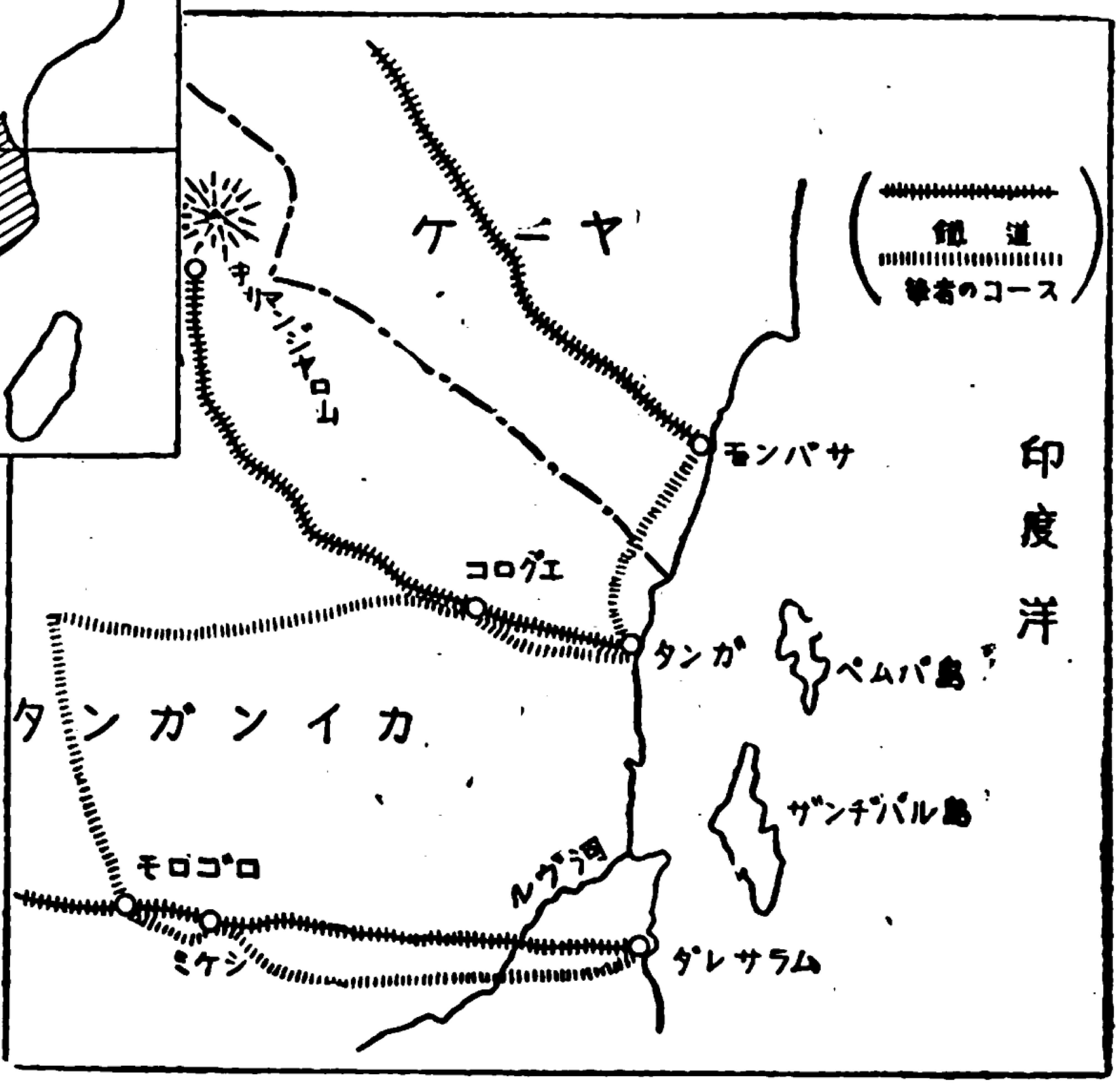
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

割に短かい幹。植物の仲間では、象でもあらうか。葉のない太い枝を空に差しあげる。角力取りが双手をあげたやうな、おどけた姿、それで居て、どことなく風雅な趣きさへも持つた愉快な巨木だ。

　對岸の椰子の林の、一本づゝがはつきりと見えはじめる。一筋の白い道が、林を抜けて、底の小砂までも數へられる澄みきつた水がひたひたと洗ふ石垣となるあたりには、早起きの黒人達がもういくたりか集つて來て、船の來るのを待つて居た。

　箱のやうな平底の船に自動車を積んで對岸に渡る。大陸に渡つてからの道は、もうアスフアルトの匂ひはない。珊瑚礁を砕いたやうな、眞白ろな砂の道。乾燥期のこの頃は、砂埃の舞ひ上がる凸凹道ながら、烈々たる白熱の太陽の照射を力強く彈ね返して、アフリカの田舎らしい粗野な力強さと、爽快味をすら感ぜしめる。





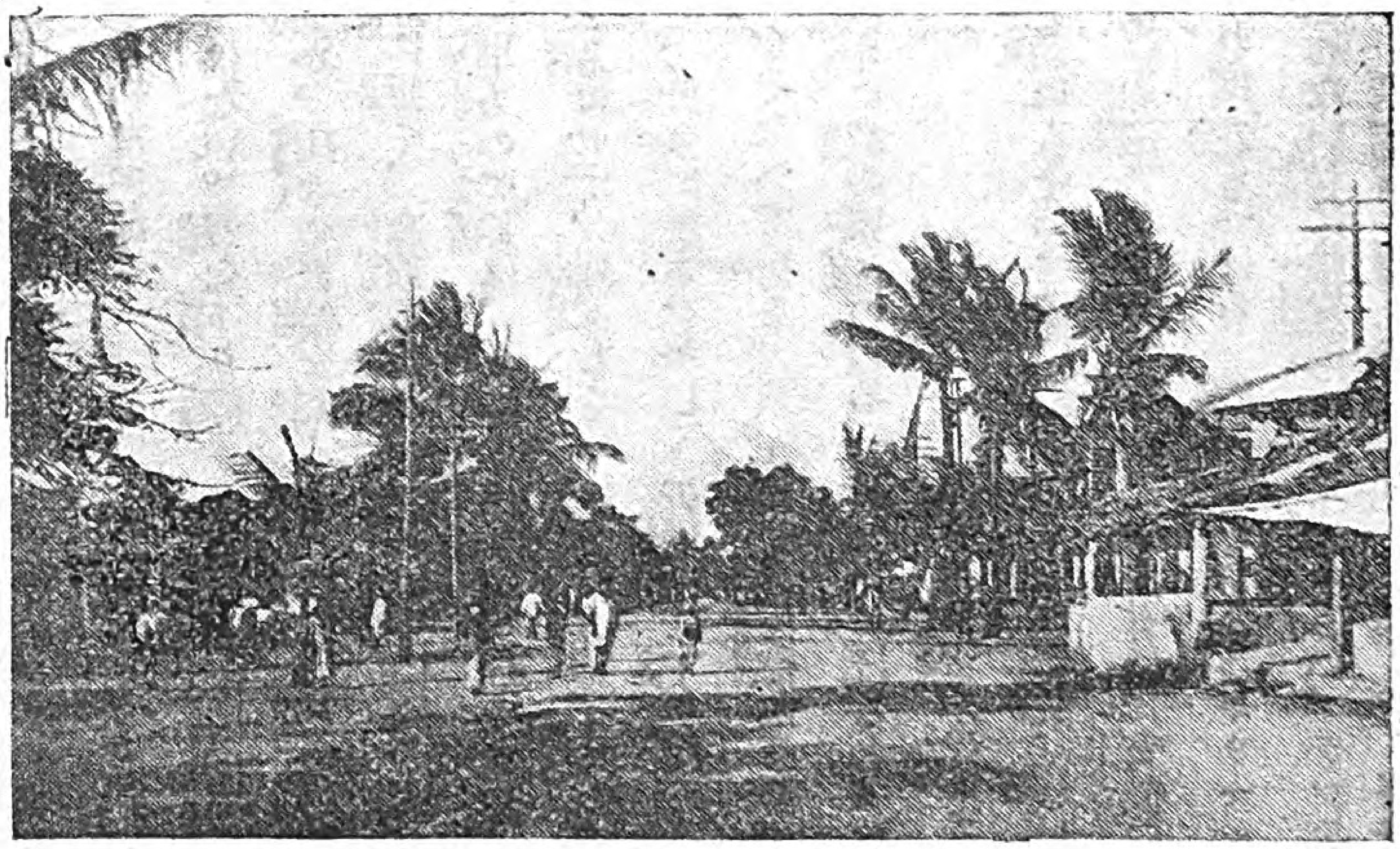
　朝露を踏んで、モンバサの市へ急ぐらしい土人が、切りに自動車とすれちがつて行く。パパイヤの二ツ三ツを籠に入れたもの。何がはいつて居るのか、瓢箪を頭にのせたもの。思ひ思ひに、市で交換するらしい僅かばかりの物を持つて、足早やに通り過ぎる。自動車の警笛に驚いて、半町程も手前から、叢の中に飛び込んで、頭の荷物を兩手に確かりと押へるものもあれば、あわてて逃げまどふ山羊の群を御しかねて、茫然と、自動車の前を早足に驅けて行く數頭を眺めて居る男もある。

　此の邊の土人はスワヒリ族だ。古くからザンジバル島を根城に、赤道アフリカの印度洋岸に勢力をふるつたアラビア人の血が混つて居ると云はれるだけに黒人ながら容貌は端麗、奥地の野獸の如き蠻

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人と異つて、文化程度も稍々高い。男は眞赤なトルコ帽で純白の木綿のカンヅー服を着る。アラビア人の服に似た丈の長いガウン様の着物だ。女達は色とりどりの、大幅の薄地綿布を胸のあたりから膝の邊までかくれるやうに巻きつける。此の邊でいふカンガだ。赤の系統を基調として、紫、藍、黒、白などで派手な模様が染めてある。スワヒリの彼女達も、皮膚の色こそ墨のやうに黒くはあるが、やはり女だ。流行を追ふ心理に文明國の貴婦人達と變るところのあらう筈はない。歐洲方面から輸入するこのカンガは一船毎に柄が變る。一船どころではない、一荷口の中でも、同じ模様が多すぎては必ず賣れ殘る程に流行の變遷が急テムポだ。去年の秋は、牡丹色を主色に、コバルトの花模様、それもやゝ落つきのある小型の柄で、粋な文句のはいつたものがはやつてゐた。とある田舎の、印度人の小店に、美々しくかけ並べたカンガの一枚を話の種にもと一圓で買つた。『ザワヂ・ヤ・ムペヂ』とローマ字で書いてある。『愛の贈物』といふ意味なのだ。黒坊のボーイが、國には奥さんがあるのかと眞顔でたづねた。

數年前までは、土瓶と茶碗の模様に、チャイ・タヤリ（お茶が沸いた）と書いたものや、背中一杯にナイフとフォークを染め出した巫山戲たカンガも平氣で着たものだが、此頃では彼女等の好みも、どうしてなかなかシックになつて居るのだ。



ケニヤ植民地　モンバサ港の市街

人通りが、やがてまばらになる頃から、道はたゞ、茅に似た雜草の一面に茂る中を、二筋の轍の跡となつて走る。バナナの畑に圍まれた、貧弱な土人の小屋すらも見られなくなつた。ムバラキの渡船場から十餘哩で、シンバ・ヒルの山にかかる。シンバは、先年日本へ來たマーチン・ジョンソンの猛獸映畫のタイトルにも使はれて居たスワヒリ語だ。どうした間違ひか日本ではザンバと發音して居たが、ライオンの意味。今でも、このあたりには、ライオン、豹、象の如き猛獸が棲む。右も左も、枝の細かな、丈餘の雜木と、蔓植物とが、からみあつて、日影も通さぬブッシュを作る。唯意外にも喬木

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は少ない。時々藪を抜いて、巨大な仙人掌が、魔神の杯のやうな無氣味な姿を現はす。立ち枯れて、腐りも果てず、白々と骸骨のやうな枝を晒すものなどは、とりわけて、薄氣味の悪いものだつた。

だが、このブッシュの地帯は、さう長いものではない。谷を下り峠を越えて、やがて、明るい高原に出る。左手に遙か、山々の波濤を越えて、印度洋の紺青がちらりと光つた。餘程海岸に近く、高原地帯の周縁を走つて居るらしい。丁度乾燥期だつたこの地方の高原は、黄ばんだ茅が、灌木も交へず、名園の芝生の美しさを思はせて、唯果しもなく、緩やかな起伏を作つて擴がる中に、點々と、此所に數本、かしこに一團の樹木が、巧まざるに自ら庭園の趣をそなへて居る。飛行機の上からでも鳥瞰したら、唯一色の黄金色の中に緑の飛沫の散るとも見えよう。

だが、近く見れば、その一本一本の樹は、不思議にもそのままに庭へも移したい枝振りを持つ。春夏秋冬の區別がない赤道アフリカの樹木も、雨期と乾燥期との變化に從つて、落葉もすれば花もつける。柳の新芽そのまゝの水々しい若葉に包まれた木。葉のない枝に彼岸櫻に似た花をつける木。菜の花か、蓮翹かとも見まがふ黄金色の花の咲き亂れる木。乾燥期のこの高原は、秋の曠野の明澄と、春の草木の繊麗とを併せて、限りなき自然の美しさに、旅人を恍惚たらしめずにはおかぬ。

ドライヴァーが車を止めて、エンジンに水を入れ始めた。車を下りて草原に立つ。自動車の騒音に掻き消されて居た小鳥の聲が、人跡稀れな大自然の閑寂に蘇つて、頭上から、背後から、右から、左から、若葉の梢を渡り、草原を流れて降りそそぐやうに聞えて來る。足元の叢には、ベコニアに似た草が、文鳥の嘴を思はせる薄紅の大きな花をつけて居た。

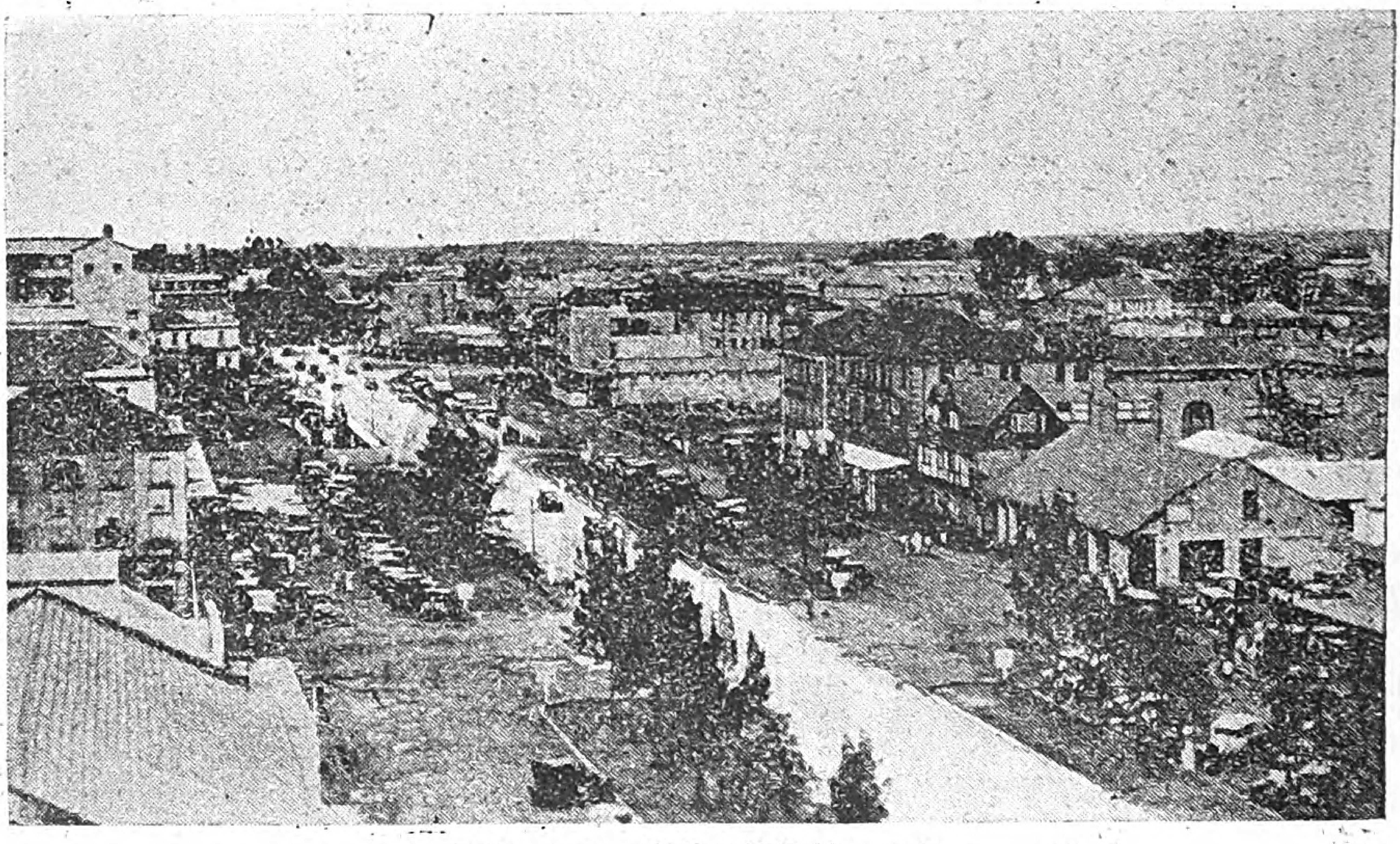
タンガンイカの國境を越してからの道はタンガ港に向つて、海岸の低地帯に下り始める。草原は、時々耕されて小さな芭蕉畑となり、やがて、整然たるサイサル麻のプランテーションと變はる。砂原の椰子の林を抜けるとタンガの町だ。海岸通りのホテルに車を停める。アカシアの並木が燃えるやうな、緋色の花を誇る夕燒の空に、蝙蝠の群が入り亂れて氣ぜわしく飛び廻つて居た。

タンガは、背後に、東アフリカ隨一の健康地であり、コーヒーの名産地であるキリマンヂヤロ山麓のモシ・アルシヤを控へて、附近はサイサル麻のプランテーションが頗る多い。タンガンイカでは首府ダレサラム港に亞ぐ重要港だ。井然たる街路、雄大な都市計畫、戰前ドイツが苦心經營した町だけに、その抱負の一端をしのばしめるものがある。ホテルから見下ろす港の一部には、大戰の終末に近く、ドイツ軍

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が破棄して退却した船艦の殘骸が、今尚錆だらけの姿をとどめて居た。戰利あらず、この植民地を英國に奪はれたドイツ人は、最近また着々この地方へ經濟的に進出して、タンガンイカ委任統治領の白人中、ドイツ人の人口は遙かに英人をしのぐと云はれる。タンガでも、ホテルそのものが、ドイツ人の經營であるばかりか、集つて來る客も大半はドイツ人だつた。親爺のオットー・レッサーは、今日のうちにもう五十哩も走らうかと思案して居た私に、『このホテルでは本場のドイツ麥酒を飲ませるから』と、切りに宿泊をすすめた。

醒めやすい一夜の眠りは、トタン屋根を打つ激しい雨の音に破られた。アフリカの自動車旅行で雨は禁物だ。地圖の上では、自動車道が示されて居ても、それは天氣のよい限りは通り得るといふ意味



ケニヤ植民地の首府　ナイロビ市

だけで、雨が降れば橋のない川に、平常でも車輪をかくす程の水が、激流と狂つて、渡るに道のなくなる事はしばしばだ。濁流に阻まれぬまでも、粘土質の道路は、水を含んで仕末の悪いぬかるみとなる。チェーンをかけても、ややもすればスリップする。緩い阪道でさへ泥濘にまみれて自動車の尻を押さねばならぬのだ。

だが、定期船の航走に調子を合はせて、どうあつても、廿八日未明の出帆時間までに、ダレサラムに出なければならぬといふ、ゆとりのない旅程だ。雨を恐れて、滯在することは許されない。幸に、稍々小降りとなつたのを潮に、午前六時不安な氣持でタンガを出發した。町を離れてしばらくは、モシ・アルシヤを經てケニヤへ通じる鐵道線路に添つて、椰子の林を縫つて行く。この間は、道路

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も白砂を敷いたやうで、案外に樂に進んだが、林を拔けて、丘陵性の草原にかゝる頃から、果して、ひどい泥濘となつた。時雨模樣の不愉快な雨さへ加はり、車輪を泥に埋める。路傍の小溝に滑べり落ちたり、時には折角電光形に苦心して登りつめた阪の上から、あつと云ふ間に逆行して、エンヂンは徒らに沸騰した蒸氣を吹く。遲々として牛よりも遲い車はタンガから一時間半行程のコログエにやつと晝頃になつて着いた。コログエから高原地帶にかゝつて、やうやく道が堅くなる。此邊には雨もなかつたか、烈々たる太陽が燒けつくやうな光を投げる。

やがて、廣漠たる平原が眼下に展開する。アフリカ大陸の東寄りを、アビシニアの西南から、ローデシアの北方まで、縱に貫ぬく雄大な谿谷、アフリカ大地溝帶の底だ。自動車は今、池溝帶の東の緣を限る山脈の尾根づたひに、西南にコースを取つて、谷の底へと下つて行く。見渡せば、地溝帶の對岸を劃する山々は、遙かに紫に霞んで、麓も見えず、眼下に展開する谷底の平原は、四五尺の灌木の綠におほわれて、唯だ漠々と、對岸の山裾の霞に消える。

この大地溝帶は、地質學上、地殼の收縮に因つて現はれたものだと云はれるが、兎も角も、世界に類例のない大谿谷だ。男性的な力強い景色でこそないが、大陸を縱に走つて蜿蜒數千哩、低地には水を湛へて珠數の如き一連の湖水を作り、平原には灌木の疏林を縫つて、數知れぬ麒麟と鹿と、縞馬と駝鳥との悠々と遊ぶこの大地溝は雄大極まるアフリカの偉觀だ。

地溝の底の灌木林を白々と幅廣い道が走る。自動車の爆音に、黃色な鹿が、華奢な後脚をすんなりと伸ばして、身輕に道路を跳び越えては姿をかくす。白猿の一團が、これは落ちついて、悠然と行手を橫切つた。

やがて、タンガンイカ中央鐵道の沿線モロゴロに近い、禁獵地帶にはいる。麒麟の群が、そこここに、動くともなく、靜かに、木から木へ、梢の若葉を漁つて居る。

ここも亦、一面の茅の原、地平線までを黃金色に染めて、雲もない透明な水色の空は、やがて、オレンヂに、やがて薔薇色に、鮮明な夕映えに暮れる。

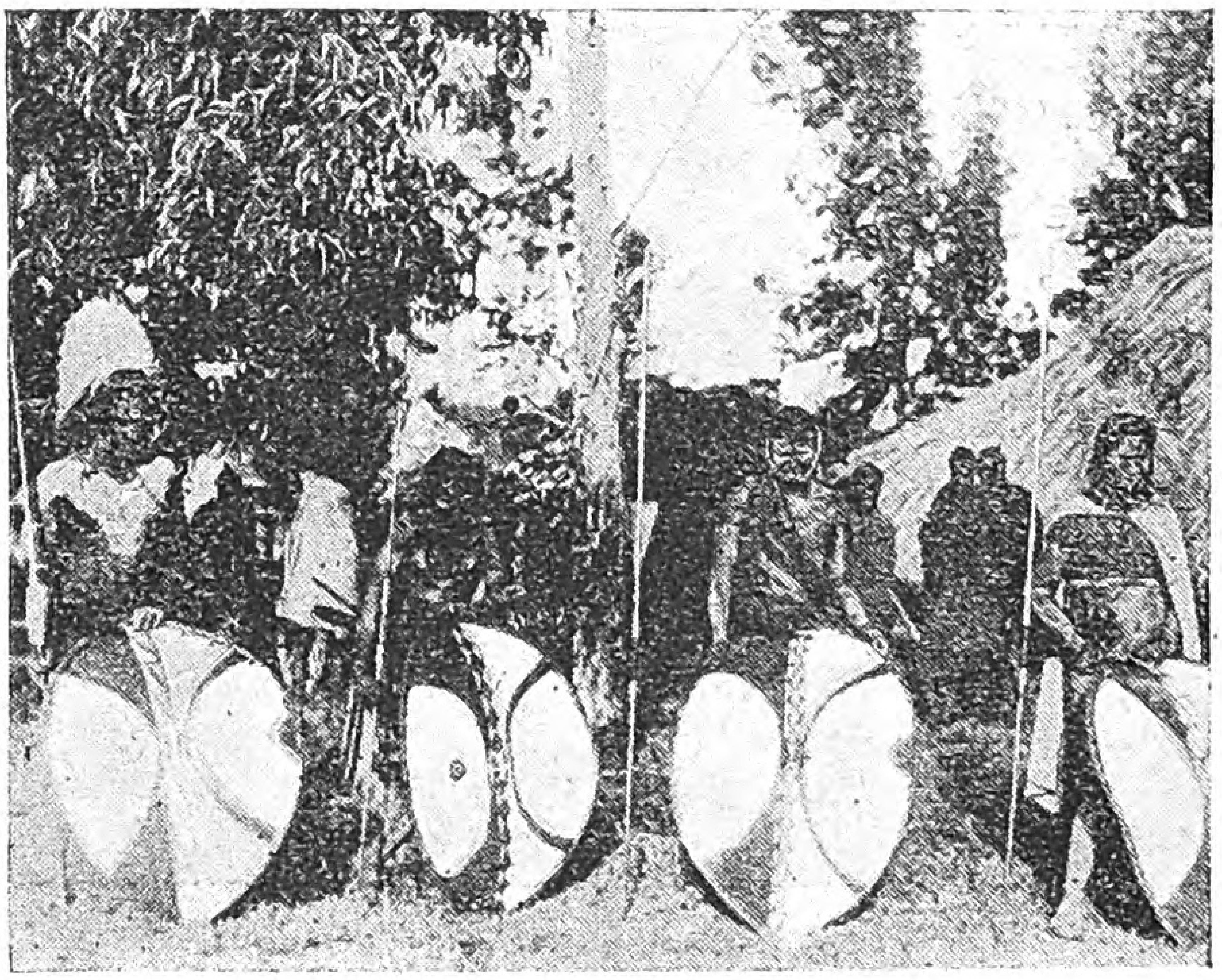
蚊か蠅程の小さな蟲が、自動車をねらつて、散彈のやうに飛びついて來た。首筋に五六匹、兩の手首に二三匹。むづ痒い觸感に、あわてて振ふと、飛び去りもせず、執拗に嚙みついた。叩き潰した一匹を見ると、家蠅程の褐色の蠅、アフリカの魔物、ツエツ・ツエ蠅だ。ツエツ・ツエ蠅は、蚊がマラリヤを持つて來るやうに、恐ろしい、睡眠病の黴菌を媒介する。この黴菌をツエツ・ツエ蠅は鰐から持つて來ると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

云ふ事で、水邊に居る奴は殊に危險だが、自動車、汽車、疾走する動物など、兎に角スピードの早いものに飛びついて來る習性があるので厄介千萬な害蟲だ。ローデシアの北から、スーダンの南まで、熱帶アフリカの一帶に棲むこの小蟲が、どの位開發をさまたげて居るかわからない。科學者達の懸命な努力も、今ではまだ完全な療法を發見するに至つて居ないので、睡眠病にかかつたものは人も家畜も、結核患者の如く衰弱して半年か一年位で死んで行く。

日はとつぷりと暮れた。暗を通して、遙かに土人達の野を燒く火が、赤々と見える。

アフリカの廣野の野火は、凄爽な、そして雄大な景物の一つだ。雨期が去つて、高原の草が黃ろく枯れると、黑人達はやがて野に火を放つ。雜草や藪を燒き拂つて次の雨までに、畑をこしらへるといふ爲のものもあるが、奧地の土人達の耕作は極く小規模だ。女房を二三人買へば男は樂に暮らして行かれるといふ奧地の土人達の社會では、畑を作つて居るのは大抵女に限られて居る。そして、自家用のモホゴ芋か、バ



東阿奥地の土人マサイ族

ナナを植ゑる位の事に過ぎないから、極く小さな畑で十分なのだ。近頃金を儲けることを知つて、賣らんが爲の棉を作るものなどもあるにはあるが、それにしてもほんの一畝に滿たぬ小さい畑が多かつた。大きな野火は、かうした必要よりも、山羊や牛を放牧する男達が、柔かな青草を生やさうとして、燒く場合の方が多いのだ。だから、彼等は、一度叢に火をつけると、風のまゝに、野火の擴がるにまかせて置く、晝となく、夜となく、數哩に亘つて燃えつゞける火は、灼熱の太陽に光を奪はれて地平線をかくす黑煙の幕となり、夜のとばりに包まれては、大空を焦がす紅蓮の焰の正體を現はす。モロゴロの町とおぼしきあたりに、二筋にも三筋にも、漆の如き闇に描いた野火の焰の亂舞こそは忘れ難い印象を殘した。

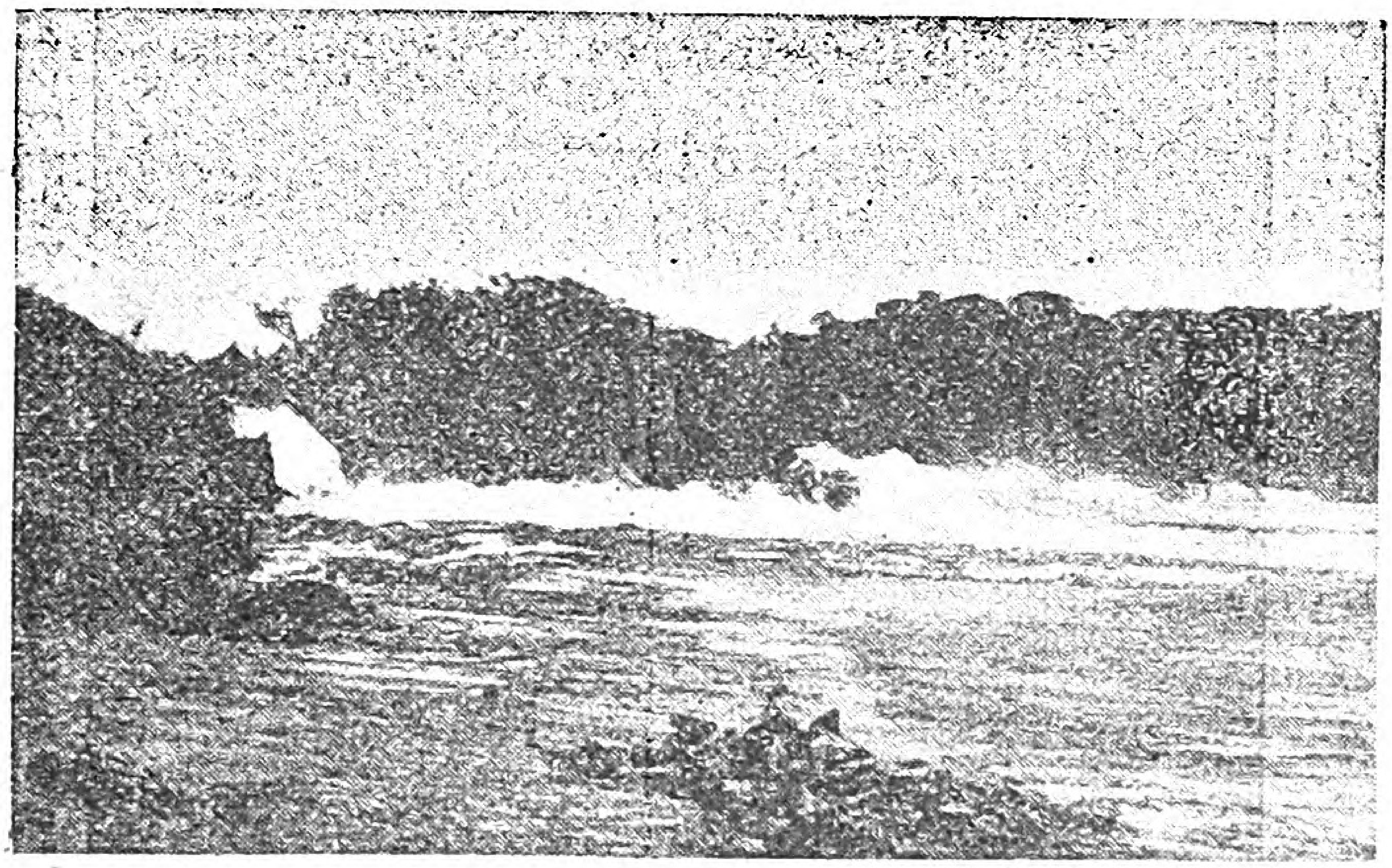
宵闇のモロゴロの町を拔けて、一時間、ミケシ驛に近い日本綿花會社の繰綿工場に着く。夜ももう十時を過ぎた。晝飯にコログウェで食つた辨當のケーゼブロートの幾切かは、もう數時間前に消えてしまつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。極度の飢渇と、朝から十六時間に亘る惡道路との苦闘とで、文字通り身心は疲勞し切つて居た。

　この工場には若い日本綿花の社員松岡君夫妻が駐在して、十二臺の繰綿機を持つ工場と一千英町の綿花耕作地の釆配をふつて居る。夕暮れから、モロゴロ町の街頭に立ちつくして到着を待つて居た夫君に導かれて、小山の頂きのバンガローに着くと、これもまた、餘りの延着に不安にかられながら待ちわびて居た夫人がランプをかざして出迎へられた。極度の疲勞と、このタンガンイカの奥地で日本人の家庭に温かく迎へられた喜びとで、言葉も出ない。一杯のウイスキーソーダを呷つてやうやく挨拶を交はす氣力を恢復した。雨水を蓄へた貴重なタンクの水でたてた日本流の風呂に汗を流して、鋤焼の鍋を圍んでかたる。迎へるものも、迎へられるものも、それが唯だ同じ日本人であるといふ事だけで不思議に涙ぐましい喜びと親しみをしみじみと感ぜずには居られない。タンガンイカには、海岸のタンガとダレサラムに日本の婦人が一人づつ、今は外人の妻君となつて住んで居るだけで、奥地にはこの松岡君の一家族しか日本人は居らぬ。國際的に開放されて居るタンガンイカ、印度人と歐洲各國の人々とが、競つて移住し開發しつつある熱帶アフリカの沃土タンガンイカでの唯一の日本人の投資事業がこのミケシの工場だ。神戸の商大出身で、まだ卅歳の聲を聞いたばかりの松岡君と勇敢にも學窓を出てすぐに、夫君に從つてアフリカの奥地に渡つて來た夫人との健闘振りを見て、私は、やがてこの人達の努力が、我が日本人のアフリカ開發の踏み石として感謝される日の近からん事を祈つた。

　翌朝は疲勞も稍恢復して、工場と耕地と、モロゴロの町との視察に夕方までの時間を使ふ。猛獸がまだ多いので有名なこの附近では、夜になると、ライオンやハイエナが頻りに吠えるが、晝になつて見ると、鐵道の沿線だけに、歐洲人や印度人の農園が多く、モロゴロは田舎ながら町らしい形をそなへて居た。



リツポン・フオール（ナイルの源）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

メキシコ丸は明朝六時のダレサラム出帆だ。途中での事故を考慮に入れて、今夜の夜中までに乘船の豫定を立てて、午後四時過ぎには出發することにしてあつたが、自動車の修理に案外手間どつて、遂にモロゴロで日は暮れた。狹い町を幾度か步き廻つて待つうちに、八時を過ぎてやうやく修繕が出來上つた。だが、あわてた黑坊のボーイが、水の罐と揮發油の罐を間違へて注ぎ込んだので、又一騷ぎ。漸く動き出すとプランターらしいイタリー人の男が追つて來て、乘せて欲しいと頼み込んだ。此の男の自動車は、ダレサラムからモロゴロへの途中、ミケシの先三哩ばかりの森の中で故障を起して動かなくなつた。やうやくモロゴロまで步いて來て、今部分品を持つて引返すところだが、ミケシまでも乘せて欲しいとの話に、氣の毒にもなつて、此の男と從者の黑人を積んでミケシで別れた。

腹をつくつて、ミケシを出たのが夜半の十二時、早朝までにダレサラムに着かねばならぬ。森の中の石ころだらけの道を、跳び上り、はね上つて、疾風の如く自動車は走り出した。强力なヘッドライトに眩惑されて驚いた兎が、叢からとび出して、あわてて道を横斷する。

二三哩走つたところで、森の中に果して大型のローリーが一臺、荷物を滿載して立往生をきめ込んで居る。例のイタリー人の車だつた。汗みどろになつて修繕を急いで居るが、どうしても動かぬらしい。枯木を集めて炎々と篝火を焚く。野獸の巣窟であるこの邊の森では、ライトを照して走る間は先づ大丈夫だが、停つたとなると、いつ何が跳びかからぬとも限らぬ危險があるのだ。黑人の人足が三人、自動車の修繕をよそ事のやうに、見向きもせず、篝火をかこんで立つて居る。太い筋肉の盛り上つた逞しい腕を胸に組んで、動かぬ自動車に業を煮やしたか、苦り切つて反り身に立つ黑い半身を、燃え盛る篝火が照して、仁王の像を闇に彫り出す。

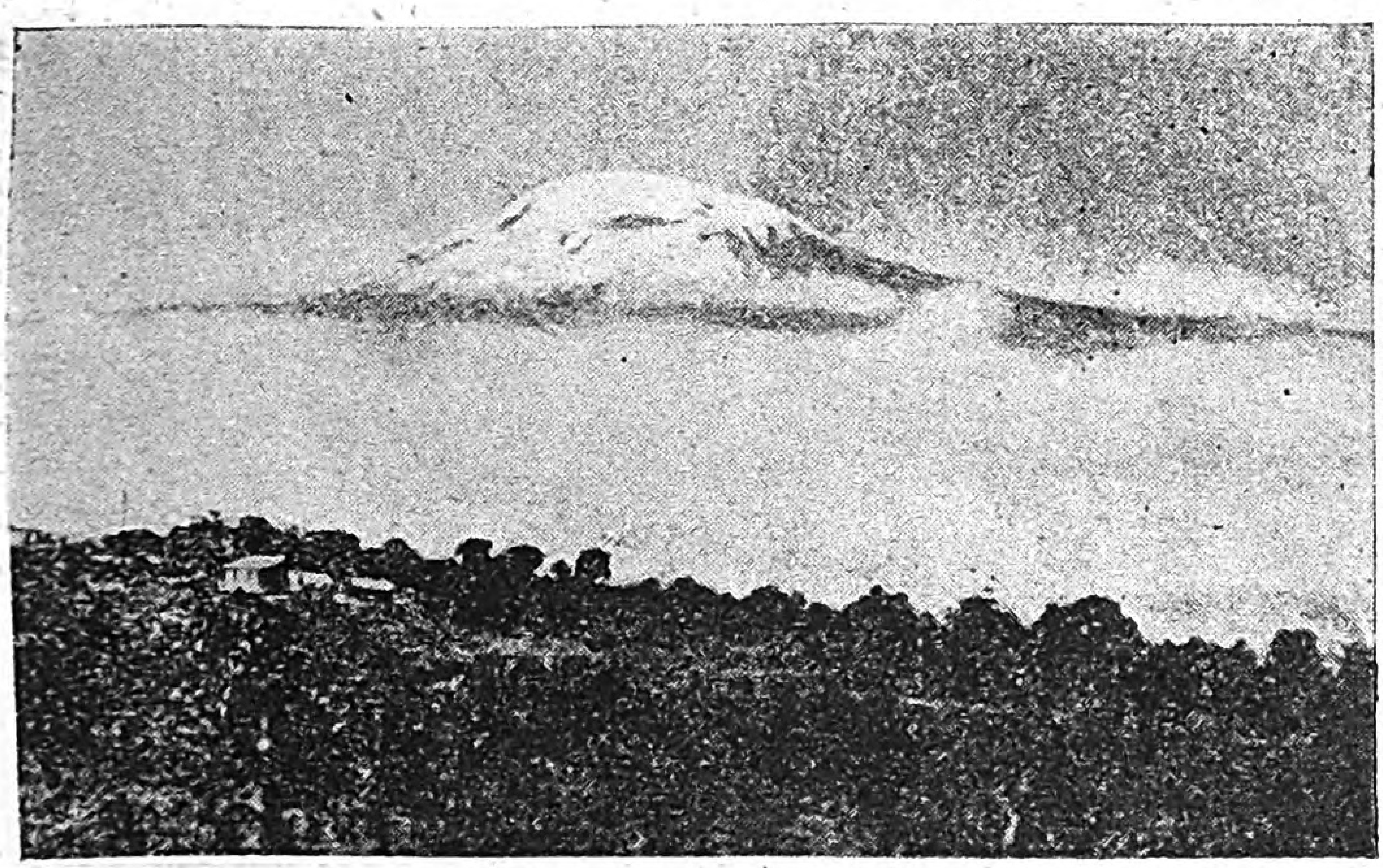
我々の車も止まつた。運轉手の黑人ジョセフが、怒鳴るやうな調子で話しかける。人足達が、業を煮やすも道理、これで三晩物凄いこの森の中に停まつて居るのだといふ事だつた。

森を拔けて草原を走り、草原を拔けて森にはいる。自動車の行く手に二ツの眼玉が青白く光つた。ライオンか豹か。小牛程の黑い影が、車の横を魔の如く、すれちがつて通る。ジョセフが運轉臺から振り返りざまに「レパード」と叫んだ。豹だ。此の夜のドライヴで何頭の豹に出會つた事か。初めのうちこそ、珍らしさに、青白い眼玉の光るのを、息をこらして待つたものだが、十頭餘りを數へた頃から、いつも極まつたやうに姿を見せる猛獸は豹ばかりなのにあきて、ついうとうとと居眠りをすら始めた。遂に朝まで、ライオンは一頭も見なかつた。此の邊は、一帶にライオンは居るところなのだが、注意深い百獸

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の王は容易に姿を見せないのだ。自動車の爆音を聞くと素早く草の中に身をかくすといふ事だ。この點は、無神經なのか、圖太いのか、兎に角、姿を見せる、豹の方が、鬣の威嚴こそ持たぬが、却つて王樣らしい大膽さがあるとも云へやう。

午前四時、ルヴ川の渡船場にかゝる。幅廿間か、廣くても卅間を出でぬ程の川ながら濁水が渦を卷いて流れは矢のやうに早い。川を橫切るロープにつないだ船が對岸にとまつて居たが、渡守の住みそうな小屋も見えぬ。警笛を鳴らすと、やがて人聲が聞えて土堤の陰から、四五人の土人が出て來た。川を越へると、やがて、土人の小屋が十五六軒道路にそつて部落を作る。流石の熱帶アフリカも、高原の夜氣は膚にしみて寒さをすら感じる。腰にだけ布を纒ふこの邊の黒人は、寒さに眠られぬのか、午前四時といふに、戸口の外の焚火に集つて話して居る。やがて、雜木林を切り開いた、ダレサラムからの新道に出る頃から東が白みはじめた。熱帶アフリカの黎明は、

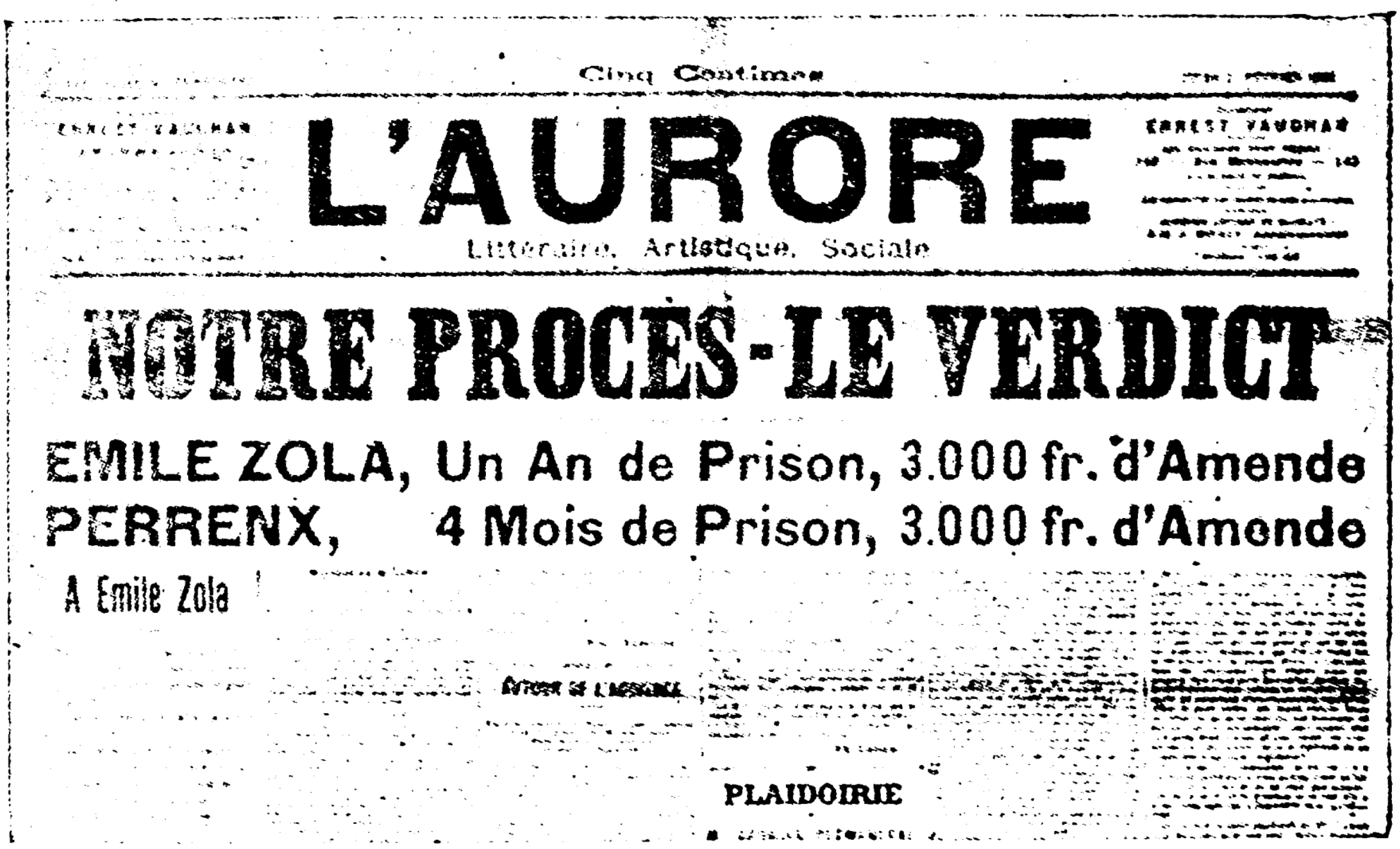


キリマンジヤロ山

眞晝の太陽の強烈なだけに殊更に爽かだ。黒々と茂つた濶葉樹の山を越えて、峠道を海岸低地帶へと下つて行く。遥かに印度洋の水が見える。だが港まではまだ三十哩の餘もあらう、時計は既に七時を廻つた。

平地に下つて、ジョセフは、エンヂンの力も盡きよと、スピードをかけ始めた。六尺豐かなパガンダ族の彼は、自動車の操縱にかけては自慢の腕を持つて居る。それに、若し、出帆に遲れてはとの心配もあるのだ。五五—六〇スピードメーターが廻る。唸りを立てゝ椰子の林を走り拔けた。踏切りを越した。坦々たる市街のアスファルト道、ダレサラムの大通りをまつしぐらに稅關につけた。船は？日本船は？居た居た、右手の沖合だ。だが、動いて居る。船首を港口に向けて、ゆるやかに動いて居る。土人の漕ぐボートののろまさ。汽笛が鳴つた、漕ぎ寄せる小舟を見出したらしい。士官達の白服が、ズラリと船橋に現はれて、また汽笛を鳴らした。パイロットのあとから、動く船に、漸く飛び込んだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN


Cinq Centimes

ERNEST VAUGHAN

L'AURORE

Littéraire, Artistique, Sociale

NOTRE PROCÈS-LE VERDICT

EMILE ZOLA, Un An de Prison, 3.000 fr. d'Amende
PERRENX, 4 Mois de Prison, 3.000 fr. d'Amende

A Emile Zola

PLAIDOIRIE

ゾラの判決を掲げたオーロール新聞

敗軍

―ドレフュス事件―

大佛次郎

敗れたゾラ

一

ラボリ辯護士の熱烈な辯論も、「輿論」が抑へてゐる槓杆を正しい位置にひきさげることは結局出來なかつた。陪審員の姓名、職業、住所が、一々詳細に國粹主義の新聞に掲げられて、モッブがいつでも襲ふことの出來るやうに便宜を計つてくれた時である。

『ゾラを有罪と認む。』

七票に對する五票であつた。

ゾラもラボリ辯護士もクレマンソオ兄弟も、畫家のマネエもセザンヌも、被告側は悪戰苦闘を重ねた戰場から血みどろになつて出て來た。

一年の禁錮、三千法の科料――この判決はもう、裁判所の前の廣場を埋めてゐた愛國的群衆に傳へられてゐたのである。怒濤のやうに起る佛蘭西共和國萬歳の聲が暮方の空に揚つてゐた。往來はごつた返してゐる。どこへ行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つても、軍隊の名譽が護られ祖國が危機を脫したことを、人は悦んでゐるのだつた。

警官の自動車隊に周圍を護られながら、ゾラの馬車は走つてゐた。窓硝子の中に、流れて行く昂奮した市中の騷ぎを、ゾラは憎惡をこめて見まもつてゐるのだつた。負けはしないのだ。ゾラはこの群衆を見てゐて

『鬼め！』

と、呟いた、と傳へられてゐる。

七票に對して五票を得たと云ふのは、成績は寧ろ豫期の上にあつた。――ラボリ辯護士もクレマンソウ兄弟もかう云ふのである。それのみか、まだ控訴する方法が殘つてゐる。終局の敗北は免れ難いものとしても、手段の殘つてゐる間はそれを利用して、爭へるだけ爭ふことである。今日まで一同が死身でやつてきたやうに、暴露戰術を採るのである。公衆の前に不死身の敵の正體を一皮づゝ剝いで見せるのである。これだけの覺悟は、一樣に胸に疊んで持つてゐたのである。慘めに負けて退却しないのだ。一歩でも半歩でも正義を前進させるのである。この熱意は、いよ／＼固められたとも云へるのである。



列座の者を動物に見立てつゝ冷嚴に觀察してゐる法廷のゾラ（中央白服）（千八百九十八年六月伯林のスルチイゲ新聞に載つた諷畫）

「猶太人」が、まだ抵抗する――蜂の巣を突いたやうに國粹黨の新聞がまた次の日から吼え初めて、大衆を祖國の旗の下に再動員した。坊さまと軍人と新聞の三位一體であつた。苦もなく輿論が作られた。ゾラは、ありとあらゆる方法の攻擊の的となつた。「プチイ・ジユールナル」は素晴らしい方法を發見して大文字の見出しで五月二十三日の紙面を飾つた。

『ゾラの父親は賊を働いた男だ！』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゾラは傷だらけになつた獅子のやうに猛り狂つて來た。ヴエルサイユの重罪裁判所で最終の判決があらうと云ふ日、七月十八日には——その前日の或る新聞は、この裁判所の出入口がたつた一箇所だと、れいれいしく書いて暗にモッブの襲撃を煽動さへしてゐたくらゐで——裁判所の前には群衆が詰めかけエステラージーなどは拳銃をひけらかして待つてゐた。ところへ、その頃はまだ發明されたばかりの山のやうに大きな自動車で埃の雲を巻き上げ舊式なエンヂンの怖ろしい爆音を立てゝ群衆を威嚇し蜘蛛の子のやうに散らしながら怖ろしいダッシユで乘込んで來た。自動車が玄關に横附けになると一緒に、ゾラ、ラボリ、クレマンソオ三兄弟、プリユノオ、デムーランの七人は、その頃の自動車へ乘るにはどうしても必要だつた埃よけの目鏡や外套をかなぐり捨てゝ初めて顔をあらはし、群衆があつと思つた時は大股で石段を昇つてゐたと云ふやうな、些さか稚氣を帶びてゐたとも思はれるくらゐ、ひとむきの戰闘的な態度だつた。

法廷では、ラボリ辯護士が抗辯に努めて、判決を延期させた。判決などは聞かなくてもわかつてゐたし、ラボリもクレマンソオも判決がこゝで決定的なものとなる前に、或る計畫を遂行しようとしてゐたのである。それはゾラを外國へ逃がして終はうと云ふのだつた。ゾラがその相談を持掛けられたのは、その日の歸り途のことであつた。

『そんなことは出來ない！』

ゾラの返事はかうだつた。

『斷じて、そんなことは出來ない。牢へ入るくらゐは、最初から覺悟してゐることだし、私は何とも思つてゐない。』

拒絶の理由はこれよりも、寧ろその場合の世評を考慮してゐた點にあつた。ゾラは、どんなことがあらうと、こゝで、卑怯に敵に後を見せて、逃げたくなかつたのだ。

車は、夜のブーローニユの森の中を通つてゐた。

ラボリとクレマンソオは口を酸くして說き續けた——これはゾラ自身のためでもあるが、自分たちの戰線の作戰から云つても、ゾラは監獄へ送られてはならない。こゝでゾラが逃げて事件を未解決のまゝにして置くと、やがてもう一度ドレフユス事件の全部を明るみへ持出すことが出來る。さうでない限り事件はこゝで打切られるのだ。窒息させられるのだ。だから、こゝでゾラが逃げて、あとに殘つた自分たちが極力新しく有力な證據を集めて次の攻撃を仕度することにしよう。かはる〴〵、かう云ふのであつた。

さう聞けば、なるほど、もつともなことである。しかし、それにしても、ゾラはこの計畫に從つて自分の拂ふことになる大きな犧牲を思ひきりにくかつたと見えて、はか〴〵しく承知しなかつた。一同は話

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を持越したまゝ、その足でゾラの古い友達のジョルジュ・シャルパンチエの家へ行つた。ゾラ夫人も呼び出されて來て相談に加はつた。しかし出世したひとの妻君が大膽さうであるやうに、夫人は夫に振宛てられた不名譽た役割を聞くと、ゾラ以上に强硬に反對するのだつた。

「夫がですか？ そんなことは夫の氣性として出來ません。第一、世間が何と申しませう。」

しかし、この時になつて、反つてゾラが承諾の意を示した。レイナツクは、この決心をしたゾラの偉大な德性を稱讚してゐる。實際にこの場合、堂々と服罪して獄屋に降つた方がどんなに男らしく立派だかわからないのだつたが、ゾラは友人たちの提議を義務として快よく受けた。それは「岩ばかりの島にゐるドレフユスが自分に哀願してゐるのを感じたからだ。」また「頼りないランプの光を消さないやうにするため」に已むを得ない犧牲と感じたからだ。

尾行を逃れるために家にも戾らずにその足で停車場へ行つてすぐひとりだけで北行の急行列車に乘り込んだ。蒸暑い夏の晩であつたが、用心のために窓の鎧戸もおろして、薄暗い電燈のともつてゐる車室の一つにその日の朝からの埃と汗まみれの軀を、綿のやうに疲れきつて腰を落した。

プラットフォームは發車前の雜沓と活氣に充ちてゐる。巡査が步いてゐるのが鎧戸の隙間から見える。同志の者がどこかに見送りに來てゐるのだが滅多に顏も出せないのだつた。

ゾラが――「ナナ」で「居酒屋」で世間をやんやと湧かせた派手好みのゾラが、他國へ逃れても犯罪人引渡條約に引掛つて本國へ送還されるやうなことのないように、實際にこの世間から存在を沒せねばたらぬのだつた。影も形もないように。

發車のベルがけたゝましく鳴つた。ほかの旅客を見送りに來た群衆がプラットフォームで湧き返つた。ゾラは、凝として汽笛を聞いてゐた。がたんと振動が來た。汽車は動き出して、鎧戸の外の人の列が、夏ズボンやスカートが、流れ出した。プラットフォームがきれて、闇が窓へ飛びついて來た。

ゾラは、窓をあけた。巴里の町の燈影が列車の後方へ飛んで離れて行くのを見まもり續けた。

二

「ゾラが逃げた！」

何にしても騷ぎの渦を惹起す男であつた。國粹主義のジヤーナリズムに取つては、絕好の題目だつた。囂々たる騷ぎである。佛蘭西だけではない。歐羅巴全土の耳目が衝動させられた。國々の探訪記者が氣

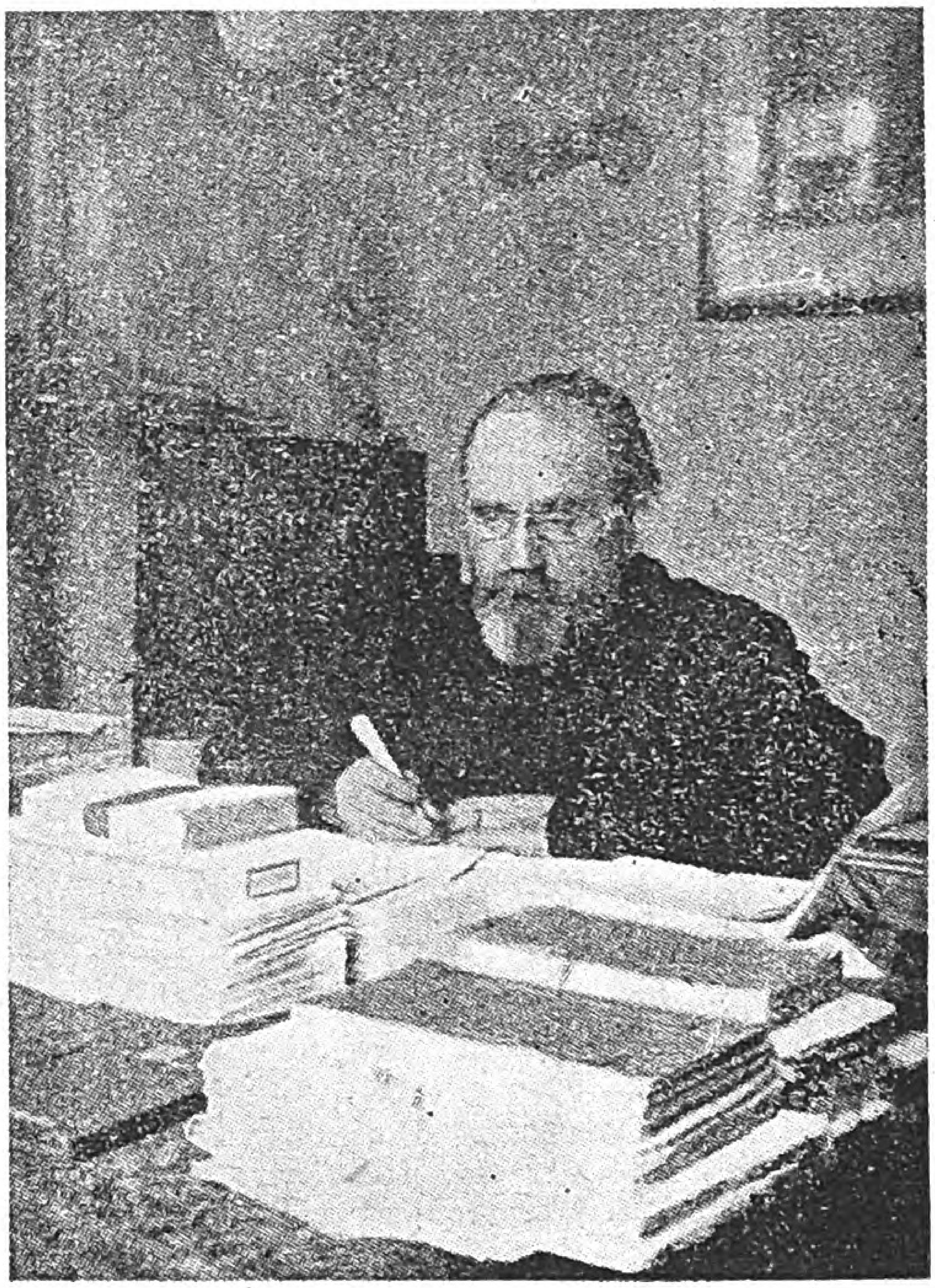
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

違ひのやうになつて追跡に掛つた。——瑞西にゐると云ふ報道がある。否、獨逸へ入つて匿まはれてゐるのだ。やはり獨逸から金を貰つてゐたのに違ひないのだと云ふ記事も掲げられた。

ゾラは白耳義へ出て海峽を渡つて倫敦へ隱れてゐた。同志の者とは打合せが出來てゐたし、クレマンソーがすゝめたホテル・グロスヴナーに宿を定め、この國で自分の小説を飜譯して出してゐるヴイゼツテリと云ふ人物をかねて知つてゐたので、着いてすぐこの男のところへ手紙を遣つた。

『私が倫敦に來てゐることは世間へ、時にどんな新聞社へも一切、祕密にして置いてください。明水曜日の十一時にグロスヴナー・ホテルへ會ひに來てくれたまへ。パスカルと云ふ名で泊つてゐるのだから、そのつもりでゐてください。ともあれ、世間へ知れると重大な結果になることなので、絶對に祕密を守つてくださるように。エミール・ゾラ』

ヴイゼツテリが驚いて、指定の時間にホテルを訪ねて見ると、丁度、ゾラに一日遲れて巴里を出て來た同志のラザールとデムーランが來てゐたところだつた。四人が打合せ、ラザールは即夜巴里へ歸り、多少英語の話せるデムーランは、一日だけ後へ殘ることになつた。



亡命當時のゾラ

問題は、英國の法律でゾラがこの地へ留つてゐて危險がないものかどうかと云ふことだつた。犯罪人は政事犯人以外は條約に依つて本國の警察に引渡される。ゾラの罪狀は讒謗なので、その危險は充分あるものと云へる。しかし判決はこれから缺席のまゝ下されるわけで、この場合も法に引掛かるかどうかが論點であつた。ヴイゼツテリは、友人で辯護士をしてゐるウエアハムに事情を打明けて、ホテルへ連れて來た。辯護士の意見では、倫敦にゐては危險

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だから、もつと邊鄙な地方へ隠れた方がいゝと云ふのであつた。

では、どこへ隠れるか？

それが決定しない内に、何となくこのホテルでもゾラが何人か感じて來たやうだし、一度外出した際にバッキンガムの宮殿の傍で、或る女から完全にゾラと認められたやうなことに成つた。もう猶豫は出來ない。果してヴイゼットリイが新聞記者の包圍を受けることになつた。ウエアハム辯護士は、親切にウインブルドンにある自分の屋敷へゾラを招いて匿つてくれたが、この町も倫敦には近いし人の出入りの多いところだつたので、更にウエイブリッヂに近いオートランヅ、パーク・ホテルへ隠れることになつた。

この間に巴里では、虎のジョルジ・クレマンソオが、ゾラの名前を使つて「十月には歸國して法廷へ立つ覺悟である」とオーロール新聞へ挨拶を書いてくれるし、音樂家のデムーランが一度歸國してからゾラが小説を書く材料に集めてあつたものを、また海を越えてゾラのところへ屆けてくれると云ふやうなわけで、「猶太人」の戰線は敗れたとしても相變らず手堅く結束して傷を嘗めながら再起の機會を狙つてゐるのだつた。

軍人の悲劇

巴里と限らず全國に、いや歐羅巴全土にさへ波動を擴げたこの事件は議會の問題にならずにはゐなかつた。社會黨の者は事件をブールジョアジイの内部に起つた紛爭として自分たちの關り合ふことのないものだとする者もあつたが、ジョオレスのやうな現實派（？）の人々は、ドレフュスの再審を公然と主張しないまでも、共和國を耶蘇會の將軍達に引渡したと云ふ點で、頻りと内閣を問責してゐた。同時に、國家主義の右翼の陣營からは、内閣が軍隊の名譽を擁護せず危險極まる煽動を放任してゐると云ふ點で、猛烈な攻撃を受けることになつた。メリヌ内閣は、この腹背の敵の間を巧みに縫つて「既決の神聖」を護るのを唯一の目標としてゐた。換言すれば、飽くまでドレフュスを有罪と見てゐるのである。（有罪にして置かねばならぬと信じてゐたのかも知れない。）首相はゾラたちの「險惡な攻撃が佛蘭西の敵を悦ばせるものだ」とも言明してゐた。

一月十三日と二十二日の議場で、右翼からカヴエイニャックが立つて、ドレフュスがルブラン・ルノオに自分の罪を告白したと云ふ書類を發表しろと要求した。さう云ふものがあると傳へられてゐたのである。これを發表するのは何の危險があらう、事件の正體を明らかに出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來るのではないかと云ふのだつた。

奇怪にもメリヌ首相は、この告白の事實も一件の書類の存在もまたその確實な事も肯定して、發表を拒んだ。これはドレフユスの再審を認めるのと同じ結果になると云ふのだつた。烈しい討論が行はれた。左翼のジヨオレスが獅子奮迅の勢ひでこの討論に割つて入つて、昂奮したベル＝伯爵に演壇で毆られたと云ふ樣な騷ぎであつた。二十四日に議會はメリヌ首相が採らうとしてゐる措置に贊同の決議をした。

同じ日に、ユバールとヴイヴイヤニとが「最近の或る裁判に於て一部の將軍らに民權を脅威するやうな煽動的態度があつた」ことについて質問した。これに對して、メリヌ首相は、その傾きのあつたやうに感ぜられるのは、まことに遺憾ではあるが、これも將軍たちが甚しい侮辱的な攻擊を受けたためであつて見れば、朴訥な軍人として多少度を外した點があつたのも、無理はないと考へてゐる。現在では、その攻擊も終熄した。「これは斷然終熄させねばならぬのである。」かう答辯した際には廣い議場の大部分が熱心な喝采を送つたのであつた。

從つて、政府は、猶太人及び所謂「知識階級」の執拗な主張に對しては、事情に應じて適宜の彈壓の方針に出る意向であつたし、また實際にさう努めた。

二月二十六日には、良心と軍隊的服從の至誠とを不幸にして併せて持つてゐたピカール大佐が軍籍から追はれた。同時に大佐は二月十二日の法廷で自分に侮辱を與へたアンリ大佐に介添の友人を送つて決鬪を申込んだ。アンリ大佐は最初の間なかなか潔よく承諾しなかつたが、三月五日になつて二人は長劍を交へることとなつた。結果はアンリ大佐が傷付いて作法の上で敗けただけのことであつた。僞造者のエステラージーが突然としてピカール大佐に挑戰して來た。これは大佐の方で承諾の名譽を與へるのを拒んで「あの男は國の法律に裁かれなければならぬのだ。自分の手でこれを省いてやると云ふのは、違法である。」と言明した。そこで、エステラージーは要擊を企てたがこれも果さなかつた。

軍部の機密を漏らしたことで、ピカール大佐の共犯人と見られてゐたルブロア辯護士は公職を解かれ辯護士の職務も六箇月間停止された。また著名の篤學の科學者でグリモオ教授はドレフユスの再審の請願に署名したのが不謹愼だと云ふので、工業學校の教壇から追はれ、實驗室と麵麭を一時に失ふ氣の毒な目に遭つた。

かう云ふ陰鬱な空模樣の下で、丁度改選期に當つてゐた議會の總選擧が行はれることであつた。當選の榮冠を得るのには、軍隊を謳歌するか、あるひはさうでないまでもドレフユスの件について一切沈默するのが必要であつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

選擧では、ドレフュス黨の旗幟のあきらかだつたジャン・ジョオレス、ジョゼフ・レイナックのやうな巨星さへ墜ちた。全國で二十六の縣會が「煽動者」に對して更に嚴重な彈壓を加へるように政府に要請する決議をしたとしても、些かの滑稽も感じられなかつた。

二

少し前に、惡魔島を破つてドレフュスを救ひ出さうと企てゝゐる者があるやうに噂が傳はつた。船の仕度を外國でしてゐると云ふ話だつた。噂はかなり根據があるやうに見えたし、信じる者がすくなくなかつた。人民だけでなく、政府も幾分か不安を感じてゐたやうである。サリユ島の監獄へも、この知らせが飛んで、ドレフュスの監視が更に嚴重にされることになつた。

「我が生涯の五年間」と題してドレフュスが書いたものがある。その時分の彼の生活がわかるから一部分を譯して見る。(Alfred Dreyfus; Cinq Années de ma Vie.)

『新しい監房は、中央に一杯に鐵の嚴重な格子をつけて、二つに區分してあつた。格子の手前に私が居ると、向ふ側に監視の男がゐる。晝夜の別なく私から目を離さずにゐられるようにしてあるのだ。高い、鐵の格子窓二つから光線と空氣を招き入れてゐた。やがてこの窓格子のあるところへまた鐵の網を掛け、更に内側に窓を挾んで二枚の板をかぶせて私が接近出來ないやうにした。板の一枚はブリキで、風も通さない。一枚は鐵の棒を平たく網目にこしらへたものだ。窓の外には二米八〇の高い木の柵か、上部を尖らせて、二米から二米五〇の燒けた石の壁の上に立つてゐるのだ。海の眺めも島の景色も、私にとつてはすつかり目隱しされてゐたのだ。

然しながら、この新しい監房は廣いし天井が高かつたので、もとのよりよいやうな氣がした。外の柵も一方は大分前より窓から遠くたつてゐた。しかし前の時にはなかつた濕氣には惱まされた。大雨の時節などには、監房の床に幾センチメートルも水が溜つた。虫の類も最初の監房に比べて、多くはないにしても、決して、すくなくなつてゐなかつた。

この頃から苦しめられることが、多いし酷くなつた。(あとでわかつたことだが、當時は全然知らなかつた本國での形勢につれて、私の扱ひ方にも變動があつたのだ。)役人はいよ〱私を及ぶ限り隔離させようとしてゐた。罠に掛けようとするのを防ぐのにもこれまでにない努力が必要であつた。上司の命令で、監守が、うつかり返事の出來ないやうな問ひを掛けるのだつた。暑苦しい神經の昂ぶつた晩など、惡い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夢にうなされてゐると、監守が傍へ來て、私の口走ることを聞いてゐるのだつた。教誨師のドニエルなどは、職務を離れて、卑劣な犬の役廻りを買つてゐた。かうすれば上司に氣に入られると信じてゐたのに違ひない。』

熱帶地の、石だらけの島にある監房の中のことであつた。氣が狂はなかつたと云ふのもこの男が神經の線の太い意志的な軍人だつたからであらう。『晝となく夜となく、間斷なく二つの目が自分を見詰めてゐる。一瞬間も氣を弛めることが出來ない、こんな苦しいことはないものだ。』

妻のリユシイは相變らず、こゝろを籠めた手紙を書いてこの夫を慰めてゐた。しかし、それもドレフユスの手に渡るのは三つに一つであつた。

この一日に差上げた手紙は、きつとこれまでのどれよりも悅んでくださつたことゝ思つてゐます。私もいくらか心配も薄らぎ、これからのことを考へても明るく考へられるやうになりました。

私たちは、目ざしてゐるものに、大分近寄ることが出來たのです。もつと、くわしく申上げられないのが悲しう御座います。

千八百九十七年七月十五日

巴里にて　リユシイ

漠として雲をつかむやうな話だが、——幸福に餓ゑ人情に渇へてゐるドレフユスなのだ。

それから二月も待つて、次の手紙が屆くのであつた。

おたよりがないので、御心配申上げてをります。もう七週間になります。ほかの時では御座いません、不安な心持でをりますので、七週間がその三倍にも永く思はれます。途中で遲れただけのもので、やがて、うれしいおたよりを頂けますように。御元氣に遊ばしてゐらつしやることをお手紙の一行毎に拜見致します時ほど嬉しいことは御座いませぬ。早くお歸り遊ばして、お傍に暮らすことが出來ますように、今の苦しいことを皆忘れられますように。それだけを思ふので御座います。

あまり、ものをお考へ遊ばさぬように。お頭をお痛めになりませぬように。無駄にいろ〳〵と御推測になることもおやめなさいますように。

一番おしまいのことだけ。すつかり濟んだ時のことだけ考へてゐらしつてくださいまし。お疲れになつたお頭をおやすめ遊ばすよう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に。

千八百九十七年八月十五日

巴里にて　リュシイ

何か、リュシイを悦ばせてゐることがある！　リュシイはそれに希望をかけてゐる！　何だらう？　再審が許されさうなのか？　俺れの無罪だつたことがわかつたのだらうか？　眞犯人が出たとでも云ふのだらうか？

考へるなと云はれても、ドレフュスは妻の手紙を受取る毎に、夜も睡れなくなるのだつた。

（助かる、俺れが！）

ところで、この燃えるやうな期待と違つて牢内の待遇が段々苛酷に嚴重になるのは、どうしたと云ふのだ？

『十人の監守と、監守長一人とだつたのが、監守長はその儘で監守が十三人になつた。牢の外にも絶えず歩哨が立つてゐる。この人々の樣子を見てゐると、何か怖ろしいことが起らうとしてゐるやうに感じられた。

物見櫓が建てられた。ホッチキス砲が一門据えつけられた。島へ接近する者を防がうとするものらしい。』

これは惡魔島を破つてドレフュスを救ひ出さうと云ふ陰謀が噂に上つた頃のことであつた。島へ送られて來てから、もう滿三ケ年經つてゐた。ドレフュスは、自分がやがてリュシイの手紙さへ信じられなくなる時のことを思つて、慄然とせずにはゐられなかつた。この三ケ年間に、大統領や内閣の大臣へあてゝ、幾たびも哀願の手紙を出したが、どれも何の音沙汰なく了つてゐた。

千八百九十八年に入つてからは、絶えず勇氣を持たせる役をしてくれたなつかしいリュシイの手紙さへ當人の自筆のものを渡されるのは稀れで寫しを渡される場合が多くなつてゐた。またリュシイに渡るドレフュスの手紙は、全部、他人の筆蹟で書いたものだつた。夫のものでない、妻のものでない、と疑へば疑ふことが出來るのだつた。

島にゐる夫にも、本國にゐる妻にも、この時分が、不安と苦悶の、最も耐え難い時であつた。

三

佛蘭西本國では總選擧の後にメリヌ内閣が總辭職してアンリ・ブリッソンの新内閣が時局に當ることになつた。

ブリッソンは、これまでドレフュス事件に對して全く關り合はなかつたひとであるが、議會に於ける國家主義者の勢力を顧慮して、ゴダ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ドフロア・カヴエイニヤックを陸相に立てゝ「事件」をこの人に任せた。愛國者同盟の首領デルレードは、内閣がかうして「軍隊の名譽を尊重することを知つてゐる」人物を陸相にしたと云ふのは欣快であると祝辭を述べた。

カヴエイニヤックは身を以て事件の淸算に當つて、懲りもせぬドレフユス主義者に口をきけぬようにする覺悟であると演說した。

その誓約に從つて、カヴエイニヤックは機密書類を點檢した。書類は、ゴンス將軍の命令でピヨオ將軍が提出したものである。提出した者がドレフユスの最初からの敵なのだし、カヴエイニヤックの見方も技術家出身の人としては甚だ粗末であつた。結果が、ドレフユス有罪の確信を裏書するだけのものだつたのは無論のことで、カヴエイニヤックは、これを首相に報告した。

この件についてカヴエイニヤックが聲明することが出來たのは七月七日の議會であつた。この日にカストラン代議士が政府は、なにゆへにピカール大佐、ゾラ、マチウ・ドレフユス及び猶太同盟を拋棄しておくのかと質問が出たのである。

カヴエイニヤックの答辨は、ひどく、きつぱりしたもので、ドレフユスの有罪だつたことには「絕對的に確實」なものだとして、その論據としては「第一の密書」のことには一語も觸れず、判決後に發見されたものとして新しい證據を擧げた。

第一にドレフユス自身が罪の告白をしたと云ふのである。これはカヴエイニヤックがゴンス將軍の報告とルブランルノオの覺書を見て、さう信じただけのものであつた。

第二には、所謂軍部の機密書類の中にあつたものだとして三つの證據を擧げた。これは皆、巴里にある獨逸大使館から出たもので、外交上の關係から機密に扱つてゐると一般に信じさせられて來たもので、カヴエイニヤックの說明も出所を云はなくても誰れもこれを一應合んで聞いたわけである。その一つはDと云ふ頭文字のスパイのことを書いてあるもの、次に某國大使館付の軍人が「Dが有益なるものを種々持ち來たる。」と書いたもので、書いた時日はいづれも千八百九十四年三月のものと認められるものである。次に、これも千八百九十六年十一月に手に入れることが出來たもので、こゝに發表は出來ないがその「有形無形の權威はカヴエイニヤック自身が確め、なほ證據としては、一言の批評の餘地を殘さぬ完全なもの——」と云ふ說明であつた。(この最後の書類は今日に至つてもなほ發表されてゐない。)

說明が如何にも算術的に組立てられてゐる上に、一々强い確信をこめて話して行くのだつたから、カヴエイニヤックは議場をまつたく抑えつけ、確信づけ、恍惚とさせたのであつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

議場の屋根も飛びさうに凄じい拍手が、演壇を降りるカヴエイニヤツクを追つた。

ブリツソン首相も立つて、カヴエイニマツクの今の聲明が政府を代表した意見であると陳べた。

これに對して、この演説を公示するようにせられたいと希望が出た。これは殆ど滿場一致で可決された。(たゞ棄權した小數の中に前首相メリヌがゐたことは注目に値する）政府は、直ちに議會の希望に從つて右の演説を印刷して全國に各郡に掲示する手續を了へた。

これでいゝ。

實際これ以上に堂々たるフイナーレは、ちよつと望み難いくらゐのものである。

翌日のフイガロ新聞が「ドレフユス事件埋葬を了る。」と大きく書いたのも安心の微笑を以て眺められた。

軍隊萬々歳であつた。

四

ドレフユスの味方が暗憺たる思ひでこの全國的な熱狂を見まもつてゐる時に、突然にピカール大佐が立上つて、ブリツソン首相に公開状を突き附けた。大佐はカヴエイニヤツクが擧げた千八百九十四年の二書類がまつたくドレフユスに該當しないこと、次に最後の千八百九十六年の書類と云ふのが「全然虚僞のもの」だと云ふことを聲明し、必要ならば法廷に立つてその證明に當ることも辭さないと通告した。

正直なカヴエイニヤツク陸相は激怒して、逆にピカールを間諜の罪名で告訴した。ピカールはサンテ監獄に收容された。

然るにこのピカールに、彼がチユニジーに赴任した際に受取つた僞電報の犯人の捜査を委托されてゐた豫審判事があつた。ベルチユリユスと云つてピカールを知り、その人物にも傾倒してゐたし、ドレフユスの罪についても、ひそかに疑ひを抱いてゐた人物である。ピカールが收容されたと聞くと、何とかして、大佐の有利に歸するやうな證據を擧げたいと志してゐたのであつた。

折も折、ラボリ辯護士が、エステラージーの從弟でクリスチアン・エステラージーと云ふ男がエステラージーに頼まれて參謀本部との連絡の役をつとめてゐたことを知つて、ベルチユリユス判事に知らせて來た。判事はクリスチヤンを拘引して泥を吐かせたばかりでなく、ピカール大佐に依頼されて捜査中の僞電犯人の筆蹟がエステラージーの妾でマルグリート・ペエイと云ふ女の筆蹟だつたのを發見して、はつと思つたのだつた。

疾風迅雷の勢ひで判事は、マルグリート・ペエイの家宅捜索を行つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。そこにあつたエステラージーの手紙を全部押收して引揚げて來た。

エステラージーにも油斷があつたのである。これは自分でも時には不思議と思ふくらゐに國家的な手厚い庇護を受けてゐたために、すつかりに氣樂に構えてゐた加減だつたらう。我れに復つた時は、ベルチユリユス判事の令狀で、サンテ監獄へ投込まれてゐたのである。

エステラージーは急に狼狽もしたし、眞蒼になつた。妾にやつた手紙の中には、かなり重大な、一身の安危に關はるやうなものさへあつたことを急に急に思ひ出した。あいつがよく始末してくれてある筈だと思つたのだが、それも女の氣性から考へるとあまり賴みにならない。賴むところは、自分の保護者だけなのである。陸軍が俺れを見捨てるやうなことはないだらう。こゝで俺れに、もしものことがあつたら、それこそお歷々の將軍連に火がつくのだ——

しかし、妾のマルグリード・ペエイも同時に拘引されて、サン・ラザールの監獄へ投込まれてゐた。ベルチユリユス判事は、なま優しい判事ではなかつた。仕事に手を着けたかと思ふと、實際に目をおほふ間も殘さぬくらゐに凄い勢ひで、びし〳〵片附けて行くのだつた。マルグリート・ペエイは、ベルチユリユスに追詰められて、遂に自白した。——恐れ入りました。電報は妾が書いたのに違ひありません。

それから二日——三日と經たない或る朝のことである。役所にゐたベルチユリユス判事のところへ守衛が訪問客の名刺を持つて來た。

ベルチユリユスは、その大きな名刺を手に取つて見た。官職も勳等も洩らさず印刷してある堂々たる名刺である。參謀本部情報局長——アンリ大佐なのである。

ベルチユリユスは、眉も動かさず冷厳な口調で答へた。

『お通し申せ。』

五

參謀本部の情報局長と云ふのだから、極端に云へば軍人らしいところの薄い、姿も垢ぬけた、輕快で話の捌けた紳士を想像する——が、ベルチユリユス判事がこの裁判所の判事應接室に入つて來て壁の前に立つてゐるのを見た客は、それとは反對に、ずつと地方の師團に暮してゐたとしか感ぜられない無骨な、謹直な人物で、判事と見て、眞直ぐな姿勢になつて、擧手の禮を示した。

『ベルチユリユスです。』

『は。』

椅子をすゝめられる。ぎごちなく腰をおろす。どこか鈍重な表情の男である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

掃除がよく届いてゐるだけで美しいとは斷じて云へない兵隊屋敷の智慧もなくがらんと大きい建物を、それから靑い木が一本もなく日が照りつけてゐる埃つぽい練兵場を姿に感じさせるひとである。——こゝまで書いては小說になるが——アンリ大佐が表情のすくない顏に、何となく落着きのない不安らしい陰影を持つてゐたことは云ひ得る。

用件は、案のとほりエステラージーのことであつた。彼の居宅からペルチユリユス判事が押收して來た書類を陸軍として一應拜見させて頂きたいと思つて伺つた。と、云ふのだつた。

ペルチユリユス判事は、顏をあげて、慇懃に、仰せの書類はなほ調べてゐる最中なので御要求には應じ難いと答へた。

『しかし、陸軍に關係のあることですから。』

と、アンリ大佐は、やゝ強制的に云ひ出した。

判事は、これは自分の一存で調べにかゝつた事件で、所長にも大臣にもまだ報告するまでになつてゐないのだから、陸軍の方だからと云つて外部の方にお目にかけるわけには行かない。と、もの柔かだがきつぱりした拒絶を與へた。

すると、アンリ大佐は——特別に何とか御配慮願へませぬか？ 殊に事件があなたのお手もとにまだあるならば、役所間の面倒な交涉もなく、手輕く拜見させて頂けるやうに思ふが——かう云ふのである。

人を見る職業を今日まで勤めて來たペルチユリユス判事は話の間に二の容に二つの一見して矛盾した性質があつて、それがかなり巧妙に使ひ分けられてゐるのを見た。一つは、かなり不躾けに感じられるくらゐ、他人の意志や感情を顧慮しないで我意を徹すことである。もう一つは、それでゐて、なか〱狡いところがあつて掛引をすると云ふことである。この二つを巧みに使ひ分けてゐるのが、永い習慣だけに依る無意識のものか、ちやんと意識してさうしてゐるかどうかは別の問題である。しかし、ペルチユリユス判事の理解する限りでは、この種類の狡猾な性質は地方出身の純朴な人によく有るもので、封建的な領主に繼ぎ近代都會に永い間搾取されて來た過去が自然と作り上げた防禦的な性質なのである。このアンリ大佐は二つの性質を意識的に巧みに使ひ分けて都會出身の同僚と競爭して出世して來たひとであらう。地方人の押しと術策とを相手に應じて上手に用ひて來たのである。他人にはさう見せないが自分では俺れは狡いと信じてゐるに違ひないのである。

判事は、なほ微笑ひながら、大佐の申し出を拒絶した。まだ海のものとも山のものともわからぬことだから と云ふのだつた。

こゝまで來ると、アンリ大佐は實際にひどく當惑したやうに見えた。そして、哀願的にそれでは、あなたの見込みだけでも聞かせて頂

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けないかと云ふのだつた。

判事は、こゝまで來てから、軍閥の陰險な仕事に對して不平を感じて來た不滿を何かの形で示したく考へた。あきらかに、こちらの仕事を妨害する意志で來た客を多少嚇かして見たい誘惑を感じてゐたのである。そこで、たゞ自分の見込みと云ふ程度ならばお話してもいゝと答へて、話し初めた。話が客にどのくらゐの影響を與へるかと云ふことには職掌からの興味を感じ、充分に注意して見てゐた。

すると、見てゐる内に、アンリ大佐の顏色が變つて來た。こちらが、たゞの推測として話してゐることを、最早動かし難い證據が擧がつたものとして聞いたやうである。目に見えて表情が硬くなつて、目はどんよりと鈍い光を放ち初めた。時には、唇がふるえた。手も絶えず、ぎごちなく動かして、激烈な感情を僅かに抑制してゐると云ふやうな樣子だつた。

判事は、「これは？」と感じた。この男がドレフユス事件で何か重要な役をつとめたのではないか？　そこまで看破すると、政策からしても、話に加減をしないで、いよ〳〵鮮明に、一太刀づゝ斬込むやうな勢ひで踏込んで行つた。

突然に、椅子を後へ倒しさうな勢ひでアンリ大佐は立上つた。死人のやうな顏色で

『そんなことはない！』

と、亂暴に叫んだ。

『いや、さうです。』

から答へたベルチユリユス判事は椅子の肘に片方の腕を垂れて深々と掛けたまゝ、石のやうに冷靜に構えてゐた。快心のものに見える微かな微笑が口もとに動いてゐる。客の我れを忘れた樣子には凝つと目をつけてゐて、放さなかつたのである。

その、冷酷な視線に氣がつくと、アンリ大佐はいよ〳〵狽へたやうに、猛然として、

『そんなことがあつては……大變だ。』

と口走つた。

『大變？』

と判事は靜かに訊き返した。

『何がですか？』

『何がと云ふのか？　あんたは！　何がと云ふのか？』

大佐は、眞赤になつた。腕がわな〳〵慄へた。言葉も吃つてゐた。何のための、この激情か？　大佐自身も氣がつかなかつたくらゐであつた。

『國がだ！　我が國がだ！　佛蘭西の陸軍の名譽がだ。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かう叫んでゐる内に、大佐の兩眼から急に涙がこぼれた。その時の、拍子で出たのではない、大佐は眞實腹が立ち、眞實悲しんでゐたのである。ベルチユリユス判事がなほも見据ゑてゐる目の前で、涙はもう停らなくなつて顔をつたはつて流れてゐた。

『いかん、そんなことがあつてはならん。』

おろ〱した聲で、かう叫び續けるのだつた。

その眞劍な樣子を見てゐて、ベルチユリユス判事は、考へた。

（これは自白と見ることも出來る。すくなくとも俺れの云つたことを、一々承認したことにもなるのだ。……それから、この男は、自分が策のある悧口な人間だと信じてゐるが、實はそれだけ愚直な、氣の弱な人間なのだ）

そこで、それ以上の追究は、こゝで打切つて鋭鋒を引いた。このことが、この明敏な豫審判事ベルチユリユスの、後の失敗の原因となることになつた。サンテ監獄にゐるエステラージーと、サン・ラザール監獄にゐる妾のペエイと、まるで言ひ合せでもしたやうに次の日から急に態度を一變した。エステラージーは、何も知らないと强硬に主張する。妾は妾で、前の自白を急に飜して、妾は何も存じませんと云ふのである。——同時に、アンリ大佐は、事件に對して全く關係のないもの丶やうに急に冷淡な態度になつた。

これは、先手を打ちながら、ちよつと氣をゆるめた隙に出拔かれたのであつた。判事がそれに氣がついた時、戰爭が本職の敵はすつかり戰鬪準備を整へてゐたのだ。

六

元來ピカール大佐がベルチユリユス判事に依賴した僞電事件と云ふのは、大佐が情報局長の椅子から追はれて、チユニジイへ赴任した當時あつたことである。巴里を發信所として差出人に全然覺えのない電報を前後して二回大佐は受取つた。宛名には立派にピカール大佐の名前が掲げてあるが、電文の內容についても、まつたく大佐には理解の出來ないものであつた。

最初の電報は、十一月十一日附で、『半神を停らせる。事件重大。』と云ふので、差出人の名はスペランザである。

第二の分のは、『ジョルジユ速達を書きしこと知れた。』と云ふので、差出人の名はブランシユ（白）である。

その頃はまだピカール大佐も、自分の沒落を計る陰謀がよもや有らうとは信じてゐなかつた時なので、心當りもなく意味を判讀するにも苦しむ電報を受け取つて當惑しただけであつたが、この電報は巴里の發信局で寫しを取つて、後に大佐に賣國的行爲のあつた證據のやうに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

流傳されたものであつた。「半神」と云ふ暗號は、別に政府が某所から證據として押收した手紙の中にも使つてあつて、獨逸大使館のシユワルツコッペン少佐のことだと云ひ、「ブルウ」は無論のことピカール大佐の情報局在任中スパイが獨逸大使館から盗み出して來て大佐が問題にしたエステラージー少佐あての速達郵便のことなのである。この解釋に依れば、この電報をピカール大佐が受取つたと云ふのは、大佐が獨逸大使館と秘密の關係があること、、右の速達郵便がエステラージーの有罪の證據とはならないで、逆にピカール大佐がドレフユスを庇つてエステラージーに賣國奴の汚名を被せようと計つたとも見られるのである。──實際に、政府は、ピカール大佐に賣國的行爲がありとの陋劣な小細工をしたと見て、逆にエステラージーを庇つて來たのである。

そこで、エステラージーの妾の一口自白したとほり、この電報がマルグリート・ペエイの書いたものならば、順逆は當然に覆される──軍部に取つては容易ならぬことゝなるのだ。

ベルチユリユー判事は骨つぽい人物である。軍部の壓迫があると知ると、いよ／＼敢然として、その證據を突止めようと努力した。判事は、エステラージーと妾を重罪裁判所へ立たせるばかりにした。

その時になつて、まつたく意外にも移審局がこれに反對を聲明したので、判事は愕然とした。檢察官は證據不充分としてエステラージーと妾とを、免訴にしたのである。裁判所の規定から云へばベルチユリユスもこれに服從しなければならない。ベルチユリユスは激怒したが、重ね重ね手遲れであつた。新しい證據をつかむより他にエステラージーを抑えることは出來なくなつてゐたのだ。

不死身のエステラージーは、また命を拾つて得意だつたのである。

七

クレマンソウは、ゾラの名を使つて『十月には歸國する』と天下に挨拶してくれたのだが、世間の樣子では、どうやら、いつ歸國出來ることに成るか皆目見當がつかないのだつた。本國ではゾラが彈劾した筆蹟鑑定人三人が一緒になつてゾラを訴へて出て、三萬法の賠償を請求して成功した。被告がゐないのだからゾラの家財を競賣にしてその大金を拂ふことになつた。

ゾラの仲間は、如何にもこれを氣の毒に思つて、本屋のシヤルパンチエを口說いて、競賣の日に一緒に出掛けて行つた。物好きが多いし、ナナの作者の持物を何か手に入れようとする愛讀者も大勢で、家の中はごつた返してゐた。

競賣はゾラの仕事机からであつた。開始と同時にシヤルパンチエが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あつさりと辭を掛けた。

『三萬法！』

たつた、机が一つであつた。馬鹿になつたやうに群集があきれて見てゐる前で、シャル パンチエは實際に三萬法拂つた。間違ひではなかつたのである。ゾラの友人たちは皆面てを輝かしてゐる。ゾラ夫人は涙ぐむでゐる。賠償は、親切なシャル パンチエの財布をひどくいためただけで、簡單に濟んだ。この上もなく世間が息苦しく住みにくく感ぜられてゐた時に當つて、ちよつとだけでも微風の爽かさを味はせてくれた出來事であつた。

英國にゐるゾラは、飜譯者のヴイゼッテリやウェアハム辯護士の骨折りで、オートランド・チエーズのペンに小さい家を一軒借りることが出來た。友人たちは小說を書いてゐろと云ふのだ。既にデムーランが巴里から資料を運んで來てくれてゐる。新しい小說は、計畫の新福音書の第一卷となるもので、題も『繁殖』ときまつてゐた。

ヴイゼッテイ夫人が女中を世話してくれた。夫人の娘で巴里で生れたヴアイオレットが、ゾラが英語の出來ないので一緒に住んで通辯になつてくれる。自轉車も一臺買つた。ゾラが散步の時間に附近の田舍道を乘つて步くのである。それから寫眞器――これはデムーランが巴里から持つて來てくれたものだ。

表札は移轉毎に變つた。ゾラは初めパスカルと云つてゐたが、こゝへ來てからボオシヤンと名乘り、後にサマーフヰールドへ移つてから、ロオジエと名乘つた。ゾラがゾラであつてはならないのが、自分でも不思議に思はれるのである。

飜譯家のヴイゼッテリはよく世話をしてくれた。ゾラはこのひとの書棚から本國で出た小說を貸して貰つて讀むことが出來た。また佛蘭西人用の讀本を買つて英語の勉强を初めてゐた。佛蘭西の新聞は遲れて來るので、ドレフュス事件の進展を早く知るにのはどうしてもこの國の新聞を讀む必要があつたからである。

八月の三十一日になつて、巴里から來る通信の受附をしてゐたヴイゼッテリが一通の電報を持つて來た。

『戰勝の仕度せよ。』

電文はかうであつた。

その日の新聞にはまだ何も書いてないのだつた。ゾラは、恐ろしく昂奮した。

八

佛蘭西に殘つてゐたドレフュスの味方は辻々に掲示された陸相カヴエイニヤクの演說を正面の敵と見て苦戰を續けてゐた。倦きずに毎日

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のやうに、痛烈な攻撃を加へてゐた。

官吏や公職に在る者でこの不謹愼な態度に出た者は政府も簡單に處罰して鎭壓した。しかし左翼の新聞の論鋒だけは、容易に彈壓出來なかつたのである。國粹主義者の間では武力で壓迫しろと主張する者さへ出てゐた。七月十九日にアルカイユの學校でジヤモン元帥の司會で行はれた褒狀授與式の席上で、チドンと云ふ坊さまが、公然と演說して、この手段を主張した。「猶太人」の攻擊の的になつてゐたカヴェイニヤック陸相もこの氣運に動かされて國の治安を害する者として猶太人の同盟を訴追する案を閣議に提出した。これが八月の十一日のことであつた。

この亂暴な提案を、流石にブリツソン首相は容れなかつた。カヴェイニヤックは、そこで、非難の的にされてゐる自分の仕事を、證據を吟味して更に確定的なものにしようと思ひ立つた。新しく命令を出してこれまでの證據書類を再調査させることにした。



（ラボリー辯護士）

この調査は、ロオジエ將軍を指揮者として進められることになつた。

八月の十三日の夜のことであつた。書類を吟味してゐた將校の中にキニエ大尉と云ふ人が、書類の或るものに不審な點を見出して胸を轟かせた。これは情報局長アンリ大佐が提出した證據書類で、カヴェイニヤックが議會の演說で、ドレフユスの軍法會議の後に發見せられた彼の有罪の絕對的證據になるものだとして擧げたものである。キニエ大尉が變だと思つたのは、書類の一枚の紙の碁盤目の罫が紙の中央の部分で上下にあるものと、色が變つてゐることであつた。もとの書類に手を入れた痕跡が歷然としてゐるのである。

翌日キニエ大尉はロオジエ將軍とカヴェイニヤック陸相に、これを報告した。二人の上官も驚愕しながら、親しく調べて見て大尉の認定を正確だと認めるよりほかはなかつた。陸相は幾たびも繰返してその箇所を見詰め、暫く口もきけないのだつた。全國に掲示までもさせた彼の名演說も、この書類を根據としてゐたものなのだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軍部の側から最終的な證據として、廻して來たのをその儘間違ひないと見てゐたのである。

カヴエイニヤックは、蒼ざめた顔をあげて、このことを絶對に誰れにも漏らさぬやうにと、二人を戒めた。

丁度その時は、夏中休暇でアンリ大佐は巴里にゐなかつた。

カヴエイニヤックはゴンス將軍とボアデッフル將軍だけに、このことを打明けただけで、ロオジエ將軍には調査を更に嚴密に行ふように命令した。

八月三十日になつてアンリ大佐は休暇を終つて巴里へ戻つて來た。すぐに、陸相の部屋へ召喚されて出頭した。そこには、ゴンス、ボアデッフルの二人の將軍が立會ひ、ロオジエ將軍がペンを握つてゐた、陸軍大臣ばかりでなく堂々たる將星ばかりゐる席へ出て朴訥なアンリ大佐は人形のやうに硬く不動の姿勢を取つて立つてゐた。

訊問はカヴエイニヤック自身が口をひらいて行つた。一件の書類が突附けられた。

アンリ大佐は忽ち紙のやうな顔色になつた。しかし僞造の事實を斷乎として否認した。しかしカヴエイニヤックが嚴格に問ひ詰めると、段々答辯が支離滅裂になつて來て、遂に「一部分自分が手を入れた」と泥を吐いた。そして、「これは自分が誠心誠意國を憂ふるのあまりしたことだ」と、熱心に附加へた。その時もなほ、大佐は上官たちが自分の奉公の心持を掬んでくれること、信じてゐるらしかつた。しかし、陸相も二人の將軍も、氷のやうに冷たい沈默を守つてゐる。三人ながら、何ともたとへやうのない暗澹たる表情に變つて、口もきけないでゐるのだつた。

ロオジエ將軍だけが大佐の傍に殘つて、陸相はボアデッフル將軍を連れて、次の間へ入つて行つた。

やがて、大佐はそこからモン・ヴアレリアンの監獄へ護送された。

九

ゾラのところへ來た電報はその翌日卅一日のものだし、アンリ大佐の收監が世間に傳へられて、すぐに同志の者が打電したものであつた。

しかし、大佐の收監を見ただけでもう大丈夫味方の勝利と思ひ込んだのは、早合點過ぎた。それは、この三十一日の晩が了つて、次の日の朝になつて見ると、また新しく、それもまつたく思掛けない事件が突發してゐたからである。

アンリ大佐は、この卅日の晩に、モン・ヴアリアンの監獄に着くと、一般の囚人と同樣に規定に從つて身體檢査を受け持物を除すとこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ろなく取上げられてから獨房へ收容された。

その晩大佐が何を考へて明したか無論わかつてゐない。しかし、翌朝になると、許可を得てゴンス將軍と妻に宛て手紙を書いて屆けて貰つた。將軍に宛てた手紙は、至急に面會に來てくれと哀願したものである。家に殘つてゐる妻に宛てたのは、自分が罪を犯した覺えのないこと、僞造と云ふのも速記の「寫し」を直しただけのことで、「誰れのためにそんなことをしたかお前はよくわかつてゐてくれるだらう」と書いてあつた。

これが八月の最後の日のことである。

次の朝になると、モン・ヴアレリアン監獄では騷ぎになつてゐた。夜の中にアンリ大佐が剃刀で喉を切つて自害してゐたのがわかつたからである。

何のための自殺か？——それは死人に口なしでわかりやうがない。アンリ大佐は、自分の犯した罪については、端で見るほど重大に考へてゐなかつたやうである。この男の、あまりに軍人的な、奉公の念も篤く自己犧牲の精神も強かつた性格から想像すると、口癖だつた「お國の爲」に自分が責任の全部を引受けて、これも一本氣の軍人らしい處決の方法に出たもの〻やうにも思はれるのである。

が、それはどちらでもい〻としても、大佐が一命を絶つのに用ひた剃刀が、どうして大佐の手に入つたかと云ふことが重要な問題である。收監の時に隱して持つて入つたのだと云ふ推定は、泥棒の常習犯が破獄に用ひるのに釘一本隱してゐても必ず見付け出して取上げて終ふくらゐ經驗のある專門家が身體檢査を行つて、持物をそつくり取上げる手續を果したわけなのだから、斷じて不可能のことなのである。役所から直ぐ監獄へ移された大佐である。休暇を終つて役所へ出るのに剃刀を持つて行くやうなことはまづないのである。それでは、この鋭利な刃物は、どこからアンリ大佐の手に渡つたのか？

恐しい疑問である。何も見えない闇なのである。一切が嚴重な祕密に閉ざされてゐるのである。

誰れが、この奇怪な謎を解く鍵を握つてゐるのか？

それも、不明である。

わかつてゐるのは、軍人らしい軍人であつたアンリ大佐が、この思ひ切つた行動に依つて、折角あらはれかけてゐたドレフユス事件の祕密を墓場の下へ二度と出ないように深く埋めて終つたと云ふことである。同時にこのことが、或る一部の人々には、萎れかけてゐた草が蘇つたほどに大きな安心を與へると云ふことであつた。アンリ大佐の罪を知りドレフユスが無罪だつたことを感じたのは、政府ではカヴエイニヤック陸相のほかに片手で算へられるくらゐの人數である。この人々が、この先どんな態度を採るか？これが見ものである。（續く）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歐洲ジャアナリズム漫談

木村毅

(一)

ジャアナリズムと云ふものは、アラビヤンナイトの漁夫の壺から入道雲よろしくの惡魔が濛々漠々として飛出したやうに、荳は珈琲茶碗の中からあの芳ばしい湯氣に乘つて、搖ぎ出たものである。もし兩者の間の差異を言ふなら、惡魔は漁夫の機轉で又元の壺に封じこめられたけれど、ジャアナリズムはとてももう二度と茶碗に還ることは不可能な程、膨脹して了つた。

元來珈琲はクロンウエル時代にトルコの商人によつて初めてロンドンへ船載せられ、極めて短日月の間に恐ろしいスピードで擴まつて、一七一五年までに二千軒からのカフエがロンドンに出來てゐたと云ふから凄まじい。當時のロンドン人はそこを唯一の慰安場として、寄り集つては世間話を聞いたり、雜談に打ち興じたりしたものである。又、あの當時暫く議會が閉鎖されてゐた事があり、さうでなくても慷慨鬱屈の氣を負ふ政客は、カフエへ來て熱を吹いては、同座の客をして傾聽する所あらしめた。

つまり何の事はないカフエは、ニュースの媒介所であり、政見の發表所だつたわけで、即ち今日の新聞雜誌の具象的に立體化せられたものに外ならなかつた。隨つてその中から後のジャアナリズムの最も有力な母胎と認知していゝスティールの『タトラア』が創刊せられた事は、夏の芥棄場に西瓜の芽が生え出た程自然な事だつたのである。當時のアディソンやスティールの文には必ずその種子を開出したカフエの名が附記してあつて、アディソンがバットン軒の常得意であつた事まで分つてゐる。又グレシャンとかレイン・ボウなどと云ふカフエの在つたことはマコーレイの英國史第三章が吾々に語る。

新聞の起原を尋ねると遠くローマの Acta Diurna まで遡るさうである。此れは日毎の出來事、官吏の任免黜陟などを記した板を公共の場所に揭げたので、早く言へば村役場の揭示場のやうなものだつた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のである。唯それ、これは新聞の起原ではあつたらう。併しジヤアナリズムの起原ではない。

ジユールナルがイズムとしての廣い傳播性を持つに到つたのはやつぱり十八世紀の英國が先頭で、ブルジヨアの勃興と離れられぬ關係をもつ。つまり時勢の產物だから、早さから論ずるなら他にいろ〳〵な名の刊行物もあるが、タトラアは何と言つてもその中の最も重要な一つである。

（二）

だが私がこゝに漫談しようとするのは、ジヤアナリズムの遠い昔からの歷史ではない。最近半世紀足らずの間に慌しく推移したニユウ・ジヤアナリズムからモダン・ジヤアナリズムへの過程と特相とだ。それをたま〳〵首章に於てカフエと此れとの關係に言及したのは、因緣は遂に爭はれぬ、ジヤアナリズムはカフエのやうなものだと言ひ切つては了へぬにしても、何やら兩者の間に一脈の似通ひがあるやうに思はれるからである。

さて、New Journalism の文字は日本で亂用されてゐるやうな意味の漠然たるものでなく、明確な由來をもつてゐる。名付親は文明批評家として名高いマシユー・アーノルドで、一八八七年の『ナインテイーンス・センチユリ』に寄せた論文に最初にこの語を使用した。何しろアーノルドの事だ、無意味な新造語を流布して獨りで恐悅がつてゐるのとは譯が違ふ。そこには確かに新兆候として指摘さるべき重大なる變化が生じつゝあつた。

此の變化は種々な言葉で表現せられ得る。たとへば、從來のジヤアナリズムは一定範圍に制限せられた讀者しか持つてゐなくて、それはつまり其の特定社會層のインデキスにしか過ぎなかつたが、ニユー・ジヤアナリズムは、讀者として『國民』をもつに到つた。（H. Herd's Making of Modern Journalism）

又、ニユー・ジヤアナリズムには二つの明白な動機がある。曰く利潤慾、曰く權力慾。時としてはその一つのみを目的とし、時としては兩者を併せて目的とする。（L. P.'s The Capitalist Press; who Owns it and why?）此れはつまり從來のジヤアナリズムに多分の、プライベート・ハンドになる趣味性、嗜好性、或ひは或る種の啓蒙性の含蓄せられてゐたのに對比して言はれたのだと受取るべきである。

又は舊ジヤアナリズムをブルジヨア擡頭の產物とし、ニユー・ジヤアナリズムを產業革命の結果と言つてもいゝし、手刷と輪轉機の差異として約略すれば一層簡明である。

いづれにしてもニユー・ジヤアナリズムは、十九世紀の末葉に從來の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ジヤアナリズムが行き詰りに面して足搔きの付かなくなつた所へ、勃然として起つたものである。

（三）

その開拓の任に當つた兩巨人は井リヤム・トマス・ステッドと、ジヨージ・ニューンズである。前者は主として權勢慾の、後者は主として利潤慾の型を創始して、ニュウ・ジヤアナリズムの基礎を置いた。又、前者がより多く新聞の、後者がより多く雜誌の、發達に貢獻してゐるのも面白い對象である。而もこの兩巨頭が同じく牧師の子で、そしてシルコートの宗教學校で同窓だつたに到つては、益々奇緣と言はねばならぬ。

兩者は決して競敵にはならなかつた。相互に相手を尊敬し合つて、レギウ・オブ・レギウの創刊の際は提携して仕事に當つた事さへある。而も兩者の間に橫はる根本的懸隔は如何ともし難く、袂を分つ際に、ニューンズはステッドに向つてかう言つた。

『ジヤアナリズムには國家的大事を指導したり、内閣を作つたり壞したり、政府を轉覆したり、國防を議したりする莊嚴なのがある。つまり君のがそれだ。併し別に又、そんな大きな野心は一つも持たず、營々として働いて只何かの樂しみと慰安とを求めてゐる大衆に、罪のない健康な輕い滿足を與へる謙遜な任務を持つのがある。それが僕のだ。』

ニューンズは子供の折小間物屋に奉公して、とても金勘定が器用で、人の數倍早かつたと言ふから、その特性をそつくり其の儘後年のジヤアナリズム建設に適用したのだとも言へよう。

彼が、安くて面白い刊行物の無いのに不滿をもつてゐた間は長かつたが、三十になるまで、どうもはつきりとは考へが纏まらなかつた。所が或る日の事である。仕事から歸つて新聞を讀んでゐたが、例によつて退屈な記事ばかり羅列されてゐるのにウンザリした。がふと彼は紙面の一隅の記事に目を留めて、魅せられたやうに數分間默讀した。それはやかましい政治論文でもなく、氣取つたエッセイでも無く、只汽車線路から間一髮の危機に二人の子供が救ひ出されたと云ふだけのものに過ぎなかつた。併し此れはジヤアナリズムのためには、風のないのに枝から落ちた一つの林檎であつた。彼は妻を顧みて言つた。

『これだ〱。俺が Tit-Bits（一口料理）と言ふのは。——どうして、誰か、こんなチット・ビッツばかり集めた定期刊行物を作らんのだらう？』

成案は一夜にしてなり、傳聞や書物や新聞雜誌を漁つて材料を集めるには數日を費し、最後に資金を作ることには一番の骨を折つて、愈々チット・ビッツの創刊號を出したのは一八八一年十月三十日の事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

で、發行地がマンチエスタアだつたのだから興味が深い。

そして初號は數千部が瞬く間に賣り切れると云ふ當時としては大成功を收めたが、皮肉な事に讀者の中には標題から察して、何か食味通の事でも書いてあるのだらうと思つて、買つた連中が少なからずあつた。さうした誤解からこの雜誌はその標題のために前途の危まれた事もあつたが、ニユーンズは、此れを手にした程の者なら又買ふであらうし、人にも吹聽するであらうと云ふ確信を持つてゐた。そしてこの確信に錯誤は無かつた。

後に彼は社をロンドンに移し、讀者には皆、鐵道事故に會つた者に百磅を贈る自由保險が掛けられてゐる旨を發表した所、一擧にして七十萬の讀者をかち得た。この自由保險の方法は現在まだ、世界一の賣行を有するデエリイ・メエル紙を筆頭に歐洲諸國の多くの新聞雜誌に踏襲されてゐるが、今や各社は巨額な負擔に堪へられなくなつて、内實は荷厄介にしてゐると云ふ話もある。併し勞働黨の機關誌『デエリイ・ヘラルド』が資本家會社に身賣りをして、今年の三月面目を一新し、從來の階級新聞からポピユラア・ペエパアに看板を塗り換へて出現した時には、やつぱり此の方法を眞似てゐる。後ればせながら今に日本にも模倣者が出來て來ないに限らない。

寶さがしも又彼によつて考案せられたので、五百片の金貨を密封した瓶を豫め土中に埋めおき、その祕密を解く鍵は誌上に連載さるる續き物の中に現はれて來ると云ふ趣好だから、そのセンセイションたるや大したものであつた。最初の寶はバーミンガムの人間が、ハツトフイールドと云ふ所に埋められてゐるのを發見した。第二の寶、第三の寶と次ぎ〳〵に異つた地方に埋伏せられたのは言ふまでもない。

(四)

その頃ニユーンズは舊友ステッドから共同事業計畫の申込を受けた。此れには、後に自分の名を冠せる通俗雜誌を起したピアソンも支配人として加はつて、つまり英國ジヤアナリズム界の雄傑の三頭政治の下に『評論の評論』が創刊され、發行即日六萬部を賣切ると云ふ盛況を呈した。

併し初め屢次書いた通り二人の性癖嗜好に根本的に會はない所があるので、ニユーンズは自分の株だけを買ひ取つて貰ひ、充分了解の上で分離した。

此の頃から彼は一つ通俗な月刊雜誌を出したいと思つてゐたが、たまたま太西洋を渡つて來るアメリカ雜誌の二三から、刺戟と暗示とを受けた。それに、殆んど凡ゆる開きに繪があつて讀者の眼を迎へると云ふ事を一つの重要な特色として出來上つたのが、英國では勿論第一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の賣行を示し、恐らくアメリカ以外には販賣部數で歐洲無敵なる『ストランド』である。これ亦最初から異常の歡迎を博したが、數號にしてシヤロック・ホームズが連載され初め、その前例を絶した嶄新な中心英雄は、全讀書界の注意をストランド誌に集中せしめた。

今のコナン・ドイルにどれ丈けの魅力が未だ殘つてゐるかは實に疑問である。心靈術に凝り出してからの彼の作は一向面白くなく、自分も人氣の失墜に氣づいて聊か方向變換を試みたので少しは一時より宜くなつたが、併し前年アフリカから歸つて以來健康が面白くなく、強弩の末の悲哀は免れない、而もストランドが彼を待つに丁重なのは、創刊當時の恩を思ふて、死馬の骨を保存すると云ふやうな意味ででもあらうか。(七月八日朝遂に彼の死報に接す──後記──)

ストランドは吾々の眼から見ると何となく編輯法が重苦しくて冴えない感じを與へる。併し作品に一粒選りの名篇を揃へやうとしてゐる苦心は確かで、外の英國の諸雜誌は大抵フリーランス(自由投書)のために解放されてゐるのに、この誌のみは城壁を設けて寄せ付けない。この二三年、アメリカ資本の供給を受け、フランス式の輕快な編輯を試みて大いにモダン・ロンドン子の愛好を博しつゝあるナッシユ、鮮麗華美な週刊ピカデリーなどといふ雜誌が現はれ、外形の上ではストランドを野暮臭いものにして見せてゐるが、さて内容の點になると未だ〳〵やつぱり歯が立たぬらしい。數年前森下雨村氏に大衆文學はどの外國雜誌にいゝのが載るかと聞いたら、何を言ふにも金があるから、素晴らしい作品と云ふことになると英國では先づストランドだ』との返事を得たが、それが動かない所のやうである。今こそ樣式が大分違つて來たが、雄辯會が富士やキング系統の雜誌の先驅として『現代』を發行した時、最初の數號はストランドを眞似やうとしてゐるのでは無いかとの感じを一寸抱いた記憶がある。

(五)

ステッドの新聞記者としての生涯は少年の時『ノーサン・エコオ』なる田舍新聞に寄稿したのに始まる。それは彼に稿料も拂へない程貧乏な社であつたが、併し彼はその記者たる頃から譯を飛ばして世界の帝王や大政治家の返事を得て所持してゐた。後に彼が會見の天才と言はれた特色は早くこの頃から現れてゐた。

一八八〇年彼はベル・メル・ガゼットの持主に見出されて、その副主筆となつた。その時の主筆こそはジョン・モーリイ、即ち德富蘇峰氏の老鋭な筆に依つて屢々その美しき肖像畫の傳へられてゐる毛禮卿であつた。向う見ずで、ガムシヤラで、無鐵砲に熱心な北方の蠻民と、自由黨の生粹とも云ふべき温厚な紳士とは大凡物の兩極であつた。上は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

神様への信心から、下は編輯事務に到るまで、二人は事々に反對な意見を持つてゐた」とは、ステッドの述懷である。それで居ながら二人は決して爭はず、よく協調して行つた。新聞が時の政界に重んぜられた事、モーリイ、ステッド時代のガゼットに如くは無いと言はれる。

八三年からステッドが代つて編輯を主宰する事になり、それからと云ふものは充分に持前を發揮した。ペンは適當な持手さへ得れば天下を衝動するに足るとの信念は着々として實現されて來た。彼はゴルドン將軍の蠻地遠征に對して劇的な訴へを國民に訴へた。『海軍眞相』の論文で一世を動かして、英國海防力甦生の起動力となつた。一八九九年の萬國平和會議の際は、獨帝カイゼル、白王レオポルド、羅馬法王などに向つては面會の素志を果し得なかつたけれど、露帝ニコライ二世には謁見して會議についての論談を交はし、愈々會議の初まるやそれに出席して、露帝宛の通信の形式で、之を報導批判した。そして信念に頑固に執着する事と來たら、まるで物に憑かれたやうで、その際には天下を敵とする事をも辭しない。ボア戰爭の時は之に反對して、國民の熱狂に三斗の冷水を浴びせたから、全國憎惡の標的となり、日露戰爭の際は、英國全體の風潮は親日的であつたのに、彼は敢然それに反抗して親露説を唱導した。

面白いのは當時英國に留學してゐた島村抱月氏の通信に此の間の消息の見える事で、曰く――

『政客で有名な露國黨は「評論の評論」主筆のステッドにて……今回も露帝に謁見たどとして平和會議とか英皇の干渉とか色々目論見をやつてゐた。……南亞戰爭の時はツランスヴールに同感してプロ・ボア即ちボア贔屓の稱を得、今回は露國に同感してプロ・ルシアンの稱を得た。而して今や更に西藏に同感するプロ・ラマといふ名が生ぜんとしてゐる。……保守黨側の固い家などでは「如何なる場合にも自國の敵に組せよ」といふのが此の派の人の信條であらうと、苦い顏をする。』

ステッドがつむじ曲りで、天下を敵として辭せざる意氣をこの最後の一句程、有効に表明したものは無い。

（六）

倂しステッドが生涯の最大事件と稱して誇つてゐたのは "The Maiden Tribute of Modern Babylon"（現代バビロンの處女生贄事件）で、事實一八八五年の刑法改正案は、この筆戰の結果であつたのだ。

彼は生來、貧苦の者への同情心は人一倍深く、殊に白人奴隷賣買は文明の汚濁として顰蹙してゐた。然るに議會が、當時十三才以上と云ふ事になつてゐた年齡制限をもつと引上ぐる法案を作るに全く冷淡なのを知るや、堪忍袋の緒を切らして、その醜怪なる實狀を白日の下に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

暴露してやらうと決心した。彼はロンドンの裏面に行はれてゐる罪惡を丹念に調べ上げた。併しそれを報告しただけでは有効でない、彼は自ら奴隷賣買從業者の一人となり、法網を潜つて少女を誘拐する事が如何に容易であるかを天下に公示する計畫を立てた。勿論、實際にさうした罪惡を行つたのではなく、法案を通過せしめるに必要な劇藥療法としてさうした對策を選んだのだ。併し彼はそれに向つて自分が幾何の代價を拂はせらるべきかは豫め知つてゐたので、前以て事の實狀はカンタベリの大僧正テンプルと、大僧正マンニングとだけには打ちあけておいた。

一八八五年七月六日、月曜日の朝である。ペル・メル・ガゼツトの讀者は『現代バビロンの處女の生贄』なる煽動的な表題で、幾欄もがその記事に埋められてゐるのを發見した。

『茲に報道せんとする吾等が秘密探訪の記事は、全世界を衝撃せしむべき怪事實の暴露にして、諸君は恐怖のあまり戰慄を禁じ得ざるべし』

これが此の筆戰の書き出しであつた。果してその午後までに大ロンドンは到る所此の噂に埋められた。

或る者は報導せられた事實よりも、報導のしかたが仰々しくて鼻につくと言つた。同業者仲間はみんな惡どすぎると非難した。彼等はステツドが名聲も世評も捨てて掛つてゐる心事を知らなかつたのだ。彼は大英國の法律が少女の誘拐さるゝを防ぐに足りない不備を、一身を犠牲にして世に訴へたのだ。

一體、英國人と云ふ奴はをかしな人種で、他の一切の事にはこの上ない精密な調査と、正確な統計を作成してゐるのに、猥褻に就いては全くの白紙の準備しか無い。私はこの方面の事實も少し調べてみたいと思つて色々手を盡したが、信憑すべき印刷物は絶無に近く、たゞたま權威的な研究書に載せられてゐる統計は凡てフランスの刊物の拔き寫しである。先頃、ソヴエツトの一婦人記者は或る英國の新聞に寄稿して、性の事が、ロシヤに於ては必然として、フランスに於ては遊戯として、イギリスに於ては秘密として取扱はれてゐると論じてゐた。

つまり今日でさへさうして秘密とする事を、禮儀とも嗜みとも思つてゐる事實なのに、ヴクトリヤ女皇陛下の治下で、ステツドは毎日の新聞紙上に嘔吐の如く注ぎかけたのだから堪らない。讀者から誹謗の投書が毎朝編輯机上に山をなした。ある有名な書籍會社はペルメルとの取引中止を宣明までするに到つた。この資本家は、この取引の停止に依つて、まさか英國に白人奴隷賣買が無くなるものと思ふ程非常識ではなかつたらう。だが、この停止に依つて自分の會社の品位は保てる、不幸な少女の事などはどうでもよい、自分を汚さぬ事が肝腎だと

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

思ふ程エゴイスチツクではなかつたのである。

月曜日に火蓋を切つた筆戰は、遂に金曜に於て、その改正法案第二讀會通過にまで漕ぎ付けさせた。併しステッドは、自分の擧げ得た種子を悉く暴露するまでペンの緊張をゆるめなかつた。彼は各所の演說會にも出て、文字通り席の暖まる暇のない忙しさにゐた。

論陣三ケ月にして遂に彼の努力は報いられ、十月になつて改正法案は貴族院をも通過した。併しそれと共に餘りの大膽さから生じた不注意のために償をしなければならなかつた。彼は遂に訴へられたのだ。罪は少女誘拐。刑は禁獄三ケ月。

マシユウ・アーノルドがニユージヤアナリズムなる新造語を冠して論じたのは此の時である。

『それは力、目新らしさ、變化、煽動性、同情、義侠に溢れてゐる。たゞ一つの缺點は輕率な事である。それは投げつける斷定を眞實ならしめるために、餘りに向う見ずである。たとへそれが誤つてゐると知つても、事實をも手段をも正誤しない。事實でさへあれば、それが何であらうと構はぬと云ふ風に見える。」

小說ではゾラが、繪畫ではヴイエルツがやつた事を、ステッドはジヤアナリズムの上に實現した。

年齡四十才にして『評論の評論』を創刊、即日六萬部を賣切つた事は前にも書いた。別に『デエリイ・ペエパア』なる日刊を起したが、これのみは失敗であつた。尤もこの新聞で彼の計畫した歷史小說は聊か注目するに足る、即ち彼はJournalist-Novelist-又はNovelist-Journalist と云ふべきものの出現を希望してゐるのである。これに就いては他日別に論ずる機會があらう。

一九一二年彼がタイタニツクの沈沒と運命を共にしたのは世の知る通りである。

(七)

アーノルドの用ゐたニユー・ジヤアナリズムの語が、時勢と共に錆びていつの間にかモダン・ジヤアナリズムの語が頻用されるに到るやうになつたのは、單なる用語の變化のみでなく、內容にもそれに應じて大いに加はる所があつた結果である。即ち婦人への着目と、繪畫的要素の取入れが此れである。

婦人欄の設置、專門的な婦人向き新聞の創刊は、フランスが英國に一歩を先んじた。一體近代ジヤアナリズムの諸要素はみんな英國で培養されたやうに言ふお國自慢の英人だが、これぱかりは先づフランスで大成功をかち得たものの移入である事を認めてゐる。

パリで私は或る女學校の女教師に紹介された時、フランスではなぜ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人參政權運動が成功しないのかと聞いてみた。

尤も私はそんな事に別に興味を持つてゐるわけでは無かつたが、話題が無いものだから、やつと此れだけを多少の苦心の後に考へ出したのであつた。答は聞かなくても分つてゐる。フランス婦人の間にはカトリツクの影響が未だ深い、隨つて政教分離に腐心してゐる政治家はそれを恐れて參政權を與へないのだと云ふ返答でも與へられるだらうと私は豫期してゐた。然るに彼女の答は案外であつた。

『フランスの男は女をよく知つてゐる。女の要求は男の議員を通じて、殘りなくでなくとするも、少くとも女議員を通じてと同等に、或はそれ以上に、議會に表明されてゐる。』

そして私が腑に落ちないやうな顔をしてゐると、彼女は又附け加へて言つた。

『その證據には小說を見るとよい。それはフランスの男が女の心理を知り盡してゐる何よりよき證據である。又新聞雜誌の婦人のページを見るがよい。たとへ女の手が加はつたとて、これ以上女の氣に入るやうには出來まい。』

私は此れがどの程度まで事實を穿つたものであるかを知らぬが、かかる事を口にする婦人がある國のジヤアナリズムだから、早くから婦人要求に着目もし、又それが成功も遂げたのだと思ふ

英國ではデエリイ・メエルが率先して婦人欄を設け、パリの最新流行などを紹介して大いに婦人讀者を獲得したので、それから思ひ付いてデエリイ・ミラアなる專ら婦人のための新聞が創刊された。一九〇三年九月二日發行、價は一ペンニイであつた。

初日には二十六萬五千二百十七部を賣りつくして大成功であつた。併し二日目には十五萬に激減し、爾後段々に紙數がおちて一週間目にはとう〳〵二萬五千になつた。

その間編輯法には種々な工夫が凝らされた。女は小說を好むからと云ふので續き物一つと、短篇一つと、毎日都合二つを併載する方法も取つてみた。それがためには多くの老練記者や作家も迎へられた。が、やつぱり讀者は付かないので、後には、女はどんなに甘言で誘ふても新聞はなか〳〵買はないものだ、隨つて婦人向きのポピユラア・ペエパアと云ふものは企業として成立し得ないとまで思はれるに到つた。九月創刊してその年末まで四ヶ月間の損害は十萬磅、即ち日本の金にして百萬圓、日割にして八萬何千圓の損害だつたのだから大きい。

それ迄この新聞は繪と云ふと、殆んど流行欄の衣裳や家具の圖案にしか用ゐてゐなかつたが、翌一九〇四年の正月號からそれを少しく殖やしてみた。所が讀者が殖えてくる徵候が見える。繪を増すに隨れ、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

讀者も増加する樣子なのでその一月二十八日から思ひ切つて體裁を換へ、挿繪本位の新聞にして値段は半ペニイに下げた。すると三週間の後には十二萬に迄讀者を恢復する事が出來たので、その二月半ばに寫眞を一頁加へ、一週間後これを二頁に增し、その年の五月には新機械を据ゑ付けて體裁も今の如きものに換へ、寫眞本位の新聞として了つた。私が渡英してゐた一九二八年頃は十四萬の賣行だと云ふ事であつたから、それ自身としては未だ大した成功ではない。併し二萬臺に落ちたものが十四萬臺に恢復したのも寫眞のお陰であり、同誌が姉妹誌として一九一五年に創刊したサンデエ・ピクトリヤルは一擧にして百萬部以上を賣り捌いた。普通新聞も益々繪を多くして行く傾向があり、エンサイクロペデイヤにまで寫眞本位の"I See them all"が發行されつゝある。

それにフランスには新聞にこそデエリイ・ミラアの如く寫眞本位のものが無いが、エキセルシヨルは繪が多いので一般に歡ばれ、週刊物に到つてはIllustrationが非常に多くて質もよく、『リ・リユストラシオン』の如きは國民の代表的刊行物の一つで、殊にそのクリスマス號や劇附錄號が如何に素晴らしいかは手にした事のあるものの等しく知る所であらう。

つまり近代ジヤアナリズムの一面的特色は、單に面白くあるのみでは足りないので、又面白く見えねばならぬ。それには標題の附け方、文字の組み方なども影響する事大きいが、主動力は繪である。殊に最も重要視せねばならぬ婦人讀者がデエリイ・ミラアで確實に試驗せられた如く、繪で付いて來ると云ふ事になると、ピクトリヤル・ジヤアナリズムの前途は愼重に考究を要するものがあるだらう。

（八）

私は、歐洲――と言つても主として英國のジヤアナリズムに際立つ特相を拾ひ出して、なるべくそれを歷史的に發生的に說明しようとしたのだが、その特相は元より之に盡きるのでは無い。只、紙筆の制限上、その重要なものから數へ上げた。

今年の前半期は英國新聞界に取つてはかなり多事な年で、少くともその注目者の看過を許さぬ三つの事件があつた。

第一はソヸエツトの經濟的援助の下に英國では最初の共產黨の日刊新聞『デエリイ・ウオカア』が一月一日から發行せられてゐる事である。

第二は新聞界の兩巨頭ビーヴアブルツク、ロザメエア提携の下に、二月廿日、結束の强固を誇つた保守黨の一角を破つて『統一帝國黨』なる政黨の生れた事である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三は勞働黨の機關誌であつた『デエリイ・ヘラルド』が、オーダムなる資本家會社に身賣りをして、この三月十八日から從來の階級新聞の特色を失ひ、ポピユラア・ペエパアとして現れた事である。

右の中第一と第三とは階級新聞の問題として一般ジヤアナリズムの埒外に於て取扱ふのを至當と思ふから、茲では第二のみを取上げる。

ビーヴアブルツクはデエリイ・エキス・プレツス、サンデエ・エキスプレツス、イーヴニング・スタンダードなどの所有者で、ロザメエアはデエリイ・メエル、イーヴニング・ニユース、サンデイ・デスパツチなどの所有者、二人とも新聞成金の百萬長者で、貴族の稱號の保持者である。されば日本で言ふと朝日毎日の村山本山の提携にも譬へらるべきものであつた。

だから統一帝國黨の出現は、他の何事よりも、新聞の力を以てすれば優に政黨を組織し得る、それも富士山の傳說の如く一夜にして作り得ると云ふ事の表明になつた。

吾等は本文で、その政綱を是非する必要はあるまい。たゞ世界の產業貿易の老舖である英國が漸次に顯著になつて行く衰滅の傾向を前にして、一擧に家運を挽回せんとする無理なやりくり算段に外ならなかつたと言ふので足りやう。だからアメリカの新聞の如きは『身勝手、而して不可能の政策』と評して、憤慨より寧ろ冷笑を以て之を迎へた(ニユーヨーク・ヘラルド)

それは極右も極右、共產黨の如きは『フリート街(新聞街)のファシスト黨』と銘を打つた程で、さすがに保守黨首領のボールドヰンでさへ、その政綱の實現を『とても出來ない相談だ』と一蹴した。(タイムズ)

然るに此の黨は豐富なる軍資金と強力なる宣傳機關を有するので、日に強大を致す兆がある所から、すておき難いと思つたのであらう、三月四日ロンドンのホテル・セシルに開かれた保守黨全國聯合會の席上では、ボルドウヰンも兜を脫いでほゞ全部その政綱を容れた演說をした。

するとビイヴアブルツクは虛心坦懷に新黨の旗を卷いたので、仰々しいスタートを切つた統一帝國黨なるものは、これで存在が消えたのかとさへ思はれた。保守黨がより極右への方向轉換をする前提にやつて見せた八百長角力であつたやうにも見えた。

然るに六月二十四日發のロンドン聯合電報によると、同市カクストン・ホールで保守黨首領を從前通りボールドウヰンにするか統一帝國黨を企てたビイヴアブルツクにすげ換へるかが討議され、ボールドウヰンが勝つには勝つた。併しその席上のボールドウヰンの演說が左の如くであつたと云ふに到つては、彼が如何に新聞王から痛め付けられ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たか想像に餘るではないか。曰く――

近代の進化事象中巨大なる成金的暴富の效力と新聞の操縦ほど奇怪なものはない、それは頭腦の平衡を破り、酒精の如き作用をなすものらしい、諸君はこれ等の事象をアメリカのハースト新聞我が國のロザミアビーヴアブルック新聞において見出す事が出來る、そこでは新聞事業の領域を離れて、指導暴慢及び脅喝の企圖すら行はれるのである。（東京日日新聞より轉載）

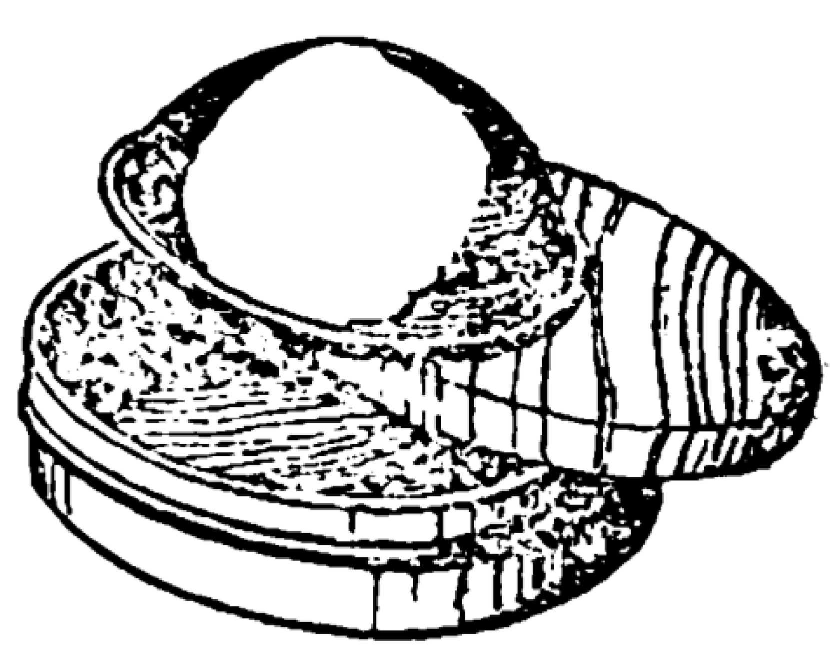
思ふにボールドウヰンの儘にならぬもの、トランプの札、失業問題、そして最後に新聞紙ででもあるだらうか。

尤もビイヴアブルックなどは未だおとなしい方で、反ソギエット宣傳のために英米獨佛の資本家が、或は新聞を買收し、或は怪文書を放ち、或は祕密文書なるものを僞造して、萬字巴となつて泥合戰をやつてゐる樣は、偉觀の限りであるが、それらをも果してジヤアナリズムなる範疇の中に一括し得るか否かに到つては一考を要するであらう。寧ろ國際資本家の陰謀戰と稱するを適當とする。それに五月號の本紙に寄稿した『クーチエポフ將軍の失踪事件』に於ては、同時に起つたソギエットの反宗教戰の誇大な宣傳とも絡ませて、私の力では及ぶ限り廣く全歐洲新聞界の動きの一面を傳へておいたから、重複をおそれ、茲には凡て割愛した。

産兒制限と器具に就て

勞働診療所長　東京市會議員　ドクトル　馬島僴

婦人の避姙用具は多種多樣であるが醫師の立場から見て多くは效果の疑はしいものである今迄澤山ある中でオランダのペツサリーが素人用として適當の物と認むるが値段が高く一般向きと致し難いそこでオランダ型に負けない素人が用ひて簡單で失敗のない物を日本で作り大衆の要望に應じたいと思ひ數年來小柳ゴム製作所へ御依賴して私の長い經驗から得た考案を加へ數十回に亘る試作過程を經て出來上つた物が本品である。之れなら醫師として社會に提供し得る自信があるゴムの質は勿論ワクの太さ彈力の度合、其取付方等主要部分は外國製品に優れる共斷じて劣るものでない事は私が證明し得る。敢て一般大衆へ御勸めする。



ドクトル馬島氏改良　ダッチペッサリー

このペツサリーは第五回産兒制限國際會議に於ける醫師部會に出席せられた多數によつて、支持せられたもので、且つ和蘭政府公認、産兒制限相談所では、本品を四十年來推奨使用して好成績を擧げて居ります。その他英國に於ける新マルサス聯盟も本品を推奨してゐます。耐久力一ケ年保証。

價定	
小形（未産婦用）	一圓五十錢
中形（經産婦用）	一圓五十錢
大形（同）	一圓五十錢
送料各	十二錢

勤勞階級大衆の爲、組合團體の御註文は特に割引規定があります。

東京神田連雀町　小柳ゴム製作所　電話神田局二六三八番　振替東京六五一三八番

無代進呈、馬島先生著避姙用器具に就て小册子郵券二錢封入申込あれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

文藝時評

大森義太郎

一

『新藝術派の勝利』がしきりに歌はれる。もつとも、この凱旋行進曲はたゞこの派自身によつて、なによりも、新ビールの代りにこの『新』藝術派を賣りひろめて利潤を獲得しようとする企業家・出版業者によつて、奏じられてゐるものではある。それは中元大賣出しの騒がしい樂隊にほかならない。しかし、新藝術派なるものが今日の文壇の一隅に存在してゐることはたしかに事實である。われわれがこれに一瞥を投げる必要はあらう。

新藝術派（新潮社の發賣商品名に忠實にいへば、『新興藝術派』）は新しい藝術理論を誇示する。それはどんなものであらうか？　（この理論を裏づける彼等の作品そのものがいかに低劣であるかは、その代表的なものについて、私はすでに他の機會に明かにした。）　新藝術派の理論がなによりもわれわれの注意をひくのは、それがむしろ驚嘆すべき背理と矛盾をもつて充たされてゐるといふことである。私はまづそれを讀者諸君に示さうと思ふ。もちろん、かうしたことはあまり價値がない。これを書く紙にも値しないかもしれぬ。けれども、出版業者の應援歌の掩護にまぎれて彼等がどのやうな荒唐無稽を臆面なく述べてゐるかは、新藝術派なるものゝ實體をあらかじめ知る上に非常な參考になる。それに、第一、その馬鹿々々しさは、新藝術派得意のナンセンス文學よりも遙かにナンセンスである。もし彼等のナンセンス文學が、その云ふごとく、なんらかの効用をもつとすれば、これらの荒唐無稽は遙かに大なる効用をもつ筈であるから。かういふのがある、──

（一）例の好愛すべきナンセンス理論家龍膽寺雄氏は、氏が最も頼りとする股肱の久野豐彦氏をば私の批評から救ふに焦慮して云つた、「彼等（久野豐彦を指す──大森）の説によると、文學が經濟學説やこれを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

根據とした社會觀などによつて左右されるなんて、そんな馬鹿氣たことがあるかといふ文學見解から抑文學論を出發させて居るのだ。』（讀賣新聞、傍點――大森）ところがである。本人の久野豐彦氏はそつぽを向いて宣言する『すでにマルクス經濟學說を通じてマルクス主義文學が先刻樹立されてゐるのだからダグラス派の經濟學說を通じても、これまた、その派に屬すべき文學の樹立さる可きことは當然だ』（同氏『藝術派と新經濟學說』傍點――大森）。こゝでは、文學は經濟學說によつて『左右される』どころか、實に『樹立』されるのだ！ この久野氏の見解を龍膽寺雄氏は『馬鹿氣たこと』だと罵つてゐる。かうして新藝術派のうちでも特に仲のいゝ二人は見事に鉢合せをしてゐる！

（二）さらに右の久野氏の見解は、またそれで、二重に誤謬を犯してゐる。第一に。『マルクス經濟學說を通じてマルクス主義文學が先刻樹立され』たなんていふことは、（久野氏の妄想的な頭のなか以外では）いまだ嘗つてない。完全なる事實の虛構である。假りに讀者諸君が久野氏を告訴するならば、マルクシズムに對しては必ずしも××でない裁判所も、即日久野氏を誣告罪をもつて罰するであらう。第二に。『ダグラス氏の經濟學說を通じて、』『その派に屬すべき』ダグラシズムの文學を『樹立』することはなんらの意味においても『當然』ではない。經濟學は物理學や植物學と同じく一個の經驗科學である。藝術はこの經濟學の上に『樹立』されることはできない、ちようど物理學や植物學の上に『樹立』されえないと同じく。それは『當然』どころか不可能である、新藝術派の荒唐無稽な創作のなかでは可能であらうが。こんな議論はおよそ考へうる最大の誤謬である。

もちろん、彼等にはこんな問題は始めからわからない。

（三）『相當新興藝術派の中には獨特の世界觀を持つてゐる人がある。例へば久野君のごとくダグラスの經濟學說をどこまでも主張してゐるのがあるし、……』（龍膽寺雄、新潮、六月號、傍點――大森）

つまり、世界觀イコール經濟學說だ！ これは假りに譬へてみると、世界イコール日本といふのと同じ程度の誤謬である。かうなると、われわれとしては新藝術派の諸君に小學校からやり直してもらふよりほかない。

しかし、龍膽寺、久野氏はもともと理論家ではない。で、まあ大眼にみるとしよう、それに相手にしてゐてはきりがない。新藝術派の理論家と呼ばれる人々のところへ行つてみようではないか。新藝術派は反プロレタリア文學の運動であるといふ、これが彼等の出發點であるといふ。そこでマルクシズムに對する理解、態度は彼等の主張にとつて決定的に重要な筈である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(四)『……兎も角も、階級鬪爭といふのは、僕は認めてゐるのですね。一應階級鬪爭は認めてをりますけれども、マルクシズムの文學論といふものが、これが非常に強權主義にまで君臨して來た、それが非常に間違ひだ、……』(新潮六月號)

新藝術派の最大の、代表的の理論家、雅川滉氏の言葉である。この文章は論理曖昧だ。が、おそらくかうである。雅川氏は階級鬪爭の事實を認める、從つて(!)マルクシズム一般には同意してゐる、しかしマルクシズムの文學論には反對だ。これは面白い！ 階級鬪爭の事實を最も鋭く認めるものには警視總監がある。いま雅川氏によると警視總監は、そのゆゑをもつて、マルクシズムに同意してゐる。恐ろしい同意の仕方があつたもんだ！ それから雅川氏がマルクシズム一般に同意してゐる、つまりその意味で立派な(!)マルクシストだといふ雅川氏自身の宣言も、これは、讀者諸君、記憶しておかれてよからう。とにかく雅川氏にとつては反動と云はれることが胸にこたへて情けないのである。そこでまた云ふ、

(五)『改めて檢討する迄もなく、藝術家は常に新しい角度を問題とするかぎり、作家が非進歩的な反動家であるといふことは斷じてあり得べきことではない。』(同氏『宣言』、新潮、四月號)

だから『新しい角度を問題とする』雅川氏と新藝術派は反動ではないといふのだ。ショーウインドウの飾りつけを日々新たにすべく、日日『新しい角度を問題とする』銀座の化粧品店の主人は、雅川氏によれば、『反動家』であることは『斷じてあり得べきことではない』！

最後に、ある意味では最も鮮かに理論家らしいポーズをとつてゐる中河與一氏がある。

(六)『アインシュタインは嘗てエンゲルスの辨證法に對して不滿を述べた。これをきつかけにして辨證法に對する批判と、それに伴ふ不安が、今や最も重大な問題となつて益々論じられだした。デボーリンの如きは「唯物辨證法と自然科學」なる一書に於て辨證法をしきりに辯護してゐる。……最近の「理想」をみると、三木清氏の如きも、辨證法を「現實存在としての自然」に限つて、辨證法への聰明なる限界を設けてゐられる。』(同氏、新潮、七月號)

理論家中河氏のこの辨證法批判は、いかに人間が數多くの誤謬と出鱈目をいかに短かい文章のうちに盛りうるかといふことを示した最高記錄的な標本である。(イ)アインシュタインはエンゲルスの『辨證法』に對して『不滿』を述べたことはない。エンゲルスの遺稿『辨證法と自然』について、これが『今日の物理學の立場からしても、さらにまた物理學の歷史からしても、特別な興味をもつものでない』と云つた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のみで、辨證法そのものにはなんら觸れてない。(ロ)『これをきつかけにして辨證法に對する批判』など起つた事實なし。(ハ)『辨證法に對する批判』が『今や』、『益々論じられ出した』などといふ事實はない。いつたいどこの國のことか？ ドイツではヘーゲル研究の復興と共に『今や』辨證法への是認が高まりつゝある。日本でもさうである。田邊元氏を始めとする多くの哲學者の最近の傾向を見るがいゝ。(ニ)なるほどロシヤではエンゲルスの右の遺稿を中心にして(アインシユタインの批評をきつかけにしてではない)、主として自然科學者の側からの辨證法に對する論難が行はれた。(しかしそれはもうすでに大體了つた。『益々論じられ出し』てなどゐない。) この論難は辨證法自體に對する『批判』や『不安』ではなく、たゞ辨證法の自然への適用に向けられてゐる。(ホ)デボーリンには『唯物辨證法と自然科學』なる著書はない。『辨證法と自然科學』と題するものはあるが。『唯物辨證法と自然科學』は『一書』ではなくて、一論文である。(ヘ)しかもデボーリンがこの一論文で辯護してゐるものは辨證法そのものではない。その辯護のためにはデボーリンは他に多くの著書を公にしてゐる。彼のこの論文の主題は辨證法の自然への適用に關してゐる。

上掲の中河氏の文章の最後の一句は、けだし珍中の珍である。(ト)三木清氏はかゝる限界を辨證法について置いてない。(チ)もし辨證法に對する不滿があつたとして、これを『自然』に『限つて』だけ、つまり自然に對する社會・精神には認めないで、辨證法に同意するなどといふ出鱈目は存しない。精神には認めるが自然にはこれを拒否するといふ反對の場合は考へられるし、また現實に存在するが。(リ)すでに明かなやうに、中河氏の文章の前半において云ふところは、辨證法の自然への適用に對して若干の不滿が行はれてゐるといふ事實を指してゐる。

そこで、もし假に辨證法を『自然』に限る者があるとすれば、その『辨證法への……限界』は、中河氏において決して『聰明』とは考へられない筈である。

讀者諸君、右の中河氏の敷行にも足らない文章には實にイ——リまでの誤謬が含まれてゐる。驚嘆に値しないか！ さらに驚嘆すべきのは、中河氏がこの程度の智識(無識)をもつてマルクシズムの辨證法的唯物論を批判されることだ。セルヴアンテスが中河與一の存在を知らなかつたことは、なんといふセルヴアンテスの不幸だらう。

私は新藝術派の理論のほんの一斑を示したにすぎない。しかし讀者諸君はもう充分にこの理論(？)の全豹を察しられて、おそらくその荒唐無稽にそれこそ抱腹絶倒、といふよりむしろ戰慄されたであらう。

このやうに、もしわれわれが新藝術派の理論を正面から聞くとすれ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ば、それはどうにもとりとめのないものである。しかし、ちようど小供の片言を、あやしながら、聞き返しながら、聞き分けるやうにして、新藝術派の諸君の云ふところに耳を傾けてみると、そして、その作品と照し合せて考へて見ると、多少主張らしいものゝあることがわからぬでもない。

新藝術派の諸君によれば、藝術といふものは他の社會現象から獨立なもので、それ自身の力によりそれ自身として發達するものである。例へば龍膽寺雄氏——『つまり藝術はそれ自身に獨自な社會的使命を持つて居る。それ自身がすでに社會的使命を果してゐるので、藝術は一個の獨立した價値實體として自身進展するものだといふのです。』(文藝時代、七月號、傍點——大森)この考へは龍膽寺氏についてのみ見られるものではない。新藝術派の最も多くの諸君に共通した主張である、もちろん前に示した種類の矛盾はいつでも大事にもつてまはつてゐるが。『藝術至上主義』の主張である。(これは言葉の正確な意味からいへば藝術至上主義ではない。しかしそんな言葉の誤用は新藝術派には無限にある。これをいちいち拾ひあげることは、海岸に出て砂の一粒づゝを拾ひ盡すほどに困難であり、興味ない仕事だ。)

この『藝術至上主義』の主張は藝術の本質の問題に觸れてゐる。われわれとしてもこれについては一應の考察をめぐらす必要がある。だが實は、われわれはこの問題をすでに充分に明かにしてゐた。藝術は科學やなどゝ並んで觀念形態のひとつである。それは觀念形態として窮極的には社會の經濟的諸關係によつて決定される。生產關係によつて決定された階級の構成、それに基く階級意識、詳しくいへば階級心理、その表現が藝術である。そこで、藝術はなんら獨自の存在でもなければ、他の社會現象から隔絕したものでもない。それは『獨立』して『自身發展』するものではない。これはわれわれのマルクシズムの主張である。

なるほどマルクシズムの主張である。が、右の藝術に關する科學的な說明は、今日では一般に承認されてゐる。承認せざるをえないのである。だからして、例へば新藝術派の『藝術派宣言』も云ふ。『こゝで文學が經濟機構の上部構造であるといふ見解は云ふ迄もなく正當な見解だ』。(雅川滉氏、新潮、四月號)しかも、繰り返していへば、『文學が經濟機構の上部構造』にすぎないならば、文學(從つて藝術)は決して『獨立』ではない、『自身進展する』ことはできない。

われわれは右のマルクシズムの藝術に關する說明を、『藝術派宣言』と共に、『云ふ迄もなく正當な見解だ』と認めて、さて、『藝術至上主義』の主張をもう一度顧みよう。こゝですぐこの主張を誤りだと斷じ去つてしまふことは多少早いやうである。といふのは、なほ次のやう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に考へることができるからである。客觀的には、結果においては、藝術は『經濟機構の上部構造』であつて、決して獨自ではない。しかしである。それはたゞ結果においてさうなるだけで、藝術家は創作過程においてはどこまでも藝術を獨自のものと考へてやるのだ。つまり主觀的な『藝術至上主義』である。龍膽寺氏の考へなどもおそらくはその意味であらう、なんしろ子供の片言ではつきりしないが。例へば——『意識的でなく今言つたことは(藝術が社會的功利性をもつといふことは—大森註)理論的な裏付け(つまり客觀的な考察だ—大森)なのです。創作過程に於て斯う云ふことに役立てるためにペンをとると云ふことはない』(同氏、文學時代、七月號)。すなはち、問題は『創作過程に於て』の『ペンをとる』際の、氣持に關してゐる。

この邊で、新藝術派の『藝術至上主義』の主張をひとつ整理してみやうではないか。

藝術は、客觀的には、決して獨自の存在ではない。それは窮極は經濟的の地盤によつて決定されたものであり、從つて、他の社會現象から或は社會そのものから獨立したものではない。しかし、主觀的には、新藝術派の藝術家は藝術を獨自なもの、他の社會現象によつてわづらはされないものと考へる、考へたい。からである。

これに對して私は別にあらためて批評を加へない。ちかごろ私は子供にせがまれて二三匹の小さい金魚をかつて水瓶のなかに放してやつた。金魚はどんなにしたところでこの水瓶の外には出られないし、私が水瓶を椽側から便所の傍に持つてゆけば金魚もまたそのまゝ移されてしまふ。しかし金魚は樂しげに泳いでゐる。おそらく金魚は主觀的には大いに『獨立』の行動をしてゐるつもりであらう。私にはこの金魚諸君の『創作過程』を究めることはあまり問題でない。

では、新藝術派の『藝術至上主義』の主張はなんの意味ももつてゐないか？　どうして、立派にもつてゐる。

新藝術派は社會的なものから遁れようと極力努める、よしさういふことは現實には不可能であるにしても。この社會事象の響に耳をふさがうとする、社會の動きに眼をつむらうとする痛切な焦慮の理論的(?)な表現こそが、その『藝術至上主義』の主張である。この焦慮はまた彼等の作品に強く表はれてゐる、そのいちいちの指摘をば私は別の機會に讓らなければならぬが。まづ新藝術派の作家においては何が描かれるか？　勞働爭議よりも末梢的な戀愛のいさかひが選ばれる。失業に苦しむ勞働者の生活を描く代りに、フランス製の香水の種類についてお喋りする。

さらに彼等の作品の特徴をなしてゐるエロテイシズムとナンセンス趣味とは上の焦慮をもつとよく示してゐる。性慾といふやうな人間の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

原始的な本能そのもの〻方へ興味を向けることは、人々の理性を痲れさせて、社會の動きなどといふものに對する配慮を忘れさせてしまふ。ナンセンス趣味は、――これについては云ふまでもなく明かである。新藝術派のいはゆるナンセンス文學には諷刺の、冷嘲の一片すらも存しない。それの企圖するところはくすぐつて讀者をげらげら笑はせることである。馬鹿噺にほかならぬ『ナンセンス文學』といふ言葉が最もよくその內容を表してゐる。これが社會的な問題をことごとく笑ひのうちにまぎれさせてしまふといふ、社會の動きから背かせようといふ効果をもつことはくどくど說明する必要がなからう。

それぱかりではない。『藝術主上主義』と並んで、新藝術派のどうにかかうにか共通の主張となつてゐる『表現技術主義』、つまり技巧主義もまた上のことを證つてゐる。內容をよりよく描き出すために技術の重要なことは、さうした意味の技巧にあらゆる腐心を傾けるといふことは、もちろん、藝術の第一義的な必要である。もしその意味でなら技巧主義は最も當り前のことを云つてるので、從つて實際には何も云つてない。それでは主張にはならぬ。『主義』ではない。新藝術派の技巧主義は、かうした、なにも云はぬことを云つてゐるのではなからう。それは一定の意味をもつてゐる筈だ。そこで技巧主義のその特別の意味は何か？

それは、內容を離れて、技巧そのものに重きを置かうといふ主張である。一定の內容をよりよく表現するかどうかゞ問題ではなくて、技巧そのもの〻面白さが關心の對象なんである。ロココふうな文章のあや、調子のよさ、華美なる言葉の羅列、さういふところを志すものとしてのみ、新藝術派の技巧主義の主張は意味がある。また、實際さうなんである。彼等の作品をとつて見るがい〻。その典型的な標本として私は龍膽寺雄氏の『コサビネ艦隊の投錨』（新潮、三月號）を讀者諸君に推薦しておく。こゝでは何が描かれてゐるかは全くどうでもいい。ヒマラヤ山脈が出てき、熱帶の夏の夜の噴水が描かれるが、それはたゞ浮華なる、一應耳に快い文章をはこぶための單なる手段である。（特に、この作品そのものについていへば、それらの技巧も全くマンネリズムに墮してゐる。そこで、この作品は、例へばあの外國製のハンケチの箱の蓋についてゐる泰西風景畫と同じ程度の美しさ（？）をもつてゐる）かういふやうにして、新藝術派の技巧主義の主張がまた、その理論においても作品の現實においても、內容から離れることによつて、社會的なるものからできるかぎり離れようとする焦慮を意味してゐる。

讀者はすでに新藝術派のなにものなるかを理解されたと思ふ。

カッエーでは、立ち直らうとしてあがいてゐる日本資本主義がグラ

スの底にカクテルの濃い色で隠くされてしまつてゐる。ダンスホールでは氾濫する失業群が高い踵と短いスカートで踊り飛ばされてゐる。そして神宮競技場では、日本の最高記録にもならうといふ勞働爭議が白い球と一緒にどつかへ飛んでいつてしまふ。

　これが、今日われわれの注意を強くひくひとつの風景である。それは尖端的だとかモダーンだとかいふ言葉で形容されてゐる。ところで、この風景の描景人物を見給へ。それは金持の大學生である。氣のきいた洋服を着た若いサラリーマンである。おそらく、大學を卒へたけれど、働かなくていゝランテイエの息子達も加はつてゐるだらう。そして、それにふさはしい女達。

　もしこれらの人物に本を小脇にかゝへさせるとしたなら、その本として、聰明にして犀利な畫家であれば、きつと龍膽寺雄だとかその他新興藝術派の作品集を選ぶであらう。

　これが新興藝術派の聖なる藝術（？）のもつ意味の一切である！

　この派の理論家雅川滉氏はさすがにみづからの陣營の本質を心得てゐる。『さて新興藝術派は何處にその基礎を置くかと云ふに、我々は卒直に知識階級（沒落するところの――大森）の上にと述べるのだ。』私は、また私の立場において、この雅川氏の表明に一〇〇％の同意をおくる光榮をもつ。

二

　菊池寛氏の『此頃の感想』（改造、七月號）に次のやうな言葉が見出された。『プロレタリヤ文學は……理想主義の文學であつていゝと思ふ。……プロレタリヤ・リアリズムなど云ふことを云はないで、なぜプロレタリヤ・ロマンチシジムを提唱して、新しい時代を將來せんとする意氣と情熱を迸しらせないのだらうか。』

　マルクシズムに對して充分な知識をもたない人としては思ひつきな提言である。しかし間違つてゐる。プロレタリア文學はプロレタリアートの階級心理の表現である。そのかぎりにおいてのみ、ある文學はプロレタリア的でありうる。そこで、プロレタリア文學はプロレタリアートの階級心理の構造によつて必然的に規定される。

　プロレタリアートの階級心理の構造はロマンテイシズムと相容れない。この事は今日多く說明する必要がなからう。プロレタリアートの階級心理を理論的に彫琢したものたる辯證法的唯物論がロマンテイシズムを受け容れうるかどうかを考へただけでも推察できる筈である。

三

　朝日新聞に連載されてゐた細田民樹氏の『眞理の春』が終つた。作

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品としてはまだ完結してゐないが、私はこゝで一言の批評をさしはさみたく思ふ。

最近においてこの小説ほどいろんな方面から喝采を博したものはない。また、たしかに面白い。これまで未耕の領域に鍬を入れたといふ意味で、大きな意義をもつてもゐる。あれだけの厄介な材料をともかくこなした細田氏の手腕は賞讃に値するでもあらう。

しかしながら、私にはこの作品は具象性において缺けてゐるやうに思へる。より多く記述であつて、描寫ではない。さらに、挿話の集合といふ感じを與へられた。構成に缺陷をもつてゐる（この點私は一冊に纏められたら讀み直し、後編が書かれたら考へ直してみるつもりでゐるが）。私は『眞理の春』を藝術作品としてさう高く評價することができない。

四

これからのプロレタリア文學の若い作家が此『眞理の春』を手本にする事は必ずしもよい結果を齎さぬであらう。私はそれを望まない。

新藝術派なてんいふものを相手にしてるんだつたら、プロレタリア文學は晝寢をしてゝもいゝ。だが、プロレタリア文學はもつと大きい目標をもつてる、その目標から考へると、私は、プロレタリア文學は最近どうも不振である、と思ふ。

第一、ブルジョア文壇からの、或は、また文壇的な地位をもつてなかつた若い人達の場合でいへば、ブルジョア文學からの轉向者を除くと、新しい作家が出ない。殊に、『鐵』の作者岩藤雪夫君あたりをほかにしては、これといふ勞働者出身の作家が出ない。このことは、少し強く云へば、プロレタリア文學にとつて致命的ですらある。正しい意味において新興の文學であるプロレタリア文學においては新しいいい作家が續々として出てくる筈だ、また、出てこなくては駄目だ。それから作品だつて、二三を除けば、いゝものがないではないか。今年になつてからなどほんとうにわれわれを驚かせるやうなめざましい作品はひとつもない。プロレタリア文學の進出の足どりが緩んでゐると云はなければならぬ。

或は、かう云ふ私に對して、プロレタリア文學がブルジョア文學を驅逐してゆく最近のすさまじい勢を指し示す人があるかもしれない。成程さうだ。雜誌の創作欄を見ても確にさういふ事が云へよう。さらに、今年になつて取りかへ引きかへ出されるプロレタリア文學の叢書類がある。不況を極めてゐる、なかでも文學物についてそれが最もひどいと云はれる出版界において、プロレタリア文學だけはずんずん賣れてゆくと傳へられる。これを見たら、プロレタリア文學は不振

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

どころか、非常に活氣づいてゐると云はねばならぬかもしれない。
しかし、私は反對の意見である。むしろ、そのやうにジヤーナリズムに愛撫されてゐることが今日のプロレタリア文學に對してひとつの重大な危機を醸してすらゐることを、私はこゝで述べたいのである。
われわれはよく聞かされるし、また實際に見てきたところであるが、ブルジヨア作家の場合、文壇の流行兒になつてさかんに書く。收入が多くなるから生活が膨張する。無理に多く書くからいゝものが出來なくなるし、書けなくなる。しかし一旦膨張した生活はさう縮められるものでないから、その生活を維持するためになほ無理に書く。かうしてその作家は藝術家的な才能を全く駄目にしてしまふ。
かういふ危險はプロレタリア作家の場合にもないであらうか。最近のジヤーナリズムによるプロレタリア文學の歡迎はこれをわれわれに懸念させる。もちろんブルジヨア作家の場合とは大きな違ひがある。生活の膨脹といつたつて、プロレタリア作家の場合はブルジヨア作家のそれとは全く比較にならない。けれども、生活の膨脹といふことは相對的なものである。その意味で多少ひろがつた生活を維持するために無理に作をするところはないか。少くも、以前いはゆる文壇から全然認められなかつたころの――この時代のプロレタリア作家のわれわれに對する貢献は測りがたく大きい――刻苦が、ために、いくぶん失はれてゐないか。ちかごろ私はプロレタリア文學の作品を讀んで、なんとなくせかせかした感じを受けることがしばしばであるが、これはひとつには多作するところからきてゐるやうに思へる。數多く制作するために、充分な藝術的醗酵を待たずに書いてゐるところがある。もしこれが續くなら、前に云つたやうな作家の破滅を必ず招來するだらう。今日のプロレタリア文學の打ち見たかぎりの賑やかさはたちまち明日の徹底的な衰頽に繋るに相違ない。
また反對の危險もある。濫作がいろんな形でどんどん出されてゆくんで、これから得られた餘裕を新しい創作の準備に費す場合は問題ないが、さうでなくたゞこれに安んじて一所懸命に作をしないとすれば、これもまたプロレタリア文學の不振をきたすであらう。さうした傾向も見えぬではない。
プロレタリア文學に對するジヤーナリズムの危險はもつと深いところにも及ぶ。もちろんジヤーナリズムがこれをあからさまに命令するわけではなく、これをプロレタリア作家が意識してやるのではないが、ジヤーナリズムの款待はプロレタリア作家をしてジヤーナリズムの對象の小ブルジヨア層の好みを知らず知らず迎へるやうにさせる。テムポの輕快さ、機智の巧妙さを目がけて作をする。ところが、いふまでもなく、プロレタリア文學はこれらの趣味と決定的に對立する。この危險は、もしプロレタリア作家がジヤーナリズムの寵兒となるこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とによつて少しでもその生活をみだし、そのために、プロレタリア運動から、プロレタリアートの現實の生活から離れがちになるとすれば、一層大きくなる。といふのは。プロレタリア文學の作品の場合には、眞にプロレタリア的な意識をもつて對象を把握することが、作品の全篇に限なくプロレタリアの感情をにじみ出さしてゐることが、第一義的に必要であるが、これがいま云つたことから困難になるからして、作家は必然に小ブルジョア的な技巧に走る。

この點でも私は最近のプロレタリア文學の作品の多くに不滿をもつ。

ほんとうにプロレタリアの感情をにじみ出させる代りに、ほんとうにプロレタリア的な作品である代りに、プロレタリア的らしく見えるちよつとした思ひつきを中心にして作品を構成してゐる。作品の終りのところである人物にプロレタリア的なことを云はせることによつて、或はプロレタリア的——といふ言葉は變だが——事件例へば爭議を出すことによつてプロレタリア文學の姿態を保つてゐる。極論すれば、プロレタリア的な下げによつて僅かにプロレタリア文學になつてゐる(と思はれる)やうな作品すらないではない。そこにあるものはただテムポの輕快さと機智の巧妙さだ。さうして、プロレタリア的な政治理論を單に敷衍したといつたふうの作品の多いこともこゝに由來する。(特に『戰旗』派についていへば、このことは最近のその文藝におけるウルトラ政治主義からもまたきてゐる。この點は私は別に詳しく述べる機會をもちたい。)そして、この今日のプロレタリア文學の支配的な作風が、實に、勞働者出身の新しい作家の實現を妨げてゐる有力な原因である。なぜなら、上のやうな作風は勞働者出身の作家にとつては不得手だ。また、上のやうな作品が喜ばれるから、勞働者出身の新しい作家の特徴である地味な作品は歡迎されない。これでは勞働者出身の作家は出ようとしても出られない。

ある意味でちかごろ流行のいはゆる暴露といふことについても、さうだ。よく調べてあり、外國などの珍らしい材料を持つてきてゐたりするが、作品にプロレタリア的な感情をみたぎらしてゐるものは少い。單に理論的な、といふよりむしろ記述的、報道的な暴露にとゞまつて、これを藝術において行つてゐるものが少いといふことは別としても。

かうした事實からして、私は、最近のプロレタリア文學は振はないと云ふのである。もちろんこの不振にはいろんな原因があらう。プロレタリア運動そのものが活潑でないといふことなど、その根本的なものであらう。しかし、プロレタリア文學がジャーナリズムにわづらはされすぎてゐることが、一見表面的であるが、その不振の有力な原因のひとつでないといふことができようか。

プロレタリア文學がジャーナリズムを利用することはもちろんいい。が、それに溺れない用意が必要である。でなかつたら、プロレタリア文學は、少くも今日のそれは、破滅するだらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



海と飛魚の子と

林　房　雄

海と飛魚の子と

一

私の生れた土地は、西九州の大分といふ町、その北海岸にある古い小さな港街だ。

この狹い一廓についての私の記憶は、海と飛魚の子から始まる。

この始まりは、今の時勢のものでないであらう。けれども今の時勢といふものは、私の生れた頃にはまだなかつた。

海。——私の海には、眞黑なゆがんだ顏をして白い齒をむいた恐しい老人の海と、太陽を全身に着て、太陽のやうに笑つてゐる親切な若い海と、二つの海がある。

老人の海には風が駈けまわつてゐる。驅逐艦が吼えてゐる。病氣の牛の唸り聲を、私は母の寢床の中で聞く。それはたいてい眞夜中で、空氣がつめたく、

雨の大きな粒が、雨戸を脅してゐる。暗い障子が、縫かたびらを着て、お化の歌をうたひ始める。

「お母さん、〳〵。……」

私は、母の大きな乳房の間に、子猫のやうにおびえて、ちぢみこむ。……

けれども私のもう一つの海、若い親切な海には、飛魚の子が游いでゐる。

飛魚の子は飛魚の子供服を着てゐる。首のまわりに廣いレースのひだのある鮮澤な洋服を着て威ばつてゐる。みんなそれぞれ色と形のちがふ服。桃色と青、朱と緑、さうかと思ふと、白と黒だけのはつきりした格子縞。百匹も千匹も、港の口を一つぱいにふさいで、底まで見える透明な潮の中に斜めの線をひいてゐる。僕らはお魚の子なんかではないぞ、といふ顔をして威ばつてゐる。……飛魚の子供たちは、ほんとうは、小鳥なのかも知れない！

波の上には打瀬船が帆を光らせてゐる、打瀬船の帆は、港の中にゐるときには、雑巾のやうにつぎはぎだらけだが、沖に出るとたちまち銀色の羽に變つてしまふ。帆の向うには、國東半島が浮いてゐる。半島は何時見ても眞蒼である。あんな深い青色の中には、人間は棲めないだらう。それは海より青いのだから。半島には樹と水のほかに何もゐないにちがひない。

太陽が帆の色を染めてゐる間は、海は魚の匂ひがする。太陽が落ちてしまふと、海は藻の匂ひを出し始める。藻の匂ひは瞳にしみる。波のない、光のない海は、ぢつと見てゐると吸ひこまれさうで怖い。

私達は逃げ出す。

家へ歸る道の両側には、岐阜提灯をつるし、二階に青いすだれをさげた家が並んでゐる。家は、音と匂ひを出す。廣い玄關には眞白な潮が砂糖のやうに盛つてある。

道に縁臺を出して、女たちがずらりと並んでゐる。女たちには苺のやうなのもあれば、桃のやうなのもあり、梨のやうに黄色くて青いのもある。みんな湯上りの胸をはだけ、みんな両方の股をうんとひろげてゐる。

私たちは恥しい。大人のやうに顔を赤くして、下をむきながら女たちの前を走りとほる。たつたとひりの時にはもつと恥しい。港を傳つて、わざ〳〵遠いまわり道をすることさへある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

…………

二

私たちは、子供をこんなに恥しがらせる、この女共に腹を立てた。そして、復讐を決心した。

私たちは、日曜毎に群をなしてやつて來る陽氣な兵隊さんたちが、女共と何をするかよく知つてゐた。その秘密を私たちは利用した。私たちは嫉妬してゐたのかも知れない。

夏の潮がひいて、濱に遠淺が出來ると、女たちは、白い着物を着て日傘をさし、海の中に膝をまげて、何時までも座つてゐた。

「洗ふちよる！　洗ふちよる！」

それが機會である。私たちは眞つ裸になつて女を遠卷にする。大人の使ふ言葉で、惡口し始める。

苺のやうな女は、形の不明瞭な顏を血で一ぱいにして、どなりたてる。けれども水の中では子供が勝つ。女は水と砂をはねかけられて、岸にひきあげなければならない。

私たちはすつかり得意になつて、大人の仲間入が出來たやうな生意氣な氣になる。

けれども、桃のやうな女は笑つてゐて相手にならない、青い梨のやうな女になると、唇をかんだまゝ下をむいてしまふ。彼女は睨みはしないのだが、私たちはまるで睨まれたやうな氣がして來る。そこで、私たちはてれかくしをいふ。

「ペツ、ペツ！　汚ねえ、汚ねえ！」

と、大袈裟な身振りをして、それがどんなに意地の惡い影響を相手に與へたかは氣がつかずに、たゞ自分のきまりわるさをごまかしながら、沖の方に游ぎに行く。

日が經つと、私たちは、もつと質が惡くなる。「ケンバン」の裏二階をのぞきに行くのだ。

その日どりと時間に知らせて來るのは、貸席（娼家のこと）の子である。この小さい街の子供連中は、漁師の子と商人の子と娼家の子の三種類から成立つてゐた。漁師の子は亂暴で單純で、商人の子は狡猾で、娼家の子は色が白く意氣地がなかつた。漁師組と娼家組とは隊を組んでよく喧嘩した。商人の子はその間にゐてどちらかについた。私は商人の子であつた。そしてどちらとも遊んだ。家の中で遊ぶのは娼家の子が面白く、外

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

で遊ぶのは漁師の子が面白かつた。

けれども、週期的な喧嘩がすぎると、街中の子供はすぐに仲よしになつた。そして、娼家の子が先導になつて「ケンバン」をのぞきに行く。

検番の裏手の濱には、おそらくある頃は島であつたかも知れない塊状火山の片らしい小山がある。昔はその上に天狗がゐたさうで、今は頭に赤や白の球をつけた氣象報知の竿が立つてゐる。私たちは、その中腹の熊笹の中にもぐりこむ。

検番の裏二階には、白いベットがおいてある。女たちが次次にその上に寢た。正服の巡査と白衣の醫者がゐて、醫者は、額に圓い小鏡をつけて、それをぴか〳〵光らせた。女の裸の下半身が見えると、私たちは、歯で唇をおさへ、見開いた眼を見合せてくつ〳〵笑ひ合つた。不思議な昂奮にかり立てられて、身體をつき合せたり、聲を立て合つたりした。

もつと、いけない遊戯も私たちはおぼえた。それはたいてい港のそばの、大きな古い、豆糟の臭ひのする倉庫の中で行はれた。××××××その中にはひる。入口には、大人たちがやつて來ないやうに、誰かゞ一人張番してゐた。……

三

私は、私の生れた大分といふ土地を必ずしも愛してゐない。

けれども、この港と娼家をもつた一廓だけは、どうしても忘れることが出來ない。それは私の聖地なのであらう。この港街についての私の記憶は、全く、海と飛魚の子の美しさによつて象徴し得る。

だが、ある頃、私は、極度にこの街を憎んだことがあつた。

それは私が、やうやく青年になり始めた頃である。

成熟して行く男性が私の中に目覺め始めると、私は、自分を仕方のない多情漢として感じ始めた。ほかの青年たちは、決して私のやうに多情ではないのであらう。私のみが、何故か、だらしなく多情なのだ！

原因をつきとめようとして、私は、私の生地につきあたつた。あの特殊な環境が、さうだ、私をこのやうに特殊に多情にしたのだ。私はこの街を憎み始めた。私の聖地は失はれた。

失はれた聖地が恢復されるまでには相當の時間がかゝつた。

恢復は、この「多情についての不斷の危惧」が男の共通な秘密

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

であり、すべての男が常に、自分は何故このやうに多情なのだらう、この愛想のつきるだらしなさが、どうして自分のみに與へられてゐるのだらう、と心で歎いてゐることを發見するまで達成されなかつた。

經驗は私に、多情はすべての男性の原罪であることを敎へてくれた。男性の多情は自然の命令である。一本の雌蕊に對する百本の雄蕊がこの事實を圖解する。男性は、眼に映ずる一切の女性に對して情慾を感じなければならぬ自然の至上命令をうけてゐる。

太古の無制限婚姻制は、この命令を忠實に實現した。その後、變遷する社會制度の影響を受けることによつて、人間は一人の男と一人の女との性愛並びに戀愛といふ、より新しく、より高い感情を發展させた。

私も、現代の青年たちの一人として、原始的な亂婚要求と近世的な(中世以後に發生をもつと學者のいふ)一夫一婦的婚姻要求との間に球のやうに投交されながら、幾つかの戀愛を經驗しなければならなかつた。そして、私はひそかに歎じた。自分は何故にこんなに多情なのであらうか、と。そして、その責任と幼年期の特殊な環境に歸し、その街を憎んだ。

が、今はすでに知つてゐる、この海と飛魚の子によつて飾られた私の小さな街が全く無罪であることを。私の心の十字軍は聖地を奪還して、大喜びである。

私はむしろこの街に感謝しなければならなかつたのだ。私の幼年期は、ある程度まで「性についての神秘」を私から剝ぎとつてくれた。そのために、私は早くから性と戀愛について、比較的率直な男として行動することが出來た。

だが、それにしても、私にはまだ不思議でならぬ。私にとつて、どうしたわけで、この土地の記憶のみが美しいのであらう。そして、この記憶が、美しく保たれることに懸命につとめるのであらう。

平凡な、さうだ、どこにでもある廢港だ。その街での、私は汚れた惡童たちの單なる一人にすぎなかつたのだ。――それだのに!

私流儀の解釋をしひてつければ、私の幼年期の頃には、日本の片隅にはまだ「小市民の幸福」が殘つてゐたからなのかも知れない。更にはまた、幼年期に續く少年期が、極度にみじめで

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あつたためにその對象感情からなのかも知れない。
だが、おそらくそれは一つの解釋にすぎないであらう。解釋は後からのものである。
十二歳の時、私はこの街を去つた。

月夜と尼寺と

一

幸福な幼年期の唯一のそして最大の不幸は父であつた。私は父を憎んでゐた。
「憎むべき父」について、最初に現れる記憶は、月の冴えた夜に彼がふりまわした冷青な刀の刃である。父はそれで、母と私を斬らうとしたのだ。
この事件の起つたのは、父の商賣が駄目になつて、私たちが街を逃げ出して行く、つい前のことであるから、私はもう十歳にはなつてゐたはずである。にも拘らず、大分港時代の父について最初に現れる記憶はそれだ。それ以前のことは、その夜の光景に關聯しつゝ徐々に現れて來るにすぎない。

二

……私は暗の中で泣いてゐた。私は殺されるのだと思つてゐた。殺されるといふことがどんなことなのかはつきりは解らない。けれどもそれは腹の空いたことなどより、ずつと〱苦しくて悲しいことにちがひなかつた。
それを考へると私の身體はぶる〱ふるへ、私の泣き聲は高くなつた。
「泣くな、泣くな。泣くと、來るから……。」
母が私の口にあわてゝ手をあてるやうにしていつた。母の顏は暗の中で私には見えなかつた。けれども、さういふ母が泣いてゐることはよくわかつた。
もう眞夜中近かつた。私たちのゐるのは、長い廊下で母屋につゞいてゐる新築の家であつた。父は母屋の方で菓子や雜貨や、電車の切符や酒などを賣つてゐた。そして旅宿と下宿を始めるために、裏手に家を新築した。新築披露の日、新しい階段から轉げおちさうに醉つぱらつてゐた上機嫌の父を私は思ひ出す。……けれども、この家が出來て間もなく、家庭の空氣が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

急に險しくなつて來た。父は、毎日のやうに醉つぱらひ、醉つぱらふと母を撲り、私を撲つた。朝から表戸をしめて、商賣をしない日もあつた。下宿してゐた鐵道建築事務所の技手や、電車の運轉手たちは引越して行つた。

夜中に眼をさますと、醉つて歸つた父が母をいぢめてゐた。母は突飛ばされて倒れた。その上に棚が落ちて來た。が母は動かなかつた。動かない母の脊中をまた父は足で蹴つた。母はかすかなうめき聲をあげた。私は、母は死んだのだと思つて、聲を限りに泣いた。すると母が立つて來て、お母さんは死にはしないのだから安心しなさいといつて頰ずりをしてくれた。またある夜中に眼をさますと、八幡神社の神主で、父の親友であるはずの男が、父を煙管で撲つてゐることもあつた。父の靜脈の浮いた瘦せた額から、太い眞赤な血の紐がたれ落ちた。父はどうしたわけか抵抗しなかつた。何時も强がつて亂暴する父が、意氣地ないのはどうしたわけかと私は思つた。そして神主と父との兩方に對して自分では說明の出來ぬ激しい腹立たしさを感じた。

そんな險しい空氣に滿ちた數ケ月が經つて行つた後、その一つの結び目として今夜の事件が起つて來た。

父は、店の表戸をしめて、客たちを追ひかへした。母が氣をかねて止めようとすると、拳で母を打つた。しまひにはたうとう刀を持ち出して來た。母は私をつれて、離れにこもつた。母は熱を出してゐた。

「鬼ぢや、鬼ぢや。人間なら、わが子をこんな目には合はせはすまいものを。」

母は泣き聲のすきに、私の頭をなでゝ、そんな意味をいつた。鬼といふ言葉は全くよくあてはまると私は思つた。あの血走つた眼と蒼くとがつた頰が鬼の顏でなくてなんであらう。鬼は、靑い刀を拔いて、床の間の柱をかちり〱と切つてゐる。柱を切つてしまつたら、鬼は私たちを殺しにやつて來る！ 私はまたわつと泣聲を高くした。

廊下を走つて、小さいおびえきつた足音が近づいて來た。私はほつとして、泣聲をとめた。

「奥樣、逃げて！」

女中の淸が、べたりと敷居際に膝をつくのが見えた。

廊下を荒い足音が走つて來た。障子の毀れる音がした。母は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私を横抱きに抱いて、裸足のまゝ、雨戸のすき間から庭に轉んだ。

外は月夜であつた、──まるで地獄のやうな！ 觸れたら硝子のやうに音をたてゝくだけ散りさうな！

季節はたしかに眞夏であつたはずだ。それなのに、月だけはたしかに眞冬の月であつた。庭の槇の葉の一つ一つが、鋼鐵で作つたやうに眞黒に光つて、うしろの雨戸の隙間に、刀をさげた父の血走つた眼が見えた。母と私とは、その刀の下を危くくぐつたやうであつた。けれども私には、外の月の方がもつともつとおそろしいやうに思へた。私は、そんな物凄い月の色を、それから後に見たことがない！

槇の葉の繁みをつつきつて、私を抱きかかへたまま、母は走つた。私は泣くことはむろん、息をつくことさへ出來なかた。私達は、濱の方に出て、漁師たちの住んでゐる灯の消えた藁屋根の間を走つた。魚の鱗と、すゑた芋の臭ひがしてゐた。

母は、大きな松の老木の下にある一軒の藁家の破れた戸を叩いた。中から、何時も私の家に海老や鰹や芋などをもつて來てくれる眼の悪い婆さんの曲つた腰が出て來た。私は、婆さんの家のべとべとする眞黒な蒲團の中に寢かされた。

蒲團は強い小便の匂ひがした。びつくりするほど澤山の蚤がゐた。蚤どもは、豆粒ほども太つて、みんな人間を馬鹿にしてゐた。私の兩足は、見る見る彼等にくはれて、まるで眞紅な豆絞り模様のズボンをはいたやうになつた。

隣の同じ蒲團の中には、婆さんの子供たちが、大きないびきをたてながら眠つてゐた。私には不思議であつた、蚤は私だけを食べるのであらうか？……

三

透きとほつたまつ青な光の中で、私は眼をさました。それは柿の葉をすかして來る午前の光であつた。

柿の木の幹と幹との間に高い水平線が見えた。廣々とした海が眼の下にある。國東半島と汽船の煙と、白く光つてゐる港の石垣と、その中に松葉のやうに繁つてゐる打瀬船の帆柱と。

腰の高い、塗の黒い障子の向うには、廣い縁がついてをり、柿の木のある庭には、青苔が生えてゐた。縁側に薄い竹の皮の敷物をしいて、母が髪をまるめた眉の青い小さいお婆さんと話

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

をしてゐた。

家は昨夜蚤のゐる家ではなかつた。お婆さんは昨夜の眼の惡いお婆さんではなかつた。夜の間にまた運ばれて、この尼寺に移されたのであらう。この尼寺は小谷といふ切り立つた崖の上に立つてゐて、下はすぐに深い海である。私は山苺をとりに二三度こゝに來たことがあつた。

母は年老つた尼さんに夢の話をしてゐた。

「こんな夢なのでございます。夜明け近くだつたと思ひます。私は草の一ぱい繁つた土手を匍ふやうにしてのぼつてゐました。土手の上には星が出てゐて、鐵道の線路が青く光つてをりました。もう、シグナルが青い方の灯を出して、汽車の來るのが間近です。……私の足は幾度もすべりました。やつと線路までのぼりついたとき、はげしい列車の音が聞え始めました。私は身がまへをしました。するとこの子が(と、母は寢てゐる私の方を指した)私の手をひきとめました。私は、どうぞ離してくれとこの子に願ひました。この子はお母さん、死んぢやいけん、死んぢやいけんと泣きじやくつて私を離しません。汽車が耳の破れるやうな音をたてゝ眼の前をとほりすぎました。……私は、死ぬことさへ出來ぬ因果な身の上でせうか?……」

私は、だまつて蒲團をひつかぶつた。二人の女は泣いてゐるやうであつた。蒲團の中はむし暑くて、鹽の味がした。……

その日の夕暮、私は清につれられ、尼寺を出、見上げるやうな急な坂をすべり下りて、家に歸つた。

雨戸を半分閉めたがらんとした座敷に、眞赤な眼をした父が、ひとりで酒をのんでゐた。刀はもう持つてゐなかつた。

清は、私を父の膝のそばにおいて、さあ旦那樣、坊ちやんです、抱いてあげて下さいといつた。父は私の方に笑つて見せたやうであつた。けれどもそれは、泣いてゐる顏のやうにも見えた。私は、だまつて、たゞ横をむいてゐた。

この男は鬼で、母の仇だと、私は小さい心の中で、片意地に思ひつゞけてゐた。

母は山の尼寺から三日あまりも歸らなかつた。三日目に、父が、母をむかへに行くやうに私にたのんだ。私は勝つたやうな氣持になつて、清の脊中にのつて出かけた。母がこのまゝうちへ歸らずに、二人きりでどこか遠いところに行つてしまつたならば、どんなにいゝだらうと思ひながらも、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□

この父を、私が愛し得るやうになるまでには、ずゐぶん長い時間が必要だつた。私が父を愛し始めたのは、正確にいへば、彼が死んでしまつてからであつた。しかも、この遅れて生れた感情は、愛情といふよりも、一人の不幸な一生をもつた男への憐びんといふ形をとつた。

　父は、私が大學に入つたその年の冬に死んだ。死の電報を受取つた時、私は輕いめまひを感じた。けれども衝撃は簡單にそれだけですんだ。

　故郷に歸つて、母と二人きりで向ひ合つた時、私は聞いた。

「お母さん。靜かに正直に考へてみると、結局あなたは一つの大きな災難からのがれたといふ氣はしませんか？」

　母は、しばらく、私の顔をじつとみつめるやうにしてゐた。私もじつと母の顔をみかへしてゐた。やゝ低められた聲の調子で母は答へた。

「佛樣には相すまぬけれど、それはほんとうだ。厄逃れをしたやうな氣もする。……」

けれども、また母はつけ加へた。

「……亂暴な人だつたが、氣のどくな人だつたよ。」

氣のどくな人！——後になつて次第に、私は母のこの言葉の意味を理解するやうになつた。

　父は要するに、氣の弱い小市民にすぎなかつた。田舍の中農の次男として育ち、小學教員になつたり、巡査を拜命したり、内海通ひの小汽船の事務長をしたりした後、私の家の養子になつたのであるが、結婚と同時に、勤めをやめて、小さな店を開いた。結婚後二三年して、生活の安定と共に、船乘時代の亂れた生活がぶりかへして來た。すべて農民は、市民的な快樂に對して、非常なあこがれをもつてゐるらしい。父の兄も、その親族たちも、例へば茶屋遊びに、はげしい要求と興味を示してゐた。（私もこの農民的な血をいくらか受ついでゐるらしい）そのために父は、惡疾の病氣を受けて鼻柱を失ひ、酒に中毒して、一種の酒亂症をさへ呈してゐた。

　亂れた生活と、持ち前の小心が、間もなく、彼の商賣に惡い影響を與へ始めた。

　商賣がうまく行かなくなり始めたもう一つの外的な條件を求

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

めれば、それは、近代的な經濟關係が、この裏九州の小都市にもやうやく侵入して、古い小市民たちを、その古巣もろとも押し潰し始めたことであらう。鐵道がしかれ、紡績工場が出來、製練所が立ち、多くの他國者が新しい要求と新しい資力をもつて流れこんで來た。機敏な先住民のあるものは、いち早く、この新關係に自分を適應させた。小心で愚直な父にはそれが出來なかつた。父の恐怖と不安は內攻して、それが母に對するおそらく彼自身にも理解出來ぬ狂氣的な怒りとなつて放出した。

刀を拔いて、母と私とを尼寺に追ひ出したのは、彼の狂氣の一つの頂點であつた。この事件を頂點として、私の古い平和な家庭は音を立てゝ崩壞し始めた。

母は、日本の女らしく父の虐待にたゞじつと堪えた。父が變化して來た外部の壓迫にどう對抗したらいゝかを理解し得なかつたやうに、母も變化した父の態度にどう對したらいゝかを知らなかつた。じつと堪えることが、母に與へられた唯一の方法であつた。母は、父のまわりに「腹の立つのも無理もない」取引上、交際上の好ましからぬ事件がひつきりなしに起り始めたことをよく知つてゐたので。そして、それらの好ましからぬ事件の責任を世間に歸するよりも、自分でひきうけようとつとめる充分に日本的な女であつたので。

私がこの不幸な夫婦を正しく理解し始めたのはやつと最近のことである。

猫と草の實と

一

夏の終りであつた。

けれども、朝から霧の細やかな、乾いた雨が降り續いてゐて、空氣の溫度は秋の終りのやうであつた。

二つの小さな風呂敷包みを抱へた母と、一匹の猫を兩手にだいた私と、——雨の煙つて向う岸の見えない、廣い沼地のやうな練兵場の草をふんで、とぼ〳〵歩いて行つた。

二人とも、裸足であつた。裸の足のふくらはぎに、紫色の草の實が小さい音をたててはねかへり、雨に洗はれて流れて落ちた。

先きはまだ遠いらしかつた。沼地の向う岸に茂つた長い堤が見え、その遙か向うに雜木林をもつた低い丘の連りが小高く盛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り上つて市街をとり卷いてゐる。丘の右手よりの一ケ所が、小さな楔型に切れこんで、そこから白い空が光つてゐた。あれが峠で、私たちがこれから住むことになる村は、あの峠のすぐ下にあたるのだと母は教へてくれた。あそこまで歩くのは大へんだ。この調子では一時間も二時間も、いや夜になつてもまだ着かないかも知れないぞ！

猫は、私の腕の中で、なれない旅行におびえたらしく、しきりに身をもがいては、小さい主人の手や肩に、鋭い銀色の爪をたてた。

「痛い！」

私はもう疲れて怒りつぽくなつてゐた。私は猫を、沼地の眞中に叩きつけた。

猫は濡れた草の上をころがり、脊中に赤い草の實をつけ、雨の中に長いしつぽの槍を立てゝ、ニヤアと一聲ないた。

「どうした、噛みついたのかえ？」

母は私の顔をのぞきこんだ。

「こんな猫、捨てゝしまへ！」

右の手の甲にある赤いかき痕が雨にしみてぴり〳〵するのをなぜながら、私はすねた。

猫はまたないた。

母と私とは、じつと立つたまゝ、喉まで口をあけてニヤアニヤアないてゐる猫を見てゐた。

「捨てて行かうか。……」

しばらく考へてから母がいひ出した。

「うん。……」

捨てて行かうかといつた母の言葉の悲しい意味が子供の心にも映つて來た。母はこれからの苦しい暮しのことを考へて、猫なんか贅澤だ、可愛さうだけれども捨てて行かうと思ひなほしたのである。私にもそれがわかつた。

猫がまたないた。その聲に誘はれて、私はあわてゝ猫を抱きあげた。

「うん、捨てやせんぞ、捨てやせんぞ！」

頬ずりをすると、濡れた背中についてゐた草の實が、私の頬を刺した。

「まあお前、泣いちよるのかえ。…………馬鹿ぢやな、この子！」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けれども、さういつてのぞきこんだ母の眼の奥が同じやうに濡れてゐるのを私は見てしまつた。危く聲を立てさうになるのを、私はやつとこらへた。

「泣くもんか。………雨ぢや！」

「さうぢや、雨ぢや！ 男の子は泣かんもんぢや！ さあ、歩かう、歩かう。………その猫、抱いて、あぎようか。」

「ううん！ おれが抱く。」

私は猫をしつかりと抱いて歩き出した。

二

面白くない、不可解な（誰もそのわけを私に話してくれないので）事件ばかり續く大分港の家を、私はだん〳〵きらひ出した。父の亂暴は、日ましにつのる。私は母と二人でどこかに逃げ出したいと思つてゐた。母も同じ希望をもらした。二人きりでどこか小さな家でくらしたい。けれども、母はなかなか家を出る決心はつかないらしかつた。私はぐづ〳〵してゐる母に腹を立てさへした。

ある日とう〳〵母が、近いうちに家をひきはらつて、どこか遠いところに移らねばならぬかも知れぬと話してくれた。母は悲しさうに、そして重大らしい顏をしてゐた。けれども私は、母の豫期に反して、すつかり喜んでしまつた。

「二人きりになるんぢやな。お父つあんは來ぬのぢやらう？」

母は、さうだと答へた。私は半ば有頂天になつて其の日を待つた。

そしてその日が來た。簡單な荷物が荷車で先きに運び出された。母は二つの風呂敷を、私は猫を抱いて、出發した。

出發の前に母は、近所のごく親しい人だけにお別れをいひに行つた。そして行く先き先きで淚を流し合つた。私はそれがまどろしくて、早く早くとせきたてた。私は大元氣であつた。母が沈んだ顏をしてゐるのがをかしかつた。そして何かしら痛快な氣さへしてゐた。私は古い街に飽きかけてゐた。父が醉つては醜態をやるので、街中に恥しがつてゐた。それにこれから貧乏しなければならないといふことを母に聞かされてゐたので、同じ貧乏するなら知らない人ばかりのところでしたいとも考へた。私は、これから新しい生活が始まるぞといふ期待で一ぱいだつた。これから行く北太平寺といふ村には、きつと面白いこ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とが山ほどあるにちがひない。下検分に行つて來た母の話では、今度住む二階の下は廐で、栗色の馬がゐるといふ。その家の庭には赤い實の一ぱいなつたぐみの木があるといふ。素晴しい話ぢやないか！

けれども、すべての期待の中で、一ばん私を愉快にしたのは、母と二人きりになれるといふことであつた。

いよ〳〵母は父と別れたのだ。母の背中を蹴つとばして、不氣味な骨の音をたてさせて平氣でゐるやうな奴はもうゐないのだ。何んかといへば肌ぬぎになつて皿を割るやうな奴、そのくせ他人の前ではからつきし意氣地のないやうな奴は、もうゐないのだ。おれはお母さんに親切にしてやる。おれは孝行をつくすのだ。二人つきりで！　二人つきりで！

今になつて私は思ふのであるが、現在私がいだいてゐる強い女性主義は、この幼年期の母への熱愛と父への反感が大きな原因をなしてゐるのではなからうか？

フエミニズムは市民的な家族制度の解體、男子專制の打破、強い新しい女性の出現、女性そのものの獨立的な成長を希望する。成人した後、この學說に接した私は無條件にそれをうけ入れた。「現代の社會では、勞働する婦人は二重の鎖のもとにあえいでゐる」といふ辭句は、私にとつて決して空辭ではなかつた。私は大分港時代の母を思ひ出し、製絲工場時代の母を思ひ出した。母の思ひ出が、それらの言葉に生きた血と肉をつけてくれた。…………

三

かうした嬉しい期待にみちながらも、母とたつた二人きりで、見送る人もなく、雨の中を步いて行くときには、さすがに落人氣分にならざるを得なかつた。空氣は冷たかつたし、足もとの泥の中には砂利があつたし、もう永久に歸らないらしい港の街のことが胸のどこかをくすぐつた。

この氣分をちやうど、捨てられかけた猫のミユウミユウといふなき聲が代表したのだ。それで私も泣き出しさうになつたのだ。…………

一時間はたつぷり步いて、私たちは目的の村に入つた。

頂上に櫟の木や楢の雜木林と小さい社をもつた丘の根元に、二十戸あまりの藁屋が、古い垣のやうにくつついてゐる汚れた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

村であつた。村はづれに、黒い板塀にかこまれ、鐵の鋲のうつた赤い門のある工場があつた。これは製絲工場で、その工場に母ははいることになつてゐた。後になつてわかつたことだが。

濁つた水で一ぱいになつてゐる灌漑用の溝に沿つて、しばらく歩いた後、古い椋の木の下にある裸石の橋をわたつて、私たちは村に入つた。村は中にはいつて見ると、そんなに汚なくはなかつた。なるほど藁屋葺きの中はまつくらで臭ひがしさうであつたが、しかしどの家も廣い庭をもつてゐて、庭にはぐみの木や、いちはつの葉や、夏菊の花やが茂つてゐた。

をかしなことは、どの家の前にもある廣い坪は、鏝でなぜたやうに、平らで美しかつた。私はその一つを横ぎらうとして、小屋の中で藁を打つてゐた若い百姓に火のついたやうにどなりつけられた。母があやまつてくれた。この奇麗な運動場は、夏には麥を打ち秋には籾をする大切な百姓の仕事場であつた。雨の降る日にそれをふむと滅茶々々になるのだ。

私たちの新しい部屋は、村の西はづれの小高い場所にあつた。屋根は瓦でふいてあり、壁も美しく、なか／＼立派であつた。階下には栗馬がすんでをり、その隣りの土間でに、やはり若い百姓が、繩をつくつてゐた。

母は、母屋で米をわけてもらつて私にご飯をたいてくれた。おかずには、これも母屋から漬物をもらつた。

臺所ではなく、二階の階段に近いすみつこで、七輪の火をばたばたあふいで、飯をつくるのが、私には珍らしく、そして嬉しかつた。なにか母と二人で樂しい飯ごとでもしてゐるやうで。

私は先きについてゐる荷物の中から机をとり出し、その上に學校の本や雜誌などをならべ、新しい鉛筆をけづつたりした。

さあ、これからだぞ！

が、三日とたゝないうちに、私の新しい幸福はまためちやめちやに打ちこわされてしまつた。

父がやつて來た！　もう來ないはずの父が！

私は母に公然と抗議した。

「どうしてやつて來たのか！　歸へらしてしまへ！」

けれども母は、もう酒をのまないし、亂暴もしないと約束したから、一しよに暮してやるやうにしようではないか、とさう答へるのであつた。

作者附記――この續きは一ヶ月後に掲げます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



袋小路の同志たち

葉山嘉樹

私たち親子は、再び袋小路に追ひつめられた。

さうで無くてさへ、笊のやうな家なのに、暫くの間だつたが人間が住んでゐなかつたので、傳說の中の山寺の一夜、とでも云ふべき荒凉たる一夜であつた。

子供があつて、家財道具の無い生活と云ふものは、漂流してゐるボートの中の生活と同じやうに、とりつく島の無いものだ。

ボートが流木を見付けたやうに、翌日は、最小限度に縮められた荷が屆いた。

そこで、鮒のやうに、どん底の岩磐にくつついた生活が再び初められた。

私たちも好んでそこへ歸つた譯では無かつた。だが、外にどこへ行けば良いのだ。いよいよ行く處が無いとなれば、人間は××場にだつて××所にだつて、行つて惡いと云ふ法は無いのだ。地球から半哩先きへは、住む譯には行かなかつたのだ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鮑には鮑の仲間がある。海底の一つの淀みに似た此袋小路には籐細工屋、沖仲仕、正體のはつきりしない外交員と女郎上りのその女房、私の一家、M君——仕上工——の一家、とその袋の入口に製材所の倉庫があつた。

此の製材所の倉庫は、私たちにとつて苦が手であつた。そこにはいつでも『眼』が光つてゐるのだ。それは捻廻し見たいな『眼』であつた。

私たちは絶えず、此眼と闘つて運動を續けたければならなかつた。だが、運動と云ふものは生活と遊離してはゐなかつた。

生活費が充分にあつて、運動に沒頭出來るならばどんなにいいだらう。だが、それも變なものであらう。

私たちが歸ると、同志依田、大澤、谷本、石山君たちが、直ぐにやつて來た。そして、出來る限りの援助をして吳れた。

私たちが、その時代の窮乏に絶望しないで堪へ得たのは、同志愛があるから丈けであつた。それは兄弟の愛よりも親への愛よりも、もつと温かゝつた。

それは一人の子を育てる親の愛ではなくて、一つの階級を育てる大きな愛によつてつながれてゐたからだ。

依田はどんな事をやつても、破目を外した事が無かつた。彼の頭には正確で精巧なブレーキがついてゐた。彼の金の使ひ方はナショナル出納器見たいに嚴格であつた。だが、それは組合費の場合丈けで、依田自身が、やゝ金のある彼の弟から引つ張り出した時は、困つてる同志に皆やつてしまつた。此男には慾と云ふものが無かつた。金も名譽も、地位も、おまけに本能の慾さへも無いやうに思はれた。『聖人』と云ふのが彼の仇名であつた。

大澤は『糊』であつた。彼はどんな處にでも、貼りつけられたが最後動かなかつた。彼の鈍重な性格は、底の無いユーモアを持つてゐて誰でもが彼を好いた。

稀に榮養を補給するために、牛肉のコマギレで、すき燒なんかやると、最後まで彼は陣營を死守した。飯もお菜もすつかりになつた處で、

『どうだい、も少し飯を炊かうか？』

と訊くと、大澤は顏に微かな笑を浮べて、左の手を疊につき、右手を喉の邊まで持ち上げて、掌を左右へゆつくり動かす。

それはいつでも大食後の彼の習慣であつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

依田と大澤とは時々愉快な事をやつた。

爭議の切れ目などに、二人は、『今日は運動會だ』と云つて、握り飯を拵らへて出かけた。勿論、二人の後にはもう二人の「官吏」が跟いて歩いた。

夏の最中など、二人は砂つ埃の中を三里位はたつぷりある東築港まで、『歩いて』涼みに出かける。その歸りに今度は山で涼まうと云ふ事にして、たつぷり四里はある覺王山まで歩いた。

二人はそんな冗談をやるのが、稀の憂さ晴らしであつた。

谷本は未だ十九にもならない青年であつた。彼は『錐』であつた。又は白金の鍼であつた。

谷本が眼をつけたが最後、どんな處へでも突き透るのだつた。

彼は徳川御三家の一、金鯱城下の一家老の孫であつた。家は土地も持つて居り、財產もあつた。が、そんなものよりも、不良少年の力に魅惑を感じて、硬派の不良になつて終つた。そして不良よりも組合運動の方が彼にとつて、より魅力あるものになつた。

そこで、彼はピケツト係りになつた。

A爭議の濟んだ後、彼と清井との二人は、××××××工場の出口の、材木の間に潜り込んだ。

役附だの職長などの『大きく裏切つた奴』が出て來ると、いきなり谷本が××××食はせて、清井が×に『活』を入れた。

二人は相談の結果「分業」でやつたのだ。

その翌る日、谷本は昨夜の結果を報告した。

『俺あ今日Aの工場に參觀に行つたんだよ。』

『參觀だつて！　斷られたどらう。』

『うん。だから俺は門衞の野郎に云つてやつたんだ。「株主に工場を見せなかつたりなんかすると、手前の爲になるめえぜ」つてね。』

『ぢや、おめえはあすこの株主なのかい。』

『さうだとも、なあんて。株券は親爺が持つてるが、俺の名義のが少しあるんだよ。そいつをおいつ——俺と云ふ筈を「そいつ」と云つた後だつたので「おいつ」と、彼は云つたものだ。——が知つてたもんで、さう云つてやつたんだ。門衞の野郎、變な顏してやがつたつけが、株主名簿にあるもんだから仕方なしに通しやがつたのさ。それから工場中歩いてやつたらお前、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四人つか出てねえんだよ。スキャツプがさ。×××××××引いてやがんのさ。』

『總計で幾つやつたんだい。』

『總計かい？　はつきり覺えねえが、かつきり一ダース位だつたやうな氣がしたよ。』

『大量生產をやつたもんだなあ。』

『タン×のかい。止せやい。』

　こんな風な話の背後には、いつも飛び切り忙しい仕事が待つてゐるのだつた。全く此仕事と云ふものは、後から後からと限りの無いものであつた。早く一區切りつけ度いものだ。

　色々な事が引き續いて起つた。

　尾行をまくために、疾走中の電車に飛び乘り損ねて、次の停留場まで「手だけで乘つて」行つた鶴木と云ふ鬪士もゐた。

　袋小路の中の籐細工屋のおやぢが、餘りひどく小僧を毆るのに、私たちは抗議した。

『この野郎！　小僧を籐で引つぱたくたら、手前は鐵筋でひつぱたいてやるぞ。』

と、谷本が一番終ひに念を押した。

籐細工屋のおやぢは、自分の家の小僧を自分が毆るのに、前の家から苦情を持ち込まれるのは「譯が分らない」と云つた顏をしてゐた。が、谷本が、云つた以上は必ず、鐵筋で打ん毆ると云ふ「事實」を知つてゐたので、

『わかつた。』

と答へた。

　此袋小路の中の人たちは、私たちに一種の好意を持つてゐた。それは私たちが家主に交涉して、家賃を三割下げさせたからであつた。しかし、一方、私たちを迷惑に思つてゐた。何しろ、こんなに毎日「旦那方」に張り込まれてちや、肌脫ぎ一つうつかり出來ない、と思つてゐた。私たちとは變つた見方から窮屈でならなかつたのだらう。

　此袋の中は揃つて貧乏してゐた。

　そこでは、米を一斗も買ひ込んだ。と云ふ事は長屋中の羨望の的になつた。『馬鹿に景氣が良いなあ』と云ふ言葉で囃された。

　私の家とM君の家とが、その中でも景氣が惡かつた。

四錢だけ銅貨を出して、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

『炭を買つて來てくれ。』

と、谷本に頼んだ時、彼は頭を掻いた。

『半端だなあ、せめて五錢とか十錢とかつて譯にや行かないのかい。』

『ううん、これでかつきりなんだ。小笊一杯四錢と書いて店先に出してあるよ。風呂敷を持つてつてくれ。笊ごとぢやねえんだから。』

と私は答へた。

然し、こんな風な生活にしても、私が何か職業を探し出さなければ「親子心中」か「人間の乾物」まで行きついてしまふに違ひないのだつた。

私は水夫上りだつたので陸の仕事には、嵌りが悪かつた。その上性來のズボラであつたし、物事の數と云ふものが、私にとつては非常な重荷であつた。

數學など〻云ふものが必要であると云ふ事は、小學校時代から私を苦しめ續けた。そして、此、缺けた私の能力が、世の中を渡つて行く上にどんなに大きな苦痛を與へたか。

私は、若し金入れを落したとしても、十二錢入つてゐたか、十七錢入つてゐたか、と云ふ事をはつきり返事する事が能きない。

金と云ふものは、無ければ「人間の乾物」を拵らへる程のものだ。が、有ると、解き得ない方程式を頭の中一杯押し込んだやうなものだ。

此、不愉快極まるものを「貯める」のに、命がけで眼を血走らせてる奴を見るのは、私を憎悪でパンクしさうに膨れさせる。

糞づまりの好きな奴は、勝手に汚物を腹ん中に貯めとくがいいや。

それにしても、私だつて入るだけのものは入る譯だつた。何でも構はない、算盤を撥く以外の仕事を探し歩いた。

仕事があつた!

旭通信社記者、と云ふのであつた。私たちは、一家揃つて大きな息を一つ吸ひ込んだ。

『ふうう、これで漸く安心した。』

と私は云つた。

『あ、あ、よかつたわね。』

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と喜和子が同時に云つた。

ところが、通信社そのものは大いにいいのだが、經濟的基礎が良くなかつた。その上にそれはたつた今、殼をつゝき破つてピーヨピーヨと鳴き出した許りであつた。

だが、何にしても、そんな事が入社當時から分るものではないのだ。よしんば又、分り拔いてゐたにしても、どうして飛びつかないでゐられやうか。子供の飢ゑるのに較べれば粥だつて貴重ではないか。それに、そんなにひどい藥でも無かつたのだから。

旭通信社の社長兼主筆、兼會計課長兼廣告係長、は、先月まで大朝の支局長をやつてゐた、法學士檜山實と云ふ男であつた。

色の白い、髮と髭の黑い美男子で、未だ若かつた。社會主義的な思想を持つてゐた。

そして、私たちのやつてゐる研究會の會場に、自分の家を貸して吳れたりした。

私は思想又は行動では、今度は馘首のおそれは無かつた。

旭通信は「變人通信」と呼ばれた。

それは社長が變り者の馬鹿正直の處へ、私が加はり、も一人凄いのが一枚加はつた。

その男はもう五十近い年配であつた。中學の英語の先生を方々でやつて來た經歷と、そのどこでもを首になつた經歷を持つてゐた。『英語は素晴らしいものだ』と、社長自身が認めた。

彼が旭通信を訪ねて來た最初の日に、給仕は彼を乞食と間違へてしまつた。

新聞廣告を見てやつて來た彼は受付けで、

『何か口はありませんか？』

と、給仕に訊ねた。

『此處は事務所だから無いよ。』

あつさり給仕は斷つた。『何か食ふものを吳れ』と云つたんだと思つたのださうだ。

『社長さんか社員の方に會はせて貰へないでせうか。』

そこで給仕は、檜山君の處へ行つた。

上つて來た彼は、曾て英語の先生では無く、漢文の先生でもしてゐたらしい風貌であつた。白地の浴衣が囚衣ほども色づいてゐた。が、社長と對談してゐて、少しも卑屈な處が見えなか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つた。中味は空つぽなのに、風采で人を威さうとする、事件屋風な厭味が些かも感じられなかつた。

——此人も善良すぎるのだな。——と私は思つた。

『で、君は何で、その、それ丈けの學問を持ちながらですね。君は、その、しくじつたんですか？』

と、檜山社長自身で「そんな馬鹿な事を訊ねるなんて」と白い顔を眞赤にしながら聞いた。

『酒ですよ。世間ぢや、酒と女つて云ひますが、私の奴あ、女拔きの、酒一點張りでしてね。どうもねえ。』

彼は善良な人間のみのよくする笑ひ方を、その後につけ加へた。

『ほゝう、酒一點張りでねえ。』

私は側で聞いてゐて吹き出してしまつた。

檜山はフロックを着た社長であり、囚衣色の浴衣の男は、採用を願つてゐる求職者であつた。會つた最初にはそれがどちらにも意識されてゐたが、今、酒——それは檜山をも人生の底へ沈澱せしめつゝある嗜好物——の話に落ちると、二人共、一度に裸になつてしまつた。

『あなたは正直ですねえ。』

檜山が云つた。

『馬鹿に近いですよ。あつはつはゝ。』

と、その男は笑ひながら答へた。こんな求職者つて者が、さうたんとあらうか。

私は側で、ニコ〳〵しながら聞いてゐた。

『君は新聞記者の經驗がお有りですか。』

『えゝ、ジヤパンアドヴアタイザに居ましたが、その時分は眞物の洋酒が安く手に入りましてねえ。そいつがどうも、今から考へるとねえ。』

『なるほど！ ふん。あなたは人から惡口許り云はれて來ましたね。その上、自分でも自分の惡口許り自分に言ひ聞かして來たと云ふ奴ですね。いや、どうもよく似てるね。』

『誰にですか？』

『はつはつはは。』檜山は下腹を波打たせて笑ひ續けながら云つた。『うちの連中皆にですよ。私もですがね。』

その男も河馬見たいに口を開いて笑つた。その歯には汚ない滓が一杯くつついてゐた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

どう見たつて、立志傳中の人物は一人もそこにはゐなかつた。

「可哀相なものだ」と、誰か他の事を思つてゐなければ、自分自身が可哀想な人間ばかりであつた。

その男は、その日から勤め初めた。すぐ、私とも仲良しになつた。

『君濟まないが煙草を一本』

私が朝日を出すと、吸口の方へ火をつけた。『かれえ!』

さう云つて、焦げた吸口を啣へて、テーブルの上へ足を投げ出した。

『君の家はどこなんだい?』

『蘇鐵町だよ。』

『ちやあ組合の事務所の側だな。』

『組合かい、知つてるよ。あの邊だよ。』

『あの邊のどこなんだい。何番地なんだ。』

『決つてねえんだよ。木賃宿だからな。無料にも稀にや行くがね。』

『子供は無えのかい?』

安井は暗い顔になつた。急に濃いガスが彼の頭の中に一杯になつた、と云つた風な表情をした。

『有つたんだが、……生きてるんだか、死んだんだか分らないんだ。』

『子供が可哀想だね。君見たいな親を持つちや。』

『生きてゐれば、もう嫁に行く年頃なんだがね。俺は一杯やり度くなつたよ。飲んでる時はまん更でも無えが、さうでない時は、何の爲に俺見たいな奴が場所を塞いでゐるのか、分らなくなるんだ。こいつが俺に一番いけないんだ。安井、こらこの飲んだくれ、手前は何の爲に、どんな積りで、生きてゐなけやならないんだ! こいつが俺の惡魔だ。君見たいに春秋に富んでる譯では無いんだからね。一體、自分が、不必要な人間である、と云ふ事に氣がついて、それで人間がジッとしてゐられるかい。ところがやる事は無え。英語を敎へる。それが何になるんだね。俺の飲み代を稼ぐ丈けの事ちやないか。語學に向かない子供を、金を取つていぢめる丈けぢやないか。そこで俺は講壇から酒臭い英語を發音する。生徒はべらんめい口調の發音を覺える。一週に一度來る外人宣敎師奴は、それは正式の發音で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は『ありましえん』と抜かしやがる。俺の事あ打つ捨つといて臭れ、と俺は云ふんだ。だが、俺は學校の先生をする爲に生れて來たので無い、事丈けは分つたんだ。さうかつて、その外の處にも場所が無えんだ。』
『場所は出來てはゐないよ。掘らなけやいけねえよ。狐だつて掘るぢやねえか。』
『だが、狐は穴ん中で「何の爲に俺は穴を掘つてまで生きてるんだ」なんて考へないだらうからな。』
『君は、何か一つ、慾を見付けなけやいけないね。生れ立ての赤ん坊や白痴は、何にも考へないで生きてるんだからね。君だつて「物思ひに沈みながら」又は「やけくそ半分」で生れて來た譯ぢやあるまいからね。』
『俺も、自分ながら變だつてこたあ知つてるんだ。「何のために生きてるつてことを、何のためにそんなに氣にするんだ。」つてことを自分で考へた事もあるんだ。だが、何だぜ。君、こいつあ病氣だね。俺は酒を飲まない時は「何のため」ばかりを考へてるんだ。「何のために、あそこにあんな木が生へたんだらう。大雨でも降りやあ、あの岩毎落つこちるのになあ。」「何だつてあの若い母親は、キヨロ〳〵電車の中許り見廻してゐるんだらう。ほら子供が窓から體を乘り出したぢやないか。チエツ、この、何だつて人に氣を揉ませやがるんだらう。」ざつとこんな事許り考へたり、ハラ〳〵したりしてるんだ。何のために、俺はさう一々、色んな事を知らなけやならないんだらう。何だつて俺は！ おい、一杯飲みに連れて行かねえかい。』
　安井は喋舌り終つて、笑はうとしたやうだつたが、それは惡寒のする時見たいな表情であつた。
『君は、君自身に許り探りを入れるからいけないんだよ。「何のために俺は苦しむんだらう。」を、「何のために無產階級は、今のやうに苦しまねばならないだらう。」に代へて見たらどうだ。さうすると、いろんな材料が出て來る。ひつかゝりが澤山ある。「俺は一體何だ？」にしても「俺は俺と同じやうに苦しんでゐる多くの人間の中の一人だ。」と答へられる。「何故こんなに澤山の人間が苦しまねばならないか？」「それは人間が經濟的に足をかつ拂はれてゐるからだ。」だん〳〵謎はほぐれて行くさ。』
『世の中あ變つたもんだなあ。俺の生活見たいな君がそんなことを云ふんだもんなあ。だが、もう、俺には遲すぎる。俺はも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

うすつかり疣の除れた卸金見たいなもんだ。灰掻きにもならねた。』

さう云ふと、彼はすつかり草臥れてしまつた、とでも云ふやうに急に默り込んだ。

私は此男にものを敎へる、などゝ云ふ事は思ひも及ばぬ事であつたし、長い間五十近くまでも、あらゆる苦痛な生活の中で考へ續けた結論が、一度つ切りの話でひつくりかへる譯のものでも無い事を知つてゐた。

安井のやうな、箒星見たいな性格も、私は數人知つてゐる。それは一時、人の前にぼんやりと、又はハツキリと姿を燒きつけるが、そのまゝ行つて終ふ。そして、二度とは會つて知つた者の前に現れないのだ。

旭通信に勤めるのに、住所が決つてゐないのは不便でもあるし、不自由でもあらうと、私の家へ來るやうに話した。

『いや、ありがたう。だが僕はサボテン見たいな人間なのだ。遠方から見てる分にはいいが、握ると刺が立つんだ。見る丈けにしといてくれ。』

さう云つて斷つた。

彼がサボテンであるか、どうかは分らないが、一ケ月許り居て、そのまゝ消えて居なくなつてしまつた。誰も安井から「さやうなら」を云はれた者も無ければ、云つた者も無かつた。

安井が子供の事を心配してゐるのは、私たちにも察しられた。彼の放浪癖は、娘を探す動機から生れたのではあるまいかと、私は思つてゐる。

安井の性格から、私は一つの事を學んだ。それは自分のあら許り探してる者と、他人のあら許り探してゐるものとの、二つの人間の型である。私は彼と會つて後、先づ人をこの二つの型のどちらに近いか、を試す事に興味を持つた。多くの者は色々な割合で兩方が入り混つてゐる。が、中には明確に前者の性格もあり後者の者もある。

明確に後者の性格を具へた者はスパイの型であり、高利貸の型である。呪はれてあれ！

旭通信に一人の女事務員が居た。須田千枝子と云つた。その人も、東京から講師が來て、檜山君の家で研究會を開いた時に列席して、それからずつと鬪士生活に入る決心をした。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

須田さんは、嘉和を守しながら、いつ産れるか分らない、大きな腹をした女房を見兼ねて、私の家を手傳つて呉れた。

須田さんは體が弱かつたので、氣の毒であつたが、私たちは助かつた。

その中に通信社の方が、經濟的に衰弱を始めた。

檜山君は尻に火のついたやうに、物狂ほしく驅け廻つた。私も、それが倒れゝばパンの道が無くなるので、内容を充實させるために、全力を傾注した。けれども駄目だつた。徒勞に終つた。旭通信は人手に渡つてしまつた。

檜山君は、知人の世話で樺太の鐵道で飯を食ふ事になつた。

父は又失業した。

父が失業すると間も無く、十二月の十二日の朝、民雄が産れた。それは一九二二年の冬の事だつた。

『ダ　ンシウマルボ　シトモニケンコウアンシンセ』

父は直ぐに、九州の祖父の處へ電報を打つた。

民雄は樂に産れた。と云ふよりもお前を産むのにお前の母親は、安産であつた。産婆さんもびつくりする程「輕かつた」と云つた。

そしてお前は大きな、重い赤ん坊だつた。

『まあ、大きな坊ちやんですよ。』

と産婆さんは云つた。

母ちやんは赤坊の産れる時と同じに、父ちやんの手を握つてゐた。

『男ですか。』

と、父は汗で眼鏡を曇らしながらも、笑ひを洩らすだけの力のゆとりが出た。

室の中には七輪が二つと、火鉢が一つに口火が熾してあつたので暖かゝつた。

須田さんがお湯を沸して、盥に一杯入れて呉れたので、蒸氣と炭火とで、室が暑かつた上に、父は母ちやんと一緒になつて、いきんでゐたのだつた。暑くて汗が出た筈だと後になつて笑つた。

子供の事を書く位、ペンの重くなる事は無い。それは神經に燒鏝を當てるやうだ。子供たちは、だが、もつと〱苦しかつたであらう。その事を思へば、此父の苦しみ位は何でもあらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

民雄が產れたと云ふ事は、これから生きて行かねばならない、育てて行かねばならない、事を意味してゐた。その時にかつきり此父は失業常習者になつて終つてゐたのだ。

これは何に例へ得るだらうか。追ひ詰められた落人が斷崖の上まで來て、行き詰つた、などゝ云ふのでは、迚も實感が出ない。例へなんか拔きだ。

『どうして、此上の入費を拂つて行くか。』それは不可能な事であつた。子供が可愛いければ可愛い程、その心遣ひも大きくなるのであつた。

『何とかして育てたい。』

ところがどのやうに、父母が心臟を燃すやうにして、此問題に夢中にならうとも、此時代では他の子供の事などは、とてもプロレタリアには手が廻らなかつたのだ。惡くすると此父のやうに、自分の子供にさへ手が廻らないのだ。

K醫師は嬰坊の助けの親であつたが、民雄の出來る前、『今度產れたら僕に下さいね。』

と、しよつ中云はれてゐた。

――いつそK氏に貰つて貰はうか。さうすれば家にゐるより育つ率は遙に多い。――

と、此父は心の奧の方で、誰にも分らないやうに、秘密に此考へを裏返したり、表を出したりして、ひねりまわしてゐた。

だが母親が、民雄が鼻を詰らすと、それを自分の脣で吸ひとつて、息の樂に出來るやうにしたり、未だ眼も見えないやうな赤ん坊に、夢のやうな未來の「幸福な世界」を話したりしてゐるのを見ると、父は一人で暗い隅つこに行つて、顏の赤くなるのを胡魔化さねばならないのだつた。

窮迫は甚しくなつた。母や父の熱愛丈けでは乳は出ないのだ。私は、その時に思つた。

――どうして男から乳が出ないんだらう。何と云ふ不便な事に出來てるのだらう――

と。

赤ん坊が腹を空かして泣くのを、默つて聽いてゐられる者があるだらうか。

『どうだらう。K氏に育てゝ貰ふやうに賴んで見やうか。』

と思ひ切つて、此不甲斐ない父はお前の母に相談して見た。

『いけません。此子をやる位なら、此子と一緒に私が出て行き

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ますわ。』

とお前の母は答へた。それは斷乎たる返答であつた。

然し、その言葉は父を力づけてくれた。父はその言葉に勵まされて、晴れ〴〵とした氣持にさへなつた。

『何、民雄一人位はどうにでもして育てる。俺の肉のスープでも拵らへてやる。』

父ちやんと、母ちやんはさう決心した。

可愛いい子供を親の手から離して、他人の手で育てゝ貰ふ。そして、その子はその人を親と思ひ込んで終ふ。それは子供に對して親の大きな冒瀆ではあるまいか。赤ん坊の時から欺して終ふ。どんな赤ん坊だつて、赤ん坊の時からなら欺されるに決つてる。

何故、最も深い愛を持つてゐる産みの親が育てないのだ！

どうしても育てたいのに、育てられないやうならば、世の中のカラクリに悪い處があるのだ。御覧、親子心中だの貰子殺しだのと、新聞に出て來るのだつて、見ては居られないではないか。

こんなむごたらしい出來事が、日本の一九二〇年度には、些も珍らしいことでは無かつたのだよ。

何と云ふ世の中だつたのだらう。

民雄よ！

お前の腑甲斐ない父は、その家族を養ひ切れないために、危く、お前を欺すとこだつたんだよ。もつとも、實際は、その間際になつて欺さないで濟んだのだが、兎に角く、冗談で無く、本氣になつて、父はそんな事を考へたことが有つたんだからね。何と云ふ父ちやんだらう。濟まなかつたね。勘忍しておくれよ。民雄。

『あれが實際に現れないでよかつた。』

お前は、丈夫に、可愛く、ゴム人形のやうに肥つてくれるし、お前のお蔭で、嘉和が全で生れ變りでもしたやうに、丈夫になつたんだよ。

一人の子供では遊び相手が無いが、二人では相手がある！

その後お前たちが、揃つて二本の木のやうに延びて行くのに連れて、お前たち兄弟のやり方が、どんなに父ちやんたちを喜ばせたり、笑はせたり、稀には困らせたり、途方に暮れさせたり、したか知れなかつたんだよ。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

少し大きくなつて、民坊が歩けるやうになつてから、二人でお菓子を買ひに行く時など、父は涙を流して喜んだ。嘉和が民雄の「お手々」を引いて『うれしいね。おかしを買ふんだよ』と云つて聞かせると、

『うれちいね。うれちいね。』

と云ひながら、よち〳〵と引つ張られて行くのだつた。

『子供は一人より二人だ！　あんなに頼り合つてる。良かつた！』

と、父は民坊をどこにもやらなかつた事を、どんなに喜んだか知れなかつた。

　事實、民坊が一人殖えたからつて、その苦痛は云ふに足りないものだつた。そして、喜びはそれに較べて、どんなに大きかつたか。

『父ちやん、間違つたね。』

『父ちやん、惡かつたね。』

と、間違つて父ちやんが叱つた後で、お前たちにあやまると、よく、お前たちが片言でその眞似をし、終には、父ちやんが叱言でも言はうものなら、その言葉の終らない中に、お前たちは言ふのだつた。

『父ちやん、間違つたね。』と。

　全くだ！　確に父ちやんが間違つてゐたんだね。惡かつた。

　勘忍しておくれ。

　民雄よ。

　嘉和よ。

祖父の死

　民雄が産れて間も無く、一週間も經たぬうちに、郷里から電報が來た。私は何氣なく、出産の祝電だらう、位に思つて開くと、

『チヽキトクスグ　カヘレ』

私は、心臟の上をドカンと毆られたやうにギクツとした。そして無暗に慌て出した。

『旅費だ！』さう思つた次の刹那に、馬鹿な私は『土匪だ！』と何故だか思つた。これは洒落でも語呂合せでもない。人間

は、ひどく切迫詰つた時なんか、變なその事件と關はりのない事を、思つたり感じたりするものなのだ。尤も、こじつければ、その場合の私は「旅費」を作るのに、「土匪」的手段を取る以外に法がつかなかつた。とも云へる。

私は惡い奴だ！

――おやぢが死ぬ。待てよ、葬式費用位は殘してあるかな。うん、それに、何だ、香典て奴は馬鹿にならない。それとおやぢの刀劍がある。あいつを賣り飛ばす。大丈夫だ。殘る。電報爲替で家へ送る。ねえ民坊、おぢいさんは死んで、お前を養つてやるんだつてんだよ。嘉坊、お前には門司から、新らしい臺灣バナヽを買つて來てやるぞ。――

なんて事を私は考へた。良くない傾向が私には有る。だが、さつくばらんに云つて終へば、親より子供の方が可愛いいに決まつてる。順送りだ。

そこで、私はK醫師から五圓。高利貸がやいやい催促してる間に、一足先に私が借りちやつた。K氏にしたつて、高利貸に五圓分捕られるよりも、私に投げ出した方が、金が生きて來ると云ふものだ。

ところで、五圓ぽつきりぢや名古屋から先を歩かなけりやならない。こいつはいけない。

丁度、旭通信を渡して、自分は樺太へ押し渡る檜山君が、旅館で出發の準備をしてる事を聞き込んだ。よろしい、彼は北の端や、私は南の端へ。流れる者は流れる者を救へ！

「おい十圓くれ。親爺が死にかけてんだ。」

電報を見て、檜山は快く彼の萎び切つた紙入れから、十圓出してくれた。

十五圓の中から一圓五十錢を家に殘して、私は獨り、その夜の急行列車で、再び故郷へと旅立つた。

私は汽車、汽船、徒歩、何でも旅は好きであるが、此場合の旅は、餘りいいものではなかつた。「家に一圓五十錢つ切りねえんだぞ。それで數日持ち堪へるんだ！」

と、家から離れゝば離れるほど氣になつた。時は年末であつた。人々は忙しさうにしてゐた。

が、私たちには、正月も、盆も、祭も無かつた。あるものはいつも大晦日丈けだつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

暮の汽車は割合に空いてゐた。だが、私は眠れなかつた。汽車の三等で寢るのには、私は足が長過ぎた。そこで位、私は私の足に迷惑をする事は無かつた。それは、さうで無くてさへ憂欝な私の考の中に、猶一層重い足どりを加へた。

『間に合ふだらうか。今度はもう迚も助からないだらう。或は、もう死んじまつたんではあるまいか？』

と氣遣ひながら、おやじと暮した幼い日、若い日の生活を思ひ出した。

その思ひ出の間に、ひよつこり民坊の赤い顏が、汽車よりも速く追つかけて來たり、嘉坊のいぢらしい樣子が思ひ出されたりした。

嘉坊は滿二つにならないのだから、おつぱいを未だ飲んでゝもいゝんだのに、民坊が產れたゝめに、おつぱいが呑めなくて悄氣切つてゐた。それでも『自分の弟が生れたんだ』と覺つてると見えて、民坊がおいしさうに、おつぱいに吸ひついてるのを羨しさうに見ながら、泣きもしないで、お菓子で滿足してゐたり、民坊が生れてから父ちやんと許り寢るやうになつた事など、ゴツチヤに思ひ耽つた。

翌日の夜、門司發行橋着の終列車で父は終點驛へ下りた。そこから支線で次の驛が豐津であるが、そんな夜更に汽車が接續する必要の無い支線であつた。

眞つ暗な夜であつた。年末に迫つた寒い夜であつた。夜の十二時半であつた。そこから一里餘りを步かねばならなかつた。驛の前の宿屋は雨戶を半枚丈け開けて、『泊るんなら泊めてやるよ』と云つてろやうに見えた。

私は腹が好いてゐた。が、ゴタ〳〵何か拵らへるのを待つ氣にはなれなかつた。

『構ふもんか。步いちやえ。いくら暗くたつて、鰻の胴丸を擦きながら步いた調子でやつちやへ。線路傳ひに行つちやへ。』

驛から暫く行くと長い鐵橋がある。

そこへかかる時、私は、小さな手提鞄を口に啣へて、使ひをする犬のやうに四つん匍ひになつて、踏板の上を渡り始めた。五六間匍ふと、線路へ耳をつけて、レールの上を汽車が來るか來ないかを試した。いけない！ 凄じい音がするのだ。啣へた鞄を離して、後ろを見る、が、汽車は來ない。又、鞄を啣へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て佪ひ始めた。

ピーッ、と汽笛が聞えた。

私は、慌てゝ枕木の端の方へ避けて、線路の兩方を瞶める。が、何も來ない。

『畜生！　狸の奴が化かしやがつたかな。』

と思ひながら、又、佪ひかけやうとするとピーッと鳴つた。

『ゴッデム。ナアンダ、機關庫の入れ換えでゐやがらあ。』

私は、寒い、眞つ暗な鐵橋の上で、犬のやうに佪ひながら、顏を赤くして苦笑した。

鐵橋を渡り終へると線路の横の、巡廻道を歩き出した。オーバーが薄くつて、破けたり、裏が取れたりしてゐるので、寒かつた。

『急げば溫るわい！』

いきなりスピードをかけて、五六歩目に、いやと云ふ程標識を蹴飛ばして。前へ詰んのめつて、凍つた砂の上で手をすり剝いた。

『ゴッデム！　闇夜にや片附けときやがれ。間抜け奴！』

私は大きな聲でさう怒鳴つた。聲は闇の中に吸ひとられた。

『足許に氣をつけろ！』

私は盲目のやうに、足許ばかり見て歩いて行つた。暫く行くと、今度は「踏み切り注意」の腕木に抱きつかれた。

『おい〳〵、懷しくもあらうが、さう頑固に抱きつくなよ。肋骨が折れつちまふぢやねえか。』

標識と、踏切注意と、踏板の無い小鐵橋とには參つた。だが、道に出るのには、もう餘程離れてしまつてゐる。

線路の眞ん中を歩けば、一足毎に枕木に凍えかけてる足を打つつけた。

『行路難、行路難。』

闇の中で、誰も見てゐる者が無かつたので、私は泣き聲で呟いた。

――俺たちの行く道は、全く此通りな道だ。標識まで邪魔をしやがる。――

だが、『死にかけてゐる父は、もう直ぐそこで呻吟してゐるのだ。』と思ふと、ゆつくりした氣にはなれなかつた。

急いでは打つ衝り、急いでは抱きつかれた。

それでも、大方、半分道は來たゞらうと思ふ頃、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

『誰だッ！』
と怒鳴りながら、いきなり、線路傍の藁積の中から、三四人の男が飛び出して私を取り卷いてしまつた。
私は默つてゐた。
『あんまり、おどかすなよ。』
と云ひ度かつたのだが、「あんまりおどろいた」ので、一寸言葉が出なかつた。
その男たちのうちの二人は、もうしつかりと私の兩手を掴んでゐた。
『誰だ？ 貴樣は。今時分どこへ行くんだ？ どこから來たか？ 云つて見ろ！』
――ハハーン――
私は分つたので答へた。
『豐津へ行くんだよ。』
『どこから來た？』
『名古屋から來たよ。』
『豐津のどこへ行くんだ。』
『HYMへ行くんだ。』
『お前はどこに住んでる、何と云ふ者だ。』
『名古屋に住んでるHだよ。冗談ぢやない。おやぢが死にかけてるんだよ。行橋で汽車が無くなつたから慌てゝるんだよ。』
『やあ、どうも失敬。年末で盜難が頻々と起るもんだから、今夜は非常線を張つてるんです。お通りなさい。だが、なる丈けなら大きな聲で歌でも唄つて行つた方がいいですよ。でないと又やられますからね。』
『いやどうも、御苦勞樣。』
家へ着いたのは二時を過ぎてゐた。
玉松のおばさんが、祖父の枕元にゐて看病してくれてゐた。
『電報では、今夜歸られるとしてあつたけれど、餘り晚いのでどうなすつたかと心配してゐました。よくお歸りになりました。』
『どうもありがたう御座いました。色々御心配をかけて濟みません。』
それから私は父の枕頭へ座つた。
『たゞ今歸りました。御氣分は如何ですか。』

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

『おゝ、嘉樹か』

父は割合にハッキリした、然し、低い聲で云つた。

仰臥した兩つの老いた眼に、清水のやうな涙が湧いて、溢れて、兩方のこめかみから、耳の方へと流れた。

靜かな涙であつた。

その涙を透して、父は私を瞶めた。

私も、涙に曇つた眼鏡を透して、靜に死を待つてゐる父を見た。

長火鉢の嫌ひな父は、瀨戸物の火鉢で、昔と同じく鐵瓶のチンチン鳴くのを、ジーッと聞いてゐるやうだつた。

玉松のおばさんは、矢張り眼に涙を溜めて、私に言つて聞かせた。

『今夜お歸りになると云ふ電報を見て、昨日から、どんなにお父さんはお待ちになつたか分りませんよ。「嘉樹は未だ歸らぬか。」「嘉樹は未だか。」つてね。十分に一度位づゝお訊ねなさるんですよ。さうかと思ふと、ズーッとよくお寐られて、三時間も五時間もお寐り續けられるのですよ。そしてお目覺めになるとすぐ「嘉樹はどこへ行つたのだらうか。」などと仰言つては、あなたの事をお訊ねになるんですよ。まあ、御覽なさい、お喜びになつて。』

玉松のおばさんは涙を拭いた。

村中の爪はじきになつてるやうな格好の私を、父はそれほども氣遣つてくれてゐたのだ。

『今夜はそれに、あなたがお歸りになる日だから、オチ／＼お寢らなかつたんですよ。「もう歸るだらうなあ、玉松さん。今、何時でせうかなあ。汽車は何時に着くんでせうかなあ。」と云つては、時計を見なさるんですよ。それがあなた、つい今しがた、たつた一分か二分前に見られたばかりなんですよ。だからわたしが、「あなたのやうにさう時計ばかり見て居られても仕方がありません。時計が減つて終ひますよ。それより靜にして待つてらつしやれば「もう歸つたか」と思ふ程早く歸つて見えますよ。嘉樹さんだつて汽車の中で、氣が氣ではありますまいから。嘉樹さんは氣が短いから、汽車の屋根の上を驅け出し度い位に、焦れてらつしやいますよ。きつと。」つて、わたしお父さんに申し上げたのですよ。』

『どうもいろ／＼ありがたう御座いました。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

父が私を思ふ心を聞いて、涙を新にした。

父は、暫くたつて眼を見開いて云つた。

『よく、早く歸つて來てくれたのう。』

そんな風な言葉で、私に話しかける父では無かつた。私は暫くものが云へなかつた。

家の中は、父と一緒に息を引き取る決心でもしてるやうに、何もかもが煤けて、古びて、沈み込んでゐた。

『電報を見ると直ぐ歸つて來ました。終列車が行橋止りだつたので、行橋から歩いて來ました。男の子が又産れました。親子とも達者です。早くよくなつて次男坊も見てやつて下さい。』

——もうお父さん、今度はあなたは死にます。仕方がありません。その代り、お父さんの血の流れた男の子が生れました。

と、私は云ひ度かつたのだつた。

事實、今度は恢復の望は無かつた。ひど丶衰弱してゐられた。口を利くのも非常に臆劫さうであつた。民雄、祖父の血の流れた、亂暴者になるに決つてる孫の顔も見ないで、逝つて終うんだと思ふと、又、私はものが言へなくなつた。

此前來た時と、今度との父の弱り方は驚くほどだつた。炊きつけにする小枝ほどに痩せて居られた。

『こんど、寫眞を送つてくれ。次男のと、皆で撮つて。』

『え丶、直ぐ撮るやうに云つてやります。』

死にかけた父に、「寫眞代がありません。」など丶、答へられる譯のものでは無い。

『民樹、今度は俺は死ぬ。だから、光子にも歸つて來いと云つてやつたが、未だ來まいのう。』

『まだのやうですね。明日一杯には歸れるでせう。』

光子は、私の異母姉である。看護婦になつて朝鮮に稼ぎに行つてゐた。

その姉も歸つて來るのだ。矢張り父は、今度こそは子供たちと別れを告げる決心なのだ。

それにしても、父は妻——私の母——には會ひ度丶ないのだらうか？ 母が私と共に生活をしてる事を、父は知つてゐるのに。

父は、私の母については、一言も云はなかつた。

（長篇「誰が殺したか」の一節）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



足・デパート・女

室生犀星

足

化粧部屋で支度をはじめてください、
受附順にお呼びしますから直ぐにその幕から出て入らしつてください、
下着をお持ちの方はそのまゝでいいんです。
人員が多いものですからけふは四時に切り上げます。
自分でご勝手にからだに合ふのを着てください、そして番號を覺えて置いてください。
出來る丈け早くねがひます。
もひとつ御注意したいのは時間は十分くらゐしかお一人に振り當てられてありませんから、その時間内で出來るだけからだの運動を心得てください、
監督は一人づつ見る、足、手、胸、
監督は頭を左のほうに小突くやうに振る、女はそのまゝ幕の外に消える。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次の女がまた辷り出て來る、監督は足を見て頭を振る、次の女がにこにこと幸福さうに笑つて出て來る、その笑ひ顔と反對に長い胴を見て監督は不愉快げに頭を振る、監督は頭を振る、鈎がたの足や膨れ過ぎたのや表情のない棒のやうなのや餘りにほそさんなるものを見て頭を振る。監督の眼に白い縞のやうなものが網膜にへばりつく、白い縞は伸びチヂみする、ゴムと蠟の硬さだけしか感じられない、監督は頭を振る、女が辷り出て指定された白墨の線の上をあるく、地球儀のへりを歩くペングイン鳥の危ない足どり、快活で膝のうらでくすくす笑つてゐる女も監督は興味なささうに鳥渡見ただけである。

監督は頭を振る、女が次から次へと現はれては消える、助監督は寫眞を添えた履歷書をひつぺがしてゆく、その紙のあふれで花瓶の草花が搖れる、女が現はれては氣取つてあるく白墨の上、もう時間は十分なんかかからない、助監督はアゴでしやくつてゆく、支度部屋で黄ろいのや紅いのや種々な埃が立つなかで、女は着ものを着ける、そして街路の明るいカツとした鉛めいた暑熱の道路に出て行く。

監督の味も卒氣もない冷たい眼、
のしかかる沈鬱な氣持にカツと日の光が射る、
女と女と女と落第した足と足と足、
ヒモじい悲しい、
監督といふ人間は戀愛を知つてゐるだらうか、
あれで女に優しくする時があるだらうか、
街はまがり動くものは曲り、辷る道路は鉛を敷きつめたまゝ曲り、
電車と自動車と騎馬と自轉車は曲る、
カフエでは夕方の打水、控え目な音樂、
彼女らは新しくカフエの女を見る、化粧品店の屈托のなさそうな娘を見る、
ヒモじい悲しい、
足が神經質に何か考へ詰めてトツトツと歩いてゆく、
何んにもならない足と足と足、
監督は依然テエブルに靠れて、足と胸と手の釣合を見る、
靜かな臀部に足に手に品のあるものを見逃さない。
監督は見る、そして監督は手をあげて時々女をひつこ抜くため稀に低い聲を出す。ちよつとお待ちください、そこに立つて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゐてくだされぱよいのです。なるべく自由な氣持でからだにゆとりをつけて立つてゐてください、煙草をお喫みになる方はご遠慮なくどうぞ——監督は姿整の纏まつた女を黒天鵞絨のカーテンの前に立たせる。女らは愛想笑ひをし思ひ思ひの姿整をして見せる。監督は辷り出て來る女らを見るひまにそれらの女をもチラリと見る。監督の眼は這ひまはる。馬鈴薯と蠟とゴムと冷たい石のやうなやつの上を、寫眞版と繪葉書の完全な模倣を、——

女が現はれる、監督の輕蔑を含んだ眼が一さう理智的に投げかかる、女が消える、監督はそれを見るといふよりも今は單に視線を擦過させるにすぎない、監督も助監督も社長も新聞記者も映畫批評家もひどく疲れて、へとへとになりかかつてゐる。女が辷り出て女が消える、空氣が染まることはもはや皆の眼にはいらなくなる、監督は稀薄な欠伸をする、それが映畫批評家の眼にシミ込み傳染つてゆく、ダラシのないアゴの鈎、新聞記者の眼が赤く濁つてドロドロになる、調節することの出來ない生理的疲弊を標本する、女があらはれ女が辷り込んでゆくだらりとした重いカーテン、その裾に西日の餘映がにじり込む。社長はもう深い衰弱のなかから這ひあがらうと焦つた眼付をして、履歴書を手にとり機械的に見る、六十八人の足と胸と手とがもう辷り出て行つたのだ。その匂ひと錯然とした灰白い記憶、記憶は粗い網を人間の腦にかむせて行く、疲れる、何ンにも感じなくなる。(映畫批評家は自分の頭がよいのか惡いのかさへ分らなくなる、何を選擇してよいかに就いて自信がなくなる、つまりおれはひどく疲れてゐるんだナ)と思ふやうになる。人間が人間同志を試驗的に見ることが既に疲勞を意味するのに、監督は自分の想像のなかの女を選り出さうとするのだ。監督の頭のなかに倚つて生きてゐた女を彼は描いて見ようとするのだ。彼の願望はそれに集注してゐて離れない、——或る館の中で彼は壁ぎわに押し寄せた一塊の生物、彼はその足が床の敷物のしたにまで續いてゐることを、どれだけの長さをもつてゐたかを考へ出さうとするのである。監督の記憶のなかでキチンと立つてゐた何處かのお孃さんの着物につつまれてゐた足、停車場の階段をのぼつて行く足の指、競馬の段々になつてゐるボックスを下から逆に見上げた足、隣の椅子の上に組まれた足とチョコレートの匂ひ、地下室の窓から見える膝から下の樣々

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

な足、――監督は春の温泉場を、輕井澤にある野澤のプールを、甃石の上をかつかつと輕く叩いてゆく靴と靴下を、――監督は白いもののウヂャつく網膜のなかで續けさまに感じる。けれども彼の青年時代に見た足だけが、その形や色ではなしに記憶だけが殘つてナマナマしく生きてゐることを、その記憶のなかから追ひ出す譯にはゆかない、純情の消耗。感覺の衰弱。

監督はやつとひと亘り「見る」ことを終つた。

「やれやれ想像外だつた。」

映畫批評家のさういふ聲に耳も藉さずに、監督はつめたい調子で立たせてある女にいふのであつた。「足をはかります。」

監督は物差しをもつて膝の上と下とを計り出した。辷り出る皮のヒモ、ヒモは足の上から踵まで下がつて元の鞘にはいつて行く、監督の眼の前に足がつき出される、謹直な禮節でおづおづと、物差しが通過する、足はさがつてゆく、別の足がまたあらはれる、計られる、刻々の思召しもここでは選んでは棄てられてしまふ、監督は計る、彼は頭に用意させたものを描くために冷淡に計るだけでお愛想一つ言はない男である。女の中にはどれだけの眞實と學問と境遇とがあつても、それは監督には問題にならないのである。彼は凡ゆる人間の種子によつて播かれたものを、彼の方式と信條に據つて整理するだけである。様々な形態のもとに生育されたものが彼の尺度を全きまでに滿足させる迄、苛酷に無表情で計るだけである。特に人生に復讐するやうな問題を彼は持つてゐない、彼の持つところのものは何處かに、(最も手近いところに全く偶然に一致された、)肢體が整理されなければならないからである。

監督の計算によれば同時に三疋の鮒を泳がしてゐて、その大きさが時には到底判別しがたいものであるとすることは、我々人間の視覺の遲鈍さを證明するものである。だから彼の選擇がいかほど微妙に行はれてもその最初に絶望を感じなければならないのだ、それにも拘らず監督は物差しをもつて一尺七寸の膝の下の女を整へやうとしてゐる。

彼は午後四時十分ほど前に凡てを整理した。

彼の網膜ににじりついた白いウヂ〳〵したものは却々離れない、そして彼が十七人の一女の足に對する雜記風な手帳には、殆ど完全な尺度をもつた女が六人しかゐなかつた。それらの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

足の細さも同じであるものは稀である。彼の捩じくり返した人生も底が見え出した。監督は不愉快な顔つきで卓を離れた。

「あ、くたびれた。」

それから二週間後に監督はホソイ鞭を持つて、磨き粉をふりまいた床の上をあち行きこち行きする、十七人の踊り子が足をあげてはおろし、おろしては上げてゐる、汚ない素足の裏を監督は見る、白いソロバン玉が上下する、監督は指揮者に向うてなるべく焦るまいとしながらいふ。「何故水準點に達しないんだ。」縦から一直線にならばない列なりは怠々しげな凸凹面を剝き出す。「眼と爪先とで三角型になるやうに、初めからやり直します。」

音樂のタクトが上げられる、踊り子は踊る、素足の裏が眼を掠める、監督は依然ホソイ鞭を機械的に持つてあちゆき此方ゆきする、彼の目に意地悪く11番の姿整が崩れて映る、どうしてあゝいふ女が選ばれてゐたのだ、おれはあの女を拔いだことは拔いだがあゝいふ姿整は拔かなかつた。監督は過失と輕蔑とを併せて感じる、指揮者の眼が何事かを暗示的に彼に交渉して來る、彼は指揮者の眼が11番の女の上に憎體になだれ落ちてゐることを感じる。11番の女は自分でもう過失を感じて白い汗を流してゐる。足が伸びない、どうしても伸びない、彼女はおどおどしながら蒼ざめ切つて焦る程平均を失うてゆく、眼は悲哀の度を増してゆくばかりである。監督は幾度か注意を與へたが氣分の平衡を失うたものは、明朗な舞踊の精神に反對する、彼女の眼はナミダぐんでゐるのを監督はこつそりと見る、（監督は多分あの女は素直な性質を持つてゐるために此の難關を踊りきれないのだと註釋して見る。）しかしその註釋は指揮者の咎めをふくんだ眼に出會ふと、監督の人生觀は殆ど一瞬の間に變化した。監督の聲は彼女の眞白な肩さきから胸のところに叩き落された。

「11番はづれ。」

彼女は眼惑をしたものがうしろに引かれるやうに、皆の踊てゐる列の後方にはづれてしまつた。彼女の眼もポーズもばつたりとその瞬間から止つたきり椅子の上にヘタ張つてしまつた。アブラと汗と荒い呼吸づかひ、

指揮者はハヅレのあつた時から一層強く締め上げた練習を繼

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

續した。彼女らの凡ゆる肩といふ肩、腕といふ腕が汗で光り出した、あぶらを引いたあとの肉たいの明りと光との間に、目まぐるしい姿整が交叉されて行く。

踊からはづれた11番の眼は同じい仲間の足に据ゑられてゐる。

疊まれ開かれ床を叩く踵の音、

ピツタリ、ピツタリ、

11番は郷愁を感じた。自分がかういふところにゐる不自然さを感じる、

赤子が泣く、ハツとする。

音樂が歇む、汗の色、青いのと白いのと、扇をつかふ踊り子、

指揮者が監督の耳もとで風のある窓さきでいふのだ。「11番はもう母親ですよ、やつの腰の肉は殺げてゐる。」

更に指揮者の聲がもう一度念を押す、「可愛さうだがあの人は退いて貰ひたいのです、足が固まつて開かないのですが、……この儘だと打ちこわしだ。」

「あとで言つて置から、どうも仕方がない。」

監督は憂欝になる、どう言つたらよいかと自問する、併し自分でもそれは解つてゐる筈だ、監督はずつと向うに拜むやうな眼付をする11番を見る（奴はおれの氣性のなかのものを讀む境遇にゐるんだが、同時に奴はおれが何を考へてゐるかを知つてゐる）監督は可哀想だといふ氣持を虐待することに慣れようとつとめる、そして彼は午後四時には11番を呼び出して靜かに言ふ。「あなたに向かない役を僕は振り當てました、あなたもごぞんぢの筈です。」11番は眼を大きくヒラいて監督を見る、もはや拜むやうな表情はとうに失はれてゐる、その眼はそれきり床の上にちからなく向けられる、肩、胸、腕、全體として含んでゐる母親の感じが監督の頭に靜かに行き亙る。苛酷な聲「奴の腰の肉が落ちてゐる。」監督は仕方なしに苦笑ひしながら11番に不適當な理由を少し説明する、……

11番は頸を垂れてゐる、

「わたくしに何か適當な配役を御心配くださらないでせうか、わたくしはこのことを一生懸命に申し上げたいのでございます。」

監督は扶つた感じを持つことを拒めなかつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それは貞操を提供しても11番は何か淋しい必要に迫られてゐる。

肉體を眼で追ひ懸ける監督、

「次の作品までお待ちくだされば何とか御心配しますが、次の作品にかかると秋になります。」

「秋でございますか。」

監督は遂にシミジミしたものを感じる。監督は絶對にいま11番をつかふことは出來ないのだ。指揮者と彼とは同時に提契しなければならない約束をもつ。

「そのうちよいおたよりをしますよ。」

11番はそれきり挨拶をして歸つて行く、監督はドアを開けてやり靜かな足どりを耳の底に殘す。

濁つた西日が硝子戸に當つてゐる街、

ブツブツ煮えて底から泡を吹く溝川、アート紙を切り立つた白い橋、

鐵骨のまゝで日に燒け込むガイコツのビルヂング、

川には傳馬船、

石垣の穴から赤子が泣く、ゾッとする。

11番の頭にまだ足の練習を續けてゐる列があり、監督のよく見ると優しい眼がある。

18番の女

デパートの女は見る、

人と人と人の間に海のいろと波とを見る、人と人が群れて石油色のあぶくを吹く、

骸骨がつけてゐる金剛石、お白粉と人參、赤ん坊の尻が碧さで腐りかけ、氷柱に食ッつけた歪んだ顏と唇が、粗惡な鏡を製作する。泥のなかに踏みにじられた櫻ン坊がちゆと啼く、階段がだらけエスカレターが間伸びするのだ。

デパートの女は見る、

中年の女が風呂敷をつゝもうとしてゐる、風呂敷の端に手をかけて中の買物を結ばうとしてゐるのだ、その時中年の女は連れてゐる子供が小便をしたいことを訴へるのに氣附く、中年の女はそのまゝ風呂敷包を結ばずに不淨場に子供をつれて行く、人と人と衝き當り中年女は酷く慌てる。不淨場は鯉のやうに

塗り立てられて白い、中年女は不淨場を出てもとの賣場にかへつて包みを結び直さうとする、品物を入れ變えようとして慌てて其處にならべてある子供の靴下を一足、自分の買物と一緒に風呂敷の中に包み込んでしまふ、運命の神はにたりと嗤ふ。彼女はその風呂敷包をさげて忙しさうにそこの賣場を去らうとするのだ。彼女は何も濁つた氣持をもたない、早〻夕方の家に歸つて行かなければならない。

デパートの女はそれの看視を怠らずにゐる。

選拔された美貌が意地惡いといふよりも正義を信じるために眼が動かずにゐる。正義は彼女の舌の上を轉がり擽ぐる。

「ちよつとお待ちくださいまし。」

「はあ、」

「靴下が一足お買物のなかに紛れ込んで居ります。それとも靴下をお購ひもとめになつたのでございますか。」

中年女は赧くなつて機械的に風呂敷包を開けかかる、樣々な買物のなかから彼女の子供には大き過ぎるところの、寧ろ不必要な靴下が一足品物の間に挾まれて出て來る。彼女は先刻よりもつと赧くなり運命はペロリと舌を出す。

「あら間違つたんでございますわ。」

デパートの女はその聲を耳に入れない、靴下を取り上げ冷然と元の陳列の箱の上にならべる、彼女は自分の眼光に對する自信を擴大する。デパートの女の資格、看視、責任であるものを確かに摑まへ得たのだ。彼女は美しい頰の肉をキリキリと癇癖的に震はせる、彼女は中年女を許す氣になり對手にならないやうに努力する。「これは全〻の間違ひで慌てゝ他の品物と一しよに包み込んでしまつたのです。どうか誤解しないやうにしてくださいまし。」

デパートの女は默つてゐる、併しその眼光は中年女の生新な驚きと過失までは行きつゝせない、彼女は多〻の過失が過失でない眞相を知り、デパートの女としての教養に從ふことを專念してゐる。或る一定の場所に停滯せる客、客の眼と同時に手さきに注意せよ、コオトを着たる女とマントを用ゐる人間には看視を怠るなかれ、直覺的にお世辭のよき女と着飾つて眼に立ちやすい階級を見のがすなかれ、――デパートの女はその孰れかに中年女の擧動が該當することを感じる。それ故中年女の誤解說に對しては依據すべき自信を變えることはないのだ。中年女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は口惜しさうにする、デパートの女の眼はヒヤヤカに寧ろ烈しい輕蔑の感情を今は女として加へてゆくのだ。「おわかりになりましたらそれでよろしうございます。」

中年女は辯解といふもののばか〳〵しさを感じ、彼女は澤山のデパートの女の視線のなかを潜つて歸つて行く、デパートの女の眼と眼の網、網は輕蔑して投げ懸けられる、萬引、イカが吐く墨汁、子供に尿をさせる周到なトリツク、

中年女はすご〳〵と歸つてゆく。

女らは笑ふ、賣場看視はデパートの女のところに來て彼女を賞讃するのだ。

デパートの女は卅分後に何か氣持に躓いたものを朧氣に感じ出す。風呂敷を包もうとした折に風呂敷の紐になつた一端が、恰度靴下の陳列された上に置かれてあつた。中年女はそれを慌てて結ばうとする前に、中の品物を据りのよい工合に入れ變えたのだ、その時に偶然に靴下が買物の下に食つ附いたまゝ、風呂敷の中に包まれてしまつた。デパートの女がかういふ考へに辿り着いた時に、彼女の頭は急激に冷却しきつた驚きの情に變貌した。彼女は鳥渡赧くなつて汗を額ににじませた。彼女はまた狼狽した氣持になり、賣場監督のそばに行つてこの顚末を話しようとし、監督のそばへ行つたが急に話し出せなかつた。

賣場監督は頗る上機嫌だつた。その上機嫌が一層彼女にはツライ氣持に變つて應え、彼女はもとの賣場に戻つて行つた。「わたし大變なことをしてしまつたわ。」彼女はむしろ子供らしく腹の中で呟やいて見た。「あの方は誤解しないで頂戴とお仰有つた時になぜ早く氣がつかなかつたか知ら。」

中年女は街の雜閙の通りで電車を待つてゐる、デパートの女の想像はそこでそれ以上發展しないことを感じた。

中年女はタクシの中に坐つてゐる、

中年女は靴下を必要としない、

中年女は自分でこの不愉快さを追ひ拂ふことが鳥渡簡單にはかないことを感じた。

中年女は夫にこの話をした。中年女はさういふ時に男の力を借るべきであることを信じてゐた。夫は併し冷淡だつた。默つて彼方向きになつただけだつた。中年女は幾つも自分に注視してゐる賣場の女の眼と衝突する自分の眼を感じ、スゴ〳〵と歸りかけた自分に屈辱を感じ、結局辯解するほど不利と混迷の自

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

身を感じた。

夫は机に向うて手紙を書いて、それを投函せよといふのだ。宛名はデパートの支配人になつてゐる。夫は机に向ふ前とはまるきり異つた表情をしてゐた。

デパートの支配人は翌朝その手紙を讀んで、突然に打撲を感じた人間に似たポカンとした狀態を續けた。そして吸ひかけの煙草をすてると慌てゝエレベーターに乘つた。三階の賣店は子供のおもちやで眞赤な造花の中にゐるやうだ。支配人は立つてゐる賣子の女をひと亘り見渡した。朝は爽快に若い女をイキイキと化粧して 彩しい賣品の前に立たせてゐた。圓いのや丸ぽちやなるものや涼しいほそさんや氣取つてゐるのや、Vといふ字の口つきや反齒なのや、それらの胸にある番號を支配人はいちいち素早く見て行つたが、18番の記號のある女は見えなかつた。支配人がもう一度見渡した時に大理石の柱のかげに後向きになつてゐる、ひとりの女を見出した。その女はそこの勘定場を離れて自分の賣場にもどらうとし、支配人が自分に注視してゐることを感じると急に赧くなつた。彼女は支配人がなぜ自分を見詰めてゐるかといふことを機敏に看取した。同時に彼女は次第に苦くなる氣持をじりじり感じ出した。

支配人は18番の女を見たが彼女は少くとも憎らしいとか、圖々しいとか狡いとかいふ側の女でないことを、彼自身の經驗から認めることが出來たのである。同時に彼は多くの女連から何事か起りかけてゐるのではないかといふ注意を向けられてゐることを知つた。支配人は賣場監督を別の部屋に呼び入れて、彼のところに來た手紙をよむやうに言つた。監督は手紙を一とわたり讀み終えると、さういふ事實があつたことを告げた。併し果して此の手紙の內容どほりのものであるかないかは斷じ兼ねてゐた。

「靴下がともかく先方の包の中にあつたことが間違ひにしても、一應賣子として問ねるのが本統に思ひます。」

「しかしその場合にもつと人物をよく見る必要があると思ふのだ。さういふことをする種類の人かどうか、……」

「それは咄嗟の間にさういふ人格者を判斷するといふ才能は、賣子だちには先づないと見る方が穩當だと思ひます。」

支配人は監督の顏を見て荒い聲に變つた。「君は過失といふものが殆ど實際に近い行動でおこなはれることを知らんか、此の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

手紙の內容は僕が考へても過失に違ひないのだ。「靴下は七吋半といふのに此の方の子供さんは漸つと四つにおなりになつたばかりだ。しかも此の方はお買物のなかに五吋の靴下を一ダース購入されてゐる。假令疑ふべき事實があつても何故此方から間違へて入れたのだといふふうに、下手に出ないのだ、お客樣の過失か否かを問題にするよりも靴下一足くらゐの場合は當らず觸らずといふ方針を注意書として君たちに手交してある筈ぢやないか、しかも衆人環視のなかで手嚴しく咎めたといふぢやないか。」

賣場監督は默つてしまつた。彼は最初の意氣を放擲しなければならない境遇を感じた。支配人は18番の賣子を呼ぶやうに言ひ、18番の女がはいつて來た時に手紙を見せて言つた。

「これを讀んでください。」

女はよみ了へると、改めて支配人はかういふ事實があつたかどうかと念を押した。女はございましたと言つた。

「あなたは此の方が間違つてしたことか、考へてしたことか氣がつきませんでしたか。」

「お間違ひになつたことが後でわかりました。いろいろ考へて見ますと他の品物についてはいつたものに違ひございません、しかしその時にはそんなことを考へてゐる間がなかつたのでございます。わたくしの擔當してゐる責任も重うございますから。」

支配人は此の責任といふ內容にまた衝突をした。會社が彼等に何も訓示を與へてゐない、併し彼等は自分の賣場の責任といふものを感じてゐる。支配人は寧ろ會社體としての壓力が賣子の氣持に樣々な社會的立場を何時の間にか與へてゐることを感じた。

「今度のことはかれこれ言つても仕方がありません、以後よく人がらに注意してゐて大抵の場合あなた方が間違つたやうにしてくれねばなりません、最初から計劃して物品に手をふれるやうな人はもつと高價なものに目ざすものですから。」

「わたくしも氣がつきましてから監督さんまで間違ひをしたことを申しあげようとぞんぢましたけれど、大變はづかしいやうな氣がいたしまして。」

彼女の正直な答へには支配人に好感を抱かせ、支配人はお客樣は辯解をしたかどうかと訊ねた。彼女は只お客樣が誤解をしな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いやうにと言つてお歸へりになりましたと答へた。彼女はさういふ支配人と話してゐるうちに氣の弱さうに目をしばたたいた。支配人はもつと衝き込んでたづねることがあつたが、それが彼女の小さい薔薇色の武器の前で控えられた。支配人は女の武器を鳥渡憎まずにはゐられなかつた。支配人は彼女を去らせた。支配人は監督に向つて言つた。

「けふのヒケの時に賣子をみんな食堂に集めてくれたまへ。」

五時のヒケに傳令があつて女達は髪と白粉とお仕着せの藍ばんだ姿で、食堂の中を埋めてしまつた。支配人はむつとする若い女たちの群れた臭氣のなかで昨日の出來事と、さういふ出來事に對する咄嗟の前後策に就いて喋るのであつた。顔と顔とが重なり合うてゐるのを見て、支配人は彼等が靜肅に聞いてゐるのだ滿足に思うた。

「かういふ些細な事件ではあるけれど、新聞紙などに掲載されますと當店の不名譽ばかりではなく客脚もしぜんに減るやうなことになります。それは一つにはあなた方の細かい注意と心づかひとが肝要でありまして、表面に出なくて濟むやうな事がらもあるのです。直接お客樣と交渉のあるあなた方のちからでデパートの人氣が何時も保たれてゐるも同樣でありますから、今回の事に鑑みてよくよく事件を未然に防ぐやうに努力しなければならないのであります。」

デパートの女達はむづ／＼と身動きをし、小さい咳をした上、何か非常に低い聲で囁き合ふのが蛆の湧くやうに起つた。支配人には勿論それが何であるかが分らない、支配人は彼の氣質とデパートの信條に就いて長々しい演説を半ば興味に引摺られて喋つてゐたのだ。

生白い口べにの交つた欠伸、無意味にうごき出した姿勢、退屈な賣子全體としてのダラけた表情。

「今度の間違ひのごときは別に咎め立てしなくともよかつたのです。靴下一足くらゐはどちらにどうなつてもよかつたのですが、擔當者があまり眞面目すぎたからであります。」

十八番の女は縮み上つて隅の方にゐて、支配人の演説のなかで耳まで眞赤に泣き腫らしてゐた。彼女は自分の過ちで賣子全體が動員せられ叱責されたのをツラク感じた。しかし仲間の女は18番をにくむものがゐない、唯彼女等は結局自身の責任を完うしてさへも遣つ付けられた。彼女等はどういふ時にも遣つ付

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けられるために存在してゐるやうなものである。

支配人の演說が終ると直ぐに後方で誰かが何か言ひ出したことを感じた。彼は白い顔を幾十となく越えたあたりに眼を停めた、そこに勝氣らしい眼の鋭どい、何か剃刀のやうな美しさを見せた女が、他の女達のなかから伸び上つて支配人の名を呼んで列を離れた。

「何か質問があつたら言つて下さい。」

支配人は曾つて質問など滅多に出會つたことがないので、逸早くも輕い壓迫を感じた。彼女は思ひがけないほど明快な語調でスラ〱と蟬みかけて長廣舌を弄した。

「只今お話のお客様に不調法があつてもそれを默つて內分にせよとお仰いますけれど、お店の規則には相當の事件のあつた時は速かに掛りの刑事に密告せよとか、適宜の注意を與ふるべしとあるところから見て、わたくしたちはどれを取つていいか分りません、今度の靴下一足の場合ならようございますけれど、わたくしの擔當してゐる貴金屬の場合などはお店の方でもこれを默つて見過せば必らずお咎めがあるにちがひございません。(先日も貴重品が紛失した事件がありまして看視怠慢でわたくしはお叱りを受けました)貴金屬の場合は刑事に密告し、他の價格の低いのは默つて見て居ればよいのでせうか、わたくし達にその程度がよく呑み込めないのであります。」

この突然の提議に女達の間に一種のどよめきのやうなものを醸して、そのどよめきは何やら沸々とした呟やきに變つて行つた。勿論、支配人には此の些細な問題で併しケタの大きく違つた內容には適當な解決を與へるには多少の考慮を要するのだ。

「常識的に言へば貴金屬の場合は勿論すぐさま紛失と同時にそれの搜査を初めなければなりません、靴下と同じく取扱ふことは出來ないのです。」

彼女は支配人に向つて今後貴金屬類にはさういふ方針を執ることを言明したが、素早く問題を今度の事件に移乘した。彼女の說くところに據れば十八番が客に注意を與へたことは事實に於いて證據も明確に上つてゐる事であるし、咄嗟の場合さう認めるのが至當であつて決してお店から譴責される理由はない、

「必竟十八番さんはお客様の過失に對して職業的に大事をお執りになつたのでございます。生意氣な言ひ分のやうですけ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れど、この場合緻密な觀察が足りなかつたのが缺點でありますけれど、あの場合どういふ成績のよい方にしても矢張り一應の注意は與へるだらうと思はれます、若し假りに十八番さんが觀察が不足でお客樣に當つたとしても、お客樣の方にも充分輕卒さが證據立てられてゐますから、これは孰方も二重の過失を打ち當てたやうなものでございます。わたくしはかういふ問題で仕事を過つたものであり、それに就いてお叱りを受ける理由も無いやうに考へられるのでございます。」

此の比較的長い辯舌は齒切れのよいテキパキした調子で、女達全體を氣持の底から揺り立ててゆき、彼女達は低い無遠慮な之加も莫迦にしてゐるやうな聲音で、口々に本統だわとか痛快だとか、わたくし達もあんな風に考へるとか、もつと遣り込めるといゝわとか胸酢が融けたとか言ひ合ひ、中にヒヤヒヤと冷かし半分に囃し立てるおハネさんらしい耳の立つた女も交つてゐた。

支配人は丸潰れになつた面目を建て直さうと焦つたが、それは矢繼早に喋り立てる女のために美事に遮られてしまつた。同時に低いツブヤキ聲が次第に大きく勢ひを増し、妙に反抗的ながや〲した穩やかでない雰圍氣に一變されて了つた。圖々しくなればどうなるか分らない本性が全體の女の上に現はれて行つた。生咳の聲や鼠泣きをするのや支配人の調子をまねる者や例のヒヤヒヤを繰り返す耳の立つた女やで、騷々しさが食堂一杯に輪を描いて廣がつた。一度さうなると取繕ふことのできないとことが支配人をすつかり怒らしてしまつた。

「皆さん、靜かにして下さい！」支配人は眞赤になつて怒鳴つた。「わたしは今度の事件に對して別に皆さんを譴責した譯ではないのだ、今後さういふ事件を繰り返したくないためにお集まりをねがつたのです。この意味をよく汲んで貰はないと困ります、……」支配人の聲は例のガヤ〲した囁きや低い話聲で、皆には能く聞きとれなかつた。支配人は焦つて見たがそのガヤガヤ聲は膨れて複雜になる一方だつた。

「皆さんお靜かにして下さい。」支配人は聲を高めて怒鳴つて見たものの、執念深いガヤ〲聲は鎭まらずに一層諷刺的な傾きさへ帶びて來るのだ。彼は癇立つて再び叫んで見たもののその瞬間だけ鳥渡の間鎭まりかけ、又一と頻り騷々しくなつて行つた。支配人はこれ以上話す必要もなかつたし、却つて皆の氣を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

荒くすることが懸念されたので、仕方なしに改まつた嚴肅さうな聲音になつた。

「本日はこれだけにして打切ります、お歸りを大變に遲らして濟みません。」

　皆は鼻のさきで露骨に笑ひ、

一段と高聲になつて冷評し合ひ、

　中には何の爲にわたくし達を集めたのだと叫び出すものさへあつた。皆が皆で言ひ合したやうに拍子を取つた足踏みを鳴らして、食堂を出て行つた。誰かがうろ覺えのはやりうたを唄ひ出すと、それをきつかけに一度に聲を合して青猿のやうに疳高く笑ひながら合唱するのだ。彼女らは二階まで唄ひつづけて降りたところで監視にその唄を禁められたが、監視の去つたあとで亦唄ひ出した。

大蛇さまお助けくだされませ

顏を剃られてゐる女、白いノド、明りのたゞようてゐるしめつた皮膚、

鏡のなかの術、公儀の一角、

が廻轉してゐる。[illegible]

光るハサミ、溫かいタヲル、粉石鹸の泡と虹、静かに女が顏を剃られてゐる。

　まだ産毛から間もない柔らかさ。剃刀がその産毛をしみじみ刷いて行く、剃刀自身が、何かこつそりと考へながら剃つてゆく。

　大蛇の胴にはいつてゐた男、

大蛇の頭を背中にはねて舞臺着のまゝ、往來を眺めてゐる。

部屋には樣々な衣裳、刀、赤い下着、面、

大蛇の舌は天井に向うて吐かれ、男はキナ臭い煙草をふかしてゐる。息苦しげにひどく蒼い顏をしてゐる。大蛇の眼の穴から見た看客の顏と顏、顏の渦卷、彼奴等は何が面白いのだ。ふやけた麩のやうに笑つてゐるが、おれのすることに何の興味があるのだ。年老いた深山に棲んでゐる齒の生えた大蛇には耳があるし物を言ふことも自在に出來るのだ。人間と違つて年老ると反對に機能作用が緻密になるのだ。

　女優が一人部屋にはいつて來ると、衣裳を脫いで汗だらけのからだを拭いてゐる。あゝ暑い、彼女はぺたりと坐り込むと暑

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

さがこめがみから煙を吹き込んで來て、頭をぼオとさせるのだといふ。眼にもからだにも力がぬけてダラリとしてゐる。おさかなと變つたところがないと言つて、ペタ〳〵と二の腕を叩く。

「僕の友達で印度に行つてカフエの太鼓叩きをしてゐる男がゐるがね、ミツちやんも知つてゐるかも知れないが、金子輝政といふ詩も書く男なんだ、兎に角まる一晩ぢう太鼓を叩いてゐるあひだに、東京が戀しくなつて反對に頭がしんとして來るさうだよ、濱松町から品川へかけての海岸線が、チラチラと太鼓の棒のあいだから見えるつて書いて來たが、僕らの力は太鼓叩きよりか餘程下等だね。」

『金子輝政さんの奥さんとは高等師範時代のお友達よ、奥さんは一たい何をしてゐるのか知ら。」

「パリで踊つてゐるといふ話だ。」

男はまた眼を細めて往來を眺めてゐる。

草花賣が向うの小路を通る、

　ギラついてゐるペンキを塗つた花、花は夏の初めは皆赤イのだ。

池のまはりの木かげに人間がぎつしり詰つてゐる、

池は腐りかけ人間はそのまはりで眠るのだ、

　ぞろぞろと映畫館の前を通る人は只歩いてゐるだけで、何も見る興味すら起らないのである。この都會に眠りながら歩く種類の人間がゐるが、この群衆のなかで三分の一はゐねむりを續けたがら歩いてゐる。かれらの腦のなかで海と山と金と食物とが渦卷いてゐる。

　女優はねころんで天井を見てゐる。だらけ切れるだけ切つて生も根もない、人生に出直す氣にもなれない、往來の見える窓、天井、疊のふやけた部屋。

「その手紙にね、毎晩カフエの床を掃くと一とつかみくらゐ、赭茶けた女のぬけ毛があるさうだ。」

「此處だつてそれくらゐあるかも知れないわ。」

男は理髪店に眼をすえてゐる。寢轉んでゐる女優を呼ぶ、女優は仕方なしに窓際に行く。いかにも氣持がよさそうに眠つてゐるぢやないか、あの女は一體一週間目にはきつちりと出掛けて來るが、服も袖の長い流行着をつけてゐるし、靴もカンガールか何かの柔らかい奴をはいてゐる。斷髮で時間も自由につか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

づてゐる點で僕たちとは境遇がちがふ。あんた正體の分らない女は東京に一番多いのだよ。

女優が窓から離れる。「詰らないものを見てゐるわね。」

男はその言葉で窓から捥がれて大蛇の頭を背中でゆすぶる。

「印度の女と巫山戯てゐると豹と遊んでゐるやうだとさ。」

「勝手にしやがれ。」女優は着付けを着け初める、垢じみた古い衣裳、埃、ナフタリンの匂ひ、お白粉の顔をなほしてゆく鏡の割れ目、同じ鏡に二つの顔が映るのだ。

男も衣裳をつける。大蛇の相恰、舌と鋸歯の列。

出番の鈴が鳴る。ぞろぞろ出かける長い蛇の皮、皮のしたから正直さうで故郷思ひの二本の素足が辷り出てゐる。「毎日同じことばかり遣つてゐて能く飽きないものだ、あと三日間も同じい蛇の皮を着て暮さなければならないのだ。」裾をぐいとかかげ道具方の狭い隙間をぬけながら彼女は言ふ。「おいやなら止めるばかりさ、何處かで食べられるやうな仕事があつたらばね。」

「何を往生際の悪いことを言つてゐるんです増木さん。」道具方が肌に團扇の風を入れながら言ふ。

舞臺は鬱鬱たる谿谷の情景、じめじめした奈何にも大蛇の棲んでゐさうなところ、山賊體の男二人、先刻の女優の扮した娘を追ひかける。じたばた騒ぐな。

娘。どうぞおゆるし下されませ。身につけたものは皆差し上げまするゆゑ。

山賊體の男。あたりめえだ、髪の毛まで置いてゆけ。そのからだにも御用があるのだ。

娘。こればかりは、、、……

山賊體の男。それを置いて何がおめえだちに用があるのだ。ばかやろ。

バタバタ騒ぐ音、娘の泣きごゑ。

「暑いつたら餘ンまり觸らないで頂戴。」先刻の女優が低い聲でさういふ。「觸らなければ感じが出ないぢやないか。」足音、泣きごゑ、入り亂れる體。

上手の暗い大きい歯朶の茂りから大蛇がのそのそ這ひ出て來る陰氣くさい風と濕氣とが覆ふ。大蛇は山賊を脅やかし山賊は去つてしまふ。大蛇はとぐろを巻いてその巨大な頭を擡げる、火に似た舌を吐く。娘は大蛇を見て驚く。そして禮を述べる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「危ないところを有難うございました。このご恩はおわすれいたしません。」

大蛇はうなづいて見せる。そのうなづいた時娘は再度驚く。物を言つて解るのかしらと獨り言をいふ。大蛇は娘を見つめてゐるよりも何か狙うてゐる感じである。娘が大蛇の眼の穴から男の眼を見る。「そしてゐるとあんたも蛇に似てゐるわよ。」「だがね、こちらはお前さんを田舍娘に見えはしないよ、……けふはちつとも入りがないぢやないか。」「暑いからさ、暑いときにこんな暑くるしいものを見ちやうだつちまふ。合唱團もだらしがないわね。裸のかげが幕から見えるぢやないの。」「電氣が逆光だから映るのさ。」

娘は去らうとする。大蛇もそのあとをノロ〳〵歩いて尾いて來る。娘は追々氣味惡く感じて早足になる。大蛇も足を速める。

「いけ好かない蛇だこと。」

娘は低い聲でしかめ面でさう呟やく。が娘は急にしほらしい聲でいふのだ。

「大蛇さま、どうぞ哀れなわたしをお助け下されませ。」

「よし、助けてやらう、そのかはりおれの言ふことを聞け。」

先刻の部屋に男と女優とが辨當を食べてゐる。男はウマさうに何か噛じつてゐるが女もうまさうである。彼等には拙いものはないらしい、男は何か言ひ出さうとしながら、鳥渡言ひ出せない戻かしさを擧動で見せる。辨當を食べ終る。同時に夜の出番の時間が迫つてゐることを感じる。辨當を食べてゐる間のうまさうな顏色はもう無くなつてゐる。二人とも汗を拭く、疲れと暑さと倦怠が將棋詰めにギシギシ彼等を追ひ詰めるところで容赦なく追ひつめて來るのだ。

風のない窓の外、

やゝ隔れて眞赤に夕ダれた池が一つ、

裝飾電燈が將軍の胸のやうにキラツク、

群衆のどろどろしたお汁粉、金魚、風船、アンモニア、お汁粉、

「二三日前からちよつと話をしようと思つてゐたがね。」

「どんなこと。」

「僕は夏だしちよつと國へかへつて來たいと思ふんだが。」

「わたしも尾いて行く。」

「それぢや話がまたコハれてしまふぢやないか。」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「ひとりで働いてゐられはしないわ。わたしも行くわよ。」

男は同じい大蛇になり女はまた旅の娘になる。退屈で機械的な演技、どろどろ太鼓が鳴る、大蛇はのろのろと這ひ出て來る。娘は低い聲でいふ。「先刻の國へかへる話は本統？」「暫らくぶりで東京と離れて見たいと思ふのだ。學生らしい若い男はひとりも見物してゐないぢやないか。」「そりや學生はお金やお國があるわよ、わたしたちとは違つて、……だけど、わたし却々あんたを一人ではやらないよ。」

誓願寺裏の墓場の見える二階、男も女もグつたりと張窓に腰かけてゐる。あちこちに暗い屋根の顎、顎を越えて映畫館の裝飾電燈が燈時間らしく消えるのが見える。四角な光芒が空の明りを奪ひ掠めて行く。

「どうしても一緒に來るといふのかい。」

「あんたといふ人間をお腹の底から知つてゐるから一人ではいやですよ、ちよつとでも離れたら女なしにはゐられない大蛇さんだからね。」

女の寛ろげた肩は半分闇の中につッ立つてゐる、

男は歯をかみ手にアセを感じる。イヤな女にかかはつたと思ふのだ。此奴を突つ飛ばしたくなるが、此奴はおれの生理的方面をギザギザに刻んでゐるから、鳥渡した思ひつきでは捨てることが出來ない。此奴をゴミと埃と群衆のなかに衝つ飛ばしてしまつたらおれも生き伸びられるのだ。男はそつと女を見る、千年の間かういふ時にする男の眼付をそつくり彼は傳統しながら、すうと掠めて見るのである。

女は眞白な肩に夜風を入れてゐる、

闇が肌の白さで斷ち切られてゐる、

男は憎々しくその闇と肌の恐ろしい斷層を見入つた。此奴を置いて逃げ出すより外に方法はない。

空一杯に眞黒な蝙蝠が群がつてゐるやうな重い、無風の時間が奈落に墮ちて行く。男はその巨大な時計の針の音を耳の底に感じてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯だより

◇濱口内閣漸く多難。不景氣は如何にして打解されるか。失業對策はいかにして解決ができるか。社會局案勞働組合法案は果して通過するか。本年の豫算編成は可能なるか。海軍との妥協はできるか。等々あまりにも難問が續發する。

◇産業合理化とは何ぞ。海軍省の上に參議官會議、その上に元帥府を新に認めることだ。國務大臣は一體誰に對して責任を負ふのだ。國家の功臣を誤るものは果して誰か。東鄉元帥は冷かに民衆の疾苦を思つてもらいたい。

◇講談社の野間清治君報知經營者となる。いかなる業績に向つて展開して行くか。ただ我新聞の領域に於いて、否世界の新聞の領域に於て絕大の未開地のあることは事實だ。

◇大に若返れる若槻新に現役に復せんとし、平野義太郎、山田盛太郎大學より逐はる。

◇六月號改造所載の創作で代作問題のおこつたことは本誌としては遺憾の至りにたへない。以後は我々の力の及ぶかぎりの注意を傾けます。

◇同じく前號所載生田長江氏創作『小公子』の第二章四とある部分は第一章の三となるべきものであつた。

◇本月の改造は大塚、河上、高田三氏の勞作たる三大論文が登載された。そして資本家と無產黨側との討論會は可なり面白く讀ませる。來月以後の雜誌に於てグン〳〵發展して行きたい。

◇現代日本文學全集の八月配本は「如是閑、魯庵、無想庵」集で、經濟學全集は土屋喬雄鈴木茂三郎、小野武夫氏等の「日本經濟史」だ。

◇吾社の『新銳文學叢書』は、果して素晴しい稱讚を獲得した。增刷、また增刷、本年上半期の新記錄を作つた。それにつけても新銳作家の前途は多望といふべきである。尙、新銳作家をドシ〳〵加へて行きたい。

◇夏季の出版として、駒井卓氏の「生物學叢話」が氏の處女出版として發行される。小野武夫氏の「維新農民蜂起譚」は貴重なる文獻として學界の注目を牽いてゐる。識者は本書によつて大衆の心を讀むべきである。

◇ヴアン・ダインの名を聞いただけでも心は彌が上にもそゝり立つが、氏の傑作でアメリカの讀書界を席捲した「僧正殺人事件」が、近く出版される。

改造定價

冊數	定價	郵税
壹冊	五拾錢	參錢
半ヶ年	參圓	郵税不要
壹ヶ年	六圓	郵税不要

註文の注意

▲御註文は凡て前金に申受く前金切の時は發送を停止す

▲增大號其他定價變更に依る前金拂込不足の時は御拂込を待つて雜誌を發送す

▲外國よりの御註文は郵税實費を申受く

▲見本御請求の向は振替又は郵券にて定價通り御拂込ありたし但し郵券代用は一割增の事

▲御拂込は振替によらるゝを最も便利とす

昭和五年七月十八日　印刷納本
昭和五年八月一日　發行

定價（五拾錢）
（郵税參錢）

東京市芝區愛宕下町四ノ四〇
編輯發行兼印刷人　山本三生

東京市牛込區市谷加賀町一ノ一二
印刷所　秀英舍

發行所　東京芝區愛宕下町四ノ四〇
改造社
振替東京　八四〇二
電話芝(43)　一一二一　一一二二　一一二三　一一二四　一一二五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

現代日本文學全集

第四篇（第四十五回）八月上旬配本豫定

德富蘇峰集

高邁の識見、椽大の筆、明治大正昭和三代を縱貫して天下に呼號先導せる著者等身の著作中より精髓中の精を抽ける本書は、一卷にしてよく全蘇峰だ。殊に文學論全部を網羅せるところ、まさに新日本半世紀文化の脊髓だ。

內容

將來之日本　新日本之青年

吉田松陰　時務一家言

以上四大名著全部の外

文藝評論・文明批評・人物評・隨筆・紀行等に亙つて全作中の精髓を網羅す

發行所　東京芝區愛宕下町　改造社　振替東京八四〇二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN